

同盟時事月報

號四第 行發日四十月五 卷七第

昭和十八年

四月事項

東條內閣改造斷行

緊急物價對策要綱

物資交通動員計畫決定

印緬國境英軍殲滅

獨伊巨頭會談・ソ波斷交

☆月間大觀 ☆時事專月表

☆時事文獻彙報(特輯。日本思想文獻)

附錄 同盟旬報 自第六卷第廿八號至第六卷第卅六號 索引

203號



三星繪具株式會社



東京聯合會社 三星繪具製造所
京城新吉町 朝鮮三星繪具株式會社

スパーク



全圖文店有限公司

健康へ飛躍

動悸や息切れ、熱ね汗
咳を去り、食を進め、身體を温め
抗病ホルモンを増して、心臟病を
肺、肋膜、胃弱の病因を手當する
特種強精動物類のホルモン精煉薬「救心」

心臓に救心

朝一夕一粒

價二圓より藥店百貨店にあり、手賣法英本海陸
東京市京橋區西八丁二丁目十七ノ 救心本舖




先づ商標の選擇！

ライオンペン



株式会社 井南商店 大阪・東京・大連



卷 頭 言

「東亞のふるさと」

「鯉のぼり日本男子ここに在り」。暴風を切つて大空を泳ぐそのおほやかな姿を仰ぐと自づと世界に雄飛せんとする日本人の氣宇を見る心地である。これまでの日本人はどちらかと言へば、海外進出型の民族ではなかつた。これは華僑の世界に跨る發展ぶりと比較れば明らかなることである。もとよりその原因としては日本が世界無比の國柄と、優れた風土に恵れてゐることが擧げられる。

だが、大東亞戦争とともに我々の活動天地は著しく擴げられるに至つた。いまや、大東亞戦争の輝しき進展に伴ひ新しい活動圏はわれわれを無限に要求してゐる。支那大陸に、南方に進出する邦人の數は日毎に激増してゐる。皇威全世界に遍きに從つて、われ等の住み家はさらに、廣まりゆくのである。

我々の天地が廣まるについて、我々の常に心すべきことは、我々が何時、何處にあつても、常に我々は日本人であり、御稜威を體して、皇威を遍く光被せしめる戦士であるといふことである。我々はまづ何よりも日本の國體に徹し、しつかり日本の心を己れの心として、進みゆくのでなければ、徒らに新しい天地に自らを失ふこととなるのである。かくては伸びゆく日本の戦士としての資格を缺くものと言はねばならない。かくては、東亞の指導者民族としての力を缺くものである。

「ふるさと日本」を遠く離れゆくとも、われわれの「心のふるさと」は何時も日本であるのだ。この心のふるさととはまた大東亞のふるさとでもある。我等の郷土は日本から大東亞にまで廣められたが、大東亞が眞に我らの郷土となるためには、我々の心のふるさとがくもりなく判つきりと我々の胸に摺まれねばならない。

(は)

同盟時事月報(五月十四日) 二〇三號 目次

「東亞のふるさと」(巻頭言).....	一
《通信筒》.....	六
各國の戦時厚生.....	七
伊國の決戦態勢.....	一〇
印度最近の食糧事情.....	一一
《同盟現地報》(香)	
印緬支國境を語る.....	一三
獨逸軍需工場見學記.....	一四
進駐一年のニューギニア.....	一五
南方建設(同盟團).....井上勇.....	一六
月間時事(次頁を見よ).....	一七
☆大東亞戦記.....	一六
□放送・講演・談話.....	一七
我が宣傳戰(對外電信同報).....	一八
地方に芽生える力(地方事情).....	一五
新聞論調總覽(七)資料相談(五)	
海外同胞中央會(團體便り).....(一五)	
地政學について(書架).....(一五)	
同盟出版部便り・後記.....	一六
○時事文獻彙報.....	一八
【特輯】日本思想文獻.....	一五
附錄 同盟旬報(自第六卷第廿八號至第六卷第卅六號)索引	

同盟時事月報

(月間時事)

目次

世界 戰 況

大東亞戰爭

【特 報】

英印軍二箇師殲滅……………二四

フロリダ沖海戦……………二六

東南アジア……………二七

北境の敵軍撃砕……………二七

緬印國境附近空中戦……………二七

雲南驛飛行場爆撃……………二七

【佛 印】

侵入の敵機撃墜……………二六

【タ イ】

シャン州侵入の敵を撃滅……………二六

支那方面……………二六

【投 降、捕 虜】……………二六

【戦 況】……………二六

支那派遣軍週間戦況……………二六

支那派遣軍二月中戦果……………二六

北 支……………二六

北支軍發表三月中戦果……………二六

山西、河南省境の蔣軍撃砕……………二六

南 支……………二六

米空軍廣州灣盲爆……………二六

空中戦、空爆……………二六

【ニユーギニア】

濠洲方面……………二六

艦船、地上機、諸施設に大……………二六

損害……………二六

ミルン灣に敵輸送船團潰滅……………二六

【印 度 方 面】……………二六

チツタゴン上空で大戦果……………三

東部印度攻撃綜合戦果……………三

五日間で敵機三十六撃砕……………三

【海 上 戦 線】……………三

【西南太平洋】……………三

海鷲ルツセル島急襲……………三

海鷲エリス、ソロモン方面……………三

【強 襲】……………三

敵輸送船二隻撃沈……………三

ガダルカナル島連爆……………三

米機頻りに病院船を襲撃……………三

米機野戦病院を爆撃……………三

【北太平洋】……………三

鳴神島來襲の米機喪失……………三

【歐 米 戦 争】……………三

獨伊軍公表戦況……………三

伊軍三月中の損害……………三

【東 部 戦 線】……………三

【北部地區】……………三

獨軍レンングラードで攻勢……………三

【クバン地區】……………三

クバン地區の赤軍總崩れ……………三

【ドネツ地區】……………三

獨軍渡河點を奪取……………三

【コーカサス地區】……………三

ノゴオロシースク南方で激……………三

【戦 況】……………三

空中戦、空爆……………三

獨空軍東部戦線で活躍……………三

獨空軍黒海の要港を爆撃……………三

ソ聯空軍東プロシヤ爆撃……………三

【チ ュ ニ ジ ア 戦 線】……………三

樞軸兩軍遂に合流……………四〇

スファツクス、カイルーア……………四〇

【ス ー 撤 退】……………四〇

反樞軸總攻撃失敗……………四〇

【西 部 戦 線】……………四〇

獨英米機互に爆撃……………四〇

【海 上 戦 線】……………四〇

潜水艦戦の脅威に戦……………四〇

獨潜水艦の新戦果……………四〇

英潜水艦喪失……………四〇

佛汽船撃沈さる……………四〇

空母レンヂャーを撃沈……………四〇

【地 中 海】……………四〇

英潜水艦二隻を撃沈……………四〇

獨潜水艦戦果……………四〇

英潜水艦母艦沈没……………四〇

英伊地中海海戦……………四〇

有力艦隊シ軍港に集結……………四〇

【大 西 洋】……………四〇

獨潜水艦活躍……………四〇

英驅逐艦二隻撃沈……………四〇

手榴彈で驅逐艦と交戦……………四〇

オランダ沖で海戦……………四〇

ブルターニニ沖の海戦……………四〇

【國 内 要 事】……………四〇

軍司令官師團長等に賜詞……………四〇

飯田ビルマ、酒井香港兩最……………四〇

高指揮官軍狀奏上……………四〇

同光大勳章を贈進……………四〇

【政 治】……………四〇

東條首相滿洲國を訪問……………四〇

日滿關係いよいよ強化……………四〇

東條首相談……………四〇

首相一行に勳章傳達……………四〇

東條首相歸還……………四〇

東條首相歸國第一聲……………四〇

▲東條首相内閣改造斷行……………四一

▲新大臣親任式……………四一

▲文部大臣に岡部子親任……………四一

▲内閣改造の意義……………四一

▲内務三役決定……………四一

▲情報局長に村田群馬縣知事……………四一

▲翼賛會副總裁後藤文夫氏に……………四一

▲決定……………四一

▲後藤氏昇格就任の意義……………四一

▲青木大東亞相南方へ出張……………四一

▲磯谷總督と會見……………四一

▲海南島視察……………四一

▲佛印訪問……………四一

▲タイ國訪問……………四一

▲大東亞相昭南着……………四一

▲大東亞相クチン到着……………四一

▲大東亞相昭南で歡談……………四一

▲物動並交通動員計畫閣議……………四一

▲決定……………四一

▲佛印資源調査團解散……………四一

▲第七回大東亞建設審議會……………四一

▲總會……………四一

▲政府・重臣懇談會開催……………四一

▲金屬類非常回收實施要綱……………四一

▲決定……………四一

▲關稅法戰時特例決定……………四一

▲農政局に農村總務室設置……………四一

▲最初の査察使に鈴木國務相……………四一

▲任命……………四一

▲地方長官會議……………四一

▲第一日……………四一

▲東條首相訓示……………四一

▲第二日……………四一

▲各省別會議……………四一

▲第三日……………四一

▲經濟・厚生關係會議……………四一

▲第四日……………四一

▲會議終了……………四一

▲經濟部長會議……………四二

▲重光大使空路歸朝……………四二

▲ハローモ長官マツセージ……………四二

▲陳國府特派大使來訪……………四二

▲在支敵國人に集團生活……………四二

▲樞大使歸途につく……………四二

▲四・一八空襲問題の経緯……………四二

▲米國狼狽……………四二

▲米陸軍省詳報發表……………四二

▲海外論調……………四二

▲【軍 事】……………四二

▲陸軍瓦斯防護教範制定……………四二

▲感 狀……………四二

▲貴衆兩院……………四二

▲沖繩縣多議に當間氏當選……………四二

▲貴族院在滿將兵慰問團派遣……………四二

▲翼賛政治會……………四二

▲翼政調査委員を派遣……………四二

▲翼政の民情窓口再開……………四二

▲大政翼賛會……………四二

▲國民精神昂揚具體的施策……………四二

▲決定……………四二

▲青年學校充實改善上申……………四二

▲壯年團……………四二

▲翼壯府縣團長改選……………四二

▲翼壯機構全面的改組決定……………四二

▲産 報……………四二

▲勤勞青少年輔導組織を確立……………四二

▲外地・地方……………四二

▲市制施行詮議内規改訂……………四二

▲大阪府に貝塚市誕生……………四二

▲【經 濟】……………四二

▲十八年度物動、交通動員兩……………四二

▲計畫決定……………四二

▲物資動員計畫(企業院總裁……………四二

▲談)……………四二

▲決戰物動の意義……………四二

交通動員計畫(企畫院總裁談)..... 六

交通動員計畫の意義..... 六

決戦物價政策確立(價格報奨制度の實施)..... 六

緊急物價對策要綱要旨(金屬類非常回收本年度實施要綱決定)..... 六

財政・金融
預金部年度末資產..... 六

三月末國庫現計..... 六

十七年度國債消化率九六%..... 六

三月末國債現在高..... 六

貯蓄
事變以來の國民貯蓄七百卅億圓..... 六

國民貯蓄組合法施行規則改正..... 六

十七年度郵貯目標突破..... 六

金
內國爲替集中決済採用..... 六

資金調整特例の初適用..... 六

戰時債券保管登録制に變更..... 六

資金運用令施行規則改正..... 六

證券市場開設方針決定..... 六

地銀社債特別引受計畫決定..... 六

保險
空襲保險支拂規定緩和..... 六

金融統計
工・鑛業
建築物臨時標準規格設定..... 六

社に感謝狀..... 三

鑛業獎勵規則制定..... 三

炭礦整理斷行..... 三

織産協答申案成る..... 三

人絹・スフ再編成案決定..... 三

日本蠶糸製造創立..... 三

セメント企業整備評價額決定..... 三

農
十八年度米價對策決定..... 三

米實收六千六百萬石突破..... 三

標準農村設定要綱成る..... 三

自作農創設維持事業擴充決定..... 三

農村實態調査成る..... 三

配給
普通鋼材半製品價格補給金制度實施..... 三

小賣業整備順調に進步..... 三

酒類級別並に價格決定..... 三

運輸・交通
バス、トラック統合進む..... 三

大北電信の陸揚難消滅..... 三

輸出滞貨強制買上..... 三

會社・團體
團體
天皇皇后兩陛下親しく英靈に御拜..... 三

福西は親房卿終焉の地か..... 三

帝都町會隣組再編成..... 三

日本出版會役員決定..... 三

聖德太子十七條憲法伊語譯完成..... 三

藝能學會發足..... 三

米加殘留邦人情況..... 三

南方十一地方と電報開通..... 三

學術
陸軍技術有功章授與式並に陸軍技術研究會..... 三

第二回大東亞醫學總會..... 三

本年度科學研究費制當..... 三

學位授與..... 三

文藝・美術
日本文報總會開かる..... 三

藝術院賞の六氏決定..... 三

文化映畫賞決定..... 三

美術界一束..... 三

教育
高等學校長會議..... 三

本年度大學總長會議..... 三

教習局參與會議..... 三

宗教
嚴如上人五十回忌法要..... 三

國民政府
【政治・軍事】
陳特派大使訪日..... 三

周特派大使訪滿..... 三

天皇陛下に同光大勳章御贈進..... 三

佛政府鼓浪嶼共同租界放棄通告..... 三

清鄉工作揚子江を越ゆ..... 三

東條內閣改造華字紙の反響..... 三

保甲戶口制度實施..... 三

汪主席を新民會名譽會長に推戴..... 三

日滿華三國代表者會議決議文..... 三

中共有力黨員國府參加..... 三

上海近郊敵性國人收容..... 三

上海地區敵產移管式..... 三

國府新國民運動展開..... 三

國府人事一束..... 三

【財政・經濟】
中北支開決済濟方法決定..... 三

南支對各地の爲替決済方式..... 三

軍需物資統制辦法案可決..... 三

國府公務員物資俸給採用..... 三

上海買占め事件真相公表..... 三

【華北】
▲政治
華北剿共委員會創設..... 一〇

「國府の參戰と北支軍將兵」..... 一〇

烟總司令官華北視察..... 一〇

山東東亞新報發刊..... 一〇

▲經濟
華北食糧需給圓滑化..... 一〇

華北交通四ヶ年の業績..... 一〇

天津、山海關間に保税輸送實施..... 一〇

▲蒙疆
對滿借款を完済..... 一〇

滿洲國
皇帝陛下東條首相接見..... 一〇

皇帝陛下關東軍司令官官邸へ御臨..... 一〇

▲政治
東條首相張總理交離..... 一〇

周中國特派大使來滿..... 一〇

保安拘留思想矯正制度司法部機構改革..... 一〇

▲經濟
本年度貿易方針..... 一〇

鐵鋼價格引上げ..... 一〇

本年度滿洲移駐工場は廿四金引下げ..... 一〇

▲社會
滿洲調查機關聯合會新發足..... 一〇

重慶政權
▲政治・軍事
三民主義青年團大會..... 一〇

重慶市民に引揚げ命令..... 一〇

▲外交
對外借款の償還誇張..... 一〇

熊式輝重慶歸還..... 一〇

重慶國際突擊隊現る..... 一〇

在支米將空軍増強に躍起..... 一〇

米對日攻撃の再檢討か..... 一〇

雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

▲財政・經濟
雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

▲外交
雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

▲財政・經濟
雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

▲外交
雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

▲財政・經濟
雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

▲外交
雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

▲財政・經濟
雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

▲外交
雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

▲財政・經濟
雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

▲外交
雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

▲財政・經濟
雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

▲外交
雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

▲財政・經濟
雲南派遣軍司令に陳誠..... 一〇

大東亞

工業建設計畫會議……………(一七)
 物價問題紛糾……………(一七)
 物價統制益々強化……………(一八)
 公債消化不振……………(一八)
 統稅品目擴大……………(一九)
 △西北工作……………(一九)
 新疆を繞り米ソ關係微妙化……………(一九)
 西北油田開發に躍起……………(一九)

南方諸國

佛 印
 青木大東亞相來訪……………(一九)
 日本語教授綱要……………(一九)
 佛印華僑の對支送金……………(一九)
 日本文化會館設立日佛印了解成立……………(一九)

大東亞相に勳章御贈與……………(一九)
 衣服材料買賣許可制……………(一九)
 佛印泰國境線大動脈路開通……………(一九)
 軍法令を發布……………(一九)
 マライ・スマトラ
 ベラワン港復舊記念式……………(一九)
 本年度豫算承認……………(一九)

パール長官訪日感想……………(一九)
 對外放送擴充……………(一九)
 東 印 度
 【ジャワ】
 原住民日本留學制度實施……………(一九)
 新年度豫算編成……………(一九)
 警防團組織……………(一九)
 原住民受刑者に恩典……………(一九)
 地方制度改正……………(一九)

【ボルネオ】
 西ボルネオ土侯日本完勝祈願……………(一九)
 【セレンゲティ】
 既設工場の整備活用……………(一九)
 地方行政軌道に乗る……………(一九)

【ニュージーランド】
 佐藤侍從武官ニュージーランド視察……………(二二)
 比 島
 【政治一般】
 北部ルソン 新鐵路線起工式(四)カリバビ團員既に五十五萬……(二四)
 マニラ市隣組結成大會……………(二四)
 ビサヤ地方長官會議……………(二四)

【經 濟】
 不動産投機防止令公布……………(二四)
 比島物價對策委員會設置……………(二四)
 金融網着々整備……………(二四)
 棉花收穫高發表……………(二五)
 濠 洲
 【政治一般】
 濠洲議會閉會……………(二六)
 反輻軸作戰指導に不滿……………(二六)
 濠空軍獨立……………(二六)
 徵兵年齡年下げ……………(二六)
 人的資源動員狀況……………(二六)

【經 濟】
 シドニーの沖仲仕爭議……………(二七)
 物價停止令公布……………(二七)
 ニュージーランド
 新西蘭豪華船沈没……………(二七)
 近く割當制實施……………(二七)
 印 度
 對印武器貸與狀況報告……………(二七)
 ガンヂー和協派會見許可……………(二七)
 拒絕……………(二七)

印度國防會議開催……………(二八)
 印度國防章程廿六條無效……………(二八)
 印度政廳また敗訴……………(二八)
 南阿印度人土地所有禁止問題……………(二八)
 ボンベイ市に食糧割當制……………(二八)

世界情勢

歐 洲
 【ソ波紛糾】
 ヒ總統輻軸各國首腦と會談(二九)
 グ・ベ・ウの虐殺事件暴露(三三)
 波亡命政權聲明を發表……………(三三)
 續々大量虐殺發見……………(三三)
 ソ聯斷交を通告……………(三三)
 申込みを撤回……………(三三)
 歐洲西岸の防備全く成る……………(三三)
 ド イ ツ
 【政 治】
 ▲總統の誕辰……………(三三)
 ゲ元帥慶祝を布告……………(三三)
 ヒ總統伊司令官を引見……………(三四)
 外交陣移動發表……………(三四)
 佛反逆分子軟禁……………(三四)
 【軍 事】
 デーニッツ元帥に鐵十字章……………(三四)
 【經 濟】
 新州會議所活動開始……………(三五)
 【占領地各國】
 リトアニア對ソ抗戰を決議……………(三五)
 白新聞協會長暗殺さる……………(三五)
 クロアチヤ外相更迭……………(三五)
 イタリヤ
 【政 治】
 伊洪兩首相會談……………(三五)
 政府の決戰態勢……………(三五)
 組合相更迭……………(三六)
 フランスト黨綱領……………(三六)
 フ、勃兩國間の國境畫定……………(三六)
 伊、ス兩國の通商協定……………(三六)
 日高大使聲明……………(三六)
 【軍 事】
 ニューヨーク爆撃も可能……………(三七)
 海軍首腦更迭……………(三七)
 【經 濟】
 閣行爲に嚴罰主義……………(三三)
 新增稅を發表……………(三三)
 【法 王 廳】
 フランス
 首相對獨協調を言明……………(三三)
 ベ元帥佛國民に訴ふ……………(三三)
 米英が與へた損害甚大……………(三三)
 叛逆分子を國外追放……………(三三)
 ソ聯人及赤系スペイン人逮捕……………(三三)
 スペイン
 中立國「聯盟」案を提唱……………(三三)
 共產主義の脅威を強調……………(三三)
 ポルトガル
 首相の演說微妙……………(三三)
 スイス
 金輸出入統制令公布……………(三三)
 北歐諸國
 【フィンランド】
 獨藏相訪問……………(三三)
 米公使館員引揚……………(三三)
 【スエーデン】
 政府中立堅持を言明……………(三三)
 【デンマーク】
 丁瑞物々交換補足協定成立……………(三三)
 【アイスランド】
 共和政體實施……………(三三)
 バルカン諸國
 【ハンガリー】
 首相、輻軸への協力を説く……………(三三)
 ス、ハ兩國經濟協定調印……………(三三)
 【ルーマニア】
 伊、羅文化協定調印……………(三三)
 【ブルガリア】
 勃芬新通商協定締結……………(三三)
 ソ聯邦
 【一 般】
 生産増加を強調……………(三三)
 佛亡命政權樹立か……………(三三)
 全鐵道に戒嚴令……………(三三)

【經 濟】
 參謀總長更迭……………(三三)
 ブジョヌマイ元帥にレーニ
 ン章……………(三三)
 【經 濟】
 本年度家畜増産決定……………(三三)
 生産増強に邁進……………(三三)
 西亞諸國
 米英兩國の對立……………(三三)
 【アフカニスタン】
 【イラク】
 英新利權獲得……………(三三)
 【キプロス島】
 【イラン】
 藏相辭任……………(三三)
 騷擾深刻化す……………(三三)
 英要人續々テヘランへ……………(三三)
 英軍軍事施設を不法占領……………(三三)
 米鐵道を接收……………(三三)
 混合裁判所設置……………(三三)
 【トルコ】
 通商協定續いて成立……………(三三)
 英軍司令首腦部と會見……………(三三)
 重慶使節首腦と會見……………(三三)
 【シリア】
 シリア地方の物情駭然……………(三三)
 經濟相更迭……………(三三)
 アフリカ
 【エチオピア】
 カイロに西亞會議を開く……………(三三)
 黒書で内閣を非難……………(三三)
 汎アラブ大會を繞る動向微妙……………(三三)
 王族輻軸陣營へ……………(三三)
 議會反英熱昂る……………(三三)
 【北 阿】
 米伯西三國代表會見……………(三三)
 反輻軸第十八軍を編成……………(三三)
 反輻軸首腦會談……………(三三)
 【南 阿】
 土民軍不穩……………(三三)
 印度人土地禁止法案通過……………(三三)

議會閉會……………一三五

反樞軸聯合國……………一三五

太平洋戰局で米陣不一致……………一三五

地中海地域反樞軸空軍全貌……………一三六

米加兩國北方空路を企圖……………一三六

通貨問題を繞る米英對立……………一四〇

反樞軸食糧會議……………一四〇

反樞軸商船増産の真相……………一四〇

避難民會議……………一四〇

亡命政権……………一四〇

フランス……………一四〇

ド・ゴールの北阿訪問拒否……………一四〇

北阿三頭政治を企圖……………一四〇

海外評議會を提案……………一四〇

ベルギー……………一四〇

ギリシヤ……………一四〇

イギリス……………一四〇

放 治……………一四〇

チャーチル演説の内容を發表……………一四〇

イ外相訪米問題……………一四〇

イーデン訪米使命を報告……………一四〇

イーデンの工作全く失敗……………一四〇

對印度問題……………一四〇

倫敦印度聯盟決議案採擇……………一四〇

印度の役割を評價せよ……………一四〇

對米非難……………一四〇

議員公然米國を非難……………一四〇

政 黨……………一四〇

労働黨内訌……………一四〇

軍 事……………一四〇

ピルマ作戦失敗を頻に陳辯……………一四〇

通商破壊戦で國內不安増大……………一四〇

今次大戦の前途は暗い……………一四〇

財政・金融……………一四〇

一九四三―四四年度豫算……………一四〇

財政愈々逼迫……………一四〇

債務國に轉落……………一四〇

軍需生産の滯滞を指摘……………一四〇

石炭増産に躍起……………一四〇

配 給……………一四〇

食糧に重大不安……………一四〇

北愛爾蘭……………一四〇

反英示威運動……………一四〇

首相桂冠……………一四〇

米 洲……………一四〇

ハル・米洲の結束を説く……………一四〇

米墨兩大統領會見……………一四〇

中南米スラブ會議……………一四〇

コ・ヴェ兩國々境劃定協定……………一四〇

米洲各國經濟協定……………一四〇

カナダ……………一四〇

政 治……………一四〇

イーデン、首相と會談……………一四〇

イーデン議會で演説……………一四〇

カナダ中心の空路を企圖……………一四〇

軍 事……………一四〇

空軍の養成情況……………一四〇

空軍の現有兵力……………一四〇

一萬五千名の大罷業を開始……………一四〇

カナダの飛行機増産……………一四〇

アメリカ……………一四〇

ルーズヴェルト世界制覇企圖……………一四〇

太平洋經營を夢る……………一四〇

英帝國分割論……………一四〇

大統領四選問題……………一四〇

微妙な米國政界の動き……………一四〇

有力知事を現役に召集……………一四〇

議 會……………一四〇

農作物價昂上法案をル大統領拒否……………一四五

農務法案下院委員會に附議……………一四五

國際通貨米國案提出……………一四五

國務省の豫算削減さる……………一四五

支那人船員強制移送法案上院通過……………一四五

弗安定資金延長案成立……………一四五

對外關係……………一四五

國務次官補米ソ兩國の關係に付き陳辯……………一四五

ジロイ擁立策積極化……………一四五

武器貸與……………一四五

智利に武器貸與……………一四五

濠洲及び新西蘭よりの代償……………一四五

アラビアに適用……………一四五

對北阿武器貸與情況……………一四五

一 般……………一四五

ノルマンディー號の引揚斷念……………一四五

將來の航空問題を氣に病む……………一四五

人 事……………一四五

歐洲重點主義に異議……………一四五

日本空襲を呼號……………一四五

北方の戰略路開通……………一四五

科學新兵器出現……………一四五

人 事……………一四五

陸 軍……………一四五

八百廿萬は絶対必要……………一四五

重慶飛行士空軍に配屬……………一五六

陸空軍新訓練計畫……………一五六

海 軍……………一五六

ソツクス豪語……………一五六

潜水艦戦に悲鳴……………一五六

海軍の新航空基地建設……………一五〇

海軍、海事委員會對立……………一五〇

艦艇續々建造……………一五〇

財政・金融……………一五〇

新海軍豫算案提出……………一五〇

軍需生産の規格統制……………一五〇

飛行機……………一五〇

フォード重爆工場の生産滯滞……………一五〇

飛行機生産増大を誇示……………一五〇

新型機の性能……………一五〇

造船……………一五〇

造船力を誇示……………一五〇

明年度造船計畫案……………一五〇

新造船進水……………一五〇

生 産……………一五〇

天然ゴム生産……………一五〇

昨年の銹鐵生産高……………一五〇

食糧計畫破綻……………一五〇

物 價……………一五〇

インフレ阻止令……………一五〇

物價安定令……………一五〇

勞 務……………一五〇

人的資源の實狀……………一五〇

軍需工業の怠業問題……………一五〇

争 議……………一五〇

フォード會社の罷業……………一五〇

炭坑争議……………一五〇

ケネディ突如辭職……………一五〇

罷業開始罷業人員既に六……………一五〇

萬ルーズヴェルト強硬決定を通過……………一五〇

ルイス拒絶す……………一五〇

總罷業決行……………一五〇

中南米諸國……………一五〇

メキシコ……………一五〇

赤色スペイン人收容同意……………一五〇

キューバ……………一五〇

内閣一部改造……………一五〇

西印度諸島……………一五〇

佛領マ島と斷交……………一五〇

バナマ……………一五〇

米國バナマに權益の一部を移讓……………一五〇

アラジル……………一五〇

反樞軸同盟加入……………一五〇

チリ……………一五〇

亡命チエツコ政權を承認……………一五〇

激震の被害甚大……………一五〇

アルゼンチン……………一五〇

大統領選舉を前に政局活潑……………一五〇

コロンビア……………一五〇

駐ソ公使任命……………一五〇

内閣の一部改造……………一五〇

ウルグアイ……………一五〇

借款協定を拒否……………一五〇

ボリヴィア……………一五〇

政府の宣戰布告文……………一五〇

エクアドル……………一五〇

農相更迭……………一五〇

筒信通

時事・文化 話題 ニュース

ダ・ヴィンチの誕生日

文藝復興期のイタリヤの偉大な
 畫家兼科學者レオナルド・ダ
 ヴィンチの明確なる誕生日がド
 イツ人醫師エミール・ミューラ
 ーの研究によつて判明した。従
 來ダ・ヴィンチの正確なる誕生
 日は各國の學者によつて研究さ
 れてゐたが揣摩臆測の域を出ず
 依然學界の謎とされてゐた。し
 かるにミューラー氏は氏がフロ
 ーレンスに於て發見したレオナ
 ルド・ダ・ヴィンチの祖父の手
 紙によつて正確なる誕生日は一
 四五二年四月十五日と斷定し、
 ダ・ヴィンチ研究者の注目をひ
 いてゐる。

百日咳豫防の研究成功

百日咳は必ず豫防出来る——百
 日咳の豫防法としては從來加熱
 ワクチンの皮下注射が行はれ、
 其免疫効果は六十二パーセント
 に過ぎなかつたが、京都帝大大
 谷敏夫博士は九ヶ年に亘る苦心
 の研究の結果百日咳菌にグイタ
 ミンDを加へ六ヶ年間の培養に
 よつて菌の毒力を薄め遂に理想

的な可變性百日咳菌の精製に成
 功した、このワクチンを未經験
 兒童千六十六名に接種したとこ
 ろ發病者僅に四名で殆ど完全な
 免疫を持つといはれ劃期的な成
 果をあげ、しかも從來の加熱ワ
 クチンの持價が極めて短期間で
 あつたのに對し、これは年數を
 經るに従つて愈よその威力を増
 大し、また同時にその接種方法
 も鼻孔から吹霧器で吹き込むと
 いふ簡単な方法が講ぜられ、こ
 こに幼兒の敵百日咳撲滅も可能
 視されるにいたつた。

ローマの遺跡

ローマ時代の遺跡が又一つ發掘
 されて古代文化史研究家を喜ば
 せてゐる。場所はサン・クリン
 ゴノ教會の鐘樓、その發端が空
 襲に備へるために件の鐘樓の根
 方の處へ貯水池を造らうとして
 掘り起してゐた時偶々遺跡らし
 い形跡を發見し、しかも推定西曆
 一世紀の建築だと云ふから約二
 千年近く地下に眠つてゐたもの
 が、反樞軸軍の空襲に依つて陽
 の目を見ることになつた譯であ
 る。現在壁畫のある部屋が發掘
 されたが全くポンペイ朝風で壁
 畫は既に遠近法を用ゐることが
 注目されると共にギリシヤ、ロ

ーマ神話から取材された花綵、
 斐、人體等が畫かれ、人體は既
 に露はな裸體畫であることも注
 目されてゐる。

自動車用新燃料發明

最近のベルリン電報は自動車用
 燃料の發明を傳へてゐるが、こ
 れは「パーマガス」と呼ばれる
 もので氣狀のものである。西部
 ドイツで行はれた試験の結果大
 成功を収めたので、全國に亘り
 「パーマガス」供給スタンドを
 設立する計畫と傳へられる。

この新燃料は貯藏及充填のため
 に高壓を以て壓縮しても常に氣
 狀に近い狀態を呈し近く瓦斯工
 場によつて製造され特殊なパイ
 プによつて、各スタンドに供給
 されることになつてゐる。今度

設立されるスタンドは各三百五
 十氣壓に壓縮した瓦斯を收容し
 得る二百立方メートルのタンクを八個
 設備して毎日三百臺の自動車に
 供給し得る能力を有してゐる。
 計畫によると一日約一萬五千臺
 自動車の要求を満し得る五十箇
 の供給スタンドが設置される豫
 定である。

蛇毒の新治療法發見

南方國各地に棲息する毒蛇コブ

ラの猛毒に對する血清新治療法
 が臺北帝大熱帯醫學研究所員醫
 博桑島謙夫氏によつて完成され
 た。桑島博士は最も免疫の困難
 視された臺灣コブラ、兩傘蛇な
 どの猛毒に挑み傳研の田中哲之
 助博士創製の「出血性蛇毒の單
 價免疫血清」の方法に従つて臺
 灣産コブラと、兩傘蛇の混合毒
 から會つてない高度の抗毒素の
 獲得に成功、實驗の結果臺灣コ
 ブラ、兩傘蛇をはじめ全然種別
 の異なる佛印、泰、廣東、海南
 島産各地コブラの猛毒をも中和
 し得たほか、ジャバ産コブラの
 猛毒をも完全に中和する素晴し
 い偉力を發揮、ここに學界多年
 の要望たる蛇毒の多價血清作成
 を見事なしとげたものである。

ソ聯の地震研究

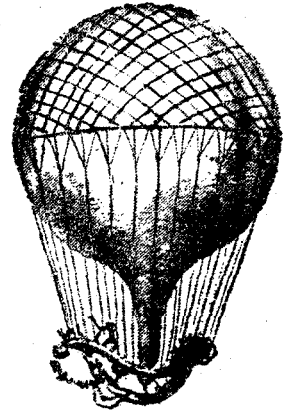
ソヴェエト政府はソ聯國內各地
 に十二個所の地震觀測所を設置
 してゐるが、一九四二年中にこ
 れらの觀測所で記録した地震回
 數は二千二百七十八回の多きに
 上り被害を伴つた地震はその中
 三百回であつた、戰爭中にも拘
 らず専ら地震に關する調査、研
 究が進められてゐるが、最近の
 研究で最も注目されるのはセベ
 ランスキー、トレロフ兩氏の共

同發表に依つて震源深度が七百
 キロメートルに達することがあ
 り得ることが實證されたことで
 從來の定説に従へば震源深度は
 最大三十キロメートルといはれ
 てゐたものである。

カンガルに自爆

西南太平洋反樞軸空軍切つての
 「爆撃の名手」と云はれるケネ
 ス・マツケラー少佐がカンガル
 ーと衝突「不名譽の戦死」を遂
 げたといふ珍談が傳へられてゐ
 る。右ニュースを臆面もなく放
 送したのはサンフランシスコ放
 送局だが放送の要點次の通り
 「西南太平洋に於ける爆撃の王
 者ケネス・マツケラー少佐は飛
 んでもない事故で戦死を遂げた
 マツケラーは先週夜間爆撃に出
 發しようとした所、カンガル

の一隊が眞霧中に滑走路に墾け
 込んで來て爆撃機にぶつかり爆
 撃機は顛覆搭載してゐた爆弾は
 大半爆破してしまつた。マツケ
 ラー少佐と同乗してゐた乗組員
 は全部行方不明」
 といふのだが、これは濠洲に於
 ける反樞軸軍司令部の發表であ
 る。



資料と解説

各國の戦時厚生

まへがき

厚生問題は歐米各國に於ては、餘暇問題、勞働問題、保健問題、衛生問題其他等様々のカテゴリーにより古來より論議され發展して來たものであるが、殊に世會大戦後に於けるこの運動は顯著な發展を遂げてゐる。ドイツ、イタリヤ、またアメリカに於ても厚生運動は各この立場からして、強力な組織の下に夫々特色ある展開を見せてゐる。アメリカでは所謂デモクラシーを基調として餘暇利用による慰安休養を主眼とするリクリエーション運動として發達して居り、ドイツに於てはそのナチスの國家社會主義政策から所謂國民協同體建設の理念に沿へる運動として、更にイタリヤのそれはファシズムに照應して何れも異彩ある展開をなしてゐる。特にナチスに於けるクラフト・デュルヒ・フロイデ團(K・D・F)及びイタリヤのドボラヴォロ團(O・N・D)に指導される厚生運動は全體主義國に於てのみ可能な極めて強力なものである。

獨逸の國家厚生組織

全國的な厚生政策 ナチス厚生運動を主宰するものはドイツ勤勞戰線を母體とする所謂「K D F」團であるが其の名「歡びを通じての力」によつてその母體は略々想像出来るものである。

に分れ、細胞組織が採用せられ、更に各々經營内に七萬八千餘名の職場管理者が配置されてゐる。

千トンの專屬船ツキルヘルム・グストロフ號が進水した、これらの大旅行によつてドイツの勞働者達は地中海へ、またノールウエーへと豪華な旅を樂しむのであつたが而もその費用は八日間の海上旅行が僅か五〇マルク、更に事情によつて割引もされ無償にもなる陸上では休暇勞働者に乗せた特別列車がベルリンからバイエルンへ、東プロシヤからベルリンへと走る。或はまた經濟上惠まれない邊境の地に團體旅行が組織される。陸上旅行八日の費用が僅か二〇マルク、費用に對して出来るだけ多數の参加を可能ならしめるために特別の貯金制度も設けられてゐる。

階級闘争乃至共産主義を排して之に代ふるに家族協同體を基底とせる強力な民族協同體の理念を高く掲げるナチズムにおいて、國民協同體の建設を主たる目標とするものはドイツ勤勞戰線である。文化政策上より見れば厚生問題は休養、營養、教養の三者に盡され其の交錯する所に衣食住問題、健康維持並びに促進問題、精神的健全性及び情操涵養の問題が決定せられる。ドイツ勤勞戰線は黨の指導の下に産業の各部門に全國的に細胞の網を張り國民大衆はこの中においてナチスの世界觀を注入される。生活は既に單なる個人生活でなく團體的訓練となり組織的な社會行動である。K・D・F團はナチス勞働理念の文化的表現であり謂はゞ實踐的ナチス主義其のものと云へる。これを組織上より見れば黨及び勤勞戰線に對應して全國三十二の大管區(州)八百中管區(郡)、一萬八千の小管區(町村)

活動部面より見れば(一)餘暇善用部(二)旅行ハイキング(三)休暇部(四)公民教育事業部(五)スポーツ部、(五)勞働美化部の五部分れてゐる。

活動部面より見れば(一)餘暇善用部(二)旅行ハイキング(三)休暇部(四)公民教育事業部(五)スポーツ部、(五)勞働美化部の五部分れてゐる。

目標よりして「最高記録」は問題外で、國民の平均壽命を永くし肉體的能力を出来るだけ鍊磨せるのが目的であつてK・D・Fはドイツ體育聯盟との緊密な連絡の下にスポーツの大衆化を計るためには自ら手を差延べてゐるのである。運動の種類は陸上、水上、夏季冬季萬般に亘り基本體操より競技に及んでゐるが、ヨットやグライダーは年々盛大になつてゐる。K・D・Fスポーツ部は講習會と共に各經營内の體育獎勵に當り肉體訓練と共に協同精神の鍊成を目指してをり、スポーツ教師も三千名以上に及び大きな經營では自分の水浴場、體操場、と設けることが目標とされてゐる。

活動部面より見れば(一)餘暇善用部(二)旅行ハイキング(三)休暇部(四)公民教育事業部(五)スポーツ部、(五)勞働美化部の五部分れてゐる。

活動部面より見れば(一)餘暇善用部(二)旅行ハイキング(三)休暇部(四)公民教育事業部(五)スポーツ部、(五)勞働美化部の五部分れてゐる。

活動部面より見れば(一)餘暇善用部(二)旅行ハイキング(三)休暇部(四)公民教育事業部(五)スポーツ部、(五)勞働美化部の五部分れてゐる。

物質の見地から勤勞者の幸福、健康を顧慮する事なしに造らるべきではない。作業に對す

給せられ、疾病、衰弱などの場合は保護院の無料診断をうけ、「母と子の保護會」の病院に收容される。尙ほ工場婦人の爲めには訪問婦保健婦、保護婦、家事の教師等が配属される仕組である。

イタリヤの大戦突入と共にドボラヴォロの活躍はいよいよ強力になつてゐる。國境近き「勤務の後」會館は出征兵士の爲め娯樂、慰安等恤兵のあらゆる設備を整へてゐる。參戰後三ヶ月の中に二七、四、五回の娯樂會が催され「テスピの車」また二十二組が動員されて四百ヶ所に於ける出演七、四、八回に及んでゐる更に移動圖書館、ラジオの設備が遠隔の地にも元備されてゐるのでドボラヴォロの活動は今や遠くアフリカの邊境にも擴大せられつつあるのだ。

金權具紛々米英の厚生

弗の國アメリカでは厚生運動も極めて盛大で大掛りでもあるが所謂自由主義、民主主義の色彩はここにも顯著で全體主義國家としての獨伊のやうな單一的な形態はなく運動の主體が政府、都市、産業、私的團體など公私様々であるばかりでなくその社會政策的根據も夫々の立場より組織展開される結果資本主義的色彩濃厚なるは争はれない。従て厚生運動も休養、娯樂、慰安、リタリエーションとして極めて多岐な状態である。ワシントン政府は公園、森林管理局を通じて各種公私團體に協力する。各州の公園委員會、森林委員會、漁業委員會も餘暇利用に助力し地方行政團、學校などは保養所、旅行等の配慮をしてゐる。大き

い團體には全國厚生協會があり其他一部にはキリスト教青年會の協力によるものあり住宅組合、少年團、少女團、労働組合、其他特殊クラブに組織されるもの等々様々である。體育獎勵の施設としては國有の森林や公園内に野營天幕、乗馬道、散步道、プールがあり、ハイキングコースにはホテル、宿泊所、山小屋などがある。これと共に政府の労働振興策は體育の獎勵ともなり労働振興費の緊急労働のため支出する全額中八分の七はスポーツに充てられてゐる。勤勞者の慰安、娯樂生活はクラブを中心としてゐるが、餘暇利用の事業に占める宗教團體の役は可成り大きいものがあり殊にキリスト教青年會及び女子青年會は全國に會館を有し、水泳場、スポーツ場、讀書室、映畫室などを設けまた旅行及びハイキングを組織して小額の費用で海外旅行を行ふ事もある。救世軍の活躍も目ざましきものがありハイキングや旅行などの他に野營生活において貧困者を無料休養し且つ體育を行ふ。

英國に於てもまた餘暇利用の問題は漸時檢討にれる形である。元來、その傳統と宗教的影響によつて英國國民がそれを楽しむ傾向は比較的少なかつたのであるが軍備擴張による人的資源の擴大を考慮し政府も國民の體育獎勵體位向上を圖らざるを得なくなつた。

産業調劑協會、次いで工場スポーツ協會の設立せられたのも自然の勢ひでかうした事業は各方面に進められてゐる。而も斯る問題は政府の干渉を好まず自發的に遂行するイギリス人氣質から工場主の中には運動場、プールを設けて労働者の向上を計り素人劇團やオーケ

ストラを組織して慰安につとめ林間學校、補習學校を建設したり、従業員に一定の有給休暇を與へたり、クラブを設けたり、舊套のイギリス人には急テンポの變化を示してゐる。職場の衛生設備については新工場法が實施され、工場衛生、醫療施設、事故防止、福利施設、婦人兒童に關する規定があり海員の厚生については商工會購所より船舶乗込員の居室、浴室、勤務時間等に關する規定が發布された。

ドイツの猛攻にあへぐソ聯では萬一生産面に缺陷を生じては由々しき事と、労働力維持増強の爲に凡ゆる社會施設や教育施設が考案されてゐるやうだ。要は労働力確保のためソ聯邦の新憲法では労働者に次のやうな權利が認められてゐる。

△休息權—これによつて労働者は海岸や山中の保養地、サナトリウム、休息の家等に收容される權利がある。第二次五ヶ年計畫ではサナトリウムは其の數二、三〇收容人員一八〇萬、休息の家は其の數六、二一、收容人員はこれも一八〇萬である。

△老齡、疾病、労働力喪失の場合物質的保證をうけられる權利—此場合労働者は一定の保險料が得られ之は企業者の負擔になる。

△教育をうける權利(以上の場合各婦人も同權)

△婦人に特殊な社會保證をうける權利。

婦人、小兒に對しては更に醫療事業、衛生防疫事業、産婦、妊婦、乳兒の保護施設、幼稚園、託兒所、牛乳の配給制度などあるが急激の施設で應用される向きもあり改正法令を出した。これによつて妊婦の休暇は出産の前

後六十三日に短縮されたがそれも一定労働に七ヶ月以上勤続するものに限られ、技術や勤務状況によつて、給附に一定の差が設けられてゐる。労働の移動や缺勤の防禦、能率や技術の向上をねらふ主旨が明正である。

然も情勢は逐次切迫を告げて來た爲め労働者に對する社會施設費の支出は第三次五ヶ年計畫において著しく増大して居り、社會保險教育、母子手當其他各種の文化施設について見ると一九三七年の三〇八億ルーブルは一九四二年五三〇億ルーブルとなつてゐる保健に要する支出も一九三七年の一〇三億ルーブルから一九四二年は一六五億ルーブルに増大した。病床數も三五萬四千から四八萬二千に、産院ベッドも四萬七千から十三萬六千に増大した。

託兒所や幼稚園の收容數も一八〇萬人から四二〇萬人となつてゐる。保健向上の爲には更にこれに活動する醫師、看護婦、保姆の養成が必要であるので其の爲に學校や養成所の大増設を行ひ更に其の活動分野を擴張するべく人民委員會議では「中級職務職員養成の改善に關する件」なる法令を發布してゐる。

慰安施設も亦労働者にとつて不可欠の爲政府の設備として各工場、コルホーズに「演劇サークル」「音樂サークル」「文藝サークル」等を作つて藝術を觀賞させたり、芝居を實演させたり、又人民委員會議附屬藝術委員會には劇場の幹部養成の爲に劇研究所を増設したり各地の都市に劇場を新設したりしてゐる。

インド最近の食糧事情

ガンジーの断食をめぐつてインド國內の反英抗争は激化の一途を辿り、物情いよいよ騒然たるものがあるが、これに加へて食糧不足は頗る熾烈となり民心の不安に拍車を加へてゐる。

食糧不足事情

従来主としてビルマよりの輸入に仰いでゐた米をはじめ、砂糖、穀物、などの不足が著しく激化してゐる。これが原因として次の如き事情があげられる。

- 一、インド駐屯のイギリス軍が多量の食糧品を消費すること
- 二、西亜進駐軍の軍糧に輸送すること
- 三、農民が政府の決定價格でその生産物、特に穀物を賣却しないこと
- 四、ビルマ、マライ、舊蘭印及び濠洲よりの食糧輸送の杜絶或ひは激減したこと
- 一、農家の穀物隠蔽

以上の諸原因が指摘されるが、インドは元來國內需要の米は相當部分輸入し、食糧需給は極めて不安定な實情にあつた、インド國內の穀物平年作は

米	二、六五〇萬トン
小麥	一、〇〇〇
大麥	一、四〇〇

其他穀物 六、〇〇〇

であり以上をもつてしても辛うじて自給可能といふ程度であり、現在は通常の國內消費以上の供給を必要としてゐるのである、即ちセイロン島では米に依存し、イランも小麥を必要とし反極軸側はまたインドより輸入せんとしてゐるのである。

インドの穀物輸出は一九三九年九月から四年六月まで米八十二萬七千トン、小麥四十三萬トンその他穀物及び豆類二十七萬八千トン、合計百五十三萬五千トンと發表されてをり、米の大部分はセイロン、アラビヤ、小麥はイランなどにそれぞれ輸出されたといはれるが、所要量を充すにはなほ遙かに遠く、大戦以來の米供給不足は約二百二十萬トンで一九四〇—四一年度の不足は約四百四十萬トンに達したといはれる。

その対策

インド政廳はこの食糧飢饉緩和策として次の如き對策を發表してゐる。

- 一、近く英本國より相當量の小麦をインドに輸送する
- 一、小麦價格の統制を解除し國內の穀物過剰地域に政府買付機關を設置し、過剩穀物を買上げこれを不足地域に振向ける
- 一、食糧品の貯蔵を禁止し違反者は處罰する
- 一、セイロン島以外の諸國への米穀輸出を中止する

このほか穀物増産奨励策として農作物の播種面積の擴張（短絨維棉花の播種面積半減）及び種子の改善利用などの方法により今後穀物八十五萬トンの増産を期待してゐる。

しかし、これらの諸對策を阻害するものは印度經濟の弱點ともみられる運輸の不備なことである。例へば車輛の不足インドの内部地方に十分な鐵道連絡のないこと、インドの諸鐵道のゲージが異なることは輸送を甚しく困難ならしめてゐる。また農民側についていへば、彼らは自己が必要とする食糧以上を生産して儲けようといふ氣持が殆んどないことなどである。

物價の暴騰

食糧情勢の逼迫は一方に安を惹起せしめてゐる、主要物資に對しては既に價格騰貴抑制の措置が講ぜられてゐるが食料品の價格統制は非常に困難で、政廳の暴利並びに賣惜しむ取締りも失敗に歸し、輸送機關の不足と相俟つて食糧の缺乏はひいて價格の無暗な暴騰を促し鬪取引の横行を傳へてゐる。

インド政廳發表のカルカッタ卸賣物價指數はこの間の暴騰振りを如實に示してゐる。即ち昨年十二月現在の綜合指數二三八（一九一四年七月基準）と昨年一月の一五五に比し八三ポイント、一九三九年八月の一〇〇に比し實に一三八ポイントの騰貴となつてゐる。特に米價指數は一九三九年八月の一〇〇から昨年末には一五〇、また黍は同期間に二二七から二四一に騰貴してをり、インド新聞は現在の生計費は歐洲戰爭勃發前に較べて數倍になつてゐると報じてゐる。なほインド政廳の移出措置によつて食糧品中最近出廻りをみたものもあるが、大抵の民衆には一寸手が出せないやうな高値であるといはれる。

農業の特徴

インドの人口三億八千萬のうち約七〇%までが農業（うち牧畜二%）で生活し且つその九〇%までが農村に居住してゐる。しかも全農業人口のうち地主階級は僅か三%を占めるにすぎずその他の大部分は貧農である。そして全耕地の半分以上は地主に屬し、地主は土地を封建的關係において農民に賃貸する、しかしインド農民經營の特色は一經營の土地が極めて狭小細分されてゐることである（この點もまた増産を阻害する一因である）。

従つて富農の勢力は壓倒的に大であり、かくして全インドに亘つて農民は總て土地飢饉に悩み、農村の貧窮化は畜農經營の著しい發達と共にインド農業を特徴づけ、地主と農民の階級對立を激化せしめてゐる。

むすび

かくして英當局の搾取と食糧不足及び價格騰貴に悩むインド民衆は政廳の施策に多大の不滿を抱き、殊に國民會議派のごときは政廳に對し極めて非協力的態度を示し、また同派一部煽動派は非合法的リーフレットを撒布し農民に農産物供出の停止、紙幣受理の拒絶並に小作料支拂の延滞を煽動してゐるといはれる。この秋インド民衆は自國の食糧缺乏を犠牲にして、よく反極軸國に對する兵站地としての役割を何時まで続け得るであらうか、食糧問題もまた今後の政治的發展と共に大いに注目されることである。



同盟現地報告

神 秘 境

印緬支國境を語る

雲南怒江方面及び北部印緬國境方面作戦に従軍の同盟通信記者及び寫眞班は偶然〇〇において一ヶ月半ぶりに再會、標高二三千米以上に達する雪の高黎貢怒江山脈の山岳作戦従軍の苦心について交々語り合つた。

無人境怒江山脈

B 高黎貢山の頂上は約一尺位の積雪があり、特に陽の當らぬ怒江側斜面には雪が深く朝夕の寒さは内地の冬と變りがなく、まるで信州の高山地帯を思はせるやうだつた。頂上から眺めると遙かに怒江の悠久な流れが見られ、その河中は或る所では四十メートル、或る所では十メートルしかないのだ、怒江をはさんで怒江山脈は高黎貢山に輪をかけたやうに峻しきで更にその向うには雲南の惡魔のやう

な形をした山々が雲の中に續いて居り、この邊は土民の住んだ跡もなく熊笹が生ひ繁つた無人境である。 C 高黎貢山脈における行動が終るとともに、大江廻をして〇〇部隊に隨つて大盈河谷を登つたが、この溪谷はその昔マルコポーロが通過し、戦前もビルマ、支那を通過する隊商達の道だつた。谷に沿つて南北兩側に道があり、北側を舊道、南側を新道が通つてゐる。

A この隊商路を通つてみて面白い面影をとどめてゐることだつた。馬はこれによると大體一日に十里位は歩くのだらう。この一つ一つの宿驛は土司と稱する一種の豪族が主掌し多いので百名少いの

五十名位の手兵を擁し徴稅權を持つてゐて相當の勢力を振つてゐるらしい。この住民は雲南タイ人山頭人、支那人の三種があり、雲南タイ人は頭にターバンを巻き鐵刀を腰につけてゐるのですぐわか

る。 B この河谷一帶粟粟の花が丁度花盛りでとても綺麗だつたが、また階段式の水田が發達して良質の米を産し、内地の鮭米と同じやうなものを喰はして貰つた。 A 面白いのはどの家の壁にも約一寸の厚さに水牛の糞を張付けてゐるのである、乾燥して燃料にするのださうである。 B 太平街の手前の人口二千位の町に入つた時フランス及びイタリ

人の宣教師が二人ゐて共同でこの町でミツシヨンスクールを開き中等學校程度の教育を行つてゐるには驚いた。相當住民から信望されてゐるらしくカチン族でこの二人の洗禮を受けたものが五百名近くゐるらしい。 C 自分達は〇〇からフーコンに

いた。フーコン地帯の最も重要な町マインカンまでは〇〇から自動車で約二日の行程であるが、このフーコンとは所謂英政府統治時代の非行政區域の一に當り、英政府は年に一回位官吏が徴稅のために地を訪れる位でそれ以外は全然放棄してあつたところである。 C、は我が國の長野縣と同じ面積をもつ濕地の多い盆地でカチン、チン、シャン、ナガ族等が住みか

チン人七千、シャン人三千人位で他の種族は數へる程もゐない。フーコンの中心のマインカンは現在七、八百名のシャン人が住んでゐる。ビルマを追はれた英印支聯合軍の一部はここを通過してインドに逃げたのだつたが、その際住民を随分痛めつけたので英、印、支那人には今でも極端な惡感情を持ち、それだけに日本人がこの町に入ると十三人の土侯は日本への協力を心から申出た程だつた。 D このフーコン地帯はアフリカのコンゴ等と共に孔雀が棲息するので有名で、その昔奇獸採集の探險隊が時々入り込んだらしい。特別山奥に入らなくとも朝顔を洗

ひに河岸に行くと山猿の群が遊んでゐるのをよく見たり、孔雀が悠々と木にとまつて居るのを屢々見た。象、虎、鱉、猿、熊、鹿が此處の特産で、カチン族は孔雀の羽や、鹿の角を賣つたりして生活してゐるものもある。 チン族宣撫奇談 マイカンの土侯區宣撫に當つて殊勳があつた西中尉がマイカンから西北八十軒チンドウイン、メイガン、タラウに〇〇日チン族宣撫のため乗り込んだ時の話は痛快だ。 カチン、チン族とも言語は文字がなく會話だけのものに過ぎないのだが、通譯を連れて始めての日本人としてタラウに現はれた西中尉を見てチン族は、スツカリ吃驚したらしい。と云ふのは、チン族は日本人がビルマに來たり各所で英軍を撃破してゐるとの噂は聞いてゐるらしいが、長身の英國人、インド人を打ち負かす位だから日本人は更にその二倍もある立派な身體を有つ人種だらうと考へてゐる。ところが現實に見る日本人は自分達とさ程身丈は違はず、この小さい人種がどうして英印人を打ち負かしたかどピツタリしたさうである。 不人氣な英印支軍

D タラウの町でも矢張り英印支軍の人氣は極端に悪いといふのは英印支軍がこの町に入った時その誰かが持つて来たコレラ、マラリヤがこの町で流行してチン族にも數名の病死者を出したからだ。

D 敵は阿片や菓子で盛んにチン族の切崩しに努力したらしいが、英印支軍の悪辣な徴發で痛い目にあつたチン族はどうしても言ふことを聞かなかつたらしい。

C このタラウ方面もさうだが、フーコン一帯はジャングルと言はず、河原といはず山蛭があるのは閉口した、小休止から小休止までの間にゲートルの隙間やシャツの間から長さ一寸位の山蛭が知らぬ間に十四ばかりしのび込み血を吸つて眞赤になつてゐるのを発見する。それが中々うまく引ちぎれないので續に觸る。これ以外にダニ、蟻子がをり、毒草がある、毒草はてうど朝顔と同じ格好をしてゐる、裏に棘がある、これに觸れると二日間位惱まされる。

D このタラウに住んでゐるカチン族は元來人喰人種一種で、今でもお祭には隣部落の人間の首を取つて來て祭るさうだ。だから隣部落とは互に仇敵視してゐる。従

D この作戦で最初に敵とぶつつかつたのは我々が「鹽の谷」と呼んでゐる所だつた。なぜ「鹽の谷」と呼ぶかと言へば、ここはテイド河の兩岸が約三十米ばかりも切り立つてをり、川幅はやや廣いのだ

つてこのカチン族の部落の一軒一軒は高さ二メートル位の竹垣で包まれ、竹垣の先は槍のやうに尖り毒が塗つてあつて、うっかり觸れやうものなら二、三時間で死んでしまふさうだ。又この竹垣には入口がなく、土人は棒高跳の要領で竹を支柱にして飛び越えるといふから變つてゐる。西中尉が行つた時お祭をしてくれたさうだが、さすがにこの時は人の頭はやめて水の頭を代用したさうだ。

C マインカンからマガインに出るジャングル地帯を過ぎタビイ河支流を過つてクモン山脈の敵要塞ソーダムを攻略した時の戦ほど辛しい道がなくチンドウイン河の源流である小河流の川原道を行くのだが、川上にかかる山に登り、又再び川原道路に出るなど悪路の連続だ。

C 「鹽の谷」ソーダム攻略戦

D 谷間を縫ひ山に攀登つて〇〇日目の夕刻漸くソーダム附近に到着したが、ソーダムは敵陣地といふにふさはしからぬよい景色で、頂上はまるで奈良の嫩草山のやうな芝生地帯があり、こゝに土民の住宅が六、七軒散在してゐる。

C この象使ひは皆ビルマ人がやつてゐる。小さい時から一匹の象につききりで馴らすので、この主人の言ふことなら何でも聞く坂を

が、その川の流れに平行した所に直徑二尺位の温泉のやうなものが湧き出てゐる所が十數ヶ所ある。海の水そのまゝの色で温度も高くなくこの水をなめるととても鹽か

D 谷間を縫ひ山に攀登つて〇〇日目の夕刻漸くソーダム附近に到着したが、ソーダムは敵陣地といふにふさはしからぬよい景色で、頂上はまるで奈良の嫩草山のやうな芝生地帯があり、こゝに土民の住宅が六、七軒散在してゐる。

C 何故こんな山の頂上に部落があつたり又敵陣地があるのかに就て調べたところ、土民は火田式の栽培を行つて生計を立ててゐる。まるでゴルフリンクに見紛ふ芝生は水田に相當したわけで、豚、鶏などを飼つてゐた。

D タモン山脈に差しかかるまでジャングル地帯は日中光線が差し込みます、漏つて至極氣味の悪い所だ。毎日夕方近くになると大雷雨が襲つて來て身體も荷物もズブ濡れ、その雨の中で簡単な雨覆ひをした丈けで露營するのだが、どんな猛獸が出るか判らぬので不寝番が一晩中火をたいてゐる。

C この象使ひは皆ビルマ人がやつてゐる。小さい時から一匹の象につききりで馴らすので、この主人の言ふことなら何でも聞く坂を

登る時は前足を折り、更に下る時には後足を折りまげ前足をフン張るやうにして迂り降りるので背中に乗つてゐても落ちるやうなことはない。

C カチン族もよく協力し四斗俵の荷物を平氣でかつぎ廻りジャングル内を跣足で駆け廻るのだ。弓や番刀を腰につけ實に勇しいでたちだ。

D 峻しい道にかかると象使ひは腰の刀で象の頭をガンガンなぐりつけ、中には血がにじみ出すことがあるが、そんな時象は、あの細い眼から大粒の涙をポロ／＼流してゐる。

C 此の邊でとても變つた怪鳥を方々で見た。嘴は黄色で直徑五寸長さ一尺位、鷲のやうに尖り羽毛は黒、胴體及び尾毛は黄色で羽を擴げると一間位もあり、これが私

達か進んで行くと別に恐がる氣配もなく知らぬ顔をして大木にとまつてゐる。鷲の約三倍近くの大きさでギヤー、ギヤー鳥の鳴聲を大きくしたやうな聲を出し、羽ばたく時は木がスレるやうな大きな音がする。黄色の嘴がとても印象的だつた。

A 雲南方面には鹽の温泉はないが本當の温泉が二、三あるね。騰越手前の猛連、騰越北方の瓦甸がそれで、夫々田圃のなから滾々と湯が湧いてゐる。

B 猛連の温泉は町から約三町ばかり離れたところにあり、山を背景にして田圃の中に湧いてゐる。温度は恰度頃合、青みがかつた湯が三間四方ばかりの砂池の底から湧き上つてきてとてもいい。どうも炭酸泉らしいが、脱衣場らしい堀立小屋が一軒あるきりでなんの設備もない。瓦甸の温泉はこれよりはまして二間四方位の湯槽が二つ作られて戦前支那兵もこゝに入浴にきた形跡があり、いまでは原住民が日本の兵隊さんと並んで湯槽につかつて和やかな風景を呈してゐる。

瘡のある原住民

ビルマ人の象使ひ

A 騰越附近から高黎貢山脈にかけるのは美味しいもの一つだ。

騰越で赤飯の馳走

B それよりも騰越で赤飯を食はされたのは驚いた。勿論ビルマ

から四千米位はある。峻峻な山脈

だが、支那人がよくあの山にあれば

だけの道をつけたものだと思心する

ね。特に五合目以上は電光のやうな

な曲路で、それが全部一應は石ころで

固められた階段式の道なので固めら

れらびつくりする。

A 昔から怒江、大盈の河谷は悪性マ

ラリアの發生地として名高いが、軍

醫の話ではこの邊のマラリヤにかゝ

ると最初胸や背中が痛くなつたり

下痢を起したりするさうだ。悪性の

やつにやられると三日位で死んでし

まふ。

B これも軍醫から聞いたのだがこの邊

の風土病に疝疔病といはれるのがあ

り、ペストやコレラもなかなか多い

らしい。

A 大盈河谷を歩いて感心したのは橋が

一つもないことだ、河幅が廣い所で

B この邊は日本と同じ松の木が無数に

群生してゐる。然し葉は三ツ葉で

その松毬たるやパイナップル位の

大きさだ

A 高黎貢山脈は平均海拔三千米

から四千米位はある。峻峻な山脈

だが、支那人がよくあの山にあれば

だけの道をつけたものだと思心する

ね。特に五合目以上は電光のやうな

な曲路で、それが全部一應は石ころで

固められた階段式の道なので固めら

れらびつくりする。

A 昔から怒江、大盈の河谷は悪性マ

ラリアの發生地として名高いが、軍

醫の話ではこの邊のマラリヤにかゝ

ると最初胸や背中が痛くなつたり

下痢を起したりするさうだ。悪性の

やつにやられると三日位で死んでし

まふ。

B これも軍醫から聞いたのだがこの邊

の風土病に疝疔病といはれるのがあ

り、ペストやコレラもなかなか多い

らしい。

獨逸軍需工場見學記

生産合理化に苦心の痕

ドイツ宣傳省は國際記者團の一

行を大きな爆彈工場に案内し、一

日其活動の一端を見せて呉れた。

この工場は四ヶ年計畫實施以來極

めて重要な役割を演じてゐる國策

コンツェルンの傘下にある新らしい

工場で、鐵道と運河で運ばれた

鐵鑽石と石炭で鋼を作る製鋼所と

其所で出来る鐵鋼を加工する工場

とが一塊になつて並び、幾つかの

住宅小都市がそれを圍んでをり、

四ヶ年計畫の線に沿つて田園の眞

中に建設された全く新しい工場都

市である。しかし開戰當時には未

だ全部は完成してをらず製鋼所の

建設は豫定通り續けられたが、住

宅の都市の建設は一旦中止になり

現在足らぬ所はバラツク間に合

はしてゐる。鐵鋼加工工場の方は

番強く印象づけられるのは生産の

合理化に涙ぐましい努力が續けら

れてゐることで、特に次の諸點に

留意されてゐる。

一、材料の鐵鋼所要量を出來るだ

け減少すること この加工工場

は製鋼所から廻して來た鋼棒を

裁斷して夫々の型の爆彈の大き

さに相當した鋼塊を造るのだが

開けば二百五十キロ爆彈筒一個

につき必要な鐵鋼の量は操業開

始當時の二百七十五キロから最

近では百八十キロ即ち一箇につ

き九十五キロも節約出来るやう

になつたといふ。亦これに伴つ

て加熱爐の能率も擧がれば仕上

り速度もうんと速くなつてゐる

二、工作機械の節約 特に眼につ

くのは鋼材切斷用の鐵鋸が殆ん

ど全部休んでゐることで彈筒用

鐵塊は今では總べて鑄造されて

ゐる。その結果裁斷による無駄

な鐵屑を少なくするばかりで

なく鐵鋸に必要な高速度鋼の消

耗をうんと減らすことが出来る

る。

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

A 喰べものの話だが、騰越一帯

には柿、栗、胡桃がとて多く特

に柿は日本と同じやうに吊し柿に

してあるのを喰つたが、あんなに

うまいものはなかつた。胡桃がま

た澤山あり胡桃飴として賣つて居

るものは美味しいもの一つだ。

B

A

B

A

B

A

B

A

B

A

B

A

B

A

B

A

三、努力の節約 コンヴェーヤーが最高度に利用されてをり、爆弾は加工工程順に三つの隣接した職場で仕上げられるが、一つの職場内は勿論次の職場にも移せるやう全部地下道をコンヴェーヤーで運ばれてゐる。二百五十キロ爆弾に就いて見ると従来五十六人で一千個を仕上げてゐたのが今日では廿八人で済むやうになつたと云ふ。

兎に角一にも二にも原料生産設備努力の節約に頭を使つてゐるやうだ。工場長は「生産の合理化で工場の模様は一年もたてば、すつかり別になつた感じがする。機曾があれば本年末にも一度訪問されたい。さうすれば生産合理化の成績を一層痛感されるだらう」と云つた。この工場だけで労働者数は約八千人その八割までが外國労働者で占められ、検査と監督の地位だけがドイツ人によつて占られてゐるとのことだ。労働時間は休憩時間を入れて十二時間二交替制で三交替の時に比べて随分人手が省かれるやうになつたと云ふ。この工場は模範工場の一つだからどの工場でもこの程成績をあげてゐるとは言へないが、軍需工場相互の經

(ベルリン本特派員)

進駐一年の

ニューギニア

皇軍が昨年四月十二日舊蘭領ニューギニアに進駐してより早くも一周年を迎へた戦前までは白人種と極楽島によつてのみ僅かに知られてゐた暗黒の蠻島がこの一年の間わがニューギニア政府の進しき建設の槌音に寶島として更新し、無限の資源を米英撃滅の巨弾として提供すべくかくも急速に轉換し得たことは實に驚くほどであつて、蘭印の桎梏から解放された原住民も新しき東亞民族となる歡びに起ち上り、民政府の指導下怠惰な生活から目覺めて各地に於ける我建設工作に協力してをりニューギニアは南太平洋の新しき國土として日一日と拓けつつある。

ニューギニアは遠く故國を離れしかも戦線が陸續きの位置にあるだけに、民政府は當初から第一線建設部隊といふ悲壯なる決意をもつて先づ食糧の現地自給を目指し〇〇、〇〇、〇〇等にある黄麻、ゴム、コーヒル等の既設農園約三千町歩はこれを潰して直に陸稻と蔬菜を播種し始め其の他の地に於ても密林の開墾を開始、専ら食糧増産へ全力を挙げたので、米一粒、蔬菜一莖も無かつた蠻島に初めて瑞穂の國の農業が營まれて、いまや既設農園に播種した白菜、キャベツ、茄子、南瓜、西瓜、胡瓜は農園から直接軍船へ積込まれるやうになり、新鮮な蔬菜を第一線將兵の糧に送つて現地自給の役割を果たしてゐる。

陸稻の第一回収穫も五月下旬と豫想され、目下害蟲は認められず生育頗る良好であり、開墾も各地好調に進捗してゐる。また廣大なる密林を原料材とするバルブ工場が具體化しつつあり、既に木工場も開設、帯鋸の轟々たる音響が建設譜を奏で木造船の大量建造も計畫されて居る、更らに資源開發調査探險隊は埋れた寶を求めて密林を踏査中で調査探險隊が齎らす地上地下資源の報告こそ期待は大きくこれが具體化すれば建設工作はいよいよ本格的段階に入るわけで、既に調査を終つた〇〇の天然瓦斯はこれを熱源として海水用汽罐に使用し、發電と同時に鹽を採取、一部は漁業その他の方面へ供給、一部からは苛性曹達、鹽酸、マグネシウム、鹽素、晒粉、臭素等を精製し、更に海岸一帯に林立する無数のココ椰子の實からコブラを採つてコブラと苛性曹達で石鹼を大量に製造すべく施設を急いでゐる。

治安方面は他の占領地と異り敗殘兵や宣傳謀略の危険はないが、原住民(パプア族、アルフワツク族、マネキヨソ族、トロガレ族、ヤビ族、ワローペン族、サベリ族、ワレシ族、(ンホーラン族その他)が何れも無智な土族であつて、各々言葉も異ふために直接指導は困難であるが、これ等原住民の約八割がパプア族であるから、戦前まで彼等を指導監督して來たインドネシア官吏や警官を日本式に訓練して、これをそのまま建設戰の第一線へ立ててゐる。これがためインドネシアの間には日本語研究熱が昂まり殊に青年層にはうんと勤いてその貯金で東京へ日本語の研究に行くといふ希望に燃えてゐる者が多く、蘭印が永年に亘つてニューギニアに築いたオランダの色彩は僅かに一年で跡形もない。

(田中孫海軍報道班員)

へ島寶らか島蠻

進しき建設の槌音に寶島として更新し、無限の資源を米英撃滅の巨弾として提供すべくかくも急速に轉換し得たことは實に驚くほどであつて、蘭印の桎梏から解放された原住民も新しき東亞民族となる歡びに起ち上り、民政府の指導下怠惰な生活から目覺めて各地に於ける我建設工作に協力してをりニューギニアは南太平洋の新しき國土として日一日と拓けつつある。

ニューギニアは遠く故國を離れしかも戦線が陸續きの位置にあるだけに、民政府は當初から第一線建設部隊といふ悲壯なる決意をもつて先づ食糧の現地自給を目指し〇〇、〇〇、〇〇等にある黄麻、ゴム、コーヒル等の既設農園約三千町歩はこれを潰して直に陸稻と蔬菜を播種し始め其の他の地に於ても密林の開墾を開始、専ら食糧増産へ全力を挙げたので、米一粒、蔬菜一莖も無かつた蠻島に初めて瑞穂の國の農業が營まれて、いまや既設農園に播種した白菜、キャベツ、茄子、南瓜、西瓜、胡瓜は農園から直接軍船へ積込まれるやうになり、新鮮な蔬菜を第一線將兵の糧に送つて現地自給の役割を果たしてゐる。

陸稻の第一回収穫も五月下旬と豫想され、目下害蟲は認められず生育頗る良好であり、開墾も各地好調に進捗してゐる。また廣大なる密林を原料材とするバルブ工場が具體化しつつあり、既に木工場も開設、帯鋸の轟々たる音響が建設譜を奏で木造船の大量建造も計畫されて居る、更らに資源開發調査探險隊は埋れた寶を求めて密林を踏査中で調査探險隊が齎らす地上地下資源の報告こそ期待は大きくこれが具體化すれば建設工作はいよいよ本格的段階に入るわけで、既に調査を終つた〇〇の天然瓦斯はこれを熱源として海水用汽罐に使用し、發電と同時に鹽を採取、一部は漁業その他の方面へ供給、一部からは苛性曹達、鹽酸、マグネシウム、鹽素、晒粉、臭素等を精製し、更に海岸一帯に林立する無数のココ椰子の實からコブラを採つてコブラと苛性曹達で石鹼を大量に製造すべく施設を急いでゐる。

治安方面は他の占領地と異り敗殘兵や宣傳謀略の危険はないが、原住民(パプア族、アルフワツク族、マネキヨソ族、トロガレ族、ヤビ族、ワローペン族、サベリ族、ワレシ族、(ンホーラン族その他)が何れも無智な土族であつて、各々言葉も異ふために直接指導は困難であるが、これ等原住民の約八割がパプア族であるから、戦前まで彼等を指導監督して來たインドネシア官吏や警官を日本式に訓練して、これをそのまま建設戰の第一線へ立ててゐる。これがためインドネシアの間には日本語研究熱が昂まり殊に青年層にはうんと勤いてその貯金で東京へ日本語の研究に行くといふ希望に燃えてゐる者が多く、蘭印が永年に亘つてニューギニアに築いたオランダの色



南方占領地域とこに行つても同じ

例の一つや二つはあるのであらうが、軍政の初期、直接その衝に當つた軍人の中には仲々立派なのが少かつた。彼等は一面作戦部隊の一員として直接作戦に参加しつつ同時に軍政要員として地方行政を擔當したわけであるが、何しろ

人手は少なく、治安はなほ確立せず、交通連絡は至難で、しかも執筆する事務は警備から地方産業の維持復舊まで廣汎な範圍に涉り、複雑多岐を極めたもので、その上に管轄する地域は廣大であり、實施は急速であることが要請された、僅か十數人の部下を率ひた警備隊長が日本の縣を數縣も併せた大地域の行政に當るなどは珍らしい事象でも何でもなかつた。

彼等の多くはそれを立派にやり遂げ、膨大な調査報告すら残したのも稀ではない。彼等には叡智と果斷とが要求されたが同時に指導部からの信頼があつた。この事業と、この信頼とを興へられて、男子たるもの誰か感憤せざるべきである、戦争直後の逞しい復興の

氣魄はそこに生れ、そこにあの成果を擧げ得たのである。今現地でも、内地でも何が足りない、何が欲しいといふ。それがなくては、どうにもならぬと手を擧げる場合も屢々ある。それを見乍ら、一年前の無から、今日の有りを生む基礎を築いた先驅者たちの意氣込みを偲ぶこと切なるものがある。極言すれば物がないのでは

しめるのは少くとも、新らしい指導民族たる吾々の理想ではないが少くとも戦時下の現在、彼の最低生活の維持位は易々として達成出来るのである。南方の建設は、今回の戦争完遂のために不可欠の條件である。さうだとすれば何が足りないですましておかず、無いなら無いで濟ませるやうにすべきものである。云ふまでもなくそれは

同 盟 同

南方建設

井 上 勇

占領地の統治開發は隱居仕事ではない。内地で使切つた人間は、南方ではそれ以上に磨り切れた人間である。行かせる者も、行く者も夢おろそかな自惚れを止めて、まづ反省し覺悟を新たにしてお出ししてほしい。

で、他人にはそんなものは不必要だでは少くも爲政者の心構へとして落第である。私の知つてゐる一青年將校は、自ら統治するある地域の現住民をして僅々六ヶ月にして、その生活様式を一新せしめる改革に成功した。彼自ら早起出でて皇居を遙拜し、現住民をしてこれに慣はしめ、さて、一日の日課を現住民と共にしつつ彼等を指導して行つた。米一粒すら生じなかつたその地方には、今あり餘る米が實のり茶園は化して野菜園となり、その野菜は鹽で砂糖となり鹽と化し懶惰な村は一朝にして勤勞の部落と化して巷に不平の跡を絶つた。夕、勞働の一日が終れば感謝の祈りがあり、慰安の踊りがある。その中に襦袢一枚で現住民と伍して手を振り、足を踏む彼の姿がある。私は満足し切つた土民と彼の姿にある及びがたい尊さを感して、頭の自らさがるを感じざるを得なかつた

ない。氣迫が足りないが故に仕事にならぬのである。内地のことは私は、いま知らない。天の恵むこと厚い南方で、いま若し足りないものがあるとするれば、氣魄の人である。人さへあれば機構の不備も資材の不足も解決し得るのではないか。足りぬ足りぬは工夫が足りぬ」といふ體語を、私は現地にも送つてやり度い。

現地人を低い生活程度で満足せるであらう。

實行されつつあるにはちがひないが、現住民をも、その域まで持つて來なくてはならない。南方には何かがある、これがあると赴任早々、買溜め、買漁りに熱中するやうな人間を何千人送らうと南方建設は出来ない。單なる南方經驗者の如きも十分の一の資格にもならない。然し、若し「人」あつて奮起奮闘すれば、無は忽ち有と化するであらう。

私はここに「人」を見た。この人こそ南方建設のために絶対必要なのである。この「人」たる覺悟と氣魄とを缺いては南方要員たるの資格はない。(本社職米部長)

吾々は彼等に「如何に生くべきか」と先づ教へることが必要である。木綿がないならば、木綿を作ること教へるの必要であるが木綿なくして生活し得る心の態度を彼等に叩きこまねばならない。

石鹼がないならば、石鹼を作るのもよからうが同時に石鹼の存在が生活の不可欠の條件に非らざる所以を納得せしむる教育が必要なのである。自分だけは石鹼を使用し

月間大觀

昭和十八年

四月

自一日
至十三日

—— 同盟電による内外記録 ——

月間大事表
時事要聞
世界大事
國內要情
國際要事
大東亞形勢

☆

同盟調查部編

月間大觀

内國

さきに南京を訪問して日華提携のうへに一大寄與をなした東條首相は、さらに四月一日政務多端の寸暇をさい

て滿洲國新京を訪問、また國府立法院院長兼上海市長たる陳公博特派大使が七日わが日本を訪れた。いづれも大東亜建設の核心たるべき日滿華三國の紐帶強化のうへに重要な意義をもつものであるが、他方わが青木大東亜相は十六日南方歴訪の途にのぼり大東亜共榮圏の結合強化に大いに資せんとしてゐる。

△東條内閣改造斷行 他方東條首相は内外の情勢いよいよ重大化せんとしてゐる現段階にのぞんで益々内閣を強化しより強力果斷な政治力を發揮せんがため、二十日電光石火的に内閣大改造を斷行するに至つた。今回の大改造は、重光大使の外務、安藤翼賛會副總裁の内務、山崎翼政務調査會長の農林、岡部翼政當任總務の文部(二十三日)を主軸とし、外に大藤翼政當任總務の國務相、天羽元伊太

利大使の情報局總裁をその羽翼とするものであるが、對華新政策に現地大使として活躍した重光氏を外相に起用

したことは、來るべき世界外交轉換期に備へて算算ならしめんとする布石とみられ、山崎、大藤、岡部三氏の入閣は政府・翼政兩者の緊密化に資せんとするもの、また安藤翼賛會副總裁兼翼賛壯年團長が國內治安行政の元締たる内務大臣に任ぜられたことは、安藤中將が翼賛、翼壯の現職に留まらぬにしても中央における翼賛會と行政府との一體化、地方における翼壯と地方行政當局との調和融合に大きな意義をもつものとして注目を要する。

また二十二日には翼賛會事務總長後藤文夫氏が安藤中將の後を襲つて現職のまま副總裁並に壯年團長に就任した。後藤氏の昇格は安藤中將の内相就任と照し合はして翼賛運動(國民運動)に一時期を劃したものとみることができ、けだしこの人事によつて國民運動諸團體と内務當局との協調、翼賛會と壯年團との不可分關係の明瞭化、翼賛・翼政の緊密化が當然豫想されねばならぬからである。なほ重光前駐華大使の後任に谷前

外相が就任したが、日華關係の事情に精通してゐる同氏今後の活躍は充分期待されてよい。

△物資動員計畫・交通動員計畫の決定 決戦經濟運營の根本を規制する十八年度國家計畫の策定は今や多大の關心をよせられてゐるが三十日の閣議は先づ八國家計畫のうちその根幹をなす物動及び交通の二つを決定した。物動計畫は交通計畫と不可分の一體をなし、輸送力を離れては生産を論じえないのであるが、今回かかる物動と交通を同時に策定したことは國家計畫編成に新機軸を開いたものといへる。兩計畫の目標は戦争經濟の機動性に着目して、情勢即應の措置を講ずること、國家總力を鐵、石炭、輕金屬、船舶、航空機等の超重點物資の増産に集約すること、戦時國民生活の確保に萬全の調整措置を實施すること、の三點に要約される。

△緊急物價對策の樹立 政府は十六日の閣議において緊急物價對策を決定、最近の情勢進展に對處することになつた。その要點は適正なる生産者價格を保障し、重要物資の増産を確保せんとしたこと、補助金制度の運用に刷新を加へ、また補給金制度を確立したこと、價格報裝制度を創始したこと、二

重價格に多少の修正を認め、需要者價格の引上を行ふ場合を認めたことである。

△米實收高公表 十七年度内地産米實收高が六日發表された。實收高は六、六七七萬石で前年比一、一六八萬石、前五ヶ年平均比三三三萬石の著増である。しかし、これによつて食糧事情はいささかも緩和されないのである。内地は豐作でも朝鮮から外米依存より極力脱却せねばならぬからだ。

△農業政策の進展 農林計畫委員會は七日「標準農村決定要綱」を農地審議會は十日「自作農創設要綱」を決定した。前者は永く農業に専念しうること適正規模の自作農家を中核として「標準農村」を設定しようとするものであり、後者は「自作農創設維持事業」を適正規模農家に量的にも質的にも擴大してゆかうとするものであるが、低位收穫の兼業農家や小作農家が最近漸増傾向にあるのに鑑みまことに適切な対策といはねばならない。しかし、この兩要綱は、零細小作農家をもつて特質としたわが國農業にとつては正しく一大變革を意味するものだけに、これが實施に當つては諸々の難題に直面すべく、結局は「土地問題」と

いふ大きな巖壁に突き當らざるをえないであらう。とにかく歴史的な大仕事であり、農林當局も今までにない眞剣なる覺悟を要請されるであらう。

△米價引上 政府は二十日の食糧管理委員會で、昭和十八年度の生産米から實質上の政府買入價格を石當り十三圓五十錢方引上げ、石六十二圓五十錢とすることに決定した。米作農家の収入が工場や鑛山の勞銀に比して、相當に不利であり、農民離村の一因をなしてゐる事、また青果物等の農業生産物價格に對して米價が著しく低位におかれてゐるため米生産に充てらるべき資材や勞力が他部面に轉用されてゐること等の諸事情から考へて今回の米價引上げは極めて當然のことといはなければならぬ。肝要なのは今回の米價引上げによつて石當り三圓を取得する地主が眞に生産的になること、一升三錢の消費者價格の値上げが他物價に波及せざることを二點であらう。

因みに帝國農實調査の農村物價指數(昭和十二年一〇〇)によれば昭和十七年平均米價指數一五七農林生産物綜合指數一六九・五、農業用品綜合指數二一六・九となつてゐるが今回の値上げにより米價指數は一九九・六となつた。(木田)

亞東大

戰況

帝國陸軍部隊は、印緬國境附近アキヤブ北方地區に占據し、昨年十二月下旬以來英印軍二個師團の攻撃を撃碎しつつありしが、三月上旬大包围作戰を展開して、マユ河畔に敵主力を捕捉撃滅し、目下殘敵掃蕩中であると、四月八日大本營から發表された。

敵英國は、昨年十月頃から世界に向つて絶えず「ビルマ奪還」を呼號して、東部印度に空軍の大集結を行ふ一方英印軍中最強を誇る第十四師團を以てアキヤブ攻撃を開始して來た。これを知るや我が荒鷲は、敵の出鼻を挫かんものと地上作戰に密接に協力するとともに、或は敵航空部隊を撃攘し或は敵航空基地を爆碎または敵船舶を撃沈するなど遺憾なくその威力を發揮した。地上部隊は、海拔一、三千メートルのアラカン峻嶒を踏破すること實に三百キロに及んだ、この皇軍の勇戰奮闘が實を結んでビルマ奪回を夢みて、北部ビルマアキヤブに集結した英印軍二個師も西北ビルマに侵入を企圖した英印・重慶聯合軍もビルマ方面陸軍最高指揮官河邊正三中將麾下の精銳によつて完膚なきまでに粉碎し盡された。今回のビルマ作戰こそ

實に支那大陸の一角を基地としてわが本土に空襲を企てたことも唯一の援將輸血路もことごとくわが軍に奪はれ、敵側にとつてこれほど大きな打撃を蒙つたことはなからう。

四月九日の大本營發表は、フロリダ島沖海戦の大勝利を報じた。同七日、ソロモン群島フロリダ島方面で有力な敵艦隊を發見したわが海の荒鷲は、時を移さず一舉にこれに強襲を加へ、撃沈巡洋艦、驅逐艦各一隻、輸送船十隻。大破、輸送船二隻。小破、輸送船一隻。敵機の撃墜卅七機の大戦果を擧げたことは陸軍のビルマ大戦勝と併せまさに戰史上特筆に値するものである。

この輝かしい大戦果に續いて同十三日と十六日の大本營は海軍航空部隊によつて、ニューギニヤ、オロ灣、ミルン灣方面に於て敵機百十四機以上を撃墜破、十六艦船、軍事施設を爆碎と發表、近くはエリス諸島フナフチ島を急襲無敵海鷲の意氣を中外に示した。

今やわが荒鷲の鷲翼の下にあつては敵の飛石作戰も何等の效も奏しない。

しかしこの大戦果の蔭に山口、加來兩提督の如く國の爲笑つて死んで行つたわが幾多の忠勇なる將

兵に對しわれらは感謝の默禱を捧げねばならない。(田中)

大陸

汪主席はじめ國民政府領袖と親しく會談し同生共死の日華共同戰爭目的の完遂を中心に今後の兩國關係一體化に挺身寄與するところあつた東條首相は、本月に入るやさらに寸暇を割いて滿洲國訪問の途につき佐藤陸軍省軍務局長等を帶同、一日新京に到着した。

首相訪滿の目的は「滿洲國皇帝陛下の御機嫌を奉伺し、同國の過去十年間における飛躍的發展を祝福し且大東亞戰爭勃發以來寄せられつつある全面的協力に謝意を表するとともに滿洲國首腦と親しく懇談を遂げ併せて現地諸機關の狀況視察並に慰問を行ふ(情報局發表)にあつた。

かくて首相は滿洲國の對日寄與に感銘しつつ日滿一體化の實相を親しく目撃、豫定の日程を終へて四日歸國した。

恰もこれを追ふ如く、中國國民政府にあつては「參戰以來友邦日本が供與せられた種々の援助に對し答禮の意を表すると共に、戰爭完遂問題につき日本當局と隔意なき懇談をなす(國民政府宣傳部、外交部共同發表)ため立法院長陳

公博氏を訪日特派大使として派遣
同氏は七日東京に到着した。同時
に國府はこえて八日、陳特使と同
様な任務を帯びて「中滿兩國の
親睦及び兩國經濟關係の圓滑をは
かり、滿洲國の各種重要産業施設
を視察すると共に戰爭完遂に關す
る協力問題につき滿洲國當局と隔
意なき懇談をなす」ため行政院副
院長周佛海氏を特派大使として滿
洲國に派遣した。

兩特使は夫々 天皇陛下並びに
皇帝陛下に謁見を賜はり、豫定
の日程を終へてともに北京經由で
陳氏は十八日周氏は二十日歸國し
た。かくて日滿華三國の首腦の往
來により大東亞の軸心はいよいよ
固く、三國は戰爭完遂をめざして
眞に緊密な一體化の下に夫々その
總力を征戰に捧ぐべく遺憾なから
しめつつある。

この月中國の政治經濟社會各方
面に於ける動きは堅實なる國府の
施策を反映して着實に諸般の建設
に向つて動きつつある。

さきに鎮江地區に擴大した清鄉
工作は本月に入り十日から南通を
中心とする蘇北地區に新たな清鄉
工作を開始、また上海地區では第
二期工作を發展せしめた。かくて
清鄉工作はいまや揚子江北岸に推
し進められるに至り、開始以來揚

子江下流の三角地帯の殆ど全域に
亘る地域を包括しつゝあることも
に、工作の性格また當初の『和平
の見本』たることより一變して『戰
ふ中國の見本』をつくり出すこと
にそのめざす目標をおくに至つた
點が注目される。

また經濟的方面ではさきに實施
をみた揚子江下流の物資移動制限
緩和とそれに伴ふ物資收買配給機
構一元化の基本たる全國商業統制
總會の設置とは、その後着實な進
展を示して居り、民生必需物資の
農村への滲透とそれによる農産物
出廻りの圓滑化は、上海を中心と
する輕工業の復興に曙光をもたら
し、前記統制總會の下部機構の整
備と相俟つて日華經濟人協力の中
支經濟復興は漸くその軌道に乗り
つつある。

文化方面に於ては一日より南京
に於て開催せられた中日文化協會
第二次全國代表大會に、わが國よ
りも鹽谷博士をはじめとする文化
使節團を派遣、中國文化人と交驛
せしめた。一行が中國文化界に興
へた示唆は、やがて大東亞文化建
設への刺戟となつて、中國文化復
興の今後に於ける進展が期待され
る。

その他本月とくに注目を要する
ものとして、七日わが北支派遣軍

當局より頒布せられた小冊子『國
民政府參戰と北支派遣軍將兵』は
官に將兵のみならず對華新政策下
の現地邦人に對する頂門の一針と
して熟讀三思すべき大文章たるを
失はぬ。(高田)

南方

畏き邊りでは、ボルネ
オ、ニューギニア等南
方戰線の現状視察のため、侍從武
官、侍從を御差遣あらせられ、皇
軍將兵は素より原住民にも深甚な
感銘を與へた。青木大東亞相も對
支施策の一段落を機に、漸く重要
性を加へて來た南方諸地域を親し
く視察すべく四月十六日南方への
旅に上つたが、早くも佛印、タイ、
ビルマの諸國を歴訪、要人と膝を
交へて懇談を遂げてゐる。

佛印へ日本文化會館を設立する
ことに關して日佛間に完全に了解
が成立した。佛印タイ國境線大動
脈路も開通して佛印タイ兩國の諸
關係も一層の親密の度を加へつつ
ある。

タイ國における強權的統制は政
治、經濟その他國民生活各方面に
おいて強化されてゐる。ビルマは
元且「水祭」を迎へた。訪日の旅か
らラングーンに歸つたバーモ長官
はビルマ唯一の政黨シンエサ聯盟
新年總會に臨み、黨員約二千名を
激勵した。この總會では本年度に

における黨の活動方針が決定されて
ゐる。

マライ、スマトラの昭和十八年
度豫算が本格的年間豫算として四
月一日から發足した。豫算額は復
興建設の進捗を反映して前年度豫
算額に比し著しく膨脹してゐる。

豫算編制の基本方針は從來通りで
あるが、食糧の増産自給を中心と
する産業の復舊振興と警察力の増
強を主眼とする治安の確保等の項
目は刻下の現地實情の要請による
ものとも見られよう。昭南醫科大
學も愈々開校された。ジャワの昭
和十八年度豫算も年間豫算として
編成された。ジャワ原住民による
警防團、青年團が結成され、警察
の補助、國土防衛、生産力増強に
資することになつた。島内の縣及
び市の地方行政制度を改新し自治
權限の一層の強化を圖るために、
「縣市暫行令」並びに「縣市條例に
關する件」が四月二十九日公布實
施された。ジャワ司法官吏養成所
の開校、ジャカルタ醫科大學の開
校等文化面においても見るべきも
のが多い。海軍々政下にあるセル
ベスの復興建設はマカッサルを中
心に着々進捗してゐる。地方行政
も軌道に乗り、郵便機構も整備さ
れ、農學校も開設され、工業化も
促進されてゐる。

比島軍政監部は比島棉花増産計
畫第一年度たる昭和十七年度棉花
第一回収穫豫想に關して發表する
ところがあつた。右によると、昭
和十七年度ルソン島棉花第一回生
産豫想高は實積二百六十四萬七千
餘キログラム、繰綿換算一萬四千
七百餘ピクル、植付面積九千三百
六十八町歩、町歩當り平均生産數
量一・五ピクルとなり、大東亞に
おける棉花資源の一端を擔ふ比島
への期待は裏切られなかつたとい
へよう。

濠洲は米英に對して反樞軸作戰
指導への不満を訴へ、米國の對濠
援助の不足を喞つてゐる。戰爭の
進展と共に白濠主義濠洲のデモク
ラシーに内在する矛盾が表面化し
て來た。シドニー港の沖仲仕爭議
聯邦議會の紛争等々皆然りである
然し、祝日休業の全廢徵兵年齢の
十九歳から十八歳への引下げ等々
戰爭遂行に全力を傾注してゐる濠
洲の反面も亦見落してはならぬ。
印度の反英抗爭は依然熾烈を極
めてゐる。四月十二日の印度國防
會議は深刻化する印度の食糧問題
を中心に協議された。南阿聯邦下
院が印度人土地所有禁止法案を可
決したことは、全印度人の憤激を
買った。英國人もいよいよやきが
廻つて來たといふわけか(倉田)

世界

戰局

△獨ソ戰線

冬季作戰は大體三月一杯を以て終了し、四月に入つてからは東部戰線夏季攻は大なる動きなく、獨軍の第三次勢を前に嵐の前の不気味な静けさを思はせてゐる。四月の東部戰線

で最も注目を要するのは北コーカサスのクバン下流の戰線で、ノヴォロシースクを中心とする小地域に集結してゐる獨軍に對し、赤軍は北コーカサスから獨軍を一掃すべく連日猛攻を加へつつあるが、獨軍またクリミヤ半島から増援を送つて反撃を繰返してゐる。しかし獨軍はここを今次夏季攻勢の有力な足場としようとしてゐるもの

の如く、その兵力も漸次増強されつつあることが認められ、空軍の活動も著しく活潑となつて來た。他の戰線に於てはハリコフ東方チユグーエフ、イジュームに於て北ドネツ河橋頭堡爭奪をめぐる戰鬪が依然として續けられ、また四月末にレニングラードに對する獨軍の攻勢強化も認められた。しかし四月中は雪融け後の泥濘の影響もあつて全戰線に亘つて戰況は低調化し、兩軍とも夏季作戰のための軍の再編、移動に忙殺されてゐ

たものと思はれる。

△北阿戰線

三月下旬、獨軍がマレス線撤收を行つて以來、南部チユニジアの戰況は著しい動きを見せはじめ、四月に入つて更に進展を示し、獨軍は十日にはカベ灣の要港スファツクス十二日には同じくスーサ、二十一日にはアンフイダヴィルを撤收してビビルダ、チユニスを中心とするチユニジア東北部の堅陣に據ることとなつた。かくて樞軸軍のチユニジア防衛陣は北はセルト卿東方のセジエネからジェベル

・アブジャット、ベジャ、メジス、エル・バブ、ボンジュファースを経てアンフイダヴィルに至る線となつた。目下この線に於て必死の攻防戦が續けられてゐるのであるがこの樞軸側防衛陣は殆ど全部山嶽をめぐるした天然の要害をなしてゐる上、チユニジアの重要性を誰よりもよく知つてゐる樞軸側の必死の反撃にあつて、數的に優勢な反樞軸軍も包圍態勢はとつたものの攻めあぐんでゐる形である。チユニジアは地中海制覇の鍵であるばかりでなく、反樞軸側にとつてはこの終結が歐洲第二戰線の必須條件とされてゐるため、双方とも必死である。

たものと思はれる。

△海空戰

通商破壊戦において獨海空軍が三月中に擧げた戦果は眞に赫々たるものがあつた。昨年十一月の最高記録には及ばなかつたが、九十二萬六千六百噸といふ大戦果は、敵陣營の心膽を寒からしめるに十分である。Uボートの敵船舶撃沈は昨年九月以來俄然活況を呈し、殊に本年二月、所謂「デニツツ攻勢」が開始されるや、米英の狼狽振りには目に餘るものがあり、彼等はその對策に寧日なき有様である

獨潜水艦隊の集團攻撃戦法による三月の戦果が右の通り餘りにも大きかつたためその活動は四月に入つて稍々不振の觀がある。四月中の綜合戦果については未だ獨軍當局の發表がないが、個人の發表を綜合すると、撃沈約四十萬噸に達したものと見られ、一方イタリヤ軍の戦果は一萬七千噸であつた。獨伊會談後の兩軍今後の活躍こそ期して待つべきものがあらう。四月中旬に入り獨軍當局は米空母レンジャーの撃沈を發表したが、米海軍省は例によつて飽迄も白を切り、これを否定してゐる。

米英空軍の連日的歐洲盲爆は多數の一般市民を犠牲に供し、獨伊兩國國民を甚く憤激させてゐる。

獨・伊

反樞軸國側では、チユニジア戰の進捗を誇大に宣傳し、歐洲大陸侵入の時期近しと盛んに強がつてゐるが、事實は、北阿戰も樞軸側の反撃で停頓の状態であり、東部戰線も嵐の前の静けさで、結局戰局は今のところ一應小休止の現狀にある。

然るに一方ドイツは、此の間着實に來るべき攻勢の準備を黙々と進めてゐる。その目的が歐洲總動員態勢の整備にあることは言ふまでもないが、そのため、つひ先程まで大本營の仕事に専念してナチス黨記念日にも國民の前に姿を見せなかつたヒットラー總統が自ら陣頭に立つて外交交渉に活躍し始めてゐる。四月に入る頃からの重要な外交會談を拾つても、先づ先月卅一日のブルガリア國王ボリス三世との會談を始め、七日より四日間、亘つて重要協議を遂げたムツソリーニとの會談、ラヴァル佛首相との會談等があり、此の間ローマではハンガリー首相の訪伊(四月一日—三日)が行はれた。

斯くの如き活潑なる外交的動きは、ヒットラーの從來からの重艦主義的政策から推して、恐るべき効果を擧げつゝあるものと考へら

れドイツの宣言した歐洲總動員決戰體制が、反樞軸國側の如き空宣傳でないことを物語つてゐる。四月といふ月を以て劃し得る獨伊樞軸の動きの中心は右の如き、大規模なる決戰準備の完成といふ砲聲なき活動の中に終つたが、それだけに來るべき大攻勢の決意とすまじさを暗示するものであらう。

尙、樞軸の四月外交攻勢の勝利を裏付けるものとしては、四月十八日、トルコ外相とバーベン獨大使との間に調印を見た獨土新通商協定の成立、イタリヤ、スロヴァキア間の新通商協定成立(四月十三日)及びハンガリー、スロヴァキア間の新經濟協定の成立(四月九日)等を特記することが出來よう。此等の協定が、經濟的な意味に於ける獨伊樞軸の對歐洲第三國關係の強化を意味することは勿論のことであるが、反樞軸國側が歐洲小國の獨伊離反、自國側への抱込みに躍氣の活動を續けてゐるさ中に斯る諸協定が成立したことの政治的意義こそ經濟協定の額面を遙に超えたものである。

さらに最近の特種となつたソ波斷交事件が獨の外交的勝利であることも勿論。樞軸外交攻勢は着々成果を收めつゝあるやうである。

反ルーズヴェルト氣運が米國政界の一角に、或は米國々民の一部に醸成しつつある。ルーズヴェルトは巧妙な四選政策を公然或は陰然試みてゐるに對し、四選反對運動が次第に擡頭し、白聖館を震撼せしめてゐる。共和黨全國委員長スパンゲラーは眞向からこれに反對し、ランドン、デューイ等の共和黨領袖は一年有餘半後に控へた大統領選舉對策協議の後、オハイオ州知事ブリツカーが推薦候補となるだらうと示唆した。

中西部諸州の民主黨議員殊に農村議員團はルーズヴェルトの物價政策に反對してをり、その低價銀政策に對する労働者側の反對と共に、反ルーズヴェルト氣運の動向は注目し値する。二月末のギヤラツプ輿論調査によると、四選賛成者は戰爭續行中は五割一分なるに對し、戰爭終了の際は三割九分だといふのであるから、ルーズヴェルトもなかなか油斷が出来まい。そこで現政権としては戰爭策のみならず、相當具體的な戰後對策も並べ立てて國民の四選支持を煽らねばならぬ譯である。米首腦が戰後經濟對策の重大性を説き、聯合國通貨會議、食糧會議を初め諸

種の戰後問題會議を計畫してゐるのは、聯合國の結束を經濟的再強化しつつソ聯を抱きまんとする手であるばかりでなく、案外四選促進工作であるのかも知れぬ。

イーデンは歸英後訪米は九五%成功したと誇稱したが、後りの五%こそ、慎重な再吟味を要する急所であらう。戰後問題を繞る米英對ソ政策の喰違ひは米英ソ三角關係の調整をいよいよ困難に導くのではなからうか。英國は今次大戰を通じて領土、その他の既得權益を米國に蠶食され、裸にされかねない形勢である。シカゴ・トリビュン社主のマッコミツクが英帝國領再分割と併吞を無遠慮に放言する時勢である。英國は終に米國の對歐利害を護る番犬か。米國は北阿、西亞、印度、濠洲からも英國勢力を迫出さうとしてゐる。

否、米國は英國を既に呑んでゐる。米國は世界制覇の前提として米州制覇を完成せねばならぬ。最近のウォーレス副大統領の南米行、ポリヴィアの參戰、ルーズヴェルトとカマチョの會談、米首腦部の汎米演說等は汎米圈建設の布石である。

× ×

四月八日夜ルーズヴェルト大統領は賃金物價安定に關する新行政

令を發表したが、同行政令の狙ひは生活費に影響ある物價の全面的管理斷行であり、労働賃金乃至俸給の「小鐵鋼様式」以上への引上げ禁止であつた。是等は、いづれもインフレ防止對策であり、一九四二年四月末の第一回インフレ抑制教書、並に九月末の第二次教書に次ぐものであり、愈々米政府が本腰に國家經濟の全國的統制に乗り出したことを裏書きするものである。又同時に國內におけるインフレ危機が目睫の間に迫りつつあることをも意味するものと解される。

右の大統領令を繞つて國內戰線は異常な緊張振りを呈し、先づアメリカ鑛山労働組合は炭鑛經營者に對し一日二弗の賃金引上げ方を要求、兩者は四月中旬より合同協議會を開催して折衝を續けた。しかして二十五日に至りホワイト・ハウス當局は、四月三十日迄の交渉期間中作業繼續に關する一時的妥協案が成立した旨を公表したがこれは三十日夜半、鑛山労働組合所屬労働者四十五萬の總罷業決行により一大暗礁に乗り上げた。一方バンクヘッド提出にかかる農村物價吊上法案は大統領により拒否されたが、農業ブロッツ議員は六日、大統領の拒否権を押し切らんとして躍起の暗躍をつづけ、遂に上

院本會議で農業委員會附議案を可決せしめた。従つて同案は技術上依然存續し、農業委員會は何時でも必要に應じ、同法案を上院本會議に上程出来ることとなつた。従つて、農村物價安定と、労働賃金値上げをめぐる國內鬭争はルーズヴェルト政權の戰爭遂行政策と全面的衝突をなすに至つた。尙四月廿四日トルーマン委員會は一九四二年中の聯合國船隻喪失噸數は約一千三百萬噸に上り、同年中の聯合國造船噸數を凌駕した事實を暴露した。右報告に對し、ノツクス海軍長官は必死の揉消運動を行つたが及ばず、四月は米政府にとり黒星續きの月であつた。

春季に入つて獨ソ戰は低調化した。が、ブラウダ紙は四月四日の社説に於て三月を以て「多季戰は終了した」と發表してその總決算を行つた。かくてソ聯は夏季戰に備へて軍の配備を整へると共に國內體制の強化及び増産獎勵に大奮になつてゐる。

なほ同日には昨年十二月タムボフ・コルホーズ員によつて開始されて以來三月までの獻金が總額七十億ルーブルに達したと發表され、六日に政府は國債發行のため

ソ 聯

應募を中止するやう呼かけるに至つた。國內の増産運動は春畑播種を前にして農業増産、即ち播種計畫勵行、面積増加、高收穫獲得畜産の増産が最も大きな問題となつてゐる。メーデー・スローガンにも各部門労働者、特に軍需工業労働者への増産呼かけが重要な部分を占めてゐる。

國內は以上の通りであるが外交方面では例のスモレンスク附近のポランド捕虜虐殺問題を繞つて亡命政權との間に大なる紛争を惹起し、遂に問題はソ聯政府の對波斷交にまで發展するに至つた。

更にソ聯の弱點と言はれる交通運輸力強化が擧げられ、十六日には全國鐵道の戰時狀態が施行されまた河川航行期を前にして河川運河の強化が叫ばれてゐる。工業方面にはメーデー前競争が展開され、婦人労働者の技術向上泥炭増産も大きな課題となつて居る。波蘭政府に對するこのソ聯の斷乎たる措置は米英に多大の衝動を與へ、米英は各その立場を異にするものの結局再び亡命政權の泣寢入に終るものと見られてゐる。その他事マートル中將を團長とする英國軍使節團の訪ソがあり、同使節團は四月中なほ滞在し、各方面と協議中である。

時事月表

(昭和十八年四月)

國	内	大東亞 (大東亞戰爭戦局を含む)	世
一 帝國銀行、新三菱銀行發足 △工作物築造、統制規則公布實施 △土木建築様式に戰時標準規格制定 二 炭礦整理實施要綱發表	四 東條首相滿洲國より歸還	一 東條首相、滿洲國訪問 △中日文化協會第二回大會、南京に開催 二 國民政府陳公博特派大使訪日 △瀋洲空軍獨立 三 北支派遣軍「國民政府參戰と北支派遣軍將兵」と題する小冊子頒布 △海軍航空部隊ソロモン群島フロリダ島方面敵艦船強襲大戦果發表	一 伊、洪首相會談(三日迄) △コロニア・ヴェネセラ國境劃定協定 二 伊海軍首腦部更迭 三 法皇、洪首相と會見 四 獨、佛叛逆分子の軟禁を發表 五 元フランス大統領ミラン逝去 △チリ、チエツコ政權を承認 △伊勃國境畫定 六 米、イランと新條約締結 △ポリヴィア參戰決定 七 イーデン、ド・ゴール會見△ギリシヤ内閣成立△獨伊兩巨頭會談(十日迄) △獨海空軍開戰以來撃沈せる敵艦總計二五、八三二、〇〇〇トンと公表 八 伊土經濟協定 △米物價安定令公布
六 十七年度産米實收高六六、七七五、八三二石と發表さる	七 陳國府特派大使來朝 △標準農村設定要綱成る	六 國民政府周佛海特派大使訪滿 △佛政府、鼓浪嶼共同租界行政權放棄を國民政府に通告 △陸軍部隊印緬國境マユ河畔に敵二個師を捕捉撃滅、殘敵掃蕩中、緬甸方面陸軍最高指揮官は河邊正三中將と發表さる	九 米、イラン通商協定 一〇 伯、反樞軸同盟加入 △ポリヴィア宣戰布告
八 日本文學報國會總會 △日本出版會役員決定	九 翼壯機構全面的改組決定 △金鑛業整備方針決定 △セメント配給統制強化 △美術院賞受賞者決定 一〇 自作農創設維持事業整備擴充要綱決定	九 瑞西、在支特權放棄聲明	九 米、イラン通商協定
二 地方長官會議開く(十五日迄) △褚民誼氏來朝	一〇 清郷工作、蘇北地區及び上海地區第二期工作々々開始 △佛印泰國境大動脈開通 二 海軍航空部隊ニューギニア島オロ灣を攻撃 三 ビルマの元旦「水祭」始まる △濠洲徵兵年齡引下げ △陸軍部隊二月月上旬以降三月下旬までの西北部印緬國境並に雲南省境附近の戦果發表	三 英軍事使節スターリン首相と會見△ヒ總統、ルーマニア首相會見(十三日迄) △獨軍レンングラード攻撃開始	

<p>三 十七年度貯蓄目標突破—藏相言明—</p>	<p>三 三</p>	<p>三 伊、スロヴァキア通商協定 △カトル、イーデン會見 △英公表、開戦以來一九四二年迄の東亞戰域以外における英空軍の損害七、四七六機</p>
<p>二 陸軍技術有效章授與式 △陳特派大使歸國</p>	<p>二 四 訪日バーモ長官一行のラングリン歸還 △印度國防會議開く △陸軍部隊アキヤブ北方地區作戦四月十日までの綜合戦果、大本營發表</p>	<p>二 四</p>
<p>一 五 チリ大地震邦人無事—外務當局談</p>	<p>一 五 わが病院船扶桑丸南太平洋を航行中敵爆撃機に不法攻撃さる</p>	<p>一 五 ソ聯全鐵道に戒嚴令</p>
<p>一 六 本年度金屬回收實施要綱決定 △決戦物價對策確立 △政府重臣懇談會</p>	<p>一 六 ビルマ・シンエサ聯盟新年總會</p>	<p>一 六 獨總統、洪攝政と會談(十七日迄) △波政權、對ソ問題聲明を發表 △獨機ロンドン空襲</p>
<p>一 九 内國爲替集中決済制採用決定</p>	<p>一 八 マニラ市隣組結成大會</p>	<p>一 八 獨土通商協定成立</p>
<p>三 〇 東條内閣改造斷行 △新米價對策成る</p>	<p>一 九 濠洲物價停止令公布</p>	<p>一 九 避難民會議開く △ヒ總統ノルウェー首相會談</p>
<p>三 一 内務三役決定 △情報局次長に村田群馬縣知事就任 △翼賛會副總裁に後藤文夫氏就任 △海軍論功行賞</p>	<p>二 〇 マライ、スマトラ地方長官異動</p>	<p>二 〇 米、日本本土爆撃に關して發表</p>
<p>三 二 文相に岡部長景子親任 △四・一八空襲米兵處罰問題堀第三部長談發表</p>	<p>二 一 海軍航空部隊エリス諸島フナフチ島を攻撃</p>	<p>二 一 獨總統、スロヴァキア首相と會談</p>
<p>三 三 天皇皇后兩陛下靖國神社へ行幸啓、親しく英靈に御拜 △陸軍論功行賞</p>	<p>二 二 第二十四集團軍新編第五軍長孫殿英投降 △太行山脈作戦に於て第三師長王遂慶 第四師長王月瑛捕虜となる</p>	<p>二 二 赤軍參謀總長にA・M・ヴァシレウスキー元帥新任</p>
<p>三 四 日本蠶糸發足、社長に片倉氏と決定</p>	<p>二 三 國民政府 天皇陛下に同光大勳章を御贈進</p>	<p>二 三 獨潜水艦大西洋において米空母レンジャーを撃沈と獨公表</p>
<p>三 五 セメント企業整備成る</p>	<p>二 四 昭南醫大開校式</p>	<p>二 四 ヒ總統クロアチア首相と會談</p>
<p>三 六 谷前外相を駐華大使に起用 △平生夙三郎氏樞府顧問官に親任 △查察使に鈴木國務相任命</p>	<p>二 五 ジャワ地方制度改正 △陸軍航空部隊四月廿六日及廿七日雲南驛飛行場の米空軍を奇襲、大本營發表</p>	<p>二 五 英第八軍工兵司令官フリードリッヒハーマン・キツシュ北阿で戦死と英公表</p>
<p>三 七 文化勳章授賜</p>	<p>二 六 昭南醫大開校式</p>	<p>二 六 北アイランド首相桂冠 △アブジョヌメイ元帥にレーニン章 △獨伊佛三國會談</p>
<p>三 八 物動並交通動員計畫閣議決定</p>	<p>二 七 ジャカルタ醫大開校式 △昭南から印度、濠洲向放送開始 △太行山脈作戦部隊奪火鎮、東姚集を完全占領</p>	<p>二 七 米、英大使ス議長と會見</p>

につき沈黙を守つてゐたが七日に至り日本軍密林部隊が狭隘な丘陵地帯を密かに北上し反樞軸軍をマヌ半島方面で十三哩後退させた」と報道し更にニューデリーからのUP電報は反樞軸軍司令部七日付公報として下記の通り報道してゐる

「アラカン地区の日本軍は数日前から行動を開始し、マヌ半島反樞軸軍陣地の北部を衝かうとしカゾック南方でマヌ河を渡河、トンベイク北方の丘陵と海岸とに挟まれた狭隘な地区で反樞軸軍の兵站線を脅かすに至つたので反樞軸軍は陣地を再編成した」

更にニューデリーからのAP電報は「マヌ半島の反樞軸軍は日本軍がカゾック南方でマヌ河を渡つて反樞軸軍陣地に侵入したため新陣地に後退した」と述べてゐる

▲英印軍孤立【ハノイ九日發】當地に達したロイター印緬前線特派員の報道によれば印緬國境ドンベイク北方の英印軍はマヌ半島において日本軍のために孤立に陥つた旨確認し、日本軍は既に印緬國境へ二十マイルの地點にまで到達してゐると報じてゐる

英印軍第六旅長を俘虜

▲大本營發表(四月十日十二時) 帝國陸軍部隊はベンガル灣岸インデン附近に包圍せる英印軍第六旅團に對し連續攻撃を加へ四月八日に至り之を殲滅其の旅團長ガベンディイツニを俘虜とせり

▲アキヤブ奪還の夢敗る【十日】マヌ河畔の包圍殲滅戦から辛くも逃れた敗敵はマヌ山系の中に入り込み、退路を求めて所在に彷徨、あるとき

は峻嶮な山中において、あるときはジャングルのなかにおいて不意に遭遇戦闘を演じわが部隊はこの山中を或ひは東に或ひは西に馳驅し複雑なる戦況を展開、氣つぶしに敗敵を掃蕩してゐるが、戦闘の大勢は海岸道に沿ふ地區に移動した、ヤンギン半島ドンベイクおよびラチヤング方面からアキヤブを窺はんとしてわが小兵力の部隊の果敢な肉弾反撃に阻止された敵第六旅團はインデン周邊地區においてわが部隊の主力に包圍された、去る五日以來この包圍圏は次第に壓縮され、敵は死物狂ひの頑強な抵抗を試みたが、八日朝に至り遂に殲滅の運命に立至り、旅長ガベンディイツニをはじめ多数があえなくもわが方の捕虜となり死傷も莫大に上つた、かくてアキヤブ奪還の夢の尖端に躍つた最強を誇る第六旅も、三ヶ月餘にしてあはれをとどめる最後を迎へたのである

わが部隊は引續き至るところに局地的包圍圏を構成、殘敵を殲滅中である、この海岸道地區における彼我の戦闘は極めて激烈である、敵は後方を脅かされながら海岸道を一步步々退却頑強な抵抗を行つてゐる、インデン方面では野砲、重砲の放列を布き、マヌ山脈から下りて来るわが部隊を喰ひ止めるため猛烈な射撃をなした、またわが包圍鐵環を脱出せんとあがく敵は重砲の猛射、爆撃の後、戦車を伴ひ突撃して来るが、わが方はその都度これを撃退してゐる、しかも包圍環の壓縮ともいづれが敵か味方かわからぬ状況も現出され

は峻嶮な山中において、あるときはジャングルのなかにおいて不意に遭遇戦闘を演じわが部隊はこの山中を或ひは東に或ひは西に馳驅し複雑なる戦況を展開、氣つぶしに敗敵を掃蕩してゐるが、戦闘の大勢は海岸道に沿ふ地區に移動した、ヤンギン半島ドンベイクおよびラチヤング方面からアキヤブを窺はんとしてわが小兵力の部隊の果敢な肉弾反撃に阻止された敵第六旅團はインデン周邊地區においてわが部隊の主力に包圍された、去る五日以來この包圍圏は次第に壓縮され、敵は死物狂ひの頑強な抵抗を試みたが、八日朝に至り遂に殲滅の運命に立至り、旅長ガベンディイツニをはじめ多数があえなくもわが方の捕虜となり死傷も莫大に上つた、かくてアキヤブ奪還の夢の尖端に躍つた最強を誇る第六旅も、三ヶ月餘にしてあはれをとどめる最後を迎へたのである

わが部隊は引續き至るところに局地的包圍圏を構成、殘敵を殲滅中である、この海岸道地區における彼我の戦闘は極めて激烈である、敵は後方を脅かされながら海岸道を一步步々退却頑強な抵抗を行つてゐる、インデン方面では野砲、重砲の放列を布き、マヌ山脈から下りて来るわが部隊を喰ひ止めるため猛烈な射撃をなした、またわが包圍鐵環を脱出せんとあがく敵は重砲の猛射、爆撃の後、戦車を伴ひ突撃して来るが、わが方はその都度これを撃退してゐる、しかも包圍環の壓縮ともいづれが敵か味方かわからぬ状況も現出され

わが部隊は引續き至るところに局地的包圍圏を構成、殘敵を殲滅中である、この海岸道地區における彼我の戦闘は極めて激烈である、敵は後方を脅かされながら海岸道を一步步々退却頑強な抵抗を行つてゐる、インデン方面では野砲、重砲の放列を布き、マヌ山脈から下りて来るわが部隊を喰ひ止めるため猛烈な射撃をなした、またわが包圍鐵環を脱出せんとあがく敵は重砲の猛射、爆撃の後、戦車を伴ひ突撃して来るが、わが方はその都度これを撃退してゐる、しかも包圍環の壓縮ともいづれが敵か味方かわからぬ状況も現出され

▲大本營發表(四月十四日十七時) 帝國陸軍部隊の「アキヤブ」北方地區作戦(航空作戦を含む)における四月十日までの戦果次の如し
一、敵に與へたる損害 ④遺棄死體約四、二〇〇(内英兵約二、〇〇〇) 俘虜五一門、主なる鹵獲品各種火砲一五一、重輕機關銃三七四挺、小銃四、〇一五挺、戰車及裝甲車五〇輛、自動車一七輛、馬四、四七三頭、船隻 擊沈二千噸級一隻、五百噸級四隻、擊破一千噸級一四隻、五百噸級一五隻、飛行機擊破四六五機、軍事施設爆炸炎上五二個所、二、我方の損害 戰死四二二名、飛行機四六機

▲陸軍の猛威 わがビルマ方面陸軍航空部隊は地上作戦に緊密に協力すると共に進んで東部印度の敵基地に進攻或は出撃し来る敵機を遂撃し我が地上火器も亦敵機に多大の損害を與へてゐるが十四日の大本營發表によつて昨年十二月から本年四月十日までの敵機擊破總計は四百六十五機の多數にのぼることが明かにされた即ち

地上砲 空中戦 地上射撃 火による 擊破
十二月 一六 四二
十一月 三二 四一
十月 三六 二二
九月 二〇 一三
八月 二五 一八
七月 一〇 一七
六月 一八 一七
五月 一〇 一七
四月 一〇 一七
計 一〇六 一八一

となつてゐる、敵機はコンソリデーテッドB二十四爆撃機、ハリゲーン戦闘機等を主とする最新鋭機であるが、わが陸軍の前に次々と擊破の運命を辿つてゐる、またわが陸軍の

東部印度への出撃はチツタゴン、フエンニイ、テンスキヤ等を初め遠くカルカッタにまで及び最近においてはアコウラ、ドハサー、ラム等敵の基地を氣つぶしに襲つてゐる

英印軍全く潰滅す

【十四日】アキヤブ奪取をねらつて出撃してきた英印軍は敵が最精鋭を誇る第十四師團(長少將ロイド)を基幹とする約二萬五千の兵力であるが、所屬部隊は相次ぐ我が捕提殲滅戦により左の如く潰滅し去つた
一、第四十七旅團(長準將ウインプサ)はマヌ半島ラチヤングにおいて潰滅
一、第五十五旅團(長大佐アンドロイジャクラー)はドンベイク方面において潰滅
一、第二百二十三旅團(長準將ハーモンド)はマヌ河右岸サラグラダ及びチズエ附近において潰滅
一、カラダン支隊(大佐ソッター)はアポーターク附近において潰滅
これにより第十四師は全滅の運命に陥りまた第十四師團長の指揮下にあつた第六旅團(長準將カーベンディイツニ)及び第七十一旅團(長不明)はドンベイク方面において潰滅した第五十五旅團に交替しさらに第六旅團が増派されたが、インデンにおける我が包圍殲滅戦を止めとして何れも潰滅、第六旅團長準將カーベンディイツニはこの激戦において我が軍の捕虜となつたことはさきの大本營發表に報せられた通りである、かくして昨年十二月下旬以來出撃し來つた第十四師を主體とする英印軍は恰も龍軍に向ふ蟻螂の如く敢へなく潰滅することが出来るわけである

師團が三個旅團、一個旅團が三個大隊でこのうち一個大隊がイギリス兵二個大隊が印度兵となつてをり別に師團砲兵が配屬されてゐる
▲英軍更に退却を認む【イスタンブール十五日發】ニューデリー來電印度駐屯反樞軸軍司令部は十五日に至り新に次の公報を發表した
カン地方の前線部隊はモンドール南方アラ地方の海岸地帯に於て日本軍と激戦を交へたのも更に北方の新陣地についた
▲印度軍の損害一部發表【イスタンブール廿三日發】ニューデリー來電によれば印度軍司令部は三日公報をもつて損害の一部を發表した内譯次の通り
△死傷並行方不明(一)總數 三千五百四十四名(一)英國軍 千五百七十二名(一)印度軍 千九百四十二名
△戰死(一)總數 三百九十二(一)英國軍 百七十一名(一)印度軍 二百二十一名

【ベルリン九日發】印度東部國境地帯における日本軍今回の赫々たる戦果についてはドイツ軍筋では九日次の意向を洩らした
一、反樞軸軍は守勢に當つてゐた際でも戦線を維持出来なかつたのだから反攻に出で日本軍に占據された地區を奪回することは出来ない、殊に印緬兩國の國境地帯にはもう雨期が始つて作戦が出来なくなるので日本軍としては秋になつて雨期が終るまで悠々新占領地帯に陣地を構築強化することが出来るわけである

反攻作戦は全く絶望

獨軍當局の見解
【ベルリン九日發】印度東部國境地帯における日本軍今回の赫々たる戦果についてはドイツ軍筋では九日次の意向を洩らした
一、反樞軸軍は守勢に當つてゐた際でも戦線を維持出来なかつたのだから反攻に出で日本軍に占據された地區を奪回することは出来ない、殊に印緬兩國の國境地帯にはもう雨期が始つて作戦が出来なくなるので日本軍としては秋になつて雨期が終るまで悠々新占領地帯に陣地を構築強化することが出来るわけである

四月十六日迄の戦果

た敗敵はマヌ山系の中に入り込み、退路を求めて所在に彷徨、あるとき

となつてゐる、敵機はコンソリデーテッドB二十四爆撃機、ハリゲーン戦闘機等を主とする最新鋭機であるが、わが陸軍の前に次々と擊破の運命を辿つてゐる、またわが陸軍の

我が包圍殲滅戦を止めとして何れも潰滅、第六旅團長準將カーベンディイツニはこの激戦において我が軍の捕虜となつたことはさきの大本營發表に報せられた通りである、かくして昨年十二月下旬以來出撃し來つた第十四師を主體とする英印軍は恰も龍軍に向ふ蟻螂の如く敢へなく潰滅することが出来るわけである

我が包圍殲滅戦を止めとして何れも潰滅、第六旅團長準將カーベンディイツニはこの激戦において我が軍の捕虜となつたことはさきの大本營發表に報せられた通りである、かくして昨年十二月下旬以來出撃し來つた第十四師を主體とする英印軍は恰も龍軍に向ふ蟻螂の如く敢へなく潰滅することが出来るわけである

一、日本軍が今後如何なる作戦に出るか極秘にされてゐるが、海岸沿ひのビルマ國境地帯はベンガル州への進撃に一番いい條件を備へてゐる勿論海岸地帯でも東西の連絡線は充分發展してゐないが、奥地の山岳密林地帯に比べると海岸地帯の軍の輸送はずつと容易である

一、但し雨期も間近いので、日本軍が更に大規模の作戦に出るとは思へないがビルマ地方における日本軍戦線が一番脆弱な部分に對する反樞軸軍の脅威は完全に取除かれ反樞軸軍はビルマ海岸地帯における最後の據點を失つて了つた、従つて今後反樞

軸軍がビルマ反攻作戦を企圖しても絶対成功を収める見込みはない一、茲で問題になるのは反樞軸軍の印度東部における作戦に呼應して何故重慶軍が雲南方面で作戦を起さなかつたかであるが問答は極めて簡單で重慶軍の實情が全く絶望的となつてゐる結果に他ならない

一、日本軍今回の戦果が如何なる政治的結果を齎すかといふことも決して輕視することは出来ないベンガル州は由來打倒英國の氣運が非常に強い所として知られてゐるが、日本軍が印度東方國境において戦果を収めると共に印度國內で英國打倒の運動が新に起る危険が愈々緊迫を呈するに至るであらう

フロリダ沖海戦

敵艦船十五隻撃沈

大本營發表(四月九日十五時)

帝國海軍航空部隊は四月七日大學ンロモン群島フロリダ島方面の敵艦船を強襲せり

戦果及我方の損害左の如し

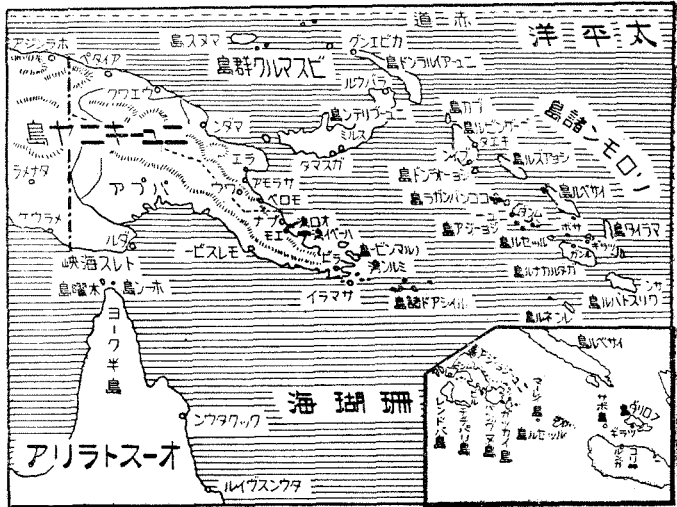
一隻、輸送船十隻△大破 輸送船二隻△小破 輸送船一隻△撃墜 三十七機

我方の損害 自爆 六機
(註) 本海戦をフロリダ島沖海戦と呼稱す

敵反抗の出鼻挫く

鮮やかな航空奇襲戦

【南太平洋〇〇基地にて竹田海軍報道班員】七日午前〇時、〇〇基地一帯にはスコール性の雨雲がおほひかぶさつてゐた、かかすかに黎明が闇を薄曇色に色あせる頃忍びよる朝の明るさへ突進するかの様に闇の幕を突き破つて海鷲は飛び出す、そして司令官の乗る誘導機が雲の上へ出た時、〇〇メートルの朝の大氣の中には何と素晴らしい多數の編隊がゐたことか、かくして〇〇キロを一飛びに攻撃隊と別れてわれ等の誘導機が前進基地へ着陸した、敵の最前線基地「ボ島」から僅か〇〇キロの地點敵味方が鼻つき合せて半歳餘に亘る死闘對峙をつづける大東亞戦血戦の地だ、突如頭上を金屬性のカン高い爆音を漂はせ乍ら、敵のロツクード



偵察機がどえらい高度をとつて飛び去つた、報道班が行を共にした攻撃隊は第〇隊と別れて、まづガ島島の南海上から一舉に北岸の敵艦船集結地へ雪崩れ込むべく、断雪が撤き散らされる海上を進んだ同島上空一帯には一萬米以上の積亂雲が聳えてゐる、やむなく同島を迂回し西端に達した時既にわが航空部隊の急襲に驚愕しきつてゐる敵は數十機のグラマン戦闘機と猛烈な地上砲火を浴せて来た、丁度ガ島西端の上空、僅かでもせず、ひたすら東へ東へと進んだに雲の切れ間から島の鼻がのぞいてゐる全軍に突撃命令が下つた、この断れ目から數隻の輸送船團が右往

時だわが戦闘機 左往してゐるのを認めた、隊を二分隊の先頭に對し、一隊がこの船團へ突入、雲の穴から下に見る船團へまっしぐらに突如グラマン戦闘機が降つて来た、〇〇隊の火は穴をふさいで一杯に炸裂するその姿を耳も裂けよと許りの急降下で委勢をとつた時敵の二機が小癩にも上空からビュンと降りかかつて来る、支那事變以來の歴戦の士たる〇〇中尉は、早速その一機を血祭りあげ敵飛行場沿岸の上空へ突撃したその時またもグラマン四機がわが爆撃機を向つて上つて来る「突撃」と隊に命令して眞つ先に突込みまたたく間に三機を列機の攻撃に任せて、さらに突進すると味方の〇機編隊に對し敵の五機が襲つて来た、敵は衆を待たぬかなか頑強に抵抗して出たが、二機だけ叩き落してあとを後續部隊に任せ爆撃機を掩護しながら東へ敵空深く進んだのである、一方爆撃隊はガ島西端を回つて北岸へ取付いた時から、敵戦闘機の襲撃、地上砲火が刻々熾烈になつて行く、各機幾發かの被弾を物と二、三、四番船と順序よく轟沈して沈みゆく姿を確認した上、悠々歸還の途についた、指揮機の翼は主桁をやられて今にもちぎれさうだつたが

前進基地まで漸くもつたのだつた、不思議としか思へない、かくて司令官の特つ前進基地へ引あげた海鷲の大群は機を休めるいとまもなく、悠々〇〇キロの海上を翔破して、日没には〇〇基地へ歸還、この戦闘にも若い優秀な海鷲が幾人か未だ還らざる数に入つてゐる、爆撃隊の〇〇隊長〇〇中尉は敵船団を発見する前に既に襲ひかかるグラマン戦闘機と空戦して被弾のため後席の偵察員負傷したが、飽くまで戦闘意識に燃える〇〇中尉は負傷した偵察員〇〇飛曹とともに敵船団に急降下爆撃を敢行、機を引起して歸途についたが、〇〇キロの地點まで来た時、突如雲の上から降つてきた二機のグラマン戦闘機の銃撃にあつて燃料タンクを射ち貫かれたゲンと高度のおちた〇〇中尉はしかし何となく味方の地點まで辿りつかんと、機尾から燃料の白い白い尾をひきながら飛びつづけたが、あつてに發動機が止まつてしまつた、わが一戦闘機は傷ついたので機を周囲を回りながら、八方激勵したが今は盡すべき手段も絶え果てた、それまでグツタリ頭をあげて偵察員がその時ムクツタリ頭をあげて僚機を仰ぎ見た、おおその手には軍旗がへんぼんとひるがへつてゐるではないか、傳聲管で自爆を決意した二人の爆撃隊員の最後を飾る軍旗であるとして〇〇中尉は一瞬、操縦桿から手を放して「天皇陛下高く高く」を絶叫したのであら、両手を高く高く差しのべた後、再び握つた操縦桿でグツと機首を下げ、まつしぐらにソロモンの海面目掛けて自爆したのでつた

前にする最前線基地へ着陸して一休みした時、報道班にこういつた「絶對に生きては歸りません、しかしか死にはしません、アメリカ人に殺されたいまものが」とサイダー瓶をポケットへ突込んで見せたのだつた、先輩の爆撃機につられて彼も歸つて来た、午後太陽が灼けつく様な飛行場へ戻つて来た、だが坐席から彼は立ち上らない、急いで駆けつけた軍醫の腕に抱かれて愛機からおろされた彼は、胸を見事敵弾に射抜かれた、飛行場で息を引きとつたのだつた、爆弾は落した、そしてサイダー瓶も機の中に見當らなかつた、憎い敵の頭で炸裂したのであら、大和魂を注ぎ込まれたガラスの爆弾として、そして報道班との約束通り「絶對に殺されず必ず死んだ」のだつた

▲米國海軍省發表「ブエノスアイレス九日發」ワシントン來電「フロリダ島沖海戦に關し米國海軍省は空軍七機の損害を認めためたので艦船の損害に關しては煩冠りを續けてゐるが九日夜に至り例により常套手段たる損害の一部發表を「驅逐艦、油槽船、コルヴェット艦、小給油船各一隻沈没」と發表した

東南アジア

北境の敵軍撃砕
敵屍俘虜千百
大本營發表 (四月十二日)

帝國陸軍部隊は「アキヤブ」北方作戦に呼應し西北部印緬國境並に雲南省境附近の敵軍に對し二月上旬作戦を開始し、三月下旬その目的を達成更なる所の殘敵を掃蕩中なり、本期間に於る戦果左の如し
一、敵に與へたる損害 遺棄屍體約九〇〇、俘虜約二〇〇、各種火砲七門重機四二挺、其他小銃、彈藥、糧秣、被服等多數
二、我方戦死八五

【十二日】英國印度軍司令官ウエーベルは本年三月までにビルマを奪回すると豪語し、その指揮下に踊る英印軍並に重慶境はアキヤブ北方々面西北部印緬國境方面及び緬支國境方面の三方面に於て奮闘を開始、これに對し我が緬甸方面陸軍部隊は敵の奮闘を完封し、殲滅作戦を準備、アキヤブ北方地區に於てはマユ河畔及びベンガル灣岸地區に於ける相次ぐ殲滅戦によりこれを壊滅せしめ、なほ敗敵を掃蕩中であるが、これに呼應して西北部印緬國境及び緬支國境地區に於ては二月上旬より作戦を開始し三月下旬を以つて撃滅の目的を達し、この兩方面に於ける綜合戦果が十二日大本營から發表された、斯くて緬甸奪回の夢に踊つた、三方面の敵は今や何れも我が緬甸派遣軍の善謀と勇戦による包圍殲滅戦の前に壊滅したり、遂に敵は東部印度及び雲南方面に重大な脅威をうけるに至つた、即ち

一、西北部印緬國境方面 ミイトキ一、西北部地區及びフーコン河谷地區に於て我が〇〇部隊の精銳は文化から遠ざかり、野象、虎、豹等の野獸が跳梁するジャングルを克服してタマ山脈中の敵軍主要據點シウダムを奪取り五回に亘る夜襲により奪取する等たり
二、敵は山中をバエモから續々進撃し敵の退路を遮断これを壊滅せしめた、敵は山中の部隊には空中輸送によつて食糧、彈藥等を補給して頑強に抵抗したが我が精銳はジャングルを克服雷雨を冒してこの頑敵を撃滅したフーコンに浴さない化外の民であるが我が宣撫工作隊の活動により心から皇軍に協力し來つてゐる

雲南驛飛行場爆撃

擊斃破四十六機
大本營發表 (五月一日十一時)

敵米國は在支米空軍を強化、支那大陸よりする我本土空襲を企圖してゐるが、我陸軍航空部隊は不斷の努力により機先を制して、敵の企圖をその都度挫折せしめてゐるが、去る四月二十六日、及び二十八日の兩日雲南驛南飛行場及び、西飛行場に對する完全奇襲に成功し、敵機撃破及び炎上四十六機といふ大戦果を擧げ春を迎へて奮闘を逞ふせんとする在支米空軍に徹底的打撃を與へた即ち廿六日雲南の碧空を衝いた我が戦爆聯合の編隊は雲南驛南飛行場を奇襲敵機の殆んど全部を撃破したが我が奇襲に敵は離陸するもの少く地上火器と沈黙し、我方は全機無事歸還した、この日の戦果の内譯は次の如くである

- 一、コックスパザル附近飛行場群を奇襲し敵戦闘機十六機と交戦其の八機を撃墜、他の八機に損傷を與へ全機無事歸還せり
- 二、緬甸「アランミョウ」東北方に於て敵機十二機と遭遇其の二機を撃墜せり、我方一機未だ歸還せず

ついで廿八日再び戦爆聯合の編隊をもつて雲南驛南飛行場を奇襲、在地敵機の大部分を火網をもつて捕捉しこれを潰滅せしめた、その内譯は次の通りである

△撃破 四發大型機一(紛碎)ノ一機を大編隊は勇躍基地を離陸した、40ス(我が奇襲に狼狽しながら離陸し追尾してきたP四〇戦闘機十機と交戦、その中三機を撃墜せしめたもの)この日我が方も自爆一機、未歸還一機といふ貴い犠牲を出した、尙今回の大本營發表による戦果は爆撃後寫眞偵察により確認したもので從來と同様正確無比の数字である

重慶損害隱蔽に汲々

【廣東五月一日發】 わが陸軍航空部隊の精銳が去る廿六日及び廿八日の兩日に亘り米空軍の根據地雲南驛飛行場を猛襲、大戦果を収めたことは大本營發表の通りであるが、右爆撃に關し重慶外電は「多數の戦闘機に掩護された日本爆撃機の大編隊は廿六、廿八日の兩日、第十四航空部隊の飛行基地雲南驛飛行場を猛烈に爆撃した、しかし右による損害は軍事施設及び交通機關の一部に被害を蒙つただけである」と報じ例の如くスチルウェル司令部の旨を受けてしきりと損害程度の隱蔽に努める常套的手段に出てゐるがすぐその後で「廿八日の爆撃では日本軍は米空軍と白熱的空中戦を演じ、この戦闘は近來稀な激闘であつた」と述べ「物凄い爆撃」なる文句を使用してゐる

天佑雲の窓開く

【ピルマ前線〇〇基地二十六日發】

四月二十六日午後突如雲南驛南飛行場を急襲攻撃したわが陸軍は一舉に敵大型、小型機二十二機を炎上撃破せしめた、この日緬甸國境方面は朝來暗雲低くたれこめてゐたが、天候は次第に回復、目標附近は特に急速

に良好となりつつありとの報に〇〇機の大編隊には四、五千メートルの高さで下層雲がのきばり出て、地上の様子は全然分らなかつた、〇時〇分俄然わが大編隊の前に大きな雲の窓が開けた、何とした天裕であらうその直下に雲南驛飛行場が見へるではないか、眞直に餌物に飛掛つて行くわが編隊に對して敵はまたどうした事か、菱型の飛行場に大型二機、小型二十機を並べてゐる、よく見ると敵機群は高官の查問でも受ける模様らしく、自動車四、五臺が大型機の傍に止まつてゐることから推してもてつきりこのやうに想像出来る、突如わが〇〇機より落下する巨弾が飛行場中央に炸裂したのである、敵兵の逃げ惑ふもの、自動車で急スピードで逃走するもの、阿鼻叫喚の大混亂であるわが爆撃隊の投擲が終るや〇〇部隊長は麾下の〇〇機の戦闘機を率いて〇〇メートルの超低空に下り爆弾の洗禮から免れた大型機をはじめ、滑走路の側に並ぶ小型機目がけて數回にわたり反覆銃撃を加へ遂に在地の全飛行機を撃碎すると共に悠々飛行場をあとにしたが、眞赤な火を吐いて燃える敵機は黒煙は千メートルの空にまで昇りいつまでも我が編隊のあとに斷末魔の姿を見せ

五回の反撃も我が獲物

【ピルマ〇〇基地五月一日發】

陸軍航空部隊が二十八日午後行つた雲南驛飛行場再度爆撃は二十六日も劣らぬ大戦果を擧げたのであつた、廿八日再度の爆撃及び空中戦闘の状況を行元平男、中村三郎の兩中尉に聞

いてみる この日は積亂雲が〇〇メートルの高さまで發達、雲南の山々の姿もその下に隠れて殆んど望見出来なかつた、〇〇江及び〇〇江を頼りに雲南めざして進むと、雲南の無仙湖及び滇池の茶褐色の水面がよく見え、わが大編隊は滇池の眞上を通過飛行場に殺倒した、爆撃隊が飛行場上空に達せんとしたとき、折から四發のコンソリデテッドB、24型一機が離陸せんとしたのだが、その離陸直前に全飛行場に〇〇發の巨弾が投せられそのB24型は勿論滑走路西北端附近にあつたB24型及びダグラス大型輸送機等九機及び飛行場北方にむき出しのまま並べられてゐた、小型機十機の間に全弾炸裂、數ヶ所より黒煙が吹いてもうもらうしたその煙は忽ち飛行場を包んでしまつた、爆撃隊が投擲せんせとする直前飛行場上空に於て敵P40型一機が挑戦して來たが遠方から一連射を浴せたのみで忽ち遁走して了つた、爆撃隊が飛行場上空より旋回滇池の上空に來たとき敵戦闘機三機が雲の下をくぐり二回目も攻撃を加へて來た、この飛行機も迷彩が剥げ米國のマークが見えない程使ひ古したもので、これまた自分たちがその方に機首を振向けると急降下して遁走した、爆撃の間敵は小銃一發應射するでもなく、それにこの

英軍三機喪失を發表

【リスボン一日發】

英空軍部隊は三十一日マンダレーの日本軍陣地を爆撃したが三機未歸還である旨發表した

々たる峻嶮を眼下に見る頃で、敵五機が突然雲中より出現、最後尾の〇〇中尉機は不意をつかれてエンヂンを射ち抜かれたが、屈せず應戦、自分たちもこれに加はつて戦闘をまぢ五分にして忽ちその二機を撃墜した、しかし残念にも〇〇中尉は力戦の俊力盡きたのか、遂にこの地點で壯烈な自爆を遂げた、〇〇江の流れを眞下に見る頃、敵機が二度び我々に追つて來たが、部隊長が逸早く發射し攻撃を開始したので敵は一發も射れ得ずに遁走した

タイ國偵察隊敵を撃退

【バンコック十三日發】

タイ國最高軍司令部發表(十三日午後四時)わが偵察隊はサハットタイドゥムの國境附近(チャンロウ東方)で渡河せむとする敵の一部と衝突し約三十分間に亘り戦闘を交へたり、敵は戦死傷者を生じ殘敵は全部退却せりわが方の損害なし

英空軍少將俘虜

【リスボン廿九日發】

ドン來電〇〇英國空軍省は元ジャワ反樞軸空軍司令官少將P・C・モルトビーが日本軍の俘虜となつてゐる旨、廿九日發表した、モルトビーは一九三五年には地中海方面英國空軍司令部に在任してゐた

佛 侵入の敵機撃墜

【ハノイ十九日發】

天候の回復とともに雲南省昆明を基地とする在支米空軍は十五日またまたハノイ市附近まで侵入、國境を去る五十キロバオへ附近において機銃掃射を以て安南人を殺傷したがこの際適確なる我が地上砲火により敵戦闘機P40型一機は機關部を打抜かれ、ラオカイに近接せる河口に墜落した

印 侵入の敵機撃墜

【ハノイ十九日發】

天候の回復とともに雲南省昆明を基地とする在支米空軍は十五日またまたハノイ市附近まで侵入、國境を去る五十キロバオへ附近において機銃掃射を以て安南人を殺傷したがこの際適確なる我が地上砲火により敵戦闘機P40型一機は機關部を打抜かれ、ラオカイに近接せる河口に墜落した

支那方面

▲第五軍長孫殿英投降す
【晋冀豫〇〇前線四日發】
第十四集團軍新編第五軍長孫殿英はわが軍の猛攻に堪へかねて廿四日我が〇〇部隊に投降した
▲三師長更に投降【南部太行山脈〇

シヤン州侵入の敵を撃滅
【日泰共同作戰軍發表】
日泰共同作戰軍發表(十日午後十時)
バンコック十日發】
日泰共同作戰軍發表(十日午後十時)
一、シヤンステートの敵主力を掃蕩隊に投降した

○前線二十五日發】蔣系第二十四集團軍第二十四師長午瑞亭は廿四日臨

▲侯如庸游擊枝隊長を捕虜【晉冀豫省境前線○廿五日發】翟井附近に

▲于光輝少將ら幹部續々捕る【山西南部前線○廿六日發】去る廿三日

▲南京九日發】支那派遣軍週間戰況

▲南京廿三日發】支那派遣軍週間戰況

▲南京三十日發】支那派遣軍週間戰況

▲南京廿七日發】支那派遣軍週間戰況

▲南京廿五日發】支那派遣軍週間戰況

戰況

支那派遣軍週間戰況

【南京廿二日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿一日發】支那派遣軍週間戰況

【南京二十日發】支那派遣軍週間戰況

【南京十九日發】支那派遣軍週間戰況

企圖し盛んにこれが督促を行つてゐるやうであるが事實はこれに反し作

【南京九日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿三日發】支那派遣軍週間戰況

【南京三十日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿七日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿五日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿三日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿一日發】支那派遣軍週間戰況

機先を制し三月下旬より湖南、江西

【南京廿三日發】支那派遣軍週間戰況

【南京三十日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿七日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿五日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿三日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿一日發】支那派遣軍週間戰況

【南京十九日發】支那派遣軍週間戰況

なる空中戦を交へ、三機を撃墜一機

【南京廿七日發】支那派遣軍週間戰況

【南京三十日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿七日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿五日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿三日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿一日發】支那派遣軍週間戰況

【南京十九日發】支那派遣軍週間戰況

支那派遣軍二月中戰果

【南京廿七日發】支那派遣軍週間戰況

【南京三十日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿七日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿五日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿三日發】支那派遣軍週間戰況

【南京廿一日發】支那派遣軍週間戰況

【南京十九日發】支那派遣軍週間戰況

船各一(大破)民船二(擊沈)四(大破)三〇噸級船舶三(大破)鮑家村、浮上站敵一四四師司令部、敵五軍司令部を爆撃△九日盧氏飛行場附屬建物に爆撃炎上せしむ、桂林飛行場格納庫爆撃炎上せしむ、北兩驛爆撃炎上せしむ、機關車六輛破壞す、貴州飛行場軍事施設爆撃炎上せしむ△十日大本部落要衝爆撃△十一日桂林飛行場滑走路爆撃△十二日清遠軍事施設爆撃二ヶ所炎上せしむ、佛岡兵舎爆撃炎上せしむ、四會軍事施設爆撃、肇慶敵六四軍司令部及び軍需品倉庫爆撃炎上せしむ、巴東、舟艇五擊沈、十大破△十五日南寧滑走路格納庫爆撃△十六日茂名廉州、城月、廉江市街軍事施設爆撃城月にては兵舎を炎上せしむ△十七日廉州軍事施設爆撃△十八日茂名軍事施設爆撃、兵倉十一棟を炎上せしむ△十九日廉江軍事施設爆撃三ヶ所を炎上せしむ△廿日南寧湖走路、附屬建物爆撃、化縣、大井城敵三八師司令部、軍事施設爆撃、藕池口舟艇大小約四十隻擊沈△廿一日陽江軍事施設爆撃△廿二日柳州、湖走路爆撃、使用不可能に至らしむ、石首舟艇約廿隻擊沈△廿三日安慶飛行場湖走路格納庫爆撃、陽江、軍事施設爆撃三ヶ所を炎上せしむ、藕池口、舟艇廿隻擊沈、大型舟艇一隻大破△廿四日梁山、飛行場附屬建物爆撃、萬縣、敵P四三型一機擊沈、大型船舶一隻中破、小型舟艇十隻擊沈、遂寧、化縣、茂名、梅麓、陽江、電白

孫良誠軍一ヶ年の戦果

【開封十七日發】孫良誠軍が昨年三月二十日和平陣營に参加して早くも一年を経たが、同將軍麾下で早くも軍は關海線商邱北方山東省西部の曹縣、單縣定陶各方面に於て過去一年間に左の如き戦果を挙げた

△交戦回数一二一△交戦敵兵力一二〇〇〇〇△敵遺棄死體三、七三四△捕虜二九一△鹵獲品、輕機二、小銃八四五、同彈藥一二、八四三、手榴彈八七二、その他多數

吳化文部隊蔣軍を撃擢

【南京廿六日發】抗戰の非を悟つて國府陣營に投じ、爾來山東方面軍總司令部として我軍に積極的協力をなしたつた吳化文上將麾下部隊は去る十二日拂曉重慶第五十一軍(軍長周光烈)及び新編第三十六師(師長劉桂堂)と山東省〇〇方面で戰闘を交へ、終始壓倒的攻勢をとつて兩部隊を撃擢したが、十九日までに吳化文部隊の擧げた主なる戦果は左の通りである

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△現地軍公表 現地軍は既報の如く隣接軍と協同して去る廿三日敵第二十四集團主力を山西省外臨洪周邊地區に捕提包圍し、廿四日に至りこれに潰滅的大打撃を與へたり、爾後軍は引續き敗殘彷徨する敵を河南、山西省境山地間に急進し諸所に撃滅する

山西河南省境の蔣軍撃碎

【南京廿六日發】抗戰の非を悟つて國府陣營に投じ、爾來山東方面軍總司令部として我軍に積極的協力をなしたつた吳化文上將麾下部隊は去る十二日拂曉重慶第五十一軍(軍長周光烈)及び新編第三十六師(師長劉桂堂)と山東省〇〇方面で戰闘を交へ、終始壓倒的攻勢をとつて兩部隊を撃擢したが、十九日までに吳化文部隊の擧げた主なる戦果は左の通りである

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

大本營發表表 五月一日十五時

帝國陸軍部隊は山西河南省境に蟠居せる蔣系第二十四集團軍約八萬及び山西察哈爾、河北省境に蠢動中の共產軍約二萬五千に對し四月中旬より作戦を開始し、隨處に敵を撃碎しつ

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

巧妙な我包圍作戦

大陸の山野に在つて常に治安の肅正に任じつつある帝國陸軍部隊は去る四月中旬より北支に一大作戦を展開その南部においては山西、河南省境に蟠居の蔣介石直系第二十四集團軍共產軍約八萬に對し、又北部においては山西、察哈爾省境に蠢動の共產軍約一萬五千に對しそれ、鐵槌を下だし目前隨所に敵を撃碎中である

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

山西河南省境の蔣軍撃碎

【南京廿六日發】抗戰の非を悟つて國府陣營に投じ、爾來山東方面軍總司令部として我軍に積極的協力をなしたつた吳化文上將麾下部隊は去る十二日拂曉重慶第五十一軍(軍長周光烈)及び新編第三十六師(師長劉桂堂)と山東省〇〇方面で戰闘を交へ、終始壓倒的攻勢をとつて兩部隊を撃擢したが、十九日までに吳化文部隊の擧げた主なる戦果は左の通りである

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

△敵遺棄死體一、九〇〇△捕虜二〇〇△鹵獲品、輕機一、小銃二〇七△損害、戰死約三〇〇

華北の蔣系軍壊滅

【晉豫省境前線〇〇廿七日發】山西河南兩省々境に敵第二十四集團軍を殲滅したつたが、現地軍並に隣接諸部隊は廿四日に至り遂に捕提擊滅せしめて赫々たる大戦果を挙げ、引き続き敵掃蕩中であるが、現地軍では廿七日午後三時次の如く中間戦果を公表した

第廿四集團軍參謀武常恒

▲東姚集攻略戰果(山西南部)〇〇五月一日發)第四十軍の敗走部隊約千五百が遁入、頑強に抵抗を續けつゝあつた東姚集の攻略戦は天長の佳節廿九日拂曉以來わが酒井、印南、田村の諸部隊により肉弾に次ぎ肉弾戦をもつて復廓陣地を大々次々に奪取、廿九日早朝には遂に東姚集に突入、引續き第二、第三、第四陣地に猛撃を敢行中であつたが、卅日拂曉最後の肉弾突撃を敢行して徹底的に蹂躪撃滅、これを完全に占據した、戦果左の通り

△敵遺棄死體一、四〇〇△捕虜一〇〇△鹵獲品、迫撃砲三、重機三、輕機二、小銃二五〇、其他通信器材、銃劍彈藥等多數

李仙州軍移駐企圖を粉碎

【徐州二十七日發】西隴海線沿線に作戦中の我が山岡、日下部兩部隊は北上中の蔣系第九十二軍李仙州部隊約三千を二十五日夕刻楊山東南地區において捕捉〇〇より急遽出動した佐々木、今津、清水、森、若林の各部隊と協力猛烈な殲滅戦を展開、引續き潰走する敵を猛撃、更に二十六日夜猛烈な夜襲戦を敢行目ざましい戦果を擧げた、かくて西隴海線地區における李仙州麾下第九十二軍の山東移駐の企圖は完全に粉碎された、廿五日夕刻以來廿七日早朝までの綜合戦果は左の通りである

△敵遺棄死體一、三〇〇△捕虜二三〇△鹵獲品 迫撃砲二、同彈藥三〇、重機三、輕機十一、擲彈筒十一、小銃二四七、同彈藥五〇〇、拳銃二七

南支

米空軍廣州灣宣燄

【廣東十日發】九日午前十時半カーチスP四〇型八機の米空軍は廣州灣に來襲、西營及び市金橋市に燒夷彈を投下、暴虐にも市内住宅區域にところ嫌はず機銃掃射を浴せ、多數の損害を與へた、我が防禦砲火は直ちに猛烈なる反撃を加へ、内一機は忽ち黒煙をはきつつ浙嶺方面に遁走したが、これを見た他の敵は倉皇として東北方に遁走した

陸軍零陵を爆撃

中空・爆空

【南京廿五日發】支那派遣軍報道部發表(四月廿五日正午)陸軍航空部隊は廿四日午後大學して零陵(湖南省)に進攻、在空中の敵戦闘機十一機と戦闘を交へ終始優勢なる態勢をもつて敵を壓迫し殆んど全機に對し有效なる數回の攻撃を加へたり、戦果左の如し

敵飛行基地連爆

【重慶、衡陽、桂林發】我航空部隊の四月中敵飛行基地爆撃に關する重慶側情報左の通り

Table with 4 columns: Date, Location, Situation (戦況), and Remarks. Includes entries for 衡陽、零陵、長沙、雲南省西南部、麗水、建甌、雲南省西部、麗水、桂林.

十三日 建甌 廿八日 昆明

濠洲方面

濠洲の飛行艇沈没

【リスボン廿九日發】ロンドン來電 〓米空軍省は七名の濠洲人並びに四名の米人を含む總員十三名が搭乘してゐた濠洲空軍の大型飛行艇一臺が四月廿二日北部濠洲の某港附近の海上に不時着水して沈没した結果行衛不明になつた旨發表した

日本潜水艦隊攻撃

【リスボン卅日發】メルボン來電 〓西南太平洋反樞軸軍司令部は卅日の戦況發表に於て「相當勢力の日本潜水艦隊が濠洲東海岸水域に於て攻撃を加へ來つた」と發表した

艦船、地上機、諸施設に大損害

アニギーニ

【大本營發表(四月十三日十六時三十分)】一、帝國海軍航空部隊は四月十一日アニギーニヤオロ灣方面の敵艦船及航空機群を攻撃し輸送船三隻、驅逐艦一隻を撃沈、戦闘機二十機を撃墜、小艇數隻に相當の損害を與へたり、我方の損害自爆及未歸還六機

二、帝國海軍航空部隊は四月十二日ポート・モレスビーの敵飛行場及船舶を攻撃せり、戦果及我方の損害左の如し

△戦果 撃沈輸送船一隻、撃墜二十八機、地上撃破大型機數機、小型機十數機、地上爆破軍事施設數ヶ所、擊碎兵舎二十數棟

南太平洋の敵に重大脅威

【十三日】遠く南濱の涯に日夜その翼を休めることなきわが海軍航空部隊は四月十一日白晝、空を徹ふ堂々たる戦爆大編隊を以てアニギーニヤのオロ灣に進攻、折しもオロ灣東方十五キロの地點を西方に向ひ航行中の驅逐艦及び中型輸送船一隻、小型輸送船一隻に必殺の巨彈を浴びせ、これを撃沈、またオロ灣南方二十キロのヘーグウェイ灣に碇泊中の二千ト

ン級輸送船一隻をも撃沈したほかオロ灣岸壁に繋留中の小艇數隻に相當の損害を與へ、この間敵戦闘機廿一機を撃墜したものである、而してこれら輸送船はいづれも兵員、資材軍需品を満載してゐたもので、敵の狼狽ぶりは目にも餘るものがあるがわが方も敵が地上よりする必死の反撃によつて自爆及び未歸還六機の尊い犠牲を出した、四月十二日のポートモレスビー自爆轟撃は久しい沈黙を破つて行はれたものだけに兵力の増強に狂奔しつゝあつた敵空軍と終始熾烈な戦闘が展開された、まづ灣内碇泊中の七千トン級輸送船に對して必殺の命中彈を浴せこれを瞬時にして轟沈せしめ、ついで逃げ場を失ひ數ヶ所の飛行場から小艇にも我に挑戦すべく一齊に舞ひ上つたグラマン戦闘機を中心とする敵の大群と交戦うち廿八機を撃墜、更に地上にあつた大型機數機に必中の爆彈を見舞ひ大爆發を起さしめたため附近の軍事

施設燃料タンク等にも延焼して忽ち炎上し、また小型機十數機はわが銃撃を浴びてこれ亦炎上大爆發を起したが、更に鉦先を轉じて地上の兵舎四十四棟のうちその半数に達する二十數棟を撃碎、同方面を足踏りとして甚だ強固と兵力の増加に狂奔しつゝあつた敵の心膽を寒からしめたものであるが、わが方自爆五機といふ尊い犠牲を出した

敵側發表

【ブエノスアイレス十二日發】メルボルン來電によれば反樞軸軍司令部の發表要旨左の通り 〓日本軍の爆撃隊は戦闘機と共に大舉ニューギニア島のオロ灣を爆撃反樞軸空軍と戦闘を交へた、日本航空部隊はオロ灣に多數の爆彈投下に成功し二千噸級の小型船一隻は遂に直撃二發を受け海濱にのしあげその他の損害乃至死傷も出した、偵察によれば日本軍の空軍戦力は著しく増大し最近における日本軍の攻撃に徴するも日本軍が空軍の攻勢を開始し右攻勢が相當の規模に達するかも知れない

ミルン灣に敵輸送船團潰滅

【大本營發表(四月十六日十六時)】帝國海軍航空部隊は四月十四日敵輸送船のニューギニアミルン灣來着を偵知し大舉之に攻撃を加へ更に他の部隊はラビ飛行場を急襲し左の戦果を收めた

△撃沈輸送船四隻△大破炎上後沈没輸送船七隻△撃破小艇數隻△撃墜四十四機△地上撃破十數機△爆破炎上軍事施設五箇所△此の間に於ける我方の損害 自爆五機

驚嘆すべき我海軍の威力

【十六日】 わが海軍航空部隊は去る十二日のオロ灣爆撃に於て更に十四日朝またも空を蔽ふ大編隊を以てニューギニア東端の敵補給基地たるミルン灣に進撃、折しも兵員、兵器、資材等を満載しミルン灣に入港せんとする敵船団を哨戒機の機上電波により発見、直ちに捕捉、これに必殺の命中弾を浴せまじ最初の爆撃により中二隻を炎上、他の一隻を海岸にのしあげさせるとともに續く船團からの熾烈な防禦砲火を冒して大型三中型一、計四隻の輸送船を忽ちして撃沈大型二、中型四、小型一、計七隻の輸送船を大破炎上後沈没せしめ、更に灣内の小艦艇數隻をミルン灣の藻屑と葬つたのである、一方他の編隊は附近のラビ飛行場を空襲、狼狽の揚句小艇にもわれに挑戰せん」と飛行場から一齊に舞上つた敵戦闘機P三八、P三九、P四〇と激闘を交へ、うち四十四機を撃墜、地上にあつた敵十數機に對して必殺弾を浴せしめこれを悉く撃破し、更に飛行場、燃料庫等軍事施設五ヶ所を爆破炎上せしめ紅蓮の焰は炎々と空に冲するばかりであつた、この戦闘においてわが方も自爆五機の尊い犠牲を捧げたことは痛惜に餘りあるが、此の大戦果は先のルツセル島方面における敵戦闘機四十七機撃墜、或はフロリダ島沖海戦、オロ灣、ポート・モレスビー攻撃等の大戦果と相俟つてその戦略的意義は次の如く絶大なるものあり、一方米濠の物心兩面の打撃は蓋し甚大といふべきである

補給企圖も年初以來増強されつゝあ我精銳なる海軍の猛威の前に逐日封壓されつゝある

一、船舶難に躍起の折柄一舉に十一隻の輸送船喪失は米國にとつて大痛撃である、四月に入つて南太平洋水域において我海軍の餌食となつた敵輸送船は實に撃沈二十五隻、撃破三隻に上り補給戰の窮乏が南太平洋戰局の鍵ともいふべき現段階においてかく大量の船舶喪失は船舶難にいかく拍車を加へると共に補給に重大支障を來す、今や船舶の撃沈は艦艇の撃沈にも匹敵すべき重大意義を有するのである

一、ミルン灣の十一隻は勿論右輸送船は何れも兵員、兵器、資材等を満載してゐたものであり、假りに一隻六千トン平均とするならばその載貨は十一隻で八萬五千餘トン、二十八隻では二十一萬八千餘トンとなり、これら莫大な兵器、資材の喪失が敵反撃力に及ぼす影響は絶大である

一、輸送船、兵器、資材と共に兵員多數が海底に居り去られたことは特に米國民に與へる精神的打撃が大きい、ミルン灣に撃沈された十一隻の輸送船には少くとも一萬人以上の兵員が乗つてゐたと見て差支へないであらう

我航空部隊連爆

【リスボン二十一日發】メルボルン來電「西南太平洋反極軸軍司令部は日本航空部隊が二十日夜ニューギニアのオロ灣を爆撃した旨發表した」

【リスボン廿二日發】メルボルン來電「反極軸軍司令部は廿一日夜月明を利して日本航空部隊がニューギニア島東部の反極軸軍基地を爆撃、地上施設に損害を生じた旨發表した」

【アエノスアイレス廿五日發】ワシントン來電「米海軍省は廿五日次ぎの通り發表した」

爆撃司令行方不明

【リスボン二日發】シドニー來電「西南太平洋反極軸軍司令部は二日第五航空部隊司令第五爆撃隊司令ブリゲン・ホワデー・ネーミイはニューギニア島の作戦で行方不明になつた旨發表した」

米軍代將戦死公表

【リスボン五日發】メルボルン來電「西南太平洋反極軸軍司令部は米國陸軍第五爆撃機隊司令官代將ハワード・ラメイがニューギニア戰域で作戦中戦死した旨五日發表した、ニューギニア戰域で戦死した米軍將官はこれで六人目である、最近米國各新聞は戦死、負傷及び捕虜となつた將校名を連日掲載、その發表數は四月一

日、一五五名、二日、三〇〇名、三日、五二六名の多數に上り、米國民に大きな衝撃を與へてをり、戦死の通知を受けた家庭の服喪するものが漸く目立つて來た

濠洲軍の死傷

【ストックホルム十一日發】ロイター電報によれば濠洲陸相フォードはニューギニア島の陸上戰で濠洲軍は今日までに判明した所では戦死二千一百一十一名、負傷兵、三千八百三十三名、行方不明、二百六十九名を出した旨言明したといはれる

印度方面

チツタゴン上空で大戦果

【南方〇〇基地一日發】陸軍航空部隊は前日に引續き三十一日もチツタゴン附近の敵飛行場を攻撃、邀撃し來れる敵ハリケーン十六機と壯烈な空中戰を交へその八機を撃墜、残余の八機に悉く命中弾を與へて全機無事歸還した、他の一隊はマグウェン附近上空に於て侵入し來れる敵B24爆撃機十二機と交戦、その一機を撃墜、他の一機は黒煙を噴きつつ遁走、残余の敵機はジャングル中に爆弾を放擲し惶惶として遁走したなほ撃墜した敵機の搭乗者のうち落下傘で降下した敵兵四名は直ちにわが軍により捕虜となつた

東部印度攻撃綜合

戰果

【六日】 ビルマ方面の我が陸軍航空部隊は三月下旬以來翼の休む暇なく東部印度に連日出撃果敢な撃破戰を以て敵勢を挫伏せしめてゐる即ち我が陸軍の精銳は去る一日フエンニ飛行場並に停車場を急襲、必中彈を以て停車場附近四ヶ所飛行場所屬軍事施設數ヶ所を爆撃炎上せしめ挑戰し來つた敵ハリケーン八機を撃墜し方も自爆三機を出した、翌二日はモンドンウ附近において敵船團を發見時を移さず猛撃を加へ五百噸級二隻撃沈、千噸級三隻及び五百噸級五隻を撃破、なほも同地附近において對空砲火を吐く軍事施設を爆撃した、敵戦士の多くはハリケーンを以て我に挑戰し來り忽ちにしてその二機を撃墜したが、我が方も未歸還一機を更に一日において四日午前にはドハザリ飛行場に出撃した陸軍は地上待機の敵機十八機を認めこれを一舉に撃破、挑戦し來つたハリケーンと激闘を交へてその八機を撃墜かへす翼をもつて軍事施設數ヶ所を炎上せしめ全機悠々無事歸還午後に至るや再び出撃モンドンウ東方廿キロのブチドンに到り市内及び埠頭附近の軍事施設に互

大本營發表

(四月六日十五時廿分) 帝國陸軍航空部隊の東部印度攻撃による四月一日より同四日迄の綜合戰果次の如し

一、敵に與へたる損害 (イ) 飛行機撃墜二十機、地上撃破十八機 (ロ) 船舶、撃沈五百噸級二隻、撃破一千噸級三隻、五百噸級五隻 (ハ) 軍事施設、爆撃炎上十數箇所

二、我方の損害、自爆又は未だ歸還せざるもの四機

彈を見舞ひこのため五ヶ所より猛火を發して炎上するを認めて歸還別の一隊は同時刻チッタゴン飛行場へ向つたが、途中進攻し來つたつたハリケーン卅二機と遭遇、忽ち激戦を交へてその二機を撃墜、凱歌を擧げて全機無事歸還した、なほこの日午前のブチドン攻撃においては大本營發表のほかに敵船舶二隻轉覆の戦果を擧げたことがその後判明した

五日間で敵機三十六撃砕

大本營發表 (四月二十二日十一時) 帝國陸軍航空部隊は四月五日以降九日に至る間印緬國境附近「モンドウ」並に東部印度「チッタゴン」「ドハザリ」及び「アコウラ」等の各地に進攻し或は來襲せる敵機を遂撃せり

一、敵に與へたる損害 △撃墜 七機、△炎上 一五機、△地上撃破 一四機、△船舶撃沈 一千噸級一隻、五百噸級二隻
二、我が方一機を失へり

▲戰鬪經過【十二日】

五日モンドウに進攻した我が編隊は軍事施設埠頭などに互彈を見舞ひ軍事施設六ヶ所を炎上、五百噸級船舶二隻を撃沈さらに一千噸級三隻に至近彈を浴せて歸還したが、この戰鬪に於て我が方は一機自爆の實の犠牲を出した、また別の隊はチッタゴン上空へ殺到、敵機十機と遭遇したが敵は一機を撃墜され全く戦意を喪失、他は逃走して交戦なく我が方は全機無事歸還した、この日ビルマ領内メイクテイラに敵戦闘機六機、爆撃機七機よりなる編隊が來襲、我が戦闘機は唯一機でこれを遂撃し阿修羅の如く敵編隊に組んでかかりヴィッカーソンロモン群島ルツセル島方面に進撃

ウエリントン爆撃機二機を忽ちに撃墜した
六日、この日我が戦爆連合の大編隊はアコウラ(チッタゴン北方二百料)南飛行場を初空襲同飛行場に在つた大型機六機を炎上、十四機を撃破我方は全機無事歸還した、同日十五時以降敵機は數回に互り蘭貢に來襲、我方はその中二機を撃墜した、爆撃による被害は僅少である
七日、この日我が陸軍はインデンを始めマニラ島における敵陣地を終日攻撃し敗殘敵部隊に徹底的打撃を與へ地上部隊の作戦に緊密な協力をなした、我が方全機無事
八日、この日はチッタゴン東南方十五料のドハザリ飛行場を急襲、在地

英軍發表印度空襲戦果

【イスタンブール發】ニユーデリー來電 印度派遺軍司令部發表、我航空部隊戦果左の通り
三月三十一日 場 所
四月二日 上空展開四機喪失
五月五日 モンドウ爆撃 ハリケーン戦闘機一撃墜
チッタゴン爆撃 損害と死傷
ベンガル州東南飛行場 損害と死傷
チッタゴン南方 損害と死傷
チッタゴン南方 損害と死傷
アラカン北部海岸二ヶ所 損害と死傷

海上戦線

海鷲ルツセル島

急襲

敵戦闘機四十七機撃墜
大本營發表 (四月三日十四時) 帝國海軍航空部隊は四月一日

敵機九機を炎上、飛行場施設を破壊した、敵高射砲は猛烈に火を吐いたが我方は全機無事歸還した
九日、この日はモンドウ西方約三料のナフ河々に敵の退却部隊を收容するため待機してゐるらしき敵輸送船に猛爆を加へ一千噸級一隻を撃沈した、更に別の隊はチッタゴンを襲ひ遂撃し來つたハリケーン二型九機と交戦その中二機を撃墜全機無事歸還した

海鷲エリス、ソロモン方面強襲

大本營發表 (四月二十八日十二時) 帝國海軍航空部隊は四月二十三日エリス諸島フナフチ島を攻撃し敵軍事施設に多大の損害を與へたる後全機無事歸還せり
二、帝國海軍航空部隊は四月二十五日ソロモン群島ガツカイ島上空の空戰に於て敵戦闘機六機を撃墜せり、我方損害なし
▲米濠連絡に大脅威【二十八日】二十三日夜銃鋒を遙に英領エリス諸島首島フナフチ島に進め、長驅初め

敵輸送船二隻撃沈

大本營發表 (五月一日十六時) 帝國海軍潜水艦は四月下旬南西太平洋方面に於て敵輸送船二隻(一萬二千噸級一隻、六千噸級一隻)を撃沈せり

ガダルカナル島連爆

夜間爆撃を敢行、敵飛行場、格納庫燃料庫、その他の軍事施設に必中彈を浴せ掛け、敵軍事施設は大音響と共に一舉に大爆破を起し九ヶ所から大火災を發しながら火柱天に冲する凄慘なる光景を呈し、大なる戦果を収め全機無事基地に歸つた、米國海軍省では我が方軍事施設に損害を蒙つた人員及び軍事施設に損害を蒙つた旨發表これを確認してゐるが今回のフナフチ島爆撃は米濠連絡に重大脅威を與へるものとして意義絶大である、更に我が海鷲は息づく暇もなく廿五日ソロモン群島ガツカイ島上空に於て米空軍が最新鋭の戦闘機と自負するヴォートシヨルスキー四機を捕捉殲滅した、即ちこの空戰はガ島、ルツセル島の基地に據る米空軍が對日反撃の企圖を以つてニユージョージア島南方のガツカイ島に飛來せるのを直ちに捕捉殲滅したもので、さきのルツセル島上空空戰の大戦果と共に米空軍が最新最高戦闘機と誇るヴォートシヨルスキーを全機叩き落したことは我が海鷲の眞價を遺憾なく發揮したものである、なほ外電によれば米國側では同空戰について二十五日早朝四機よりなる米軍ヴォートシヨルスキー戦闘機が日本航空部隊と交戦二機失つた旨報告してゐる

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電... 日本海軍省は二日次の通り發表した...

【アエノスアイレス四日發】ワシントン來電... 米國海軍省は日本航空部隊が四日ガダルカナル島の米軍陣地を爆撃これと交戦した...

【アエノスアイレス八日發】ワシントン來電... 米國海軍省は八日左の如く發表した...

【アエノスアイレス十八日發】ワシントン來電... 米國海軍省は十八日次の通り發表した...

【アエノスアイレス二十六日發】ワシントン來電... 米國海軍省は二十六日次の如く發表した...

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電... 三月十三日附米國週刊誌サタデーイヴニング・ポストは一九四二年十月南太平洋において日本航空部隊の猛爆に依つて船尾に損害を蒙り這々の態で眞珠灣に辿り着いた米國水上機母艦マツクフアーランド(一、一九〇噸)の足取りを次の様に傳へてゐる...

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電... 南太平洋の戦場で日本航空部隊の爆撃を受け艦尾の大部を破損した水上機母艦マツクフアーランドは非常舵を取付けたお蔭で某日眞珠灣に辿り着いた、同艦は日本海軍航空部隊の眞珠灣攻撃直前にハワイを出航した...

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電... 四本の電柱で非常舵を作りこれを艦尾に取付けた、同艦は四十二日後にツラギを出航して眞珠灣に向つたが最後の一千哩の航海は大風に悩まされて海上を彷徨しやつとの事で目的地に着くことが出来たのである...

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電... 貨物船一隻沈没(リスボン十二日發)メルボルン來電... 西南太平洋反極軸司令合部は反極軸貨物船一隻が濠洲海岸沖合で日本潜水艦のため撃沈された旨十二日發表した...

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電... 貨物船一隻沈没(リスボン十二日發)ウェリントン來電... ニュージーランド首相ビクター・フレイヤーはニュージランド艦隊のホルヴ...

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電... 米機野戦病院を爆撃... 南方〇〇基地廿三日發... 日毎に深刻化する類勢の挽回に西南太平洋方面における敵空軍は最近柄の月明を利用して我が〇〇基地上空に飛來し來つた敵コンソリデーテッドB24型五機は〇〇基地近郊の野戦病院上空に現れ、約二十分に亘り同病院に十數發の爆弾を浴びせて若干名の死傷者を出さしめ遁走した、この暴撃の如きは明かに敵の計畫的攻撃で敵は前もつて同地附近を偵察、特に小高い丘にたゞ一建つ同病院屋上に掲げられた鮮やかなる赤十字の國際大標識を明かに確認しつつ今度の攻撃を企圖したが流石不遜なる敵も晝間爆撃の非難を避けるため夜間にて議別不明の口實をあらかじめ準備して憎むべきこの暴撃を敢てしたものである...

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電... 米機頻に病院船を襲撃... 又復病院船うるる丸襲撃... 地九日發... 我が病院船うるる丸は去る三日ニューアイルランド島カビエング西方近洋上を進行中十四時五十九分敵爆撃機の攻撃を受け、直撃弾一及び至近弾數發のため相當の損害を受けた、うるる丸は病院船としての標識を明示し單獨航行してをりしかも白晝のことであり全く誤認の理由なく敵が病院船と知つて爆撃を加へたことは明々白々である...

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電... 再度の襲撃... マニラ十八日發... 三日爆撃を蒙つた我が病院船うるる丸は〇〇日傷つた船體を復舊しつゝ〇〇港に入港した同船は米機の不法爆撃のち折柄の颱風を乗り切つて來たものであるが、同船の〇〇港入港により米機は再度同船の不法爆撃を企圖した事實が判明するに至つた同船長伊藤兼吉氏、同船軍醫長福島覺氏は次の如く語つた...

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電... 米水上機母艦爆撃... 米英側損害發表... 米水上機母艦爆撃【アエノスアイ...

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電... 米機頻に病院船を襲撃... 北平洋... 鳴神島來襲の米機喪失... 【アエノスアイレス一日發】ワシントン來電... 米國海軍省は一日次の如く發表した、卅日午前ライトニング戦闘機に護衛されたリベラー一臺が對空砲火のため撃墜された...

欧米戦争

獨伊軍公表戦況

【ベルリン發】 獨總統大本營一日正午發表

△東部戰線

一、赤軍はクバン河口地帯で熾烈な攻撃を加へ來つたが獨軍は大損害を與へて撃退した

一、獨空軍はムルマンスク沖合で二千トン級のソ聯貨物船一隻を撃沈した

一、三月廿一日から廿一日までの間に獨軍のみで赤軍戰車四百五十六臺を撃破乃至鹵獲した

△チユニジア戰線

一、樞軸軍は廿一日再度熾烈な防衛戦を展開した、優勢な反樞軸軍は樞軸軍を迂回包圍せんと企圖したが樞軸軍により完全に挫折せしめられた

△西部戰線

一、反樞軸空軍は廿一日ロツテルダムの住宅地域を空襲、住民間に多數の死傷者を生ぜしめた

一、一日朝反軸四發爆撃機一機がドイツ西北部上空に侵入して來たが獨軍地上砲火により撃退された

一、反樞軸通商破壊隊に出動中の獨潜水艦隊は三月中に反樞軸商船百三十八隻八十五萬千六百トンを撃沈、更に十八隻に魚雷を命中せしめた、獨空軍は同期間に貨物船十一隻七萬五千トンを撃沈他の三十八隻二十二萬トンを損傷を與へた、その内一部は沈没したものと推定される

一、獨海軍水上艦隊は反樞軸驅逐艦二隻潜水艦九隻、水雷艇九隻を撃沈、驅逐艦二隻、水雷艇七隻に損害を與へた、獨空軍もまた潜水艦一隻、護送艦一隻を撃沈、驅逐艦二隻、哨戒艇一隻に損傷を與へた

【ローマ發】 伊軍司令部戦況公報

一、チユニジア戰線の戦況は北部及び中部地區において特に激烈を極めたが、伊軍は數次に亘る攻撃で捕虜百七十二名のほか大砲七十門、戰車多數を撃破した

一、南部地區の伊軍は戦線短縮のためガベ及びエル・ハンスを撤收した

一、伊軍急降下爆撃機は敵砲兵陣地及び戰車集團を攻撃、多數の戰車に大損害を與へた

一、樞軸空軍は空中戦において敵機十一機を撃墜した

一、地中海上に於てイタリア護送船團の襲撃を企圖した敵機三機は防禦砲火により撃墜された

一、強力な敵爆撃機隊がサルチニア島カリアリを爆撃し死者六十名負傷者六十名を出したが伊者六十名負傷者六十名をおいて四發爆撃機三機を撃墜した、我方一機未歸還

【ベルリン發】 總統大本營二日正午發表

△東部戰線

一、赤軍はラドガ湖南方地區に於て數回に亘り獨軍守備線に對し強襲を加へたが、いづれも獨軍の果敢な反撃によつて撃退された其他では東部戰線の全線に亘り局地的戰闘が行はれたに過ぎなかつた

一、三月中に赤軍が喪失した飛行機は一千二百六十七機に達したが、このうち一千二十八機は空中戦に於て百四十三機は高射砲隊により撃墜されたものである

△チユニジア戰線

一、反樞軸軍は中部並に南部地區の數ヶ所を攻撃に出たが樞軸軍はこれを撃退した

一、獨空軍はチユニジア並にクレタ島方面の空中戦で敵機十機を撃墜した

一、敵機は西部占領地區に對し晝間爆撃を行つたが空中戦並に地上砲火により四機を喪失した

【ローマ發】 伊軍司令部は二日次の戦況公報を發表した、チユニジア戰線中部地區における敵の進撃は撃退された樞軸空軍はボイヌの港灣施設をはじめ敵自動車敵部隊に空襲を加へた

一、獨空軍戰闘機隊は空中戦で敵九機を撃墜し更にスファツクスでは樞軸地上砲火により敵五機を撃墜した

一、日夜敵飛行機がブツシナヴイラ・サン・ジョヴァンニに來襲、小型爆弾を投下し僅少の負傷者を出した

【ベルリン發】 總統大本營發表總

△東部戰線 北部地區イェルメン湖南方における獨軍の攻撃は大成功を収め獨軍將兵は陸を没する泥濘と胸まで浸る濁流を乗り切つて赤軍を沼澤地帯へ追込み遺棄死體一、二二五、捕虜三七〇、撃破及び鹵獲した戰車二二六、大砲二五門、火焰放射器六六、速射砲一四、機關銃九二といふ戦果を収めた、ラ

【ローマ發】 伊軍司令部はチユニジア戰線並に地中海方面の戦況に關し三日次の如く發表した

一、チユニジア戰線は依然敵戦展開中であるが前日よりは幾分激烈さを減じた、樞軸軍は局部的攻撃に於て數陣地を占領し敵兵を捕虜とした、樞軸空軍は敵貨物自動車群及び砲兵陣地を爆撃多大の戦果を収めた

一、ドイツ空軍は西地中海に於て敵護送船團を攻撃、八千トン級一隻を含む貨物船二隻に魚雷を命中させた

一、反樞軸空軍は二日午後ナポリに來襲したが我戰闘機隊は四發機二機を撃墜した、シチリア島及びサルレルノ地方では若干の住民が爆撃の犠牲となつた

【ベルリン發】 總統大本營は四日公報を以て次の通り發表した

一、東部戰線ではクバン橋頭堡イェルメン湖南方並にレニングラード戰線に於ける赤軍の反復攻撃は何れも撃退され敵は甚大な損害を蒙つた、更に右戦線における赤軍の増援部隊も獨伊砲兵隊及び空軍によつて四散せしめられた、その他の戦線

【ベルリン發】 總統大本營は四日クバン河口地區の獨軍陣地に對し攻撃を開始、反復強襲を加へ來つたが、獨軍は大損害を加へて悉く撃退した戰闘は現在も依然續行されてゐる

△チユニジア戰線

一、獨空軍は空中戦で反樞軸軍機八機を撃墜した外ブライジ港附近水域

【ローマ發】 伊軍司令部四日發表

一、チユニジアに於ては全戦線に亘り戰況は稍小康状態を呈したが、北部戰線では伊軍砲兵部隊は反樞軸機甲部隊並に輸送部隊を砲撃して多大の戦果を挙げた

一、チユニジア南部戰線では樞軸空軍は三日から四日にかけて反樞軸飛行場を襲ひ、空中戦に於て獨戰闘機部隊は敵機四機を撃墜した

一、東地中海に於て我が哨戒雷撃機部隊は反樞軸護送船團を攻撃四千トン級油槽船一隻を撃沈した

【ベルリン發】 總統大本營五日正午發表

△東部戰線

一、赤軍は豫期したやうに四日クバン河口地區の獨軍陣地に對し攻撃を開始、反復強襲を加へ來つたが、獨軍は大損害を加へて悉く撃退した戰闘は現在も依然續行されてゐる

△チユニジア戰線

一、獨空軍は空中戦で反樞軸軍機八機を撃墜した外ブライジ港附近水域

で大型商船一隻に爆撃を加へ大損害を與へた

【ローマ發】 伊軍司令部は五日正午公報を以て次の戦況を發表した

一、獨伊空軍はアルジェリアのボーヌ港を強襲港灣並に軍事施設に猛爆を加へた

一、敵機は四日、ナポリ、シラクエー、パレルモ、カルロフォルテに來襲

一、大西洋水域に作戦中のマリオ・ロヤツチ大佐麾下の伊軍潜水艦隊は英國向け貨物輸送中の三千トンのギリシヤ船一隻並に英國船セルチツク

【ベルリン發】 總統大本營

一、クベン地區に於ける赤軍の攻勢は前日の大損害の結果挫折するに至つた

△テュニジア戦線 一、南部テュニジアに於て

一、重要高地を攻略したほか他の戦線は何れも概して平靜であつた

一、獨伊空軍は五日アントワープを中心に獨占領地を爆撃百八十名の學童が學校内で惨死をとげた

【ベルリン發】 總統大本營

一、赤軍は強力な砲兵隊の支援下に局部的攻撃を行ひ來つたが獨軍はこれを撃退した

一、獨軍の中部ドネツ地區に於ける攻撃作戦は赤軍の頑強な抵抗を排して目標に到達した

【ベルリン發】 總統大本營

一、全線に亘り平穩で、僅かに赤軍はクベン河口地區及ドネツ中流地區で局部的攻勢に出て來たが獨軍により悉く撃退された

一、獨軍は直ちに反撃に出その包圍企圖を撃退した後、計畫に従ひ新陣地に撤退した

【ベルリン發】 總統大本營

一、獨軍は更に赤軍第二大隊を殲滅し多數の捕虜を得た

一、北部においては獨軍軍砲兵部隊はレーニンград市の主要軍事施設に猛砲撃を加へ多大の戦果を擧げた

【ベルリン發】 總統大本營

一、獨軍はイジューム北部地區に於て掃蕩戦を敢行し多大の戦果を収めた、その他の戦線に變化はなかつた

【ベルリン發】 總統大本營

一、獨軍はイジューム北部地區に於て掃蕩戦を敢行し多大の戦果を収めた、その他の戦線に變化はなかつた

【ベルリン發】 總統大本營

一、獨軍はイジューム北部地區に於て掃蕩戦を敢行し多大の戦果を収めた、その他の戦線に變化はなかつた

【ベルリン發】 總統大本營

一、獨軍はイジューム北部地區に於て掃蕩戦を敢行し多大の戦果を収めた、その他の戦線に變化はなかつた

【ベルリン發】 總統大本營

一、獨軍はイジューム北部地區に於て掃蕩戦を敢行し多大の戦果を収めた、その他の戦線に變化はなかつた

【ベルリン發】 總統大本營

一、獨軍はイジューム北部地區に於て掃蕩戦を敢行し多大の戦果を収めた、その他の戦線に變化はなかつた

に連日十三機を喪失した
一、十日早朝英佛海峡において獨哨
戒艇隊は英砲艦三隻と交戦しうち二
隻に重大損傷を與へた、右戦團に於
て同哨戒艇隊には何等損害はなかつ

【ベルリン發】 總統大本營
二十日正午發表

一、獨部戰線
△東部戰線
方で赤軍二個大隊を掃蕩した
△チュニジア戰線
一、樞軸軍後衛部隊はカイルーアン
とヌーサを結ぶ地域で反樞軸軍の進
出を頑強に阻止、反覆反樞軸軍前衛
戰車隊の突破企圖を撃退した
一、樞軸軍戰團部隊は目下激戦を展
開しながら漸次北方へ撤退しつつあ
る、同作戰で樞軸軍は軍事施設を悉
く破壊した後ヌアツクスとカイル
ーアンを撤収した

△西部戰線
一、反樞軸機數機が十一日西部占領
地域からドイツ國境上空に侵入し來
たが、獨守備隊は五機を撃墜した
一、獨海軍艦隊は西部占領地域海岸
及びノルウェー沖合で更に反樞軸機
四機を撃墜した

【ベルリン發】 總統大本營
十三日正午發表
△チュニジア戰線
カイルーアン、ヌーサ北方
地區において樞軸軍は計畫通りの
作戰行動を行つた殿軍部隊は敵の進
撃を阻止する一方樞軸空軍は地上部
隊の作戰に呼應して活躍した他十二
日夜アルジェリーのボヌヌ港を襲撃
して碇泊中の船舶及び軍需貯藏所に
爆彈の雨を降せた

△東部戰線
地上戦は局地的戦闘を除き全線に亘
り平穩であつたが有力なる獨空軍部
隊は敵前線並に後方の兵站基地、輸
送部隊、鐵道施設、飛行場等を爆撃
大活躍を行つた
△地中海戰線
獨驅潛艇隊は地中海において敵潜水
艦二隻を撃破した
△空爆戰
敵空軍は十二日夜東プロシヤ地方就
中ケーニヒスベルク市に對して空爆
を行ひ爆彈及び焼夷彈を投下、住宅
地區、病院、學校等が被害を蒙つた
敵機は更に西歐占領地區及びノルウ
エーにも來襲したが、英機四機を撃
墜した

【ローマ發】 伊軍司令部は十三日公
報をもつて次の通り戦況を發表した
一、チュニジア戰線において強力な
樞軸軍後方部隊は反樞軸軍と交戦し
てゐる
一、獨戰團機隊は反樞軸軍多發機二
機を撃墜した
一、獨伊速合空軍編隊はアルジェリ
港を爆撃すると共にアルジェリ海岸
を爆撃して成果を収めた
一、イタリヤ雷撃機隊はアルジェリ
一海岸沖合において敵護送船團を攻
撃、六千噸の貨物船一隻に命中彈を
與へた
一、反樞軸空軍は十二日南イタリヤ
及びイタリヤ領諸島嶼の都市並に村
落に爆撃を加へ來りカタコンツァロ方
面において被害を受けコッセツア
ヴィゴ、ヴァレンソでは建築物に
損害を受けたほか死者六十名、負傷
者百二十四名を出した
一、伊軍は此の空襲において敵機三
機を撃墜したが一機はナポリ上空に
おいて伊戰團機隊が撃墜したもので

あり他の二機はシチリア島のメツシ
ナ及びバレルモにおいて伊高射砲隊
が撃墜したものである
一、過去數週間においてイタリヤ海
軍は反樞軸空軍並に海軍部隊の攻撃
により快速艇三隻、潜水艦二隻及び
巡洋艦一隻を喪失した、一方同期間
においてイタリヤ海軍は敵潜水艦三
隻を撃沈した

【ベルリン發】 總統大本營
十四日發表
△東部戰線
全線に亘り局地的戦闘が行
はれたのみだつた、獨空軍は十四日
も赤軍陣地並に兵站線を爆撃した他
リパチ半島水域で二千噸級船舶一隻
を撃沈した、一方空中戦では赤軍機
四十八機を撃墜、この間我方は二機
を喪失したのみである
△チュニジア戰線
西部地區においては反樞軸軍は數回
に亘り我が陣地に來襲したがいづれ
も撃退された南部地區では敵軍は我
が陣地に肉薄してをり頻りに偵察活
動を行つてゐる
△其他戰線
ノルウェー西海岸において英國空軍
が我が護送船團を襲つたが雷撃機並
に爆撃機計五機が撃墜された、又西
歐占領地帯に來襲した敵空軍は我が
戰團機並に地上砲火により四機が撃
墜された

【ベルリン發】 總統大本營
十五日正午發表
△東部戰線
クバン地區に於て赤軍は數
ヶ師團の兵力と有力な戰車部隊を以
て攻撃し來つたが獨軍の反撃にあつ
て甚大な損害を蒙り敗退した、其他
の東部戰線では重大な戦闘は行はれ
なかつた
△チュニジア戰線
各地區に於て反樞軸軍の攻撃が行は
れたがいづれも撃退された、反樞軸
軍は若干地點では樞軸軍の陣地突破
に成功したがこれ亦わが軍の反撃に
よつて包圍状態となり敗退した
一方獨空軍は敵後方兵站線を爆撃多
大の戦果を擧げた
△爆撃戰
十四日夜爆撃機隊はストットガルト
市に來襲、住宅街に若干の損害を受
けた、獨夜間戰團機及び高射砲隊は
少く共敵機二十三機を撃墜した他西
歐占領地帯の沿岸地方で更に他の五
機をも撃墜した、一方有力なる獨爆
撃隊は十四日夜ロンドン西北方の機
工業都市チェルムスフォードを爆撃
高性能爆彈及び焼夷彈多數を投下し
て多大の損害を與へた

【ベルリン發】 總統大本營
十六日發表の戦況公報次の
通り
△東部戰線
一、クバン河地區の赤軍の攻撃は獨
軍の猛反撃に依つて挫折し、赤軍は
大損害を蒙つて後退した
一、東部戰線の他の地區では特筆す
べき戦闘は行はれなかつた
一、獨空軍はコーカサス沿岸沖で敵
沼澤艦艇一隻を撃沈した
△チュニジア戰線
一行は反樞軸軍は南部丘陵地帯で
攻撃に出たが樞軸軍はこれを撃退捕
虜多數を獲た
一、獨空軍爆撃機隊は十五日夜ボ
ヌヌ港を急襲敵艦艇一隻並に貨物船一
隻を損傷さしむるとともに埠頭並に
倉庫群に直撃彈を多數與へた

【ローマ發】 伊軍司令部は十六日戰
況公報を以て次の通り發表した
チュニジア戰線では兩軍共に砲兵隊
の活躍が目立ち局地的激戦も展開さ
れた、樞軸空軍は敵軍輸送部隊及び道
路交叉點その他港灣施設等を爆撃、
多大の戦果をあげ、イタリヤ空軍は
中部地區で敵飛行機二隻を撃墜した
十五日午後米空軍四發爆撃機編隊が
ナポリ、バレルモ、カタニア、メツ
シナ等に來襲、爆彈、焼夷彈を投下
した結果一般市民に死者百二名、負
傷者百十五名を出した來襲機のうち
四臺はイタリヤ空軍及び高射砲隊に
依て撃墜された

【ベルリン發】 總統大本營
十七日發表
△東部戰線
一、クバン河地區の赤軍の
新しい攻撃は完全に挫折し、獨軍は
戰車五十臺を撃破した
一、東部戰線の他の地區では特筆す
べき戦闘は行はれなかつた
△チュニジア戰線
一、樞軸軍は西部並に南部地區にお
いて局地的戦闘を行つた
一、獨空軍は敵航空基地を爆撃多數
の飛行機を地上爆撃した
△獨英戰
一、十五日夜半ドヴィア海峡で獨沿
岸哨戒艇隊と英輕艇隊との間に遭遇
戰が展開され敵快速艇一隻は大損害
を蒙り恐らく沈没したものと思はれ
る、十七日夜樞軸空軍はアルジェリ
の港灣諸施設に對し猛爆を加へた
一、反樞軸國空軍大編隊はブレーム
を攻撃し來り住民地區に爆彈を投
下したが市民に死傷者はなかつた、
右攻撃機の一部は目標地區上空に達

する前に樞軸軍に撃退された、信ずべき筋の情報によれば反樞軸軍は四發重爆撃機廿機を喪失したといはれる、更に樞軸軍は占領地歐洲西部の沖合上空に於て反樞軸軍飛行機十一機を撃墜した

【ローマ發】伊軍司令部十七日發表

一、チヌニジア戦線南部地區では猛烈な砲撃戦が續けられ西部地區では樞軸軍は敵に大損害を與へた、又十六日空中に於ては反樞軸軍は飛行機十一台を喪失し樞軸軍地上部隊により五台を撃墜された

一、米空軍四發爆撃機編隊は十六日パレルモ・カタニアの諸都市に來襲市街の中心部に損害を蒙り、カタニアでは死者五十一名負傷者二百六十五名、パレルモでは死者五名、負傷者三十五名を出した來襲機のうち三台はパレルモで撃墜された

日八十

【ベルリン發】 總統大本營 十八日正午公表

一、ノヴォオロシスク南方地區では十七日再び激戦が展開され、獨空軍大編隊は赤軍陣地に對し反復爆撃を加へた

一、東部戦線の他の地區に於て局地的に赤軍は攻撃し來つたが獨軍により撃退された同地區に於て偵察部隊並びに機械化部隊は巧に作戦續行中である

日九十

【ベルリン發】 總統大本營 十九日正午發表

一、東部戦線のノヴォオロシスク南方地區では依然激戦が展開されてゐる

れた海戦で獨沿岸哨戒艦隊は英海軍砲艦一隻を撃沈、三隻に大損傷を與へた、獨側も哨戒艇一隻を喪失した

日十二

【ベルリン發】 總統大本營 廿日正午公表を以て次の通り況戦を發表した

一、ノヴォオロシスク南方の戦闘は依然續行されてゐるが獨空軍は強力な樞軸軍を以て赤軍の企圖を妨害した

一、西コーカサス海岸沖合に於て獨爆撃機隊はソ聯快速艇一隻を撃沈、船舶三隻に損傷を與へた

一、十六日から十九日までの間に赤軍は飛行機百七十八台を喪失したがその内廿二台はフィンランド戦闘機に撃墜したものである、此の期間に樞軸側も十一機を喪失した

一、チヌニジア戦線 樞軸軍は樞軸軍山岳陣地に局地的攻撃を加へ來つたが樞軸軍はこれを撃退した

一、その他の戦線に於ては砲兵隊の應酬と偵察活動があつたのみである

軍戦闘機隊はシチリア島から直ちにチヌニジア地方へ達し得る態勢にあり、いかなる危機をも克服することが出る、更に英國政府筋では最近一九四〇年十二月九日から一九四三年四月十五日に至る期間に英軍がフリカ戦線で戦車千四百台以上を喪失したと發表してゐるが、獨軍の調査では四千三百五十九台に達してゐる

【ローマ發】 伊軍司令部は廿日公報を以て次の通り發表した

一、チヌニジア全戦線に互り砲兵隊の活動が活潑に行はれた

一、樞軸軍は敵の局地的攻撃を撃退した

一、獨戦闘機隊は敵機十三機を撃墜した

一、敵空軍は北イタリアのスペチア港を空襲現在までに判明したところでは死者、八名負傷者五十名を出したこの空襲で敵機一機を撃墜した

日一廿

【ベルリン發】 總統大本營 廿一日正午公表を以て次の通り況戦を發表した

一、東部戦線 一、廿日依然ノヴォオロシスク南方で激戦が展開され獨空軍はソ聯機九十一機を撃墜、獨空軍も二機を喪失した

一、獨海軍艦艇部隊はソ聯補給線に對する戦闘に於て軍需品満載の荷船三隻を撃沈した

日一廿

【ベルリン發】 總統大本營 廿一日正午公表を以て次の通り況戦を發表した

一、チヌニジア戦線 一、十九日夜有力な英軍部隊は猛烈な豫備砲火の後チヌニジア南部戦線の樞軸軍陣地に攻撃を開始した、樞

軸軍は激戦を展開してこれを撃退したが戦闘は獨繼續されてゐる

一、反樞軸軍は局地的には樞軸軍陣地の突破に成功したが樞軸軍は直ちに反撃を加へてこれを撃退した

一、反樞軸爆撃機隊は二十日夜東プロシアのチルジツトを空襲、一般住民に被害者を出した

一、一方英佛爆撃機はステッチン及びロストツクの兩市に對しても威嚇攻撃を行つた住宅地區に病院に爆弾を投下、住民に被害者を出し且つ建築物も相當の損害を蒙つた

一、反樞軸空軍のこれら空襲に於て獨夜間戦闘機隊並に高射砲隊は敵爆撃機を撃墜したことが現在までに判明してゐる

一、一方英佛爆撃機は海峽沖合に於ては敵爆撃機一機が撃墜された

日一廿

【ベルリン發】 伊軍司令部は廿一日公表を以て次の通り況戦を發表した

一、敵は猛烈な豫備砲火の後チヌニジア戦線の南部地區を攻撃した

めた

一、反樞軸空軍は二十日南イタリアの小都市及びシチリア島を攻撃し來つたが損害輕微
一、過去二日間にイタリア空軍の歸還せざるもの三機

日二廿

【ベルリン發】 總統大本營
廿二日發表
一、東部戰線は局地的戦闘を除き平穩であつた、廿一日赤軍は飛行機七十七台を喪失したがうち二十台はフィンランド戦闘機に依り撃墜されたものである、獨軍飛行機二台は行方不明である、又獨海軍艦隊はコーカサス沿岸水域でソ聯補給船團を攻撃、補給船三隻を撃破した

一、チュニジア戰線の西部地區では樞軸軍は攻勢に出で目的地點に達し敵は甚大な損害を蒙つた、捕虜並に鹵獲品は多数に上るが現在までに正確な數字は判明しない廿一日南部地區では又も敵は強力な砲兵隊掩護の下に攻撃に出たが樞軸軍は之を撃退した、更に樞軸軍は數地點で反撃に出で戦果をあげた同日夜空軍もアルジェリヤ諸港に碇泊中の船舶を襲ひ戦果をあげ又護送船團にも空襲を加へ大型貨物船一隻に命中弾を與へた

一、獨空軍戰鬥機隊はドーヴァ海峡沿岸沖で爆撃機六臺を含む敵飛行隊八臺を撃墜した、又廿日夜敵空軍がステツテン、ロシュトツクを空襲した際、獨海軍部艦が撃墜した敵爆撃機は合計三十九臺に達した

【ローマ發】 イタリア軍司令部は廿二日正午次の戦況公報を發表した
一、チュニジア戰線の反樞軸軍は廿一日、南部地區に於て有力な砲兵隊の掩護の下に猛烈な攻撃を行つたが

わが方は頑強に敵の強襲を拒み、その企圖を挫折せしめた
一、同戰線の突出地點數ヶ所におけるわが軍の勇敢なる防禦戰鬥に於てトリエント第六十六歩兵聯隊第一大隊は功績特に顯著であつた
一、ポリチ・マリオ大尉の指揮する一隊はニュージブランド兵部隊に攻撃を敢行しこれに甚大なる損害を加へた
一、ドイツ爆撃機隊は敵の後方補給基地を爆撃した
一、ドイツ戰鬥機隊は空中戦に於て敵機四を撃墜また高射砲隊も二機を撃墜した
一、樞軸空軍は廿一日夜シリアのトリポリを長驅空襲石油貯藏施設に有効な爆撃を加へた

日三廿

【ベルリン發】 總統大本營
二十三日發表戦況公報次の通り
△東部戰線
一、東部戰の全地域に亘り特記すべき戰鬥は行はれなかつた
一、獨空軍は黒海沿岸のボチにある敵海軍基地を猛爆した
一、チュニジア戰線
△チュニジア戰線
一、チュニジア戰線の西部地區では局地的に激戦が展開されてゐるが二十三日の戰鬥において樞軸軍は捕虜數百名を得たほか敵砲兵陣地五ヶ所を占據すると共にトラツク五十臺を鹵獲した
一、チュニジア南部地區の反樞軸軍は優勢な兵力をもつて樞軸軍を攻撃したが大損害を受け後退した
【ローマ發】 伊軍司令部は二十三日正午戦況報告を以て次の通り發表した
一、チュニジア戰線南部地區では二

十二日敵の強襲が加はつたが樞軸軍の反撃は敵の進軍を阻止した、この作戰においてバルギ將軍の指揮するビストリア師團は拔擢の功を樹てた
一、西部地區でも敵の壓迫が續き目下激戦展開中である
一、獨空軍は空中戦で敵飛行機六臺を撃墜し船團を護衛中のイタリア空軍もスピットファイア四臺を撃墜した
【ベルリン發】 總統大本營
廿四日發表戦況公報次の通り
△東部戰線
一、東部戰線は獨空軍の活潑な活動を除けば特記すべき變化はなかつた
△チュニジア戰線
一、チュニジア戰線西部地區の反樞軸軍は果然大規模な攻勢に出で樞軸軍はこれを遂撃して目下激戦展開中である現在までに敵戰車四十八臺を撃破した
一、過去數日來の戰鬥に依り敵は甚大な損害を受けたためその攻撃力は漸次衰退してゐる
【ローマ發】 伊軍司令部廿四日發表
一、チュニジア戰線南部地區では敵は樞軸軍の頑強な抵抗に依り大損害を蒙り攻撃を再開することが出来ず廿三日は小康状態を呈した、然し乍ら西部地區では激戦が展開され樞軸軍は敵戰鬥部隊の攻撃を撃退した
一、樞軸空軍は絶へず敵密集部隊及び飛行場を空襲し戦果を収めた
一、敵空軍はメオロ地方に來襲僅少の損害を生じ非戰鬥員の死者十二名負傷者六名を出した
一、サルデーニヤ東海岸で獨戰鬥機は敵飛行機三臺を捕捉これを撃墜した

日四廿

【ベルリン發】 總統大本營
廿四日發表戦況公報次の通り
△東部戰線
一、赤軍はノヴオロシースク南方で攻勢に出たがこれは悉く失敗に歸した、東部戰線のその他の地區では特記すべき戰鬥は行はれなかつた
一、獨軍は廿四日空中戦並に地上砲火に依つて赤軍機四十三機を撃墜した
△チュニジア戰線
一、チュニジア戰線の南部地區の反樞軸軍は屢次に亘り樞軸軍陣地の突破を企てたがこの企圖は全部失敗に歸し敵は大損害を蒙つた敗退した
一、反樞軸軍は西部地區で優勢な部隊をもつて攻撃を加へ來つたが樞軸軍はこれを遂撃して熾烈な戰鬥を展開、彼我の間に相當の損害を生じたこの戰鬥において樞軸軍は敵戰車八十一臺を撃破した
一、獨空軍は地上部隊に協力して低空から敵陣地に銃爆撃を加へ大損害を與へた
△空中戦
英艦爆撃機二機は二十四日夕刻ドイツ西北區域に侵入し爆彈若干を投下したが被害は極めて輕微であつた
【ローマ發】 伊軍司令部は廿五日公報を以て戦況次の通り發表した
一、反樞軸軍はチュニジア戰線西部戰區に新に有力な戰車部隊並に歩兵部隊を出動させ樞軸軍との間に目下激戦を展開して居る、南部戰區に於ては偵察活動が行はれた
一、ドイツ戰鬥機隊は敵機四機を撃

墜、地上防空陣は三機を撃墜した、一方中部地中海に於て樞軸潜水艦は機敵一を撃墜した
一、イタリア爆撃機隊はハイファアの港灣施設を爆撃、有効な成果を収めた
【ベルリン發】 總統大本營
廿五日發表戦況公報次の通り
△東部戰線
一、廿四日夜米四發爆撃機隊はナポリ周邊を爆撃し來り若干の損害を出した、一方ナポリ東南方のトレ・デル・グレコでは死者四十七名、負傷者六十六名を出した
【ベルリン發】 總統大本營
廿六日正午發表
△東部戰線
一、獨海軍艦隊はコーカサス沿岸沖合でソ聯快速艦一隻を撃沈、他の數隻に損傷を與へ更に商船一隻に砲撃を加へて火災を生ぜしめた
△チュニジア戰線
一、チュニジア西部地區における防禦戰は依然熾烈に續かれてゐる、反樞軸軍は數的に優勢を持するにも拘らず、廿五日も亦突破企圖を挫折せしめられ激戦數刻の後戰車多數を喪失して空しく敗退した
一、樞軸軍は空中戦及び地上砲火をもつて反樞軸軍飛行機十二機を撃墜し樞軸機も二機を失つた
【ローマ發】 伊軍司令部廿六日發表
一、伊空軍はクレナイカの沖合で強力な護衛を附した反樞軸軍商船團を強襲、八千噸級及び五千噸級の商船二隻にそれぞれ數彈の魚雷を命中せしめた
【ベルリン發】 總統大本營
廿七日正午發表
△東部戰線
一、東部戰線では兩軍の間

日五廿

【ベルリン發】 總統大本營
廿五日發表戦況公報次の通り
△東部戰線
一、赤軍はノヴオロシースク南方で攻勢に出たがこれは悉く失敗に歸した、東部戰線のその他の地區では特記すべき戰鬥は行はれなかつた
一、獨軍は廿四日空中戦並に地上砲火に依つて赤軍機四十三機を撃墜した
△チュニジア戰線
一、チュニジア戰線の南部地區の反樞軸軍は屢次に亘り樞軸軍陣地の突破を企てたがこの企圖は全部失敗に歸し敵は大損害を蒙つた敗退した
一、反樞軸軍は西部地區で優勢な部隊をもつて攻撃を加へ來つたが樞軸軍はこれを遂撃して熾烈な戰鬥を展開、彼我の間に相當の損害を生じたこの戰鬥において樞軸軍は敵戰車八十一臺を撃破した
一、獨空軍は地上部隊に協力して低空から敵陣地に銃爆撃を加へ大損害を與へた
△空中戦
英艦爆撃機二機は二十四日夕刻ドイツ西北區域に侵入し爆彈若干を投下したが被害は極めて輕微であつた
【ローマ發】 伊軍司令部は廿五日公報を以て戦況次の通り發表した
一、反樞軸軍はチュニジア戰線西部戰區に新に有力な戰車部隊並に歩兵部隊を出動させ樞軸軍との間に目下激戦を展開して居る、南部戰區に於ては偵察活動が行はれた
一、ドイツ戰鬥機隊は敵機四機を撃

墜、地上防空陣は三機を撃墜した、一方中部地中海に於て樞軸潜水艦は機敵一を撃墜した
一、イタリア爆撃機隊はハイファアの港灣施設を爆撃、有効な成果を収めた
【ベルリン發】 總統大本營
廿五日發表戦況公報次の通り
△東部戰線
一、廿四日夜米四發爆撃機隊はナポリ周邊を爆撃し來り若干の損害を出した、一方ナポリ東南方のトレ・デル・グレコでは死者四十七名、負傷者六十六名を出した
【ベルリン發】 總統大本營
廿六日正午發表
△東部戰線
一、獨海軍艦隊はコーカサス沿岸沖合でソ聯快速艦一隻を撃沈、他の數隻に損傷を與へ更に商船一隻に砲撃を加へて火災を生ぜしめた
△チュニジア戰線
一、チュニジア西部地區における防禦戰は依然熾烈に續かれてゐる、反樞軸軍は數的に優勢を持するにも拘らず、廿五日も亦突破企圖を挫折せしめられ激戦數刻の後戰車多數を喪失して空しく敗退した
一、樞軸軍は空中戦及び地上砲火をもつて反樞軸軍飛行機十二機を撃墜し樞軸機も二機を失つた
【ローマ發】 伊軍司令部廿六日發表
一、伊空軍はクレナイカの沖合で強力な護衛を附した反樞軸軍商船團を強襲、八千噸級及び五千噸級の商船二隻にそれぞれ數彈の魚雷を命中せしめた
【ベルリン發】 總統大本營
廿七日正午發表
△東部戰線
一、東部戰線では兩軍の間

日六廿

【ベルリン發】 總統大本營
廿六日正午發表
△東部戰線
一、獨海軍艦隊はコーカサス沿岸沖合でソ聯快速艦一隻を撃沈、他の數隻に損傷を與へ更に商船一隻に砲撃を加へて火災を生ぜしめた
△チュニジア戰線
一、チュニジア西部地區における防禦戰は依然熾烈に續かれてゐる、反樞軸軍は數的に優勢を持するにも拘らず、廿五日も亦突破企圖を挫折せしめられ激戦數刻の後戰車多數を喪失して空しく敗退した
一、樞軸軍は空中戦及び地上砲火をもつて反樞軸軍飛行機十二機を撃墜し樞軸機も二機を失つた
【ローマ發】 伊軍司令部廿六日發表
一、伊空軍はクレナイカの沖合で強力な護衛を附した反樞軸軍商船團を強襲、八千噸級及び五千噸級の商船二隻にそれぞれ數彈の魚雷を命中せしめた
【ベルリン發】 總統大本營
廿七日正午發表
△東部戰線
一、東部戰線では兩軍の間

に偵察部隊の活動があつた

△チヌニジア戦線

一、反樞軸軍の大攻撃は樞軸軍の果敢な防禦によつて再び失敗に歸し、廿六日は若干地区において攻撃を加へ來つたに過ぎなかつた

一、四月廿日から廿六日まで敵軍九十三臺が我が地上部隊乃至空軍によつて破壊された、敵兵員の損害も莫大である

△爆撃戦

一、英空軍爆撃部隊は二十六日夜デニスブルク、オバーハウゼン、ミユエルハイム其他ドイツ西部地方に來襲、病院並に住宅地区に爆弾を投じたが、市民に若干の死傷者を生じたが、來襲機のうち少くとも十七機を撃墜した

【ローマ發】 伊軍司令部二十七日發

一、反樞軸軍はチヌニジア戦線西部地區で強力な歩兵並に戰車部隊を以て攻勢を繼續したが樞軸軍の頑強な抵抗に依つて悉く失敗に歸し更に樞軸軍は數ヶ所で反擊に出で敵に大損害を與へた、樞軸空軍も地上部隊と協力、敵に反復攻撃を加へ多數の戰車を破壊し或はこれに損傷を與へた

一、廿六日午後敵リベレータ爆撃機隊はイタリア中部のグロセツトに來襲、赤十字病院、幼稚園その他一般家屋に損害を生じた、又サルジニア島カリアリ州サント・アンテيوخほか三ヶ所に來襲したが來襲機のうち五臺は地上砲火により撃墜された

【ベルリン發】 總統大本營

二十七日正午發表

△東部戰線

一、クバン地區においては赤軍の數回に亘る攻撃があつたがこれも獨軍によつて撃退された

日九廿

【ベルリン發】 總統大本營

廿九日正午發表

△東部戰線

一、クバン橋頭堡及びレニエグラード東南地區に於ける赤軍の攻撃は挫折した、他の戦線は平穩にして變化がなかつたがドイツ空軍部隊はソ聯機五十二臺を撃墜した

△チヌニジア戦線

一、メジエス・エルバ東北地區に於ては反樞軸軍は強力な戰車集團を以て猛烈に攻撃し來り一部隊はわが陣地内に侵入するに成功したが獨軍豫備隊はこれを邀撃、敵に多數の死傷を生ぜしめてこれを撃退した、他の戦線に於ては敵は部分的に攻撃を行つたがすべて撃退された

一、ドイツ空軍部隊は全線に亘り地上戰團に協力しポーラ港沖に於ては敵快速艇を炎上せしめた

△西部戰線

一、廿七日夜ドイツ海峽に於て輸送船團を護衛中のドイツ艦艇部隊と快速艇を伴つた英驅逐隊との間に海戦が行はれたが、敵快速艇二隻は撃沈され、快速艇二隻及び驅逐艦一隻は大破した、また敵爆撃機の攻撃によりドイツ艦艇二隻は撃沈された

一、廿八日夜空軍はバルト海岸東部ロイセン及びドイツ北部地帯を空襲し、敵機十八機がドイツ國內に於て撃墜されまた占領地區で四機が撃墜された

一、廿八日深更ドイツ空軍部隊は東南イングランドを爆撃、大型爆彈多數を投下した

【ローマ發】 伊軍司令部廿九日發表

一、チヌニジア戦線では依然戰團が續けられてゐるが樞軸軍先遣隊は局部的に猛反撃に出で戦果をあげた、一方樞軸空軍は敵飛行機二臺を又高射砲隊は四臺を撃墜し更にイタリア空軍はソ聯機五十二臺を撃墜した

一、樞軸空軍はその活動を更に熾烈化し、敵密着部隊並に機械化部隊に間斷なき攻撃を續行して大損害を與へてゐる、廿九日の空中戦において樞軸空軍は敵機十七機を撃墜した

一、敵空軍は樞軸護送船團を攻撃したが二機を喪失した

日十三

【ベルリン發】 總統大本營

卅日正午發表

一、廿九日赤軍はクバン地區で又も強力な部隊を以て攻撃を開始した、猛烈な砲撃の後強力な戰車隊及び空軍の協力の下に獨軍陣地を攻撃して來たにも拘らず赤軍は何れの地點においても地帯を獲得することは出来なかつた、獨軍は空軍の有効なる掩護の下に赤軍と激戦を交へ戰車その他に大損害を與へて敵を撃退した、又獨空軍は南部戦線における空中戦で敵飛行機六十七臺を撃墜した

一、チヌニジア戦線西部地區では敵は數ヶ所で局部的撃退されたが何れも樞軸軍によつて撃退された、地中海水域で獨空軍は敵飛行機十二臺を撃墜し、五臺を喪つた

【ローマ發】 伊軍司令部卅日正午發表

一、チヌニジア戦線では依然戰團が續けられてゐるが樞軸軍先遣隊は局部的に猛反撃に出で戦果をあげた、一方樞軸空軍は敵飛行機二臺を又高射砲隊は四臺を撃墜し更にイタリア空軍はソ聯機五十二臺を撃墜した

一、樞軸空軍はその活動を更に熾烈化し、敵密着部隊並に機械化部隊に間斷なき攻撃を續行して大損害を與へてゐる、廿九日の空中戦において樞軸空軍は敵機十七機を撃墜した

一、敵空軍は樞軸護送船團を攻撃したが二機を喪失した

伊軍三月中の損害

【ローマ十日發】 イタリア軍司令部は三月中に於ける陸、海、空軍の損害を十日午前次の通り發表した

一、合計 戦死千三百七十五名、戦傷二千四十五名、行方不明四千五百八十八名

一、内譯

△陸軍(北河) 戦死五百二十二名、戦傷五百四十八名、行方不明二千八十八名(ベルカン) 戦死四百九十名、戦傷千九百九名、行方不明千八百六十二名(本土) 戦死百一名、戦傷七十八名

△海軍 戦死百五十八名、戦傷百九十七名、行方不明五百四十七名

△空軍 戦死六十名、戦傷七十一名、行方不明九十九名

△商船隊 死亡五十四名、負傷四十名

樞軸軍一週間の戦果

【ローマ十二日發】 イタリア軍司令部は四月四日より十日迄に至る樞軸軍の戦果を十二日次の如く發表した

一、飛行機撃墜百七十五機うち空中戦によるもの百四機、對空砲火によるもの七十一機

東部戦線

冬季攻勢終了

【モスクワ二日發】ソ聯情報局は二日特別公報を以て「冬季反攻は三月卅一日を以て終了した」旨發表した

赤軍の反撃を撃退

【ストツクホルム五月一日發】東部戦線北部方面の各地區に於て赤軍は三十日反撃作戦を展開したが、獨軍に依り盡く撃退された様子だ、前線報道を綜合すれば次の通り
一、赤軍は三十日早朝豪雨の中をオリヨール南方の獨軍陣地に攻勢を開始した、赤軍部隊は先づ戦車十臺の支援下に第一次攻撃を行つたが、これが獨擲弾兵部隊の奮戦に依り短時間にして挫折するや二時間後再び戦車隊の協力下に獨軍陣地を攻撃し來つたが、獨軍はこれを防衛線真正面に於て撃破、一方獨砲兵隊は赤軍陣地に猛砲火を集中して重大損害を與へたといはれる
一、レニングラード東南のネヴァ河戦線でも赤軍は獨親衛隊により占領された失地の回復を目指して卅日又復大部隊を以て攻撃を再開し來つたが、獨軍はこれを撃退したと傳へらる

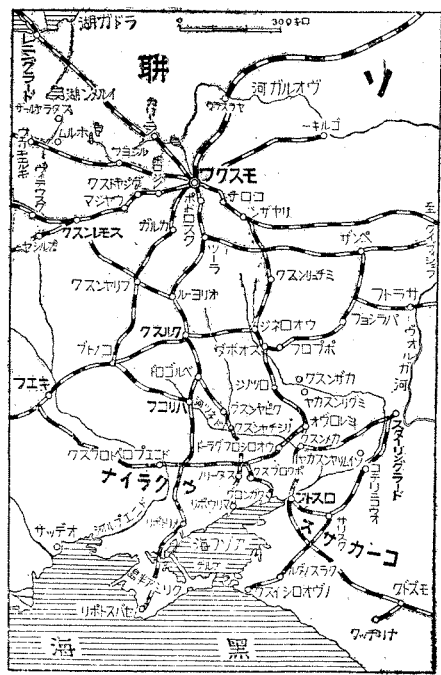
一、艦艇撃沈三隻、大西洋に於てドイツ潜水艦により駆逐艦一隻、ドーグラー海峽でドイツ海軍部隊により英快速艇二隻を撃沈
一、船舶撃沈噸數十八萬八千噸、内十萬二千噸はドイツ潜水艦により地中海及び大西洋で撃沈、六千噸は大西洋に於てイタリア潜水艦により撃沈
一、船舶撃破五隻
▲空軍の戦果【ローマ十一日發】伊軍當局は十一日樞軸空軍の過去一週間に於ける戦果を次の通り發表した
一、樞軸空軍はアフリカ戦線に於ては敵機八十七機を撃墜乃至破壊すると共に地中海上空に於ては空中戦で三十六機を撃墜した
一、イタリア雷撃隊は四千噸の輸送船一隻を撃沈した、一方ドイツ雷撃隊は船舶三隻に直撃彈を命中せしめた

英空軍損害七千四百機

【ストツクホルム十三日發】ロンドン來電「英國空軍省は今次戰爭勃發以來一九四二年末に至る三年半の期間に英空軍が東亞を除く戦域で蒙つた損失機數は七千四百七十六機に上つた旨十三日發表した、この内課左の通り
△四千六百十六機、歐洲戦線における攻撃作戦において喪失
△八百九十九機、同戦線における防禦作戦で喪失
△千九百六十一機、中東方面の戦闘で喪失

米兵員の喪失七萬八千

【フエノスアイレス廿五日發】ワシントン來電によれば戦時情報局は開戦以來現在に至る期間に戦死行方不明及び捕虜となつた米陸海空軍の將兵は合計七萬八千二百三十四名に達した旨廿三日發表したと傳へらる



一、リバチ半島方面においても赤軍は卅日強力な豫備砲火の後再三にわたり偵察並に突撃を企圖したが、獨擲弾兵部隊は隨所にその企圖を挫折せしめたと報せられる
一、獨擲弾兵隊は北太平洋方面の赤軍補給機關を反復爆撃するとともにカシラクシヤ灣附近の赤軍一工場に直撃彈を與へてこれを炎上せしめたといはれる
一、リバチ半島方面においても赤軍は卅日強力な豫備砲火の後再三にわたり偵察並に突撃を企圖したが、獨擲弾兵部隊は隨所にその企圖を挫折せしめたと報せられる
一、獨擲弾兵隊は北太平洋方面の赤軍補給機關を反復爆撃するとともにカシラクシヤ灣附近の赤軍一工場に直撃彈を與へてこれを炎上せしめたといはれる

北地地区の獨軍レニングラードを攻撃

【ストツクホルム十三日發】ゴオルホフ戦線一地區の獨軍は十二日レニングラード外廓線に布陣する赤軍左翼に突如猛攻撃を開始、條つく雨を冒して兩軍間に大規模の戦車戦が展開された、赤軍はレニングラードの補給上極めて重要な鐵道線路を死守して頑強に抵抗、前後五回に亘つて獨軍の攻撃を撃退したが、遂に獨軍のため強力な楔を打ち込まれ

クバン地區の赤軍

【ストツクホルム六日發】去る四日以來日に夜を繼いで續行されたクバン河口地區の攻防戦は遂に獨親衛隊の決定的勝利に歸し、五日夕刻には赤軍は既に戦死二千三百名、捕虜二百五十名、戦車十三臺の大損害を蒙つて總崩れの態勢となり、急追する獨親衛隊は六日朝來クバン河南岸の沼澤地帯で相當大掛りな包圍殲滅戦を展開してゐる模様である

三箇聯隊を殲滅

【ストツクホルム十五日發】前線報道によればクバン地區の戦闘は數日來活潑化した模様で赤軍は十四日クバン南方で攻勢に出で獨親衛隊の據る山嶽陣地の奪取を試みたが、獨親衛隊は猛烈な反撃を加へ、數時間に亘る激戦の後赤軍兵力二ヶ師の内三ヶ聯隊を完全に殲滅、戦車十六臺を撃破して赤軍の企圖を失敗に懲りず更に沼澤地帯方面からも攻撃に出でたが直ち撃退され、又他の赤軍小部隊はクバン河を渡河して獨軍を奇襲せんとしたが一隻の舟艇も渡河に成功しなかつたといはれる、獨空軍は同方面で地上部隊の作戦を掩護して活躍、急降下爆撃機、爆撃機、戦闘機が一體となつて猛威を振ひ十四日には赤軍飛行機九臺を撃墜したと報せられる

激戦激化

【ストツクホルム廿日發】クバン河口地區の戦闘は十九日獨軍の總攻撃開始によつて俄然激化し、半月形の赤軍陣地の一ヶ所に強力な楔を打込んだ獨軍は赤軍の一部を逆包圍する作戦に出で懸命の抵抗を試みる赤軍と終日激戦を反復した様子だ、戦闘は夜に入つて更に熾烈化し、獨軍戦車部隊は漆黒絶縁まる夜襲を強行、獨空軍亦折々の月明を利して赤軍陣地に猛爆を加へ、歩兵部隊の白兵戦によつて更に一ヶ所で赤軍防衛線を突破したと傳へられ、ソ聯側報道も獨軍が數ヶ地點で優勢を持してゐる旨を認めてゐる

激戦續く

【ストツクホルム五月一日發】二十

八日午後クバン河口地区に對して開始された赤軍の總攻撃は同日から二十九日までの二日間にすくなくとも歩兵六箇師團、戦車三箇旅團喪失して戦力は著しく低下した様子だが依然執拗な攻撃を續行してゐる模様で獨軍並に樞軸同盟軍はコーカサス山脈の西北端とクバン河との中間地区に於て熾烈な防衛戦を展開中と傳へられる 特に樞軸同盟軍の活躍は顯著なものがある様で二十九日夜ルーマニア山岳部隊は奇襲攻撃を行つて極く僅少な兵力を以て赤軍歩兵一箇大隊を撃碎する共にスロヴァキア上空の空中戦に於てソ聯機三十五機を撃墜したと傳へられる、赤軍は三十日一重要陣地を奪取するため十一回に亘り執拗な攻撃を繰返したが獨軍はその都度これを撃退すると共に獨ルーマニア同盟軍は赤軍前衛陣地を逆襲し赤軍戦車二十九臺を破壊したと傳へられる、一方同地区の鹹湖地帯に於ても獨軍は過日二日間に赤軍數箇中隊を撃滅し捕虜二百四十を得た他多數の歩兵兵器を鹵獲したと傳へられる、ミウス並にドネツ兩戦線では局地的偵察活動が報ぜられてゐるのみだ、東部戦線全域に於て三十日樞軸空軍が撃墜したソ聯飛行機は四十一機に達してゐるといはれる

トネツ地区

【ストツクホルム六日發】南部戦線イジューム南方地区の獨軍は茲一兩日以來ドネツ河西岸の渡河點を死守する赤軍に猛攻を加へてゐるが、六日急降下爆撃機の大編隊と強力な戦車集團の

獨軍渡河點を奪取

【ストツクホルム六日發】南部戦線イジューム南方地区の獨軍は茲一兩日以來ドネツ河西岸の渡河點を死守する赤軍に猛攻を加へてゐるが、六日急降下爆撃機の大編隊と強力な戦車集團の

【ベルリン十五日發】東部戦線では地上戦鬪の膠着に伴ひ獨空軍は連日頻りに赤軍後方輸送路の攪亂に努め

【ベルリン二十日發】前線報道によれば獨空軍並に樞軸聯合國空軍は、十九日東部戦線各地に於て活躍、多大の戦果を擧げたといはれる、先づノヴォオロシースク南部地区では敵軍陣地をはじめ密集部隊及び軍需品貯藏所を攻撃して兵員並に軍需資材に莫大な損害を與へ、又十九日夜には西コーカサスの沿岸地区に於て敵魚雷艇一隻を撃沈し、他の輸送船三隻に直撃弾を浴びせた、更にドネツ河彎曲部では鐵道及び鐵道施設を爆撃す

【ヘルシキニキ二十一日發】フィンランド軍司令部は二十一日フィンランド空軍がフィンランド灣セイネスカリ上空で三十五機より成る赤軍航空部隊と交戦、内十九機を撃墜した旨公表した、この結果過去四日間にフィンランド軍が撃墜した赤軍飛行機は總數四十六に達した

コカサス地区

【ストツクホルム廿五日發】東部戦線は泥濘期の到来によつて特に著しい戦局の變化は見られず作戦の主導權は依然獨軍が把握してゐるが前線からの報道に依れば赤軍は廿四日突如南部地区ノヴォオロシースク南方で局地的攻勢に出て目下獨軍との間に激戦が演ぜられてゐるといはれる

空中戦・爆

【ベルリン三日發】獨軍筋の統計によれば獨軍は東部戦において三月中だけで、赤軍飛行機千二百六十七臺を撃墜したが、東部戦線始つて以來の撃墜總數は無慮三萬七千二百八十三機に達すると傳へられる、内千七百七十七機は地上砲火による戦果である

獨空軍東部戦線に活躍

【ベルリン二十日發】前線報道によれば獨空軍並に樞軸聯合國空軍は、十九日東部戦線各地に於て活躍、多大の戦果を擧げたといはれる、先づノヴォオロシースク南部地区では敵軍陣地をはじめ密集部隊及び軍需品貯藏所を攻撃して兵員並に軍需資材に莫大な損害を與へ、又十九日夜には西コーカサスの沿岸地区に於て敵魚雷艇一隻を撃沈し、他の輸送船三隻に直撃弾を浴びせた、更にドネツ河彎曲部では鐵道及び鐵道施設を爆撃す

芬空軍の戦果

【ヘルシキニキ二十一日發】フィンランド軍司令部は二十一日フィンランド空軍がフィンランド灣セイネスカリ上空で三十五機より成る赤軍航空部隊と交戦、内十九機を撃墜した旨公表した、この結果過去四日間にフィンランド軍が撃墜した赤軍飛行機は總數四十六に達した

コカサス地区

【ストツクホルム廿五日發】東部戦線は泥濘期の到来によつて特に著しい戦局の變化は見られず作戦の主導權は依然獨軍が把握してゐるが前線からの報道に依れば赤軍は廿四日突如南部地区ノヴォオロシースク南方で局地的攻勢に出て目下獨軍との間に激戦が演ぜられてゐるといはれる

ウオロシースク南方で激戦

【ストツクホルム廿五日發】東部戦線は泥濘期の到来によつて特に著しい戦局の變化は見られず作戦の主導權は依然獨軍が把握してゐるが前線からの報道に依れば赤軍は廿四日突如南部地区ノヴォオロシースク南方で局地的攻勢に出て目下獨軍との間に激戦が演ぜられてゐるといはれる

ソ聯空軍東部プロシヤ爆撃

【ベルリン十三日發】ドイツ軍當局は十三日夜のソ聯空軍の東プロシヤ爆撃に關し十三日次の通り發表したソ聯機の大編隊はケーニヒスベルグ市に對し爆弾及び焼夷弾を投下、住宅街、病院、大學その他公共建築物に相當の損害を生じた

チエニジア戦線の戦況

【リスボン九日發】チエニジア戦線においては南部戦線ロメル軍の新陣地への撤收作戦の成功が報ぜられると共に北部戦線では中、南部戦線に對する英軍の牽制的攻撃作戦が續行されてゐる様子だ、前線報道を綜合するに各戦線の戦況次の通り

アフリカ方面

【ベルリン二日發】前線報道に依ればマレス線を撤收したロメル軍は、二日フオン、アーニム將軍麾下北部チエニジア樞軸軍と合流した

獨空軍黒海の要港を爆撃

【ベルリン廿三日發】獨軍當局は獨空軍が廿二日夜黒海の要港ボチを強襲、港灣施設を中心に各軍事施設に猛爆を加へた外、廿二日を通じ赤軍機五十三機を撃墜した旨廿三日發表

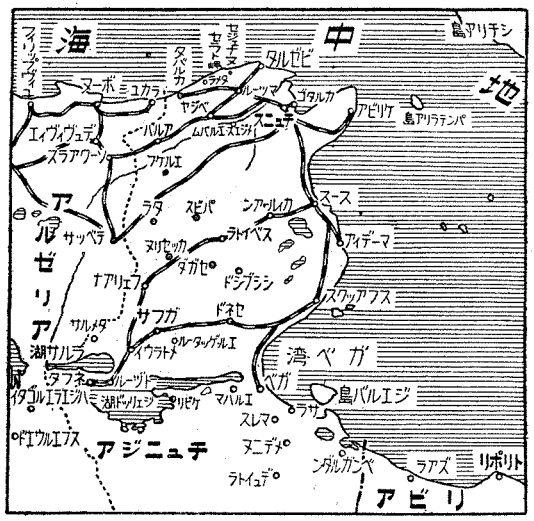
赤軍百三機を喪失

【モスクワ十九日發】ソ聯情報局は去る十一日から十七日までの一週間に東部戦線で飛行機百三機を喪失した旨十九日發表した

英軍攻撃開始

【ストツクホルム七日發】ロンドン來電、英國首相チャーチルは七日、チエニジア戦線に於てモントゴメリー麾下第八軍がガベス北方ワジ・カリトの樞軸軍陣地に對し總攻撃を開始した旨發表した

【ベルリン二日發】前線報道に依ればマレス線を撤收したロメル軍は、二日フオン、アーニム將軍麾下北部チエニジア樞軸軍と合流した



な戦闘が展開されてゐるが現在までのところ樞軸軍陣地は微動だにしてゐない

△北部戦線 メジエズ・エル・ババ地区においては依然激戦が展開されてゐるが英軍は八日セラト岬南方においても攻撃を再開した、フォン・アーニム將軍は目下この二地帯に於ける英軍の攻撃を断乎阻止してをり、八日の激戦において英軍戦車三十臺を炎上乃至擱坐せしめると共に装甲車六臺、自動車砲十一門を破壊した

スーサ撤退公表

【ローマ十二日發】伊軍司令部は南部チュニジアの樞軸軍が戦線短縮を行ひスファツクス、カイルーアンの兩地を撤退した旨十二日發表した

樞軸軍反撃に轉ず

【リスボン二十二日發】アルジェニアは一千二百メートルの山岳が重疊し、中には然かも極めて險岨で専門の山岳部隊にも困難を感ぜしめる箇所も少くないといはれる

反樞軸總攻撃失敗

【ベルリン二十七日發】總統大本營は二十七日公報を以てチュニジア樞軸軍の西翼に對する反樞軸軍の總攻撃は失敗に歸した旨發表した

反樞軸空軍損害

【ベルリン十一日發】獨軍當局は英軍が三月中チュニジア戦線で飛行機約二百八十七機を喪失した旨十一日發表した

北阿米軍損害

【ワシントン來電】米國陸軍省は米國の北阿侵攻作戦開始から四月初旬のエル・ガツタル戦に至るまでの期間における米軍の損害を廿三日發表した、右は勿論米國政府當局の常套的偽購發表であるが、その内譯は次の通りであると言はれる

依れば樞軸軍の陣地は右翼はセラト岬を起點として南下、ジェベル・アビオドに至るものであり、更にジェベル・アビオドから東南に下つて海岸線はエンフイダヴィル方面が左翼となつてゐる、此戦線の長さは百五十キロ、陣地の厚みは平均先づ百キロといふところで面積にしてクリミア半島の約半分である、樞軸軍の占據してゐる此の地域の特長として擧げられることは、全體が山岳地帯だといふことで海拔六百メートルから八百メートルの山岳が重疊し、中には一千二百メートルの山岳もあ

【ベルリン廿四日發】獨軍當局は十四日チュニジア戦況に關し次の如く言明した

【ベルリン十七日發】獨軍當局はビゼルト、チュニスを中心として現在樞軸軍の立籠つてゐる陣地の大要を十七日始めて發表した、右發表に東北方に進出を企圖したが、獨軍部隊の頑強な抵抗によりその企圖が挫折するに及んで敵は牙を東南方に轉じ來り、目下これを阻止する樞軸軍との間に激戦が展開されてゐる

【リスボン五月一日發】チュニジア

英軍の構成

【リスボン三日發】アルジェニア來電 反樞軸軍司令部は三日チュニジア戦線における英軍の構成を次の通り發表した

△英第一軍 第一戰車師團、第一、第九、第三十九師團、バットン麾下の米軍は當初第三十九師團に編入されてゐたが最近米軍に合流

△英第八軍 ニュージーランド軍一個師團、インド軍一個師團、英歩兵二個師團即ちノース・カンパニー第五十師團及びハイランダー第五十一師團

山岳重疊た樞軸陣地

【ベルリン十七日發】獨軍當局はビゼルト、チュニスを中心として現在樞軸軍の立籠つてゐる陣地の大要を十七日始めて發表した、右發表に東北方に進出を企圖したが、獨軍部隊の頑強な抵抗によりその企圖が挫折するに及んで敵は牙を東南方に轉じ來り、目下これを阻止する樞軸軍との間に激戦が展開されてゐる

中部地區で激戦

【ベルリン廿四日發】獨軍當局は十四日チュニジア戦況に關し次の如く言明した

【ベルリン十七日發】獨軍當局はビゼルト、チュニスを中心として現在樞軸軍の立籠つてゐる陣地の大要を十七日始めて發表した、右發表に東北方に進出を企圖したが、獨軍部隊の頑強な抵抗によりその企圖が挫折するに及んで敵は牙を東南方に轉じ來り、目下これを阻止する樞軸軍との間に激戦が展開されてゐる

英軍の構成

【リスボン三日發】アルジェニア來電 反樞軸軍司令部は三日チュニジア戦線における英軍の構成を次の通り發表した

△英第一軍 第一戰車師團、第一、第九、第三十九師團、バットン麾下の米軍は當初第三十九師團に編入されてゐたが最近米軍に合流

△英第八軍 ニュージーランド軍一個師團、インド軍一個師團、英歩兵二個師團即ちノース・カンパニー第五十師團及びハイランダー第五十一師團

反樞軸空軍損害

【ベルリン十一日發】獨軍當局は英軍が三月中チュニジア戦線で飛行機約二百八十七機を喪失した旨十一日發表した

北阿米軍損害

【ワシントン來電】米國陸軍省は米國の北阿侵攻作戦開始から四月初旬のエル・ガツタル戦に至るまでの期間における米軍の損害を廿三日發表した、右は勿論米國政府當局の常套的偽購發表であるが、その内譯は次の通りであると言はれる

戦死	一千五百
行方不明並に負傷	一萬五百
計	一萬二千

戦車四千五百臺を喪失

【ベルリン廿一日發】獨軍當局の發表に依れば一九四〇年秋を以て開始されたリビア戦から四月十八日現在までに英軍並に反樞軸軍は戦車四千五百臺を喪失したといはれる、内二千七百三十四臺は一九四二年九月廿五日から四月十八日までに喪失した分である

ボン・フアンテ大佐戦死

【ローマ三日發】元モスクワ駐劄イタリヤ武官リギ・ボン・フアンテ大佐はチュニジア戦線の戦闘において戦死した

米地上部隊司令官負傷

【アエノスアイレス廿五日發】ワシントン來電米國陸軍省は米國地上部隊司令官中將レズリー・マツクネアが廿三日チュニジア戦線で負傷した旨廿五日發表した

西部戦線

英佛海峡を挟んで砲戦

【ストックホルム五日發】ロンドン來電ドーヴァー海峡對岸の獨長距離砲陣地は五日一齊に砲門を開き英國南岸に對し約五六十發の砲弾を打込んだ、英側砲臺もこれに應戦、兩軍砲聲は暫し股々として海峡を震撼せしめた

獨、英米機互に爆撃

▲獨機英本土爆撃 四月中の獨機英

本土爆撃概況左の通り

地點 日

△東南海岸 一日、七日、九日、十日、十五日(以上リスボン發) 十二日、十八日(以上ストックホルム發) 廿八日(ベルリン發)

イーストバイン 三日(ベルリン發)

チエルクスフォード 十四日(ベルリン發)

ロンドン及近郊 十六日、二十日、二十三日(リスボン發)

△西部及中央部 二十二日、二十三日(ベルリン發)

△スコットランド

アバデイン 二十一日(ベルリン發)

▲英、米機歐洲各地爆撃 四月中の英米機による獨伊及被占領地爆撃概況左の通り

地點 日

△獨逸本土 十六、十七日(一二三機喪失) 十九日(五機喪失)

(以上ベルリン發) 三十日(三機喪失、リスボン發)

西部地方 一日(英機五喪失、リスボン發) 三日(英機二喪失、アムステルダム發) 八日(英機二喪失、リスボン發)

十一日(ストックホルム發) 十四、十五日(英機一五擊墜、ベルリン發)

ストットガルト市 十四日(英機二三擊墜、ベルリン發)

ブレイメン 十七日(米機一六喪失、リスボン發)

北部地方 四日(英機五擊墜) 十六日(擊墜四五以下) 二十一日(一五機擊墜) (以上ベルリン發) 二十日(三九機喪失) 廿八日(大型爆撃機二三喪失、以上リスボン發)

イタリア 十一日(十二機擊墜、死者四、負傷二二、ローマ發) 十七、十八日(英機一〇喪失、ストックホルム發)

ナポリ 四日(リスボン發)

マルタ島 六日(リスボン發)

△獨占領地 十五日(死者七〇、負傷一六〇、ベルリン發) 十六日(英機五五喪失、リスボン發)

フランス 一日(ストックホルム發)

サン・ブルック 四日(死者一二、ベルリン發)

パリ 四日(七機擊墜、死者四二〇、負傷七〇〇、パリ發)

北岸 五日(ストックホルム發)

アベヴィム 二十一日(英機六喪失、ストックホルム發)

ベルギー 一日(ストックホルム發)

アントワープ 五日(米機一九擊墜、獨機二喪失、學童一八〇埋没、家屋全壊三二九、半壊一六三、一部破損七〇七、ベルリン發)

ルーデス 十四日(死者四、ブラツセル發)

ラインランド

デュニスブルグ 廿六日(英機一七喪失、ストックホルム發)

オランダ

ロツテルダム 一日(死者一八〇、負傷四〇〇、ベルリン發) 八日、九日(死者一一、重傷二一、ベルリン發)

歐洲各地 四日(米英機一〇擊墜)

獨機三喪失、バリ發) 十日(米機八喪失、ストックホルム發)

英國の空襲被害

【ストックホルム五日發】ロンドン來電英國戰時損害委員會議長マルコム・リラストラムは五日夜記者團との會見に於て獨空軍の爆撃による損害に付き次の通り述べた

歐洲戰爭開始以來一九四二年末迄英國内の破損家は三百萬棟に達し、損害補償の爲め、一億磅が國庫から支出されてゐる

【ストックホルム十三日發】ロンドン來電英國空軍省は三月中、空襲による被害は死者二百九十三名負傷者四百三十九名に達した旨十三日發表した

反樞軸七百三十九機を喪失

【ベルリン二十三日發】獨軍筋の言明によれば反樞軸空軍は獨本土並に西歐占領地區に對する空襲で一月から三月末までに爆撃機四百九十一機を喪失したが、四月に入つてから去る二十日までに更に二百四十八機が撃墜されてをり、本年に入つてから反樞軸空軍の喪失機数は七百三十九機の多きに達したといはれる、この平均噸數は三千五百噸即ち五千六百三十重量噸とすれば、約八千五百隻が海底の藻屑と消えたわけである

▲更に廿四萬噸 【ベルリン十三日發】總統大本營は十三日特別公報を以て反樞軸商船廿一隻十三萬八千噸を撃沈した旨發表したが右發表によつて四月一日より十二日現在迄のドイツ潜水艦隊の戦果は廿九隻廿四萬五百噸に達した

▲四二年度撃沈噸數 【アエノスアイ

海上戦線

潜水艦戦の脅威に戦く

【ベルリン一日發】總統大本營は一日正午

ドイツ潜水艦隊並びに空軍部隊は三月敵商船百四十九隻、合計九十二萬六千六百噸を撃沈した旨發表、一月一日から三月末現在迄の戦果は二百八十六隻、百八十一萬一千四百噸に達した、開戦以來毎年三月の戦果は

一九四〇年三月 一九五、〇〇〇噸
一九四一年三月 四一八、〇〇〇噸
一九四二年三月 六四六、〇〇〇噸
一九四三年三月 九二六、〇〇〇噸

といふ統計となつてをり毎年艘上りに激増してゐることを物語つてゐる

▲撃沈三千四十萬噸 【ベルリン十二日發】ドイツ軍筋の發表によれば一九三九年九月以降一九四三年三月迄に米英兩國が喪失した商船噸數は三千四十萬噸にのぼるといはれる右數字は開戦當時の米英兩國の保有船舶總噸數にほぼ等しく、假り一隻の平均噸數を三千五百噸即ち五千六百三十重量噸とすれば、約八千五百隻が海底の藻屑と消えたわけである

▲更に廿四萬噸 【ベルリン十三日發】總統大本營は十三日特別公報を以て反樞軸商船廿一隻十三萬八千噸を撃沈した旨發表したが右發表によつて四月一日より十二日現在迄のドイツ潜水艦隊の戦果は廿九隻廿四萬五百噸に達した

▲四二年度撃沈噸數 【アエノスアイ

レス廿一日發)ワシントン來電によればハリー・トルーマンを主班とする米國上院の軍需實績調査委員會は廿一日獨通商破壊戦に關し左の事實を發表した

一九四二年内に擊沈された反樞軸國船は約一千二百萬噸に上つてをり、同年内に米英兩國が建造した船舶の總噸數を遙かに凌駕してゐる、損害は甚大ではあるが危機を招來する程ではない、一九四二年の後半には喪失船舶數も減少してをり潜水艦の脅威に對處することは可能であり又有效的に對處するであらう

獨潜水艦の新戦果

【ベルリン七日發】 總統大本營は七日正午特別公報を以てドイツ潜水艦隊の新戦果を次の如く發表した

大西洋及び地中海に作戦中のドイツ潜水艦隊は軍需品を満載した反樞軸船十四隻十萬二千噸及び敵驅逐艦一隻を擊沈した、更に他の五隻にも魚雷を命中せしめたが敵護衛部隊の妨害激烈を極めたため擊沈を確認出来なかつた、またビスケー湾に於てドイツ潜水艦は重爆一機を擊墜した

▲メルボルン・スター號擊沈【ベルリン七日發】獨軍筋の情報によれば右擊沈船舶の内にはブルー・スター・ライソ社の徵用船メルボルン・スター一號(一萬二千八百六噸)が入つてゐる事實が判明したと傳へられる

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は廿三日特別公報を以て次の通り發表した

獨潜水艦は地中海並に大西洋において強力に護衛された敵船團に對し攻撃を加へ十六隻合計十二萬一千五百噸を擊沈した、うち數隻は兵員滿載

の輸送船であり二隻は驅逐艦、一隻は潜水艦であつた、また他の二隻にも魚雷を命中せしめた

【ベルリン三十日發】 獨潜水艦は大西洋並に地中海水域において活躍してゐるが總統大本營は三十日獨潜水艦の新戦果について次のやうに發表した

獨潜水艦は大西洋北部並に地中海水域において敵護送船團を攻撃、船舶十隻合計五萬三千噸を擊沈する、共に二萬噸級商船一隻を含む船舶五隻に雷撃を加へこれを大破した

英國潜水艦喪失

【ストックホルム廿一日發】 ロンドン來電英國海軍省は英國潜水艦「サンダー・ボルト」號を喪失した旨廿一日發表した、右潜水艦は一九三七年に竣工「セチス」と呼稱されてゐたが、一九三九年六月沈没引揚後「サンダーボルト」と改名された、排水量千五百七十五噸であつた

佛汽船擊沈さる

【ウイシー十五日發】 フランス南海岸とコルシカ島間航路に就航中のフランス汽船ホ・アシエ號(一、三一〇噸)は十五日英國潜水艦により擊沈された、乗組員五名は死亡したが、他はいづれもイタリヤ船によつて救助された

葡萄酒不法擊沈

【ローマ十八日發】 伊軍筋十八日發表によれば、反樞軸國潜水艦一隻は十二日夜コルシカ島東方水域でリスボンに向け航行中のポルトガル商船サンタ・イリネ號を攻撃してこれを擊沈し、救命艇に移乗して漂流中

の船客並に乗組員に砲撃を加へてこれを虐殺、十三日早曉現場に急行した伊軍艦一隻は唯一人の生存者アン・トニオ・トロイアを救助したと傳へられる

空母レンジャー撃沈

【ベルリン廿五日發】 獨總統大本營公報

フオン・ビュロー少佐麾下のドイツ潜水艦は大西洋水路に於て護送船團の護衛に從事してゐた米國の空母レンジャーを擊沈した、ヒットラー總統は同少佐に對し鐵十字柏葉騎士章を授與した、因みにレンジャー號は一九三三年二月ニューボートニュー造船所で竣工、排水量一、四五〇〇噸、艦載機七十二臺、乗組人員一、七八八人である

【ベルリン二十六日發】 右に就き獨軍當局は二十六日その擊沈状況を次の如く言明した

二十五日、早朝北大西洋に米空母が現れたとの報が入つた、當時同方面に作戦して居たドイツ潜水艦は僅かに一隻に過ぎなかつたが、直ちに同空母に對し攻撃を加へた、「レンジャー」は三十ノットの快速力で護衛艦逐艦數隻を隨つて航行してゐる、ドイツ潜水艦の放つた魚雷四發は見事空母の艦腹に命中し火焰が高く吹き上ると見る間に大爆發を起して沈没した、敵驅逐艦は、空母乗組員の救助に奔走するのみで、潜水艦に對しては一向攻撃を加へて來なかつた

【ローマ十八日發】 伊軍筋十八日發表によれば、反樞軸國潜水艦一隻は十二日夜コルシカ島東方水域でリスボンに向け航行中のポルトガル商船サンタ・イリネ號を攻撃してこれを擊沈し、救命艇に移乗して漂流中

騎士章を受けて居た

英潜水艦二隻を撃沈

【ベルリン三日發】 獨軍筋の言明によれば、ドイツ驅逐艦は地中海において英國潜水艦二隻を確實に擊沈、他の一隻をも恐らく擊沈したと云はれる

獨潜水艦戦果

【ベルリン十二日發】 總統大本營は西地中海方面に活躍中の獨潜水艦が十一日敵海軍部隊を攻撃しファイジー型英驅逐艦一隻に雷撃を加へた旨十二日發表した、ファイジー型にはケンヤモウリソウス、ナイジェリア、トリニダッドその他四隻があり、いづれも八千噸、全長五百四十九呎、幅員六十二呎で備砲として六吋砲十二門、六吋高射砲八門、その他小口徑砲十六門を有してをりいづれも一九三九年以後に建造された新鋭艦である

【ベルリン十三日發】 總統大本營は十三日獨潜水艦がカリブ海及び北河水域において更に敵商船廿一隻、十萬八千噸を擊沈した、他六隻に魚雷を命中させたと發表した

【ストックホルム十三日發】 ロンドン來電英國海軍省は十三日次の通り發表した

英國潜水艦母艦「メッドウェイ」は一九四二年地中海に於て沈没した、尚ほ同艦は一九二九年八月進水、排水量一萬四千六百噸、四吋砲二門、四吋高角砲四門を裝備し英國海軍が

誇る最大の潜水艦母艦である

獨空軍地中海で戦果

【ベルリン十八日發】 獨空軍は特に最近各戦線において活潑な作戦を展開してゐるが獨軍當局の發表によれば獨戰團機隊は十七日地中海上空において爆撃機及び戦闘機より成る反樞軸空軍編隊と壯烈な空中戦を展開四發爆撃機五機を含む敵機八機を擊墜したといはれる

英伊地中海海戦

【ローマ十八日發】 伊軍司令部は十八日の戦況公報において輸送船團護衛のイタリヤ快速艦隊が英驅逐艦二隻を襲撃し内一隻を擊沈した旨發表したが、ステファニ通信社は更に次の通り詳報してゐる

十五日夜チュニジア向け輸送船團の護衛任務に從事中のイタリヤ快速艦二隻はジャイグリス級の敵大型驅逐艦二隻を發見快速艦隊は劣勢を覺悟して直ちに攻撃を開始、至近距離に於いて激烈な海戦を展開した、戦闘は砲撃と雷撃によつて行はれたが、イタリヤ快速艦の一隻は敵の命中弾を受け撃沈された、同艦は最後の一砲が海中に没するまでこれを打ち續けた

敵驅逐艦の一隻は第一回の一齊砲火により行動不能に陥つたが、十六日早朝樞軸飛行機の偵察に依り同艦は戰場附近で爆發後沈没したことが確認された、敵驅逐艦の他の一隻は命中弾數を受けイタリヤ他方面に退却した、イタリヤ護送船團は何らの支障なく豫定時刻にチュニスに到着し、沈没したイタリヤ快速艦の乗組員は直ちに戰場に駆けつけた救難機

及び救助船に救はれた、一方他の一隻は若干の損傷を受けたのみで無事基地に歸還した

北阿水域で廿五萬噸喪失

【リスボン十七日發】アルジェーラ電によれば英地中海艦隊司令長官ア...

伊百五十八機を撃墜

【ローマ十三日發】伊軍司令部は四月一日から十二日迄の間に地中海及び...

有力艦隊ジ軍港に集結

【ストックホルム三日發】スカンディナヴィエスカ電報通信社のアルヘシ...

大西 伊軍通商破壊戦の戦果

【ローマ二日發】イタリヤ軍司令部の發表に依れば伊軍は三月...

獨潜水艦活躍

▲撃沈二千五百萬噸【ベルリン七日發】デニッツ元帥が獨軍最高の榮譽...

▲英艦隊沈没【ブエノスアイレス十三日發】ワシントン來電「米國海軍省...

機の護衛の下に彈藥を積んで西方に航行する一敵艦を長時間に亘り追跡し...

英驅逐艦喪失

【リスボン九日發】英國海軍省は驅逐艦「ロンドン」來電「英國海軍省は驅逐艦...

米國東岸に出現

【ブエノスアイレス十日發】ドイツ潜水艦は一九四二年一月以降、米國東岸水域から委...

▲英艦隊沈没【ブエノスアイレス十三日發】ワシントン來電「米國海軍省...

スクデール號」は英國艦隊に編入されてゐたが、今般極軸軍に依つて撃...

ビスケー灣で英機五機撃墜

【ベルリン十一日發】獨軍當局は英空軍編隊がビスケー灣において獨海...

英驅逐艦二隻撃沈

【ベルリン十五日發】總統大本營は十五日正午次の如く發表した

▲英艦隊沈没【ブエノスアイレス十三日發】ワシントン來電「米國海軍省...

手榴彈で驅逐艦と交戦【ベルリン十七日發】總統大本營は十七日の公報で...

オランダ沖で海戦

【ベルリン十八日發】獨軍當局發表によればドイツ沿岸警備隊は四月...

空軍と潜水艦との激戦

【ストックホルム廿日發】ロンドン來電「英國空軍省は廿日最近大西洋...

▲英艦隊沈没【ブエノスアイレス十三日發】ワシントン來電「米國海軍省...

國內要事

軍司令官師團長等に 賜謁

【五日】長くも 天皇陛下には五日

東久邇防衛司令官、賀陽名古屋師團長宮殿下をはじめ奉り軍司令官、師團長等廿九名を宮中に召させられ、午前十時表御座所において親しく拜謁仰付けられた

飯田ビルマ、酒井香港 兩最高指揮官軍狀奏上

【八日】ビルマ方面陸軍最高指揮官として御稜威の下皇軍の威武を中外に輝かせ、この程歸還した陸軍中將飯田祥二郎、香港攻略戦に最高指揮

官として赫々の武功を樹て、歸還した同酒井隆兩將軍は八日參内、長くも 天皇陛下に拜謁仰付けられ軍狀を奏上した

同光大勳章を贈進

【廿六日】國民政府は 天皇陛下に對し奉り今回同國最高勳章たる同光大勳章を贈進申し上げるべく特派大使として來朝の外交部部長樗民諒氏が廿六日特命全權公使張超氏、外交部亞細亞司長薛逢元氏ならびに外交部秘書徐義宗氏等隨員を隨へて宮中に參内 天皇陛下に謁見仰付けられ、右勳章を捧呈した

政治

東條首相滿洲國を訪問

日滿關係いよいよ強化

【二日】東條首相兼陸相は曠古の大東亞戦下、國務多端の身を以つて

に中華民國を訪問、汪主席の日本訪問に對する答禮と中國の參戰に敬意を表し併せて國民政府要路と共同戦争完遂の方策につき隔意なき懇談を遂げたが、今回更に帝國と不可分一體の關係に立ち、今次大東亞戰爭勃發後は一面に於て北邊の鎮固として、他面大後方兵站基地としてわが戰爭遂行に絶大な寄與をなした來たつた滿洲帝國に對し、親しく建國十周年の光輝ある佳年を慶祝すると共に同國より寄せられたる全輻的協力に謝意を表明し、日滿一德一心の關係を強化するため去る廿一日東京を出發、訪滿の途に上り、一日午後國都、新京に到着した、首相の滿洲國訪問は日滿國交史上初めてのことであつて、過般の中華民國訪問と列んで日滿華三國の紐帯が茲に名實共に固く結合せられるに至つたことを中外に闡明するものとして極めて重大な意義を有すると云へよう

情報局發表表(四月一日午後三時四十分) 東條内閣總理大臣兼陸軍大臣は、滿洲國皇帝陛下の御機嫌を奉伺し、同國の過去十年間に於ける飛躍的發展を祝福し且大東亞戰爭勃發以來寄せられたつある全面的協力に謝意を表すると共に滿洲國首腦部と親しく懇談を遂げ併せて現地諸機關の狀況視察並に慰問を行ふ爲昨廿一日東京發本一日午後三時四十五分新京に到着せり

首相一行に勳章傳達

【新京一日發】長くも滿洲國皇帝陛下には東條首相兼陸相の今次訪滿に際し一日左の如く御贈勳、御贈品の御沙汰あらせられ、これが傳達式は同日午後六時十分より首相一行の宿舎迎賓館階下廣間に於て舉行、李外交部大臣よりそれぞれ傳達された

内閣總理大臣兼 東條 英機
陸軍大臣勳一位

叙勳二位贈與景雲章

叙勳三位贈與景雲章

叙勳三位贈與景雲章

東條首相歸還

【四日】東條首相は滿洲國訪問の重要使命を滞りなく終へたので三日午後新東京發、途中京城に立寄り四時福岡に歸着した、依つて情報局より左の如く發表された

東條首相歸國第一聲

東條首相は歸國と同時に次のごとき首相談を發表した

長期に亘ることは出来ませんが、私(前略)「今般特に滿洲國皇帝に接見は極力要路の方々と隔意なき意見の交換を行ひ又現地諸機關の狀況を視察しこの勞を憐むたいと思つて居ります

【新京一日發】東條内閣總理大臣兼陸軍大臣は新京到着と同時に左の如き談話を發表した

「私はかねがね滿洲國を訪問致し度

生れたのでありますが、その政治、經濟、交通、文化等凡ゆる部面に於ける十ヶ年間の躍進は實に世界の驚異であり、比類を見ないものである。然も帝國が米英を相手に決然と立ち立つや骨肉の滿洲國はいよいよその總力を結集して帝國に協力するの決意を新たにし爾來北邊の護りをいやが上にも安泰にすると共に生産力を劃期的に飛躍せしめて帝國の戰爭遂行に直接大いに貢獻致してをるののであります。即ち滿洲國は日滿共同防備の本義に即ち各種施設をあげて防備の強化に努めると共に同國軍は日夜訓練と警備とに必死の努力を致してをるのであります。又近年の物資動員に關しては鐵鋼、その他の礦物資源につき劃期的協力を寄せられ又食糧についても莫大なる量で帝國及び中華民族へ供出ある狀況でありませぬ、私はこれが實相に觸れる大東亞戰爭の遂行途上に於て滿洲國の帝國に對する奇異の如何に大なるかに感銘特に深きものあつたのであります。又北邊鎮固の重任を擔當される關東軍はじめ現地日本側機關はよく困苦と闘ひ日夜訓練警備を怠らず且つ滿洲國例と眞に協力し共同目的の達成に邁進しつゝあるは眞に感謝に堪へざると共に大いに意を強ふる次第である、私はさきに中華民國を訪問し同國が帝國とあくまで同生共死たたくまじき新中國の建設と大東亞戰爭遂行協力とに挺身せんとするの決意固く諸般の施設着々としてその緒につきつゝある現状を目撃し又滿洲訪問直前バモ長官と會談してビルマ人のビルマ創建の熱烈なる氣魄と大東亞戰爭遂行協力に關する眞摯な意氣とに接し今また骨肉の國滿

東條内閣改造斷行

【廿日】大東亞戰爭勃發ここに一年有餘を経て今や一億國を擧げて敵米英殲滅の固き決意に邁進しつてあるが、既に緒戦の赫々たる戦果により戰前敵側の呼號せる對日攻勢の第一線は逆に我が攻撃の前線となるに至り、ここに長期戦の相貌を呈するに至つたが、東條首相は豫てこの新たな戦局並に客觀情勢に對應すると共に内、戦力増強を第一義とする強力政治の滲透を期すべく去る第八十一決戦議會閉會後より種々構想を練りつたあつたが、國際情勢に即應する外交施策の確立と生産増強を中核とする國內態勢を一段と強化するた

め、茲に内閣の一部改造を決意し廿一日午後九時半宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ、閣僚更迭に關し奏請し奉つた、よつて同時半より重光外務、安藤内務、山崎農相、大庭元、東條兼攝文部の各大臣、天羽情報局總裁の親任式が宮中において執行はせられ、同十一時情報局より發表された

の勅語を賜ひ、首相より夫々官記を傳達した、執り東條兼攝文相の親任式も同時に執行はせられた

- 任外務大臣 安藤紀三郎
- 國務大臣陸軍中將從五位勳一等功五級
- 任内務大臣 東條 英機
- 內閣總理大臣兼陸軍大臣正三位勳一等功二級陸軍大將 兼任文部大臣 東條 英機
- 從三位勳一等 山崎達之輔
- 任農林大臣 大庭 元
- 正五位勳三等 大庭 元
- 任國務大臣 天羽 英二
- 從三位勳三等 天羽 英二
- 任內閣情報局總裁 外務大臣兼情報局總裁 谷 正之
- 依願免本官並兼官 農林大臣 井野 碩哉
- 依願免官(各通)

三日午後二時參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ、中の旨内奏かくて親任式は同日午後宮中において執行はせられ、午後三時三十分情報局より左の如く發表された

内閣改造の意義

先づ今回の改造の齎す意義の一つは官民渾然一體の國內政治力の集中である、勿論戰爭勃發以來國家の最高目的に對しては軍官民の間に一分の間隙とて無かつたのである、然し一年有半、東條内閣には井野、岸兩相は別として官僚出身閣僚から成り國民選良として衆議院に議席を有する關係は無かつたのである、近衛内閣當時各政黨は發展的解消を遂げ、東條内閣の昨年四月翼政會が誕生したが、翼政會からの入閣は無かつた、政府と翼政會との關係は翼贊會と政府とが表裏一體關係にあることによつて有機的の一體關係をもつて居り、この三者の紐帶の強化こそ國家總進軍の原動力であつたのである、ここに翼政會方面に於て代表入閣への希望が行はれて來たのである、第八十一通常議會はこの翼政會方面の希望の實現性をいよいよ強く首相の斷を促すに至り、今更翼政調査會長山崎達之輔、同常任總務大庭唯男兩氏の入閣となつた、政府翼政關係はいよいよ密となり且つ翼贊會からの安藤副總裁の内相就任と相俟つて三者の關係を完全に融合一體化せしめここに長期戦に即應する官民總力發揮の態勢はさらに強化されるに至つたのである、次に所謂官僚内閣に於ては、擧國體の強化であることも閣内に清新の氣を注入し内閣の政治性を一段と高めたものである、戰爭下の現段階に於ては内閣の改造や、内閣更迭によつて國家の最高方針が變更されることは絶対に有り得ない、既定の線に沿つてこの方針を如何に生かし國家目的の達成するかがあるのみである、今回の改造は内相、外相、文相、農相、國務相、情報局總裁の六つの椅子に互ら大改造であつたが、これにより東條内閣の政策政綱に變異があらうことは絶対にない、寧ろこの改造は首相が生きてゐる政治の實體を握んで生きた政治を行ひ、以て眞に一億國民の陣頭に立ちこの時艱を突破せんしたことに重要意義がある

内務三役辭表提出

【二十日】山崎内務次官、吉永警視總監、三好警保局長の内務三役は湯澤内相に殉じ、廿日夜湯澤内相の手許に辭表を提出した

奥村次長辭表提出

【二十一日】今回の内閣改造に谷情

新大臣親任式

天皇陛下には二十日午後十時半鳳凰閣に出御、東條首相擁立のもとに重光外相、安藤内相、山崎農相、大庭國務相の親任式を執行はせられ各大臣並に天羽情報局總裁に對し親任

文部大臣に岡部子親任

【二十三日】東條首相は今内閣改造に當つて一時首相兼攝とした文部大臣につき取急ぎ専任大臣を設けることとし銜衡を進めた結果、貴族院議員岡部長景子を奏薦するに決し廿

報局總裁が退任したので奥村次長も廿日辭表を提出した

内務三役決定

【二十二日】安藤内相は山崎次官以下内務三役の後任銓衡のため廿一日東條首相の意見を徴したる上元警保局長唐澤俊樹氏と會見、同氏が内務次官就任を受諾したので警保局長に町村富山縣知事、警視總監に薄田鹿兒島縣知事を起用することに決定、廿二日持廻り閣議を経て上奏、御裁可を仰ぎ同夜左の如く發令された

任内務次官(一) 富山縣知事 町村 金五

任内務省警保局長(一) 鹿兒島縣知事 薄田 美朝

任警視總監(一) 内務次官 山崎 巖

警保局長 三好 重夫

警視總監 吉永 時次

情報局次長に村田群馬

縣知事

【二十二日】天羽情報局總裁は奥村喜和男氏の辭任に伴ふ情報局次長の後任として現群馬縣知事村田五郎氏を起用することに決し東條首相の決裁を経て、廿二日の持廻り閣議に於て正式決定、上奏御裁可を仰ぎ、同夜左の如く發令された

群馬縣知事 村田 五郎

情報局次長(一) 奥村喜和男

翼賛會副總裁後藤

文夫氏に決定

【二十二日】東條翼賛會總裁は今次内閣改造に當つて翼賛會副總裁から内相に轉じた安藤紀三郎中將の後任につき中將の意見をも參酌しつつ慎重銓衡を進めてゐたが、現翼賛會事務總長後藤文夫氏を昇格せしめるに決し、廿二日午後一時同氏を首相官邸に招き交渉の結果、その承認を得て同日正式依囑の手續を採り、同時に同副總裁をして事務總長事務取扱並に翼賛壯年團長を兼任せしめられたこととなり、同日午後左の如く發令した、後藤新副總裁は翼賛會創始以來同會の中樞部にあつて會の育成に盡瘁し昨年五月以降は事務總長として實質的に翼賛會の主宰者であつたので、今回の副總裁昇格も内部的に特別影響するところはない

大政翼賛會副總裁(廿二日) 大政翼賛會副總裁 安藤紀三郎

願に依り役を解く

副總裁を委囑す

事務總長事務取扱を命ず

大日本翼賛壯年團長 安藤紀三郎

願に依り役を解く

大日本翼賛壯年團顧問 後藤 文夫

大日本翼賛壯年團長を命ず

願に依り囑を解く

後藤新副總裁 後藤新副總裁兼翼賛團長は廿二日就任に際し左の談話を發表した

「衆望を一身に集められた安藤前副總裁、前團長の後を承け、私如きが今度副總裁兼團長の大役をお引受けすることとなつたが不敏不徳力足らざる私がよくこの大任を果し得るか

どうか、これ備に各方面の御協力、御支援に俟つ以外にないと言はる、しかしここに幸ひなことに、安藤前副總裁(前團長)が内務大臣に就任されたことによつて行政と翼賛運動の面との連繫、調和が今後一層緊密化することと確信してゐる次第である、決戦下翼賛運動一段の活潑化が國家喫緊の要請となつてゐる今日、翼賛會並に翼賛壯年團の使命はいよいよ重大性を加へて來てゐるのであつて、この秋、私としては粉骨碎身懸命の努力を拂つて、この國家の要請に應へ會及び國の眞正なる發達とその重大使命の達成に邁進し度い所有である

後藤氏昇格就任の意義

東條内閣の電撃的改造は大政翼賛會にも大きな波紋を投げ、安藤副總裁が昇格就任と決定、更に後藤事務總長が兼任してゐた壯年團長も後藤新副總裁が繼承、兼任事務總長は當分後藤副總裁の事務取扱として何れも廿二日東條總裁の決濟を経て發令された、而も今次の更迭は大政翼賛會發足以來の重要異動であるとともに、今次東條内閣改造の政治的意義に照らしても極めて重視すべきものであることは言ふ迄もない所である、大東亞戰爭下決戦の新段階に對處する喫緊の要務は國內治安の確保とこれを裏付ける果敢なる大政翼賛の國民運動展開であり、これを基軸として強靱なる軍、官、民一體の必勝感勢が確立されるのである、この見地から安藤副總裁の内相轉進が特に重要な意義をもつものと解され、當初は副總裁の兼任が構想され

たが決戦下内務行政の持つ巨大なる使命と職責に鑑み且つ各級選舉の問題、翼賛會との關係等諸般の情勢を検討、考慮して兼任を解き安藤内相はこれを專任とし、翼賛會の實質は名實共にここに後藤氏によつて把握責任擔當されるに至つた、而も安藤新内相は一年半餘の體驗をその重厚な人格と高邁なる識見によつて活用し、内務行政と翼賛會との關係を改善、調整し更に翼賛運動の活潑なる實踐を推進するが期待されるのである、また人的に見て安藤、後藤の翼賛會に於ける名コンビは安藤氏の内相專任により形は失はれたが後藤新副總裁の積極的内相の援助によつて新しい有機的連繫が期待されるわけである、更に内務地方行政廳とは從來種々の摩擦接觸がその末端に

於て起伏し、翼賛運動の展開を時に阻害するものがあつたが、如上の安藤、後藤のコンビはこれを芟除して翼賛運動の正常化と活潑化を一段と促進することとならう、更に今次異動の核心たる後藤副總裁の翼賛團長兼任は安藤氏の場合とはまた別の妙味がある、勿論翼賛運動の根本方針にはいささかの變更はなく、安藤氏によつて培はれた地方行政廳と翼賛運動の緊密連繫關係をその儘繼承するは當然である、翼賛は同質的組織として内部の雜多分子を質的、量的に脱皮せしめ、幾多の惡條件を克服して一應の態勢を整備したので、後藤氏によつてこれを仕上げ、翼賛運動の正常なる發展に進めることが

青木大東亞相南方へ出張

【十六日】青木大東亞相は主務大臣として、南支及び南方出先機關の巡閱、泰、佛印首腦者と交渉懇談並に南方各地視察の目的を以つて今日南支に出張することとなり、十六日午前八時大東亞省參事官今井陸軍少將總務局長、大東亞省調査官谷岡海軍少佐、渡邊秘書官を帶同して東京を出發、この旨大東亞から發表された

△大東亞省發表(四月十六日午後四時發表)

青木大東亞大臣は南支及南方諸地域視察の爲出張仰付られ四月十六日出發せり

大東亞相臨時事務管理【十六日】青木大東亞大臣 青木 一男

中華民國並南方諸地域へ出張被仰付

△臨時大東亞大臣事務管理

大東亞大臣青木一男中華民國並南方諸地域へ出張不在中内閣總理大臣東條英機へ臨時大東亞大臣事務管理仰付られたり

磯谷總督と會見

【香港廿二日發】青木大東亞相は十七日午前十一時廿分空路香港着、磯谷總裁以下の出迎へを受けて九龍の東亞ホテルに入り休憩、磯谷總督、南支軍最高指揮官を始め陸海軍幹部と會食の後懇談にうつり總督、海軍最高指揮官、總務長官等と個別的に見會面、諸問題につき隔意なき意見を交換午後一時四十分香港側に渡り、先づ磯谷總督を次いで海軍最高指揮官を正式に訪問、三時空路廣東に向つた

廣東動靜【廣東廿二日發】青木大東亞相は十七日午後三時五十分廣東飛行場着、まづ廣東神社に參拜、夜は南支派遣軍最高指揮官の招宴に臨んで懇談を重ねた

海南島視察

【海口廿二日發】青木大東亞相一行は十八日正午〇〇着直ちに石原産業經營の〇〇鐵山並に附近の資源開發現狀をつぶさに視察した

佛印訪問

【ハノイ廿二日發】十九日午前九時半ハノイ入りした青木大東亞相は同日午後三時芳澤大使の案内で佛印總督府にドクレー總督を公式に訪問、同四十分大使館にドクレー總督の訪問を受けたが、この交驛において青木大東亞相は大東亞戰爭開始以來佛印の示した友好的態度を謝し今後の佛印側の協力を要望、この友好的態度こそ佛國、佛印、日本の相互的利益とならうと挨拶をなし、これに對しドクレー總督は「歐洲の情勢は複雑だが自分は佛印において日本との傳統的友好を維持せよとの本國の訓令を遵守してゐる、佛印は日本との間に名譽あるフランスの名において共同防衛協定を締結してゐるのであり、自分はこの協定には忠實であることを誓ふ」と答へ、友好裡に儀禮交驛を終へ、次いで同五時半より官邸廣間において芳澤大使主催に會し杯を擧げて友好を祝し、終つて青木大東亞相は別室においてドクレー總督と日佛關係に關し種々意見を交換、同六時半當義深い懇談を終了した

タイ國訪問

【バンコック廿二日發】青木大東亞相の一行は廿二日午前十一時廿五分サイゴンより空路バンコック飛行場に到着した、青木大東亞相は長途の旅の疲れもみせず泰國空軍儀仗兵の整列する中を飛行場に降り立ち泰國政府に挨拶し廻しの自動車でバンコック中の宿舎バンドムンに入つた

青木大東亞相とドクレー佛印監督とは東亞の一般的事態、殊に佛印の大東亞圈において負擔すべき使命につき數次に亘り意見を交換、青木大東亞相及びドクレー監督は兩國當局の遂行し來る協力政策が大東亞の全般的利益並に佛印の安寧及び福祉を確保し以つて有益なる効果を齎らせる事案を檢討し且兩國の特殊關係を一層緊密ならしめるがために右の協力政策を更に強化すること重要なりとの點につき意見の一致をみた

【サイゴン廿二日發】青木大東亞相一行は當地における日程を終つて廿二日午前九時サイゴンを出發した

【バンコック廿二日發】青木大東亞相の一行は廿二日午前十一時廿五分サイゴンより空路バンコック飛行場に到着した、青木大東亞相は長途の旅の疲れもみせず泰國空軍儀仗兵の整列する中を飛行場に降り立ち泰國政府に挨拶し廻しの自動車でバンコック中の宿舎バンドムンに入つた

【バンコック廿二日發】青木大東亞相は同日午後三時宿舎バンドムンにおいてタイ國記者團に對し左の要旨の聲明を發表した

「貴國訪問のこの機會に余は先づ第一に千載一遇の世界大轉換期に際して貴國の指導者が國政の滲透、國民精神の昂揚に献身的努力を致し國民民士た堅き決意を以て一致團結その指導者を支持して大理想の實現に勇往邁進せられつゝあることに對し深甚なる敬意を表するものである、また北部戦線に作戦せる泰國軍隊が幾多の困難を克服して多大の戦果を擧げられつゝあることは眞に御同慶に堪へない次第である、思ふに今次戦争においてわわれれ同志國が一團となつて米英を撃破するに非ざれば彼等が數世紀に亘り培つた東亞侵略の禍根を拔除する機會は永遠に失はれる、帝國及び同盟國は既に必勝不敗の態勢を確立し、帝國が確立せる戰略的領域と豊富なる經濟資源とはいよいよ帝國の戦力を増強しつゝあり、今後米英が如何に反撃を試みてもわれわれの決心に揺さぶらるべきことわれわれの團結にして掻きまげざる對この態勢を覆へし得ざるべきこと一點の疑ひを入れる餘地もないのである、由來帝國は信義の國である好意には必ず好意を以て報ゆる國である、泰國が大東亞戰爭完遂のため帝國に致されつゝある眞摯なる協力を、泰國の深く感銘するところであつて、泰國の興隆と泰國國民の福祉のためには出来る限りの協力を惜しまないものである、余は泰國國民が東亞の榮光を仰ぎつゝ必勝の信念と帝國に對する信頼とを以て愈よ帝國との提携を固くし大東亞戰爭の完遂に邁進せられんことを切望して已まぬものである」

【バンコック廿三日發】廿三日ビソン首相主催晩餐會におけるビソン首相並に青木大東亞相の挨拶要旨左の如し

△ビソン首相 公私タイ國民は未だ嘗て大國の現職省大臣の來泰のことを記憶しないのであるが今回閣下が今次戰爭の勝利により設立せられたる大東亞省初代大臣として御來訪されたことは私共の非常な光榮とするのみならず、世界歴史の上にも閣下の御名前が記載されなければならぬところと考へるのである、私は是非懇談の機會を得たいと存じてゐたのであるが今回の御來泰により私の希望は達成せられたのである、今次戦争においてタイ國は貴國と共同作戰の契りを結んだが、今回、閣下に御會して俄に兩國の勝利は近き將來ありと確信し得たことは私の最も欣快とするところであるが、特に申上たいと思ふのは日本軍隊が既に當國を通過したのも又現在駐屯するものも、その命令、規律、勇敢、忍耐の點において眞に大日本帝國の軍隊として他に例のない立派な軍隊である、また坪上大使、大使館員はよくタイを諒解されて兩國の親善増進に努力されつゝあり、またかつてなき立派な功績を擧げられたことに對してのタイ人の等しく敬愛する所である、今回の閣下の御來泰は日本官憲並びにタイの友人たる日本人に兩國間の親善關係をして日泰兩國旗を結び合せるごとく一層強固ならしむるものと考へる、この兩國の關係は何ものによつても變化せしめられざるものと確信するものである

△青木大東亞相 今回親しく貴國を訪れ私の敬愛措かざる總理閣下をはじめ朝野要路の方々面に接する機會を得たことは私の欣幸とするところである、さて今日までに帝國の獲得せる戰略上の世界的優位については多言を要せざるところであるが、この皇軍の忠勇無比なる所以は皇軍將兵の一人一人が我が國體に絶対の信念を有するに由るものであつて帝國一億國民の一人々々がまたこの信念に基き夫々の分野に於て一切の私生活を犠牲とし御奉公の誠を致してゐるのである、帝國は斯くの如く精神力に於て卓越して居るのみならず獲得せる資源は擧げて戦力増強に集中し聊かの不安もなき態勢を確立し得たのである、このことは數字を擧げて例證によるよりも敵側の宣傳を開けば直ちに判明するのである、米國と濠洲は直ちに南方諸地域を日本より奪ひ返すに非ざれば日本は尅大な資源を動員して經濟的にも不敗の體制を確立してしまふであらうと心配し、更にまた米英陣營と心配し、我々の陣營においては同志的結合をも固め強固の團結が成立したのである、日泰關係の如き正にその適例であつて、日獨關係然りである、これだけの條件が揃つてわれわれが勝たないといふことは絶対にあり得ないことを確信する、日泰兩國必勝の信念により固く結ばれた日泰の協力によ

旅の疲れもみせず泰國空軍儀仗兵の整列する中を飛行場に降り立ち泰國政府に挨拶し廻しの自動車でバンコック中の宿舎バンドムンに入つた

【バンコック廿二日發】青木大東亞相は同日午後三時宿舎バンドムンにおいてタイ國記者團に對し左の要旨の聲明を發表した

「貴國訪問のこの機會に余は先づ第一に千載一遇の世界大轉換期に際して貴國の指導者が國政の滲透、國民精神の昂揚に献身的努力を致し國民民士た堅き決意を以て一致團結その指導者を支持して大理想の實現に勇往邁進せられつゝあることに對し深甚なる敬意を表するものである、また北部戦線に作戦せる泰國軍隊が幾多の困難を克服して多大の戦果を擧げられつゝあることは眞に御同慶に堪へない次第である、思ふに今次戦争においてわわれれ同志國が一團となつて米英を撃破するに非ざれば彼等が數世紀に亘り培つた東亞侵略の禍根を拔除する機會は永遠に失はれる、帝國及び同盟國は既に必勝不敗の態勢を確立し、帝國が確立せる戰略的領域と豊富なる經濟資源とはいよいよ帝國の戦力を増強しつゝあり、今後米英が如何に反撃を試みてもわれわれの決心に揺さぶらるべきことわれわれの團結にして掻きまげざる對この態勢を覆へし得ざるべきこと一點の疑ひを入れる餘地もないのである、由來帝國は信義の國である好意には必ず好意を以て報ゆる國である、泰國が大東亞戰爭完遂のため帝國に致されつゝある眞摯なる協力を、泰國の深く感銘するところであつて、泰國の興隆と泰國國民の福祉のためには出来る限りの協力を惜しまないものである、余は泰國國民が東亞の榮光を仰ぎつゝ必勝の信念と帝國に對する信頼とを以て愈よ帝國との提携を固くし大東亞戰爭の完遂に邁進せられんことを切望して已まぬものである」

【バンコック廿三日發】廿三日ビソン首相主催晩餐會におけるビソン首相並に青木大東亞相の挨拶要旨左の如し

△ビソン首相 公私タイ國民は未だ嘗て大國の現職省大臣の來泰のことを記憶しないのであるが今回閣下が今次戰爭の勝利により設立せられたる大東亞省初代大臣として御來訪されたことは私共の非常な光榮とするのみならず、世界歴史の上にも閣下の御名前が記載されなければならぬところと考へるのである、私は是非懇談の機會を得たいと存じてゐたのであるが今回の御來泰により私の希望は達成せられたのである、今次戦争においてタイ國は貴國と共同作戰の契りを結んだが、今回、閣下に御會して俄に兩國の勝利は近き將來ありと確信し得たことは私の最も欣快とするところであるが、特に申上たいと思ふのは日本軍隊が既に當國を通過したのも又現在駐屯するものも、その命令、規律、勇敢、忍耐の點において眞に大日本帝國の軍隊として他に例のない立派な軍隊である、また坪上大使、大使館員はよくタイを諒解されて兩國の親善増進に努力されつゝあり、またかつてなき立派な功績を擧げられたことに對してのタイ人の等しく敬愛する所である、今回の閣下の御來泰は日本官憲並びにタイの友人たる日本人に兩國間の親善關係をして日泰兩國旗を結び合せるごとく一層強固ならしむるものと考へる、この兩國の關係は何ものによつても變化せしめられざるものと確信するものである

△青木大東亞相 今回親しく貴國を訪れ私の敬愛措かざる總理閣下をはじめ朝野要路の方々面に接する機會を得たことは私の欣幸とするところである、さて今日までに帝國の獲得せる戰略上の世界的優位については多言を要せざるところであるが、この皇軍の忠勇無比なる所以は皇軍將兵の一人一人が我が國體に絶対の信念を有するに由るものであつて帝國一億國民の一人々々がまたこの信念に基き夫々の分野に於て一切の私生活を犠牲とし御奉公の誠を致してゐるのである、帝國は斯くの如く精神力に於て卓越して居るのみならず獲得せる資源は擧げて戦力増強に集中し聊かの不安もなき態勢を確立し得たのである、このことは數字を擧げて例證によるよりも敵側の宣傳を開けば直ちに判明するのである、米國と濠洲は直ちに南方諸地域を日本より奪ひ返すに非ざれば日本は尅大な資源を動員して經濟的にも不敗の體制を確立してしまふであらうと心配し、更にまた米英陣營と心配し、我々の陣營においては同志的結合をも固め強固の團結が成立したのである、日泰關係の如き正にその適例であつて、日獨關係然りである、これだけの條件が揃つてわれわれが勝たないといふことは絶対にあり得ないことを確信する、日泰兩國必勝の信念により固く結ばれた日泰の協力によ

旅の疲れもみせず泰國空軍儀仗兵の整列する中を飛行場に降り立ち泰國政府に挨拶し廻しの自動車でバンコック中の宿舎バンドムンに入つた

【バンコック廿二日發】青木大東亞相の一行は廿二日午前十一時廿五分サイゴンより空路バンコック飛行場に到着した、青木大東亞相は長途の旅の疲れもみせず泰國空軍儀仗兵の整列する中を飛行場に降り立ち泰國政府に挨拶し廻しの自動車でバンコック中の宿舎バンドムンに入つた

【バンコック廿二日發】青木大東亞相は同日午後三時宿舎バンドムンにおいてタイ國記者團に對し左の要旨の聲明を發表した

「貴國訪問のこの機會に余は先づ第一に千載一遇の世界大轉換期に際して貴國の指導者が國政の滲透、國民精神の昂揚に献身的努力を致し國民民士た堅き決意を以て一致團結その指導者を支持して大理想の實現に勇往邁進せられつゝあることに對し深甚なる敬意を表するものである、また北部戦線に作戦せる泰國軍隊が幾多の困難を克服して多大の戦果を擧げられつゝあることは眞に御同慶に堪へない次第である、思ふに今次戦争においてわわれれ同志國が一團となつて米英を撃破するに非ざれば彼等が數世紀に亘り培つた東亞侵略の禍根を拔除する機會は永遠に失はれる、帝國及び同盟國は既に必勝不敗の態勢を確立し、帝國が確立せる戰略的領域と豊富なる經濟資源とはいよいよ帝國の戦力を増強しつゝあり、今後米英が如何に反撃を試みてもわれわれの決心に揺さぶらるべきことわれわれの團結にして掻きまげざる對この態勢を覆へし得ざるべきこと一點の疑ひを入れる餘地もないのである、由來帝國は信義の國である好意には必ず好意を以て報ゆる國である、泰國が大東亞戰爭完遂のため帝國に致されつゝある眞摯なる協力を、泰國の深く感銘するところであつて、泰國の興隆と泰國國民の福祉のためには出来る限りの協力を惜しまないものである、余は泰國國民が東亞の榮光を仰ぎつゝ必勝の信念と帝國に對する信頼とを以て愈よ帝國との提携を固くし大東亞戰爭の完遂に邁進せられんことを切望して已まぬものである」

【バンコック廿三日發】廿三日ビソン首相主催晩餐會におけるビソン首相並に青木大東亞相の挨拶要旨左の如し

△ビソン首相 公私タイ國民は未だ嘗て大國の現職省大臣の來泰のことを記憶しないのであるが今回閣下が今次戰爭の勝利により設立せられたる大東亞省初代大臣として御來訪されたことは私共の非常な光榮とするのみならず、世界歴史の上にも閣下の御名前が記載されなければならぬところと考へるのである、私は是非懇談の機會を得たいと存じてゐたのであるが今回の御來泰により私の希望は達成せられたのである、今次戦争においてタイ國は貴國と共同作戰の契りを結んだが、今回、閣下に御會して俄に兩國の勝利は近き將來ありと確信し得たことは私の最も欣快とするところであるが、特に申上たいと思ふのは日本軍隊が既に當國を通過したのも又現在駐屯するものも、その命令、規律、勇敢、忍耐の點において眞に大日本帝國の軍隊として他に例のない立派な軍隊である、また坪上大使、大使館員はよくタイを諒解されて兩國の親善増進に努力されつゝあり、またかつてなき立派な功績を擧げられたことに對してのタイ人の等しく敬愛する所である、今回の閣下の御來泰は日本官憲並びにタイの友人たる日本人に兩國間の親善關係をして日泰兩國旗を結び合せるごとく一層強固ならしむるものと考へる、この兩國の關係は何ものによつても變化せしめられざるものと確信するものである

△青木大東亞相 今回親しく貴國を訪れ私の敬愛措かざる總理閣下をはじめ朝野要路の方々面に接する機會を得たことは私の欣幸とするところである、さて今日までに帝國の獲得せる戰略上の世界的優位については多言を要せざるところであるが、この皇軍の忠勇無比なる所以は皇軍將兵の一人一人が我が國體に絶対の信念を有するに由るものであつて帝國一億國民の一人々々がまたこの信念に基き夫々の分野に於て一切の私生活を犠牲とし御奉公の誠を致してゐるのである、帝國は斯くの如く精神力に於て卓越して居るのみならず獲得せる資源は擧げて戦力増強に集中し聊かの不安もなき態勢を確立し得たのである、このことは數字を擧げて例證によるよりも敵側の宣傳を開けば直ちに判明するのである、米國と濠洲は直ちに南方諸地域を日本より奪ひ返すに非ざれば日本は尅大な資源を動員して經濟的にも不敗の體制を確立してしまふであらうと心配し、更にまた米英陣營と心配し、我々の陣營においては同志的結合をも固め強固の團結が成立したのである、日泰關係の如き正にその適例であつて、日獨關係然りである、これだけの條件が揃つてわれわれが勝たないといふことは絶対にあり得ないことを確信する、日泰兩國必勝の信念により固く結ばれた日泰の協力によ

り必勝の態勢が確立されてゐるのである、私は大東亞大臣となつて日泰兩國の團結をますます強固ならしめて勝利をますます決定的ならしむることに全力を盡す覚悟である、これがために私は兩國が國家として團結するに止まらず、兩國の各人殊に指導者がお互に個人的接觸を緊密にし相互の理解と信頼とを深めることが必要であると存する、唯今の總理大臣閣下のお言葉の中にタイ國政府要路の方々との最も信頼する坪上大使との間においてもタイ國最高指揮官としての閣下とわが軍指揮官との間に極めて圓滑なる個人的接觸がはられてゐると申された點はこの意味において私の最も欣快と存する所である

【十五日發】青木大東亞相とタイ國首腦部との會談に關し、二十五日午前八時次の如き日タイ共同コミニケケが發表された
△日タイ共同コミニケ 青木大東亞相は四月二十三日以來バンコックにおいてビョン總理大臣並にウイット外務大臣と數次に亘る會談をなし、世界全般の情勢を検討したる結果、決戦に對する必勝の信念と共同の運命に立つ兩國の結束を再確認し、戰爭完遂及び大東亞建設のため共に探るべき方途につき完全なる意見の一致を見たり

【昭南廿六日發】去る十六日東京を出發南支並に南方視察中の青木大東亞相一行は二十日午前九時十分ラングーン發ベンナ經由本日午後五時廿分昭南に到着、直ちに宿舎舊總督官邸に入つた
大東亞相部長と會見【昭南廿七日發】昭南滞留は二日目を迎へた青木大東亞相は廿七日午前十一時廿分〇〇部隊長と懇談を行ひ、次いで同所に於て軍政擔當責任者より約廿分間に亘り南方軍隊並びにマライ軍政の状況について詳細説明を聴取した
〇〇最高指揮官訪問【〇〇基地二十日發】去る十六日東京出發、南支、佛印、泰、ビルマを視察した青木大東亞相は〇〇最高指揮官を訪問、南方視察の挨拶を述べたのち大東亞戰爭完遂に要する船舶航空機の生産並に鐵、石炭、輕金屬の旺盛なる増産状況を説き、戰爭遂行に搖ぎなき産業陣の實情並に一億國民鐵石の團結を詳細に説明した、これに對し、〇〇最高指揮官は後國民の熱烈なる聲援を謝し、前線の將兵が一死報國の念に燃え大東亞戰爭を勝抜くべく日夜努力しつゝあり、勝利は常にわれわれにある旨後後に傳へられたしと述べて會見を終つた
昭南發【昭南廿八日發】南方視察の途次昭南に立寄つた青木大東亞相一行は廿八日午前九時昭南〇〇飛行場發空路〇〇に向つた

大東亞相クチン到着
【クチン廿八日發】南方共榮圏の逞しい建設ぶりを視察中の青木大東亞相一行は廿八日午前現地の〇〇部隊長以下軍官民代表の歓迎を受け、クチン着、直ちにクチン高等官集會所午後七時から山脇陸軍最高指揮官の招宴に望んだ
大東亞相昭南で歡談
【昭南廿九日發】南方の建設状態を視察中の青木大東亞相一行は廿九日〇〇より空路昭南に歸着した、大東亞相は聖壽の萬歳を壽き奉つた後、在昭南の舊知達の招きに應じて午後三時〇〇顧問邸を訪問、談笑裡に午後五時同邸を辭し午後六時よりの海軍側の招宴に臨んだ

佛印資源調查團解散
【一日】昭和十六年五月の日佛經濟協定に基き佛印當局の協力の下に佛印の未開發資源調査のため結成され今年九月現地派遣をみた佛印資源調査團は團長元公使横山正幸氏を始め團員百五十名の努力により昨年四月まで現地調査を完了爾來廣汎なる報告書を作成中であつたが、この程一切の任務が終了、三月廿一日解散せられたので大東亞省では右に關し一日左の如く發表した
（大東亞省發表）昭和十六年九月帝國政府の計畫に基き結成せられたる官民合同佛印資源調査團は今回任務終了三月三十一日解散せられたり

政府

物動並交通動員計畫閣議決定
【三十日】東條内閣は過般の内閣改

して政府は大東亞地域における綜合戦力の増強方策につき大東亞建設會議に諮ることとなり昨年十一月十三日の第六回總會以來六月振りて九日午後一時より首相官邸に大東亞建設會議第七回總會を開催、總裁東條首相以下各國務大臣各委員出席東條首相の挨拶の後青木大東亞相及び陸海軍當局より大東亞各地域に於ける施策に關し報告ついで政府より提出の新諮問案（大東亞地域の礦物纖維、食糧等重要資源の開發、利用に關する事項）を附議、政府側の説明の後、質疑應答を行ひ午後三時散會した、なほ今後は新諮問案の審議は部會の運用によつて行ふこととなつた、右に關し情報局より左の如く發表された
△情報局發表表（四月九日午後三時）本九日午後一時より總理大臣官舎において大東亞建設會議第七回總會開催せられ政府側より東條總裁以下各大臣並に委員出席、東條總理大臣の挨拶の後青木大東亞相及び陸海軍當局より大東亞各地域における施策に關する諸般の報告あり次で政府より提出せられたる新たな諮問につき説明並に質疑應答あり午後三時散會せり、なほ新諮問案は綜合戦力増強を目的とする大東亞地域の重要資源（礦物、纖維、食糧等）の開發利用に關する事項にして今後の部會の運用に依り審議せらるる豫定なり

政府・重臣懇談會開催
【十六日】政府は大東亞戰爭勃發以來累次に亘り嘗て首相たりし重臣を招待して恒例的に懇談會を開催し、

大東亞相ビョン首相と會談【バンコック二十三日發】訪泰第二日を迎へた青木大東亞相は二十三日午前九時半在バンコック皇軍病院を訪れ、傷病兵を慰問した後同十時ビョン首相を官邸に訪問、坪上大使を交へて二時間餘りに亘り懇談を遂げたが、大東亞戰爭を飽まで勝抜くため日泰兩國の緊密なる協力關係を一層強化すべき點に完全なる意見の一致を見、友好的勞働氣の裡に同零時十五分會談を終へ、次で〇〇部隊主催の午餐會に臨んだ
大東亞相外相と意見交換【バンコック廿三日發】訪タイ中の青木大東亞相は廿三日午後二時半外務省にウイット外相を訪れ、約二時間に亘つて懇談を行ひ日泰の紐帶を益々強化し、緊密なる協力のもとに共同の敵米英撃滅に關する隔意なき意見の交換を行つた
【三十日】東條内閣は過般の内閣改

【九日】大東亞建設の新展開に即應

戦況、國際情勢等時局に關し種々説明を行つて來たが去る一月十四日の會合以來本年第二回目の重臣懇談會を十六日午後四時より首相官邸に開催、重臣側より病臥中の若槻禮次郎男を除き岡田啓介大將以下の嘗て首相たりし六氏並びに原樞府議長、政府側より東條首相以下關係閣僚、内閣三長官等出席、時局に關し政府側より説明を行ひ懇談ののち晚餐を共にし午後七時半散會した、右に關し情報局では左の如く發表した、

「本十六日午後四時より東條内閣總理大臣は嘗て内閣總理大臣たりし岡田啓介大將、平沼騏一郎男、近衛文麿公、米内光政大將、廣田弘毅氏、阿部信行大將の六氏並に原樞密院議長を招待した、政府側より東條内閣總理大臣兼陸軍大臣、谷外務大臣賀屋大藏大臣、嶋田海軍大臣、鈴木國務大臣兼企畫院總裁及び星野内閣書記官長、森山法制局長官も出席し東條内閣總理大臣その他より時局に關し説明を行ひ懇談の後晚餐を共にし午後七時半散會した」

要綱決定 金屬類非常回收實施

【十六日】十六日の定例閣議は午前九時首相官邸に開會(青木大東亞相缺席)鈴木企畫院總裁より緊急物價對策に關する件並に緊急物價對策要綱價格報奨制度要綱につき説明、各閣僚から意見の開陳あつてこれを決定、次いで岸商相より昭和十八年度金屬類非常回收實施要綱につき説明あつて、これを決定、同十一時散會(六六七八頁参照)

關稅法戰時特例決定

【二十日】政府は第八十一議會の協賛を経た畫期的生産増強立法である戰時行政特例法を去る三月十八日公佈、即日實施し、爾來その發動に關し準備を進めて來たが、今回同法第一項第一號に基き「大東亞戰爭に際し生産力擴充の他綜合國力の擴充運用の爲めに必要あるときは法律による人又は法人の行爲に對する禁止又は制限の全部又は一部を解除し得る」旨の規定に基いてこれを關稅法に適用することとなり、二十日の定例閣議に、一、關稅法戰時特別制定の件(勅令)を附議、森山法制局長官より説明ののち正式決定した

農政局に農村總務室設置

【二十六日】農林省では皇國農村確立促進運動の具體化を圖るため今回農政局に農村總務室を設置することとなり、これに伴ふ分課規程を改正廿六日より實施した、新設の農村總務室は從來各課に分屬してゐた自作農維持創設、農業經營、農産、畜産關係の各事務を綜合するとともに、標準農村設定に關する事務を掌り、名實共に帝國農村確立運動の參謀本部的性格をもつもので、室長には石井農政局長が當り、その下に事務官二名、小作官一名、技師八名、其他の職員を配屬また民間からも適任者を囑託として事務に參與せしめる

最初の査察使に鈴木國勢相任命

【二十八日】政府は重要生産力擴充を中心とする戦力増強推進の一方策として去る三月十七日の閣議において内閣顧問、戰時經濟協議會の創設

とならんで行政査察制度の實施を決定し内閣に勅命に依る行政査察使を設置し行政の實績就中生産力擴充その他戰時經濟運營に關する重要政策の滲透狀況を現地に査察し行政運營の適正を期することとなつたが、今回最初の行政査察使として鈴木國勢相兼企畫院總裁を五月十日より數日間神奈川縣下の行政官廳、重要工場等に對し派遣することとなり二十八日上奏御裁を経て内閣より左の如く發令された

地方長官會議

行政査察使は國務大臣及び内閣顧問より勅命されることとなつてをり、第一回の行政査察使として今回鈴木國務相の任命をみたが、今後は隨時各地域に對し行政査察使が派遣されることとならう

東條首相訓示

【十二日】決戦段階に即應して第八十一議會の成果の結實を期さうとする全國地方長官會議の第一日は首相官邸に於ける參集を以て開かれた、この日會議に先立

つて午前七時半、松村東京府知事等四長官は明治神社に坂北海道長官等五長官は靖國神社に夫々全長官を代表して參拜、大東亞戰完全の新願戰歿將兵の英靈に對し黙禱を捧げた

地方長官會議

定刻八時半一道三府四十三縣ならびに山河樺太長官、加藤憲兵司令官、吉永警視總監ほか朝鮮、臺灣等外地長官等五十七名は首相官邸一階大廣間に參集、内閣四長官ほか關係官以下全閣僚、内閣府側より東條首相出席し、劈頭東條首相起つて一般の方針を凛烈の口調をもつて別項の如く訓示し、同九時十分各長官は打揃つて宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付られ土居新瀉知事をはじめ二十四長官より各地方實情につき奏上、種々畏き御下問に奉答、御陪食を賜り、午後

地方長官會議

はさらに本閣顧問縣知事ほか三十二長官より同じく地方實情を奏上、御下問に奉答、戰時下地方事情に垂れさせ給ふ聖慮のほどに感泣して退下し第一日の日程を終つた

△内閣總理大臣訓示 今や帝國は最後の勝利を目指して、國の全力を擧げて戦ひ續けて居る此の曠古の大戦に於て我が國を決定のものとらしむる爲には、蓋し今後の一年間諸君は此の國民の盛りたる忠誠心を爲して居るのである、今日に於ける諸君の御奉公の目標は、精神的方面に於ても、又物的方面に於ても、一に戦力の増強にあることを銘記せられ、渾身の力を之に集中して行政の運營に當られたい、現下喫緊の要務たる生産の増強に關しては、諸君に於ても格別盡力されて居るのであるが昨年未以來各方面の努力の效著しく現はれ、各部門共良好なる成績を擧げつつあることは洵に欣幸に堪

へない、政府に於ては、特に鐵鋼、石炭、輕金屬、船舶、航空機等重要物資の生産増強に付いては、特別の手段を採ることとし、既に戰時行政特例法等の御制定を仰ぎ、從來の行掛りに提はれず、法規の掣肘をも除く途を拓いた次第であるが、今後各方面に亘つて更に工夫を凝し、諸計畫に何等遲滞なからしむるは素より努力致す所存である、諸君に於ても時局に鑑み、政府の意を體し、區々たる準繩に提はれず、適時適應の處置に出で思ひ切つて、生産増強の指導に當られんことを切に望む次第である、此重大時局に直面して、最も緊要なることは、一億國民が常に必勝の信念を堅持し、飽く迄も強靱なる闘志を以て戦ひ抜くことである

今や國民は戦ひに勝たんが爲に、不自由を忍び艱難に堪へて各自の最善を盡し如何なる事態にも動ぜざる實剛健にして、清新簡素なる戰時生活を確認せんとしてゐるのである、

昨國以來幾度か國難を突破して參つた大和魂は、今こそ其の威力を高度に發揮せられんとして居るのである、諸君は此の國民の盛りたる忠誠心を愈々昂揚し、臣道實踐の實を擧げ官民一致聖戰完遂に邁進せんことを期せられたい

暖き思ひ遣りの心を以てし、出来得る限り懇切丁寧を旨とし、國民が不安や不満を抱くことなく進んで各々の業に勵む様に特に努めねばならぬ。苟も諸君の管下に於て、不安を抱き又は不満を有する者があつたならば、以て諸君の管下に斯の如ききや、一人もなからんことを期せねばならぬ、斯くしてこそ、民を視ること子の如しと慈みたまふ、大御心に副ひ奉ることも出来非常時局下の複雑なる行政の圓滿なる運行をも期し得るのである。

又官紀の肅正に付いては既に屢々私の訓示した所であるが、時局の進展と共に、官吏たるものは愈よ自らを省みて言行を慎み、眞に一般の儀表たるの實を具へねばならぬ、多くの部下を有する官吏に於て特に然りである、而して部下を率ゐるに當つては、常に寬嚴宜しきを得一方に於て春風の如き骨内の温情を以て之を導くと共に、邪を正すに當つては秋霜の如き凜然たる態度を以て之に臨むことを要する、之が爲には、諸君の部下の執務上の得手、不得手其の他の特徴を知るは勿論のこと、健康状態家庭の事情等をも之を詳かにし、以て部下をして心を安んじて然も油断なく御奉公せしむる様に心懸けることが必要である、而して之こそ部下統卒の要點であると信ずる、周到なる注意と温情とを一方に持つてこそ部下に對する鞭撻も亦威力があり一家の如き親しみの中に自ら侵し難き規律あることを期し得るのである、今や、政府は全力を擧げて各般の施策を樹立し、之を實現徹底せしめて居て聖明に應へ奉らんことを期して居るのであるが、政府の決定したる方針が一度諸君の許に達せらるるや、其の趣旨が速に諸君の部下に又管下に一般に徹底する如く、所謂縦の線が十分に一貫することは、特に現下の時局に於ては極めて必要である、之が爲には諸君はみづから率先陣頭に立つて事に當り、行政の末梢に至る迄の透徹状況を機を逸することなく實地に付いて之を調査し、常に新しい工夫を加へて、之が慘遜を圖り、以て聊かの暖みをも生ぜしめず、政府の意圖が正しく、速に傳へられ實現せられるべき、不斷の努力を續けることが肝要である、私は就任以來今日に至る迄、或は地方長官會議に於て、或は他の機會に於て己に屢々訓示を以て所信を披瀝して參つたのである、從つて私の訓示の趣旨は諸君に於て十分に理解せられて居り、又諸君の部下に對しても之を徹底せしめつつあることと信ずるが、私此の際特に強く希望致し、諸君の諸君の一段の努力を要望する次第である。

谷外相より國際情勢に關して説明を行つたのち青木大東亞相に我が方の大東亞建設の根本方針につき詳細説明、更に對支新政策その他大東亞各地域の現況につき演述し、終つて文部省關係の會議に入り橋田文相より、學制改革を中心とする文教の刷新につき重要な訓示を行ひ、同十一時三十分引續き岩村法相より司法檢察當局の方針を闡明せる訓示あり、同十一時四十五分再び文部省關係の會議に入り中央の指示を中心として地方長官側との間に質疑應答を重ねる所は極めて大なるものがあるのであつて、必要なる地方には曩に地方各廳連絡協議會を設置し、地方長官主宰の下に、第一線機關の連絡を緊密にし、有機的綜合的なる行政機能の發揮を圖ると共に、又地方長官を中心として重要港灣に於ける各種行政の綜合運營體制を確立し、港灣機能の増強を圖りつつあるのも、此の趣旨に外ならない、治安維持の完備を期するは現下の時局に鑑み最も緊要とする所である、開戦以來各位の格別なる努力に依り統後治安に微動だも生ぜざるは寔に喜ぶに堪へない所であるが今後統後の進展に伴ふ戦時諸施策の實施の統後民心に與ふる影響は、治安上注意を要するもの多かり、更に三好警保局長より最近の國內治安の實情、上田防空局長より戦時下の防空につき夫々説明した後中央と地方側との間に熱心な質疑應答が重ねられた、斯くて同四時平出海軍大臣より軍事講演が有り、同五時大政翼賛會關係の會議を行つて第二日の會議を終了した。

氣の昂揚に努め、以て全國民をして必勝の信念と不退轉の氣魄とを堅持せしめ、國家總力の發揮に萬全を期するは現下最も緊要である、而して此の事たる實に各位が地方長官として、身身の力を注ぐべき重大なる職責であり、就中生産力の増強に關し、今日政府が地方長官の努力に期待する所は極めて大なるものがあるのであつて、必要なる地方には曩に地方各廳連絡協議會を設置し、地方長官主宰の下に、第一線機關の連絡を緊密にし、有機的綜合的なる行政機能の發揮を圖ると共に、又地方長官を中心として重要港灣に於ける各種行政の綜合運營體制を確立し、港灣機能の増強を圖りつつあるのも、此の趣旨に外ならない、治安維持の完備を期するは現下の時局に鑑み最も緊要とする所である、開戦以來各位の格別なる努力に依り統後治安に微動だも生ぜざるは寔に喜ぶに堪へない所であるが今後統後の進展に伴ふ戦時諸施策の實施の統後民心に與ふる影響は、治安上注意を要するもの多かり、更に三好警保局長より最近の國內治安の實情、上田防空局長より戦時下の防空につき夫々説明した後中央と地方側との間に熱心な質疑應答が重ねられた、斯くて同四時平出海軍大臣より軍事講演が有り、同五時大政翼賛會關係の會議を行つて第二日の會議を終了した。

發揮に障礙を與ふるが如き事實に對しては斷乎たる慮置を講じ、速に之が排除を圖ると共に、他面國民生活の實相に透徹し、常に國民の立場を察し温情を以て事に當り國民をして進んで政府の施策に協力せしむるや指導するを肝要と考へる。

防空態勢の強化整備に就いては各位は愈よ國民の防空精神を振起し、國民をして防空に前線統後の區別なき所以を認識せしめ、民心の弛緩を戒むると共に更に防空諸機關の訓練と防空施設の充實とに一段の努力を致し、必勝不敗の防空態勢を確立して國民士防衛に萬遺憾なきを期せられんことを切望する。

政府は時局の新段階に即應して國策の滲透徹底と國民生活の安定とを圖らんが爲第一線行政機構たる市町村等の制度に整備改善を加ふるの必要を認め、第八十一回帝國議會に東京都制案及市制町村制等の地方制度改正法律案を提出し、兩院の協賛を得て目下鋭意之が施行の準備に努めつつあるのであるが此等諸法律が果して克く所期の成果を收め得るや否やは懸つて今後の運用如何に存する所に鑑み、之が運用に萬全を期し、殊に改正法に基き監督官廳の措置に付ては、自治の眞精神を尊重し、苟も官僚獨善、官僚萬能等の誘を受くが如きことなく、地方自治今後の進展に對し官民協力の實を擧ぐるや、格別の配慮あらんことを望むものである、尙内外地行政の一元化に依り去る四月一日より樺太は内地に併入せらるることとなつたので、今後相互連絡を一層緊密ならしめ、協力一致以て諸施策の遂行に遺憾なきを期せられたい、國を擧げて難局に當るべき今日行政に對する國民の倚の念を深厚ならしむるは最も緊要なことである、時局の進展と共に今や國民生活の各分野は多く行政の關與する所となり、從つて地方官の舉措進退の民心に影響する所は益々大

第 二 日

各 省 別 會 議

【十三日】 第二日は午前八時内務省に於て開會、劈頭

谷外相より國際情勢に關して説明を行つたのち青木大東亞相に我が方の大東亞建設の根本方針につき詳細説明、更に對支新政策その他大東亞各地域の現況につき演述し、終つて文部省關係の會議に入り橋田文相より、學制改革を中心とする文教の刷新につき重要な訓示を行ひ、同十一時三十分引續き岩村法相より司法檢察當局の方針を闡明せる訓示あり、同十一時四十五分再び文部省關係の會議に入り中央の指示を中心として地方長官側との間に質疑應答を重ねる所は極めて大なるものがあるのであつて、必要なる地方には曩に地方各廳連絡協議會を設置し、地方長官主宰の下に、第一線機關の連絡を緊密にし、有機的綜合的なる行政機能の發揮を圖ると共に、又地方長官を中心として重要港灣に於ける各種行政の綜合運營體制を確立し、港灣機能の増強を圖りつつあるのも、此の趣旨に外ならない、治安維持の完備を期するは現下の時局に鑑み最も緊要とする所である、開戦以來各位の格別なる努力に依り統後治安に微動だも生ぜざるは寔に喜ぶに堪へない所であるが今後統後の進展に伴ふ戦時諸施策の實施の統後民心に與ふる影響は、治安上注意を要するもの多かり、更に三好警保局長より最近の國內治安の實情、上田防空局長より戦時下の防空につき夫々説明した後中央と地方側との間に熱心な質疑應答が重ねられた、斯くて同四時平出海軍大臣より軍事講演が有り、同五時大政翼賛會關係の會議を行つて第二日の會議を終了した。

發揮に障礙を與ふるが如き事實に對しては斷乎たる慮置を講じ、速に之が排除を圖ると共に、他面國民生活の實相に透徹し、常に國民の立場を察し温情を以て事に當り國民をして進んで政府の施策に協力せしむるや指導するを肝要と考へる。

防空態勢の強化整備に就いては各位は愈よ國民の防空精神を振起し、國民をして防空に前線統後の區別なき所以を認識せしめ、民心の弛緩を戒むると共に更に防空諸機關の訓練と防空施設の充實とに一段の努力を致し、必勝不敗の防空態勢を確立して國民士防衛に萬遺憾なきを期せられんことを切望する。

を加へつつある、深く思を茲に致し、其の後概ね順調に進行して居り南方

開發金庫も今回發券業務を興へられ、現地使用の軍事費並に經濟開發資金の供給に遺憾なきを期することとなつた

法相訓示要旨 開戦以來既に一年有餘を經過して居るが、治安が十分に確保されて居ることは洵に同慶に堪へない、併し乍ら若しも國民が事無

文相訓示要旨 政府は内外諸情勢の推移と教育に對して國家が不斷に要望するところとを深く省察し、國防

考へる如きことは今日より斷然改められなければならない、それに就いて最も大切なことは國民學校教育、中等學校教育に於て充分に國體の本

政經濟政策の基本は申すまでもなく、今次の征戰に完勝し、大東亞の本格的建設の爲軍力及資金等、各該の經濟力を此の際重點に集中動員し、戰時國民生活を確保しつゝ、國家總力の最も有効適切な活用を圖るに在る

戰時下の國民の總力を結束する爲には戰争目的の完遂に甚だしく支障を來すが如き言論は、之は禁遏すべきは言を俟たざる所である、從つて其の言論にして必勝の士氣を沮喪せしめ、或は國內に殊更に相克摩擦を生ぜしむるが如きものは之を看過すべからざるものと存する、戰論に關する事其の重要性に鑑み、戰時下特に其の取締に意を用ひられむことを望む、戰時刑事特別法中改正法律は戰時下治安確保の萬全を期する爲國政

第二に必要なる刷新改善を加へた、即ち從來歐米文化輸入に急なりし後を受けて教育が動もすれば煩瑣に流れ或は散漫に失し、或は抽象的觀念の授受に終始する餘のある所を根本的に刷新して飽くまで自主的に且出來るだけ簡素にして具體的充實を期し、第三には修業年限の改定で、即ち如上の教育内容の刷新充實と不離一體の關係に於て中等學校及高等學校の修業年限を短縮し師範學校に就いては之を延長した、明治以來の國民教育に對する關心が主として子弟の立身出世にあつたことは、時勢の然らしめた所であつたけれども、今や時勢の進運と現下の時局の重大なる意義に鑑み、我國教育の根本目的が皇國民の錬成にある以上所謂立身出世主義の下に教育を其の手段と

安藤翼賛會副總裁挨拶要旨 政府は昨年五月十五日の閣議決定に依つて、本會の機能を擴充強化し、主たる國民運動團體を本會の傘下に收めしむると共に國民運動に關し部落會町内會等を本會の指導する組織と爲す、また選舉刷新、貯蓄獎勵、物資活用、健民等各種運動の實施及び國民錬成機關の政府よりの委讓等國民運動は擧げて本會をして之が統制するに當らしめ其の集大成を期せしむることとなつた

行政と國民運動とが表裏の關係にあることは今更申上ぐる迄もない之を行政の側より見れば、官の施策の具現徹底には、當然國民の自發的積極的協力が要請され國民運動の側より見れば、官の理解と熱意とは國民運動の進展に大なる成果を表はすのである、若し萬が一にも第一線にある官吏各位にして、翼賛會或は翼賛運動に對し理解と熱意とを缺くが如きことがありとするならば、行政の

中心として増税を行つたのであるが、此の増税の趣旨は國庫の收入を増加せしめて財政の基礎を確立することにあることは勿論であるが實質的には國民の消費を規正し以て國民の戰時生活の徹底に資せんとするに外ならない

金融界の情勢は各般の指標に鑑みるに満足すべき状態に在ると云ふことが出来る、企業整備等經濟上の必要に應ずべき金融上の措置は政府として抜かりなく執つてゐる、今日金融界に於て最も大きな問題は日本證券取引所設置の問題である、將來日本人の資産の構成を考へると有價證券は益々重要な位置を占めて來るのである、從つて有價證券株式の實質機構の整備は極めて肝要であるが茲に年來の懸案を擧げて解決し得ることとなつたのは洵に慶ぶべき事であると思ふ、東亞共榮圏の經濟も

其の後概ね順調に進行して居り南方開發金庫も今回發券業務を興へられ、現地使用の軍事費並に經濟開發資金の供給に遺憾なきを期することとなつた

此の種の事犯ありと思料したる場合に於ては必ず檢事の指揮を受けるが如きことなきやう格段の配慮を煩し度い

此の點に付いては本部として深く其の責任を感じ色々工夫を致して居る、本會に於ては、昨秋大東亞戰爭一周年を契機として、戰場精神の昂揚、生産力の増強、戰爭生活實踐の徹底の三大目標を掲げて、次々種々の國民運動を展開してきたので、一應其の滲透實踐狀況等に付き先般全國を八地區に分ち其の實情を視察させた處、何れも相當の成果を擧げつつあり此の際に於ける各位の御努力に對し衷心感謝の意を表する更にと今、時局の現段階が思ひ切つた國民生活の建換へを要請して居るに鑑み「戰爭生活實踐運動」を大々的に展開することとなつたが、此の運動の狙ひは、耐忍重なりて勇氣彌増す武士的氣風を生活に具現し、積極的な簡素剛健明朗の決戦生活を實踐せんとするに在るのである、之等の運動を實踐徹底することには國民組織も更に一段の強化を見、臣道實踐の體制も更に高度化し、國民錬成も亦同時に實行されることであつて、運動の實踐と組織の強化と國民の錬成とは、彼は互に因となり果となり進展するの自然なる過程である

金融界の情勢は各般の指標に鑑みるに満足すべき状態に在ると云ふことが出来る、企業整備等經濟上の必要に應ずべき金融上の措置は政府として抜かりなく執つてゐる、今日金融界に於て最も大きな問題は日本證券取引所設置の問題である、將來日本人の資産の構成を考へると有價證券は益々重要な位置を占めて來るのである、從つて有價證券株式の實質機構の整備は極めて肝要であるが茲に年來の懸案を擧げて解決し得ることとなつたのは洵に慶ぶべき事であると思ふ、東亞共榮圏の經濟も

其の後概ね順調に進行して居り南方開發金庫も今回發券業務を興へられ、現地使用の軍事費並に經濟開發資金の供給に遺憾なきを期することとなつた

法相訓示要旨 開戦以來既に一年有餘を經過して居るが、治安が十分に確保されて居ることは洵に同慶に堪へない、併し乍ら若しも國民が事無

文相訓示要旨 政府は内外諸情勢の推移と教育に對して國家が不斷に要望するところとを深く省察し、國防

考へる如きことは今日より斷然改められなければならない、それに就いて最も大切なことは國民學校教育、中等學校教育に於て充分に國體の本

政經濟政策の基本は申すまでもなく、今次の征戰に完勝し、大東亞の本格的建設の爲軍力及資金等、各該の經濟力を此の際重點に集中動員し、戰時國民生活を確保しつゝ、國家總力の最も有効適切な活用を圖るに在る

戰時下の國民の總力を結束する爲には戰争目的の完遂に甚だしく支障を來すが如き言論は、之は禁遏すべきは言を俟たざる所である、從つて其の言論にして必勝の士氣を沮喪せしめ、或は國內に殊更に相克摩擦を生ぜしむるが如きものは之を看過すべからざるものと存する、戰論に關する事其の重要性に鑑み、戰時下特に其の取締に意を用ひられむことを望む、戰時刑事特別法中改正法律は戰時下治安確保の萬全を期する爲國政

第二に必要なる刷新改善を加へた、即ち從來歐米文化輸入に急なりし後を受けて教育が動もすれば煩瑣に流れ或は散漫に失し、或は抽象的觀念の授受に終始する餘のある所を根本的に刷新して飽くまで自主的に且出來るだけ簡素にして具體的充實を期し、第三には修業年限の改定で、即ち如上の教育内容の刷新充實と不離一體の關係に於て中等學校及高等學校の修業年限を短縮し師範學校に就いては之を延長した、明治以來の國民教育に對する關心が主として子弟の立身出世にあつたことは、時勢の然らしめた所であつたけれども、今や時勢の進運と現下の時局の重大なる意義に鑑み、我國教育の根本目的が皇國民の錬成にある以上所謂立身出世主義の下に教育を其の手段と

安藤翼賛會副總裁挨拶要旨 政府は昨年五月十五日の閣議決定に依つて、本會の機能を擴充強化し、主たる國民運動團體を本會の傘下に收めしむると共に國民運動に關し部落會町内會等を本會の指導する組織と爲す、また選舉刷新、貯蓄獎勵、物資活用、健民等各種運動の實施及び國民錬成機關の政府よりの委讓等國民運動は擧げて本會をして之が統制するに當らしめ其の集大成を期せしむることとなつた

行政と國民運動とが表裏の關係にあることは今更申上ぐる迄もない之を行政の側より見れば、官の施策の具現徹底には、當然國民の自發的積極的協力が要請され國民運動の側より見れば、官の理解と熱意とは國民運動の進展に大なる成果を表はすのである、若し萬が一にも第一線にある官吏各位にして、翼賛會或は翼賛運動に對し理解と熱意とを缺くが如きことがありとするならば、行政の

る支障を及ぼすものと申さねばならぬ

甚だ率直なる申分ではあるが、地方によつては未だ各位の御意向が充分到達して居らず、大政翼賛運動の育成と理解化に對する方針に付き動もする

の創意と工夫とを生かし、國民の盛り上る力を有効に育成指導せられ、苟も國民運動を無氣力不活潑ならしむることなきやう、高き視野に立ちて充分なる御注意を拂はれんことを切望して熄まない

翼賛會と翼賛壯年團とは組織上別個の存在ではあるが實質上は不可分の關係に在る、翼賛會は大政翼賛運動の全般的推進機關であり、翼賛壯年團は大政翼賛運動の實踐に率先挺身する同志結合體である、然し其の機構の實質に付いては、中央本部に於ては副總裁たる私が團長であり、副團長の一人には本會の實踐局長が當り、地方支部に於ても、事務局の局長と縣團の幹部とは成るべく双方を兼務せしむる等人事の緊密關係を保持し來つて居る

第三 日 經濟・厚生關係 會議

【十四日】 第三日は午前八時内務省に開會、先づ商工省關係の會議に入り、岸相より訓示あつた後、神田總務局長、豊田令業局長及び山口石炭部長より夫々指示事項の説明があり、次いで企業整備、石炭増産問題を中心に質疑應答が重ねられた、ついで逓信省關係會議を開き寺島遞相の訓示のち松木海務院長

官より木造船建造及び船員の確保につき説明があり、十一時半鐵道省關係會議に移り八田鐵相より陸運非非常體制に關する訓示があつて午前の日程を終了した、午後一時より厚生省、同三時より農林省各關係會議を開き五時半散會

農相説示要旨

△基本政策 第一に本年度より皇國農村の確立促進に關する豫算を計上して、之が實現に着手することとしたが、其の具體的方策としては、自作農創設維持事業の擴充、修練農場組織の整備擴充、標準農付設定などがあげられる

農相説示要旨

第二には戦時下農村整備の一環である農業團體の統合は過般の議會に於て農業團體法の通過成立を見、漸く多年の懸案を解決するを得た

第三に農業保險制度擴充であるが、農業保險法改正の要點は、第一に段當保險金額の引上げで水稻に付て言へば二十圓より四十三圓に引上げた次に保險金支拂割合を被害制度に比率的ならしむる様に改訂して災害發生の程度多き三割乃至五割程度の減收に對する支拂割合を増加した、尙此等の施設と對應して、全國的共済の實を擧げる爲に總ての市町村農會に對し共済事業を行はしむることを得る様に改正した、尙水稻の冷害に付ても、段當共済金を引上、支拂割合を改訂し、共済掛金の一部を一般會計及食糧管理特別會計に於て負擔することにした

△應急政策 第一、本米數年度の主要食糧の需給事情に付ては昭和十七年産米四千百萬石の供出狀況を申述べると、地方に依つては極めて困難なる事情に在る所も尠くない様認めらるるに拘らず各位の熱心なる御盡力と農村農家の涙ぐまじき協力とに依り幾多の障礙を克服致し四月九日迄に三千六百五十三萬石即ち豫定總數量に對し八九〇%の買入を行ふことを得た、第二、昨年以來農業生産と共ニ農業生産上の基幹たるべき農業者に付ては其の離農を統制して居るが、特に國民徵用令の運用に當り農業生産統制令に依り離農の統制の對象となる農業者は原則として之を徵用せぬことに關係省と打合諒解を遂げ既に其の旨通牒致して居る、第三、本年度に於ける木材の需要は直接軍需、各種軍需關係施設、計畫造船用材、採炭用の坑木用材等最も重要な方面に於て相當に増大することとは必至であり、之に對處して生産を確保する爲には國有林の増伐を斷行することは勿論、一般森林所有者の十分な理解と協力とを求め積極的に立木の供出を促進することが最も効果が大きい、木炭は昭和十七年度は概ね生産目標の八〇%を確保することを得た、尙本年度より薪に付ても其の配給統制を一段と強化することとして、其の一部は政府の特別會計に於て操作することとした、第四、當省所管物資の價格の設定に當つては、低物價政策を堅持しつつ此等の點にも留意して來たが最近決定を見た二三の問題に付て申述べれば、藪の價格は其の軍需及國民衣料資源として其の生産數量を確保することの緊要なるに鑑み、本年春藪より相當大幅に亘る價格の改訂を行った

商相説示要旨 戦局の進展に即應して生産の増強に必要な資材、勞

力、輸送力等はこれを最も緊要なる部門に重點的に配分して以て重點的生產増強を圖らねばならぬのであつてこの重點生産が現下經濟戦力の増強に關する根本方針であるといつても過言ではない、斯る見地に基き商工省としては鐵鋼、石炭及び輕金屬の三物資を所謂超重點産業とし、此等三物資の生産に必要な各種資材及原材料輸送荷役勞力電力價格補償の實施、増産強運運動の展開等各般の措置を講じ關係各方面の御協力により十七年下期における生産實績は三物資共當初の生産目標を凌駕するの好成績を收め得た、今年度は更に一段と重點生産を強化し所謂五重點産業之れと緊密なる關係に在る重要産業の生産確保に付、萬難を排して邁進せねばならぬ、今年度に於ては層鐵に依つて鑛石の供給力を補ひ更に積極的に鐵鋼の増産を圖ることが特に重要となり、銅、鉛等の重要金屬に付ても其の供給力を一段と強固にしなければならぬ、斯くの如き事態に對處する爲め、政府は重要金屬資源増産の有力なる一翼として金屬類の回收を強化することとし、先般金屬類回收に關する官廳機構を整備すると共に、第一次非常回收に關する大綱を決定した、金屬類回收強化的の方向としては今後は産業に於ける遊休未働設備並に不要不急設備の回收に重點を移行する方針であつて本年度は原則として一般家庭よりの回收は行はない方針である、戰爭經濟の要訣は國家經濟力を戦力増強の一環に集約することに在り、之が爲に資材、勞力、輸送力等の生産諸要素を重要部門へ重點的に配當し、比較的次要ならざる部門への配當を合理的に壓縮すると共にこれら部門に現存する設備、勞力等を重要部門へ轉換活用するの方途を講じ、重要部門に於ける高効率企畫を中心として生産能率の最高度發揮を確保する生産體制を確立したければならぬ、而してこれが實施のためには一般産業は勿論重工業部内についても企畫の整備刷新を行ふ必要があるもので斯る見地に於て政府は先般金山及び炭鐵の整備に關する方針を決定し今やその實行の段階に入りつつあるが、右以外の産業の整備に關しても諸般の情勢を綜合考慮し、政府としては萬遺憾なき施策を講ずる所存である

償するとか或はブル計算を行つて行くとか云ふ方法に依り、之を調整する方針を採つて参る所存である

鑑み政府は本年一月生産増強勤勞緊急対策要綱を決定し生産増強の爲諸般の勤勞施策を急速強力に實施する

那須兵務局長より「非違、非行の戦時的處理の徹底に就て」と題して別項の如く決戦に對處する陸軍の決意

力進進するやうこの上とも指導して頂きたい」旨挨拶を述べ、これに對し地方長官を代表して三邊大阪府知

事より答辭を述べ斯く四日間を亘る地方長官會議は全日程を悉く終了した

移により之が想定は相當の困難が伴ふのであるが、試みに國有鐵道に付て考察して見ると、海運よりの轉移

新強化を圖ると共に更に超重點産業に對する勤勞要員の優先的配置充足

半より政府と地方長官との懇談に入つて陸軍關係の懇談を終つた、同九時

が眞に皇國の隆替を決する大戦なることは論を俟たない、ここに於て苟くも戦争遂行上有害なる事象に對し

【二十一日】 經濟部長會議第一日は廿一日午前八時半より農相官邸に開

相連を生じてをとり、當初は差當り石炭輸送確保を主眼とし、逐次鐵錫其

徹底を期して居る

井關東州長官より意見の開陳あり、これに對し、東條首相、岸商相、寺

内地と雖も戦場化し或は對敵行動をなすべき部分を生ずることある趨

【二十一日】 經濟部長會議第一日は廿一日午前八時半より農相官邸に開

の轉移と、從來多く海外に依存せる物資の國內資源への轉換等により

併施し特に人口の飛躍的増強を圖り

島選相、小泉厚相、鈴木企畫院總裁よりそれぞれ説明があつて正午一旦

觀念を根本的に轉換して戦争中途即果を第一義として一瞬の躊躇なき迅

重要農産物の増産に關し一層の努力を要望した、説示要旨左の如し

猶此の外に一般貨物の輸送要求の増加も近時著しいものがあり、本年度

對して七割近い増加を豫想される

野岐阜の各府縣知事より意見の開陳があり、これに對し東條首相、岸商

或はこれを弱めんとするが如き策謀特に内部崩壊を期待しまた軍民を

問題にして更に配意を得たは應急政策の第一は本年米穀年度下期に於ける

ものであり、軍用貨物、海運より轉移すべき重要物資、主要食料品等優

先輸送を要するものを除いて見ると

なりつつある秋、重要産業の生産は漸次好調となりつつある、これは眞

延いては反軍思想の禍根となつて敵を利するに至る恐れがある又時局に

たが右は割當總數量に對しては未だ九〇%に當るのであつて尙努力を要

揚に依つ所極めて大なるものあるに

全開僚出席、鈴木企畫院總裁より説示の後、陸軍省關係事項につき懇談

示の後、陸軍省關係事項につき懇談

朗なる決意に終始し、戦争中途に協

の傾向にある、これは軍を潰すもの

第四日

會議終了

【十五日】 最終日の地方長官會議は午前八時より首相官邸に開會、坂北海道長官はじめ各

地方長官參集、政府側東條首相以下

全開僚出席、鈴木企畫院總裁より説

示の後、陸軍省關係事項につき懇談

朗なる決意に終始し、戦争中途に協

の傾向にある、これは軍を潰すもの

八年度においては國內における食糧の自給力を一段と昂める必要がある。仍て既に米穀七千五百九十九萬石大麥九百二十六萬石稗麥八百三十三萬石小麥千三百六十萬石、大豆三百三十一萬石、玉蜀黍九十五萬石、甘藷十七億六千三百萬貫及馬鈴薯七億八千八百萬貫の生産計畫を擧て夫々各道府縣に割當すると共に之に必要なる諸施策を講じつつある、尙富面食糧の焦眉の急を緩和すべき甘藷、馬鈴薯の増産に付ては品種の選擇及栽培法改善特に甘藷にありては育苗の改善に依る増收の餘地甚だ多きに鑑み舊套に捉はれず眞に農村農家を動かすに足る迫力ある指導を加へらるる様特段の留意を願ふ次第である。木材は戦力増強の要請に基き急激なる需要の増大を見つつあるが、之が供給を確保する爲過般來全國的に木材増産運動を展開し概ね豫定の進捗を見つつあるが、特に本年度よりは木材を全面的に物動計畫に編入することとし各道府縣に對する之が生産並に配給割當に付ても用途別に詳細なるものとする所存である。

木炭は昭和十七年度の生産は目標の八〇%に達し供出は消費都市方面に於ても不十分ながら無事経過するを得た、本年度の需給に付ては先般各道府縣に割當をなしたが、生産割當の總量六億七千萬貫は昨年度の總量の總し八億四〇〇〇萬貫に過ぎず諸種の條件を考慮して計畫した最少必要量であるから此の割當量は是非共生生産を確保せねばならぬ、消費割當量に付ても昨年よりは四〇%減少して居るが之は戦時下國民生活の最低限を維持する上絶対に確保せねばならぬ數量であるから特に生産縣においては割當

量の維持に留意し政府への供出確保に遺憾なきを期せられたい。【二十二日】二十二日の經濟主務部長會議(第二日)は午前は第一日に引續き農林省關係事項の協議を續行午後一時より商工省關係事項の協議に入り岸商相より訓示を行つた後各長官並に局長よりそれぞれ所管事項を中心に質疑を盡して午後五時散會した。【二十三日】二十三日午後の全國經濟部長會議は午後二時二十分再開、逓信省關係の議事に入り寺島選相及び松木海務院長官よりそれぞれ木造船の計畫造船に關し説示並に指示があり同三時四十分より内務省關係會議に移つた、かくて劈頭安藤内相より戦時下重要物資及び主要食糧の生産及び輸送の増強確保に關し廳府縣の積極的活動を要望する別項の如き訓示を行ひ、ついで郡振興課長より生産増強その他事務局事務に關し指示説明がありさらに北村經濟保安課長より現下の經濟事情を説明して同五時過ぎ散會、廿一日より三日間にわたる全日程を終了した。

内相訓示要旨 開戦以來、幸に國民生活に大なる不安もなく、戦力も日に増強の一途を辿りつつあり、殊に昨年末以來官民一體の努力の效著しく生産の各部内に於て良好なる成績を擧げつつあることは力強き限りでの急速なる實施は今後國民生活に影響を及ぼす所一層大なるものがある。と存せられるが國民の戦時生活の安定を確保することは亦戰爭遂行上重大なる注意を要する、國民生活の必需物資たる主要食糧並に家庭燃料の供出及配給實施に當りては克く地方の實情と民心の機微とに際し、其の自發的協力心を喚起する等慎重なる考慮と周到なる用意とを以て臨み其の圓滑なる運営を圖るに十分の努力を致されんことを望む、今日地方長官の職權行使が國民生活に及ぼす影響は極めて大なるものがある就中地方行政は生産、消費何れの部面に於ても日々の國民生活に重大なる關係を有するのである、行政の處理に當つては常に國民の立場を察して誠意と温情とを旨とし、一面現下緊迫せる諸事情の認識徹底を圖る等に依り、國民をして進んで國策に協力せしむるやう格別の留意を致されたい。

交 外

重光大使空路歸朝

【一日】重光駐華大使は要務打合せのため二日午後零時四十五分福岡飛行場着中華臨時機で歸朝、直ちに空路東上した。

バーモ長官メッセ

【十四日】バーモ長官一行は去る三日前九時四十分大阪第二飛行場發空路歸國の途に於て日本を去るに臨んでバーモ長官は日本國民へ左の感謝のメッセを傳達した。

陳國府特派大使來訪

【七日】去る一月九日の中國參戰を契機として國民政府は日本と共生共死の立場を徹し、中國の總力を擧げて大東亞戰爭完遂、新中國建設に挺身し三月三十日には租界、公使館區域の各行政權を回收して中國百年の望望たる自主獨立の完整といふ逞しい前進體制の下に國府還都三周年記念日を迎へたが、同政府は參戰を繼に國府政治力強化を目的として積極的にとられた帝國の友好の支援措置に謝意を表明するとともに大東亞新秩序建設への中國の決意を重ねて盟邦日本に傳へるため今回特派大使を我が國に派遣することになり、立法院院長兼上海特別市長陳公博氏を國民政府訪日特派大使に任命、同大使は孫外交部駐滬辦事處處長、黃宣傳部參事、沈上海特別市長、林立法院秘書の隨員四名を帶同六日南京を出發途中福岡に立寄り七日午後三時二十五分東京驛着富士號にて入京した。

陳特派大使談話

【七日】入京した陳大使は、今回の來訪につき左の談話を發表した。

「この度國民政府が大東亞戰爭に參加し、私を特派して御國を訪問の上日本の朝野から御意見御指導を承り且つ御國に對して專管租界の返還並に治外法權撤廢を實行して下さつた御禮を申し上げたいと存じます、一昨年十二月八日大東亞戰爭勃發以來攻めるに陥らざるはなく、戦ふに勝た

劃期的な訪日はビルマの將來に對し絶大な影響を與へることを確信すること、そもビルマの悲劇はビルマ人民衆固有の精神が斷絶した瞬間に始まる、ビルマ人民衆は英の極格下にあつたことより大きな悲しみはない、私の宿望はビルマ人民衆固有の精神を把握することであり、これはまた千數百萬ビルマ人民衆の憧憬であつたこと、この信念が今回の訪日によつて決して誤でなかつたことを私は敬へられたのである、古代精神と現代精神とが全く融け合ひ、不思議な發展を見せてゐる國日本！東洋のどの國よりも近代化されてゐながら而もどの國よりも古い精神の國日本！日本の偉大さがここににあることを眼のあたり見た私の感銘は終生忘れることが出来ない、ビルマへ歸つた私は叫ぶ「東方の友を見よ、そしてビルマ人民衆固有の精神を確實に把握せよ！」と形ではなく精神こそ我々の行動の推進力である、日本で受けたこの大きな感銘は新生ビルマの建設途上に横はる様々の困難を排除するのに多大の助けとなるだらう、私は今回の訪日を通じて日本の指導者達に如何なる心構へと如何なる構想をもつて大東亞新秩序の建設へ邁進してゐるかを現實に見て深い感激にうたれた。

ざるはなし、凡そ東亜の民族たるも
の一として感激しないものはありま
せん、中國が英米帝國主義に壓迫せ
られ平等條約の下に束縛せられる
こと百年、今や東亜の各民族は同時
に解放されることになりました、東
亞たるもの正にありつた力の力を捧
げて以てお國の民族の解放を求めな
れ放並に東亜各民族の解放を求めな
ればならないのであります、これが
故にお國が大東亜戦争を開始せられ
と同時に汪主席には直ちに同甘共苦
の聲明を發表せられました、現在は
即ち参戦を實行して更に同生死を
誓はれたのであります、日本の中國
解放に協力せらるる熱誠と中國の獨
立を援助せられる決意は特に中國の
人民をして言語を以て形容すること
の出来ない位感謝の念を懐かしむる
のであつて更に人力と物力を捧げて
お國と共に前線又は後方において
協力せんと願ふ次第であります、私
がここに眞心を御國の朝野に表示し
たいのは中國が今回敢然として参戦
致したのは全く道義と良心が然らし
めたからであり、又御國の熱情と友
誼に激勵せしめられたからでありま
す、中國は決して参戦の空名を以て
これに満足するものではありません
ん、疲弊後でありといへども人力と
物力の一切を捧げて大東亜戦争のた
め全力を盡したいと深く願ふので
あります、さらに御國と一緒に手を
携へて邁進し、肩を並べて作戦する
ことが出来れば假令如何なる犠牲を
拂はうともこれを辭せないのであり
ます、どうぞ御國の朝野各位には中
國の艱難と困苦を察せられ一層御愛
助下さいますことを深く望んでいま
ないのであります

陳大使、天皇陛下に謁見仰付けらる

【八日】 中華民國特派大使陳公博氏
は八日正午宮中に参内、天皇陛下に
謁見仰付けられ、ついで御陪食の榮
を賜り恐懼して宮中を退下した
陳特派大使、記者團會見【十日】 陳
公博特派大使は十日午後二時宿舎帝
國ホテルに於て記者團と會見、参戦
國ホテルとする國民政府の決戰體制
の實狀並に参戦後に於ける中國國民
心の動向等の諸問題につき左の如く
記者團と一問一答を行つた

参戦を契機とする國民政府の
決戰體制確立の現狀如何

(問) 國民政府は大東亜戦争完遂に
日本と協力すべく昨年より着々決
戰體制の整備を急ぎ参戦前昨年九月
には軍事機構を改組して軍事委員會
を設置、臨戰體制に入つて軍事の面
から對日協力の施策を講じて来た、
汪主席の訪日について中國は去る一
月九日日本と米英牽滅の共同戦線に
立つに至り國府は新事態に對處して
戰時内閣たる國防最高會議を設置
し、諸般の政策を積極的に推進する
體制を確立、經濟部面に於ては去る
三月十六日物資移動制限緩和の措置
が講ぜられ、中國の物的資源の凡て
が大東亜戦争完遂へ集中すべき基礎
が完成された、要するに國府の決戰
體制確立はいまや軍事、政治、經濟
の各分野に於て實施され、大東亜戰
争を勝抜く中國の決意が遺憾なく國
府の施策に反映してゐる

戦争完遂に結果せられたる國
府基本政策の重點如何

(問) 國府は物心両面に亘り中國の
總力を擧げて大東亜戦争完遂に集中
してゐる、就中人の問題については
深甚な關心を拂ひ、國府軍の訓練、

國民の思想的訓練を積極的
に行ひこれによつて中國國民の東亜的
自覺と大東亜戦争完遂への決意の徹
底深透に努めてゐる、これら國民の
訓練は新中国建設の基本組織を確立
するものとして重大視すべきである

(問) 参戦後に於ける中國民心の動
向とこれが指導方策如何
(答) 参戦後に於ける中國民心の指
導については國府は新中国運動を一
段と積極的に展開、友邦日本と同生
共死の立場に立つて決戰下の中國總
動員體制確立を目指してゐるが、こ
の國民運動の根本方針としては次の
三つを掲げてゐる、すなはち第一は
個人主義から國家中心主義への前進
であり、第二は自由資本主義から
國家社會資本主義への轉換、第三は
狹義の國家主義から國家集團主義へ
の發展がこれである、而して國民運
動の展開に伴ひ中國國民は從來の區
々たる觀念から脱却し、中國の國民
であるとともに大東亜の一員である
との信念を固めつつある、参戦後の
民心の動向は大東亜戦争にその凡て
を捧げるといふ一點に集中されてお
るといつてよい、参戦前に於ては中
國の前途に希望を失ひかけてゐた中
國國民は、國府の参戦とともにいま
やその進むべき方向を判然示された
大東亜戦争は我々のものであり、若
しこの戦争に負けるならば、それは
中國の滅亡を意味するといふことが
中國國民の心に深く根ざして来た、
従つて中國國民は中國の一切の物的
人的資源を大東亜戦争に結集、以て
戦争を完遂すべき決意を固めており
且大東亜戦争参加を中國人の義務と
してのみでなくその誇りとしてゐる
現狀だ、中國民心の動向は樂觀すべ

中支に於ける物資移動制限
緩和、軍票發行廢止等の上海を中心
とする中國經濟に對する影響並に上
海の經濟復興民生安定の方策如何

(答) 由來上海は中支に於ける物資
の集散地であり、上海より奥地への
製品その他の供給奥地よりの原料品
の移入により上海經濟が活動してゐ
た、然るに事變の各方面に亘る影響
は上海の物資集散地としての機能を
停止せしめ、延いて中支經濟は沈滯
の狀態に陥つた、しかし去る三月十
六日の物資移動制限緩和の措置によ
り上海經濟は再び奥地との連りを同
復するに至り、各地と上海との物資
交流の活潑化が極めて期待されてお
り、これは併ひ上海に於ける各種の
工場はいまや原料手當を得且つ生産
品の販路を開かれたため着々復舊し
ており、民生安定、對日寄與を目標
とする生産増強も愈々その緒につき
つゝある傾向である、最近中央儲備
銀行から五億元の復興資金の貸與を
行ふ等工場復舊に凡ゆる方策を講じ
てゐる、かかる物資移動の圓滑化と
生産復興とにより從來民生安定に甚
だしい障害となつてゐた物價騰貴も
最近では下落に轉じ物價安定は除々
に達せられつつある、併して上海經
濟延いては中支に於ける今後の生産
増強については大東亜戦争完遂に重
點を置き、凡ゆる施策をこの點に集
中する

戦前における國際都市の性格
を脱却せる新上海の大東亜共榮圏に
於ける地位と其の新たる性格如何

(答) 共榮圏に於ける上海の性格は
舊來の國際性から脱却すべきは當然
で、新たに大東亜といふ國際性に立

脚せねばならぬ即ち國際性の意義
が變更されるわけである、大東亜共
榮圏における經濟的中心としての發
足が新上海の地位であり性格である
と思ふ、また新上海は經濟部面に於
ては對日關係をより緊密にすべきで
あつて、例へば上海を中繼する日華
貿易についても相互に最大輸出
關係を持たねばならないと思ふ

陳特派大使陳公博氏は去る七日來
訪日特派大使陳公博氏は去る七日來
訪以來東條首相、青木大東亜相をは
じめ政府要人と會見、日華提携強化
の諸問題につき隔意なき懇談を遂げ
來朝の使命を果したので十三日午前
十一時羽田發空路北京に向ひ十四日
北京に歸着した

在支敵國人に集團
生活

【二十日】 在支米、英敵國人の取扱
については帝國政府は相當寛大な處
置をとり、大東亜戦争開始後惡質
なる者を除く大多數の敵國人に對して
行動の自由を束縛せず夫々現在地に
於て従前通り生活せしめてゐるが、
戦局の進展に伴ひ防禦上の必要等の
理由から集團生活を爲さしめること
となり、大東亜省の手で昨年十一月
頃から諸準備を進めて來たがこの程

各地方の集團はほぼ完了するに至つた

各地方の集團はほぼ完了するに至つた

集團箇所は浦東、龍華、開北、滬西等上海七ヶ所、漣縣、芝罘、廣東、揚州に各一ヶ所去る二月半から北支蒙疆地區在居者は漣縣、芝罘、中支方面(廈門を含む)は上海、揚州

四・一八空襲問題の経緯發表

【二十二日】 昨年四月十八日のわが本土空襲に關する詳報發表を遂巡したる米國陸軍省は廿一日に至り俄かに右詳報を發表するに至つた、わが大本營陸軍報道部長はその前日たる廿日、四月十八日空襲に關する詳細な談話(一八〇頁参照)を發表、その全文は同日夜八時半から對米開放

送されてをり、米國陸軍省の發表は翌廿一日午前十一時半であるから米國陸軍當局はわが方の發表に慌てふためき遂に包みきれず沈黙を破つたものであることは、右の時間關係が明白に證據立てるものである、しかし彼の發表内容を見るときは空襲參加人員が八十名であつたこと、夜間爆撃計畫を放棄したことなど隨處に本營の報道が如何に正確無比なものであるかを彼自ら裏付けるといふ逆効果を生み、アメリカ國民の不滿をますます募らせる結果に終つてゐる、しかもその發表内容は矛盾と自家撞着に満ちわが方の電撃的發表に驚駭狼狽の極が産み出した作品にふさはしい内容を具備してゐることが明かである

諸大使歸途につく

【二十八日】 東亞醫學大會出席のため去る十二日來朝した國府外交部々長樺民誼氏は醫學大會も終り、また特派大使として天皇陛下に國府より御贈進の勳章捧呈の大任を果したる廿八日東京出發歸國の途についた

【二十三日】 堀情報局第三部長は米政府が昨年四月十八日我が本土を空襲せる暴虐な米兵に對し軍律に照し嚴重處分したるに對し我方に抗議の申入れたるに關し廿三日左の如き談話を發表、我方の措置が非人道的暴虐行爲を犯したる米兵に對して執つた極めて合法妥當の行爲である所以を明かにした

過般米國戰時情報局長ユルマー・デングキスが日本空襲一周年に當つて米國陸軍省は同空襲に關する詳細を發表すると言明した直後何陸軍省は慌てて右發表を見合せ單に所謂シヤングリアの正體を發表するに止まつたので詳報を待望して居た米國民衆は何等の得る所なく失望を喫した、然るに帝國陸軍報道部長谷萩華雄少將が右空襲に關し詳細事實を暴露するや米國陸軍當局は遂に心境の變化を來し周章狼狽の裡に半日後して其の秘藏の秘密なるものを發表したのであるが此の發表たるや一言一句我方發表の正確さを裏書するに至つたのみである、例へば空襲參加の人員、前記人員銜衡の方法、使用機の數及型、訓練の狀況、シヤングリアの正體及位置、航空母艦上の訓練、夜間爆撃より晝間爆撃への計畫變更の必要及一機を除き全機の破壊等々々々此等の事實は我方發表と全く符節を合せてゐるは、右發表に當つて米國當局は出し後れた辯解とて曰く「此の秘密を保持してゐる限り日本側は種々の可能性に對する防衛措置を講ぜざるを得なかつた、即ち飛行機が支那から飛んで來たのか又は航空母艦から果ては太平洋上への飛石の島嶼から飛んで來たのかの確實在判定し得ず又何時同様空襲されるかが分らなかつたので日本側は競々たる數ヶ月を過し其の兵力の一部を釘付けにせざるを得なかつた」

爲に當惑したルーヴエルト大統領始め華府の指導者等は國民の注意を他に轉ずる爲に直接には發表問題に關係のない事柄を捉へて宣傳を開始した、即ち空襲の事情發表と同時に今年四月十二日附を以て日本政府に送つたと云ふ通牒なるものを公表したのである、此の通牒は漸く公廿三日、昭和三十八年二月十七日帝國政府は利益代表國を通じて左の趣旨の通牒を米國政府に送達した、①敵航空機搭乗員にして取調の結果暴虐非道の行爲を爲した者は人道の敵として所定手續の上嚴重處分すべきも右は其の參加せる軍事行動を理由とするものでは無い、②四月十八日帝國空襲し捕へられたる米國兵員は取調の結果惡意を以て病院學校等を爆撃し剩へ校庭に遊戯中の學童を夫れと知りつつ故意に機銃掃射を行ひ殺傷し之を當然の行爲なりとして反省する處なきを以て帝國政府として斯る犯行者を俘虜として取扱ふを得ず其の一部は之を死刑に處したるものである、③右は飽く迄も暴虐非道の非人道的行爲を理由とするものであり空襲の理由のみを以て捕虜の取扱を拒否するものではない、(右は現に香港を空襲し捕へられたる米國兵の如きは立派に俘虜として待遇を受けて居るので明かである)

之を要するに日本は其傳統の武士道並理想に基き敵國人に對しては現に與へつたが如く又將來も出來得る限り人道的且寛大なる取扱を與ふ用意を有するものであるが右は言ふ迄も無く該敵國人が人道的に行動し非人道的暴虐行爲を犯かざることを前提條件とするものである此點に關し特に指摘したきことは敵國兵

員が單に制服を着用し軍務に服し居たりと云ふ理由の下にて一切の非人道的行為に對する責任を免れ得ることを爲すが如き不合理極まる主張には我方として斷じて同意し難きことである二月十七日附帝國政府の對米回答要旨は左の通りである

△昭和十八年二月十七日附帝國政府の利益代表國政府を通じての對米通牒内容

一、帝國政府は帝國領土、滿洲國又は帝國軍の作戦地を空襲したる後帝國の権内に入りたる敵航空機搭乗員にして取調の結果暴虐非道の行為を爲したる者を人道の敵として軍律會議に附し嚴重處分せんとするものにして米國政府の有する情報の如く

「其の参加せる軍事行動を理由として」重罰せんとするものに非ず、帝國政府の右の措置は人道を尊重し戦争の慘禍を最少禍に止めんとする崇高なる道義觀に立脚せるものなり

二、月十八日帝國を空襲したる後帝國権内に入りたる米國航空機搭乗員は惡意を以て軍事施設に遠隔せる病院、學校、民衆等の非軍事施設を爆撃焼夷せるが特に惡質なるは校庭に於て遊戯中の頑是無き學童を確認して故らに之に機關銃掃射を加へ殺傷せる事實なり右搭乗員は前記の事實を陳述すると共に之を當然の行為なりと主張して反省する所無し斯くの如き者は人道の敵にして許し難き罪人たるは米國政府の了解する所なり

べし帝國政府として右の如き罪人を俘虜として取扱ふことを得ず三、右搭乗員は軍律會議に於ける取調の結果罪狀明白となりたるを以て軍律に照し死刑の判決を受けたり尤も其の大部分に對しては特に處罰を

行ひ一部の者のみ死罰を執行せられたり

米國狼狽

「東京空襲」詳報發表後告
「プエノスアイレス」十四日發
「東京空襲」の詳報を發表し、出づるに二番茶で國民の士氣昂揚に努める方針と傳へられる、ワシントン來電によれば戰時情報局總裁デヴィスは十四日新聞記者團との會見に於て右方針を闡明し

「本週末日本爆撃の詳報を發表する豫定だが同時に航空部隊が何所から出發したか從來秘密にしてゐた地點も明かにされよう」と述べたといはれる

東京空襲發表延期「プエノスアイレス」十七日發
ワシントン來電「戰時情報局長官エルマー・デーヴィスは十四日東京爆撃一週年に際し右爆撃の詳報を發表すると言明、米國民一般に多大の期待を與へたが、十六日夜に至り情報局は

「陸軍省が爆撃の詳細發表に未だ同意を與へてゐないので何時詳報の發表が出来るか不明である」と發表した

「東京空襲詳報」は宣傳倒れ「プエノスアイレス」十九日發
ワシントン來電によれば戰時情報局長デーヴィスが言明した東京爆撃の詳報發表は其の後陸軍省から軍機に關する情報

を矢鱈に公表しては今後の作戦に差支えたと横槍が出たため結局十八日

夜晩くなつて「東京を爆撃した飛行機は航空母艦から飛翔した」といふ簡單な發表を行ふに止めたいといふ言明は徒らに宣傳倒れに終つた模様である、なほアルジェリヤ來電によれば東京空襲を指揮したといはれる米軍少將ジェームス・ドーリトルは十八日アルジェリヤで開催された會合の席上米軍が東京爆撃に使用したの

中型爆撃機であつた旨を洩らしたと傳へられる

「當局は軍の機密保持の見地から東京爆撃の詳報發表を差控へたといふが恐らく日本政府は右爆撃について米國民が知ること許されてゐる以上に詳細を承知してゐるに違ひない

米國民は少なくとも日本人が知つてゐると同程度のことを教へて貰ふ権利があると思ふ」

米陸軍省詳報發表「プエノスアイレス」廿一日發
ワシントン來電「日本本土爆撃に關する米國陸軍省發表内容次の通り

「日本本土を空襲した米國陸軍航空部隊の出發點についてはそれがシャングリラ(小説「失はれたる地平線」にある假想國)であるとのみ發表されてゐたがこれら飛行機は事實航空母艦ボーネットから飛び立つたものである、空襲に参加した飛行機はソ

聯領土に到着した一機を除き全部が破壊して、航空母艦ボーネットは陸軍空軍操縦士を東京を去る八百哩の海上に運んだ、空襲には八十名が参

加し内六十四名は日本軍占領地帯外の地域に到着、空襲に参加した飛行機はノース・アメリカン双發爆撃機で、その爆撃目標は東京、横濱、名古屋、神戸、大阪の軍需工場、造船所、鐵道驛構内並に精油所であつた、

日本本土空襲後は参加飛行機は支那に於て特殊の着陸場を探すことになつてゐたが、當時の一般狀況に鑑み

所定の飛行場に到着することは出来なかつた、かくて参加機中の若干は支那の日本軍占領地或は支那沿岸の海上に着陸しソ聯領土に着陸した一機を除く以外全機破壊した、本空襲は日本軍の真珠灣攻撃一ヶ月後に計畫され、ドウィットルと、選り抜きの志願將士が行動を共にすることに

なつた、本計畫遂行のために三月間の準備が行はれたが参加將士はフロリダ州のユグラー飛行場で最後の訓練を終つた、航空母艦から中型爆撃機が離艦するのははじめてのことであり、特別の経験が必要であつた、

飛行場には白線が引かれ、最短距離において飛行士が集團的に離艦出来るやうな訓練が與へられた、参加將士は地圖と影繪によつて航路並に目標物を充分に研究し、而して爆撃照準器はG・Rグリーン少佐の考案による二十仙で出来る新しい照準器に代へられたが、これは飛行機が日本本土で不時着した場合爆撃照準器の秘密を保つたに取去られたので

ある、参加機はそれぞれ特定の目標物の爆撃任務を與へられたが低空から日本本土に侵入し発見し對空砲火を避ける一方、爆撃の正確を期した譯であるが米國本土における訓練中

は沿岸地域において再三低空飛行を實施日本空襲の訓練を行つた、飛行士と飛行機は秘密の地點にて航空母艦ボーネットに移されたのであるが、その地點が米國本土であるか、それ

も他の場所であるかは言明出来な

い、この機動部隊は太平洋戦争において勇猛を顯はれたハルゼーの麾下に屬してゐた、ボーネットの艦上で

は参加飛行士の訓練が續けられ日本事情、航空術、砲術並に氣象に關する講義が與へられ、射撃手は航空母艦の上にとりつけられた風を射撃目標として射撃の正確を期したのである、飛行機は東京を距る四百哩の海上に到達した時を選んで薄暮前に離艦し夜間に空襲を行つた後は支那の飛行場に到着すると云ふのが最初の計畫であつた、しかるに東京を距る八百哩の海上に到達した折に思はざる事象が発生したため飛行機は四月十八日朝離艦したが豫定計畫の變更に基く危険については何等躊躇するところなく將士一同が本攻撃に参加した譯である、参加機にして若し支那沿岸地域に到着することに失敗した場合は海上に着水し、乗組一同はゴムボートに移乘し運を天に任せ

「プエノスアイレス」頻りに逆宣傳

ノスアイレス廿一日發】米國陸軍省は廿日の日本報道部長談の發表により遂に包み切れず廿一日米軍航空部隊の日本本土爆撃に關し報道部長談を裏付ける効果しか持たぬ詳報を發表右發表内容は翌日の米國各紙に大々的に掲載されたが爆撃當時乗組員から一人も捕虜を出さなかつたなど出鱈目を並べたこと今回の發表で完全に曝露され、一機を除き全機悉く墜落又は不時着したといふのだから米國民は眞珠灣慘敗確認以來の失望ぶりを示してゐる様子だ、ルーズヴェルトは國內の輿論が當局宣傳政策の出鱈目攻撃に鉦を轉ずるのを阻止する意圖からか、テキサス大統領との會見からの歸途、テキサス州のゴルフスクリスチーに於いて聲明を發表し米人俘虜處斷に關する帝國政府の措置を非難、米國人の敵愾心を煽る作戦に出た、當該俘虜は軍律による正當な手續に基いて處斷されたにも拘らずルーズヴェルトは頭りに泣言を並べ、米軍航空部隊の非人道的行動を棚に上げ一四四年三月十二日中立國を通じて右事件に關する帝國政府の正式通告を接受すると共に帝國政府に對し四月十二日抗議を提出した旨發表した、同時にルーズヴェルトはハルに命じ右抗議全文を發表させたが、要するに空疎な辭句を並べて亂れんとする米國民の足並を整へようとの窮餘の策にすぎない

露はすのを惧れたが、ホワイトハウスの對し發表反對の旨横槍を入れたしかるに日本陸軍報道部長の發表で最早國論の要求を抑へきれず二十一日に至つて東京爆撃の全貌を發表したが、右發表が陸軍省從來の發表と全く喰ひ違つてゐるため言論界も呆然自失特にニューヨークタイムス紙の如きは次の通り當局の發表政策を非難してゐる

「米國民も米國新聞界も米國軍を傷つけるやうなニュースを希望してはゐない、然るに不幸陸軍省は我々と同じ政策ではないやうだ、東京爆撃に關する發表は誤解を招くところ多く全く不思議千萬な發表政策といはねばならぬ、一九四二年五月ルーズヴェルトがドワリツトルに勳章を授與した際には軍司令部は「米軍航空機の内撃墜されたり乃至ひどく破損したために目的地に到着出来なかつたのは一臺もなかつた」と述べてゐる、米國民に關する限り目的地といふ表現は要するに米軍航空機が安全だつたといふことを意味するので常識だ、しかるに四月二十一日の發表では米軍航空機の内一臺も安全且成功裏に着陸したのはなく、破損しなかつたのはシベリヤ地方で抑留され一機だけだといふのであるから以上を常識解釋が間違つてゐたことが判明した、恐らく、米軍司令部も過去一ヶ年間に米國民が或る種の樂觀的ニュースを希望してゐないことを知りこの種樂觀主義は止めねばならぬことを悟つたのであらう」

に全貌乃至大半を知らせるのが遅れたのは軍が慎重に過ぎたといふ程度で納得も出来よう、尤も、米國陸軍省が米國民の重大關心を抱くニュースを出すのに逡巡することに對し相當國民の間に不滿が起るのを避けがたからうがもつと大事なことは米國民が今度の事件で購されたといふことだ、昨年五月にドワリツトルは全機全乗組員が安全に目的地に到達したと言明し、日本軍が米軍航空機の内一臺を見世物にしてゐるとの報道を嘲弄した、勿論日本軍が米軍航空機の内一臺を手に入れて見世物に出るわけはないといつても我航空機は一臺も破損しなかつたといふことにならぬ、しかし以上ドワリツトルの言明で東京爆撃に對し米軍航空機が一臺も失はれず乗組員には一人の戦死者も出さなかつた米國人が考へさせられたのは動かし難い事實だ、米國人は東京爆撃の事實を決して忘れないが同時に當局のために購された、知らざれなかつたといふ不故意に且ひざれ購されたといふことを決して忘れなかつたであらう、事實を歪曲して發表せずとも單に發表を差し控えるだけで機密は保持出来たはずだ」

【各紙政府を非難】【ブエノスアイレス廿三日發】戰時情報局總裁エルマーデヴィスは爆撃の一周年記念日にあたり真相を發表すると言明したところ、陸軍省が一九四二年五月全部出鱈目な公報を出してゐるため馬脚を

ことを自ら承認したる譯だ、非戦だとして、日本人非戦闘員を威嚇出来ると考へたのであるが、今度の事件で米國人は犯署には應報が伴ふことを初めて悟るに至つた、米國政府は俘虜の取扱ひに關するデューノーブ條約を引合に出して日本政府を非難してゐるが、抑々同條約の目的は戰爭を出来るだけ人道化するにあり、殘酷な戰爭行為を犯した場合これ等の人々が處罰されるのを保護するためではない、米國人が米國內の例にならつて今度の戰爭でも「ギヤングの律法」を適用出来ると考へてゐたら大間違ひだ、シカゴの律法は國際戰爭の標準としては餘りに低級である、そんな考へて戰爭をやつてゐる連中は適當な仕返しを受けず驚かぬやう覺悟が肝要である」

【死刑は當然】【ベルリン廿三日發】米國政府は大本營報道部に東京空襲の大失敗を暴露された腹癒せに米國空軍の鬼畜にも劣る善行を棚にあげて日本側の米人飛行士處刑を野蠻な行為だと盛んに宣傳してゐるが、米英の國際法を無視した非人道的爆撃を身を以つて體驗してゐるドイツ國民は擧つて日本政府の措置を支持し、廿三日朝刊各紙はかうした國民の空氣を敏に反映していづれもトツプ全段階まで同問題を採りあげ、米英空軍がこれまでドイツ本國及び占領地域の婦女子に加へた不法な盲爆の實例を一々列擧して、筆を揃へて米英軍の非人道的空襲を痛烈に攻撃かかる行為には死刑の宣告をもつて報ゆるは當然至極であると應酬してゐる

【ギヤングの論理は通用せず】【ベルリン廿六日發】米人飛行士の處刑に對し米國の言論界は戰時情報局の音頭を取りで一齊に日本軍に對する誹謗を開始したがドイツ外務省の機關「イテネ・デイブ」がドイツ外務省の機關「イテネ・デイブ」紙は米國言論機關の論理を一笑に附し次の通り論じてゐる

「米人飛行士の處刑が米國內に非常な反響を捲き出した事實に徴しても日本政府のやり口が絶対に正しいことが明瞭だ、ユダヤ人を首班とする米國民は自分達の身邊が絶対に安全

【廿七日】大東亞省では去る三月三十一日在外公館擴充に關する勅令を公布し、支公館その他の機構擴充を行つたが、右のうち開設が遅れて

【死刑は當然】【ベルリン廿三日發】米國政府は大本營報道部に東京空襲の大失敗を暴露された腹癒せに米國空軍の鬼畜にも劣る善行を棚にあげて日本側の米人飛行士處刑を野蠻な行為だと盛んに宣傳してゐるが、米英の國際法を無視した非人道的爆撃を身を以つて體驗してゐるドイツ國民は擧つて日本政府の措置を支持し、廿三日朝刊各紙はかうした國民の空氣を敏に反映していづれもトツプ全段階まで同問題を採りあげ、米英空軍がこれまでドイツ本國及び占領地域の婦女子に加へた不法な盲爆の實例を一々列擧して、筆を揃へて米英軍の非人道的空襲を痛烈に攻撃かかる行為には死刑の宣告をもつて報ゆるは當然至極であると應酬してゐる

【ギヤングの論理は通用せず】【ベルリン廿六日發】米人飛行士の處刑に對し米國の言論界は戰時情報局の音頭を取りで一齊に日本軍に對する誹謗を開始したがドイツ外務省の機關「イテネ・デイブ」がドイツ外務省の機關「イテネ・デイブ」紙は米國言論機關の論理を一笑に附し次の通り論じてゐる

「米人飛行士の處刑が米國內に非常な反響を捲き出した事實に徴しても日本政府のやり口が絶対に正しいことが明瞭だ、ユダヤ人を首班とする米國民は自分達の身邊が絶対に安全

【死刑は當然】【ベルリン廿三日發】米國政府は大本營報道部に東京空襲の大失敗を暴露された腹癒せに米國空軍の鬼畜にも劣る善行を棚にあげて日本側の米人飛行士處刑を野蠻な行為だと盛んに宣傳してゐるが、米英の國際法を無視した非人道的爆撃を身を以つて體驗してゐるドイツ國民は擧つて日本政府の措置を支持し、廿三日朝刊各紙はかうした國民の空氣を敏に反映していづれもトツプ全段階まで同問題を採りあげ、米英空軍がこれまでドイツ本國及び占領地域の婦女子に加へた不法な盲爆の實例を一々列擧して、筆を揃へて米英軍の非人道的空襲を痛烈に攻撃かかる行為には死刑の宣告をもつて報ゆるは當然至極であると應酬してゐる

【死刑は當然】【ベルリン廿三日發】米國政府は大本營報道部に東京空襲の大失敗を暴露された腹癒せに米國空軍の鬼畜にも劣る善行を棚にあげて日本側の米人飛行士處刑を野蠻な行為だと盛んに宣傳してゐるが、米英の國際法を無視した非人道的爆撃を身を以つて體驗してゐるドイツ國民は擧つて日本政府の措置を支持し、廿三日朝刊各紙はかうした國民の空氣を敏に反映していづれもトツプ全段階まで同問題を採りあげ、米英空軍がこれまでドイツ本國及び占領地域の婦女子に加へた不法な盲爆の實例を一々列擧して、筆を揃へて米英軍の非人道的空襲を痛烈に攻撃かかる行為には死刑の宣告をもつて報ゆるは當然至極であると應酬してゐる

蚌埠領事館開設

級の準備が整つたので二十八日より開館することとなり、初代領事には南京在勤の領事申根直介氏が同日附で發令された

軍 陸軍瓦斯防護 教範制定

【十七日】陸軍教育總監部に於ては時局に鑑み國民防空の規範となるべき陸軍瓦斯防護教範草案(昭和十二年二月起草)の普通化とその内容充實化のためこれが改正に着手し、このほど瓦斯防護教範を完成するに至つたので十七日付官報をもつてこれを公布すると共に國民防空、瓦斯防護に對する知識の啓蒙並にこれが指針たらしめることとなつた、即ち瓦斯防護教範草案改正の要點は

一、從來瓦斯の概念は漠然として明確を缺いた點を具體的に説明し、瓦斯の種類特性並にこれが性状を明らかにしたこと、一、瓦斯防護の資材が不足の場合、一、瓦斯防護が出來ないといふ從來の既成概念を打破し現在地の事情に即應して凡ゆるものを利用して間に合せること、一、軍隊としては瓦斯に對し如何なる手段に依つて行動すればよいかを具體的に明示し、瓦斯使用果の普通性に鑑み各兵科は勿論前線後共通の防衛事項としてこれを説明したこと、一、瓦斯の實効力の規定を新しく挿入してこれに對し短時間に判斷する方法等を主要骨子とするものである

感 狀

岡本飛行部隊に輝く感狀

【七日】ニューギニア東部並びにラエ方面に前進基地を強化すべきわが輸送船團を直轄の重要任務を帯びた岡本陸軍航空部隊は本年一月五日から同十日まで連日に亘り執拗に反撃し來る敵機の襲來を、ある時は打撃激戦苦闘によつて極度の疲退し屢々搭乗將兵の視力が著しく減退し屢々戦闘不能の危機に曝され、ある時は全近戦闘のため敵の返り血を浴びる等言語に絶する壯烈なる空中戦を演じ、敵機の襲來五十一回、機數二百五十八機といふ敵の激烈なる反攻をよく撃退して、わが輸送船團直轄の重要任務を完遂したことはわが陸軍の敢闘攻撃精神を遺憾なく發揮したものとすべきに南太平洋方面最高指揮官より感狀を授與されたが、この程上聞に達した旨七日陸軍省より左の如く發表された

△感 狀

陸軍省發表(四月七日十六時) 本年初頭東部ニューギニア方面に對する作戰に協力し武功拔群なり岡本飛行部隊に對し義に南太平洋方面陸軍最高指揮官より感狀を授與されしが今般、畏くも 上聞に達せられたり

岡本飛行部隊

右は東部ニューギニア方面に對する作戰に協力し輸送船團護衛の任に膺るや旺盛なる攻撃精神と不屈不撓の同志とを以て勇健く船團航行の掩護及泊地制空を確立して至難なる上陸作戰成功の根基を確立せし殊に一月七、八日の兩日極めて優勢なる敵機の攻撃に會するや寡兵克く之を排撃し船團直轄の至難なる任務を達成せり加ふるに此間多數の敵機を撃墜し敵空軍の心膽を寒からしめたり

右は陸軍航空部隊の決死敢闘其の任務を遂行せずんば己まざるの精華を顯示せるものにして其の武功拔群なり仍て茲に感狀を授與す 昭和十八年一月二十日 南太平洋方面陸軍最高指揮官

貴衆両院

沖繩縣多額納稅議員當選

【六日】沖繩縣多額納稅議員選舉は二日施行され開票の結果、當重民氏が五十一票で當選した、次點は新里康保氏三十三票で、投票總數は八十四票、棄権十六票であつた

貴族院在滿將兵慰問團派遣

【十九日】貴族院では十九日院内議長應接室に各派交渉會を開き在滿皇軍將兵の慰問につき協議し次の如一、總員八名乃至十名よりなる慰問團を派遣すること、一、派遣團員は來る二十六日迄に各派において夫々銓衡する、一、慰問團は五月中旬に東京を出發し一ヶ月の豫定を以つて國境を主に在滿皇軍全部隊の慰問を行ふこと

阿部總裁各顧問總務と懇談

【二十日】阿部翼贊政會總裁は廿日正午九の内大東亞會館に安保清種男小倉正恒、大井成元男、中島知久平水野練太郎の各顧問及び岩倉男、大藤、山崎、横山の各總務を招き午

策決定

國民精神昂揚具體的施

【十四日】大政翼贊會第一委員會(委員長吉田茂氏)では國民精神昂揚の施策に關し二荒芳徳伯及び小川建男をそれぞれ小委員長とする第一、第二小委員會を設け豫て審議を進めてゐるが、十四日政府關係各省に對し急速に實施を要する事項につき上申の手續きを執つた、要旨左の如し 一、承諾必謹に關する件(第一小委員會)大詔は皇祖天照大神の神勅より爾來現代に至るまでの歴代の聖旨を一に之に具現し給へるものと拜察し得るを以て國民に最も感銘深き此の大詔必謹奉公生活の最高基準とし

翼贊政治會

翼政調査委員を派遣

【八日】戦力増強と食糧確保の絶對

翼政の民情窓口再開

【二十一日】翼政會では大東亞戰下の民情を調査し政府の施策に協力するため昨年九月民情委員會を創設、第一、第二の委員に分け民情の受理

大政翼贊會

國民精神昂揚具體的施

並に處理を開始し第八十一議會召集に當り一應これを休止したが、廿一日日本部に委員總會を開催、橋本事務局長から開始以來の處理經過につき報告、再開日並に今後の運営につき意見の交換を行つた、而して開始以來の經過は受理せるもの戰時經濟運営に關するもの六六件、その他四五件、計二七〇件でこれに對し應答、申請、その他方法で適宜處理解決した、なほ今後の運営については受理範圍の擴大および同委員會を政調の實踐機關とすべし等種々の積極的意見があつたがこれは翼政會の改組に際し調整を行ふこととし取敢ず之が開始日を五月一日と決定した

て是が服膺徹底に關する一大國民運動を速に展開すること①、米英兩國に對する宣戰の聖旨を普く國民に拜戴服膺せしむる爲、其の本義を謹解したる印刷物を刊行し、努めて國民に普及せしむる方途を講ずること②、集會の際の國民儀禮に際しは、若くは大詔を奉誦し、集團的に誦和若しくは復誦し、青少年等に暗誦暗記せしむる等不斷に感銘を新にする

は國民をして時局の真相を徹底的に認識せしむるの要あり①、此の際急務に大政翼賛會及び關係諸團體を糾合動員し、其の具體的指示の下に、關係諸團體は夫々の分域に即應したる分擔に依り、總掛りの運動を展開すること②、官立各種の學校の教職員及學生生徒を通じて本運動を官國幣社以下神社の神官神祇は國民教化上重大なる地位を有するに鑑み速に有効適切な運動を展開すること④、各宗教團體に於て本運動の爲其の總機能發揮するは時局下喫緊の要事なるを以て速に各宗教家を通じて一大國民運動を展開すること⑤

官公吏を初め、各種事業團體又は統制團體の幹部の如き所謂指導者に對し、生産増強の障礙を排除し、戰爭生活の實踐を徹底せしむる爲、其の實踐垂範を勵行せしむべき運動を展開すること

五、思想對策に關する件(第二小委員會)大東亞戰下、國民思想を統一し、必勝不敗の思想を確立し、以て米英撃滅の征戰に邁進せんが爲、左の如き方策を急速に實施すること①、思想對策に關係ある民間各種團體の連絡を緊密にし、思想謀略に對處すべく各種團體の運動を一元化し之を總動員して急速に思想戰の完結を期すること②、日滿華三國の通じたる思想戰、武力進歩を確立し、思想對策の一元的指導により積極的敵性關係の排除に對處すべき方途を講ずること

項)第一小委員會(委員長仙波安藏)ではかねて「青少年に對する國防思想の普及」に關し調査を進めてゐるがその程成案を得て十九日政府に上申の手續をとつた、同報告書の要旨は國家防衛に役立たしむべき青少年の鍊成機關たる國民學校、青年學校、鍊成團等のうち特に青年學校の充實改善を圖るべきものととして左の事項を擧げてゐる

二、神宮大廟奉齋の徹底に關する件(第一小委員會)振古未嘗有の時局の重大性に鑑み國體觀念明徹の要極めて切なる時、全國一戸として洩れなく神宮大廟を奉齋せしめ、その奉齋の趣旨、方法等を一層徹底せしむることは刻下の急務なるを以て、左の如き諸點につき速に適切な運動を展開すること①、大廟奉齋の趣旨徹底及び奉齋の方法につき適切な指導をなすこと②、舊大廟の取扱につき適切な指導をなすこと③、神棚の設置、神祠(宮形)等の製作につき適切な指導をなすこと

三、國民服喪令に關する件(第一小委員會)喪族親族の喪に對し現今の世情に最も適切にして且我國國家生活の美風を愈々發揮するに足るべき國民服喪令を制定實施するの要あるを以て之が具體的方策を考究せられたること

四、時局認識徹底方策に關する件(第二小委員會)米英撃滅の征戰を完遂し、終局の勝利を確保するが爲に

△青少年に對する國防思想の普及① 青年學校の完備に關し國家に於て一層力を入れ内容を充實し其の教育に權威を持たしめる必要がある、時局下青年學校舎の充分なる建設は困難なる事情にあるべきも必要已むを得ざるものは校舎の建設を行ふべきでまた所要数の専任教員を得ることも一層重要である、私立青年學校に對しては其の内容、教育を一層監督指導する要あり、②國防思想の普及は青年教育上極めて重要であるが、工場經營者雇傭主等に於て動もすれば之を輕視せんとする傾向あることは大に戒めねばならぬ、③勤勞青年の教育鍊成の主體は青年學校であつて青年團は之を補ふと云ふ意味を以て兩者不離一體、教育鍊成の完結を期する爲兩者間の調節を要す、④青年學校、青年團教育に青年の出席率を良好ならしむるため、⑤青年學校青年團の教育鍊成を一層權威あるとして、⑥青年の保護者や雇傭主をして青年學校、青年團に對する認識を深からしめ、青年は國家の青年であり、之が鍊成に最善を盡すは其の義務であるとの思想を宣傳す

次に青年學校義務就學者捕捉に對する方法として考へられることを要約すると

壯 年 團

翼壯府縣團長改選

【七日】大日本翼賛壯年團では國民決戰體制確立の要請に應へ三月末日を以て任期満了となる道府縣團長及び副團長の改選を機會として過去一年間の實績を検討し新役員の人選を通じて團運動の飛躍的強化促進を圖るべく各種情勢を觀察その選任を進めてゐたが七日まで、三道、三十縣の發令を終了した、今回道府縣團役員改任について特に考慮を拂つた點は

○同志精銳組織としての翼壯の性格を強化し國民決戰實動體制の確立運動を果敢に展開するため勢力均衡的な考へ方を一擲、革新的な氣魄に燃え、團運動の陣頭に立ち得る人材を擧げるため努力を拂つたこと、○右の方針を貫徹するため名譽團長たる道府縣知事と内申に先立ち充分打合せを遂げ道府縣の實情に萬全の考慮を拂つたが、しかし之が選任は全國一貫組織たる翼壯の建前に立つて飽くまで全國團長の責任に於てなされたこと

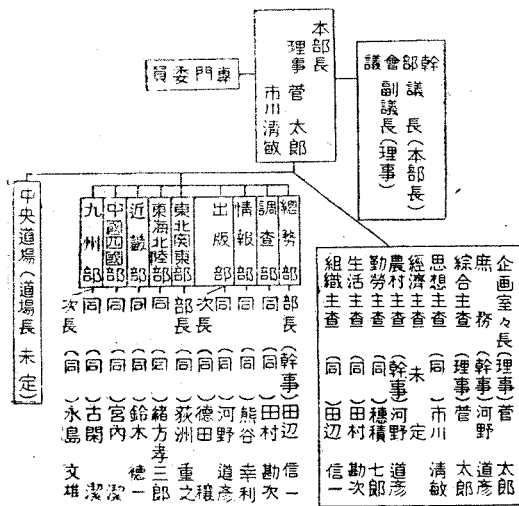
青年學校充實改善上申

【十九日】大政翼賛會調査會第三委員會國防協力體制の建設に關する事

を圖つた點が注目せられる、以上の基本方針に即して新に翼壯運動の陣頭に立つた新人は三十二名の團長中十一名を數へてゐる、かくて翼壯發足の初年度に限り役員は任期二年を特に一年に短縮し團運動の更新脱皮を促進しようとする本部の意向は着々實施され、四月中には新府縣團長の内申に基づいて更新されることとなつてゐるので、ここに翼壯の全國一體の同志組織の性格は全國の一段と強化され、團の運動態勢は著しく強化されるものと期待される、なほ翼壯本部では全國各級團役員は改任完了を俟つて五月初旬には全國團長會議を東京に召集、運動の飛躍的展開について詳細具體的な指示を行ひ運動の全面活性化に拍車をかける方針である

翼壯機構全面的改組決定

【九日】大日本翼壯年團では全國道府縣團役員更新を機會に運動の全面的強化刷新を計ることとなり、これに即應して本部の機構並びに人的陣容を改編強化刷新すべく検討中であつたが、この程成を得、九日その概要を發表した、今回の改革の狙ひは、①企業活動の補充刷新、②調査、情報、出版機能の補充刷新、③地方團との連絡統制機構の整備強化の三點に置かれ、これをそれぞれ一、企業法活動を活潑ならしむるため從來幹部會議の附屬機關に過ぎなかつた企業室を擴充獨立せしめ夫々の部門に應じて主査を置きこれを責任者として團運動の企業性を確立し、從來總務部の



一、從來總務部の事項
一、班として活動を
してきた調査、情報、出版の三班を各獨立せしめ新たな、これを新設
一、これまで全國を東部、中部、西部の三地區に分ち
三部制を以て地方團の連絡統制に當つてきたのを五地區五部制に分ち地方各團との連絡指導に徹底を期したものである、なほ
從來幹部會議に從屬して團運動を専門事項別に研究してゐた分科會は

れを専門委員として陣容、機構の全般に亘り刷新強化することとなり近き各級の智識、權威者中から委嘱せられる委員を構成、企業室主査を世話役として諸般の研究並に企業活動を一層旺盛ならしむることとなつた、新機構並に陣容左の如し
大日本翼壯年團本部事務分掌規程
第一條 (本部機構別表)
第二條 企業室は左の義務を分掌す
①幹部會議並各専門委員會の運営に關する一切の義務及幹部會議に提出せらるる議案の審査に關する事項
②團活動の企業立案に關する事項
③團活動の専門的事項の處理に關する事項
第三條 總務部は左の事務を分掌す
①庶務に關する事項、②文書に關する事項、③會計、計理に關する事項
④人事に關する事項、⑤各部班の連絡調整に關する事項、⑥關係各方面との連絡に關する事項、⑦他部班の所管に關せざる事項
第四條 調査部は左の事務を分掌す
①調査に關する事項、②團組織を通ずる民情の蒐集に關する事項、③生活相談、民情査察及下情上通に關する事項、④國策の徹底其他上意の下達に關する事項
第五條 情報部は左の事務を分掌す
①宣傳に關する事項、②情報蒐集に關する事項
第六條 出版部は左の事務を分掌す
①出版に關する事項、②文書活動に關する事項

第七條 地方擔當各部に於ては夫々擔當地區道府團の連絡統制に關する事項を分掌す
第八條 團の活動方針を審議するため幹部會議を設く幹部會議は本部職員中より本部長の指名する者を以て之を構成す、幹部會議に議長副議長各一名を置く議長は本部長に當り幹部會議を統統す、副議長は本部長の指名する理事を以て之に充て議長事故あるときは之を代理す
第九條 團運動に關する諸般の重要専門事項を研究調査するため必要に應じ各種専門委員を設く、専門委員は本部職員及參與參事囑託其他各界の有識經驗者を之に指名又は委嘱す於て實施すべき訓練に當らしむる

勤勞青少年輔導組織を確立

【六日】大日本産報本部では去る一月廿日開議決定を見た勤勞青少年輔導對策要綱に基き産報各組織に勤勞青少年輔導委員會並びに輔導協議會を設置することに決定、六日付右組織要綱を地方産報會長宛通牒した、骨子左の如し
△勤勞青少年輔導委員會 ①、各單位産報内に勤勞青少年輔導委員會を置く、②委員は委員長一名及び委員廿名以内を以て組織し、委員長は單位産報會長を以てあつて、委員は單位産報役員、産業青年隊々長、青年學校長、倉監等輔導關係者中より命ずる、③委員會は勤勞青少年輔導に關する施策の研究立案を行ふ
△道府縣産報支部勤勞青少年輔導協議會 ①道府縣産報支部内に勤勞青少年輔導協議會をおく、②協議會は輔導に關する施策の協議並びに關係官廳、團體、工場、事業場との連絡を圖る、③協議會は委員長一名、委員廿名以内を以て組織する、委員長は道府縣産報支部長、委員は關係官廳官吏、關係團體役員、學識經驗者、單位産報團役員、學識經驗者支部役員等より選任する
△道府縣産報勤勞青少年輔導協議會 ①道府縣産報團内に勤勞青少年輔導協議會をおく、②委員會の構成事業は道府縣産報支部勤勞青少年輔導協議會に準じ、委員長は道府縣産業報團々長がこれに當る
△産業中央本部勤勞青少年輔導協議會 ①産報中央本部に勤勞青少年輔導關係重要施策の協議、關係官廳、團體間における輔導の連絡に當る、②協議會は委員長一名、委員五十名以内を以て組織する、委員長は産報理事長を以てこれに充て、委員は關係官廳官吏、關係團體役員、學識經驗者、道府縣産報勤勞青少年輔導協議會委員、中央本部役員等のうちより産報會長が任命、委嘱する

中央勤勞協議會設置

【十四日】産報中央本部では決戦下産報運動の實践を強力に推進するため去る二月以降東京、名古屋や大阪福岡、仙臺、及び札幌の六ヶ所に地方勤勞協議會を設置したが今回その中央機關たる中央勤勞協議會が小畑産報理事長を委員長として發足することになり、十六日大東亞會館に於て創立總會を開催した

外地地方

市制施行議内規 改訂

【十七日】内務省では市制改正法の、全區域に貝塚市を設置することとなり、市機能の高度化、市長の権限強化等市の行政に本質的變化

大阪府に貝塚市誕生

【二十八日】内務省では市制第三條町村制第三條の規定に基き五月一日より大阪府東南郡貝塚町を廢し新に貝塚市を設置することとなり、貝塚市は貝塚市を以て告示する、これ

が齎される實情に鑑み、市制施行議の内規を改訂することとなり、十七日地方局長より全國地方長官宛通牒を發した

經濟

十八年度物動交通動員 兩計畫決定

戰力增強態勢全し

【三十日】政府はさきに畫期的戰時產業行政の一元化並に緊急物價對策の確立を以て戰力增強の要請に對處し、更に過般の内閣改造を以て決戦段階に即應する國內體制の整備強化を斷行するとともに、物的戰力增強の根幹をなす本年度國家計畫の策定に關し、企畫院を中心として陸海軍各省緊密なる連繫の下に鋭意萬全の計畫樹立を準備してゐたが、愈よその第一着手として卅日の定例閣議に「昭和十八年度交通動員計畫」並に「昭和十八年度物資動員計畫」を附議、鈴木企畫院總裁より詳細説明を行つた後これを正式決定し、同日午

物資動員計畫

鈴木企畫院總裁談(情報局發表)昭和十八年度物資動員計畫は戰局進展の現段階に鑑み之を勇猛果敢に突破すべき年度なるに依り其の内容は、構成並に物的戰力の增強等動員の性格に於て益々決戦態勢の強化を期する事とし企畫院に於て關係官廳と眞摯緊密なる協力の下に周到なる思索と檢討とを遂げ鋭意之が速かなる完了に努力中であつたが各省特に陸海軍との完全なる協力を依り茲に其の設定を了し本日の閣議に於て之が決定を見皇國興隆のため動的戰力を一層確固不拔なる基礎の上に運營して參る事となつたのである、今次計畫は海陸輸送を一貫とする輸送の計畫と之に基き供給力の計畫並に戰局の決定的勝利を把握すべき軍備の增強の運用を確保すべき液體燃料の民需査定基準なるものを綿密に計畫編成し、以て大東亞を含む皇國の總力發揮に遺憾なきを期し立案せられ、特に左記の諸點に關し特別の考慮を加へたのである

(一) 敵の反抗を徹底的に破砕し皇國の勝利を決定的ならしむる爲國家の總力を戰力增強の一點に集約し之を全能發揮に努め以て物的戰力に於ては鐵鋼、石炭、輕金屬、造船、航空機等の畫期的増産補強を確保することと至上目標とし之がため國民戰時生活を確保しつつ本目標の達成を期するを以て國家施策並に物動運營上の最高指標として居る、從つて右に關聯する産業整備に付て之が速急なる具現を期してゐるのである

(二) 戰局の進展に即應するため動的戰力の維持增強に對し計畫上早期萬全の處置を講ずる事とし輸送計畫の實施確保、計畫供給力の確保に對する特段なる考慮工夫を爲すこととす

(三) 計畫の編成は十七年度と同様各四半期實施計畫を同時に策定し圓滑なる計畫の運營と不可避的最少限度の修正を行ふことに努むる事とした
右の如くにして物的戰力の增強に付ては萬般の手段を盡し及凡ゆる供給源を繰り込み軍備上緊要なるものは相當の增強を見たのであるが其の他の配分に於ては昭和十八年度に於ける戰局の決定的段階を突破すべき皇國の環境に應ずる物資動員の性格に鑑み直接戰力に關係なき需要部門は異常なる壓迫を受けることとなる事に當然である、然し乍ら大東亞を含む皇國の總力戰の眞諦に徹底し我が國々民戰時生活の確保は固より進んで大東亞諸民族の生活に就ても常時特段の注意を拂ひ之等に對する萬善なる調整措置に關しては實行上關係諸般の政策と戰局の推移とに照應し遺憾なきを期せんとして居るのである

決戰物 動の意

決戰連續の戰局現段階に對處し、國家總力を擧げて物的戰力の飛躍的增強に集中

すべき決戰施策はあらゆる部面に亘り慎重且つ果敢に實行に移されつつあり、十八年度物資動員計畫の策定は戰局突破を目標とする經濟施策の基礎をなすものとして特に注目せられたつたが、政府は企畫院を中心とし陸、海軍以下關係各省と緊密完全なる協力の下に計畫設定を進めたる結果卅日の定例閣議において愈よ正式決定を見るに至つたので同日午後四時情報局から右に關する鈴木企畫院總裁談を發表した、而して本年度物動計畫は極めて當然のことながら物的戰力の增強、特に鐵、石炭、輕金屬、航空機、造船の五重點産業および關聯重要産業の畫期的增強並に戰時國民生活の最低限度確保を二大目標とし限られたる國家經濟力をもこの目標達成に最も有効に動員するため計畫の内容、構成等に亘つて新構想を盛り、さらに戰局の推移に即應すべき機動性を織込んだ點において物動計畫の決戰的性格を最も端的に表明したことが特に注目され、その主なる特徴は左の如くである
一、戰力物資の増産と企業整備
國家總力を戰力增強の一點に集約し、五重點産業並びに關聯重要産業の劃期的増産を遂行する、右と關聯して産業整備の急速なる實行と均整ある産業規模の具現を期する
二、計畫の機動性
戰局の進展に即應機に臨み變態に應じて萬全の處置を講じ、輸送計畫の實施と物動、物資の計畫供給力の確保を期する爲特別の考慮工夫を行ふ

三、海陸輸送の綜合一體化 海陸輸送の綜合一體化、陸運轉移の強化を圖るとともに海上輸送力の能率向上、海上輸送の節約(例へば小型熔鑪の現地移駐國內鐵礦石の増産)等により緊要物資の供給を確保する

四、液體燃料配給の重點計畫化 供給、配當諸計畫の運用を確保するため液體燃料の民需査定基準を設定、輸送力確保に最も効果ある如き計畫的重點配給を行ふ

五、製品物動の實施 物動決定資材の範圍内で特に必要なものから製品物の計畫化を圖り製品を構成する主原料、副原料の調和せる供給等により計畫物資の確保を期する方針で本年から従来の素材物動に加へて製品物動を逐次實行に移す

なほ本年度物動供給計畫においてはあらゆる供給源を織込んで物的能力の増強に努め、この結果配當計畫においては軍備上緊要なるものについては相當の増強を見たが、直接戦力に關係のない需要部門は決戦物動の性格に鑑み思ひ切つた壓縮を加へたことは極めて當然であり、物動以下諸國家計畫の實施過程において企業整備、消費規正等あらゆる部門に亘り決戦施策が強力に推進展開されるものとして期待される

交通動員計畫

鈴木企畫院總裁(情報局發表) 昭和十八年度交通動員計畫は連續的決戦段階に於ける戦争完遂の爲作戦と補給力の調和を期し特に陸海軍との緊密なる連繫並に關係各省との周密なる打合せを遂げ本日の開議に於て之を決定を見るに至つた、本年度交通動

員計畫は戦局の推移に對處し軍事上の要請を満足せしめると共に不拔の戦力を増ふことを意圖し輸送及通信の充足發揮を期することを主眼として、思索策定せられたのである、即ち

一、先づ第一に交通力の整備運用に當つては機に投ずる作戦の遂行に萬遺憾なからしめることを期した

二、大東亞資源の戦力化を擴大強化する爲交通動員計畫と物資動員計畫との有機的結合を圖り交通動員計畫に於て動員せられたる輸送力をして本日同時に開議決定せられたる物資動員計畫供給力の基礎たらしめた

三、輸送力の現狀に照して益々海陸輸送の眞に一體的な運用を必要とするので、之が爲施設並に運營の兩面に亘り特に戦時性格を濃化し之が果敢なる實踐を庶幾したのであつて轉じて鋼船及木船の飛躍的建造陸運轉移の強化港灣荷役力の増強は昭和十八年度に於て交通動員上汎有の障礙を克服して撃じて遂行すべき三大要目として國家の努力を之に集中することとした

四、重要物資の動態を的確に把握し之が適時適所に於て取得活用せらるることは戦力増強上に必要とする處で、之が爲生産と輸送との連繫を更に強化することとした

五、本年度に於ては戦時輸送の要請に基き従来の輸送機關又は經路を相當變更することとしたので之に即應して關係港灣及之に連接する陸運の強化に特に意を用ひることとした

六、船舶及車輛の建造、航空路の擴充、船舶及車輛の整備に當つては戦時性格を基調として常に戦争目的の遂行に合致せしめることとした、之を

要するに大東亞戦争は益々海上輸送の様相を深刻ならしめて居り従つて輸送力の増強は眞に皇國永遠の勝利を決定すべき重大要素である、茲に於て交通動員計畫の焦點が特に海上輸送力を核心とせる海陸輸送力の綜合的増強に存すべきは當然の歸結であつて之が實施の爲には直接之に從事するものは固より國民各位も戦局の現段階と戦力増強上に於ける輸送力發揮の重大性に深く想を致され國家の總力を傾倒して交通動員の完備に協力せられんことを切望する次第である

交通動員計畫の意

本年度交通動員計畫は大東亞戦争が益々海上輸送戦の様相を深刻化し、輸送戦、補給戦の歸趨が戦局に重大影響を齎すべき現狀とするは勿論であるが、戦力培養を根幹とし、とくに物動計畫との有機的關聯において海上輸送力を中心とする海陸輸送力の綜合的増強に重點をおいたことが決戦的性格を示すものとして注目され、特に計畫策定上考慮された主要點は左の如くである

一、戦局推移に伴ふ軍事上の要請充足を第一主義とし作戦と輸送の密接不可分關係を益々強化したこと
二、大東亞資源の戦力化を擴大強化するため交通動員計畫と物動との特に緊密な有機的結合を圖つたこと
三、海陸輸送の間然する處なき一體の運用を圖り計畫に戦時特色を盛つたこと
四、生産と輸送の連繫強化、とくに交通動員計畫を立體化して機動性彈撻性を與へ臨機應變の措置をとり得

る態勢をとつたこと
五、海上輸送物資の陸運轉移と輸送經路の變更を行つたこと
六、船舶および車輛の建造、航空路の擴充、船舶及車輛の整備に當つては時間的妥當と資材節約を主眼として戦時規格を普及、徹底せしめることとした

而して本年度においては鋼船木船を通じて造船は飛躍の上昇歩調を辿るものと期待されるが、戦局の現段階においては必ずしも船腹の割期的増強を期し得なざりため本年度交通動員計畫は鋼船および木船の飛躍的建造と並んで陸運轉移の強化、港灣荷役力増強による海陸輸送力の綜合的運營を三大目標として掲げ、これが爲左の如き諸施策を強力に推進することとなつた

一、陸運轉移 陸運非常體制に基く海上輸送物資の陸運轉移は昨年十月より實施され、好成績を収めてゐるが、本年度はこれを一層強化し、右

式の確立が要請される

決戦物價政策確立さる

價格報奨制度の實施

【十六日】政府は大東亞戦争の決戦段階に對應戦力の飛躍的増産を圖るべく去る一月初旬より企畫院を中心

に大藏、商工、農林、厚生、等關係各省の緊密なる連繫の下に戦争國民の安定並に戦力増強を意圖する物價政策を堅持して參つたのであるが、最近に於ける情勢の進展に對處し今般緊急物價對策要綱及之が具體的實施方針を決定した其の眼目とする處は國家の要請に基き計畫生産を遂行すべき緊要物資並に戦時生活必需品

による餘剩船腹を遠洋に廻はす、例へば大陸物資の朝鮮經由による陸送等を積極化するが、右による輸送機關、輸送經路變更に伴ひ關係港灣施設及びこれに連接する陸運強化を特に設け、實施する

二、港灣荷役力の増強 港灣荷役力の増強は昨年末以來五割増強を目標として實施せられ、去る三月末迄に天候關係の制約を克服して平均三割増強を實現したが、本年度は港運會社活動の軌道化及港灣行政の一元化により割期的増強を見、船舶運航能率の向上に資するものと期待される

三、戦時輸送觀念の確立 陸運轉移に伴ひ轉移物資の鐵道による輸送距離は従来の普通貨物に比し平均約二倍半に達する、従て物動物資の鐵道輸送を確保するためには普通貨物、旅客輸送を相當壓縮するとともに從來の交通機關、輸送に對する觀念の切換へを要し、また貨物輸送優先方式の確立が要請される

緊急物價對策に関する件

政府は豫れて戦時に於ける國民經濟の安定並に戦力増強を意圖する物價政策を堅持して參つたのであるが、最近に於ける情勢の進展に對處し今般緊急物價對策要綱及之が具體的實施方針を決定した其の眼目とする處は國家の要請に基き計畫生産を遂行すべき緊要物資並に戦時生活必需品

資の生産者にして眞剣に國家の要望に應へんとする者に對しては適正なる生産價格を保障するのみならず、更に特定物資の増産を爲したる者には特別なる報奨の措置を講ずるの途を拓き、以て價格面より生産障害を排除するは勿論進んで生産増強の促進に努むることとする一方、此等物資の需要者價格に付ては原則として概ね現在の價格水準を維持し以て極力物價の安定を期せんとするものである、而して此の生産者價格の改訂を爲す物資の範圍は當面緊急増産を要する物資の中特定のものに限定する方針である、素より我國今後に於ける物價政策の目標は從來の實際物價水準據主義の殘滓を清算して大東亞圏内に於ける物資の計畫的生産、交易、消費の關係等に立脚した新價格體系を樹立するに在るは申す迄も無い所であるが、各種の生産條件が不斷に而も急速に變動しつつある今日に於ては適正なる新物價體系への全面的切換へは困難であり、且つ之を行ふことと自體が却つて經濟の安定を阻害することなしとは謂ひ難いので、戰爭の現段階に對處して現行物價水準維持の根本方針は之を堅持する一方價格差調整補助金制度の活用等に依り緊要物資の非常増産を可能ならしむることとしたのである、而して價格調整補助金制度の適用は緊急にして特に重要なものに限定し其の運用に付ては原則として物資別に價格調整機關を整備し、之をして生産者よりその生産品を適正なる生産者價格を以て買取らしめたる上現行物價水準に依る需要者價格を以て之を販賣せしめ、之に依つて生じたる缺損を價格調整補助金等

を以て補填する方法を採ることゝなせるのである、尙現行補助金制度に付ては從來一般に指摘せられてゐた各種の缺陷を此の際除去する爲の所要を整備を行ひ生産者をして増産の熱意を振起すことを期した次第である勿論生産價格の改訂に應じ需要者價格の改訂を爲す場合に於て之を當該物資の消費者又は第二次、第三次等の製品の段階に於て吸收し其の循環的影響を遮断し得るか又は其の影響極めて微弱なる場合に於ては、其の需要者價格を改訂することとする尙緊要物資の生産者價格設定に當つては創意と工夫とに依り當該産業中に生産能率の優秀なる者又は原價低減の努力を爲したる者に對しては一定の報奨利益を與へ又特定の緊要物資に付ては計畫生産量を超えて増産を實現し或は生産期間を短縮したる者等に對し一定の割増價格を與ふることとし、増産の熱意に對し國家的報奨の方途を講ずることとしたのである

斯くて政府は戦力の飛躍的増強を確保する爲價格面に於ても増産に對する強力なる各般の措置を講ぜんとするものであるが、他面一般物價の昂騰を抑制することは戰爭經濟の要諦であつて政府は飽く迄從來の低物價政策の方針は之を堅持するものである

せんとなす 第二、要領 ①國家の要請に基き計畫生産を遂行すべき緊要物資並に戰時生活必需品物資に付ては其の生産所費を確保する爲増産強行上生ずべき生産費の昂騰に對處し適正なる生産者價格を保障するものとす生産者價格は適正生産費に適正利潤を附加したるものとし之が決定に當りては原價計算制度等の活用により迅速的確を期するものとす、②計畫生産を遂行すべき緊要物資並に戰時生活必需品の需要者價格は原則として之を現行水準に据置くものとし其の生産者價格との差額は補助金制度の活用等に依り之を調整するものとす、補助金に依り價格調整を爲すに當りては生産者をして増産の熱意を振起せしむる爲生産者價格決定の敏速的確を期し得る様本制度の運用を刷新するものとす、尙補助金制度に付ては物資別價格調整機構の整備、現行各種補助金の整理等を実施し其の効率發揮に努むるものとす、③計畫生産を遂行すべき緊要物資並に戰時生活必需品中需要者價格の檢討を爲すもの循環的影響を遮断し得ることと明かなる場合に付ては生産者價格に應じ需要者價格を改訂し創意と工夫とに依り計畫生産量を超えて増産を爲したる生産者等に對しては特別なる報奨の措置を講じ得るの途を拓くものとす、④生鮮食料品については其の特質に應じ之が圓滑なる供給を確保する爲概ね現行水準を維持しつつ弾力性ある價格を設定する等の措置を講ずるものとす、⑤前各項以ての物資については原則として現行價格水準を維持するものとす、尙製

品規格の簡素化を圖るとともに速かに公定價格相互間の不均衡を是正するの措置を講ずるものとす、⑥輸入物の措置については計畫輸入數量確保の必要とする價格を認むることとし爲替交易調整特別會計の運用により國內價格との調整を圖るものとす

價格報奨制度要綱要旨

一、價格報奨制度適用の範圍及報奨措置の對象 ①本要綱に依る價格報奨制度は特別價格報奨及一般價格報奨の二種とし特別價格報奨は特定緊要物資の増産を實現したる場合に於て之を適用し、一般價格報奨は統一原價計算に基き個別價格を形成する場合に於て之を適用するものとす

特別價格報奨は一般價格報奨と併行して之を適用するものとす、②價格報奨措置は生産單位たる工場事業場毎に之を實施するものとす

二、報奨を爲すべき場合、方法及其の程度 ①特別價格報奨 特別價格報奨は生産量増強に對し左の措置を講ずるものとす ④基準生産量を超えて増産を遂行したる場合基準生産量を各工場事業場付一定期間に對し之を定むるものとし之を超過する増産部分に對し増産の度に應じ割増價格を認むるものとす、割増價格は概ね人件費に對する一定割合を限度とし超過増産遂行率に應じ遞増的に之を算定し原則として一定期間毎に一括して速に之を後拂ひするものとす

割増價格の算定及其の交付に當りては能ふ限り生産品の規格又は性能、前數期の成績及當該工場事業場の屬する企業の綜合成績等を斟酌するものとす、⑤生産期間を短縮したる場合、業種の特質に應じ④に代へ之を行ふものとす、生産期間の決定、割増價格算定の方法及其の程度は④に準ずるものとす

①一般價格報奨 一般價格報奨は④能率向上に依り生産品原價を低減し若は其の増産を抑制したる場合及⑤生産品原價が當該業種の基準原價に比し低位なる場合に之を實施するものとす、一般價格報奨は當該工場事業場の生産品の價格形成に當り原價に附加すべき利潤の算定に際し原價を低減し若は其の増産を抑制したる部分には生産品原價が基準原價に比し低位なる部分の一定割合を特別利潤として賦與するものとす、右の一定割合は能率向上に依り生産品原價を低減し又は其の増産を抑制した場合と生産品原價が當該業種の基準原價に比し低位なる場合とに付業種の特質又は工場事業場の實情を斟酌して之を定むるものとす、尙生産品原價が當該業種に於て一定限度以下なる優秀工場に對しては右の一定割合を増加するものとす、一般價格報奨は戰時適正利潤算定に際し適正利潤として之を認むるものとす

三、價格報奨制度に依り企業の取得すべき金額の處分 ①特別價格報奨に依り企業の取得すべき金額は企業者をして最も生産増強に寄與する如く處分せしむるものとす、而して其の役員、社員及勞務者又は株主に對する分配に關しては會社經理統制令及貸金統制令の運用を調整するものとす、②特別價格報奨中企業の基礎を堅實ならしむる等の目的を以て社内留保せられたる部分に對しては租稅減免の措置を講ずることを考慮するものとす

四、前各項實施の爲左の措置を講ず

緊急物價對策要綱要旨

第一、方針 戦力の飛躍的増強の要請に即し大東亞自給自足體制を整備しつつ緊要物資の緊急増産に資すると共に國民戰時生活の安定確保を圖る爲此の際左記要領に依り戰爭の現段階に即應せる物價政策を確立實施

るものとす。○報獎基準生産量等の決定。特別價格報獎の基準と爲るべき生産量に國家計畫に基く所要生産量を確保する爲め當該工場事業場に於ける最低の質、生産能力、資材、勞務の配當等を勘案し陸海軍其の下の在る工場に對しては陸海軍其の他の工場及事業場に對しては當該生産該當廳に於て生産品の品種及品位別割合と共に毎年度之を決定するものとす。○弊害の防止措置。本制度實施に伴ひ格差基準生産量、低減を圖り又は特定工場事業場若は特定期間の増産達成の爲他の工場事業場若は次期に於ける減産を顧みざる等の弊害を防止する爲報獎に當り企業の全般に亘り充分に生産の實績を把握するは勿論統制會等をして責任を以て能率監査を實施せしめ所要の措置を講ずるものとす。○外地に於ても本要綱に準じ價格報獎措置を實施するものとす。○報獎措置の適確を期する爲速に原價計算、原單位計算財務及經營比較等に基く經營の綜合的能率規準を設けんとす。○本要綱に基く價格報獎制度の外生産増加上の貢獻に對する各種の報獎を別途實施の要ありとのとす。

金屬類非常回收十八年度實施要綱決定

【十六日】政府は曩に昭和十八年度金屬非常回收第一次實施要綱を決定し、その實施に努力しつつあるが十六日、回收物件の具體的決定に當つては第一の關議においてさらに「昭和十八年度金屬類非常回收要綱」を決定したので同日商工省より要綱要旨並びに昭和十八年度に於いて非常回收を行ふべき回收物件を發表、さらに商工省當局談を以て其趣旨を明かにした。△商工省當局談。昭和十八年度に於ける金屬類の回收に關しては曩に發勸遊休設備、不要不急設備及仕掛品表せる金屬非常回收第一次實施要綱に基き目下着々之が實施に努めつつある處刻下戦力増強の絕對的要請に應ずる爲今般更に昭和十八年度全般に通過する金屬類非常回收實施要綱の成案を得本日之の關議に於て之が決定を見るに至つた、本計畫は其の性質上強力且迅速に之を實施する必要があるので國民各位に於かれては本要

實施要綱要旨

第一、方針。戦力増強の絕對的要請に應ずる爲新なる企業整備に依る未勸遊休設備、不要不急設備及仕掛品等に重點を置き、尙現在運行中の諸設備に付ても戦局の緊急要請に應じ之が資材の轉活用を圖る爲畫期的非當回收を迅速に斷行し併せて従来の特別回收を飛躍的に強化擴大し以て鐵、銅、鉛等の供給力の確保増加を見るに至つた、本計畫は其の性質上強力且迅速に之を實施する必要がある。第二、要領。△昭和十八年度金屬類非常回收實施要綱要旨。一、回收対象。本回收は大量且良質

を要請するの特質に鑑み回收物件の範圍は未勸遊休設備、不要不急設備及仕掛品等に重點を置き家庭用物件に及ばざるものとす其の概要は別紙のとす。二、回收期間。本回收は刻下の供給力を最大限度に増加せしむる爲迅速に實施し十八年度中に完成するを目的とし特に主力を上半期に集中するものとす。三、回收機關。回收の計畫及實施は金屬類回收本部(以下回收本部と稱す)及廳府縣自ら之に當るも必要ある範圍に於て概ね左に依り既存の回收機關の機能を活用するものとす。①官廳公共團體供出物件。金屬類統制株式會社金屬類回收令指定物件、②未勸遊休設備、不要不急設備、仕掛品。③産業設備、④轉廢業者設備。⑤國民更生金庫、⑥原材料、製品、販賣禁止品。重要物資管理會、尙地方に於ける金屬回收統制株式會社の下部機構に付速かに必要なる統制を行ふものとす。四、本回收を迅速且強力に遂行する爲、④回收關係法令に所要の改正を加へ回收方法の簡素強化を圖るものとす。⑤回收物件の供出に關しては軍、官廳及公共團體の絕對的協力を確保するものとす。⑥所要の資材、勞務及輸送の優先的確保に付關係官廳は積極的協力を爲すものとす。⑦經費支出の滯滞に依り回收實施に支障を及ぼさざる様迅速簡易なる支出方法を講ずるものとす。第三、措置。一、回收數量の割當及回收物件の決定。回收數量の割當に付ては回收目標數量及回收対象を基礎とし回收本部に於て關係官廳と緊密に連絡の上官廳別、事業別に之を行ふものとす尙要すれば廳府縣別割當を行ふものとす、回收物件の決定は右割當に基き物件の性質に應じ回收本部又は廳府縣に於て之を行ふものとす。二、於て之を行ふものとす。三、撤去、解體等の作業。回收物件の撤去、解體、修理及代替物設置等に關する諸作業に付ては原則として廳府縣毎に金屬回收統制株式會社として指揮し其の責任に於て迅速に實施するものとす、但し官廳の供出物件に關する前項の諸作業に付ては供出者の責任に於て之を行ふも必要に應じ廳府縣の協力を得るものとす。四、輸送。所要貨物自動車、貨物及船舶に付ては優先的に之が確保を圖るものとす。貨物自動車に付ては改修工作隊をして所要の自家用車を保有せしむるものとす、輸送の圓滑及回收物の有効利用を圖る爲中間置場の増設荷受設備の強化を圖るものとす。五、資材。所要資材は物動特揚其の他の方法に依り優先的に確保するものとす。之が配當は回收本部に於て統轄するものとす。六、勞務。撤去、解體、選別其他の作業に必要な技能者及勞務者の絕對的確保を圖る尙國民勤勞報國隊等の活用をも併せ行ふものとす。七、經費。回收の諸作業に要する經費は回收機關等に對し國庫より補助するものとす。八、備考。○外地に於ても本要綱に準じ實施するものとす。○戰利品及び記念保存物、屍、その他。○銅物件。○配電線、蝶番、握玉、機械設備、○擦染ロール、接地板(柱上變壓器器用)電動機用、水道止水栓、販賣禁止品。○神社佛閣境内施設物、戸レール、食器類、廚房用品、○水洗便所、調整器、○車輪附屬金具、鈕、照明器具。○橋梁の唐金擬寶珠、其他。○人織工場設備、○肥料工場設備、○文鎮、數物押(一)○水洗便所調整器。

財政金融

預金部年度末資産

政財

【二十一日】大藏省發表。昭和十七年度末預金部狀況によれば運用資金は總額百八十一億二千五百萬圓で前年度末に比し四十一億五千九百萬圓を増加してゐるが、その大部分は郵便貯金の増加によるもので郵便貯金及洞切手

入金預金は前年度末に比し卅三億八千五百萬圓を著増してゐる、一方資金運用面においては國債投資が百二十八億六千五百萬圓と總額の過半を占め國債投資のみで前年度末に比し三十一億二千二百萬圓を激増してゐる

三月末國庫現計

【三十日】大藏省發表 本年三月末現在における昭和十七年度國庫現計によれば歳入總計は六十五億六千六百萬圓で前年度同期に比し六億六千四百萬圓の増加となつてゐるが、經常部においては所得税、法人税などの直接税をはじめ物品税、遊興飲食税などの間接税の増収を中心とする租税収入の著増により前年度同期に比し十五億九千二百萬圓を増加し一方臨時部歳入においては公債金収入の著減により九億二千八百萬圓の減収となり歳入總計においては結局六億六千四百萬圓の増加に止まつた

三月末國債現在高

【十日】大藏省發表 本年三月末昭和十七年度末現在に於ける國債額は内國債五百四十二億二千五百萬圓外國債十二億二千五百萬圓總額五百六十四億四千三百萬圓で、これを前月末に比すれば、三月中に大東亞戰爭國庫債券八億圓、三分半利國庫債券五億二千九百萬圓等の發行が行はれたため十三億六千萬圓の増加を見た

第二豫備金支出

【二十七日】政府は廿七日の閣議で右の一般會計第二豫備金支出を決定した(單位千圓)
△厚生省所管
一、職業輔導施設費 八二四
一、傷痍軍人保護諸費補足 五三九
一、國立結核療養所臨時諸費 二五
一、國立癩療養所臨時諸費 二二

貯蓄 民貯蓄七百卅億圓

【二十七日】一億國民の努力により昭和十七年度の國民貯蓄實績は貯蓄目標額二百三十億を突破し、しかも數億圓の超過を見た旨十三日大藏省より發表されその正確なる貯蓄實績は今月末に發表されるが、賀屋藏相は二十七日閣議において支那事變以降十七年度までにおける貯蓄の實績

公債 十七年度國債消化率九六%

【一日】日本銀行では一日昭和十七年度第四・四半期(本年一月―三月)における國債消化狀況を發表したが、これによれば

ならびに運用狀況につき詳細説明を行つた、藏相の説明要旨は次の如し (一)國民貯蓄目標額が初めて樹てられた昭和十三年度以降十七年度までの貯蓄目標額は累計七百億圓であつたが、十七年度において貯蓄實績が目標額を數億圓突破した結果、右目標額はほぼ達成されこれに昭和十二年七月支那事變勃發以來翌年三月までの貯蓄額三十億圓を加算すれば支那事變以降十七年度末までに七百三十億圓の貯蓄が達成された譯である (二)また支那事變以降十七年度末までにおける主要貯蓄取扱機關別貯蓄増加額について云へば郵便貯金は六億圓を増加して百三十六億圓となり、銀行預金は當座預金を除いて百三十三億圓から二百九十五億圓を増加して約四百三十億圓に、生保積立金は三十五億圓から四十二億圓を増加して七十七億圓に、更に信用組合預金は十七億圓から六十六億圓を増加して八十三億圓に夫々増加するに至つてゐる、(三)次に右著積資金による國家所要資金運用狀況については、支那事變以降十七年度まで事業設備資金に振向けられたものは、事業會社の自己資金を含めて内地二百四十三億圓、朝鮮、臺灣などの外地四十三億圓對滿投資七十五億圓、以上合計三百六十億圓で、更に公債消化に振向けられたものは三百八十八億圓即ち支那事變以降十七年度までの公債發行累計額四百三十六億圓の八割八分五厘を賄つてゐる、(一)

國民貯蓄組合法施行規則 改正

【一日】大藏省では今議會を通過した國民貯蓄組合法改正に伴ひ同法施行規則を改正し、一日附官報を以て公布、即日實施された、改正施行規則の内容の主なるもの左の如し
○勤務先預け金についての貯蓄組合は大藏大臣の許可を得てこれが幹旋をなし得ると共に職域に於ける所屬勤務者一般を対象とする勤務先預け金の受入は原則として貯蓄組合の幹旋によらねばならぬこととなつた
○組合貯蓄の利子または利益については元本七千圓の限度に於て所得税を賦課せぬこととなり從來の免稅に關する證明書類の提出は一切不要となつた、○貯蓄組合の幹旋により組合の受入をなす者その他組合貯蓄したる年令保險、有價證券等の取扱をなす者に対する監督規定が設けられ組合貯蓄に關する報告の或るものは當分組合關係者より徴することとなり之に伴ひ貯蓄組合より提出すべき報告書等も簡易化された ○この他貯蓄組合に於て幹旋し得る外國有價證券として滿洲國債、滿洲國法人債が追加され組合の幹旋による金錢信託の金額の限度が五十圓に引上げられた

融金 內國爲替集中 決濟制採用

【十九日】銀行間の内國爲替決濟方法は煩瑣複雜を極めてゐるので、全國金融機關統制會では全國機關の同業連帯を基調とし爲替業務の簡素化を行ふべく、豫てより業務改善專門委員會において改善策を考究の結果、新たに日銀を通ずる集中決濟制を採用することに決定、大藏省當局の諒解を得たので、十九日の全國金融統制會第一回通常總會席上結城會長よりこの旨を言明、愈よ來る七月頃より實施の運びとなつた、この結果従來全國約五千の銀行店舗相互に個別決濟を行つてゐたものが全國各銀行の母店百四十餘と日銀の決濟店八を以て集約的に決濟されることとなりその効果は頗る多大である、集中制の構成は左の如くである、一、内國爲替業務を營む銀行(銀行)の内地(樺太を含む)所在店舗間に於ける對他店爲替上の貸借は集中決濟の方法に依り決濟せらるべきこと、二、日本銀行は集中決濟(決濟)に關する業務を行ふこと、日本銀行の決濟に關する業務取扱店(決濟店)は左の本支店とする

十七年度郵貯目標額 突破

【一日】昭和十七年度中の郵便貯金狀況が一日遞信省から發表されたことによると年度末現在高は百卅億四千四百一十一萬三千二百二十三圓へと

躍進し、十七年度の増加實績は卅三億五千三百萬圓千三百十二圓となり、目標額卅二億圓を突破すること一億五千三百萬圓の成果をあげた、過去の成績と比較すると次の通り
十五年度 十七億一千五百萬圓
十六年度 十九億七千七百萬圓
十七年度 卅三億五千三百萬圓

本店、大阪支店、札幌支店、廣島支店、仙臺支店、高松支店、名古屋

屋支店、福岡支店

三、銀行は決済の爲自行各店舗(取扱店)の爲替上の貸借を集中する一店(母店)を選択し豫め指定したる一決済店(指定決済店)に爲替資金口座を開設すること、日本銀行は爲替資金残高に付利息を附せざるものとし、其の残高不足に對しては違約金を徴求すること

四、銀行の爲替上の貸借又は之を母店に集中の上指定決済店の爲替資金口座に於ける入金及び引落に依り決済すること

五、爲替資金口座に於ける入金及び引落は爲替金の支拂を爲したる銀行の取扱店作成に係る爲替内譯書を證憑として之を爲すこと

六、爲替資金の勘定は原則として銀行の取扱店に於ける送金爲替の支拂日又は取立済報告に依る取立爲替の支拂日を起算として整理すること

七、取扱店に於て爲替金を支拂ひたる時(送金を爲すの支拂及び取立爲替の支拂を謂ふ)は其の支拂の證憑として爲替内譯書を作成の上母店に發送すること、母店は之に爲替金請求書(指定決済店に提出すること)八、指定決済店は所屬銀行母店の提出に係る爲替金請求書を確認の上當該銀行母店爲替資金口座に入金記帳を爲し貸方振替通知書を作成交付すること

九、指定決済店は入金手續續爲替内譯書の中他決済店所屬銀行に對するものは之を當該決済店に送付し自店所屬銀行に對するもの及他決済店より送付のものにより引落勘定を確定すること右引落勘定したるときは爲替口座より引落の記帳を爲し借方振替通知書を作成爲替内譯書と共に

當該銀行母店に交付すること
一〇、母店は指定決済店より引落済の爲替内譯書の交付を受けたるときは直に之を各取扱店に配付し關係帳簿に據り取引を精査せしむること(爲替内譯書は支拂報告の機能をも有す)

一、母店は取扱店の爲替金の受入(送金爲替の取組及取立爲替の成立を謂ふ)に對し先方銀行の起算日に依り爲替資金口座の引落を受ける以て其の資金残高に不足を來さざる様手當を爲し置くべきこと

二、決済店は引落爲替内譯書の受入締切時刻並に勘定確定時間を定むること

三、銀行に於て取引精査の結果不適合その他の事故を發見したるときは原則として關係銀行相互間の交渉と責任に於て速に解決すべきこと但し其の解決に付生じたる紛争等は日本銀行之が裁定を爲すことあるべきこと

四、銀行は爲替資金の不足其の他決済に關し日本銀行に對し負ふことあるべき一切の債務の擔保として日本銀行が二定の基準に依り定むる擔保(基準擔保)を差入れ置くこと

一五、銀行は左の場合に於ては共同責任を負ふべきこと但し其の責任負擔割合は特別の事由なき限り基準擔保提供の割合に依ること、日本銀行が決済業務に關し銀行の債務不履行等に因り損害を蒙りたるるとき

銀行が責任歸屬不分明なる事故等に因り損害を蒙りたるるとき

一六、日本銀行は決済の圓滑なる運行を期する爲必要ありと認めたる時は銀行に對し特別擔保の徵求、爲替取引の制限、取引關係の調査其の

他の措置を講じ得べきこと

一七、日本銀行は不正なる證憑書類に依る爲替金の請求、爲替資金口座に於ける資金手當の懈怠其の他本制度の圓滑なる運行を阻害する行爲ありたる銀行に對し所定の制裁を加ふべきことあるべきこと

一八、日本銀行は銀行間に於ける爲替取引契約締結の斡旋並に特約事項の調整を爲すこと

資金調整法特例の初適用

【十四日】東京芝浦電氣では今回第四回は號物上擔保付社債總額三億五千萬圓の分割發行を決定、このうち第一回發行分たる二千萬圓の發行條件を十四日興銀より發表したが、同社今回の社債發行は同社の事業に鑑み臨時資金調整法の特例により商法の制限を超えて行はれたものであつて臨時資金調整法施行以來最初の特例適用として注目される

【九日】大藏省では勸銀の證券保管取扱の便に資すると共に一面空襲其の他の非常事態に際し債券所有者の權利保全に萬遺憾なきを期するため今回無料保管に附せらるべき貯蓄及び報國兩令改正勸令案を附議決定、廿日より施行することになつた、これにより四月廿日以後勸銀に無料保管される貯蓄及び報國兩債券は消却され、單にその債券の回数組別ならびに番號を登録し、所有者より請求があれば、預金部保管の債券を交付する、但しその場合債券の番號は必ずしも同一でなくともよいこととし

ただ回数、組別ならびに券面金額は同一のもの交付するため當籤確率には何等異動はない譯である、尙ほ現在勸銀に保管中の戦時債券は新規定による消却法をとらず、從來通り保管される

【二十一日】政府は今回銀行等資金運用令施行規則(大藏、農林、商工大東亞省令)の部分的改正を行ふこととなり、廿一日付官報を以て改正省令を公布、來る五月一日より施行することとなつたが、改正要點は左の通り

一、從來金融機關等が運轉資金の貸付を行ふ際其の融通先に對する貸付残高又は貸付積數金額の何れかが前年同期の實績を超過する場合には必ず許可を要することとなつてゐたが、今回の改正は主務大臣の指定する一部の貸付先(追つて指定の上告示する豫定)に付ては右の中貸付積數金額の計算のみは之を爲すを要しないこととして金融機關等の事務の簡素化に資することとしたこと、

二、從來當座貸越に付ては新に契約を爲し又は極度金額を増額せんとする場合に於てのみ許可を要することとなつてゐたが、今回の改正は契約を更にした場合にのみ許可を要することとしたこと、

三、共同融資を行ふ場合の許可申請は代表者より一括して爲し得ることとし許可申請の手續を簡略ならしめたこと

【六日】日本有價證券取引所に基く日本證券取引所は來る七月を期して發足する豫定で準備を進めてゐるが、大藏省では同取引所の管理する取引市場開設の方針を次の如く決定同取引所の設立を俟つて正式にこれを認可することとなつた、即ち東京、大阪、廣島、名古屋、京都、神戸、博多、横濱、長崎、新潟及び長岡の現在十一取引所在地に夫々取引市場の開設を認めるが、右のうち清算市場は東京、大阪兩市場のみに限定しこれを認可することとなつた

取引所設立委員任命【十九日】大藏省では十九日日本證券取引所法に基く日本證券取引所設立委員三十八名ならびに委員補助九名を任命した取引所資産評價委員會官制【二十二日】日本證券取引所法に基く日本證券取引所の設立に際し、同取引所に對する出資に充てらるべき現存株式取引所の資産評價を決定すべき取引所資産評價委員會の官制は閣議決定を見たので廿二日公布即日施行、同時に委員も任命された

【二十七日】戦時金融融庫では廿七日午前大東亞會館に評議員會を開き十七年度剩餘金融債券發行計畫並に十七年度剩餘金融處分方法を左の通り附議可決した

一、發行計畫 事業資金の性質或は金融情勢等に應じ長期並に短期債券約十億圓を發行する
二、剩餘金融處分(單位千圓) △總益金一三、三三七七總損金一〇、五五九△差引剩餘金二、七七八△この處分は政府以外出資者配當金(年五分)

資金運用令施行規則 改正

【六日】日本有價證券取引所に基く日本證券取引所は來る七月を期して發足する豫定で準備を進めてゐるが、大藏省では同取引所の管理する取引市場開設の方針を次の如く決定同取引所の設立を俟つて正式にこれを認可することとなつた、即ち東京、大阪、廣島、名古屋、京都、神戸、博多、横濱、長崎、新潟及び長岡の現在十一取引所在地に夫々取引市場の開設を認めるが、右のうち清算市場は東京、大阪兩市場のみに限定しこれを認可することとなつた

取引所設立委員任命【十九日】大藏省では十九日日本證券取引所法に基く日本證券取引所設立委員三十八名ならびに委員補助九名を任命した取引所資産評價委員會官制【二十二日】日本證券取引所法に基く日本證券取引所の設立に際し、同取引所に對する出資に充てらるべき現存株式取引所の資産評價を決定すべき取引所資産評價委員會の官制は閣議決定を見たので廿二日公布即日施行、同時に委員も任命された

【二十七日】戦時金融融庫では廿七日午前大東亞會館に評議員會を開き十七年度剩餘金融債券發行計畫並に十七年度剩餘金融處分方法を左の通り附議可決した

一、發行計畫 事業資金の性質或は金融情勢等に應じ長期並に短期債券約十億圓を發行する
二、剩餘金融處分(單位千圓) △總益金一三、三三七七總損金一〇、五五九△差引剩餘金二、七七八△この處分は政府以外出資者配當金(年五分)

戦時金融融庫發行計畫決定

戦時金融融庫發行計畫決定

戦時金融融庫發行計畫決定

戦時金融融庫發行計畫決定

戦時債券保管を登録制に變更

【九日】大藏省では勸銀の證券保管取扱の便に資すると共に一面空襲其の他の非常事態に際し債券所有者の權利保全に萬遺憾なきを期するため今回無料保管に附せらるべき貯蓄及び報國兩令改正勸令案を附議決定、廿日より施行することになつた、これにより四月廿日以後勸銀に無料保管される貯蓄及び報國兩債券は消却され、單にその債券の回数組別ならびに番號を登録し、所有者より請求があれば、預金部保管の債券を交付する、但しその場合債券の番號は必ずしも同一でなくともよいこととし

ただ回数、組別ならびに券面金額は同一のもの交付するため當籤確率には何等異動はない譯である、尙ほ現在勸銀に保管中の戦時債券は新規定による消却法をとらず、從來通り保管される

【二十一日】政府は今回銀行等資金運用令施行規則(大藏、農林、商工大東亞省令)の部分的改正を行ふこととなり、廿一日付官報を以て改正省令を公布、來る五月一日より施行することとなつたが、改正要點は左の通り

一、從來金融機關等が運轉資金の貸付を行ふ際其の融通先に對する貸付残高又は貸付積數金額の何れかが前年同期の實績を超過する場合には必ず許可を要することとなつてゐたが、今回の改正は主務大臣の指定する一部の貸付先(追つて指定の上告示する豫定)に付ては右の中貸付積數金額の計算のみは之を爲すを要しないこととして金融機關等の事務の簡素化に資することとしたこと、

二、從來當座貸越に付ては新に契約を爲し又は極度金額を増額せんとする場合に於てのみ許可を要することとなつてゐたが、今回の改正は契約を更にした場合にのみ許可を要することとしたこと、

三、共同融資を行ふ場合の許可申請は代表者より一括して爲し得ることとし許可申請の手續を簡略ならしめたこと

【六日】日本有價證券取引所に基く日本證券取引所は來る七月を期して發足する豫定で準備を進めてゐるが、大藏省では同取引所の管理する取引市場開設の方針を次の如く決定同取引所の設立を俟つて正式にこれを認可することとなつた、即ち東京、大阪、廣島、名古屋、京都、神戸、博多、横濱、長崎、新潟及び長岡の現在十一取引所在地に夫々取引市場の開設を認めるが、右のうち清算市場は東京、大阪兩市場のみに限定しこれを認可することとなつた

取引所設立委員任命【十九日】大藏省では十九日日本證券取引所法に基く日本證券取引所設立委員三十八名ならびに委員補助九名を任命した取引所資産評價委員會官制【二十二日】日本證券取引所法に基く日本證券取引所の設立に際し、同取引所に對する出資に充てらるべき現存株式取引所の資産評價を決定すべき取引所資産評價委員會の官制は閣議決定を見たので廿二日公布即日施行、同時に委員も任命された

證券市場開設方針 決定

【六日】日本有價證券取引所に基く日本證券取引所は來る七月を期して發足する豫定で準備を進めてゐるが、大藏省では同取引所の管理する取引市場開設の方針を次の如く決定同取引所の設立を俟つて正式にこれを認可することとなつた、即ち東京、大阪、廣島、名古屋、京都、神戸、博多、横濱、長崎、新潟及び長岡の現在十一取引所在地に夫々取引市場の開設を認めるが、右のうち清算市場は東京、大阪兩市場のみに限定しこれを認可することとなつた

取引所設立委員任命【十九日】大藏省では十九日日本證券取引所法に基く日本證券取引所設立委員三十八名ならびに委員補助九名を任命した取引所資産評價委員會官制【二十二日】日本證券取引所法に基く日本證券取引所の設立に際し、同取引所に對する出資に充てらるべき現存株式取引所の資産評價を決定すべき取引所資産評價委員會の官制は閣議決定を見たので廿二日公布即日施行、同時に委員も任命された

【二十七日】戦時金融融庫では廿七日午前大東亞會館に評議員會を開き十七年度剩餘金融債券發行計畫並に十七年度剩餘金融處分方法を左の通り附議可決した

一、發行計畫 事業資金の性質或は金融情勢等に應じ長期並に短期債券約十億圓を發行する
二、剩餘金融處分(單位千圓) △總益金一三、三三七七總損金一〇、五五九△差引剩餘金二、七七八△この處分は政府以外出資者配當金(年五分)

戦時金融融庫發行計畫決定

戦時金融融庫發行計畫決定

戦時金融融庫發行計畫決定

戦時金融融庫發行計畫決定

二、三八三、積立金三九四

地銀社債特別引受計畫 決定

【廿八日】地銀統制會では新情勢に對應、資金効率の向上を期するため本年度社債特別引受計畫につき關係各方面と折衝を重ねた結果この程豫定總額を前年度実績に比し七千六百萬圓増の三億二千八百萬圓と決定した、この内譯は興業債券及び割引債券二億四千萬圓、一般社債(金庫債、營業債を含む)一億二千萬圓、興業債に對する手形融資六千八百萬圓であるがこれを十七年度実績に比較すると興業債券及割引三千九百萬圓、一般社債二千萬圓、手形融資一千七百萬圓の夫々増加に當る

産組中金利下げ

【九日】産業組合中央金庫では食糧増産の各種緊急施設に對し低利資金を豊富に融通するため昭和十八年度前半期(四月—九月)の貸出利率を最高歩合の引下を斷行することに決定主務省の認可を得たので、四月一日に週及實施する、即ち今年度前半期の最高歩合は昨年度後半期に比較して證書貸付、年賦貸付とも二厘手形貸付、手形割引とも日歩五毛、當座貸越短期貸付とも日歩一厘のそれぞれ引き下げとなつた

空襲保險支拂規 定緩和

【六日】昨年一月より實施されてゐる財産及び物に關する戰爭保險、所謂空襲保險についてはさきに本年四月より保險料を半年三圓よ

り二圓に大中引下げを行つたが、大蔵省では今回更に同保險の普及徹底を期するため住家又は家財については保險金額二千圓以下のものにはこれを無制限に支拂ふ措置をとることに決定、更にまた

○被保險者が保險の目的物を修理若くは新築するため官廳などの證明書を受領したる場合○被保險者が保險の目的物につき事故發生の當時負擔してゐた債務の辨済の爲め必要な場合

などの如きは保險會社から一々當局に認可手續をとる必要なく、これを支拂はしむることとなつたが、勿論右以外の場合でも生産増充、生活の安定などの爲めに必要な保險金の支拂については認可の方針をとつてゐる

國營再保擴張十五日より實施

政府はさきに損害保險國營保險法に基く戰爭危險の擔保範圍の擴張を決定したが愈々右危險擔保範圍擴張に關する準備が整つたので来る十五日より實施することになつた

全國地方銀行主要動定

【廿二日】中小商工業の整備再編成、物資配給機構の確立、重要産業部門における各種統制機關の發足等による地方經濟の顯著な轉換を反映して最近の地方銀行動向にも注目すべき變化が現はれてゐる、すなはち地銀統制會調査による昭和十七年度末現在(本年三月末)の全國地方銀行主要勘定調によれば同年度中(十七年四月—十八年三月)にお

ける預金増加額は二十億三千三百萬圓と前年度預金増加額に比し四十四億圓の増加に止まつてゐるに對し本年度貸出増加額は五億五千五百萬圓と前年度増加額に比し九千五百萬圓を著増し、數年來の貸出伸縮み情勢は一轉するに至つた、此結果資金繰りの關係で社債投資増加額は三億三千萬圓と二億一千萬圓を著減し、資金運用面に一大變化を齎した、而してこれが因つては、○貸出の顯著な増勢は地方における織維、木材等統制機關の發足に伴ひ、これら機關が主として借入金によつて業務運営を圖る關係から運轉資金の需要が旺盛であつたこと○社債投資の増勢鈍化は預金増勢が足踏み状態にあるに對し貸出が著増した關係によること勿論であるが更に昭和十七年度にあつては金融統制會により増加預金の六割を目標とする國債の計畫消化が強力に推進され社債投資の餘力が相對的に減少したこと等が擧げられる、尙昭和十七年度中に於ける地方銀行の主要勘定の變化は左の如し(單位千圓△印減)

預金	二〇三、六四四	一九九、六六九	中増加額	四〇、〇〇三
貸出	五五、五五五	四〇、〇〇三	中増加額	一五、〇、〇五
有價證券	一、四七、二四	一、五〇、〇五	中増加額	二、七一一〇
國債	一、四一、三六	一、四五、一〇	中増加額	三、七三二
社債	三〇、八八	五四、九六	中増加額	二四、〇七六

公社債發行額五十一億圓

【二日】興銀調査「本年一月以降三月迄の第一四半期公債發行額は百五十四億、五十一億一千三百三十二萬三千圓にして前年同期比三十八口四

億五千七十三萬六千圓の減少に當る而して國債、地方債、債券を除く社債、滿支債發行額は九十六口、十二億七千二百九十七萬五千圓(内借換二口、三億九千五百五十萬圓)前年同口比口數五口増、金額五千八百六十萬圓増、前年同口比口數三十一口減、金額六億一千四百八十一萬三千圓減となつてゐる

工・鑛業

建築物臨時標準規格設定

一般

【二日】技術院では、かねて土木建築に關する戰時的規格制定に關し工業調査會が臨時委員會を設置し調査審議を急速に進めてゐたがこの程その大綱部分が制定せられ、建築物に關しては臨時日本標準規格の三四五號(建築物の構造種別選定の標準)同第三四六號(居住用建物)土木工作物の構造種別選定規程(土木工作物の構造種別選定規程)を一日附官報を以て公布即日施行した、本規格は今後築造せらるる工作物許可の規程となるべきものである、制定の目的が大東亞戰爭の現段階に即應し從來建設工業の面において消費せられてゐた相當莫大な量に達する鐵鋼、木材、セメント等の主要資材を平均約三割節約、これをより緊急なる生産業の面に振り向けんとすものである

△建築物の構造種別選定規程に關する臨時日本標準規格●技術院發表(三月卅一日)

本規格は時局に鑑み臨時的に制定したるものにして當分の内之に依るものとす

第一章 總則

第一條 本規格は統制物資就中鐵鋼の節約を圖る目的を以て建築物(其の他の工作物にして土木工作物に非ざるものを含む以下之に同じ)の設計に當りての構造種別選定の規程を制定したるものとす

第二條 建築物の構造種別は次の八種とす、①鐵骨鐵筋コンクリート構造、②鐵骨構造、③鐵骨鐵筋コンクリート構造、④鐵骨構造、⑤鐵骨鐵筋コンクリート構造、⑥石構造、⑦煉瓦構造、⑧コンクリート構造、⑨木構造

第二章 鐵鋼構造

第三條 本規格に於て鐵鋼構造とは前條第一號乃至第四號の構造を以て主要構造部を築造する構造を謂ふ

第四條 次の各號の一に該當する建築物にして第二條第五號乃至第八號の構造と爲すこと著しく困難なるものに限り之を鐵鋼構造と爲すものとす

一、附表に掲ぐる危險物の製造、貯藏又は處理の用に供する建築物又は建築物の部分

二、次の各號の一に該當するものを防護、收容又は支持する建築物又は建築物の部分、○其の破壊に因り當該業務に重大なる支障を來す虞あり又は重大なる災害を誘發する虞ある

もの、特に樞要なる施設にして復舊甚しく困難なるもの
三、次の各號の一に該當する建築物又は建築物の部分、(荷重著しく大なるもの、特に振動防止の要あるもの又は甚しく振動を受けるもの)著しく大なる高又は張間を必要とするもの
四、作業等の性質上高熱を受ける建築物又は建築物の部分
五、防空上緊要なる建築物又は建築物の部分
六、鐵鋼構造を爲すに非れば保安上其の他に重大なる支障を來す虞あるもの

附 表

火藥、爆藥、銃用貫包空包、銃用雷管、工業用雷管、鹽素酸鹽類、過鹽素酸鹽類、硝酸鹽類、黃燐、赤燐、硫化燐、金屬カリウム、金屬ナトリウム、キシロール、ピクリン酸、トリクリン酸鹽類、テレピン酸、第一種石油、第二種石油、第三種石油、燐寸、セルロイド、壓縮ガス、液體ガス、石炭ガス、可燃性ガス、カーバイト、マグネシウム、過酸化水素水、過酸化カリ、過酸化ソーダ、過酸化バリウム、二硫化炭素、メタノール、アルコール、エーテル、アセトン、錯酸エステル、ニトロセルロース、ベンゾール、トルオール

工作物築造統制規則公布

【一日】 物資統制の見地よりする建築場其の他の工作場の築造統制は從來臨時措置法に基く鐵鋼工作物築造許可規則及木造建築物築造統制規則により實施せられて來たが刻下の事態

に鑑み統制を強化徹底する必要があるので商工省では今回右の二規則に代へ新たに物資統制に基く工作物築造統制規則(省令)を制定四月一日附を以て公布即日施行した、其骨子は次の如し、尤も木造等の普通住宅の築造に關しては國民生活確保の見地から床面積五〇平方米(約一五坪)以下のものは許可を要せずして建築が出來、五〇乃至八〇平方米(約十五乃至約二四坪)のものは地方長官の許可を受けた上建築させることになつて居る、八〇平方米を超えるものは眞に已むを得ない場合の外は建築出來ない

尙國民生活の簡素實用化を期する見地から普通住宅等の新築に付ては臨時日本標準規格を採用強制し之がため床面積八〇平方米以下の普通住宅に付ては右に述べた所に依り許可を要せずして建築するものも許可を受けて建築するものも、規格に依らねばならないこととなつてゐる

△工作物築造統制規則
第一條 物資統制令に依る工作物の築造(新築、増築、改築、移轉、修繕又は變更を謂ふ以下同じ)の統制に付ては本則の定むる所に依る
第二條 工作物は商工大臣の指定したる鐵鋼を材料として使用して之を築造することを得ず但し左に掲ぐる場合は此の限に在らず、
①商工大臣築造を統制するの要なしとして指定したる場合、
②商工大臣が緊要工作物として指定したるもの築造に付ては地方長官の許可を受けたる場合

第三條 前條に規定する場合を除く外工作物を築造せんとする者は地方長官の許可を受くべし但し商工大臣築造を統制するの要なしとして指定したる場合は此の限に在らず、前項の許可の申請は商工大臣不急の築造として指定したる場合に於ては之を爲すことを得ず
第四條 商工大臣又は地方長官は第二條第二號、又は前條第一項の許可(以下築造許可と稱す)に條件を附することを得
第五條 築造許可を受けんとする者は左に掲ぐる事項を記載したる許可申請書を商工大臣又は地方長官に提出すべし、
①工作物の位置、
②敷地の面積、
③工作物の用途、
④築造を必要とする事由、
⑤工作物の規模及構造、
⑥設計及工事計畫の概要(配置圖、平面圖及資材の使用場所を明示したる圖面を添付すべし)、
⑦資材の使途別品種別所要數量、
⑧工事費、
⑨工事着手及完了の豫定時期、
⑩工事請負人あるときは其の氏名名稱及住所、前項の許可申請書の提出ありたる場合に於て商工大臣又は地方長官必要ありと認むるときは前項各號に掲ぐる事項以外の事項を記載したる書面を提出せしむることを得、第一項第六號及第七號の資材は商工大臣之を指定す
第六條 築造許可を受けたる者工事完了前前條第一項第一號、第三號又は第五號乃至第七號に掲ぐる事項を變更せんとするときは其の事由を具し當該築造許可を爲したる行政官廳の許可を受くべし
第七條 築造許可を受けたる者工事完了し又は廢罷したるときは遲滞なく之を當該築造許可を爲したる行政官廳に届出づべし
第八條 築造許可を受けたる者正當

の事由なくして第五條第一項の許可申請書に記載したる工事着手及完了の豫定時期迄に工事に著手せず又は工事を完了せざるときは商工大臣又は地方長官は當該築造許可を取消すことを得
第九條 築造許可を受け工作物を築造したる者又は當該工作物の承繼人は當該工作物を第五條第一項の許可申請書に記載したる用途以外の用途に供することを不得ず但し當該築造許可を爲したる行政官廳の許可を受けたる場合は此の限に在らず
第十條 商工大臣又は地方長官は本則に基きて爲す處分に違反して工作物を築造したる者に對し當該工作物の除却、改築若し變更を命じ又は其の使用を制限若し禁止することを得
第十一條 商工大臣工作物の築造に付其の規格を指定したる場合に於ては當該工作物は當該規格に依るに非ざれば之を築造することを不得ず前項の規定は商工大臣前項の規定に依り規格を指定したる際現に築造工事中の工作物には之を適用せず
第十二條 地方長官必要ありと認むるときは工作物の築造主又は工事請負人より必要なる報告を徴し又は當該官吏をして事務所、作業場其の他の場所に臨檢し工事の狀況若しは工作物、書類、帳簿等を檢査せしむることを得
第十三條 物資統制令第二十號第二項の證票は別記様式に依る
第十四條 本則の規定に依り商工大臣に提出すべき書類は地方長官を経由すべし
第十五條 本則に於て地方長官とは東京府に在りては警視總監とす

【附則】
第十六條 本則は公布の日より之を施行す
第十七條 鐵鋼工作物築造許可規則及木造建築物築造統制規則は之を廢止す
第十八—二十四條略

總動員試驗研究命令 發動

【二十八日】 政府は支那事變以降に於ける工業生産の飛躍的増大に對處し、これに伴ふ製造技術の向上製品品質の改善を圖るため國家總動員員上必要な各般の試驗研究を命じ戦力物資の自給を圖つてきたが、今回商工省關係として總動員試驗研究命令二十三件(昭和十七年度分)を發令することとなり、二十八日商相官邸に命令傳達式を舉行、岸相より受命會社代表者二十一名に對し命令書を傳達するとともに、推名商工次官より激勵の訓示を行ひ同四時半散會した、今回の研究命令は機械局關係十八件、化學局關係三件、燃料局關係二件であるが、その内容は外國製品に劣らざる國產工作機械、光學機械等の製作、南方餘剩資源たる生ゴム等の活用による潤滑油の製造、大豆の完全利用によるブタノールその他化學藥品の製造等である、受命會社左の如し
東洋レリオン、三井化學、島津製作所、東京芝浦電氣、小松製作所、大阪機械製作所、日本精工、東洋ベアリング、不二越鋼材、芝浦工作機械山口精機、日本研磨機工作所、理研工業、三井精機、汽車製造、東亞燃料、杉山産業研究所、帝國燃料興業日本化成、住友通信工學、大倉電氣研究所

經聯協力工場整備等を建議

【十日】日本經濟聯盟會ではかねて産業能率増進委員會において企業内...

日商戰力増強衣料確保対策建議

【十四日】日本商工會議所では戦局の現段階に對應し、かねて時局對策委員會において戰力増強ならびに國民衣料確保對策に關する調査研究を進めてゐたが、十四日の委員會で...



機械 金屬 金鑛業整備 備方針發

【九日】政府は最近における交易基調の變化に伴ひ金の重要度は比較的減少するに至つたので本邦金山の一...

を擧げて銅、鐵等の緊要鑛山へ流用することに決定、九日、商工、大藏兩省より金鑛業整備に關する方針要旨並びに兩省共同當局談を發表した...

ある、然るに我國經濟は今や全く對外依存を脱却せる結果國際貸借洩濟手段たる金の需要量には自ら一定の限度が與へらるるに至つたと同時に他面戰局の進展に伴ひ銅、鉛、亜鉛、水銀、鐵、滿俺等緊要鑛物の増産は愈々緊要の度を加ふるに至つた...

▲金鑛業整備の勞務對策 金鑛業の整備に關し厚生省では右に伴ふ從業者の配置轉換に關する基本方針を左の如く決定、九日發表した...

る、最近小石炭山の整理をすることなつたが右に依る離職從業者は極めて少數であるがこれが取扱は金鑛山整理の場合と同様である...

第二 要領 ①金鑛山中左に該當するものに限り其の稼行を繼續せしむることとし其の他は全部之を休止又は廢止せしむること、②銅製鍊上絶對必要な硫酸鑛として銅乾式製鍊所に送鑛する鑛山、③金に隨伴して相當量の銅、鉛、亜鉛、アンチモニー等を産出する鑛山、④に依り休廢止すべき金鑛山に對しては帝國鑛業開發株式會社にして其の鑛區坑道、土地、建物、設備等の鑛業用資産を引取らしむること、⑤整理に因りて生じたる資材設備は各般の措置に依り確保し之を計畫的に銅其の他の緊要鑛山に轉用すること、⑥整理に因りて生じたる勞務者は極力之を計畫的に銅山其の他の緊要鑛山又は炭鑛へ移駐し其の技能經驗の活用を圖る...

▲商工、大藏當局談(金鑛業の整備に關する件) ①金に關しては其の國際貸借洩濟手段としての重要性に鑑み支那事變勃發以來之が増産獎勵の爲凡ゆる施策を講じたのであるが業界に於ても其の使命の重大性を認識して専念増産に邁進しよく其の重責を完うし來つたことは誠に感謝に堪へざる次第である、然るに我國經濟は今や全く對外依存を脱却せる結果國際貸借洩濟手段たる金の需要量には自ら一定の限度が與へらるるに至つたと同時に他面戰局の進展に伴ひ銅、鉛、亜鉛、水銀、鐵、滿俺等緊要鑛物の増産は愈々緊要の度を加ふるに至つた...

▲金鑛業整備の勞務對策 金鑛業の整備に關し厚生省では右に伴ふ從業者の配置轉換に關する基本方針を左の如く決定、九日發表した...

▲金買上制度、獎勵金支給は存續 【九日】金鑛業整備方針は九日別項の如く發表されたが、國內外消費及び將來における共榮圖外との決濟としての金の用途を考慮すれば、依然相當量の確保を必要とされるので大藏省としては今後金買上制度は從來通り存續せしめるとともに産金獎勵金の支給に關しても従前の方針を踏襲する方針である

▲商工、大藏當局談(金鑛業の整備に關する件) ①金に關しては其の國際貸借洩濟手段としての重要性に鑑み支那事變勃發以來之が増産獎勵の爲凡ゆる施策を講じたのであるが業界に於ても其の使命の重大性を認識して専念増産に邁進しよく其の重責を完うし來つたことは誠に感謝に堪へざる次第である、然るに我國經濟は今や全く對外依存を脱却せる結果國際貸借洩濟手段たる金の需要量には自ら一定の限度が與へらるるに至つたと同時に他面戰局の進展に伴ひ銅、鉛、亜鉛、水銀、鐵、滿俺等緊要鑛物の増産は愈々緊要の度を加ふるに至つた...

▲商工、大藏當局談(金鑛業の整備に關する件) ①金に關しては其の國際貸借洩濟手段としての重要性に鑑み支那事變勃發以來之が増産獎勵の爲凡ゆる施策を講じたのであるが業界に於ても其の使命の重大性を認識して専念増産に邁進しよく其の重責を完うし來つたことは誠に感謝に堪へざる次第である、然るに我國經濟は今や全く對外依存を脱却せる結果國際貸借洩濟手段たる金の需要量には自ら一定の限度が與へらるるに至つたと同時に他面戰局の進展に伴ひ銅、鉛、亜鉛、水銀、鐵、滿俺等緊要鑛物の増産は愈々緊要の度を加ふるに至つた...

▲商工、大藏當局談(金鑛業の整備に關する件) ①金に關しては其の國際貸借洩濟手段としての重要性に鑑み支那事變勃發以來之が増産獎勵の爲凡ゆる施策を講じたのであるが業界に於ても其の使命の重大性を認識して専念増産に邁進しよく其の重責を完うし來つたことは誠に感謝に堪へざる次第である、然るに我國經濟は今や全く對外依存を脱却せる結果國際貸借洩濟手段たる金の需要量には自ら一定の限度が與へらるるに至つたと同時に他面戰局の進展に伴ひ銅、鉛、亜鉛、水銀、鐵、滿俺等緊要鑛物の増産は愈々緊要の度を加ふるに至つた...

▲商工、大藏當局談(金鑛業の整備に關する件) ①金に關しては其の國際貸借洩濟手段としての重要性に鑑み支那事變勃發以來之が増産獎勵の爲凡ゆる施策を講じたのであるが業界に於ても其の使命の重大性を認識して専念増産に邁進しよく其の重責を完うし來つたことは誠に感謝に堪へざる次第である、然るに我國經濟は今や全く對外依存を脱却せる結果國際貸借洩濟手段たる金の需要量には自ら一定の限度が與へらるるに至つたと同時に他面戰局の進展に伴ひ銅、鉛、亜鉛、水銀、鐵、滿俺等緊要鑛物の増産は愈々緊要の度を加ふるに至つた...

▲商工、大藏當局談(金鑛業の整備に關する件) ①金に關しては其の國際貸借洩濟手段としての重要性に鑑み支那事變勃發以來之が増産獎勵の爲凡ゆる施策を講じたのであるが業界に於ても其の使命の重大性を認識して専念増産に邁進しよく其の重責を完うし來つたことは誠に感謝に堪へざる次第である、然るに我國經濟は今や全く對外依存を脱却せる結果國際貸借洩濟手段たる金の需要量には自ら一定の限度が與へらるるに至つたと同時に他面戰局の進展に伴ひ銅、鉛、亜鉛、水銀、鐵、滿俺等緊要鑛物の増産は愈々緊要の度を加ふるに至つた...

▲商工、大藏當局談(金鑛業の整備に關する件) ①金に關しては其の國際貸借洩濟手段としての重要性に鑑み支那事變勃發以來之が増産獎勵の爲凡ゆる施策を講じたのであるが業界に於ても其の使命の重大性を認識して専念増産に邁進しよく其の重責を完うし來つたことは誠に感謝に堪へざる次第である、然るに我國經濟は今や全く對外依存を脱却せる結果國際貸借洩濟手段たる金の需要量には自ら一定の限度が與へらるるに至つたと同時に他面戰局の進展に伴ひ銅、鉛、亜鉛、水銀、鐵、滿俺等緊要鑛物の増産は愈々緊要の度を加ふるに至つた...

▲商工、大藏當局談(金鑛業の整備に關する件) ①金に關しては其の國際貸借洩濟手段としての重要性に鑑み支那事變勃發以來之が増産獎勵の爲凡ゆる施策を講じたのであるが業界に於ても其の使命の重大性を認識して専念増産に邁進しよく其の重責を完うし來つたことは誠に感謝に堪へざる次第である、然るに我國經濟は今や全く對外依存を脱却せる結果國際貸借洩濟手段たる金の需要量には自ら一定の限度が與へらるるに至つたと同時に他面戰局の進展に伴ひ銅、鉛、亜鉛、水銀、鐵、滿俺等緊要鑛物の増産は愈々緊要の度を加ふるに至つた...

▲商工、大藏當局談(金鑛業の整備に關する件) ①金に關しては其の國際貸借洩濟手段としての重要性に鑑み支那事變勃發以來之が増産獎勵の爲凡ゆる施策を講じたのであるが業界に於ても其の使命の重大性を認識して専念増産に邁進しよく其の重責を完うし來つたことは誠に感謝に堪へざる次第である、然るに我國經濟は今や全く對外依存を脱却せる結果國際貸借洩濟手段たる金の需要量には自ら一定の限度が與へらるるに至つたと同時に他面戰局の進展に伴ひ銅、鉛、亜鉛、水銀、鐵、滿俺等緊要鑛物の増産は愈々緊要の度を加ふるに至つた...

鐵、石炭、輕金屬増産 十三社に感謝狀

【二十六日】政府は決戦連続の重要段階に對處し鐵鋼、輕金屬および石炭の緊急三物資につき昨秋以來夫々非常對策を講じて鋭意生産増強を推進してきたが、民間業者もまた政府の施策に協力してあらゆる努力を傾注した結果、昭和十七年下期における生産実績は三物資とも當初の生産目標を突破する輝しい成績を収めるに至つたので二十六日商相官邸において鐵鋼、輕金屬關係會社中左の十三社に對し商相より増産感謝状を授與した

△鐵鋼關係 日本製鐵、日本鋼管、川崎重工業、神戸製鐵、住友金屬工業、尼ヶ崎製鐵
△輕金屬關係 日本曹達、日本輕金屬、日滿アルミ、日本アルミ、昭和電工、住友アルミ、住友化學工業

鑛業原價計算制度實現

【九日】政府は重要産業の經營合理化を圖り、併せて調辨價格の適正を期するため製造工業原價計算制度の整備に次で更に鑛業に就いてもこれと同様原價計算要綱を制定すべく研究中のところ、この程成案を得たので四月九日附閣令、陸海軍省令を以て原價計算規則の改正を公布、即日實施した、本要綱の内容は「製造工業原價計算要綱」と大體同様で、ただ鑛業に適應するやうな字句及び計算方法の一部を變更した向ほ原價計算上原價に算入すべき原價償却の計算方法に關しては昨年九月公布された會社固定資産償却規則と歩調を合せるため、今回原價計算規則第四條ノ二項が追加せられた

鑛業獎勵規則制定

【二日】商工省では地下資源開發を促進するため産金獎勵、採鑛獎勵金交付、撰鑛場設置獎勵各規則及び鑛山機械化獎勵規則等を定め獎勵金を充てたが、民間業者もまた政府の施策に協力してあらゆる努力を傾注した結果、昭和十七年下期における生産実績は三物資とも當初の生産目標を突破する輝しい成績を収めるに至つたので二十六日商相官邸において鐵鋼、輕金屬關係會社中左の十三社に對し商相より増産感謝状を授與した

促進するため産金獎勵、採鑛獎勵金交付、撰鑛場設置獎勵各規則及び鑛山機械化獎勵規則等を定め獎勵金を充てたが、民間業者もまた政府の施策に協力してあらゆる努力を傾注した結果、昭和十七年下期における生産実績は三物資とも當初の生産目標を突破する輝しい成績を収めるに至つたので二十六日商相官邸において鐵鋼、輕金屬關係會社中左の十三社に對し商相より増産感謝状を授與した

發表した、炭礦整理實施要綱は左の通りである
一、石炭統制會(以下單に統制會と稱す)は政府指導の下に政府に於いて決定せる炭礦の整理實施に當るものとすること
右の場合統制會は統制組合(以下單に組合と稱す)をして斡旋の衝に當らしむるものとすること
二、整理すべき炭礦は左の分類によりこれを分つものとすること
①日本石炭株式會社(以下單に日本石炭と稱す)をして鑛業權及び事業設備を引取らしめ補償を爲さしむべき炭礦(以下單に要補償炭礦と稱す)
②日本石炭をして引取らしめずして單に事業の休止を爲さしむる炭礦(以下單に休業炭礦と稱す)
三、前項の補償に要すべき經費は政府、統制會及び日本石炭に於いて之を負擔するものとすること
四、統制會は別に定むる評價方法基準に基き豫算額の範圍内に於いて要補償炭礦の評價を爲し政府の承認を申請するものとすること
五、政府は前項の評價申請ありたるときは評價委員會に諮り評價を決定するものとすること
六、統制會は要補償炭礦に對しては石炭統制會統制規程(以下單に統制規程と稱す)第十二條の規定に依りその鑛業權の讓渡を承認せざるものとす同第十三條の規定に依りその事業設備及び作業用品その他の事業用品一切を統制會長の指定する者以外者に讓渡することを禁ずるものとす
七、要補償炭礦の鑛業權及事業設備に付ては統制會は政府の決定したる評價額の範圍内に於いて其補償額を引取らしむるものとすること但し鑛業權に付ては必要に應じ日本石炭をして引取らしめず單に事業の廢止又は休止を爲さしむる場合あること
八、日本石炭は事業主が鑛業權の移轉登録登記又は事業の廢止若くは休業に必要なる手續其他當該炭礦の事業に附隨する權利の移轉登録登記を完了したる後遅滞なく當該補償額の支拂を爲すものとすること
九、要補償炭礦が擔保權の目的たる場合又は鑛害賠償債務を負擔する場合に於いては日本石炭は事業主が當該擔保權又は鑛害賠償債務を處理したる上前項手續を完了したる後遅滞なく當該補償額を支拂ふものとすること
十、前項の場合に於いて日本石炭は事業主に支拂ふべき補償額の内より債務相等額を事業主に代り直接債權者に支拂ひたる上當該擔保權又は鑛害賠償債務を處理しその殘額を事業主に支拂ふことを得るものとすること
十一、日本石炭は必要に應じ事業主に支拂ふべき補償額の内より從業員に對する未拂賃金又は退職手当相當額を事業主に代り直接從業員に支拂ひたる上其殘額を事業主に支拂ふことを得るものとすること
十二、前四項の場合に於いては事業主に讓渡前事由に基く一切の瑕疵に付きその責に任ずべき旨の書面及び鑛害賠償債務を處理したることを證明すべき書類を日本石炭に提出することを要するものとすること

日鐵小型熔鑛爐竣工
鐵鋼増産の重要性に鑑み臺灣、朝鮮、滿洲、北支等の各地に相當多數の小型熔鑛爐建設が進められ、そのうち日鐵の朝鮮兼二浦および北支石景山における二基はこのほど早くも竣工最初の小型爐として火入れ式を行つたがその後の出銑狀況は極めて好成績で、豫期以上の成果をあげてゐる
マンガン増産に獎勵金
商工省では國內滿備鐵資源の徹底的開發によりこれが飛躍的増産を圖るため一定量を超え且つ一定品位を維持して滿備鐵を増産した鑛業權者に對し各鑛山毎に増産獎勵金を交付することとなり帝國滿備クロム株式會社の作成した滿備鐵増産獎勵金交付規程を三十日附を以て認可した、交付金額は適當最低八圓より最高廿五圓となつてゐる
織
【二十六日】最近の織維資源の需給狀況に鑑み衣服の生産並に配給に關しては重點主義をとるとして、一、超重點生産衣料品並にその適性用布
一、戰時衣料簡素化
二、問題につき協議の結果具體的答申案を決定した、而して超重點生産衣料品並にその適性用布については超重點生産衣料品として農山漁村

別なる状況の變化なき限り之を爲さざることを米穀の實質上の政府買入價格引上に依る農家収入の増加は努めて之を貯蓄に振向けしむる様措置すること

右施策に即應し夫々米價の改訂等の對策を講ずる方針を以て目下之が具體的内容に付考究中である、從つて生産者たる農家各位は愈々米價の増産及供出に挺身すると共に消費者たる國民各位は戰時生活の眞髓に徹し進んでその清新簡素化に努め、以て政府の意圖に協力せられんことを切望して已まない次第である

井野農相放送 井野農相は右に關し「米價の決定に際して」と題して同日午後七時半より全國に放送した、放送要旨次の如し

大東亞戰爭に勝ち抜く爲には主要食糧は如何しても國內で自給し決戦下一般の船でも作戦と生産力擴充の爲に振向けて外米輸入は極力之を節約する様に努むることが皇國農民の責務であり又誇である、工場や鑛山の勞銀と較べて農村勞力の評價が、安

米價に較べて青果物が高い爲に、同じ農村に働く人々の中にも不平が起り、又資材の横流れもあり増産に一

式検査制度を廢し、原則として重量検査制度一本とし例外として容量検査を認めたと、○銘柄間格差の幅を縮小し、質より量に重點が置いたこと、○單俵の場合の控除價格は、從來の廿二錢から四十五錢に引上げたこと

かくて假に茨城三等支米を例にとれば、正味六十疋當りの前年價格十七圓六十五錢に對し本年價格は十八圓七十七錢と一圓十二錢方の増額となつたことを石當りに換算すれば二圓八十錢の引上げとなる

【六月】 決戦食糧の絶対的確保の見地から注視されてゐた昭和十七年産米の實收高は六月農林省より左の如く發表された

銘柄等級別新米價格決定 三十日 過般昭和十八年産米に對する政府買入標準價格は石當り三圓上げの四十七圓と決定されたが、これに伴ふ銘柄等級別の本年度政府買入價格は今農林省において指定、廿日告示された、舊價格に比較して新買入價格の特異點は

從來採用して來た容量、重量別複

を遂げつつありたり、偶々八月下旬は第二回豫想に比し五十八萬五千六百八十九石(九厘)の減少を示すに至れり、尙參考の爲最近五箇年間に於ける作付面積及實收高を掲ぐれば左の如し

昭和十七年米實收高(單位石) 増 減 (△は減)

Table with columns: 實收高, 第二回豫想, 前年實收高, 均實收高. Rows: 總, 北, 青, 岩, 宮, 秋, 山, 福, 茨, 群, 檜, 東, 神, 新.

Table with columns: 實收高, 第二回豫想, 前年實收高, 均實收高. Rows: 總, 北, 青, 岩, 宮, 秋, 山, 福, 茨, 群, 檜, 東, 神, 新.

Table with columns: 實收高, 第二回豫想, 前年實收高, 均實收高. Rows: 總, 北, 青, 岩, 宮, 秋, 山, 福, 茨, 群, 檜, 東, 神, 新.

區北	區陸北	區山東	區海東	區近畿	區畿	區中	區國	區四	區九	區州
富	石	山	岐	滋	大	京	兵	奈	和	島
山	川	山	野	賀	阪	都	車	良	歌	島
富	石	山	岐	滋	大	京	兵	奈	和	島
山	川	山	野	賀	阪	都	車	良	歌	島

富	石	山	岐	滋	大	京	兵	奈	和	島	島	山	廣	德	山	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖		
1,280,531	1,186,400	1,089,216	747,110	1,700,316	1,455,833	1,557,837	876,990	2,251,265	674,330	655,011	691,426	1,857,700	1,011,425	2,011,425	977,737	977,737	518,333	1,155,333	1,300,000	580,533	1,690,533	1,690,533	1,007,333	1,007,333	1,111,933	1,111,933		
2,771	50	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	7,316	
500,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000

玄米銘柄を一縣一銘柄に整理

【十八日】農林省では、玄米の銘柄及び等級の中、滋賀縣の湖北三等、京都府の丹後三等、大阪府の攝津三等、兵庫縣の淡路三等、但馬三等、熊本縣の城東三等を廢止し、山形縣の庄内三等、村山三等を山形三等に岡山縣の兩備三等、美作三等を岡山三等にそれぞれ改めて從來の一縣に於ける數銘柄を一縣一銘柄に整理することに決定、十九日附官報をもつて告示することとなつた、これによ

標準農村設定要綱

【七月】食糧と民族の基地、農村の健全化を圖るべき皇國農村確立促進運動は第八十一議會で七百五十二萬圓の豫算承認を得たので、農林省ではこれが具體化を圖る爲め、七日農相官邸に農林計畫委員會農村村部會（農村村部會は今同新設）を招集諮問事項「皇國農村確立促進の爲にする標準農村設定に關する方針につき意見を諮ふ」を附議、慎重審議の結果次の如き標準農村設定要綱を可決答申した

一、標準農村設定方針 標準農村の設定は逐次に擴大するものとし、年々全國に亘り適當數の農村を指定し、當該村に於て人口及食糧政策上の國的要請に即應する如き農村の建設を企畫實行せしめんとするものにして一面之に依り當該地方に於ける農村確立の促進に資せんとす、即ち標準農村に於ては農業立地の具體的條件に即し耕種、養畜、養蠶、農産加工等を通じ適正なる農業經營の確立し、農村生産力を擴充すると共に適當なる自給部面を確保し保健衛生施設等の普及徹底と相俟ち農家生活を健全明瞭ならしめ農民をして農業に専念せしむる爲各農家の農業經營及部落全體を通じて農業組織に亘り自作農創設、土地及水利の改良、各種共同施設、分村等諸般の事項に付當該地方の實情に即し綜合計畫を樹立實行せしめ一方附近農村をして右計畫樹立實行の實績を自村に於ける建設事業の參考と爲さしめ標準農村設定の擴大に伴ひ順次當該地方に於ける農村建設の進歩を圖らんとす

二、標準農村に於ける建設の目標 皇國農村確立の根本は畢竟する所叙上の國家的要請に照應する如く適正なる農業經營を爲し毅然として永く農業に精進する農家の維持育成に存するものにして標準農村に於ける建設の目標は右の如き適正經營農家が當該村に於ける農業上の中該となり且調和せる農村を確立するに在り、而して適正經營農家は各地方の立地條件に則して定まるべきものなるが概ね左の如き要永に依るものなりとす（一）事業自作經營なること（二）經營の基本を健全なる構成の家族努力に置くこと（三）農地の規模が當該地方の立地條件に即し適當なること（四）原則として主要食糧の生産を根幹とし家畜飼養を伴ふ經營なること（五）農業技術高度にして生産能率の大なること（六）適度の自給經濟に依り簡素なるも充實せる生活を爲し農村に即せる固有の文化を培養し得る如き餘裕あるものなること（七）國家要請に即應するを經營の根本理念とし農業の國家的眞義に徹し農家として永續して農業に専念すること

三、標準農村に於ける建設計畫 標準農村に於ては右目標の達成を期し當該村の實情に即し概ね左の事項を考慮し綜合的建設計畫を樹立するものとす（一）部落構成に於ける適正經營農家の目標戸數に關する事項（二）自作農創設に關する事項（三）農地の交換分合及小作關係の調整に關する事項（四）土地及水利の改良に關する事項（五）勞力調整に關する事項（六）共同施設の整備に關する事項（七）負債整理、貯蓄増強、厚生施設其の他農村生活の安定に關する事項（八）分村計畫に關する事項

四、標準農村に於ける計畫の樹立實行方法 標準農村に於ける計畫の樹立實行には農民の創意を尊重し中堅農家の旺盛なる推進力を活用し飽く迄も當該村農民の熱意に基づく自主的活動に依るを本旨とし計畫の樹立に付ては當該村經濟更生委員會之に當るものとし同委員會に建設計畫部長には建設事業の實際上の中心人

標準農村設定要綱

大東亞建設に伴ふ人口及民族政策の根本方針に則り農民をして眞に大和民族培養の源泉たるの實を發揚せしむると共に日滿を通ずる主要食糧自給力の充實確保を實現する爲農民が矜持を以て農業に其の全力を注ぎ十分なる創意を發揮し其の進展に寄與すべき健全なる農村を確立し得る如き農業組織を建設するは皇國の悠久なる發展を確保する根柢なり然る處急激なる時勢の變轉に際し農業部面に於ける狀勢の變化は皇國農業及農民の維持培養上不可測の障害を生ずるのをそれあるを以て速に叙上の趣旨に基き皇國農村の確立を期し大東亞建設に伴ふ一般經濟事情の趣向に鑑み基本制度の樹立を進捗すると共にに差當り自作農創設事業の擴充及修鍊農場組織の整備と相俟ち本要綱に依り標準農村設定の方策を講じ以て農村確立の促進を圖らんとす

物を以て之に充て且村内各部落の代表的中堅農家を右部に参加せしむる等村内の建設的意圖を結果し得る如く適當なる措置を講ずることとし計畫の實行に付ては關係機關協力して之に當り建設計畫部との緊密なる連絡の下に圓滑なる遂行を圖るものとす、而して國及道府縣、民間團體の協力求め當該村の自主的計畫の樹立實行を育成助長する趣旨を以て綜合的指導を爲し助成金交付等の助成

の様に留意し助成金交付等の助成措置は優先的に之を實行するものとす、尙中心人物が安んじて本事業に専念し得る如き措置を講ずると共に中堅農家の活動を促進する爲重要な講習修練等の施設を行ひ以て事業遂行の促進を圖るものとす

五、標準農村の選定 標準農村の設定は特別の條件を具ふる農村のみを對象とせず逐次之を擴大するものなるが差當り昭和十八年度に於ては三百村を指定する關係上各道府縣毎に農民が農村建設に對し積極的な熱意を有し事業完遂の意圖強固にして本事業實行の推進力たるべき指導的中心人物の存在する農村中より適當の農村を選定するものとす、而して標準農村の指定は道府縣の推薦する候補村の中より農林省に於て之を爲すものとす

持計畫を擴充するため從來の計畫を改訂することとなり、過般來農地審議會に諮問しつゝあつたところ、十日第二回特別委員會を開催、第一回特別委員會における各種意見を綜合して作成せる當局案を基礎とし審議の結果別項の如き自作農創設維持事業整備擴充要綱を決定すると共に更に目的達成に萬全を期すべき旨の附帶決議を可決した

和十六年八月一日現在)の計數を集中して概ね從來通の方法に依り融通するものとする(一)資金融通経路(1)産業組合中央金庫は産業債券の發行又は借入金形式に依り預金部資金の融通を受け産業組合に若しは産業組合及農事實行組合に又組合を經由して個人に貸付するものとする(2)日本勸業銀行、農工銀行又は北海道拓殖銀行は勸業債券、農工債券又は北海道拓殖債券の發行又は借入金形式に依り預金部資金の融通を受け農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資金融通機關右の通知を受けたとき、資

自作農創設維持事業擴充要綱

第一 自作農創設維持事業の實施方針

(一)創設又は維持せんとする農家農家の眞義に徹し永く農業に精進し得る見込あるものを對象とする

の修正を加へた、従つて右の各項につき従前の諸統計と比較對照し正確な推移を知り得ない憾があるが、新調査方法により事變下農村の實態を始めて正確に把握し得るものとして注目される、而して新調査による結論として注目すべき點は、(一)新定

第二 自作農創設維持事業の内容

從來の自作農創設維持事業の外事業の範圍を左の如く擴張せんとす(一)自作地となすべき土地の取得又ははに要する資金貸付の斡旋を爲すこと(二)開墾地に於て自作地を爲すべき土地の利用に必要なる施設(移住家屋、共同建造物等)の取得又は建設に付てに要する資金の貸付若しは其の斡旋又は助成を爲すこと(三)借替を爲さんとす(四)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第三 政府資金融通の機構

融通する政府資金は從來之を道府縣に關する政府資金は市町村は、産業組合若しは農事實行組合に又は此等の團體を經由して個人に融通し來りたるが今後は日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行及産業組合中央金庫をして行政官廳の指導監督の下に之が融通の衝に當らしむるを原則とし特別の事情ある場合に於ては道府縣

第四 農事實行組合の組織

農事實行組合は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第五 農事實行組合の指導

農事實行組合の指導は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第六 農事實行組合の整備

農事實行組合の整備は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第七 農事實行組合の調査

農事實行組合の調査は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第八 農事實行組合の奨励

農事實行組合の奨励は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第九 農事實行組合の育成

農事實行組合の育成は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第十 農事實行組合の普及

農事實行組合の普及は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第十一 農事實行組合の維持

農事實行組合の維持は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第十二 農事實行組合の発展

農事實行組合の発展は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第十三 農事實行組合の強化

農事實行組合の強化は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第十四 農事實行組合の振興

農事實行組合の振興は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第十五 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第十六 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第十七 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第十八 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第十九 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第二十 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第二十一 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第二十二 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第二十三 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第二十四 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第二十五 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第二十六 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第二十七 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第二十八 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第二十九 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第三十 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第三十一 農事實行組合の増進

農事實行組合の増進は農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

自作農創設維持事業擴充決定

【十日】政府は剛健なる大和民族を培養すると共に主要食糧の自給を確保するため、本年度を基點として皇國農村確立運動を展開することとなつてゐるが、農林省ではこれが基幹をなすべき適正經營自作農の創設維

持計畫を擴充するため從來の計畫を改訂することとなり、過般來農地審議會に諮問しつゝあつたところ、十日第二回特別委員會を開催、第一回特別委員會における各種意見を綜合して作成せる當局案を基礎とし審議の結果別項の如き自作農創設維持事業整備擴充要綱を決定すると共に更に目的達成に萬全を期すべき旨の附帶決議を可決した

第一 自作農創設維持事業の實施方針 (一)創設又は維持せんとする農家農家の眞義に徹し永く農業に精進し得る見込あるものを對象とする (二)開墾地に於て自作地を爲すべき土地の利用に必要なる施設(移住家屋、共同建造物等)の取得又は建設に付てに要する資金の貸付若しは其の斡旋又は助成を爲すこと (三)借替を爲さんとす (四)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第二 自作農創設維持事業の内容 從來の自作農創設維持事業の外事業の範圍を左の如く擴張せんとす (一)自作地となすべき土地の取得又ははに要する資金貸付の斡旋を爲すこと (二)開墾地に於て自作地を爲すべき土地の利用に必要なる施設(移住家屋、共同建造物等)の取得又は建設に付てに要する資金の貸付若しは其の斡旋又は助成を爲すこと (三)借替を爲さんとす (四)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

第三 政府資金融通の機構 融通する政府資金は從來之を道府縣に關する政府資金は市町村は、産業組合若しは農事實行組合に又は此等の團體を經由して個人に融通し來りたるが今後は日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行及産業組合中央金庫をして行政官廳の指導監督の下に之が融通の衝に當らしむるを原則とし特別の事情ある場合に於ては道府縣

農村實態調査成る

【八日】農林省では戦時下農林水産の生産力を明にし、物動計畫その他農林行政上の基礎資料たらしむるため、從來の不備な農事統計を廢止し新たに農林水産業調査規則を制定毎年八月一日並に二月一日現在の二回に亘り農林水産業の實態を調査することとなり、これが第一回調査(昭

和十六年八月一日現在)の計數を集中して概ね從來通の方法に依り融通するものとする(一)資金融通経路(1)産業組合中央金庫は産業債券の發行又は借入金形式に依り預金部資金の融通を受け産業組合に若しは産業組合及農事實行組合に又組合を經由して個人に貸付するものとする(2)日本勸業銀行、農工銀行又は北海道拓殖銀行は勸業債券、農工債券又は北海道拓殖債券の發行又は借入金形式に依り預金部資金の融通を受け農事實行組合に又は農事實行組合を經由し若しは直接個人に貸付するものとする(三)資金貸付手續(1)資金の借入を爲さんとす(2)地方長官は前借借入先宛申込書に基き資金供給を決定し之を資金融通機關に通知すること、資

結論として注目すべき點は、(一)新定八千八百二十六戸で、うち「土地を耕作せざるもの」は二萬三千五百六戸である、これを除いて昭和十五年の農家一齊調査と比較すれば、三萬三千六百九十九戸の増加となつてゐるが、調査技術其他の關係を考慮に入れた場合、我國農家数はここ三年間停滞状態にある(一)専業、兼業別にみると第一種兼業農家が減少の傾向にあ

る○兼業の内容は、第一種兼業（農）にみれば、自作二八・一％、自作兼業を主とする兼業）では木炭製造業、小作二〇・七％、小作兼自作二〇％が二一・一％で歴史的に多く、商業小作二七・七％で今回新たに調査し一四・三％、小作料其他財産収入一「貸付耕地一町歩以上を有する農一・八％、工業一・四％の順とな家」が十六萬六千戸（農家の三％）つてをり、第二種兼業（農業を従とである○規模別にみると中核的經營する兼業）では商業の二六・六％がたる一三町經營は專業農家の四九最高で、工業一・一％、漁撈業一・二％を占めるに對し第一種兼業農七・八％の順である、○業態別にみ家は三一・七％に過ぎない、又これると農家では「耕種のみ」を營むもの動態的にみれば、五反一町經營のが五一・三名と過半数を占め、耕及び二一三町經營の増加と五町以上種と兼業一二・五名、「耕種と養の大經營及五反以下が減少を示し、畜」が一四・九％でこれに次ぎ「耕一三町の中核經營への集中がみられ、養蠶、養畜」の三者を營むものは僅かに八・七％である○自作小作別等である（括弧内比率％）

△專業兼業別農家戸數比較

昭和十三年	總數		專業	
	第一種	第二種	第一種	第二種
五、四〇、九八八	一、四四〇、三七〇	一、三〇三、二四四	一、四四〇、三七〇	一、三〇三、二四四
（一〇〇）	（四一、七）	（三三、七）	（一〇〇）	（三三、七）
五、四四、六七〇	二、六六六、三三三	二、五五三、三三三	二、六六六、三三三	二、五五三、三三三
（一〇〇）	（四九、七）	（四七、七）	（一〇〇）	（四七、七）

△自作小作別農業者數

總數	自作兼小作兼		自作小作	
	自作	小作	自作	小作
五、四〇、九八八	一、三〇三、二四四	一、三〇三、二四四	一、三〇三、二四四	一、三〇三、二四四
（一〇〇）	（四一、七）	（四一、七）	（四一、七）	（四一、七）
五、四四、六七〇	二、六六六、三三三	二、六六六、三三三	二、六六六、三三三	二、六六六、三三三
（一〇〇）	（四九、七）	（四九、七）	（四九、七）	（四九、七）

農家數	貸付耕地		一町歩以上の土地	
	所有者	耕作者	所有者	耕作者
五、四〇、九八八	一、三〇三、二四四	一、三〇三、二四四	一、三〇三、二四四	一、三〇三、二四四
（一〇〇）	（四一、七）	（四一、七）	（四一、七）	（四一、七）
五、四四、六七〇	二、六六六、三三三	二、六六六、三三三	二、六六六、三三三	二、六六六、三三三
（一〇〇）	（四九、七）	（四九、七）	（四九、七）	（四九、七）

△規模別農家の増減

五反未満	五反一	一町	二町	三町	五町以上
一、五九、三五五	一、六四、四五五	一、六六、八八六	一、二七、三三九	七、七、七	七、七、七
（三三、二）	（三九、七）	（三六、九）	（一一、一）	（一、四）	（一、四）

大東亞食糧、纖維、畜産對策建議

【十二日】中央農業協力會では昨年未南方農業調査會を設置し、大東亞圈内の食糧、纖維、畜産、蠶糸、金融、肥料並びに飼料に關する根本對策を檢討中のところ、このほど食糧纖維並びに畜産部門に關し成案を得たので十二日の理事會に附議正式決定右對策要綱を陸海軍省、農林省、大東亞省等關係各省並びに企畫院に建議することとなつた

農政研究會必勝態勢建議

【二十八日】農村出身代議士三百餘名を以て組織する農政研究會では廿八日午前十時より丸の内帝農ビルに實行委員會を開催、主要食糧の緊急増産對策に關し協議の結果食糧の緊急増産を圖るためには、農政府は單に價格引上措置に止らざる、農業團體を中心とする強力なる食糧戰必勝態勢を確立すると共に、増産の最大要件たる勢力の確保肥料の増供並に農産物價格の均衡化等に關し方策を講ずる必要があるといふに意見一致し左の如き増産對策を決定實行委員は

配給

普通鋼材半製品價格補給金制度

度等を實施してゐる次第であるが從來價格調整の對象となつてゐなかつた普通鋼材及半製品に關しては關係業者の最近に於ける採算狀況に鑑み適正價格を設定する必要上曩に關議決定となつた「緊急物價對策要綱」に基き價格調整補給金制度を實施することとした、其の要領は左の通りである

一、銑鐵補償金制度の適用を受けざる製鋼業者及壓延業者の生産する外賣の普通鋼材及半製品は標準生産者を基礎とせる買取價格を以て價格調整機關に於て一手に買取ると、前項の買取價格は差當り品種別に且製鋼壓延及單純壓延の業態別に原則として單一價格制に依り決定すること

二、價格調整機關は右の普通鋼材及半製品を原則として現行公定價格を以て販賣すること

三、前二號に依り生じたる價格調整機關の損失に對しては國庫補給金を交付すること

四、本物資に關する價格調整機關は鐵鋼販賣統制株式會社とすること

五、本件は昭和十八年四月一日以降受渡したる數量に對し適用すること

斯くして政府は鐵鋼の生産増強を圖ると、共に低物價との調整を期する爲此の際特別の財政負擔を爲す決意の下に以上の如き措置を採つた次第であるが鐵鋼關係業者に於ては政府が今回斯の如き特別の措置を採るに至つた意圖を充分に了解し、苟くも國家の保護下に在るとの意識の下に安易放漫に流るるが如きことなく益々經營の合理化を徹底し生産原價の昂騰を抑止すると共に愈よ生産増強に邁進し以て戦力の増強に寄與せられんことを切望して止まぬ次第である

一、五九、三五五	一、六四、四五五	一、六六、八八六	一、二七、三三九	七、七、七	七、七、七
（三三、二）	（三九、七）	（三六、九）	（一一、一）	（一、四）	（一、四）

【二十日】政府は基礎的戦力物資たる鐵鋼の増産を圖るため銑鐵買取價格補償金制度から除外されてゐる單純製鋼業者および壓延業者に對しては緊急物價對策要綱に基きこれら業者の生産する普通鋼材および半製品について四月一日より新に價格調整補給金制度を實施することとなり二十日の定例閣議において岸商相より「普通鋼材及半製品の價格調整に關する件」を報告、同日午後商工省よりその内容を發表した

△商工省發表 鐵鋼の生産確保を圖るが爲には生産者に對し適正價格を保證すると共に之が必要者價格は之を現行水準に維持する必要があるの政府は從來銑鐵買取價格補償金制

セメント配給統制強化

【九日】 商工省發表セメントの配給については臨時措置法に基き昭和十五年三月二日セメント配給統制規則を制定し同年三月十一日より之を施行し、ありたる處、實施後の經驗に鑑み今般その一部を改正すると共にセメント配給要綱を定め四月十二日より之を實施することとせり、改正の要點左の如し

○セメント割當證明書の發行者に新たに商工大臣および軍を加へたること
 ○從來共販機關がセメント割當證明書を發行し居りたるをセメント統制會に改めたること
 ○セメント割當證明書と引換へおして讓渡し得る限度は從來の一應より五十町に引下げたること
 ○新たにセメントの委託加工を制限する規定を設けたること

小賣業整備實施順調に進歩

【十二日】 政府は産業再編成の一環として昨年五月小賣業整備要綱を決定、吳般商以下十業種の小賣業に對する第一次の整備に着手するとともに企業整備の模範地域たらしめる爲に企業整備指定、右地區には特に商工省委員を派遣その指導協力を努めるなど極力整備の圓滑なる遂行を圖つて來たが商工省では各地の整備進捗状況を調査せしめるため去る三月中旬より商工省委員を全國に派遣實情を調査せしめ、この程右調査を完了したので十二日商相府邸に商工委員の調査報告會を開催した

△報告要旨 一、此の度の調査に當つて各委員の最も痛感した點は昨年八月初めて實情調査をした當時に比

べて企業整備に對する業者の態度が全然一變して居ること、當時は業者は企業整備に對して一種の畏怖心を懷き出來れば之を回避し様といふ氣分が濃厚であつた、今日は企業整備に對する政府の親心が一般に了解せられ政府に協力し居る信賴感が強く進んで國策に協力し居る、また轉業について一種の卑屈感を懷く者が多かつたが「今日では國策に順應する名譽の轉業者」といふ衿を持ち、其處に明朗な建設的な氣分が認められる

第一次指定業種以外の業者も政府の整備に關する積極的指導を待望して居る、二、その結果整備は概ね順調に進行し○大部分の府縣は三月末に整備を完了して居る、多少完了期の遅れる縣もあるがそれは地元にて於て重點工場が完成され轉業者を收容する準備が出来るのと見合の上で整備を進め様として居る爲で、それも近く完了の豫定である、○殆ど全府縣

を目標整理率以上に多數の轉業者が居る、○而もそれは轉業者自身の自發的發意に因るものが豫想外に多い、○特に鹿兒島、千葉、愛知、岡山、長崎、滋賀、山形等の各郡は好成績を示し、千葉の如きは地方別の特長性を充分考慮し關聯ある業績を綜合的に店舗中心に整備し理想に近しい整備を行つて居る

三、企業整備が順調な實施を見つたものは次の如き原因に依るものと認められる○轉業者の職業轉換、營業用資産の處理、共助金等について政府各種の施設が普及徹底して來て居ること○府郡當局の熱心なる指

導があつたこと○特に好成绩を挙げ居る縣に於ては商業報國運動に依る業者の啓蒙、心身の鍊成、商業組合中央會系統機關の整備技術上の指導等が徹底的に爲されたこと○商業報國會に依る勤勞奉仕隊及轉業者の眞摯なる態度が工場勞務者全體の氣分一新に役立つ所多く、工場側をしめて轉業者に對する認識を一變せしめ進んで轉業者を採用せんとする傾向が生じたこと○時局の進展に伴ひ企業整備の已むべからざる事情が一般に認められて來たこと

酒類級別並に價格決定

【二日】 改正酒稅法に基き酒類の級別及び價格はさきに中央酒類品質及價格各專門委員會において審議決定を見たので大藏省では一日付を以て

○清酒、合成清酒、味淋、果實酒、及雜酒の級別清酒の第二級の級別を除く○清酒、及合成清酒、麥酒、燒酒及味淋、雜酒、果實酒、白酒及濁酒等の販賣價格○酒類價格規則に依り表示すべき様式の改正に關する告示、ならびに酒稅法施行規則及び酒稅法施行規則による酒類價格規則を公布いづれも即日實施された

清酒の第二級の級別については各地方財務局長の指定する酒類製造者が製造し財務局長の指定する商標を附したる清酒にしてアルコール上の成分以上原エキス分三十一度以上の成分規格を有しその品質は地方酒類委員會の認定を経たものとする旨一日附大藏省告示を以て公布された

酒合成酒麥酒の新しい價格左の如し

種別	現行	改正
等級別	小賣價	小賣價
清酒	一級 三、一八七、〇〇	二級 二、二五三、〇〇

二級 二、三〇〇、五〇〇
 三級 二、三五〇、三〇〇
 四級 二、二五〇、三〇〇
 合成酒 一級 二、二五〇、三〇〇
 二級 二、二五〇、三〇〇
 (六大都市)
 麥酒 (地 方)
 一級 二、二五〇、三〇〇
 二級 二、二五〇、三〇〇
 三級 二、二五〇、三〇〇
 四級 二、二五〇、三〇〇

橫取、實株取引に轉向

【廿八日】 橫濱取引所の實株取引は大藏省の認可を得たので廿八日取引員總會を開催、五月上旬より取引を開始する

運輸交通

【二十日—二十三日】 大東亞の全鐵道電氣技術の綜合的調査研究を旨とする第四回東亞鐵道電氣技術協議會は廿日から廿三日まで四日間鐵道省主催の下に朝鮮、臺灣、滿鐵、華北、華中の各鐵道技術關係者を招集して本省會議室に開催された、今回は特別に技術院をはじめ電機、車輛及び鐵道各統制會が參加、鐵道電氣技術の綜合的調査研究、規格統一、各種電氣方式の統一を圖る目的で○電氣信號保安機器、通信機器、蓄電池及び列車用發電機、規格統一○電氣施設代用材の研究○日滿華陸運輸連絡通信施設○電道各種通信方式の研究その他現下喫緊の電氣技術諸問題の全

バス、トラツク統合

【十六日】 決戦下における全陸運輸送力結集の一環として鐵道省ではさきに自動車輸送力の確保増強を旨として昨年以來バス、トラツクの兩事業の全國的統合を實施する方針を決定、極力統合の促進を圖りつつあつたが、その後順調に進行をみ、四月十五日現在バス(百五十地區千三百十九業者)において略四十四パーセント、トラツク(三百九十四地區、四千六百二十三業者)において略二十五パーセントの統合を完了するに至つた

大北電信の陸揚權消滅

明治四年以來我が政府の特許を得て長崎に浦瀬及び上海よりの海底電信線を陸揚し局を設けて海底線の運用を行つてゐたデンマーク國大北電信會社の長崎における海底電信線陸揚權は四月廿日を以て消滅することとなつたので同日遞信省よりこの旨發表した

(逕信省發表)デンマーク國大北電信會社が明治初年保有し來つた長崎における海底電信線の陸揚權は四月卅日を以て消滅することとなつたが右は實に創始以來七十有餘年の我國電氣通信事業に歴史的意義をもたらすもので多年の懸案であつた我國通信自主權を茲に始めて完全に獲得する(下略)

交易

輸出滞貨強制買上

【八日】商工省では去る一月五日以降三月末日まで重要物資管理營團に對し物資統制令第六條に基く統制物資の讓渡請求權を賦與し輸出滞貨の強制買上げを行はしめたが、今回これを徹底するため讓渡請求權を更に三ヶ月間延長し六月末日まで強制買上げを實施せしめることとなり八日附この旨告示した

會社・團體

三菱、安田兩行新發足

【一日】四月一日より新發門に積極的進出を行ふため今般日立足することになつた三菱並に安田兩銀行では一日夫々臨時總會を開き、合併經過報告承認並に新重役陣の選任を行ひ三菱銀行では第百銀行を安

田銀行は同系の日本晝夜銀行を夫々吸收合併し同日より新業務を開始した

東京海上系三損保合併

【二日】東京海上系の損害保險會社たる東洋海上火災、豐國火災ならびに福壽火災の三社は今回來る七月一月をもつて合併することになり三社ともそれぞれ來る二十日臨時總會を開き、合併を決議した合併後の會社は資本金一千三百萬圓、本店を東京に置き、社名を日新火災海上保險株式會社と改稱する

三菱重工業會長決定

【二十七日】三菱重工業では廿七日臨時總會を開き、會長制復活に關する定款變更の件を附議可決、會長に現社長郷古潔氏、社長には副社長元良信太郎氏がそれぞれ昇格することに決定した

白木屋社長に鏡山氏

【八日】白木屋社長山田忍三氏は今回辭任したので後任社長に常務取締役鏡山忠男氏が昇格、また常務取締役岡清藏氏が専務に昇格した、なほ山田氏は高崎總裁の相談相手として滿洲重工業顧問に就任することに内定してゐる

日立造兵設立

【十日】日立製作所では兵器製造部門に積極的進出を行ふため今般日立造兵株式會社を創立したが同社は資本金二千萬圓(拂込四分の一)で、日立製作が全額出資し、取締役會長には小平浪平氏(日立製作所社長)常務取締役役に三井田誠二氏(同取締

役)が就任した

塗料統制會社設立

【八日】油脂統制會では今回塗料統制株式會社を設立することとなり八日大東亞會館に創立總會を開き定款その他を承認、左の役員を決定した同社は油脂統制會の指示に基き塗料工業の生産計畫に必要な原材料の確保並びに塗料製品の一元的配給を行ふと共に企業整備による轉廢業者に對する共助金支出に協力するもので五月上旬事業開始の豫定である

交易營團設立委員任命

【十二日】今議會において成立した交易營團法は去る三月六日公布され四月十二日施行されたが、政府は十二日附を以て委員長岸商相以下設立委員四十九名設立委員補助九名を任命した

三月中會社合併狀況

興銀調査||三月中の會社合併狀況は件數廿八件、合併被合併會社、資本金合計六億九百萬圓、合併に依る資本減少は三千三百萬圓である、同月中の主なる合併は東京芝浦電氣(資本金合併前二億九千六百萬圓、合併後三億一千一萬圓)の東京電氣(資本金三千六百萬圓)及び東洋耐火煉瓦(資本金三十萬圓)合併、昭和電工(資本金合併前一億一千萬圓、合併後一億二千二百萬圓)の日滿アルミ(資本金二千萬圓)合併であるが其他地方木材業及び交通業の整理進

捗による中小會社合併も目立つてゐる、なほ本年一月以降第一四半期の合併件數は百一件、合併被合併會社資本金合計十六億六百萬圓、合併に依る資本減少四千八百萬圓である、三月中合併狀況左の通り(單位千圓△印減)

三月 前月比	三月 前月比
合併會社數	八
合併會社資本金	五三、九六、三五、八八
合併被合併會社數	三
合併被合併會社資本金	三、〇〇、〇〇、〇〇
合併後資本金	五五、五五、三三、八八
合併に依る資本減少	三、〇〇、〇〇、〇〇

三月中銀行合同

【十二日】大藏省發表||本年三月分普通銀行其の他異動調によれば同月中に於ける銀行合同は安田銀行の日本晝夜吸收合併、同じく三菱銀行の第百銀行吸收合併ならびに第一、三井兩銀行の合併による帝國銀行の新設等巨大銀行の合同認可があつたは

五銀行が勢南銀行を吸収し、その資本金は一千二百萬圓に増加、④第四各段階間の調整にめぐる、⑤要振興組合の經營刷新に關しては農業團體統合を前に特にこの際指導の徹底を期する

組合金融統制總會

【十九日】組合金融統制會では十九日通常總會を開催昭和十八年度の組合金融指導方針、收支豫算並に賦課金の賦課徴收方法を附議した結果、左の指導を決定した

鐵鋼統制會顧問參與決定

【十六日】鐵鋼統制會では定款を變更して新に顧問および參與制を設置することとなり、その人選をすすめてゐるが、十六日豊田會長より左のごとく依頼した

顧問 淺野良三(日本鋼管社長)

小日山直登(前理事長) 俄國一(東大名警教授) 齋藤大吉(京大名警教授) 授本多光太郎(東北大名警教授) △ 參與 秋永企畫院第一部長、磯原同第二部長、吉横陸軍省整備局長、保科海軍省兵備局長、神田商工省總務局長、津田同金屬局長

皮革統制會員追加指定

【七日】 商工省では製革工業の整備に伴ひ井上帶革ほか三十社を新に皮革統制會員に追加指定することとなり七日附告示した、なほこれと同統制會員は六十六社となる

船舶運營會地方機構強化

【十二日】 船舶運營會では今回機構を強化するため大阪南京、青島の各出張所を支部に昇格するとともに新に横濱、神戸、大阪等に修繕監督を置くことに決定

大日本蠶絲會表彰式

【二十三日】 大日本蠶絲會では廿三日正午より日比谷公會堂に、總裁附院宮殿下の台臨を仰ぎ第一回表彰式を開催、昭和十七年度における繭増産の努力者、桑園能率増進の成績者優良四千八百餘名の表彰を行った

平生重産協會長辭任

【二十七日】 重要産業協議會々長平生飢三郎氏はかねて健康を害し辭意を表明してゐたが、廿七日の理事會で正式辭任と決定、後任には石炭統制會々長松本健次郎氏が就任した

紡聯正式解散

【二十七日】 舊紡績聯合會では去る三月末日をもつて清算事務が完了し

たので二十七日蠶業會館に清算委員會を開催、清算事務を報告各委員の承認を求めここに正式解散を見るに至つた

日本麥酒酒造組合創立

【二十八日】 大日本麥酒キリン麥酒櫻麥酒、櫻麥酒の各社ではこの程酒類業團體法に基く組合の結成準備を完了して廿八日創立總會を開催、ここに同法施行以來はじめての組合として日本麥酒酒造組合の設立を見るに至つたなほ初代會長大日本麥酒株式會社々長高橋龍太郎氏が藏相より任命された

精密機械統制會員追加指定

【二十八日】 商工省では精密機械統制會の會員として矢田特殊鋼ほか五十六名を追加指定することとなりこの旨三十日附告示する、新會員の業種別内譯は工作機械二十四名、工具十名、軸受四名、精密機器十六名、試験機三名であるが、これで會員總數は五百八十九名となる

關東砂利統制會創立

【廿八日】 關東一府六縣の砂利、砂生産者ならびに販賣業者を網羅する關東砂利、砂統制株式會社より資本金百萬圓は昨年六月商工省より設立委員十五名の任命を見、設立準備中であつたが廿八日創立總會を開催、新發足をを行った、社長川又貞次郎氏

陸軍航空工業重産協へ加盟

【二十七日】 さきに生産力の効率昂揚のため設立された超重點産業協力會に對應し陸軍關係部門においても陸軍航空工業會を中核として協力會

を設立することになり、これがため陸軍航空工業會は重要産業協議會に加盟、同工業會々頭郷古潔氏は超重點産業委員會に出席するとともに同委員會幹事長武田次郎氏が参加することに廿七日の重産協理事會で正式決定、他の四重點産業と緊密なる協

文化

天皇皇后兩陛下親しく英靈に御拜

【廿四日】 靖國の軍神一萬九千九百八十七柱を祀る靖國神社臨時大祭第二日の廿四日長くも天皇 皇后兩陛下には同神社に行幸啓あらせられ新祭神をはじめ靖國の英靈に親しく御拜あらせられた

皇后陛下の御内旨に依り各宮妃殿下全 國御巡歴

【廿七日】 長くも皇后陛下をはじめ奉り各皇族妃殿下に於かせられては戦時下に於ける統後國民生活の實情につきかねがね篤き御心を注がせ給ふと承るが、このたび秩父宮妃、高松宮妃、三笠宮妃各殿下をはじめ奉り各皇族妃王公族妃殿下下は長くも皇后陛下の尊き内旨を奉ぜられて今春より約數ヶ月に亘つて全國各地方を御巡歴、大東亞戰爭下國民總努力の實情を具さに御視察あらせられた旨廿七日宮内省から發表された

文化勳章授賜

力のもとに航空協力會の設立準備を進めることになつた、なほ重點産業委員會はさらに海軍航空本部とも緊密なる連繫を保ち戦力増強に一層の拍車をかけることとなつた

一般

十七年度發明獎勵費交付者決る

【二日】 街に埋もれる優秀な發明を獎勵し、戦力増強に役立たせようとする特許局の發明獎勵費交付については昨年末第一次審査を終つたが、引續き殘餘及び追加申請の百三十五件につき第二次審査を急いだ結果二十五日技術院から發表された、二件の獎勵費交付者が發表された、決定した四十二件の内譯は機械關係十四件、化學關係十八件、電氣關係十件で本年度特に著しく變つた點は十七年度から代用品發明研究補助金と發明獎勵費とを合せて一本建とし總計約廿四萬圓を、從來の總花的、消極的な交付方針でなく、重點的に交付することとし、そのために當局がわざわざ研究者に交付申請を奨めると同時に必要と認めらるるには相當多額の獎勵金を交付したまた研究用資に關しても關係方面と充分連絡してその入手を容易にし一日も早く研究が完成するやう考慮してゐる點などである

福西は親房卿終焉の地か

【二日】 神皇正統記により「大日本は神國なり」と喝破した吉野朝の大

忠臣北畠親房終焉の地は今日にいたるまで不詳で國史の謎とされてきたが、大和史蹟視察中の東京文理大教授由良哲次博士により奈良宇陀郡伊那佐村福西にその墓地が発見された親房の遺蹟は文部省の指定もなかつた郷土の傳説として残されてゐたものであるが同博士の調査の結果「瑚璉集」はじめ古文獻に「福西莊灌頂寺阿彌陀院に卿を葬つた」とあるは現在の福西を指すことが明かされた浦田同村長宅に保存される五輪塔が吉野朝のものであり、同村蓮昇寺に安置される室町期の木像が通稱に「ジュサンソソ様」と云はれてゐるのは「准三様」即ち准三后たる親房卿をあがめ呼稱したものであることなど幾多の文獻記録により正しくそれと断定されるにいたつたものである

日本出版會役員決定

【八日】出版文化の元締日本出版會では、さきに會長、事務局長、理事の任命をみたが、更に事務局を總務書籍、雜誌、業務、配給の五部門に整備することになり、八日事務局局長久富達夫氏以下各部課長が正式に任命された、こゝに出版會はいよいよ本格的な活動に入る體制を完備した

長崎汽船轉覆

【九日】長崎縣北松浦郡鷹島村木下敦太郎氏所有船敷浦丸(一〇七ト)は乗客百餘名を満載九日朝七時五十分三三分三港一渾の沖合を航行中、乗客定員三十五名であるのに多數を満載したため機關に故障を生じ轉覆死者多數(うち現在までに死體の收容されたもの數十名)他は行方不明となつた

聖徳太子十七條憲法伊語譯完成

【十三日】日伊學界を固く結ぶ聖徳太子の十七條の憲法のイタリ語譯が着々と進められ、既にその試譯を完成し明年末には譯註論文を附して職・盟邦イタリへ贈られることになつた、これは東大總長羽田亨博士を會長とする京都日伊協會が、盟邦に日本の眞の姿を紹介する最善のものとして、日本世界觀の根本義を取り上げ、昭和十五年三月十五日から着手したもので、この編纂、監修者には京大名譽教授新村博士を、委員には京大名譽教授池田榮博士、同講師黒田正利氏が當り顧問に法隆寺貫主學士院會員佐伯立胤師、東方文化研究所長松本文三郎博士、京大名譽教授野直喜博士、同姉崎正治博士、京大名譽教授小野清一郎博士等文字通り現代一流の顔を描へ先づ日本書紀だけで

藝能學會發足

【十三日】學問の眼をもつて我が國藝能の民俗的意義を闡明し日本の立場から各國藝能文化を研究して一般藝能の醇化向上をめざして十三日午後五時半から京橋東洋軒で「藝能學會」の設立總會が開催された、同會では今後

▲貴重な出土品【二日】北畠親房卿終焉の地と推定される奈良縣宇陀郡伊那佐村福西の灌頂寺内阿彌陀院跡の發掘調査は、二日早朝から東京文理大教授由良哲次博士の指揮で青壯年團女子青年團の奉仕で開始されたが、東西約八間にわたり地固め石が現はれ、その附近に同時代に使用されたと確認される壺、瓶土器、青磁の花瓶の破片續々と發掘された、同院跡の傍證固めの外、由良博士は灌頂寺時代の淨泉院、泉端院、本願院塔ノ臺趾等について村民の協力を得て礎石の調査を進めてゐる、尚山田孝雄博士は四日發掘資料等を調査する

【九日】出版文化の元締日本出版會では、さきに會長、事務局長、理事の任命をみたが、更に事務局を總務書籍、雜誌、業務、配給の五部門に整備することになり、八日事務局局長久富達夫氏以下各部課長が正式に任命された、こゝに出版會はいよいよ本格的な活動に入る體制を完備した

【十三日】日伊學界を固く結ぶ聖徳太子の十七條の憲法のイタリ語譯が着々と進められ、既にその試譯を完成し明年末には譯註論文を附して職・盟邦イタリへ贈られることになつた、これは東大總長羽田亨博士を會長とする京都日伊協會が、盟邦に日本の眞の姿を紹介する最善のものとして、日本世界觀の根本義を取り上げ、昭和十五年三月十五日から着手したもので、この編纂、監修者には京大名譽教授新村博士を、委員には京大名譽教授池田榮博士、同講師黒田正利氏が當り顧問に法隆寺貫主學士院會員佐伯立胤師、東方文化研究所長松本文三郎博士、京大名譽教授野直喜博士、同姉崎正治博士、京大名譽教授小野清一郎博士等文字通り現代一流の顔を描へ先づ日本書紀だけで

【十三日】學問の眼をもつて我が國藝能の民俗的意義を闡明し日本の立場から各國藝能文化を研究して一般藝能の醇化向上をめざして十三日午後五時半から京橋東洋軒で「藝能學會」の設立總會が開催された、同會では今後

全國新聞編輯最高幹部鍊成

【廿五日】日本新聞會主催全國加盟各新聞社編輯局長又はこれに代る編輯最高責任者の自主的な鍊成會は廿五日午後一時半から日本青年館神樂で開會式を舉行した

帝都町會隣組再編成

【五日】東京市では現行町會隣組制度及運営に根本的な再檢討を加へ具

體案研究中であつたが

【十一日】米英擊滅の生産戰に職場の礎石となつて尊くも増産敢闘戰の重ね、毎月二回開かれる打合せ委員

【十一日】米英擊滅の生産戰に職場の礎石となつて尊くも増産敢闘戰の重ね、毎月二回開かれる打合せ委員

【十一日】米英擊滅の生産戰に職場の礎石となつて尊くも増産敢闘戰の重ね、毎月二回開かれる打合せ委員

米加殘留邦人情況

— 外務省の調査完了 —

【十七日】 敵國に現在殘留して抑留乃至は集團生活その他の不自由を忍んでゐる邦人の總數は五十六萬餘に上るが、これらの殘留同胞の狀況に關しては外務當局で鋭意調査を進めて一方、これが待遇改善についてもわが利益代表國を通じて極力努力してをり、去る第八十一議會ではこれがため十八年度分として二百萬圓の豫算が認められたばかり民間でも敵國同胞救濟運動が眞剣に行はれてゐる、外務省に敵國居民關係事務室では最近右調査のうち在米、在加奈陀に關する分を一應完成し、英、濠、印度に關する方も近く調査完了を見る豫定であるが、今回完了を見た調査によれば、本年一月末現在在外邦人中敵國に抑留されてゐる者は總數約一萬三百名(うち北米約四千人、カナダ約七百人、印度約二千四百人、於ては主にルイジアナ州ニューメキシコ州等のメキシコ國境に近い南部諸州に收容されてをり兵營として建てられたベラツクその他に不自由な生活を送つてゐる、また十萬の北米に於ける集團生活者は大抵分カリフォルニアその他西部諸州で農業に従事してゐた邦人であるがその營々刻苦して地盤を築き上げた土地から強制的にロッキーマン脈を越えた中部諸州に移轉せしめられたものでその中心地はコロラド州のテンヴァー附近アリゾナ州キラ、リゾナー、ワイオ

ミン州ハートマウンテン等である、ハワイでは被抑留者三百名以外の約十六萬人に上る邦人は比較的自由な生活をしてゐる、カナダ殘留の邦人總數は二萬三千五百二十二人であるがこのうち抑留者は六百九十九人すべてオンタリオ州アングラーの收容所で寒いカナダの冬を越したことが判明した、集團生活者の數は一萬九千九百二十三名であり、その集團移住地はロッキーマン脈中にあり、農耕、道路修理、建築、その他の勞働に従事してゐる、これ等抑留者及び集團生活者の北米及びカナダに於ける收容地及び人員分布は別表の如くである

△在留邦人集團生活移住狀況
タシニム(約二四〇〇) カスロウ(約九八五) スロリーカン・ピシー(約四三〇〇) ニューデンバー(約一四五〇) サンテン(約九〇〇)
△在米抑留邦人情況
在米邦人收容所(括弧内州名)
△リヴイニストン(ルイジアナ)
一、〇九二△ローズバーク(ニューメキシコ)一、五二二△ジョージミッド(メリーランド)七二△エンゼル、アイランド(カリフォルニア)五△グリフイツス、パーク(同)二△マツクストイ(ウェイクソン)二△ドフオレスト(テキサス)二△フオールド、ルイス(ワシントン)一△收容者計、二六九八△エリス、アイランド(ニュー、ヨーク)約一八〇△ミゾラ(モンタナ)約一六四△フオード、ステーション(ニュー、メキシコ)約一一△ケネテイ(テキサス)約三四△サム、ヒューストン(テキサス)約三八△フオード、プリストリア州)

約二臨時收容者 計約七五三外に布哇サンドアイランド約三〇〇(四月の入報に據ればシーゴヴェイルには約二二〇名收容中)
在米邦人集團移住地
△セントラルド・ユタ(ユタ)七、九八△コロラド・リヴナー(コロラド)一七、七八△ニグラー・リヴナー(アリゾナ)一三、三一△グラナダ(コロラド)七、二一△ハートマウンテン(ワイオミン)一〇、六八△ゼロウム(アーカンソー)八、二六△マンザナル(カリフォルニア)九、八七△ミナコ(同)八、五四△クロウワー八四△ニールレイク(カリフォルニア)一五、〇一五 計一〇七、一一九

▲英領各地殘留邦人狀況【廿七日】 敵國または斷交國に在留してゐる邦人總數五十六萬餘名の中、不自由な抑留生活を忍んで居る者は一萬三百名に上り、その中北米及びカナダに抑留されてゐる者の狀況については外務當局より發表をみたが、この程英本國、英領東阿、印度、濠洲等に抑留されてゐる者的人數及び抑留地の調査が完了、外務當局より左の如く(昭和十八年三月現在赤十字國際委員會報告による)發表された

英領抑留所(加奈陀を除く)
△英本國 蘇格蘭第二四號 約三〇マン島 約一五、△英領東阿 プラナ・キラ元馬來編錫蘭、印度居住者約一〇 △印度(デオリ)に移轉開始)二、一〇 △濠洲(ヘイ州居住者六〇五 元ニューカレドニア居住者四三〇) タツラ(ガイクトリア州)
(A B C Dの四區劃に分る) A 元

蘭印居住者二七八濠洲居住者七
B 濠洲居住者一二九內地人元
D 元蘭印居住者一五三内地人
元蘭印居住者四四其の他
一、一六內地人濠洲居住者三三其の他
一、一六內地人元元オーストラ
リア州)第十四號B內地人元元哇居
住者一五六濠洲籍者一一三朝鮮籍者
二內地人元元スマトラ居住者一臺灣
籍者三內地人元元ネオオウ居者三〇
臺灣籍者二內地人元元元居居住
者一ウ元ニューカレドニア居住者
六四ウ濠洲居住者第十四號D內地人
濠洲居住者七八ウ元ニューカレドニア
居住者一一八ウ元ニューギニア居
住者四内地人元新嘉坡居住者九六ウ
元蘭印居住者二三一臺灣籍元北ボル
ネオ居住者五ウ元ヌツク(有償勞働
收容所)内地人濠洲居住者一三二
(備考)右在濠洲各收容所以外に所
外勞働に就き居る者若干ある模様な
り濠洲合計約三、四〇〇 △新西蘭
パヒアアア六七元フイジー、トン
ガ居住者ソムスに收容され居たるも
の

▲敵性國在留邦人の國內家族救濟
【二十七日】 大東亞戰爭勃發以來敵國及び斷交國に在留する邦人同胞の苦境に對しては一億國民の均しく同情を禁じ得ないものがあり、總數五十六萬にも達するこれらの同胞の待遇改善については外務當局も非常な意を用ひ去る第八十一議會でもこれがため十八年度分として二百萬圓の豫算が認められたのであるが、同時にこれら敵性國在留邦人の家族は一縣平均三十家族であり、從來の中で困窮せるものは厚生省の管轄下に各

府縣救護法の適用をうけるか各種團體の救濟に俟つてゐたのであるが、今回外務省に新設された救濟委員會の手によつて救濟の手が伸べられることになつたのである、右に關し外務省では二十七日午後三時次の如き當局談を發表した
△外務省當局談
敵國或は斷交國に在留する邦人の家族で内地に殘留し又は修學等の爲に内地に滞留し戦前海外からの送金に依存して居つた者の内には今次戦争に因つて送金が杜絶した爲に生活費又は無學費に窮して居る向が甚くない實情を鑑み外務省に於ては之が救済に遺憾の無いやう萬全を期し、既に之が實行に着手してゐる、又現在敵國或は斷交國に在留してゐる邦人に對しては當該國に於て救濟の責任に任ずべき筋合であるが外務省に於ては其の生活狀況及當該國政府の取扱實情を詳細調査して居り、之に適應し最善の措置を講じてゐる、斯様に外務省に於て敵性國在留邦人に就て國內國外共に之が救済に遺漏の無いやう充分に配慮してゐる次第である、就ては敵性國在留邦人の家族で内地に生活困窮を來して居る者の調査に關しては海外移住組合格協會各府縣移住組合格に擔當せしめ又敵國在留邦人の子弟にして内地で修學に困難を來してゐる者の調査は東京方面に於ては在日二世聯合會「ラテン・アメリカ」中央會日秘協會、日墨協會、日協協會、日伯中央協會を之に當らしめてゐるから救済希望の向は夫々其の趣旨に従つて此等團體に充分連絡し外務當局に救済方申請せられぬ

南方十一地方と電報開通

【十二日】(逓信省發表)帝國と南方諸地域との間の電報取扱ひは現在占領地の重要都市殆ど全部にわたつて取り扱はれつつあるが、来る十三日より更にタグデン、ロスバニオス、バンダ、北サンフェルナンド(以上比島)バツセイン、ヘンザダ、タボイ、マーゲック、インセイン(以上ピルマ)バリック、バン(南ボルネオ)ドンガラ(セレベス)との間にも電報の取り扱ひが開始せらるることとなつた

▲南方電報取扱ひ更に擴張【十七日】(逓信省發表)南方諸地域における帝國との電報の取扱ひは相ついで擴張せられつつあるが、十九日より更にバリ島のシンガラジャ、比島諸島のダグバ、オロンガボ、タルムック、ロベス、ゲワグワ、サンミダ、バリワグ、ダエト、ナガ、ソルコン、スリガオ、カガヤンの各地とも電報の取扱ひが開始されることになつた、料金はバリ島はセレベス、ボルネオと同様本文五字まで二圓四十錢以上五字を増すごとに八十錢比島諸島は總て均一で五字以内一圓八十錢、以上五字以内を増すごとに六十錢である

▲ポンチャナツクと電報開通【廿七日】帝國と電報の往復をなし得る南ボルネオに於ける電報取扱地として来る五月一日より更にポンチャナツクをも追加せられる

【廿八日】國寶施設路域では目下支那省の手で「カ」の模改修工事が進め

築城に珍しい土塙の「石落し」

られてゐるが、このほど全國のお城では全く珍しい土塙に取り付けられた「石落し」が七ヶ所まで次々に現れ學界に多大の興味ある話題を投げかけてゐる「石落し」とはかの有名な大楠公の千早城の戦で高い石垣をよぢのぼつてくる敵兵に焼石や煮油を注ぎかけ、城附近に迫る敵兵への最後の防備據点ともいふべきもので「土砂落し」ともいはれてゐる、城の櫓に残る「石落し」は各地で見られるが土塙に取り付けられた「石落し」はわが國築城學界でも多年問題とされてゐただけにこの發見は貴重な資料といふべきものである

學術

陸軍技術有功章授與式並に陸軍技術研究會

【十四日】現代戦は科學と科學、技術と技術の決戦であり彼我兵器の優劣こそ最後の勝敗を決する鍵である、大東亞戰勃發以來のわが善く戦果は勿論忠勇なる皇軍將兵の輝く勇戦殊にこの世界に卓絶せる強靱な精神力の賜ではあるが、その反面わが新銳の兵器が科學文明をわがものに誇示する敵米英の不遜を徹底的に打ちのめした日本戰爭科學の凱歌を物語るものである、わが戰爭科學陣の強化に不斷の努力を續ける陸軍當局ではさきに軍事技術の躍進或は皇軍裝備の充實強化に貢献せる卓抜な發明、發見、眞摯な研究、秀れた考案などの功績を汎く顯彰するた「技術有功章令」を制定し、決戦

科學陣の金鷄勳章ともいふべき技術有功章を設けて功勞者に授與する一會官民の科學者を總動員して陸軍を主催、眞摯な研究發表を行ふなど科學者の育成、わが軍事技術の飛躍的向上に劃期的施策を講じて來たがその第二回行賞が十四日陸軍省から發表されるとともに表彰並びに有功章授與式が同日午前九時から省內大講堂において舉行された、式は軍官民關係者千三百餘名參集、まづ輝く有功章が東條兼攝陸相の手から譽れ授與者らの右胸間にかかれ、次いで兼攝陸相の訓示あり、一旦休憩同十時から、佐藤軍務局長の別項の如き口演(一八一頁参照)あつて式を終了した、引續き午後一時から第二回陸軍技術研究會が陸軍兵器行政本部、陸軍航空審査部、陸軍糧秣本廠、陸軍軍醫學校、陸軍省第二會議室の五ヶ所においてそれぞれ開かれ、陸軍技術研究會第一日の研究發表が開始された、大東亞戰下初の行賞に輝く第二回授與者は陸軍部内民間を併せて六十一件八十名で其うち殊勳甲に該當するものとして徽章、賞狀及び賞金を授與されたもの十三件廿二名、これに次ぐものとして徽章、賞狀及び賞金を授與されたもの十四件十八名(内故人一名)賞狀及び賞金を授與されたもの三十四件四十二名(内故人三名)である

なほ今回の行賞の特徴は一昨年十一月の第一回行賞の重點が主として完成品に置かれたの點に對し今回は製造方面特に製過程における工夫創意を重視して大量生産の實現になほ一段と國民の努力が注がるべく要請せらる點で、日常生活における簡單な創意工夫が戦力増強に極めて大きく寄與するとの意味から二、三の發明が今回表彰せられた點とともに注目すべき傾向である

▲第二回技術行賞、譽れの授與者

【十四日】決戦科學の金鷄勳章ともいふべき技術有功章と賞狀賞金を授與された科學陣の殊勳甲に該當する十三件の研究及び研究者次の通り

▲「戰車牽引車の設計特に操向變速機及懸架裝置の發明」第四技術研究所陸軍少將原乙未生兵技少佐咲山治三郎—賞金一封

▲「光學硝子製造に關する研究—東京第一陸軍造兵廠大阪工業試驗所囃託高松享—賞金二萬圓

▲「〇〇戰用理化學資材の完成」第九技術研究所陸軍少將篠田鐸、兵技大尉伴繁雄—賞金一封

▲「新平行誘導方式の發明」第二技術研究所陸軍少佐岡本正彦—賞金一封

▲「九六式十五糎榴彈砲」第一技術研究所陸軍中佐沼口匡隆賞金一封

▲「前進作業方式(所謂タクトシテム)」に依る飛行機生産の研究—三菱重工業技師佐々木涉—賞金三萬圓

▲「小型強馬力發動機の完成」中島飛行機技師小谷武夫、同加藤健次—賞金一萬圓

▲「水晶發振具の改良超短波無線電話機」第四航空技術研究所東京工大古賀逸策—賞金二萬圓

▲「メタノール噴射裝置」第二航空技術研究所航技大尉十森寛一、囃託栗野誠一、稻生光吉—賞金一萬圓

▲「抗マラリヤ劑合成研究」衛生材料本廠藥劑少將清水寅次—賞金一封

▲「〇〇大量製造工場の設計及設備の改良完成」軍醫學校軍醫中佐内藤

良一—賞金一封

▲「釘打を結合法とせる大梁間木構造の研究」航空本部建技大尉高山馨—賞金一封

▲「戰用糧食に關する考案」糧秣本廠陸軍技師小山榮二、同橋本英一、同鈴木猛雄—賞金一封

▲「機動四十七糎砲の部品交換性の附與に多數製造方式の採用」大阪陸軍造兵廠兵技中佐上田大作—賞金一封

▲「戰車工場生産組織並管理の改善に依る生産力向上」小倉陸軍造兵廠兵技少佐寺川勝馬—賞金一封

▲「各種自動火器製造方式の考案改善」小倉陸軍造兵廠故陸軍技師赤地孝吉賞金一萬圓

▲「電波に依る飛行機警戒法に關する研究」第五技術研究所兵技中佐稻葉榮、住友通信小林正次—賞金一封

▲「九七式高射算定具の研究」第二技術研究所兵技少佐杉本清藏、日本光學鈴木良雄—賞金一封

▲「自動車用代燃裝置特に薪炭ガス裝置の研究」元自動車學校元陸軍技師三木吉平—賞金三萬圓

▲「燃料噴射裝置」三菱重工業杉原周一—賞金三萬圓

▲「航空用酸素發生劑並に其の吸入器の研究」衛生材料本廠藥劑中佐小

林茂生、軍醫少佐吉村玄三—賞金一
封
△「戦傷に依る顔面醜形に對する整形手術法の發明考案」—軍醫學校軍醫少將齋藤勤—賞金一封
△「人造纖維の着色耐水加工法、絨類毛糸殘脂殘石鹼量迅速檢定法、人造纖維に羊毛同様の染色性を附與する加工法」—製絨廠陸軍技師宮坂和雄—賞金一封
△「三角兵舎」—陸軍省建技少佐伊藤節三—賞金一封
△「馬の鼻疽及炭疽の診斷法の確立」—獸醫學校獸醫大佐並河才三、同中佐久池井忠男—賞金一封
陸軍技術有功章令により賞狀、賞金を授與された者
△「彈藥に關する考案」—第一陸軍造兵廠兵技少佐渡邊三郎—賞金一封
△「銃器(機關銃)の設計」—中央工業南部工場技師岡戸正吉—賞金一千圓
△「綱狀組織ケルメット」—三菱重工業渡瀬常吉—賞金一千圓
△「靱性ガラスの國産化並に品質向上に關する研究」—第六航技研究所航技少佐藤正男、旭硝子故太田廣太郎、藤倉化學小島喜太郎—賞金三千圓
△「蒸氣閉塞防止對策」—航空審査部航技少佐高木達也、陸軍技師河村正—賞金一封
△「金屬材料殘留不正X線的研究」—第六航空技術研究所航技大尉眞理達郎—賞金一封
△「金屬定量分光分析に關する研究」—第五航空技術研究所航技中尉平松良雄—賞金一封
△「九六式十五糎加農」—第一技術研究所兵技中佐黒山恒太—賞金一封
△「強力爆藥」—東京第二陸軍造兵廠

兵技少佐小林守—賞金一封
△「鋼性銃彈丸の製造法及鑄物砂に關する研究」—大阪陸軍造兵廠兵技中佐百合壽馬—賞金一封
△「機關銃用無煙藥の多量生産に關する考案」—東京第二陸軍造兵廠陸軍中佐林誠三郎—賞金一封
△「光線電話裝置」—第七技術研究所陸軍技師佐藤治郎—賞金一封
△「各種信管部品製造裝置の考案」—大阪陸軍造兵廠雇員小林照一—賞金一千圓
△「各種車輛用部品の鍛造に關する研究」—名古屋陸軍造兵廠雇員水谷藤造—賞金一千圓
△「〇〇の新微量檢知並に定量法に關する研究」—軍醫學校囑託柿内三郎
△「空中勤務者の心理適正検査に關する研究」—第八航空技術研究所故陸軍技師加治木卓郎—賞金二千圓
△「絹糸の特殊加工法に關する研究」—及人造羊毛に關する研究—被服本廠主計少佐長岡正滿—賞金一封
△「合成靱劑の製造並に使用法の研究」—三井化學工業柴田林之助—賞金一千圓
△「同」—山陽皮革大迫明德、淺木廣治—賞金一千圓
△「毛皮の堅牢染色に關する研究」—日本毛皮鈴木雄二—賞金一千圓
△「寒地に於ける野戰建築の研究及龜甲式兵舎に關する研究」—關東軍建技少佐小菅百壽、陸軍技師三浦潔—賞金一封
△「滿洲に於ける兵舎暖房換氣法の研究」—關東軍旅順工業大學新津靖一—賞金一千圓
△「馬の無血去勢法の創案」—獸醫學校獸醫中佐木全春生—賞金一封

△「馬の傷染性貧血に於ける肝臟穿刺診斷法の考案」—獸醫學校獸醫中佐安田純夫—賞金一封
△「野戰的鼻疽診斷法の考案」—南支那軍馬防疫廠陸軍技師宮川文雄—賞金一封
陸軍技術有功章令内規により賞狀及賞金を授與せられたもの
△「防毒面吸收罐の壽命測定並再生方式」—第六技術研究所陸軍技師阿達操—賞金一封
△「各種經路機、羅針盤の考案設計」—賞金一封
△「大口徑彈丸推出能力の劃期的向上」—大阪陸軍造兵廠雇員佐治治作、故工員西谷由松—賞金一千圓
△「小口徑彈丸の空氣抗力に關する研究」—航空審査部航技大尉山本三郎—賞金一封
△「航空用杉田式酸素吸入器の研究」—第八航空技術研究所軍醫中佐杉田秀馬—賞金一封
△「間接撮影用X線器械の軍用化」—軍醫學校軍醫中佐清野寬—賞金一封
△「底革備付機の改善考案」—被服本廠工員佐藤春四郎、同工藤雅吉—賞金五百圓
△「新型渦卷蚊取線香の考案」—大阪需品支廠主計中尉田村享—賞金一封
△「九型鐵錐及其の製造工程」—獸醫廠奉天支廠獸醫大尉下春夫—賞金一封

△「東條兼攝陸相挨拶」—科學技術者會同に於ける東條兼攝陸相挨拶要旨左の如し
「今や大東亞の布陣全く成り同盟友邦と相携へて絕對必勝不敗の根基を確立致したのであるが南太平洋を初めビルマ、アリューシャン方面に於

きまする陸海空よりする敵の反攻は執拗且眞摯なるものがあつて正に決戦に次ぐ決戦を戦ひ續けつつある、而してこの戦争は極言すれば日々是れ科學と科學、技術と技術との角逐とも申すべき科學技術の愈よ激烈ならしめつつあつて敵に對し一日一歩を挺んずる新兵器の出現或は戦力増強の新たな創意考案は直に戦局を有利に進展せしめ戦勝の基となつて居る

此の如き兵器其の他戰爭資材の不斷の創意改善研究と之が整備を擔任すべき生産陣就中重工業生産部門に於ける形而上下に亘る諸般の能率の飛躍的改善向上とが共に刻下最大の急務たることは私が常に繰返し要望し又は御願ひ致して居る所である、今回の表彰及本日以後の研究會に於ける發表内容は共に昨年度に比して格段の向上を致しつあることを承知致し私はその絶大なる御勞苦に感謝すると共に誠に御同慶に堪へぬ次第である、然しながら我國科學技術を急速且更に飛躍的に進歩向上せしめ所謂不可能を可能ならしむるの域に達せしめ以て連續する決戦に對應せしむるを要する時局の要請に對し閣下各位に於かれては愈よ此の重大時局の認識に透徹せられ更に一層の挺身的努力を傾倒せられんことを重ねて御願ひ致す次第である」

▲【十五日】科學戰力増強に衆智を結集する陸軍學會第二回陸軍技術研究會第二日の十五日は午前九時から陸軍省第二會議室(建築及需品)陸軍兵器行政本部(兵器)航空審査部(航空兵器糧秣本廠)糧秣(軍醫學校(衛生)獸醫學校(獸醫)の六會場に於いて夫々分科會を

開催、眞摯な研究發表を行ひ、正午一旦休憩、午後も引つづき續行した
▲【十六日】陸軍技術研究會第三日の十六日は午前九時から六會場に於て各分科會を開催、午前午後に亘つて眞摯な發表討論を展開した

▲【陸軍技術研究會終了】(十七日)第二回陸軍技術研究會最終日の十七日は午前九時から陸軍兵器行政本部陸軍航空審査部陸軍獸醫學校、軍人會館の各會場において引續き兵器(非公開)航空兵器、獸醫、海運資材の各分科會を開き眞摯な研究發表が續行され午後四時閉會した、かくて去る十四日から十七日まで開催の第二回陸軍技術研究會はその間千三百餘名の軍官民科學者を動員し兵器航空兵器、被服、糧秣、衛生、獸醫海運資材、建築及需品の八部門に亘る種目の研究三百餘件の發表を行つてわが決戦科學陣の眞摯を發揚すると共に戦力増強に多大の戦果を収めてここに終了した

第二回大東亞醫學會總會

▲【十八日】大東亞共榮圈各地の醫學者一堂に會して十七、八の兩日東京大學醫學部大講堂で開かれた第二回東亞醫學總會は七十餘に上る特別講演普通講演に幾多の貴重な成果を收めて閉會した

學術研究會新役員

▲【廿一日】學術の研究獎勵に資する學界の最高權威者を網羅した文部省の學術研究會では二十日上野精養軒に第二十九回總會を開催、同午後一時からは平賀前會長逝去の後をうけて新會長副會長以下第一部より第

四部に至る部長、副部長の互選を行つたが、新會長には前氣象臺長理事岡田武松氏が就任、副會長には東大名教授醫博林義雄氏がまた部長には左の諸氏が決定した

第一部 (理化學關係) 部長 東大教授 掛谷 宗一

第二部 (工學關係) 部長、東大第一工學部長 佐野秀之助

第三部 (醫學關係) 部長 東大名教授 鹽田 廣重

第四部 (生物學農學關係) 部長 京大教授 川村多實二

本年度科學研究費割當

【廿六日】文部省では本年度科學研究費の振當につき過般來學術研究會に諮問し調査委員を置いて自然科學領域に於ける基礎的重要題目を選定中のところ本年度豫算五百五十萬圓中差當り五百萬圓を左の研究項目に振向けることに決定した、これは名

免疫に關する綜合研究 五、五〇〇圓
輕金屬に關する綜合研究 五、八〇〇圓
製鐵製鋼に關する綜合研究 一、九〇〇圓

原子核の構造及各種の粒子並に原子の人工變轉及その利用に關する綜合研究 三、九〇〇圓
觸媒並に觸媒反應に關する綜合研究 六、九〇〇圓

大東亞の資源開發利用に關する綜合研究 四、七〇〇圓
材料に關する綜合研究 三、四〇〇圓
生物遺傳に關する綜合研究 二、六〇〇圓

地水氣圈の地球物理學的並に地球化學的綜合研究 三、五〇〇圓
農林作物増收に關する綜合研究 三、三〇〇圓

學位授與

△一日
【醫博】(東京)魏炳淡、(名古屋)宇野甫、(同)佐々木正己、(同)鶴丸龍口、(同)青木元行、(同)新井敬三、(同)佐藤五郎、(同)森達次、(京都)立立醫科(川人正男、(同)岸友兄、(同)早川正己、(日本醫科)岸憲夫、(同)那須耐成、(同)三輪泰雄
【農博】(東京)藤永光作
△十二日
【醫博】(東京)林阿安、(京都)高橋幹夫、(臺北)黃文苑、(同)水原孔達、(新潟)桑原五八郎、(同)遠山秀雄、(同)深井忠作、(熊本)合屋末千代、(同)小山紀男、(京都)府立醫大(中堀準夫、(工博) (東京)本間仁、(北海道)阿部興、(理博) (東京)内本章五、(同)津山尙、(同)濱健夫、(同)百瀬靜男

△十四日
【醫博】(京都)浦上貞治、(同)澤淵岩夫、(金澤)大石收、(京都)府立醫科(大隅喜志夫、(慶應)朝隈兼周、(同)岡本不二雄、(同)高橋馨、(同)遠山菊助、(同)戸田修、(同)中島尙雄、(同)根津文雄、(同)余語宣郷、(理博) (北海道)片岡正治、(同)仁科存
△十五日
【醫博】(東京)鈴木一男、(京都)井上晋、(同)岸本秀雄、(同)高和修、(同)西村善三郎、(同)吉岡忠夫、(同)渡邊道義、(大阪)別府審一、(同)村岡語朗、(新潟)江川三二、(同)長谷川馨、(同)林啓介、(岡山)大西雅一、(同)岡崎遜也、(同)松浦祐一、(同)岡崎遜也、(同)伊澤猛三郎
【工博】(旅順工科)伊澤猛三郎
△十六日
【醫博】(大阪)石井徹顯、(同)國里勇吉、(同)末松昌一、(同)西村達三、(同)山村秋三郎、(京城)中橋幸馬、(同)西原沁錫、(同)宮地正人、(千葉)奥山農一、(同)辻本三郎、(岡山)龍三郎、(金澤)植村肇、(長崎)太田泉、(同)大村康文、(京都)府立醫科(淺利正、(慈惠)鎌田英夫、(同)北村勝衛、(同)田代康三
△二十日
【醫博】(東京)板倉秋夫、(同)牛尾耕一、(同)小暮照三、(同)小林定雄、(同)桑原慶人、(同)鈴木潔、(同)原彰のほどその具體案を決定した、最初は各方面の文學作品中最も傑れたものが對して授賞する案であつたが、種々の事情から範圍を縮小して各年度ごとに女流小説家の新人(なるべし無名のもの)に賞金五百圓を贈り新人の進出を奨励することとなつたこれは同人雜誌からの選出並に女流

(同)双津幸男、(同)種村等、(同)徳永一男、(同)藤村忠雄、(同)松島信雄、(同)三鴨三隆、(同)渡邊福太郎、(同)黒川孝一、(同)東島辰雄、(同)渡邊武、(京都)府立(並)河誠三郎、(東京)工業(成)成田時治
△廿三日
【醫博】(東京)染館熊雄、(京都)丹羽孝一、(新潟)奥田勝衛、(熊本)瀬戸波信徳、(同)中村家政、(同)吉村毅、(滿洲)醫科(入)江登、(同)津田武人、(同)牧野武、(同)山口梢、(同)山崎正雄、(同)渡輪榮、(理博) (京都)吉田梅次郎

文藝・美術

日本文報總會開かる

【八日】日本文報總會では全日本文學者の總力を結集して八日午前十時から九段軍人會館に本年度初の總會を開いた
▲一葉賞を創設 【二日】大日本文報國會ではかねて女流文學の向上を成をめぐし併せて我が女流文學に偉大な足跡を残した樋口一葉女史を顯彰するため一葉賞の制定を企畫、このほどその具體案を決定した、最初他各方面の文學作品中最も傑れたものが對して授賞する案であつたが、種々の事情から範圍を縮小して各年度ごとに女流小説家の新人(なるべし無名のもの)に賞金五百圓を贈り新人の進出を奨励することとなつたこれは同人雜誌からの選出並に女流

文學者の推薦によつて候補作品を擇ぶが第一回發表は明年四月として本年中に發表執筆された作品から銓衡される
▲全國の文學遺跡地を顯彰 【五日】世界文學史上に燦然として輝く我が古典精神を傳へる文學遺跡は全國各地に散在してゐるが、國民一般に知られてゐないものが多いので日本文報國國會では本年度事業として文部省兩省、情報局など關係官廳、全國地方長官の協力を仰いで文學遺跡の顯彰をなし國土に残された先賢の遺徳を愛慕し國民精神作興の一助たらしめるとともに文報國文學、小説短歌、俳句など各部會員の宿願實現に着手するがまづ我が國文學遺跡の徹底的調査を期するため全國會員を動員候補遺跡を推薦させ早くも同會審査部でその整理を開始した、候補遺跡については國文學部會はじめ關係部會代表若干名及び關係官廳代表を以て編成される委員會で審議しつづ毎月數ヶ所を文學遺跡として指定本年中には約百ヶ所の顯彰を見る筈で、すでに候補地として舉つてゐるものは

△茨城縣下妻大室八幡祠畔 (北畠親房)の神皇正統記、職厚鈔執筆若しくは校訂の記念碑)
△東京 深川芭蕉庵
△奈良縣高市郡雷丘 (萬葉集で知られてゐる神奈備山)
△東京 下谷の正岡子規の根岸庵、田端の同墓所
△鎌倉 比企ヶ谷妙本寺裏山谷戸ヶ原新釋迦堂書院(仙覺和尚が萬葉集校勘の地)
等であるが文報ではこれら文學遺跡指定地には保存助成金を支出するほ

△東京 下谷の正岡子規の根岸庵、田端の同墓所
△鎌倉 比企ヶ谷妙本寺裏山谷戸ヶ原新釋迦堂書院(仙覺和尚が萬葉集校勘の地)
等であるが文報ではこれら文學遺跡指定地には保存助成金を支出するほ

△東京 下谷の正岡子規の根岸庵、田端の同墓所
△鎌倉 比企ヶ谷妙本寺裏山谷戸ヶ原新釋迦堂書院(仙覺和尚が萬葉集校勘の地)
等であるが文報ではこれら文學遺跡指定地には保存助成金を支出するほ

△東京 下谷の正岡子規の根岸庵、田端の同墓所
△鎌倉 比企ヶ谷妙本寺裏山谷戸ヶ原新釋迦堂書院(仙覺和尚が萬葉集校勘の地)
等であるが文報ではこれら文學遺跡指定地には保存助成金を支出するほ

△東京 下谷の正岡子規の根岸庵、田端の同墓所
△鎌倉 比企ヶ谷妙本寺裏山谷戸ヶ原新釋迦堂書院(仙覺和尚が萬葉集校勘の地)
等であるが文報ではこれら文學遺跡指定地には保存助成金を支出するほ

△東京 下谷の正岡子規の根岸庵、田端の同墓所
△鎌倉 比企ヶ谷妙本寺裏山谷戸ヶ原新釋迦堂書院(仙覺和尚が萬葉集校勘の地)
等であるが文報ではこれら文學遺跡指定地には保存助成金を支出するほ

△東京 下谷の正岡子規の根岸庵、田端の同墓所
△鎌倉 比企ヶ谷妙本寺裏山谷戸ヶ原新釋迦堂書院(仙覺和尚が萬葉集校勘の地)
等であるが文報ではこれら文學遺跡指定地には保存助成金を支出するほ

か毎年適當な時期を擇んで顯彰式を
舉行の豫定である

▲有馬賞は沙和宋一氏 【七日】農
民文學の優秀作品に贈られる「有馬
賞」は本年度から銚衛を日本文學報
國會に移管、七日候補作品二十數篇
中から沙和宋一氏の「民謡ごよみ」
に贈與されることに決定した

▲「詩華集」を前線將兵に贈る【十日】
日本文學報國會ではかねてから文學
による軍人援護思想普及を期してゐ
たが、今回軍事保護院の要望に應へ
て前線と統後を結ぶ紐帯ともなるべ
き詩歌の献納運動を行ふことになつ
た、これは全詩壇を總動員して創作
するもので、從來軍事保護院の主導
にかゝる詩歌の多くは専ら傷痍軍人
戦歿者遺族等を中心主題とするもの
に限られてゐたが、今回は更に規模
構想を大に、米英撃滅、大東亞建設
の烈々たる國民的氣魄を盛るもので
文報ではこの運動を單に献納詩とし
てのみでなく従來の形を破つた新詩
創造を目指してをり、作品中優秀な
ものを選んで詩華集を發行前線の將
兵傷痍軍人に献納すると共に永く後
世に傳へることになつたが、音樂界
もこれに協力して新詩作曲に新銳作
曲家を動員する

藝術報國大會舉行

【九日】全藝術家の米英撃滅の總意
を示す第一回藝術報國大會は九日午
前九時半から翼贊會主催、情報局、
陸海軍、文部各省後援のもとに九段
軍人會館で開催された

藝術院賞の六氏決定

【九日】藝術界の最高榮譽者を制定
する帝國藝術院では第二回(昭和十

七年度)授賞者を決定し、九日文部
省から發表された今回の授賞者及び
作品名は次の通りである

第一部(美術)日本畫「山鹿素行先
生」島田墨仙氏作、油繪「山下パー
シバル兩司令官會見圖」宮本三郎氏
作、彫塑「建つ大東亞」古賀忠雄氏
作、工藝「梅時繪飾櫛」吉田源十郎
氏作

第二部(文學)野口米次郎氏
第三部(音樂)井口基成氏

文化映畫賞決定

【十日】日本文化中央聯盟の昭和十
七年度後期文化映畫賞は陸海軍内務
文部各省、情報局の審査員が参加十
六作品につき銚衛の結果、前后期を
通じての綜合賞(賞金一千圓)は日
本映畫社作品「空の神兵」に、部門
賞は次の如く入選決定

△企畫構成賞(金各二百圓宛)日本
映畫社作品「基地の建設」桑野茂、
同「大建設鴨綠江ダム」越野裕、理
研映畫「燒夷彈」青戸隆章
△演出賞(賞金五百圓)日本映畫社
作品「基地の建設」桑野茂
△攝影賞(賞金五百圓)日本映畫社
作品「基地の建設」植松永吉
△音樂賞該賞作品無し
△録音賞(賞金各二百五十圓宛)日
本映畫社作品「基地の建設」大峰淑
生、同「我等は日本少國民」松崎新
一

美術界一束

▲春陽會授賞者、新入會員【十一日】
十一日正午から上野精養軒で開かれ
た春陽會出品者懇親會の席上左の通
り本年度授賞者發表並びに新入會員
が推擧された

△授賞者(五名、賞狀並びに賞金)
△一席 豊泉惠三、二席 角南松生
三席 原田武男、四席 兒玉彦三、
五席 伊川鷹治
△新入會員(三名)
三雲祥之助、中谷泰、吉田達磨

▲獨立美術新會員【十四日】獨立美
術協會では今回新會員として左の三
氏を推薦した
島海青兒氏(元春陽會會員)富樫
寅平氏(新潟縣出身)菅野圭介
(東京出身)

漫畫家の大同團結成る【十六日】

全日本漫畫家を一丸とする「日本漫
畫家公會」結成準備會は十六日午後
二時から大政翼賛會本部に開かれた
△五月一日發足【廿六日】「日本漫
畫家公會」は愈よ來る五月一日結成
式を擧げることとなつた、會長には
北澤樂天氏が就任する

▲佐分利賞受賞者決定【十八日】第
七回佐分利賞の受賞者は十八日左の
三氏に決定した
△國畫會同人松本健吉△一水會々員
田崎廣助△光風會々員伊藤藤三
△國畫會の受賞者、新會員、會友
【廿五日】國畫會では第十八回國畫
會受賞者並に新會員、會友の推薦氏
名を二十四日左の如く發表した

△繪畫部 國畫獎勵賞(宗像逸郎、合
田好道、南風原朝光)夫人賞(張狀宗
像逸郎、川村滋、福留章太)新會員
(澤野岩太郎)新會友(松木清史外十
六名)
△版畫部 國畫獎勵賞(加藤安)新
會友(畦地梅太郎外三名)
△工藝部 國畫獎勵賞(山田喆)新
會員(増田三男)新會友(山田喆外
二名)褒狀(森正外四名)
△寫眞部 國畫獎勵賞(故光村利弘)

天長節に産業人俳句大會

【廿九日】産業報國會は去る二月以
來久米正雄、久保田萬太郎、富安風
生、水原秋櫻子、室生犀星、瀧井孝
作、飯田蛇笏、尾崎喜八等十二氏を
審査員として都下各工場の産業人か
ら俳句を募集してゐたがこの程審査
成り廿九日天長節の佳節を卜して午
後一時から日本文學報國會後援のも
とに澁谷産報道場に於て産業人俳句
大會を開催した

本年度大學總長會議

【廿一廿二日】十八年度の定例總
長會議は廿一、二の兩日文相官邸に
開會、文部省側から東條兼攝文部大
臣、菊池次官、永井専門教育、藤野
總務、近藤教學、小笠原體育、生悅
住科學各局長等、西崎大學教育課長ほ
か關係課長等、大崎側から内田東大
羽田京大、熊谷東北大、今北大、眞
島阪大、澁澤名大、安藝臺北大各總
長及び西九大理事長、山家京城大
理工學部長(各總長代理)出席二日
間に亘つて戦ふ大學體制の強化につ
いて熱心な意見の開陳があつた

教育

大日本映畫教育會發足

【十日】映畫教育の大本を示さうと
するわが國關係業者斯界の權威を網
羅してこの程文部省内に設立された
財團法人大日本映畫教育會は十日午
前十時文部省第一會議室に關係官民
約四百名を集めて盛大な發會式を舉
行した

高等學校校長會議

【十七日】劃期的學制改革後初の新
制高等學校長及び大學豫科長會議は
十七日午前九時文部省第一會議室に
開催、橋田文相、菊池次官以下各局
長並に全國官公私立高等學校長三十
三名大學豫科長四十二名出席、左の
事項に基き協議を遂げた

○高等學校高等科教授要綱に關する
件○高等學校修練要綱に關する件○
高等學校校務組織及報國團機構に關
する件○寄宿寮に關する件○其他

教學局參與會議

【廿三日】學制改革後初の文部省教
學局參與會議は廿三日午後三時から
文相官邸に開催された、出席の教學
局參與は次の通り
陸軍少將佐藤實了、海軍少將矢野志
加三、司法省刑事局長池田克、東京
文理大學長河原春作、國民精神文化
研究所員伊東延吉、同田所美治、同
羽田亨、同内田祥三、同紀平正美同
山田孝雄、同寛克彦、同田中稔積同
小泉信三

宗教

嚴如上人五十回忌法要

【十日】東本願寺第廿一世法主嚴如
上人五十回忌法要是、長き邊りより
從一位退位の有難き御沙汰を拜し、
感激の裡に十日から十五日まで光暢
法主以下僧侶四百餘名出仕の下に嚴
修されてゐるが、嚴如上人は文化十

四年三月七日、二十世法主世達上人の二男として誕生、三十才で廿一世の住職を継ぎ文久三年八月攘夷御親征の御決定を見るや直に金一萬兩を献上し、慶應三年一月鳥羽伏見の戦ひには門徒約二百萬を率ゐて参内、天機を奉伺し金一千兩を献上した、同寺は徳川家との縁深く佐幕派と目されたが、上人は徳川家の恩寵輕からずとも固より君恩に比すべきにあらざると勤王の大綱を支持し全國を巡錫御獻米料一萬一千兩、米四千俵を献上してゐる、この間同寺は安政五年と元治元年に火災にかかり堂宇を烏有に歸したがこれを再建、明治五年伯爵を賜り同二十七年一月七十八歳で入寂した

厚生

乳幼児の體力検査三歳未満まで實施

【二十七日】厚生省では「今年度の乳幼児體力検査實施指導要綱」を決定、廿六日武井厚生次官から各地方長官宛通牒した、これによると従來乳幼児體力検査の對照は零歳兒(一歳未満)と一歳兒(二歳未満)の乳幼児だけであつたが今年からこの年齢層を擴充、二歳兒(三歳未満)も體力検査を受けねばならなくなる、また従來は年二回地方毎にまちまちの期間を選んで實施してゐたが寒い時に行つてかへつて悪い結果になつたり眞に虚弱兒の治療に手落ちがあつたりしたため今後は原則として年一回とし榮養不良、疾病異狀のある

病弱乳幼児には特に二回、實施検査期間は全國一定して、第一回は来る五月一日から七月三十一日まで、第二回は八月一日から十月三十一日までの間に、各市區町村内の國民學校學校附屬病院等で行ふことになつた(但し零歳兒一今年四月以降に生れたものだけは生後四ヶ月間に一回、七ヶ月目に一回、合せて二回検査をうけねばならない)、なほ本年の體力検査をうける乳幼児の總數は約六百萬人と見積られてをり、一歳兒は昭和十七年四月一日以降本年三月三十一日まで生れたもの、二歳兒は昭和十六年四月一日以降昨年三月三十一日まで生れたものである、更にこの體力検査の結果極度の營養不良や微毒性疾患等を有するもので家計上醫療困難な乳幼児には市區町村から特に國費による無料治療券が交付され、或ひはビタミン劑、乳製品卵等が特配される

木船工大量養成

【廿七日】厚生省では木船建造に必要な「木造船」を大量に養成するため木船工補導所の増強を計畫廿七日第二豫備金支出で八十餘萬圓の豫算を決定する六月から全國の「木造船補導所」を開設する、この補導所は昨年度は宮城、山形、秋田各縣に一ヶ所宛既に設立されて居るが今年度の増設分は主として北海道、東北、四國、九州地方に十六ヶ所新設する豫定である

大學野球リーグ戦解消

【六日】文部省體育局では六日東京大學野球聯盟及び東都大學野球聯盟の代表者を文部省に招致し北澤體育振興課長より東京大學聯盟内村理事長代理久保田理事(立大教授)及び東都大學理事長長野井専大教授に對して、過般各學校校長宛通牒せる戰時學徒體育訓練の實施要項の趣旨に基きリーグ戰形式による試合の取止め方を要望したが、東京大學聯盟に對しては聯盟理事長不在の爲め文部省より覺書を手交し其の善處方を要請した、又關西六大學野球聯盟に對しては體育局長書翰を以て同様の趣旨を通告した、これで滿都市民の血を沸かした六大學野球も全く解消の運命となつたが、自校競技場を使用しての對校試合形式に依る野球試合の道は殘されて居るので、東京六大學野球及び東都大學野球聯盟所屬校の野球試合が禁ぜられた譯ではない

兵學校の訓練に闘球採用

【十二日】江田島の海軍兵學校では更に烈々たる攻撃精神と強靱なる體力を練磨すべく闘球(ラグビー)を訓練用に採用する事となつた、従來同校では名物競技として有名な「棒倒し」を行つてゐたが飽く迄正義を追求する闘球の持つ勇猛性、集團行動の緊密、敢闘中の冷靜なる判斷、自己犠牲の精神等は我が沈黙海軍軍成に最適のものとし、去月下旬より同校教官小林大尉が上京資材器具その他に就て關係方面に打合せを行ひ今回の決定となつたものである

体育

學振に女子部を設置

【廿三日】大日本學徒體育振興會では本部及び八地方支部専門部の局的機構として女子部を設置し、積極的な健母育成施策に踏み出す事となつた、委員長には東京女高師校長下村田權一氏、參與には奈良女高師校長長嶺田登氏、日本女子大學長井上秀女史等多年我國女子體育界の振興に寄與した權威者を役員に据えて陣容を整備した、なほ従來東京女高師内に事務所を置いてゐた女子體育振興會(會長下村壽一氏)は學徒振女子部の設置によつて發展的解散の上、同會女子部に包攝される事となつた

學體本年度事業決る

【廿八日】大日本學徒體育振興會では過般文部省から發した戰時學徒體育訓練實施要綱に基き、今年度事業計畫を立案中であつたが、此の目決定、廿八日發表した、即ちその目標を戰力増強、強兵健母の育成に努めると共に強健ならざる學徒の體位向上の方策實施を積極的の圖る事は勿論であるが、各種大會の内容も文部省の既定方針に基いて重點種目に限定し、又戰時交通機關の利用を最少限度に止めて府縣、地方大會に重點を置き、努めて全國的大會を見合はせる方針であるが、競技種目別大會では大學高專水大會の如く關東、關西兩地區で豫選を行ひ、其の少數の成績優秀校のみを中央に集めて再び東京大會を開催するものもある、此の他學校報國團鍛鍊部長、國防訓練部長、學生生徒主事等大學高專校の幹部教職員に對し學校報國團運營の適正を期するに目的とする講習會或ひは大學高專校に於ける體育訓練

練成日記

【二日—十七日】大相撲大阪場所所は東軍一五〇對一三二で勝つ幕内優勝羽黑山
【三日—十一日】東大對京大對抗競技は三日馬術、四日弓道、五日野球、六日籠球、排球、七日劍道、八日柔道、陸上、庭球、卓球、射撃の各種目を舉行、京大六勝、京大四勝、一引分となつた
【三日—廿九日】早慶對抗競技は三日漕艇、十一日庭球、籠球、二十九日排球の各種目を舉行、漕艇、籠球、排球に早大、庭球に慶大優勝した
【三日—廿五日】早大對關學對抗戰は、三、四日籠球、廿四、五日庭球の各競技を舉行、籠球は關學、庭球は早大優勝
【四日】故嘉納師範五周年祭全國有段者紅白試合は講道館道場で舉行
【二十五日—二十九日】東京六大學先輩野球舉行
【廿九日】東大對文理大蹴球戦に東大快勝

檢察裁判

大東亞戰爭捷恩赦
一萬五千餘名に特別特赦
【二十八日】畏くも昨年二月十八日大東亞戰爭捷第一次の輝く祝賀に

際し恩赦に關する優渥なる御沙汰を賜り爾來一年有餘の長きに亘り司法省を初め關係職司において恐懼感

に於ては恐懼感、之が奉行の任に膺つてゐたが、これが奉行の中特別特赦に關し

に於ては、復権令に浴するものは、將來の革新を企圖し之が實行を爲さむと

法相謹語

△恩赦概況 (一)長くも昨年二月十八日戰捷第一次の輝く祝賀に際し恩赦に關する優渥なる御沙汰を拜し

るは勿論のことであり、其の後等を闇に流し不當の利益を得た嫌疑

【廿三日】時局を利用して詐欺大闇を働いた一味が藏前署に檢舉された

七百五十萬圓の大闇

【廿七日】決戦下物資不足の折柄失火のためあたふた多数の貴重な物資を

失火罪は改正刑法で嚴罰

【廿七日】決戦下國民の自覺によつて一般犯罪は減少してゐるが萬引、スリ

一齊檢舉も萬引を對象としてデパートの監視員と密接な連絡を計り徹底的な檢舉を行つてゐる、既に大デパートの所在する堀留署の如きは一日約二十名近き萬引犯罪者が檢舉されて居る、同署の調べによれば戦前は虛榮心の強い女の出來心の犯罪であつたが今回の檢舉によると男女約同數、年齢も青少年に多い

法令

勅令公布

- △十七日
 - 一、稅務署官制中改正の件
 - △二十一日
 - 一、外債償還處理委員會官制
 - 一、南洋廳部内臨時職員設置制中改正の件
 - 一、戰爭死亡傷害保險法を臺灣に施行するの件
 - 一、健康保險特別會計規則中改正の件
 - △二十二日
 - 一、取引所資産評價委員會官制
 - △二十六日
 - 一、造幣局官制中改正の件
 - 一、農林省官制中改正の件
 - 一、臺灣總督府專賣局官制中改正の件
 - △二十七日
 - 一、關稅法戰時特例
 - △二十八日
 - 一、朝鮮電力評價審査委員會官制
 - 一、海軍工機學校令中改正
 - 一、昭十五年勅令第四百三十四號政府出資特別會計法第一條第二項の規定に依り他の特別會計の所屬と爲す政府の出資を定むるの件中改正
 - 一、昭和十八年法律第十七號第一項の規定に依り通信事業特別會計に所屬せしむる經費及收入を定むるの件
 - 一、昭和十八年法律第三十二號鹽專賣法中改正法施行期日
 - 一、鹽業組合令
 - 一、財團法人同仁會の設立する青島東亞醫學院に關する件
 - 一、大正十年勅令第三百二十八號東亞同文會の設立する東亞同文書院大學に關する件中改正
 - 一、昭和十六年勅令第九百二十五號

旅順工科大学の學部等の在學年限又は修業年限の臨時短縮に關する件中改正

一、昭和十八年法律第三十五號帝國鐵業開發株式會社法中改正法律の一部施行期日

一、昭和十四年勅令第三百三十七號金資金の運用に關する件中改正

△三十日

一、中央航空研究所共濟組合令

人事

大谷光勝師位階追陞

【八日】畏き邊りでは元眞宗大谷派第二十二世法主元東本願寺住職故大谷光勝師五十年忌法要に際し、同師が明治維新當時の功績並びにわが宗教界への貢獻を思召され九日左の如く特旨を以て位階追陞の御沙汰あらせられた

故正二位 大谷 光勝

贈従一位(特旨を以て位階追陞せらる)

定期敘勳

【十日】畏き邊りでは八千五百九十三名の文武官に對し十日定期敘勳並びに六百八名に對し朔及敘勳の御沙汰あらせられた、定期敘勳のうち主なるものは主なるものは次の如くである

樞密顧問官勳一等 林 類三郎

授旭日大授章

久通宮附別當勳二等 宇川 濟

陸軍中將勳二等 丸山 政朝

陸軍司政長官勳二等 片山省太郎

陸軍中將同 影佐 禎昭

陸軍中將同 加藤 棧三

海軍中將同 小林 徹理

桐生高等工業 學校長勳二等 西田博太郎

敍勳一等授瑞寶章(各通)

久通宮德彥王殿下に勳一等の御沙汰

【六日】畏き邊りでは六日御日出度御成年式を擧げさせられた久通宮德彥王殿下に二日附を以て左の如く敍勳の御沙汰あらせられた

德 彥 王

敍勳一等授旭日桐花大授章

製爵被仰付(十五日)

故子爵西辻公莖家 西四辻公順

督相續人從七位 督相續人從五位 中村 徹雄

故子爵池尻基房家 池尻 貞光

督相續人從五位 製爵被仰付(十五日)

在本邦中華民國 徐 良

特命全權大使 贈與勳一等旭日大授章

製 爵

【一日】

故男爵平賀謙 平賀 謙一

家督相續人 故男爵中村謙一家 中村 徹雄

督相續人從五位

陳特派大使等三氏に御贈勳

【七日】畏き邊りでは今般來訪した陳公博特派大使をはじめ緒外交部長周行政副院長の三氏に對し日華兩國の親善關係増進につくせる功績を思召され、次の如く勳章贈與の御沙汰あらせられた、七日賞勳局より發表された

中華民國々々長 陳 公 博

府立法院々々長 褚 民 誼

同 外交部々々長 周 佛 海

同 行政院副院長 周 佛 海

兼財政部々々長 任樞密顧問官

贈與勳一等旭日大授章(各通)

湯澤前内相を勅選

【三十日】政府は平生鈺三郎氏の樞密顧問官親任に伴ひ缺員となつた貴族議員として前内相湯澤三千男氏を奏請することに決し、上奏御裁可を経て三十日左の如く發令された

湯澤三千男

貴族院令第一條第四號に依り

【二十日】畏も 天皇 皇后兩陛下には、近く離任歸國する前駐日中華民族議員として前内相湯澤三千男氏を奏請することに決し、上奏御裁可を経て三十日左の如く發令された

湯澤三千男

貴族院令第一條第四號に依り

【二十日】畏も 天皇 皇后兩陛下には、近く離任歸國する前駐日中華民族議員として前内相湯澤三千男氏を奏請することに決し、上奏御裁可を経て三十日左の如く發令された

湯澤三千男

貴族院令第一條第四號に依り

内閣辭令

【二十八日】 總領事 高瀬 眞一
任大使館參事官(二)
中華民國在動被仰付
治外法權撤廢專門委員會に於ける帝
國委員被仰付

海務局長兼地方
海員審判所長
伊藤順二郎
任海務院部長(二)
鐵道官 石塚 秀二

任海務局長兼地方海員審判所長(二)

情報局の新陣容決定

【二日】 情報局の改組強化に伴ふ
情報局各部長並に課長級の異動は一
日附左の如く發令された

情報局長 奥村喜和男
情報局第一部長、同第二部長事務取
扱ひを命ず

情報局情報官 佐藤 勝也
情報局第一部長心得を免ず

依願免本官 松村 秀逸

情報局總裁官房秘書課長兼同文書課
長を命ず
同 林 馨

情報局第一部企畫課長を命ず
同 高橋 貢

情報局第一部情報課長を命ず
同 彌富元三郎

情報局第一部國民運動課長を命ず
同 下野 信恭

情報局第一部週報課長を命ず
同 宮本 吉夫

情報局第二部新聞課長を命ず
情報局情報官 竹本 孫一

情報局第二部出版課長を命ず
同 水谷 史郎

情報局第二部放送課長を命ず
同 磯野 勇三

情報局第三部對外報道課長兼同調査
課長を命ず
同 田付 景一

情報局第三部對外事業課長を命ず
同 金井 元彦

情報局第四部檢閱課長兼同藝能課長
を命ず
同 井上 司朗

情報局第四部文藝課長を命ず
同 高瀬 五郎

依願免本官 不破 祐俊

情報局情報官兼 文部省教學官
依願免本官並兼官 熊谷 則正

情報局情報官 佐藤 勝也
同 熊谷 則正

情報局情報官 古橋才次郎
情報局總裁官房審議室勤務を命ず
(各通)

情報局審議室陣容成る

【十四日】 情報局の改組強化に伴
ふ總裁直屬の新機構として設置され
た審議室の構成に關しては、兼に陸海
軍連絡官として、佐藤勝也海軍大佐
熊谷則正陸軍中佐、古橋才次郎海軍
中佐の三氏が情報局情報官の現職の
まま審議室勤務を命ぜられたが、今
さらには陸海軍より谷萩陸軍報道部
長、平出海軍報道部課長が加はり、
課長が夫々兼任情報局情報官を命ぜ
られ審議室に入ることとなり十四日
付發令された

審議室にはさらに奥村情報局長
各部長も加はり結局審議室の構成人
員は九名となつたが、これを以て改

組情報局の中樞機構である審議室の
人的構成は完成をみたわけである、
しかして審議室の運用は毎週二回審
議室會議を開催、統帥府との緊密な
連絡をはかり情報、宣傳の萬全を
期する一方毎日午前十一時より情報
局長課長が審議室に參集して審議室
會議の決定事項を直ちに實施に移し
その機能を最高度に發揚すること
なつた

大東亞書記官兼 杉原 荒太
大東亞省參事官 谷萩那華雄
陸軍少將 (各通)

兼任情報局情報官(二) 平出 英夫
情報局情報官 杉原 荒太

兼任情報局情報官(二) 谷萩那華雄
陸軍少將 (各通)

兼任情報局情報官(二) 平出 英夫
情報局情報官 杉原 荒太

兼任情報局情報官(二) 谷萩那華雄
陸軍少將 (各通)

兼任情報局情報官(二) 平出 英夫
情報局情報官 杉原 荒太

兼任情報局情報官(二) 谷萩那華雄
陸軍少將 (各通)

兼任情報局情報官(二) 平出 英夫
情報局情報官 杉原 荒太

兼任情報局情報官(二) 谷萩那華雄
陸軍少將 (各通)

兼任情報局情報官(二) 平出 英夫
情報局情報官 杉原 荒太

兼任情報局情報官(二) 谷萩那華雄
陸軍少將 (各通)

兼任情報局情報官(二) 平出 英夫
情報局情報官 杉原 荒太

兼任情報局情報官(二) 谷萩那華雄
陸軍少將 (各通)

兼任情報局情報官(二) 平出 英夫
情報局情報官 杉原 荒太

兼任情報局情報官(二) 谷萩那華雄
陸軍少將 (各通)

兼任情報局情報官(二) 平出 英夫
情報局情報官 杉原 荒太

兼任情報局情報官(二) 谷萩那華雄
陸軍少將 (各通)

兼任情報局情報官(二) 平出 英夫
情報局情報官 杉原 荒太

兼任情報局情報官(二) 谷萩那華雄
陸軍少將 (各通)

地方長官補充
【二十三日】 安藤内相は情報局長
に轉じた村田群馬、警視總監、警保
局長にそれぞれ轉任した海田鹿兒島
町村富山各縣知事の後任補充につき
銓衡の結果廿三日の閣議決定を経て
上奏御裁可を仰ぎ即日左の如く發令
した

東京府内政部長 篠山 千之
大阪府警察部長 坂 信彌
大府警監事(二) 任富山縣知事(二)

内務省監査官 柴山 博
京都市警察部長 沼越 正己
任鹿兒島縣知事(二)

警視廳警務部長 西廣 忠雄
警視廳內政部長(二) 任東京府內政部長(二)

警視廳警務部長 谷口 明三
警視廳警務部長 任埼玉縣內政部長(二)

警視廳警務部長 赤羽 穰
警視廳警務部長 任内務書記官(三) 大府官房文書課長

警視廳警務部長 友末 洋治
警視廳警務部長 任内務書記官(三) 防空局指導課長を

警視廳警務部長 岡崎 英城
警視廳警務部長 任内務書記官(四) 警保局外事課長を

警視廳警務部長 青木 重臣
警視廳警務部長 任千葉縣警務部長

警視廳警務部長 豐原 道也
警視廳警務部長 任警視廳保安部長(二)

警視廳警務部長 杭道 軍二
警視廳警務部長 任警視廳刑事部長(二)

警視廳警務部長 岩澤 博
警視廳警務部長 任警視廳消防部長(二)

警視廳警務部長 永岡 文男
警視廳警務部長 任警視廳保安部長

警視廳警務部長 宮田 笑内
警視廳警務部長 任京都市警察部長(二)

警視廳警務部長 齋藤 昇
警視廳警務部長 任内務省文書課長

警視廳警務部長 野村 儀平
警視廳警務部長 任兵庫縣警務部長(三)

警視廳警務部長 丹羽喬四郎
警視廳警務部長 任千葉縣警務部長(三)

警視廳警務部長 原 信次郎
警視廳警務部長 任廣島縣警務部長(三)

警視廳警務部長 今井 清武
警視廳警務部長 任愛知縣警務部長(三)

警視廳警務部長 柏木 輝夫
警視廳警務部長 任岐阜縣警務部長(三)

警視廳警務部長 青木 大吾
警視廳警務部長 任山形縣警務部長(四)

警視廳警務部長 青木 貞雄
警視廳警務部長 任福井縣內政部長(三)

警視廳警務部長 渡邊 捨雄
警視廳警務部長 任岡山縣警務部長(三)

警視廳警務部長 小川 喜一
警視廳警務部長 任内務省警務課長

警視廳警務部長 館林三喜男
警視廳警務部長 任廣島縣警務部長(三)

警視廳警務部長 大橋 武夫
警視廳警務部長 任岡山縣警務部長

警視廳警務部長 依り休職を命ず
文官分限令第十一條第一項第四項に

依り休職を命ず

谷前外相を駐華大使に起用
【二十八日】 政府は駐華大使重光葵
氏の外相就任に伴ふ後任駐華大使の
大選に就き鋭意銓衡中のところ世界
戰局の現段階に對處し、雄渾なる構
想に基く對華新政策の完遂を期する
上で前外相谷正之氏の起用を最適任
と認め極力その出馬を懇望中であつ
たが、この程谷氏の快諾を得るに至
り直ちに中華民國國民政府に對し所
要の外交手續を採り去る廿六日には
國民政府より正式にアグレマンの到
着をみたので廿八日午後三時宮中に
於て谷大使に對する親任式を執り行

はせられた、去る廿日の内閣改造に際し、臺閣を去つた谷前外相が退任後、旬日を出でずして今般階に到達した日華兩國の同生共死關係を愈々鞏固にし、對華新政策の遂行に邁進せんとする帝國政府不動の決意を端的に表明したものと見て注目される

陸軍司政長官

【七日】 海務院航路部長 中尾國次郎
任陸軍司政長官(一) 原 久一郎
任大藏書記官(二) 命資金局勤務
【十七日】 農林書記官 伊藤 佐

駐芬公使に中村氏

【二十八日】 外務省では南京駐在大使館參事官中村豊一氏をフィンランド國在勤特命全權公使に任ずることとなり二十八日左の如く發令された
大使館參事官 中村 豊一
任陸軍司政長官(一) 陸軍中將 大島六七男
地方技師 大島六七男

財務局長級異動

【十日】 大藏省では金山札幌、榎谷熊本兩財務局長の國民政府廣東地方漢口地方各經濟顧問轉出に伴ひ十日左の如き財務局長級異動を發令した
大阪財務局總務部長 太田 幸作
任財務局長(二) 補名古屋師團兵務部長
補札幌財務局長 主税局經理課長 戸田 忠肅
任財務局長(一) 補熊本財務局長
主税局國稅第一課長 池田 勇人
陸陸高等官(二) 主税局經理課長兼務を命ず

參謀次長に秦中將

【八日】 陸軍省發表、今般左の通り發令せられたり
陸軍中將 秦 彦三郎
陸軍中將 鈴木 宗作
陸軍少將 布施 安昌
補名古屋師團兵務部長
高嶺警備府司令長官に高木中將親補
馬公警備府は廢止

大阪財務局長 山田 義見
大阪財務局總務部長事務取扱を命ず
名古屋財務局長 吉村 丈三
部長兼關稅部長 榎谷 孝典
熊本財務局長 榎谷 孝典
在漢口地方經濟顧問に應聘
札幌財務局長 金山 國臣

【一日】 海軍では四月一日より臺灣高雄州に警備府を新設することになったが、右に伴ひ從來馬公に存置せられた馬公警備府は要港のみを残して廢止せらるることと決定一日十六時左の如く公表した

在廣東地方經濟顧問に應聘
久邇少將宮航空司令官に御轉補
【二日】 海軍省公表
本日左の通り補職發令せられたり
補第〇〇聯合航空隊司令官
艦政本部長、航空本部第一部長更迭

海軍論功行賞

【十五日】 海軍では十五日異動を行ひ艦政本部長岩村清一中將の某要職轉出に伴ふ後任として昨年末前線より歸還した杉山六藏中將が補せられ又航空本部第一部長佐藤源藏少將の某要職轉出に伴ふ後任として岩本鼎少將が補せられた旨十五日海軍省より次の如く公表された
△海軍省公表(十五日十四時)
四月十五日左の通補職發令せられたり
海軍中將 杉山 六藏
補海軍艦政本部長
海軍少將 岩本 鼎

同日海軍省並に賞勳局より夫々公表された、今回恩命に浴した勇士は死に決然として戦ひを宣して以來純忠の至誠と卓越せる術力を以て敢然出撃、太平洋、印度洋、支那大陸等の各方面に奮戦、昨年八月までに不滅の武功を残して散華せる將兵の一部及び支那事變の空中戦陸上戦間に偉勳を奏せるつはもの等である、披群の勳しと共に壯烈極はまる戦死を遂げ殊勳甲として優賞せられたる勇士は山口多田中將等六十六名の多數に上るが、特旨により大東亞戰爭開始以來初の功一級金鷄勳章を賜つた山口多田中將は〇〇航空隊司令長官として布哇海戦に参加敵艦隊主力を撃砕したる後ウエーキ島略作戦、ポーターウインエーキ島略作戦、ポーターウインエーキ島略作戦、ポーターウインエーキ島略作戦に偉勳を樹て印度洋に出撃、英空母「ハミリス」等を撃沈したる後更に東太平洋方面作戦に熾烈極はまる攻撃を敢行しつづつ艦長加來止男少將と共に從容艦と運命を共にしたのである、加來少將また武勳拔群により功二級金鷄勳章の恩命に浴してゐる、一方生存者關係に於ては事變地勤務の軍屬を主とし一部内地勤務者も含まれてゐる

【二十二日】 畏き邊りでは二十二日第九回大東亞戰爭死者行賞(海軍第四回、第六十六回支那事變死者行賞(海軍第三十回)並に第五十五回支那事變生存者行賞(海軍第十八回)各論功行賞の御沙汰あらせられ

同日海軍省並に賞勳局より夫々公表された、今回恩命に浴した勇士は死に決然として戦ひを宣して以來純忠の至誠と卓越せる術力を以て敢然出撃、太平洋、印度洋、支那大陸等の各方面に奮戦、昨年八月までに不滅の武功を残して散華せる將兵の一部及び支那事變の空中戦陸上戦間に偉勳を奏せるつはもの等である、披群の勳しと共に壯烈極はまる戦死を遂げ殊勳甲として優賞せられたる勇士は山口多田中將等六十六名の多數に上るが、特旨により大東亞戰爭開始以來初の功一級金鷄勳章を賜つた山口多田中將は〇〇航空隊司令長官として布哇海戦に参加敵艦隊主力を撃砕したる後ウエーキ島略作戦、ポーターウインエーキ島略作戦、ポーターウインエーキ島略作戦に偉勳を樹て印度洋に出撃、英空母「ハミリス」等を撃沈したる後更に東太平洋方面作戦に熾烈極はまる攻撃を敢行しつづつ艦長加來止男少將と共に從容艦と運命を共にしたのである、加來少將また武勳拔群により功二級金鷄勳章の恩命に浴してゐる、一方生存者關係に於ては事變地勤務の軍屬を主とし一部内地勤務者も含まれてゐる

【二十三日】 畏き邊りでは大東亞戰爭並に支那事變に赫々たる偉勳を樹てた陸軍關係將士に對し第十回大東亞戰爭死者行賞(陸軍第七回)第六十七回支那事變死者行賞(陸軍第四十八回)及び第五十六回支那事變生存者行賞(陸軍第四十二回)各論功行賞の御沙汰あらせられ

【二十九日】 海軍では昭和十六年秋から海上第一線にあり不滅の武功を樹てた近藤信竹中將が廿九日大將に

【二十三日】 畏き邊りでは大東亞戰爭並に支那事變に赫々たる偉勳を樹てた陸軍關係將士に對し第十回大東亞戰爭死者行賞(陸軍第七回)第六十七回支那事變死者行賞(陸軍第四十八回)及び第五十六回支那事變生存者行賞(陸軍第四十二回)各論功行賞の御沙汰あらせられ

【二十九日】 海軍では昭和十六年秋から海上第一線にあり不滅の武功を樹てた近藤信竹中將が廿九日大將に

【二十三日】 畏き邊りでは大東亞戰爭並に支那事變に赫々たる偉勳を樹てた陸軍關係將士に對し第十回大東亞戰爭死者行賞(陸軍第七回)第六十七回支那事變死者行賞(陸軍第四十八回)及び第五十六回支那事變生存者行賞(陸軍第四十二回)各論功行賞の御沙汰あらせられ

【二十九日】 海軍では昭和十六年秋から海上第一線にあり不滅の武功を樹てた近藤信竹中將が廿九日大將に

【二十九日】 海軍では昭和十六年秋から海上第一線にあり不滅の武功を樹てた近藤信竹中將が廿九日大將に

【二十九日】 海軍では昭和十六年秋から海上第一線にあり不滅の武功を樹てた近藤信竹中將が廿九日大將に

【二十九日】 海軍では昭和十六年秋から海上第一線にあり不滅の武功を樹てた近藤信竹中將が廿九日大將に

【二十九日】 海軍では昭和十六年秋から海上第一線にあり不滅の武功を樹てた近藤信竹中將が廿九日大將に

【二十九日】 海軍では昭和十六年秋から海上第一線にあり不滅の武功を樹てた近藤信竹中將が廿九日大將に

【二十九日】 海軍では昭和十六年秋から海上第一線にあり不滅の武功を樹てた近藤信竹中將が廿九日大將に

【二十九日】 海軍では昭和十六年秋から海上第一線にあり不滅の武功を樹てた近藤信竹中將が廿九日大將に

【二十九日】 海軍では昭和十六年秋から海上第一線にあり不滅の武功を樹てた近藤信竹中將が廿九日大將に

親任せられた

海軍省公表(四月廿九日十六時)本日左の通親任せられたり

海軍中將正四位 勳一等功二級 近藤 信竹 任海軍大將

門司海務局長に石塚氏

【二十八日】海陸輸送の一元的運営強化をはかるため鐵道遞信兩省では今回交流人事を斷行、左の如く發令した

△遞信省辭令(廿八日付)

海務院部長(運航) 安田 丈助 海務院航路部長を命ず

海務局長兼地方海員審判所長(門司) 伊藤藤三郎 任海務院運航部長(二)

鐵道官 石塚 秀二 任門司海務局長兼門司海員審判所長(二)

翼奮會辭令

【一日】

實踐局長 相川 勝六 國民生活動員本部長事務取扱を命ず 國民生活動員本部長 村松 久義 依願解職

谷川 昇 東京市支部事務局長事務取扱を命ず



▲杉山鉦次郎氏(預取委員長) 六九歳 三日

▲井上 秀二氏(元土木學會々長) 六六歳 四日

▲國枝 史郎氏(大衆文學作家) 五七歳 八日

▲道越 道守氏(彫金家、文展審査) 十 九日

▲平山 清次氏(理博、帝國學士院會員) 七三歳 八日

▲大塚 要氏(工博、京大名譽教授) 五七歳 三日

▲廣野 太吉氏(陸軍中將、臺灣鐵道統制會會長) 五七歳 九日

國內短信

國內要事「時事月表」に掲載のもの

一日 久邇司令官宮殿下御赴任

重光大使歸朝△憲兵隊長會議開く△皇國生産者大會△日本宣傳協會々長狹間茂氏決定

二日 工業化學會總會(三日迄)△日本聯合衛生學會(三日迄)

三日 神武天皇祭御親祭△銀座の街燈撤去式△日本地理學會開催△第十八回植樹祭△第四十七回大日本耳鼻喉學會(四日迄金澤にて)△御下賜用材の第二回伐採式

五日 芳澤大使歸任の途に上る△第廿一回結核病學會總會(京都帝大)△第二回全國都市健民報國大會(高松)

六日 久邇宮德彥王殿下御成年式△新聞通信勞務指導者鍊成會(六十二日)△大日本航空醫學會發會式(岡山)

七日 高松宮殿下神戸工場御視察

八日 陳大使等明治神宮靖國神社參拜

九日 敵國在留同胞犧牲者慰靈祭

十日 舞鶴、東舞鶴兩市合併決議 英靈納骨式

▲最上德內翁墓前祭 十一日 昭憲皇太后祭△聖德太子千三百二十二年御忌法要執行△故北原白秋追弔法要

十二日 全國財務局長會議(十四日迄)遞信局長會議(同)△慶祝文化使節鹽谷溫氏歸京

十三日 日本飼料統制會社設立方針決る△平生鉄三郎氏大東亞經濟聯盟會長を辭す

十五日 勳銀、上海北京に出張所開設△佐久間艇長三十三回忌墓前祭△興南鍊成院入學式

十六日 南方礦業學院入學式△全日本廚芥利用協會總會

十七日 帝國水難救濟會有功章御授與式△第一回生活科學全國常會△少年保護記念日△朝香總裁官軍人援護會發企人に賜褒△東京市自治記念日

十九日 警察部長會議(二十日續開)△興亞同盟武道協議會發會式△殺人機耐犯人判決

二十日 造幣局の支局・出張所設置決定△道府縣會議長會議△陸軍獸醫學校五十周年記念式△神宮用材第二次奉曳式

廿一日 帝大總長に御陪食△皇居陸下獨大使等に賜謁△横川省三以下六烈士の四十年祭

廿二日 靖國神社春の招魂式

廿三日 兩陛下徐大使御祭、豐明殿に御別宴△靖國神社臨時大祭第一日 勅使參向△軍人援護精神昂揚週間(廿九日迄)

廿五日 帝都で孔子祭

廿六日 天皇陛下、中華民國々民政府汪主席へ御禮電△東久邇總司令官宮、川崎の防空訓練御視察△帝都の英靈納骨式

廿七日 梨本宮殿下埼玉縣警防團、監視隊分列式御親臨△東久邇宮妃殿下東京第三陸軍病院御見舞△日勃文化協定祝賀午宴會

廿八日 天皇陛下葉蓬上將に賜謁

廿九日 天長節親兵式御親裁△堀井新治郎氏に綬綬褒章御下賜

卅日 靖國神社に勅使參向△高松宮殿下ゴム製品展御成り△多子母性表彰式△大東亞經濟建設戰士合同慰靈祭

(四六頁より續く) 國軍の間に激烈な海空戦が行はれた旨次の如く發表した

ドイッ潜水艦隊は英空軍の制空圏外の地域から商船團に攻撃を開始し、これに損害を與へた、急報に接し英空軍は直ちに行動現場に急行したが空軍部隊はドイッ潜水艦六隻を一時に發見、ここに海空間に戦端が開かれ激戦は四晝夜に亘つて繼續された

伊潜水艦の敢闘 【ローマ二十一日發】二十一日附のジョルナレ・デタリア紙は最近ブラジル水域において行はれた伊潜水艦と米空軍との戦闘に關し次の如く報道してゐる

イタリア潜水艦一隻は船體修理のため浮き上つたところを米國の軍艦に發見され米艦は直ちに潜水艦に爆撃を加へたが、爆弾は一發も命中しなかつた、米國艦は基地に應援方を打電したらしく、更に二臺の米國艦が現場に到着した潜水艦は全砲門を開いて應戦に努めたが、遂に一彈は艦の附近に炸裂その破片は甲板上に飛散した、このため乗組員二名は即死し、指揮官一名、機關長、士官六

名は負傷した、併しながら彼等は勇敢に各自の持場を死守し、他の乗組員は敵機と交戦しながら艦の修理に懸命の努力を續けた、敵一機は機銃彈の猛射を浴びて忽ち艦の近くに墜落他の一機も同様海中に墜落された残り一機は命中彈を蒙つたが煙の尾を曳きながらアタフタと遁走した、此間艦の修理が完成、潜航可能となり、間もなく艦の姿は水中に没した

スベイン船撃沈 【マドリド廿一日發】タンジール來電によればスベイン船のカステイロ・デ・モンタラゴロはセネガル沖で英國潜水艦の雷撃を受け撃沈されたと傳へられる、乗組員は全部救助され、うち十九名はダカールに到着の豫定といはれる

ブルターニ沖の海戦 【ベルリン廿八日發】ドーブア海峽獨英兩國の輕艦隊が二時間に亘つて交戦英國の驅逐艦數隻に砲彈が命中した、ドイッ艦隊は全部無事基地に歸還した

【ベルリン廿九日發】ブルターニ沖の海戦に關してドイッ總統大本營は廿九日夕の通り發表した

ドイッ輸送船團は廿八日拂曉數的に優勢な英國艦隊にドイッ海峽南端入口で遭遇した、ドイッ護送艦は直ちに敵に猛撃を加へ、快速艦二隻を撃沈、快速艦二隻及び驅逐艦一隻を大破させた、ドイッ沿岸警備艦一隻は遠方から機火を望見、急速救助に驅け付け敵驅逐艦に多大の損害を與へた

大東亞

國民政府

政治・軍事

陳特派大使訪日

【南京六日發】陳特派大使の訪日に關し國民政府外交部並びに宣傳部は六日午後四時左の如き共同發表表を行った、

「國民政府においては參戰以來友邦日本が各地域管租界及び北京公使館區域の還付並びに物資移動制限の撤廢等中國の獨立自由の完整及び戰時體制の確立に對し、種々援助を供與せられたるに對し、今般立法院院長陳公博を訪日特派大使として派遣し、答禮の意を表するとともに、戰爭完遂問題に就き日本當局と隔意なき懇

談をなさしむることとなり、陳特派大使は本日午前十時四十分南京を出發赴日の途につきたり、隨員は外交部上海辦事處長整理甫、宣傳部參事黃善生、上海市政府秘書長林基上海市政府參事沈觀準なり

▲陳特派大使南京發【南京六日發】訪日特派大使として日本に派遣されることになつた國民政府立法院院長兼財政部總務司長楊樞華氏以下五名を隨へ八日午前九時南京發訪滿の途についた

▲訪滿特派南京出發【南京八日發】滿華國交教睦の重要使命を擔つて滿洲國に特派されることになつた行政院副院長兼財政部長周佛海氏は隨員を隨へ八日午前九時南京發訪滿の途についた

▲周佛海氏歸寧【北京廿五日發】訪滿特派大使の重要使命を果し去る八日周佛海氏は華北政務委員會首腦者をはじめ北支軍並びに日本大使館當局と種々懇談を遂げ廿五日午前十時五分發北京西郊飛行場南京に歸任した

周特派大使訪滿

【南京八日發】周佛海特派大使の訪滿に關し八日正午國民政府外交部並びに宣傳部は左の如き共同發表表を行った

△外交部、宣傳部共同發表表（八日正午發表）國民政府參戰後の現段階において中滿兩國邦交の親睦及び中滿經濟關係の圓滑を圖らんがために今般行政院副院長周佛海を訪滿特派大使として派遣し、滿洲國の各種重要産業建設及びその他諸般の施設を視察せしむるとともに戰爭完遂に關する協力問題につき滿洲國當局と隔意なき懇談をなさしめることとなり、周特派大使は本日午前九時當地發赴滿の途につきたり、隨員は財政部總務司長楊樞華、財政部參事黃達中央儲備銀行總務所馬驥良、儲備銀行秘書處所長沈巨塵、兩政府經濟顧問岡田西次なり

天皇陛下に同光大勳章御贈進

【南京廿五日發】國民政府はさきに最高國防會議で決定した同光大勳章を天皇陛下に對し奉り御贈進することとなり、今同外交部長樞民誼氏を特派大使とし、特派公使張超氏以下隨員として訪日せしめ、樞特派大使以下隨員は勳章を捧持して廿六日宮中に參入、畏くも天皇陛下に謁見仰せつけられ、同光大勳章の捧呈を行ふが、これに關し國府宣傳部は廿五日午後次の如く發表した

△宣傳部、外交部共同發表表 國民政府は友邦日本帝國天皇陛下に對し奉り、同光大勳章を御贈呈するため、外交部部長樞民誼を特派大使として派遣し全權公使張超、外交部亞洲司長薛逢元外交部秘書徐義宗を特派大使隨員に任命し、樞特派大使は四月廿六日隨員を隨へ、參内の上、天皇陛下に謁見、同光大勳章を捧呈することとなれり

▲外交部長南京歸着【南京三十日發】東亞醫學大會出席のため訪日中であつた樞外交部長は在京中特派大使の資格で天皇陛下に對し奉り同光大勳章を御贈進、大任を果して二十八日空路歸國の途に就き、途中上海で一泊、二十九日午後九時二十分南京着列車で歸還した

清郷工作揚子江を越ゆ

【南京十日發】國府綜合戰力の培養基地として參戰後一段と重要性を加へた清郷工作は浙東余姚、鎮江地區に次いでさらに四月十日を期して長江デルタの北岸南通を中心に啓東、海門、如皋を含む蘇北地區第一期工作並びに上海、西北方の嘉定、寶山崇昭島を含む上海地區第二期工作を開始した、しかし今次清郷の重要性は國府の清郷工作が初めて揚子江を渡河し蘇北全域確保の基礎を樹立したること、並に同地一帯が蘇北において既に開發された地域で、その政治的、經濟的、重要性は華北を繋ぐ全支的規模極めて重大視されてゐる又國府參戰以來の懸案一つとなつてゐる特殊地域の調整問題も今次清郷を基礎に漸次解決の緒につくものと期待され工作成果は各方面より注

佛政府鼓浪嶼共同租界放棄通告

【南京八日發】去る三月二十七日帝國廈門鼓浪嶼共同租界回收實施に關する取極及び了解事項調印についでフランス政府も帝國に追從して同

様措置をとることに決定、佛國駐華大使館參事官ベツソン氏は本同政府の訓令に基きフランスは四月八日を期して廈門鼓浪嶼共同租界行政權を放棄する旨樞民誼外交部長に通告した、通告文内容左の通り

一、佛國政府は一九四三年二月廿三日の聲明に基き廈門、鼓浪嶼共同租界行政權を放棄するに決定し九百四十二年四月八日よりこれを實施す

二、佛國政府は同日を期して在廈門鼓浪嶼工部局の一切の公共施設及び工部局に附屬するその他の全資產を放棄す、但し爾後の責任は中國當局に於て負ふものとす

三、中國當局は現に佛國政府及び人民が該租界内に所有する土地不動産及びその他の享有權益を尊重確認すべし

目的となつてゐる
目下第二期工作地區は長江下流
南岸の三角地帯に最後に残された地
域であり、今回の工作實施により同
三角地帯は完全に國府治下に結集さ
れたわけで、上海周邊に僅に残され
た密輸ルートの完封とともに、これ
が生産力増強に對する寄與は極めて
大きい、かくて參戰後國府の清郷工
作は治下要域に矢つぎ早に實施さ
るべき所期の成果を収めつゝ、全支清
郷の前途に一大曙光を齎してゐる

東條内閣改造の反響

新中國報論評【上海二十二日發】今
次の東條内閣改造に關し二十二日の
華字紙新中國報は「日本内閣改造の
意義」と題し左の如き論評を掲げて
ゐる

「日本内閣今次の重要人事異動は日
本の國內戰時政治機構の強化である
ことは勿論だが中でも注目すべきは
前駐華大使重光氏が外相に就任した
ことであつて、今後日華盟邦關係は
更に積極的に推進されるものと期待
される、重光外相は日本外交界の長
老で我國との關係は特に密接なもの
がある、日華關係が現在最も重要な
局勢にあることに鑑み同氏の外相就
任に對しては我國各界はこぞつて衷
心より慶賀の意を表するものである
重光外相は過去一年四ヶ月の間駐華
大使の任にありその間大東亞戰爭、
中國參戰、租界返還及び日本の對支
政策轉換等幾多折衝に當つた同氏の
苦心は實に感謝の一語に盡きる、重
光氏の外相就任により日本の對支新
政策殊に租界問題の解決に積極的な
考慮が拂はれるものと思はれる、今
次の更迭の中で東條首相が文部大臣

を兼攝し天羽英二氏が情報局長に
就任したことはまことに意義深い機
構は已に完璧のもので、人材の集中
指揮の統一及び行政の効率は實に見
るべきものがあり、わが國としても
戰時行政機構の確立に當りこの點に
關し教へられるところ少なからざる
に、要するに今回の東條内閣強化は
日本の作戦徹底遂行の決意を最も重
視すべき意味が存するの點において言へる

「今回の改造は既定の國策に變更を
加へるものでなく、新たな戦局と
國際情勢に適應せんがために行はれ
たもので、その意義は頗る重大であ
る、即ち今次改造によつて日本の國
内態勢は更に強化され、わが國の前
途もまた一層有利となつて來た、昨
年日本が大東亞相を新設し青木氏を
初代大東亞相に就任せしめたが、同
氏は嘗て國府最高經濟顧問としてわ
が國の經濟財政整理に絶大なる協助
を與へてくれた人である、しかし
今回また重光氏が外相に就任したこ
とは友邦日本が中日問題を如何に重
視してゐるかの證左である、重光氏
は事變前から中日關係の調整に奔走
して來た、中國のよき理解者であり
同氏が國府遷都後本多大使に次いで
駐華大使となり、在任中の一年有餘
の間に樹てた功績は洵に大なるもの
がある、中日兩國の關係は青木氏の
大東亞相就任により經濟上の連繫が
強化されたが、今次重光大使の外相

保甲戸口制度實施

【南京二日發】國民政府は建國の基
礎となる國民體制を樹立し政府と國
民の連繫強化による國府政治力の滲
透並にこれによる戦力の増強を期す
ため全國的に保甲制度を布き全國
民を組織化することとなり、内政部
をして各縣保甲戸口條例の編查を督
勵して居たがこの程立案を終り、三
十一日の行政院會議を通過したので
次期最高國防會議の議決を経て公布
し各縣單位で同條例を編成すること
となり、國府今回の各縣保甲戸口條
令案は清郷地區その他による試煉の
結果編查されたものであり、期劃的
ともいふべきもので、新中國の建設
と戰爭の完遂を圖る中國の國民思想
動員體制の基礎はこれにより確立さ
れるものとして期待される

汪主席を新民會名譽會長に推戴

【南京二日發】國府參戰を機として
軍事、政治、經濟の各般に亘る中央
北支の一體化は着々實現を見つゝあ
るが、斯る新情勢に鑑み新民會では
曩に臨時全體聯合協議會開催に際し
汪主席を新民會名譽會長に推戴する
ことに決し參戰下中國の戰時意識昂
揚及び新東亞理念の普及徹底のため
中央北支の一體結合を期すること
となり、新民會副會長陳煥熙氏は
汪主席に對する正式名譽會長推戴
狀を携行來寧し、二日午後五時半公

館に汪主席を訪問、左の如き推戴狀
を捧呈した
本會は和平反共建國の本義に従ひ與
亞工作を展開すること既に數年を経
たり、茲に歴史の狀勢と時勢の發展
に即應し、對內的には新國民運動を
實踐、物心兩面の建設に従事し、以
て國民組織を完成し、對外的には亞
細亞主義を奉じて東亞聯盟を結成せ
んことを主張し以て東亞民族の團結
をはからんとするものなり、現在我
國政府は既に本年一月九日正式に
英に對し宣戰を布告したるが、この
危急存亡の秋任重く道遠きを痛感、
即ち意志の齊一、力の結集を果さん
がために憤みて茲に全河北一億國民
の總意を代表し、主席を本會名譽會
長に戴し、その御領導に恪遵、以て
時艱を共にせんとするものなり、憤
みて茲に推戴す

朝比奈副團長汪主席に謁見

【南京二日發】今回新國民運動促進
委員會の招聘により來寧した大日本
日午前十一時汪主席に謁見したのち
正午官邸に松井總參謀長を訪問、午
餐を共にした

日滿華三國代表者會議決

【南京十三日發】國府遷都三周年の
佳日を期して晴の第一回總檢閱を終
へた日滿華三國青少年團代表は三十
一日夜一堂に會して隔意なき懇談を
遂げ、大東亞戰爭下次代を背負ふ三
國青少年の血盟の誓を固めたが、同
日決定された代表者會議決議文は祝

電と共に十二日新國民運動促進委員
會を通じ三國最高當局宛發送された
決議文左の通り
「東亞各國は大東亞戰爭中において
須らく同生共死の決心を以て一致團
結せねばならぬ、東亞各國青少年は
東亞の前途を擔ふものであり、今後
更に一層同甘同苦の精神を鍊磨し緊
密に合作し速かに次の三點を實行す
べきである

①三國青少年團指導者會議及び青少
年代表大會を定期的に開催する②各
國代表青少青年團は相互に訪問し交
驛をなすこと③各國青少年團は常に
緊密の連絡を保ち資料を交換するこ
と

これと同時に在支日本青少年團代表
は各地中國青少年團と在支日本青少
年團との連絡を圖らん、ため具體的
方法として次の三項を協議した
一、日華兩國青少年團指導者交驛會
と共同協議會を開催すること、可
及的に日華青少年團の共同活動並に
共同訓練を實施すること、指導資
料の相互交換、利用を實行すること

澳門總督廣東訪問

【廣東十七日發】澳門總督テイセイ
ラ氏は日本側及び廣東省政府の援助
に對し感謝の意を表し、且つ今後の
協力に關して懇談する爲め十六日午
後六時二十分來廣した、澳門總督の
來廣は事變以來今回が最初のことと
同總督は十八日午前陳廣東省省長石
川總領事を歴訪する筈である

ウエルマン新駐華大使

【南京十八日發】ドイツ政府は昨年
駐華大使スターマー氏を駐日大使
に轉任せしめその後任として外務次

官級の外交敏腕家たる外務省政務局長エルンスト・ウェルマン氏を駐華大使に任命したが、これはドイツ政府がわが對支政策並に國府を重視しつつある證左といへり、新大使着任の上はスターマー駐日大使と呼應して樞軸關係強化に活躍することとなるべくかゝる見地より大東亞戰下今次日華兩國に對するドイツ外交團の整備擴充は意義頗る重大で國民政府は新任華大使の任命に齊しく歓迎の意を表してゐる

中共有力黨員國府參加

【石門十九日發】〇〇部隊精銳の晉冀察における共匪肅清討伐の赫赫たる戰果は抗戰陣營の敵將兵を國府陣營に馳せ參せしめ同生共死の旗幟の下に導誘せしめつつあるが、民國廿四年の所謂紅軍、西還に朱德の率ゐる第四方面軍第二百廿七團政治指導員として郝北少壯の采配を振ひ現在冀南軍區最年少の團級幹部として活躍してゐた第六軍區基團(元第一團)政治委員郝光は抗戰救國の愚を悟り敢然反共戰士として國府陣營に参加して來た即ち郝光は去る二月二十三日密命を帯びて河北省無極縣に潜水したがわが警備隊員に逮捕されその後二月間〇〇就つてゐたが、おいてはつたすら讀書に耽つたが、飄然國府陣營參加を係官に申し出るとともに次の如く中共の陰謀を曝露した

中共は社會抗戰工作指令に基き昨年九月政治取勢を主張し和平地區中國武裝機關に赤色分子を滲入せしめその切崩しを策し又民衆工作として本年一月「大東亞戰爭下日軍の戰區擴大に伴ひ華北の日軍は南太平洋に移

動するとの宣傳を強化すべし」との謀略宣傳を行ひ一方自己陣營に對しては日本軍との戰鬪を避け保安隊と縣警察隊に攻撃の重點を置き民衆に威力を誇示する方策をとらしめ、次に政治委員は六年以上の老黨員で共黨主義に最大の信念を有し關西精神旺盛なことから選り各團政治委員は中共中央の指令に絕對に服従し團長と意見が相異する時は最後の決定權は政治委員に與へた、尙中共軍傳給は一ヶ月につき師長以上六團、旅長團長政治委員五團、連長三團、排長二團、兵一團で團長以上の幹部には一ヶ月百圓程度の手當を支給するといふ有様で、中共の偽購政策が給與方面にも窺はれる

上海近郊敵性國人收容

【上海廿一日發】上海における敵性國人(英、米、白、蘭)の集團收容は一月三十一日の第一次浦東收容所移住を皮切りに第二次、第三次と實施され、浦東、滬西、閘北、龍華等上海近郊の各收容所及び楊州等の收容所に逐次收容、二十日を以てこれを完了したが、その收容所別人員數は浦東、閘北、楊州がそれぞれ一千名、龍華約二千名で、浦東收容所は獨身者、その他は獨身者及び家族持ちとなつてをり、その總數は六千餘名に達する、なほこの外一部局職員學校教員、病院勤務者、宣教師等の公職にある敵國人に對しては特に一般の利便を考へた上當局で許可されるものは從前通り勤務を認め、通勤の便を與へられるがこの我が當局の公正且寛大な取扱ひに對しては當人は勿論一般市民も感謝してゐる

朱子銘將軍和平陣營參加

【濟南廿六日發】かねて吳化文將軍麾下に馳せ參すべく機會を窺つてゐた魯蘇戰區海軍陸戰隊司令朱子銘將軍は今回山東方面軍の敵第五十一軍擊滅作戰の機に乗じ部下千二百ととも山東方面軍に合流し蔣共兩軍擊滅作戰に活躍することとなつた

沙面廣東市に編入

【廣東五日發】廣東西南部の舊英租界沙面地區は大東亞戰勃發と同時に我が南支軍が接收管理し、昨年三月廿八日日華基本條約に則り中國側に移管、爾來同地區の有する種々の事情に鑑み、沙面特別署を設置、廣東市の行政とは別箇に取扱はれて來たが今回南支軍當局並に廣東省政府との間に協議成立、近く特別署を撤廢して廣東市に編入され、名實ともに新生沙面誕生の運びを見ることになつた

上海地區敵產移管式

【上海一日發】上海大使館事務所では過般の在支米英敵產移管に關する日華兩國細目取極めに基き同所管理下にあつた新敵產企業關係十八件、文化關係五十餘件の國府上海地區敵產管理事務所への移管式を三十一日大使館事務所内で舉行了し、かし今後國府に移管された企業のうち申新第二廠、德豐紗廠、保豐紗廠、合豐企業公司、安達紗廠、永德第一廠の七紡績工場は假裝敵產であつた爲直ちに原所有者に返還された

國府新國民運動展開

【南京廿九日發】國府最高國防會議は廿九日開催の第十三次會議において、新國民運動初期集訓辦法一、青年節設定の二案を決定した、新國民運動初期集訓は來る七、八月の夏季二ヶ月間を以て公務員並びに青少年團の鍛鍊期間とし汪主席を委員長に推戴して新たに新國民運動初期集訓委員會を設置、訓練執行機關として集訓營を設置し新國民運動進展の中核勢力ともいふべきこれら青少年、官吏の訓練を實施せんとするものである、また青年節設定は新に五月五日を青年節に定め大東亞戰爭完遂に邁進する中國青年の決意を固むべき國定記念日としたものである

は廿九日開催の第十三次會議において、新國民運動初期集訓辦法一、青年節設定の二案を決定した、新國民運動初期集訓は來る七、八月の夏季二ヶ月間を以て公務員並びに青少年團の鍛鍊期間とし汪主席を委員長に推戴して新たに新國民運動初期集訓委員會を設置、訓練執行機關として集訓營を設置し新國民運動進展の中核勢力ともいふべきこれら青少年、官吏の訓練を實施せんとするものである、また青年節設定は新に五月五日を青年節に定め大東亞戰爭完遂に邁進する中國青年の決意を固むべき國定記念日としたものである

南支軍最高指揮官廣州灣等を視察

【香港卅日發】去る廿五日より三日間に亘つて廣州灣並に雷州半島占領地域を視察した南支軍最高指揮官は廿七日午後三時、海路香港經由歸還の途についたが、船中記者を會見、廣州灣の將來性及び戰線巡視の感想等を大要左の如く語つた

「新生廣州灣は日佛現地當局の緊密な協力提携によつてその面目を一新しつゝあり現在或は將來にも何ら氣がかりな問題が起り得る餘地もない程至極圓滑満足すべき状態にある、物資の點からいへば租借地内或は雷州半島で自給自足といふことは勿論望み得ない

開封領事館開館式

【開封一日發】開封領事館の開館式は一日午前十一時から同館に於て在日華軍官民多數列席の上舉行された

國府人事一束

徐良政府委員任命【南京一日發】國民政府は一日の中政會議において駐日大使徐良氏は國民政府委員に任命された

國府中央政治委員會新委員【南京一日發】國民政府は一日中央政治委員會を開き中央政治委員の任期満了に伴ふ新委員を左の如く決定發表した

主席 汪兆銘

當然委員(五院長) 汪兆銘、陳公博

溫宗堯、梁鴻志、江亢虎

招聘委員 王揖唐、王克敏、齊燮元

朱深、王時瑛、唐青來、趙毓松、趙尊嶽、岑德廣、王蔭泰(新任)

指定委員 周佛海、褚民誼、陳璧君

梅思平、陳羣、林柏生、劉郁芬、任援道、焦瑩、陳君慧、陳耀祖、李聖五、葉運、丁默邨、傅式說、揚揆一

鮑文樾、蕭叔宣、李士羣、高冠吾、(新任) 繆斌(新任) 陳春閣(新任) 羅君強(新任)

政務參贊增員【南京七日發】

國府は政務參贊會議において政務參贊を廿名に増員する件を可決、左の九名を任命するとともに新國民運動促進委員會委員四名を左の如く決定した

一、政務參贊 周蔭庠、陳之碩、林

汝珩、樊仲雲、王敏中、錢大勳、汪宗準、邵式軍、袁肅佺、新運委員 喻熙傑、汪吧、楊為碩、蔣先啓

經濟委員に鄒泉霖氏【南京廿三日發】國民政府は廿三日全國經濟委員會委員に鄒泉霖氏(東亞經濟懇談會華北本部長)を任命した

廣東、蘇州常駐顧問發令【南京十四日發】國府は政治經濟政策の活潑なる推進を計るため經濟顧問部を擴充強化し各省市に經濟顧問部を常駐せしめることになり、南京、上海、杭州、蚌埠、漢口各地常駐顧問に次で十四日左の如く殘餘の二名を發令した

△廣東 金山國臣(前札帳財務局長) △蘇州 太田宇之助(評論家)

鮑文樾上將總參謀長に任命【南京七日發】國民政府は七日最高國防會議を開き軍事委員會總參謀長劉郁芬上將逝去に伴ふ後任として陸軍部長鮑文樾上將を、陸軍部長には編練總監葉蓬上將を編練總監には軍事委員會總務廳長黃自強中將をそれぞれ任命することに決定した、重なる異動左の通り

陸軍部長 鮑文樾上將
編練總監 葉蓬上將
軍事委員會總務廳長 黃自強中將
任陸軍部長
任編練總監

參謀次長 項致蓬中將
陸軍部次長 鄒大章中將
任軍事委員會總務廳長
任軍事參議院副院長

陸軍部次長 鄒大章中將
任軍事參議院副院長
陸軍部次長 鄒大章中將

陸軍部次長 鄒大章中將
任軍事參議院副院長
陸軍部次長 鄒大章中將

陸軍部次長 鄒大章中將
任軍事參議院副院長
陸軍部次長 鄒大章中將

に任命發令した
師長新任【廣東十三日發】參戰以來國民政府は決戰體制の整備確立に努め殊に國軍の増強に當つてゐるが、廣州綏靖主任公署では今回廣東省國軍の改編を斷行、從來の二個師一獨立旅を五ヶ師に擴充することに決定目下夫々現地で着々改編を行つてゐるが、新任各師師長次の如し

△第二師師長方碩爲 △第三十師師長許廷杰 △第四十三師師長彭濟華 △第四十四師師長高漢宗 △第四十五師師長朱長全

實業部駐上海員決定【南京二十日發】國府實業部初代駐滬辦事處長は二十日の行政院會議で特種商品運銷監理局長章駿氏に決定發令された

【上海六日發】軍票新規發行廢止に伴ひ中北支間爲替決濟方法についてはこの程中北支當局間において協議の結果、暫定的に左の如き決濟方法を採ることに決定し、既に四月一日より實施された模様である

【上海六日發】軍票新規發行廢止に伴ひ中北支間爲替決濟方法についてはこの程中北支當局間において協議の結果、暫定的に左の如き決濟方法を採ることに決定し、既に四月一日より實施された模様である

【上海六日發】軍票新規發行廢止に伴ひ中北支間爲替決濟方法についてはこの程中北支當局間において協議の結果、暫定的に左の如き決濟方法を採ることに決定し、既に四月一日より實施された模様である

【上海六日發】軍票新規發行廢止に伴ひ中北支間爲替決濟方法についてはこの程中北支當局間において協議の結果、暫定的に左の如き決濟方法を採ることに決定し、既に四月一日より實施された模様である

【上海六日發】軍票新規發行廢止に伴ひ中北支間爲替決濟方法についてはこの程中北支當局間において協議の結果、暫定的に左の如き決濟方法を採ることに決定し、既に四月一日より實施された模様である

【上海六日發】軍票新規發行廢止に伴ひ中北支間爲替決濟方法についてはこの程中北支當局間において協議の結果、暫定的に左の如き決濟方法を採ることに決定し、既に四月一日より實施された模様である

【上海六日發】軍票新規發行廢止に伴ひ中北支間爲替決濟方法についてはこの程中北支當局間において協議の結果、暫定的に左の如き決濟方法を採ることに決定し、既に四月一日より實施された模様である

財政經濟

中北支間決濟方法決定

によつてゐる特定物資交易決濟は今後原則として儲備券爲替によるが、特定物資中一部の物資については特別決濟を採用する(一)一般物資交易の決濟は従來通り特別圓による、而して特別圓レイトは從來賣十七圓、買十八圓と賣買値に一圓の開きが設けられてゐたが、これを四月一日以降は十八圓一本とし、手数料として一萬分の五十を徴收することとなつた(二)爲替交易の決濟は従來通り滙申爲替によらしめる

軍票の自然的回收【上海七日發】軍票新規發行廢止に伴ひ軍票の自然的回收は頗る順調に行はれ、四月一日より七日に至る一週間の間に正金銀行への軍票の還流高は一日一千萬圓を超へた模様である

【廣東八日發】廣東總領事館では軍票新規發行廢止に伴ふ南支對各地間の爲替決濟方式に關し八日大要左の如く發表した

【廣東八日發】廣東總領事館では軍票新規發行廢止に伴ふ南支對各地間の爲替決濟方式に關し八日大要左の如く發表した

【廣東八日發】廣東總領事館では軍票新規發行廢止に伴ふ南支對各地間の爲替決濟方式に關し八日大要左の如く發表した

【廣東八日發】廣東總領事館では軍票新規發行廢止に伴ふ南支對各地間の爲替決濟方式に關し八日大要左の如く發表した

【廣東八日發】廣東總領事館では軍票新規發行廢止に伴ふ南支對各地間の爲替決濟方式に關し八日大要左の如く發表した

【廣東八日發】廣東總領事館では軍票新規發行廢止に伴ふ南支對各地間の爲替決濟方式に關し八日大要左の如く發表した

【廣東八日發】廣東總領事館では軍票新規發行廢止に伴ふ南支對各地間の爲替決濟方式に關し八日大要左の如く發表した

【廣東八日發】廣東總領事館では軍票新規發行廢止に伴ふ南支對各地間の爲替決濟方式に關し八日大要左の如く發表した

軍需物資統制辦法案 可決

【南京九日發】國府は九日午前臨時最高國防會議を開催し、軍事委員會より提示された軍需物資計畫施行の特別規定として軍需物資統制及委託採辦暫行辦法並びに軍用物資移動に可決通過した、本辦法施行に當り今後軍用並びに軍需物資の移動調辨に關しては總て軍事委員會及び管下各機關に於て優先的統制を行ふもの全文左の通り

第一條 軍用物資移動暫行辦法第一條 軍用物資移動に關しては本辦法の規定するところに從ひ軍用運輸證を發行す

第二條 戰時物資移動取締暫行條例第五條に規定する兵器、彈藥及びその原料の移動は主管人(陸軍部、海軍部、航空處)において審査の上關係各機關と連絡後軍用運輸證を發給す

第三條 第二條に規定以下の軍用物資の移動は總て軍事委員會經理總監處において検査の後軍用運輸證を發給するものとす

第四條 本辦法は隨時これを修正することを得

第五條 本辦法は民國廿二年四月十日よりこれを施行す

△軍需物資統制及委託採辦暫行辦法

第一條 軍需物資の調辨は軍事を第一となすを以て絕對優先權を有す、その統制及び委託採辦は總て本辦法に從つてこれを行ふものとす

第二條 本辦法に稱する所の軍需物資とは總て軍事委員會經理總監處指定の一切の軍需品即ち兵器、彈藥、機械工具、醫療品(燃料、建築材料馬匹を含む)及び同半製品及び原料等をいふ

第三條 民間の軍需工場業者にして軍需業務の經營を主とするもの、生産經營は總て軍事委員會經理總監處これを統制す

第四條 軍需物資の委託採辦は全國商業統制總會暫行條例の規定により軍事委員會經理總監處より直接全國商業統制總會に命じ處理せしめ、同時に實業部或は該部關係者に公文書を配して參考とせしむ

第五條 委託採辦すべき軍需物資の品質及び數量は軍事委員會經理總監處軍事需要規定に基くものとす

第六條 委託採辦すべき軍需物資の價額は原價に合理的利潤を加ふるべきものとす、軍事の緊急にして止むを得ざる場合は軍事委員會經理總監處の規定に從ふものとす

第七條 委託採辦すべき軍需物資の要理は軍事委員會經理總監處の定むる期限を遷延することを不得

第八條 本辦法は隨時これを修正することを得

第九條 本辦法施行の期日は別にこれを定む

中南支旅行者携帶金交換方法

【上海十日發】去る四月一日より中南支における軍票の新規發行が廢止されたがこれに伴ひ中南支と日本又は北支との相互間旅行者の携帶金についてその交換取扱方法が十日上海大使館事務所より左の如く發表された

【上海十日發】去る四月一日より中南支における軍票の新規發行が廢止されたがこれに伴ひ中南支と日本又は北支との相互間旅行者の携帶金についてその交換取扱方法が十日上海大使館事務所より左の如く發表された

△中南支對日本(内地及び臺灣)との相互間旅行者一人當り日銀券二百圓(または備備券一千一百一十元)迄とし、右の限度を超える時は所定の交換許可證を必要とする、日本内地または臺灣より中南支向け旅行の場合には日本で交換し中南支では原則として交換の取扱ひをしない

△中南支、北支間は従来の軍票と聯銀券との交換を、備備券と聯銀券との交換に改め旅行者一人當り備備券一千元(または軍票百八十圓)までとし、右の限度を超える時はこれまで所定の交換許可證を必要とする、北支より中南支向け旅行の場合は北支内において交換することとし中支内においてはこれを取扱ひしない

北支支間携帶通貨交換限度 一部變更

【北京廿日發】北支間旅客携帶通貨の交換について従來往路、復路いづれも備備券一千元(聯銀券百八十圓)を限度として行はれて來たが、今回當局よりの要望もあるので、これが一部變更を行ひ北支より中支向け旅客中津浦線濟南以南(濟南を除く)各驛より乗車する旅客の携帶する通貨の交換限度はこれを次の通り變更し、五月一日より實施することとなり、華北政務委員會情報局より廿日その旨發表された

○徐州以南(徐州を含む)の各驛より浦口までのもの 備備券百圓(聯銀券十八圓) ○徐州以南(徐州を含む)の各驛より南京以南の各驛までのもの 備備券五百圓(聯銀券九十圓) ○隴海線(徐州を除く)及び津浦線(濟南を除く)の各驛より蚌埠以南の各驛までのもの 備備券五百圓

(聯銀券九十圓)なほ右以外の旅客については備備券一千元(聯銀券百八十圓)まで交換することは從來の通りである

國府公務員物資俸給制 採用

【上海十三日發】最近物價の昂騰顯著となつたので公務員の生活の實情に鑑み、國民政府糧食部部長は物資俸給制度の採用を行政院に提議したが、同案は中央政治委員會を経て最高國防會議に提出され九日の臨時國防會議に上程、討議の結果原則的決定を見たので糧食、財政、實業三部をして詳細實施辦法を立案提出せしめることとなつた、同辦法は國府令の公布を待つて實施に移される筈である、配給物資に關しては差當り米及び食鹽が豫定されてゐるが、將來はその他の生活必需物資にも擴大されるものとみられる

武漢地區金融機關を管理

【漢口十六日發】國府財政部では十五日特別市政並に湖北省政府に對し武漢地區に於ける金融機關暫行辦法實施に關する國府財政部訓令を發し四月一日に逕及施行することになつた

上海買占め事件真相 公表

【南京廿八日發】國府は去る七日戰時下惡質投機買占めに關する國府令を公布、これとともに上海を中心とする大規模投機行為の實情調査のため財政部長陳之碩、實業部次長袁愈佳兩氏ほか二名を調査委員に任命上海に派遣した調査報告に基き振華

公司の買占め事實を確認、阜通銀行を營業停止處分に附したが、事態の重大性に鑑み、その後も引續き調査を續行、惡質投機關係者の徹底的掃蕩を期してゐる、宣傳部では廿七日陳次長等の調査報告を公表、その真相を明らかにした、報告書全文左の通り

一、振華公司總經理韓拱北の綿絲國債事件に關する件 江北地方銀行上海支店の預金者名簿のうち華汽、振華公司及び克家拱北の文字が記載されてをり、右三預金者は三月十五日より四月一日までに合計二千六百七十萬元を引出したと判明し、また江海銀行の帳簿にも華汽、韓拱北兩預金者が前記期間内に合計二千七百三十萬元を引出した事が、韓の申立てによれば振華公司是目下設立準備中のもので設立後は精業を營む豫定に拘らず三月十九日より廿五日までに引續き開市場より綿絲八百七十五件、綿布五百十五件、合計二千八百五萬元を買占め、更に引續き物色中なり

漢口海關等四年振りて復活

【漢口廿日發】漢口海關の復活に關してはかねて協備中であつたが、このほど人員建物などの決定を見るに至つたのでいよいよ五月一日を期し江漢關轉口稅局の名稱のもとに南昌九江、石炭三分局と共に一般業務を開始茲に事變以來四年ぶりに復活を見ることになつた

中支に小型熔鑪建設 進む

【上海廿二日發】日本の決戦態勢に應へて中支においても各所に多數の小型熔鑪が建設され日本の鐵鋼増産に全力を擧げて協力することになつた、即ち製鐵では揚子江流域にある馬鞍山近く〇〇萬圓近く巨費を投じて小型〇〇トン爐〇〇基を建設することに於いて既に三月初旬より着手、爐體は目下〇〇において組立中

錢塘江金華間開通

【上海二十四日發】浙江の實業開發のため着手された浙贛鐵道復舊工事は昨年四月以來資材、勞力難を克服してこの程金華錢塘江南岸間約百八十キロを完成、二十五日金華驛構内で開通式を舉行することとなつたが一年餘振りて浙江の野を縦貫するこの浙贛線開通處女列車は二十四日午前七時三十分錢塘江發、同日午後五時金華に到着した、同列車は今後金華、錢塘江の南岸間一日一往復運轉される更にこれら復舊工事に引續き錢塘江大鐵橋復舊工事が第三期工事として來る八月着工、年内に完成する豫定であり、また金華、武義間の新線建設も近く開始の豫定である

物資統制審議委員會第一次會議

【上海廿日發】全國商業統制總會設立に伴ひ日華兩國間の物資統制に關する協議連絡機關として過般設置された物資統制審議委員會第一次會議は中央儲備銀行上海分行において一日開催された、日本側より堀内、田尻兩部長、梅實業部長、唐全國商業統制會總理事長以下各委員出席のものに、まづ呼委員長堀内公使および唐理事長より夫々報告並に挨拶があつて後物資統制審議委員會組織大綱、物資統制實施要綱、全國商業統制總會設立及び實施要綱、全國商業統制總會組織要綱及び收買配給系統の審議を行ひ、日華委員會に熱心な協議が續けられた後右四件を可決、審議を終つた

三、利民銀行の件 該行の資本は三百萬元にして創業日尙淺きに拘らず三月十五日より四月一日迄に合計八千六百四十萬元の不良貸出を行ひ投機を助成した嫌疑顯著なり、右調査の結果韓拱北が設立準備中なる振華公司名義で大量の重要物資を購入し市場攪亂を計りたることは既に確認

ありよつて法に基きこれを處罰す、阜通銀行が抵當見返りに貸出を行ひたるは韓拱北との關係において重大なる嫌疑を有するものなり、よつて同行の營業を停止せしめ調査するを要する、利民銀行が資本金三萬元なるに拘らず三月十五日より僅か十六日間に八千餘萬元の貸出を行ひたる事實あり、同行はこれをもつて預金者の引出によるものと稱し居れるものは徹底調査の要あり

社會文化

中日文化協會大會

【南京一日發】中日文化協會第二回全國代表大會は日本文化使節を迎へて一日午後三時開會式を舉行、同五時から本會議を開き、國語統一案等四十四件を提案、それぞれ委員會に附託して日程を終り、夕刻文化協会の宴に臨んだ、開會式に當つては汪主席が臨席して日華文化交流の昂揚に關し訓示を與へた、なほ日本使節の信時潔氏は午後八時半から鹽谷溫氏は同九時半からそれぞれ放送講演を行つた

【南京二日發】中日文化協會第二回全國會議第二日は二日午前九時から各委員會を開き提案の個別審議を進め、また日本代表團は同十時から留日同學會で伊藤大使文化部長等關係當局者と懇談を行つた

【南京三日發】中日文化協會全國大會最終日は三日午前九時から總會を開催、各委員會を通過した提案四十四件を議決し同十一時半閉會式を舉行、參加者一同は正午日本大使館の招宴に臨んだのち、協會委員の案内に朝天宮、鷓鴣寺等の春色をたづね、武者小路、河上兩氏は中央大學文學講演を行ひ、午後七時から汪主席の招宴に臨んだ

【南京五日發】國府還都三周年慶祝のため來集した日本文化使節一行のうち平沼亮三、信時潔、池崎忠孝三氏は四日午後四時發列車に北京へ、齋藤响、大串鬼代、夫ほか三氏に五月午前九時上海へ武者小路實篤、谷川徹三の兩氏は五日午後四時北京へ向けそれぞれ出發した、なほ鹽谷溫氏は六日午前上海へ向ふ筈

【香港廿日發】國民政府は參戰下國民生施策の圓滑なる遂行を期するため今回衛生處を設け置して行政院に直屬せしめることとなり、十九日の行政院會議で正式に決定した、尙國府は新機關を通じ國民健康の増進を圖る方針である

【香港十五日發】香港占領地總督部では去る二月二十日總督令を以て新に香港占領地總督部軍律を制定するとともに占領地總督部軍律令並びに律師令法規則を公布し辯護士制度を創始したが、このほど羅文錦以下中國人十四氏に正式認可が下された、立して律師令に基き香港律師會が設立されることになり、十六日磯谷總督以下臨場の下に創立總會を舉行

【香港十五日發】管區内における軍票一色化工作は順調に進捗し、あるが、今回總督部當局では各種建設の進展に伴ひ軍票の需要が益々増大する傾向にあるので管区内通貨並に同交換規程を改正、從來軍票交換所における港貨を對貨とする軍票交換制限を撤廢することとなり四月十六日

【香港十八日發】香港占領地總督部では今回特定地域向輸出爲替を取締ることとなり四月十九日付四ヶ條の總督令及び公示を發表するものと、右によれば特定地域たる大日本帝國(關東州及び南洋群島を含む)中華民、滿洲帝國、泰國、佛領印度支那に向け貨物を輸出又は移出せんとするものは輸出又は移出後廿日以内に貨物の價格全部につき、特定銀行たる正金香港支店及び臺灣銀行香港支店において管區より特定地に向け貨物の圓爲替を取組むこととした、但し

○百圓相當額以下の貨物○手荷物又は引越貨物○鮮魚、鹽干魚、鮮獸肉野菜及び果物○貨物の價格の全部又は一部につき爲替を取組まざること

に關し總督の許可を受けた時、例へば戒克貿易の如く爲替取組に困難を伴ひ、或は不可能なる場合豫め許可を受けたる時等の場合は爲替取組を必要としない

【香港二十日發】大東亞共榮圈内物資交易の活潑化に即應、香港と南支南方間の物資交流も圓滑を加へ、あるが、香港總督部では廣東、香港間交易協定に引續き汕頭、厦門、海南島各地との間にそれぞれ次の如き交易協定を締結した

△香港、汕頭交易協定 實施期間は本年四月一日より翌年三月卅一日ま

【香港十五日發】管區内における軍票一色化工作は順調に進捗し、あるが、今回總督部當局では各種建設の進展に伴ひ軍票の需要が益々増大する傾向にあるので管区内通貨並に同交換規程を改正、從來軍票交換所における港貨を對貨とする軍票交換制限を撤廢することとなり四月十六日

【香港十八日發】香港占領地總督部では今回特定地域向輸出爲替を取締ることとなり四月十九日付四ヶ條の總督令及び公示を發表するものと、右によれば特定地域たる大日本帝國(關東州及び南洋群島を含む)中華民、滿洲帝國、泰國、佛領印度支那に向け貨物を輸出又は移出せんとするものは輸出又は移出後廿日以内に貨物の價格全部につき、特定銀行たる正金香港支店及び臺灣銀行香港支店において管區より特定地に向け貨物の圓爲替を取組むこととした、但し

○百圓相當額以下の貨物○手荷物又は引越貨物○鮮魚、鹽干魚、鮮獸肉野菜及び果物○貨物の價格の全部又は一部につき爲替を取組まざること

に關し總督の許可を受けた時、例へば戒克貿易の如く爲替取組に困難を伴ひ、或は不可能なる場合豫め許可を受けたる時等の場合は爲替取組を必要としない

【香港二十日發】大東亞共榮圈内物資交易の活潑化に即應、香港と南支南方間の物資交流も圓滑を加へ、あるが、香港總督部では廣東、香港間交易協定に引續き汕頭、厦門、海南島各地との間にそれぞれ次の如き交易協定を締結した

△香港、汕頭交易協定 實施期間は本年四月一日より翌年三月卅一日ま

【香港十五日發】管區内における軍票一色化工作は順調に進捗し、あるが、今回總督部當局では各種建設の進展に伴ひ軍票の需要が益々増大する傾向にあるので管区内通貨並に同交換規程を改正、從來軍票交換所における港貨を對貨とする軍票交換制限を撤廢することとなり四月十六日

華人に辯護士認可

軍票交換制限撤廢

汕頭、厦門、海南島間交易協定締結

【香港十五日發】管區内における軍票一色化工作は順調に進捗し、あるが、今回總督部當局では各種建設の進展に伴ひ軍票の需要が益々増大する傾向にあるので管区内通貨並に同交換規程を改正、從來軍票交換所における港貨を對貨とする軍票交換制限を撤廢することとなり四月十六日

【香港十八日發】香港占領地總督部では今回特定地域向輸出爲替を取締ることとなり四月十九日付四ヶ條の總督令及び公示を發表するものと、右によれば特定地域たる大日本帝國(關東州及び南洋群島を含む)中華民、滿洲帝國、泰國、佛領印度支那に向け貨物を輸出又は移出せんとするものは輸出又は移出後廿日以内に貨物の價格全部につき、特定銀行たる正金香港支店及び臺灣銀行香港支店において管區より特定地に向け貨物の圓爲替を取組むこととした、但し

○百圓相當額以下の貨物○手荷物又は引越貨物○鮮魚、鹽干魚、鮮獸肉野菜及び果物○貨物の價格の全部又は一部につき爲替を取組まざること

に關し總督の許可を受けた時、例へば戒克貿易の如く爲替取組に困難を伴ひ、或は不可能なる場合豫め許可を受けたる時等の場合は爲替取組を必要としない

【香港二十日發】大東亞共榮圈内物資交易の活潑化に即應、香港と南支南方間の物資交流も圓滑を加へ、あるが、香港總督部では廣東、香港間交易協定に引續き汕頭、厦門、海南島各地との間にそれぞれ次の如き交易協定を締結した

△香港、汕頭交易協定 實施期間は本年四月一日より翌年三月卅一日ま

【南京一日發】中日文化協會第二回全國代表大會は日本文化使節を迎へて一日午後三時開會式を舉行、同五時から本會議を開き、國語統一案等四十四件を提案、それぞれ委員會に附託して日程を終り、夕刻文化協会の宴に臨んだ、開會式に當つては汪主席が臨席して日華文化交流の昂揚に關し訓示を與へた、なほ日本使節の信時潔氏は午後八時半から鹽谷溫氏は同九時半からそれぞれ放送講演を行つた

【南京二日發】中日文化協會第二回全國會議第二日は二日午前九時から各委員會を開き提案の個別審議を進め、また日本代表團は同十時から留日同學會で伊藤大使文化部長等關係當局者と懇談を行つた

【南京三日發】中日文化協會全國大會最終日は三日午前九時から總會を開催、各委員會を通過した提案四十四件を議決し同十一時半閉會式を舉行、參加者一同は正午日本大使館の招宴に臨んだのち、協會委員の案内に朝天宮、鷓鴣寺等の春色をたづね、武者小路、河上兩氏は中央大學文學講演を行ひ、午後七時から汪主席の招宴に臨んだ

【南京五日發】國府還都三周年慶祝のため來集した日本文化使節一行のうち平沼亮三、信時潔、池崎忠孝三氏は四日午後四時發列車に北京へ、齋藤响、大串鬼代、夫ほか三氏に五月午前九時上海へ武者小路實篤、谷川徹三の兩氏は五日午後四時北京へ向けそれぞれ出發した、なほ鹽谷溫氏は六日午前上海へ向ふ筈

【香港廿日發】國民政府は參戰下國民生施策の圓滑なる遂行を期するため今回衛生處を設け置して行政院に直屬せしめることとなり、十九日の行政院會議で正式に決定した、尙國府は新機關を通じ國民健康の増進を圖る方針である

【香港十五日發】香港占領地總督部では去る二月二十日總督令を以て新に香港占領地總督部軍律を制定するとともに占領地總督部軍律令並びに律師令法規則を公布し辯護士制度を創始したが、このほど羅文錦以下中國人十四氏に正式認可が下された、立して律師令に基き香港律師會が設立されることになり、十六日磯谷總督以下臨場の下に創立總會を舉行

【香港十五日發】管區内における軍票一色化工作は順調に進捗し、あるが、今回總督部當局では各種建設の進展に伴ひ軍票の需要が益々増大する傾向にあるので管区内通貨並に同交換規程を改正、從來軍票交換所における港貨を對貨とする軍票交換制限を撤廢することとなり四月十六日

【香港十八日發】香港占領地總督部では今回特定地域向輸出爲替を取締ることとなり四月十九日付四ヶ條の總督令及び公示を發表するものと、右によれば特定地域たる大日本帝國(關東州及び南洋群島を含む)中華民、滿洲帝國、泰國、佛領印度支那に向け貨物を輸出又は移出せんとするものは輸出又は移出後廿日以内に貨物の價格全部につき、特定銀行たる正金香港支店及び臺灣銀行香港支店において管區より特定地に向け貨物の圓爲替を取組むこととした、但し

○百圓相當額以下の貨物○手荷物又は引越貨物○鮮魚、鹽干魚、鮮獸肉野菜及び果物○貨物の價格の全部又は一部につき爲替を取組まざること

に關し總督の許可を受けた時、例へば戒克貿易の如く爲替取組に困難を伴ひ、或は不可能なる場合豫め許可を受けたる時等の場合は爲替取組を必要としない

【香港二十日發】大東亞共榮圈内物資交易の活潑化に即應、香港と南支南方間の物資交流も圓滑を加へ、あるが、香港總督部では廣東、香港間交易協定に引續き汕頭、厦門、海南島各地との間にそれぞれ次の如き交易協定を締結した

△香港、汕頭交易協定 實施期間は本年四月一日より翌年三月卅一日ま

【南京一日發】中日文化協會第二回全國代表大會は日本文化使節を迎へて一日午後三時開會式を舉行、同五時から本會議を開き、國語統一案等四十四件を提案、それぞれ委員會に附託して日程を終り、夕刻文化協会の宴に臨んだ、開會式に當つては汪主席が臨席して日華文化交流の昂揚に關し訓示を與へた、なほ日本使節の信時潔氏は午後八時半から鹽谷溫氏は同九時半からそれぞれ放送講演を行つた

【南京二日發】中日文化協會第二回全國會議第二日は二日午前九時から各委員會を開き提案の個別審議を進め、また日本代表團は同十時から留日同學會で伊藤大使文化部長等關係當局者と懇談を行つた

【南京三日發】中日文化協會全國大會最終日は三日午前九時から總會を開催、各委員會を通過した提案四十四件を議決し同十一時半閉會式を舉行、參加者一同は正午日本大使館の招宴に臨んだのち、協會委員の案内に朝天宮、鷓鴣寺等の春色をたづね、武者小路、河上兩氏は中央大學文學講演を行ひ、午後七時から汪主席の招宴に臨んだ

【南京五日發】國府還都三周年慶祝のため來集した日本文化使節一行のうち平沼亮三、信時潔、池崎忠孝三氏は四日午後四時發列車に北京へ、齋藤响、大串鬼代、夫ほか三氏に五月午前九時上海へ武者小路實篤、谷川徹三の兩氏は五日午後四時北京へ向けそれぞれ出發した、なほ鹽谷溫氏は六日午前上海へ向ふ筈

【香港廿日發】國民政府は參戰下國民生施策の圓滑なる遂行を期するため今回衛生處を設け置して行政院に直屬せしめることとなり、十九日の行政院會議で正式に決定した、尙國府は新機關を通じ國民健康の増進を圖る方針である

【香港十五日發】香港占領地總督部では去る二月二十日總督令を以て新に香港占領地總督部軍律を制定するとともに占領地總督部軍律令並びに律師令法規則を公布し辯護士制度を創始したが、このほど羅文錦以下中國人十四氏に正式認可が下された、立して律師令に基き香港律師會が設立されることになり、十六日磯谷總督以下臨場の下に創立總會を舉行

【香港十五日發】管區内における軍票一色化工作は順調に進捗し、あるが、今回總督部當局では各種建設の進展に伴ひ軍票の需要が益々増大する傾向にあるので管区内通貨並に同交換規程を改正、從來軍票交換所における港貨を對貨とする軍票交換制限を撤廢することとなり四月十六日

【香港十八日發】香港占領地總督部では今回特定地域向輸出爲替を取締ることとなり四月十九日付四ヶ條の總督令及び公示を發表するものと、右によれば特定地域たる大日本帝國(關東州及び南洋群島を含む)中華民、滿洲帝國、泰國、佛領印度支那に向け貨物を輸出又は移出せんとするものは輸出又は移出後廿日以内に貨物の價格全部につき、特定銀行たる正金香港支店及び臺灣銀行香港支店において管區より特定地に向け貨物の圓爲替を取組むこととした、但し

○百圓相當額以下の貨物○手荷物又は引越貨物○鮮魚、鹽干魚、鮮獸肉野菜及び果物○貨物の價格の全部又は一部につき爲替を取組まざること

工商同業公會を十種に分類【上海八日發】農に國府が公布した工業同業公會暫行條例規定に基き、全國商業統制總會の下部機構となるべき同業公會の整備を促すべく、實業部駐滬辦事處では去る五日より工商同業公會整理委員會第一次會議を開催してゐたが、七日同會議において主要商品同業公會分類表並に主要商品同業公會聯合會組織規程を審議可決、國民政府行政院を通じて近く公布されることとなつた、而して右の主要商品同業公會聯合會組織規程によれば主要商品同業公會聯合會は次の十種に分類されることとなつてゐる

◇紗網、綿絲布、紡績、煤、化學工業、捲絲、繭寸、皮革、ゴム、金屬九業種統制機構を整備【上海十二日發】全國商業統制總會下部機構の整備促進のため物資統制委員會では業種別に日華双方の業界有力者をもつて籌備主任及び籌備委員としてこれに全國商業統制總會及び日華兩當局の關係官を參加せしめ各業界の實情に即したる統制機構、業務運方法等に関する具體案を作成せしめることに決定した

而して同日の幹部會に於ては全國商業統制總會の下部統制組織會として可及的速かに結成すべき物資又は業務として食糧業、後麥、大麥、大豆その他製粉業、牧畜業、糖業、綿業、葉煙草、マツチ、蠟燭、石鹼の九品を第一次的に繰り上げたが爾餘の物資については引續き第二次、第三次、又過渡的措施として既存機構を以て收費配給業務を取扱はしめることとなつた

【南京二十七日發】國府の物資統制に關する審議機關として先般商業統制總會と同時に設立をみた物資統制審議委員會は廿七日國際クラブに第二回會議を開催、日華各委員出席、物資統制委員會監事會の全國商業統制總會下部機構結成に關する經過報告あつて後、民國三十二年華北中南各地域物資交易計畫、棉花及び綿製品自給計畫要綱案、本年五月中上海地區搬出物資基準數量(全國商業統制總會取扱)、統制總會下部機構組織並に運管に關する唐委員提案、物資統制審議委員會審議事項の追加修正案等の各議案について慎重審議の上可決、七時廿分散會した

北中南支交易計畫等

可決

【南京二十七日發】國府の物資統制に關する審議機關として先般商業統制總會と同時に設立をみた物資統制審議委員會は廿七日國際クラブに第二回會議を開催、日華各委員出席、物資統制委員會監事會の全國商業統制總會下部機構結成に關する經過報告あつて後、民國三十二年華北中南各地域物資交易計畫、棉花及び綿製品自給計畫要綱案、本年五月中上海地區搬出物資基準數量(全國商業統制總會取扱)、統制總會下部機構組織並に運管に關する唐委員提案、物資統制審議委員會審議事項の追加修正案等の各議案について慎重審議の上可決、七時廿分散會した

敵國人集團收容狀況

の一ヶ年間、交易金額は二百四十萬圓である、香港積出し油頭向け物...

【香港二十一日發】香港第一の健康地赤柱半島に敵國人の集團收容所が開設されたのは戦火の未だ消えやらぬ昨年一月四日で、三月初め市内數ヶ所の收容所から英米人約三千名がこれに收容されたがその後五月五日外交官交渉協定に基づき、ベルギーノルウェー、オランダ各外交官が上海に向ひ、六月廿九日米外交官交換船淺間丸でサザードランド總領事以下三百七十七名が歸國し、その後收容者の希望による上海移送などがあつて目下のところ約二百五十餘名が收容されてゐる、そのうち二百四十名が英國人残り十餘名がノルウェーオランダ、米國人等で婦人は全體の約三割の八十餘名である、收容所には英政延時代の刑務所職員官舎や赤柱半島に散在するクラブ別荘をそのまま集團生活所に當て風のよく當る廣大な收容所、散會集會所、酒保等の設備もあり共同炊事を行つてゐる

長谷川臺灣總督香港視察

【香港二十三日發】南支視察中の長谷川臺灣總督は二十一日午前九時四十分香港に到着磯谷香港總督陸海軍最高指揮官を訪問した後、香港復興の狀況を種々視察中であつたが滞在日程をどことほりなく終了したので二十四日午後零時半歸任の途についた

長谷川臺灣總督談【廣東二十三日發】長谷川臺灣總督は去る十八日海南島海口より廣東省、臺灣總督として始めての南支訪問を行つたが、二十日廣東新華ホテル内水交社において當地日本記者團と會見、視察の感想を左の如く語つた

「海南島では海口を振出しに各地を視察したが、特に〇〇鐵山の従業員諸君が氣候風土など相當な惡條件と闘ひ乍ら資源開發に努力してゐる眞劍な姿には敬服した、其の他農業、林業等の諸計畫も着々進行してゐるやうである、廣東は事變前に一度來たことがあるが、市内の活況は想像してゐた以上だ」



華北剿共委員會を創設

【北京二日發】中國參戰下華北軍官民は總力を擧げて新中國建設の最大の痛共産黨軍の剿滅に邁進してゐるが、華北政務委員會では、剿共方策の決定及びその徹底推進に當るべき中心機關としては今回新に華北剿共委員會を設立することとなり、廿九日の常務委員會會議で決定、二日政務委員會情報局より發表された、剿共委員會は中央に總會、各省市道縣にそれぞれ各級委員會を設け、委員長は朱深政務委員長が兼任、常務委員は治安兼內務總署督辦齊燮元、新民會副會長俞熙傑、政務委員會政務廳張仲直の三氏が兼任し、政會軍三位一體となつて對共總力戰に當ることとなつてゐる、なほ剿共委員會の創設に伴ひ民國三十年（昭和十六年）八月以來華北における對共施策の企畫調査機關として活動を續けて來た防去委員會、及び過去五次に亘る治安強化運動に於て參謀本部の役割を果して來た治安強化運動總本部の二機構はこの發展的解消を遂げ新機構傘下に吸収される

【北京八日發】華北各級剿共委員會組織大綱は七日公布實施された、常務委員は五名とし、內務、治安兩督辦、政廳々長、新民會正副會長がこれを兼任し他に委員若干名を置く、總會内に總務、企畫、傳報の三處が設置され、また各省特別市、道、市、縣にはそれぞれ委員會を設け各主任委員には省長特別市長、道尹、市長、縣知事が當り委員若干名を置き、軍、政、會の代表及び適當なる人物を以てこれに當て省特別市においては常務委員若干名、道、市、縣には三省を置く、更に各郷、村委員會は最下層組織として剿共工作に協力し、郷、村長が主任委員となるが、治安軍警察分署分駐所がある場合は該長官がこれに當る

國府の參戰と北支軍將兵

相と我々の覺悟より説き起し、日華提携の根本精神と國民政府の參戰との關聯並に將兵として作戰警備に専念することは勿論、中國人の民族意識を輕視することなく彼らの自主積極的活動を尊重し、もつて心から信頼される將兵たるべきを強調つたもので、新中國建設を協力しつたる現地軍官民の對中國人工作、日華合作の垂範訓ともいふべきものである、内容左の如し

【北京七日】北支派遣軍では國府參戰後の日華兩國關係の事項に對應する在華北全將兵の精神的目標を統一し、眞に日華一體の立場より大東亞戰爭を完うせんとすとの不動の決意を昂揚するためこのほど「國民政府の參戰と北支派遣軍將兵」と題する小冊子を配布すべく準備中であつたが大詔奉戴日の八日を期し北支軍全將兵に頒布する手續をつた旨七日北支軍報道部から發表された、この小冊子は現下に於ける大東亞戰爭の様

一、大東亞戰爭の様相と我等の覺悟
大東亞戰爭は決戰連續の大決戰である、開戦以來御稜威の下皇軍將兵の善謀勇戦により世界戦史にその類を見ない迅速さを以てこれらに對する確信を、各戰線に亘り絕對不敗の確固たる戰略基地を獲得するに至つた帝國はこの必勝の基礎を更に強化擴充するとともに、その優位を全幅的に活用しあくまでも米英に對し攻勢を持續し遂に米英をしてその戰意を放棄するに至らしめ、以て征戰の目的達成を期してゐる、纏つて支那大陸の戰野を思ふとき、既に五年有餘半將兵は最後の勝利を妄信し、今尙徹底抗日を呼號して惡辣執拗なる蠢動を續けて居り、今後と雖も決して油斷は出來ないのみならず、一步を誤まれば永遠の禍根となるやも知れぬ狀況にある、しかば北支は長期戰を勝ち抜く爲の國防資源上から見ても正に戰爭完遂力を發動すべき基地たるの重要使命を有するのである、北支をして眞に大東亞戰爭の完勝に寄與せしめるためには我が北支派遣軍將兵が決意を新にして將共の反攻を徹底的に覆滅することが絕對に必要であり、斯くしてこそ米英の反撃を粉砕すべき磐石不動の鐵壁

が築かれるのである、戦争は最早や一段落を告げて建設の時代に入ったガソリンも来た、砂糖も自由に買へる、ゴムも純綿も心配無用だ」等と放言した不用意な言葉は急速に傳播して一部日本人の精神を弛緩せしめたり、華北においては眞に中國人の模範たり得ない一部日本人がただ單に日本人であるといふ誤れる憂越感とに起因し、不遜な態度を以て中國人に臨んだ者は居なかつたか、我が將兵中においても知らず知らずその言動を誤つて居た者が一人も居なかつたと云へるだらうか、我等軍人として深く御權威の心を體し、愈々完勝の信念を堅持し、大陸の戦線に邁進してその本分を盡し、以て聖明に應へ奉らむことを誓はねばならぬ

二、日華提携の根本精神と國民政府榮園建設のため吾人の三思猛省を要するところである

三、將兵の信條 大東亞戦争の勃發は米英のそれに比し何等の不安なきのみならず、寧ろ敵側において容易に得難い軍需資源が擧げて我方の掌中にあることである、而して今後の問題は如何にしてこの興へられたる豊富な物資を直に戦力化することである、ここに忘れてならぬことは人の力である、即ち如何に豊富な資源と雖も人の力を無視しては斷じてその眞價を發揮することは出来ぬ、大東亞十億民の結束を俟つてこそ始めて大東亞戦争の東亞的使用を確立せられ且つこれか眞の完途を期しうるのである、即ち大東亞共榮圏の思想建設こそ大東亞戦争の始めにして終りである、而して各民族眞の結束は力による強制のみを以てしては斷じて不可能である、何故ならば力の強制による結束は飽造表面または一時的の結束に止まり、

倒して戦闘を忘れ、鍛錬を怠り遂に皇軍本然の任務を逸脱する結果となり眞の武力を發揮し得ない團體となつて了ふ、峻厳なる軍紀の下嚴然として威容を保ち肅然として傲らず、その一度起つや善戦健闘、忽ちにして敵戦力を破砕、撃滅するならば中國人の信賴は期せずして皇軍に集まるであらう、政治に口を出す勿れ、作戰警備に専念せよ、このことを忘れると軍紀を紊すものとなる

二、中國人の信賴を得よ 中國人に心から信賴されるためには、内に軍人精神を充實し、外に嚴肅端正しかも誠意をもつて彼等を愛護してやる必要がある、戰陣訓にも「皇國の本義に鑑み仁恕の心よく無華の住民を愛護すべし」とある、中國人を公衆の面前に怒鳴り散らしたり、暴力を振つたりしては最早やその人は他の如何なる善良な中國人からも信賴はされぬ、我々將兵は常に自ら反省し皇軍の一員たる道義を實踐するに皇軍の心を知ら彼等に理解と同情とを持つことを忘れてはならない、而して皇軍將兵の一人々々が中國人の信賴を受けるならばこれこそ日華提携の眞姿が顯現せられたものといへるであらう

三、中國官民の自主積極的活動を尊重せよ 中國民衆の使用する惡徳通譯密偵等は日本軍の威力を券用してゐる、彼等は既に定評あるところである、彼等は日本軍の威力を券用して良民を脅迫するを常とする、我等皇軍の武威を善用する輩は斷乎處斷すべきである、中國人を喜んで我が方に協力せしめるためにはこれが妨害となる一切の事業を徹底的に除去することが絶対に必要である、作戰警

備の必要から中國人、就中治安軍や縣警部隊或ひは警察を状況により使用し或ひは指導する場合と雖も飽くまでも獨立國家の軍警と協同するものであると言ふ立場と精神とを忘れてはならない

四、中國人の民衆意識を輕視してはならぬ 民族意識は中國人とも我々と異なるところは無いのである、蔣介石の民族意識昂揚が史上類例なきまでに迅速、且つ廣範圍に徹底して行つたか考へれば思ひ半ばに過ぎるものがある、未だ中國人を劣等視し傲慢不遜の言動なきものが絶無といへようか、不注意な言動によつて中國人の恨を買ひ悔を千載に残さざる如く戒めなければならぬ

五、常に民政の安定を考へよ 國民政府の安定と相俟つて支那事變の意味が變化して來た、即ち我々が日夜蔣共軍と戦ひつゝある戦場に日本内地と同様とはゆかないまでも盟邦の統後たるべき意義が生じて來たのである、皇軍將兵が從來とその考へを一變しなくてはならぬ事は當然である、一方この中國の統後に駐屯する皇軍の現地自活に對する要求は大東亞戦争の進展に伴つて愈々昂つて行くことが豫期せられる、然かも軍の現地自活は當然中國に於ける統後國民の協力によつて解決されなければならないとすれば我々は極力盟邦の統後に迷惑をかけない覺悟が必要である、だから軍の現地自活のためだとして武力を振りまはして中國人から強制徴發をやる事を當然の様に考へる如き事が萬が一にもあつたとし、唯日華提携の根本精神に反するのみならず大御心に對し奉つり眞後における華北の治安確立の完壁を

烟總司令官華北視察

【南京二十日發】支那派遣軍報道部發表(四月二十日)

烟總司令官は四月十二日より華北方面を視察し十七日歸寧せり

治安會議開催

【北京二十七日發】北支派遣軍の一翼として蔣共軍擊滅に赫々の戦果をあげつつある治安軍では、國府參戰後における華北の治安確立の完壁を

期するため二十五、六の兩日治安總署に各地集團軍司令を招致し、國府參議後最初の治安會議を開催し、蔣共討滅の具體方策につき協議した

山東東亞新報發刊

【濟南一日發】華北に於ける國策中央紙東亞新報社では今回濟南の山東新報社を買収併合して一日から山東東亞新報を發刊した支社長には前山東新報社長小川靖彦氏が就任した

入滿華北勞工八十萬

濟

【北京十日發】滿洲國における産業の勃興と華北農村の昨年度における早魃、最近の食糧價格の状況などより年初來三月末までの華北より對滿勞工供出に既に團體個人並に隨伴家族を合計して八十二萬三千人に上り、これを前年同期の四十三萬餘に比すれば實に二倍近くの數字に達してゐる、而してこのほか華中蒙疆方面に向け大規模な人口移動も行はれてゐるから本年度においては華北未曾有の勞工移動が行はれるものと見られてゐる一月以降三月までの出郷勞工數左の通り

團體個人計		隨伴	
入滿本年度	四三、三三〇	一、五七〇	一、五七〇
同 昨年度	二〇、二四八	三、〇三三	三、〇三三
入蒙疆本年度	四三、七〇〇	二、八八七	二、八八七
同 昨年度	一五、〇八二	三、四〇〇	三、四〇〇
入華中本年度	一、九七二	一、九七二	一、九七二
同 昨年度	六、八九〇	一、五五〇	一、五五〇
計(その他とも)			
本年度	四九、六〇六	五、〇四〇	五、〇四〇
昨年度	二四、五〇六	三、七二〇	三、七二〇

食糧需給圓滑化

【北京十五日發】國府還都三周年記念式に華北政務委員會代表として出席した王實業總署督辦は參戰下ますます緊密化する華北經濟の調整、華中よりの食糧移入、その他の諸問題につき華中關係方面との折衝を了へる程南燕したが、十四日在燕日華記者團と會見、現下の食糧物價問題等につき左の如く語つた

「本年度華北の食糧は昨年の天災のために需給が窮屈になつたので關係方面では滿洲、蒙疆からの輸移入にも努力してゐるが、今回中支よりも相當量の小麦粉を移入し得ることになつた、結局これに依つて華北には昨年より相當多量の食糧が移入されることがなる譯で需給も圓滑化し價格も安定して行くものと思ふ、戦時においてはインフレ的傾向は不可避であるから當然これに凡ゆる統制を講ずるが實施されてゆかねばならぬ、當局ではさきに物資物價處理委員會および食糧管理局を設け統制に着手してゐるが、今後は更に民衆の協力に依つて統制を強化擴充して行く方針である

華北交通四ヶ年の業績

【北京十五日發】華北交通では來る十七日を以て創立滿四周年を迎へるが、この過去四ヶ年間の發達は華北經濟の復興と進展とを反映し左の如く顯著なものがある

十七年度指數	一般旅客人員三〇九
同收入	三二八、貨物輸送量一五八、
同收入	一五八
△自動車	路線延長、創業當時の路線延長四萬二千三百キロに比し四月一日現在一萬七千三百キロと四倍に躍進
△旅客及び貨物	(基準指數は鐵道の場合に同じ)貨物輸送量五四五、旅客輸送量一六六〇營業收入及び車輛(前項に同じ)營業收入四六二、車輛保存數二六七
△水運	事變前の約五千キロに對し事變以來の河路の荒廢閉門、土堤の破壞等から營業開始も昭和十四年九月まで遅延したが、營業キロ程は昭和十四年一四四三キロ、十五年五八四二キロ、十六年一四四三キロ、十七年二二三〇キロ、十八年四一二二キロと漸次復舊しつつあり、右に伴ひ輸送量も昭和十四年(貨物は十五年)を一〇〇とすれば十七年中は次く如く増加してゐる
旅客輸送人員	五二五、貨物輸送量四一四
△碼頭	現在經營中の碼頭は天津、塘沽、連雲、新河、招商局、北砲臺六碼頭で創業當時を一〇〇とした昭和十七年度實績は左の如し
入港船舶數	一七四、輸出入貨物取扱量一、〇九四
△港灣荷役増強期間	なほ昨年十二月より本年三月に至る港灣荷役増強期間の實績はいづれも目標を遙かに突破、左の如く驚異的なものがある(實施前の實績を一〇〇とす)
連雲	増強目標 實績
塘沽	一三〇 五二八
新河	一五〇 四六四
招商局	一五〇 四〇二
	一九七 四九七

北砲臺 一五〇 五三〇

天津、山海關間に保税輸送實施

【天津廿二日發】山海關を經由して華北に輸入される内地、朝鮮、滿洲からの貨物に對し着地に保税倉庫を設置して通關を受けんとする要望は二、三年來北京、天津を始め濟南等の貿易業者より熾烈に叫ばれて來たが、この程取敢へず山海關、天津間に保税輸送を實施することに決定した、六月一日より實施されることとなつた、この山海關、天津間保税輸送には山海關關稅事務所の手によつて通關事務を行ふ方針であるが、これに滯荷の被害は全く解消されると共に通關事務の簡易化により着荷期間の短縮は勿論、輸送上における能率の向上をみる譯である

蒙疆

對滿借款を完済

【張家口廿一日發】蒙古政府は昭和十四年滯洲國との間に設定した一千萬圓の借款のうち昨年末五百萬圓、本月十九日三百萬圓を返済したが、更に引續き廿九日殘額二百萬圓を返済、ここに全借款の返済を終つた、右の借款は對滿貿易の好轉その他による蒙疆側受取額の超過に伴ひ豫て政府で返済を考慮中であつたもので、前回の八百萬圓は輸出超過による在滿資金及び疆内流通中銀券の回

蒙銀日本國債一億圓購入

【張家口廿日發】蒙疆の經濟建設は蒙古政府當局の適切なる諸施策により順調に進展し輸出貿易の伸張により昭和十七年度の貿易及び貿易外收支は四千萬圓乃至五千萬圓の受取超過を豫想され蒙銀保有の外貨資金は未曾有の豊富な状態を呈するに至つたので、蒙古政府ではさきに蒙銀を以て日本の國債消化に協力するため二回に亘り大東亞戰爭國債六千五百萬圓を購入せしめたが、今回更に同國債三千萬圓を購入せしめることになり十九日右手續を了した、これにより蒙銀保有の日本國債は支那事變國債を合せ合計一億圓の巨額に達したわけである

滿蒙間牲畜、皮革取引額決定

【張家口廿四日發】去る五月中旬新京で開催された滿蒙貿易會議で決定をみた牲畜及び皮革の本年度取引數量及び價格を決定する滿蒙經濟連絡會議は廿二、三の兩日張家口公使館會議室で開催、滿洲側より田崎教源科長その他、蒙疆側より杉山獸醫部長、鈴木大使館技師以下各係官出席牛を除くほかの各取引品目につき決定をみ午後二時開印を了した、右に依れば本年度取引額は馬(昨年度の二割五分増)の外羊(種牝羊)と牛皮、羊毛皮等は何れも昨年度と同數でその他各種商品百萬圓を加へ取引總額は約三百萬圓に上つてゐる

收等による國幣決済、今回の二百萬圓は聯銀券決済により返済されたもので、最近における蒙古政府財政の目覺しい發展振りを如實に物語つてゐる



皇帝陛下東條首相に接見

【新京一日發】滿洲國皇帝陛下には一日新京に到着した東條首相に對し二日は更に接見と賜宴の御沙汰があり日滿兩國の御交驩を彌がら上にも深めさせられた、この日東條首相は建國神廟に參拜、大東亞戰爭の完遂と滿洲國の隆昌を祈願した上、帝宮に參進、皇帝陛下に接見仰付けられ、十時三十分首相は一旦帝宮を退出、正午再度帝宮に參進、嘉樂殿に入れば皇帝陛下御臨遊はされて開宴あらせられた、皇帝陛下には御機嫌御麗はしく御盃を高くあげさせられ聖壽萬歳を壽がせられて御乾杯、御歡談のうちに御會食遊ばされた、かくて今次來滿の最高目的と重要使命を滞りなく終へた首相は御殊遇の數々に感激しつつ帝宮を退下した

皇帝陛下關東軍司令官官邸へ御臨

【新京五日發】滿洲國皇帝陛下には第一次御訪日八周年記念日に當り六日梅津關東軍司令官官邸に御臨あらせられたる旨、五日宮内府より次ぎの如く布告された
△宮内府布告 皇帝陛下 四月六日關東軍司令官官邸に臨幸あらせらるべき旨仰せ出さる

政治 東條首相張總理交驩

【新京二日發】訪滿中の東條首相は二日午後一時四十分五分國務院を訪問、張國務總理兼協和會長と會見、謝辭十年の祝辭、大東亞戰爭協力以上の謝辭を述べ、更に將來に對するより以上の協力を要望、種々歡談の後同一時十五分張國務總理以下全員の見送りを受けて一旦迎賓館に引揚げ、梅津關東軍司令官、邢軍事部大臣と懇談、次いで張國務總理の答訪を受け和やかな雰囲気の中裡に兩國總理の歡談が續けられた、次いで首相は午後六時大和ホテルに於ける張總理の招宴に臨み第二日午後の日程を終つた

周中國特派大使來滿

【新京九日發】國府特派大使周佛海行政院副院長兼財務部長は楊財政部總務司長以下の隨員を帶同八日午前空路南京を出發途中大連に一泊して九日午後四時三十分空路新京飛行場に到着した、周特派大使は出迎への日滿軍官民並びに樞軸側使臣と挨拶をなしたのち訪滿のステートメントを發表次で、午後五時四十分帝宮に參進記帳を行ひ退下、六時過ぎ在京記者團と會見後中國大使館における陳駐滿大使の非公式招宴に臨んで新京における第一日の日程を終つた
周特派大使聲明【新京九日發】周特派大使は新京飛行場に到着後左の如き聲明を發表した

「今度の滿洲國訪問は中滿兩國の關係を増進し、共に友邦日本に協力以て大東亞戰爭の勝利を完遂するにあつた」と同時に滿洲國十年來の經濟建設の實績を考察して中國の復興の參考に資せんとするに於て、中滿兩國の關係は日滿華三國共同宣言を發表して以來、その友好的基礎は既に奠定され、昨年の五月國民政府の汪主席は中滿兩國の友好關係を増進せんがため滿洲國を訪問され、同年六月滿洲國國務總理張惠景閣下の參訪が互に訪問に依つて度々その友好と密接關係を増進した、本年一月九日國民政府は米英に對し宣戰を布告し、以來友邦日本と中國は既に同甘共苦の連繫より進んで同生共死の結合となし、中滿兩國はこれに依り更に緊密合作するの必要を生ずるに至つた、私はこの中國參戰の新局面に即應せんがため滿洲國朝野の諸賢と諸般の問題につき隔意なき懇調を遂げ、以て中滿兩國間の合作緊密化を期し中滿兩國の力量を増加するに於て、日滿兩國は國土相接し、各廣大なる領土及び豊富な資源を擁し、若し力を盡して開發すれば東亞の安定は自らなり、東亞繁榮の柱石となるものであり、且ら友邦日本に協力して迅速に東亞の建設の完成に貢獻し得るものである、滿洲國は十數年來既に滿洲の寶庫開發利用に力を致し見れば經濟建設を造成した、私はこの度の訪問の機會を利用し滿洲國の經濟建設の躍進及び成果を考察し、且つ諸賢と懇談をなし滿洲國建設の經驗及び成果を參考とし、中國の經濟建設を促進せしめんことを期待するものである、日滿華三國が堅く結合し東亞の樞軸たるは東亞共榮團各同各民族は聯合し強力なる東亞集團を組織し得ると同時に他方獨逸等歐州各極軸各盟邦と共に強力なる世界集團を組織し得るとの信ずる、斯のステートメントを發表日滿華三國周特派大使は離滿に際し左の如く聲明した

周特派大使聲明【大連十九日發】周佛海訪滿特派大使は訪滿の使命を達成し十九日午前十時五分大連發空路北京へ向つた
周特派大使ステートメント【大連十九日發】周佛海特派大使は離滿に際し左の如く聲明した
「私は今回滿洲國を訪問致し去る九日新京に到着し十六日大連に歸つて來るまで僅か八日間であつたが、しかし得たところの收益は實に豫期以上なものであり、滿洲國朝野及び關東軍に對し深甚なる謝意を表するものである、大東亞戰爭の完遂には必ず精神的物資的力量を具備しなければならぬのであるが、現に滿洲國が日華兩國と全く同極樞軸國と一體一心、あくまで固く團結して勝利を獲得する決心及び信念を持つてゐるが、これ即ち精神的力量を具備してゐる證左である、又今回吉林、哈爾濱、奉天、撫順、鞍山各地を參觀し軍需工場の設備を見、その規模の雄大進歩の快速は實に私の想像以上であつて滿洲國において斯くの如くであるから日本では更に大飛躍してゐることが偲ばれるのである」

保安拘留思想矯正制度

【新京十五日發】滿洲國政府は國內における治安の確保と民心の安定を期するため現行一般刑罰制度の外に新に保安拘留並に思想矯正の兩制度を實施することとなり、去る七日國務院會議に右兩制度設置に關する要綱を附議可決、十五日これを發表した、この保安拘留並に思想矯正の兩

制度はいづれも犯罪の豫防を徹底す
るために犯罪前歴者乃至は犯罪の傾
向ある者に一般刑罰とは異つた一定
の司法處分を施しあはせてこれらの
者をして健全なる國民として復歸せ
しめることを目的とするもので満洲
國司法制度史上劃期的意義を有する
重要制度である、このうち思想矯正
制度は現時局下における思想對策の
重要性に鑑み保安拘留制度とあはせ
て設けられることとなつたもので、
所謂思想犯前歴者を對象とするもの
である、なほ兩制度とも所要の法令
の設定及び機關の設置を俟つて七月
頃から實施される豫定である

司法部機構改革

【新京廿六日發】滿洲國政府は決戦
下國內の治安確保と民生の安定を期
し司法行政機構の整備強化を圖るた
め司法部現機構の一部改革を斷行
し執行機構として保安拘留制度の處分
執行機關として矯正輔導院を設置す
るとともに同處分執行の企畫、監督
事務及び監獄行政事務等を併せ管掌
するため従來の行刑司を發展的解消
して司法行政總局を新設、また刑事
司に新たに經濟、保護の二科を加へ
従來の檢察、法務、思想各科と法政
刑事、思想各科に改めることとなつ
た、右に關する官制の改正は去る廿
二日參議府會議の通過を見たので、
廿七日公布即日實施する、今回の機
構改革により新發足する司法行政總
局は司法部の外局とし總局及びその
下部機關は特別會計とし、矯正輔導
院及び刑務官訓練所の監督、指導を
するもので總局内に總務、經理、保健、
刑務、作業輔導の六科を設け、又矯
正輔導院は本年度に於て奉天、哈爾

本年度貿易方針

【新京十六日發】滿洲國の
本年度貿易計畫のうち日本
北支、中支、蒙疆、朝鮮等の實施計
畫については一段落を見たので經濟
部貿易司では十六日午後一時から記
念公會堂上において最近の情勢に對
し處した滿洲國の貿易方針の説明を行
ふと共に主として對日消費物資(朝
鮮を含む)第一回半年實行計畫に基
き貿易司長への割當を行つた、生松
貿易司長の貿易方針説明、要旨次の
通り

○對日寄與増大のため積極的増進と
輸入抑制を圖つたため本年度計畫に
おいては對日輸出強化となつた消費
物資については食糧品、農産品等輸
送に手間取るものについては輸入を
行はぬ取り輸入することとしたが、總
體的には昨年より相當の輸入減とな
つてゐる、○従つて本年度は計畫統
制を一段と強くし割當は必需度の強
いものには統制を強化することとし
金額、數量兩面から規正することと
した、○物動中支、蒙疆の隣接地帯
朝鮮、北支、中支、蒙疆の隣接地帯

鐵鋼價格引上げ

【新京一日發】滿洲國政府は昨年四
月鐵鋼價格の改訂を行つたが、最近
の鐵鋼生産原價の昂騰に鑑み現下
の鐵鋼生産原價を基礎としこれに配給經費
を加算したる適正販賣價格を設定一
日より實施することとなつた、新價
格は従來に比し銑鐵約一三・五パー
セント、鋼材約三〇パーセントの値
上げとなる

本年度滿洲移駐工場は廿四

【新京五日發】消費物資の自給を目
的に第二次五ヶ年計畫の附帶産業部
門として取りあげられた輕工業生産
力擴充は地場産業振興、日本よりの
工場移駐を中心として進められ、第
一年度において早くも對日期待物資
の輸入を著しく減少したが、五日開
催された商工科長會議席上經濟部當
局は第二年度における日本よりの移
駐工場は生必工場十四、機械、織維
雜工場十、合計廿四なる旨説明した
向これらは物動策定を待つて本極り
となるものである

滿洲輕金屬アルミ工場増設

【新京廿日發】滿洲輕金屬では航空
機用アルミニウム的重要性に鑑み
本年度事業として曩に撫順工場の第
三回擴充計畫を決定、生産能力百五
十パーセント増強を目標に工事中で
あるが更に劃期的増産を圖るため懸
案の同社安東工場の新設を決定、直
に建設工事に着手することとなつた

金利率下げ

【新京二十日發】滿洲國政府は一般
金利率の低下せる状態に即應して
國內金利率基礎たる國債の發行價格を
引上げると共に中銀の標準金利率を引
下げることに決定二十日より實施し
た、内容は左の如し
△國債の發行價格引上げ 従來の四
分公債の發行價格九十六圓を今後新
省代表等四百餘名出席の下に開催さ
れ二週間に亘つて連日討議を續けて

昭和鐵鋼倍額増資

【新京二十日發】昭和鐵鋼では鐵鋼
増産のため現在資本金二億圓を四
億圓に倍額増資し、右増資額は、全
額滿業にて引受けることに決定した
第一回拂込金は一億圓とし四月中に
完了の豫定

滿洲石炭工業會社創立

【新京廿七日發】無煙炭を煉炭に加
工し採暖用炭として利用の道を開く
とともに現在採暖用炭として多量に
使用されてゐる工業用有煙炭を適正

滿洲調查機關聯合會新發足

【新京十二日發】滿洲調査
機關聯合會では十二日滿洲軍人會館
に會長武部總務長官以下關係者多數
列席、第四十一回總會を開催、同會
規約を改正し新たな規模構想の下
に調査事業の擴充強化に邁進するこ
となつた、右は最近における調査
事業の重要性に鑑み調査機能の平時
的性格より戰時的性格に切換へ新發
足せんとするものである

政治・軍事

三民主義青年團大會

蔣訓示【廣東四日發】三民主義青年
團第一次全國代表大會は去る三月二
十九日重慶に於て黨政軍幹部及び各
省代表等四百餘名出席の下に開催さ
れ二週間に亘つて連日討議を續けて
あるが、劈頭團長蔣介石は「青年團
の使命と大會の任務」と題して長廣
舌を振ひ、先づ國家安危の關頭に直
面してゐるにも拘はらず、現下の青
年層が徒らに煩悶を續け因循姑息な
態度に陥つてゐることに痛烈な批判
の矢を向け抗戰建國成敗の如何は一
に青年の頭上に掛つてゐると非常事
態に於ける青年の覺醒と團結を促し
たが更にこれと共に今後の青年團の



任務と工作の重點として、經濟建設運動の推進、特に十年建設計畫の遂行、國防科學技術運動の發展、新生活運動の實踐の三項目を指摘し、「余は全國の青年を待みて余の事業と使命を繼續せん」と動もすれば敗戦の深刻なる苦惱に混迷し抗戦から遊離せんとする青年層に悲痛なる協力要請した

大會終る【廣東十二日發】重慶三民主義青年團全國代表第一次大會は重慶において去る三月廿九日より開會

抗戰體制再編成を目標に、議案を審議中であつたが、十二日蔣介石出席のもとに閉會式を舉行、二週間の會議を終つた、同會における協議事項は、經濟建設運動の推進、國防學技術運動の展開、新生活運動の實施などであるが、これが具體的實施方法として新徵兵法の徹底、勞動服務の強制、生産技術、文化建設の促進等が議決された、又重慶政權としてはこれらの諸運動を通じて青年團をして蔣介石獨裁擁護の探題たらしめ同時に各地における物價統制推進などの政治運動などに利用せんとするほか青年を煽動して戦線に參加せしめ目下頭痛の種となつてゐる兵員補充難を緩和せんとする彼一流の惡辣な狙ひであつた、果せるかな青年團結成以來第一回の全國代表大會に拘らず氣勢揚らず蔣の強制に形ばかりの會議で終つたことは抗戰に絶望感を抱く青年層の陰鬱なる思想を反映せるものとして注目される

重慶市民に引上げ命令

【ベルリン五日發】重慶政權は四川省の一角に立て籠つて僅に餘喘を保つてゐるが最近物資食糧の缺乏甚だしく更に日本航空部隊の爆撃に堪へぬ五日市民に對し即時退去命令を下したと傳へられる、重慶來電によれば同政權は五日次の布告を公布したと云はれる、四圍の情勢に鑑み重慶市民の半は即時撤收すること、政府に於て撤收に必要な旅費の二割を支給する、撤收命令に違反する場合に米、肉、油、砂糖、煙草等の配給切符を取りあげる

市民疎散實施【廣東廿日發】空襲季節の到來に戦々々たる重慶の狀況をP電は左の如く傳へてゐる

重慶防空司令部は市當局と聯繫して、三月中旬から十月半ばに及ぶ七ヶ月の空襲季節に日本空軍の爆撃被害を最小限に喰止めようと目下市外四十乃至百軒の郊外に市民の疎散を實施し三月十五日から五月末まで市民の督勵に大奮となつてゐる、なほ過去六ヶ年間に日本空軍による重慶爆撃回数は百三十三回、軍事施設破壊一萬一千八百八十一箇所、焼夷彈一萬八千個、死者九千七百二十名となつてゐる

新徵兵法に知識階級動搖

【廣東八日發】戦力の低下と兵員補充難に四苦八苦する重慶當局は去る三月十五日苛烈なる新徵兵法を公布し學生並に官公吏の兵役義務を強制的に實施することとなつたが、この新徵兵法が一度び發表されるや偶然知識階級青年間に大動搖と混亂を來し種々の問題を惹起するに至つたので軍政部長何應欽は去る五日の記念週間に新徵兵法に付き種々説明した、更に副參謀總長參長白崇禧は六日の三民主義青年團會議において重ねて次

の如く陳辯した、「新徵兵法の目的とする所は重慶軍の素質の向上と戦闘力の強化にある、反樞軸國と樞軸國とを問はず、外國の軍隊は高等教育を受けた者が一般兵士の中に多數入つてゐるが重慶軍の中には大學及び專門學校出身の者は絶無と云つてよい、これは學生並に教養ある青年の兵役免除を許容した結果で、これがため無智文盲なる者のみが徵集されて軍隊の素質を著しく低下してしまつた、かゝる事情に鑑み、今回徵兵制度の改訂を見たのであるが、これに依つて泰任官以上の官吏並に二十五才以上の學生は總て強制的に現役に服せしめることとなつたのである」

對外借款の償還誇張

【廣東九日發】重慶政權の戦時借款總額は七十一億五千萬圓といはれてゐるが重慶來電によれば英米ソ各國よりの借款に對しては年々財政部貿易委員會および經濟部資源委員會を通じて農産物または鑛産物を以て償還してをり、米國に對する桐油借款は昨年三月中既に二ヶ年分を繰上げ償還したと稱してゐるが、現在の重慶には大量の物資輸送の道があるはずがなく従つて右の報道も空宣傳の域を出ない

熊式輝重慶歸還

【廣東十六日發】重慶來電によれば軍事使節として英米兩國を訪問中であつた熊式輝は十五日朝空路昆明經由重慶に歸還、直ちに蔣介石と會見、樞軸側の戦略及び米英における視察狀況等につき報告を行つた、熊式輝が發賣後旬日を出ずして重慶政權の

願維鈞夫人傳を禁止

【アエノスアイレス廿六日發】ニューヨーク來電ロンドン駐劄重慶使臣顧維鈞夫人の執筆にかゝる自敘傳が發賣後旬日を出ずして重慶政權の

派遣されたものであるが、ルーズヴエルトが主催する反樞軸國軍事會議にも一度も出席することを許されず、事毎に米側から冷遇され、腐り切つて遂に米國を引揚げ歸國したものである

重慶國際突擊隊現る

【南京廿六日發】香港陥落の前後から支那大陸の奥地に逃亡した米英人は奥地の原始的生活に不遇を叩つてゐるが、昨年十一月末頃から英人を主體とする米英人約三百名が浙江省の第三戰區に現れ、第三十二集團軍々長李默庵に屬する四萬人内外の兵を集めて麗水附近一帯で軍事訓練を開始し、本年二月上旬一部訓練終了者を以て天臺、新昌方面に出沒し、小癩にもわが警備前線を窺はんとし、これらの怪人部隊は一齊に灰色の軍服を着用し兵力約四、五千これを四乃至五ヶ聯隊に分け戰闘單位を小隊とし更にこれを三つの戰闘班と一つの政治班に分け裝備も各聯隊に迫撃砲二門、重機二、輕機二十、小銃二百五十、自動拳銃十五餘を有し、各人それぞれ手榴彈六小銃彈百本の裝備から見て、わが軍と戦闘をまぢへるなどは思ひもよらず、わが占領地區に對する謀略宣傳及敵地區民衆の抗戰賦喚乃至遊撃工作に狂奔する土匪的集團に過ぎない

願維鈞夫人傳を禁止

【アエノスアイレス廿六日發】ニューヨーク來電ロンドン駐劄重慶使臣顧維鈞夫人の執筆にかゝる自敘傳が發賣後旬日を出ずして重慶政權の

願維鈞夫人傳を禁止

【アエノスアイレス廿六日發】ニューヨーク來電ロンドン駐劄重慶使臣顧維鈞夫人の執筆にかゝる自敘傳が發賣後旬日を出ずして重慶政權の

申入により米國務省の手を通じて發賣禁止の厄に遭つた、願維鈞夫人は自敘傳で重慶政權内の紛亂振り弱體化を曝露し悲觀的な見解を表明してゐるのではないかと見られる

在支米蔣空軍増強に躍起

【上海九日發】西南太平洋方面で亞侵略の據點を完膚なきまでに覆滅された米國は、支那大陸を第二戰線とする對日攻勢を企圖、本年三月在支米空軍を獨立し乘員資材の充實に狂奔するとともに作戰方針を従来の防禦態勢より攻撃態勢に一變した更に前進基地として建甌、玉山、常德、衡陽、安康、固始等の整備に努め、新鋭長距離機を〇〇臺備へて小癩にもギリラの蠢動を續けるかたはら支米蔣兩空軍を以て日本國土に對する春季大攻勢を豪語して虎視眈々その時期を狙つてゐた、これに對しわが精銳なる荒鷲部隊は過般來在支米空軍の根據地たる昆明、桂林をはじめ前進基地を粉碎する一方敵側優秀機を多數撃破して敵の日本本土空襲の企圖を破挫せしめたのであつた、しかし最近上海に達した情報によれば、敵は在支米空軍の増強に躍起となつてをり、在支米空軍は義勇空軍當時の舊裝を脱するや攻勢態勢に入りインドより重慶への航空資材輸送に當つては物資輸送を全く禁止してこれに狂奔してゐる

重慶米空軍部隊長更迭

【アエノスアイレス十九日發】アメリカン・ガゼットの報道によれば重慶米軍戰闘機隊長大佐ロバート・スコットは去る一月十九日飛行士養成のため

重慶米空軍部隊長更迭

【アエノスアイレス十九日發】アメリカン・ガゼットの報道によれば重慶米軍戰闘機隊長大佐ロバート・スコットは去る一月十九日飛行士養成のため

と稱して米國に向け歸途につき後任には實戰の經驗ある中佐ブルース・ハロウエイが就任したといはれる
【米支航空部隊の感情益々對立】廣東二十三日發 在支米空軍と重慶航空部隊とは著しい待遇の懸隔や飛行機共同使用上のいざこざに加へて米空軍將兵の不遜な態度から最近益々感情的に對立し作戰上にも悉く協力を缺いてゐると傳へられるが、重慶來電によれば在支米空軍司令官マクニーンは二十二日記者會見で左の如く端なくも重慶軍とのこの對立不協力關係を自ら暴露するに至つた
「重慶航空部隊は米國で訓練を受けた者が大部分を占め現在我々に伍して活躍してゐる、兩航空部隊の協力は同じ飛行基地で寄合世帯を張つてをり双方の地上勤務員が働いてゐることも明かであらう、ただ米空軍が重慶側飛行士を地上勤務員として使用するのには目下重慶航空部隊の飛行機が極めて少く飛行士の方が四、五倍もあるといふ關係から手傳つてもらつてゐるだけでこれによつて重慶側空軍の作戦がまたげられるといふことは全然ないと思ふ」

米對日攻撃の再検討か

【廣東三十日發】二十八日急遽マシントンに歸還した印緬支米派遣軍司令官ステルウェル及び在支米空軍司令官マクニーンとの今次歸國の目的に關し、當地に達した重慶軍事當局筋の觀測によれば、米當局では昨年四月十八日日本本土空襲の際における重慶の前後事情を聴取するとともに、昨年の失敗に鑑み充分検討の上更に今後の對日攻撃につとめ具體的打合せをなすためであるといはれる

重慶空軍米空軍から分離説

【廣州十四日發】重慶よりの情報によれば米空軍との間に軋轢の絶えなかつた毛邦初麾下の重慶空軍は今同米空軍から完全に分離した旨各戰區に通告したといはれる
英ハ空軍中將を重慶派遣
【南京廿八日發】最近重慶における英國勢力は急速にその弱を潜めこれに代つて米國がその支配權を掌中に收めんとしてゐるが、情報によれば英國政府はかゝる頽勢に頗る焦慮し去る三月十一日空軍中將バットソンを英國代表として重慶航空委員會に派遣し英勢力の挽回に躍起となつてゐるといはれてゐる

重慶駐伯公使館昇格

【廣東廿九日發】重慶來電によれば重慶政權外交部では重慶政權とブラジル國との間に從來の公使館を大使館に昇格せしめることに決定した旨廿八日發表した

雲南派遣軍司令に陳誠

【南京廿三日發】情報によれば雲南派遣軍司令羅卓英は三月末現職を免ぜられ第三戰區副司令に任命され、後任として第六戰區司令長官陳誠が任命された、羅卓英今回の左遷はビルマ反攻作戦の失敗が直接原因とさ

重慶人事異動

【廣東七日發】重慶來電によれば重慶政權六日の行政院會議で交通部常務次長盧佐孚及び内政部常務次長李宗黃、經濟部常務次長潘宜之の辭任を決定、交通部常務次長には潘宜之、經濟部常務次長に譚伯羽、内政部常務次長に王德博を夫々任命した

オランダ亡命政權大使重慶に着任

【廣東七日發】重慶來電によれば駐重慶オランダ亡命政權初代大使ル・フアングは六日午後印度より空路重慶に着任した

財政・經濟

工業建設設計畫會議

【廣東廿六日發】重慶政府の工業建設設計畫會議は去る廿日開幕されて以來、冶金、燃料、教育、電力、化學工業、民生工業、水力、技術の八分科委員會に分れて連日協議を行つて來たが廿六日は大會を開き各分科會の成果に對し最後の検討を行ふ旨重慶放送は傳へてゐる

工業發達の必要力説

【廣東廿日發】重慶政權の工業建設設計畫會議は去る廿日より引續き討議が行はれてゐるが廿八日の會議席上蔣介石は大要左の如き訓辭を行つたが、その訓辭に於て奥地における工業の貧困を遺憾なく表明してゐる
「中國は工業によらなければ建國を

完成することゝ出來ない、その意味においては今回の會議は極めて重要である、過去において工業が發達しなかつたのは工業と政治が連繫を失つてゐたため進歩が遅れたのである、今後は工業と政治の密接なる連繫に意を注がねばならぬ、又各種の工業は過去に於て相互の間に横の連絡がなかつたためその發達を促すことが出来なかつた、今後は相互に密接な連繫を保持し相提携して工業の發達に貢獻せねばならぬ」

各省經濟孤立化に苦慮

【上海十七日發】最近重慶政權治下各省の經濟は孤立化傾向を辿り物資交流が減退し、加ふるに各省の物價對策が極めて區々であるため物價統制に重大困難を來してゐると鑑み重慶政權は去る十日、十一日の二日間、に亘つて桂林に湖南、廣西、江甯、廣東の四省經濟連繫會議を開催、四省間物價調整並に物資交流問題に關し討議した結果次の決議を行つたといはれる
①四省の連絡機關を設置し四省間の物價統制工作の調整に努め、②四省經濟會議は今後三ヶ月に一回定期的に開催する、③各省に物資專管機關を分置し各省間の物資交流調整を行ふ例へば湖南、江西兩省の米と廣西、廣東の食鹽との交流を圓滑に調整す

物價問題紛糾

重慶物價統制違反續出 【廣東六日發】本年一月十五日から實施された重慶の物資統制は違反續出で蔣介石最大の頭痛の種となつてゐるが近着の重慶紙はお蔭元たる重慶市の場合を次の如く報じてゐる「お正月を過ぎてから重慶市の市政は物價抑制の一點張り集中され、各商店の店頭は「擁護限價政策、各貨一律限價」のポスターが氾濫してゐる、住宅街では毎朝限價宣傳の銅鑼が響き、宣傳隊の繰出し講演は毎日のやうに各處で開かれ市民の耳も聒聒が出来る始末である、然し鳴物入りの宣傳にも拘らず違反件数は重慶が全國の筆頭であるのは皮肉の限りでつい最近では七、八種の同業公會が正確に市價を報告しなかつた罪で處罰された、豚肉屋は警官がみてると一斤十四圓の公定價格で賣り警官がなぐなるとすぐ十六圓に値上げする、さうかと思ふと焼餅、油條の一個十錢はたしかにひどい値段で、これは一個一圓でも買手は不平をいはないはずだ、かやうに政府の限價政策もまぢまちだが、石炭、自動車、汽船は限價後却つて價格が引上げられたので業議紛々の有様、これに對して國家總動員會秘書長沈鴻烈は「石炭、自動車、汽船は既に三ヶ月間價格が釘打けになつてをり、これ以上現在の儘据置くと維持出来なくなることから、石炭は一倍餘、バスは五分の二値上げしたのである、限價は全國的に凡ゆる物品種類に實施し、ただ輕重緩急の區別があるだけだ」と辯解にこれ努めてゐる
各省市間物價調整に躍起 【廣東廿二日發】重慶政府は去る一月十五日物價統制法實施以來物價抑制に躍起となつてゐるが、各省間の統制法の混濁を來し、宣傳では成績概ね良好な管が肝心の實狀は極めて不良なので今同各省市重要物品價格聯繫調整辦

法を公布、各省間の総合的物價調整を圖ることとなつた旨重慶放送は傳へてゐる、同辦法の要旨次の通り

○各省間に流通關係ある重要物資の價格は相互連絡の上調整すべし○物價は關係各省間において原價及び決定正利潤を考慮の上合理的及び小賣業者の利潤は政府に於て一定標準を定め、なるべく價格の統一を圖るべし但し利潤の最高標準は行政院に於て決定す○直接生産、消費の關係を有する地方は生産量及び消費量を相互に報告して密接な聯繫を保ち相互に増産或は消費節約を斷行す右は既に實施中であるが廣大な支那奥地各省間の総合的物價調整は事實上至難で重慶政府の焦燥ぶりが窺はれる

物資統制益々強化

江西、陝西兩省專賣制【廣東二日發】重慶來電によれば重慶政權は戰時專賣暫行條例を四月一日より江西、陝西兩省に施行する旨發表した、これにより昨年五月一日以降四川、西康、貴州、雲南、福建、廣東、湖南、甘肅の八省と合せて十省に亘り專賣の專賣が實施されたわけである

密輸品に免稅

桐油管理強化【廣東十六日發】重慶財政部では桐油の管理を強化するため稀歸、雲陽、萬縣、涪陵、彭水、重慶の六地區を第一管理區とし、同地より搬出許可證を發行することになつた旨重慶放送は傳へてゐる、一時は輸出路喪失により桐油インフレに悩んでゐた抗戰重慶が早くも今日その管理強化に乗り出さねばならなくなつた實情は注目し得る

公債消化不振

【廣東十七日發】赤字財政に悩む重慶政權は昨年五月對米借款五億ドルのうち二億ドルを擔保に聯合國戰爭公債を發行、次いで對英五千萬ポンドを擔保に十億元の法幣公債を發行したが、重慶來電によれば戰爭公債は法幣公債の本年三月末までの消化額は四億餘萬元に達したといはれ、その内譯は戰爭公債法幣換算第二億八千餘萬元、消化率の最も良好なのは戰爭公債においては廣東省の二百六十萬米ドル、法幣公債においては福建省の二千三百五十萬元であつた、消化高の合計を發行高に比較すると對英公債において發行高二億ドルに對し消化高僅かに一千六百餘萬ドル、法幣公債において十億元に對し一億二千餘萬元に過ぎない

對米・ソ間に茶の輸出契約

【廣東十四日發】重慶來電によれば重慶と米・ソ間にこの程中國茶の輸出契約が成立し重慶では安徽、福建、江南、浙江の茶二十萬箱を準備済みであるといはれる、輸送経路は對米輸出は印度經由、對ソ輸出は新疆經由で殊に對米輸出は印度までの輸送機不足、太平洋橫斷の不安等から實際輸出量は極めて僅少であると歎じてゐる

統稅品目擴大

【廣東廿日發】重慶政權は沿岸工業地帯の失陥によつて中央稅收の大宗たる統稅の大減收に悩み生産の増強と統稅の財源培養のため新工場設置並に既設工場の奥地移轉を極力促進するとともに統稅品目を擴大して民國廿九年以來新たにサイイ、糖類、茶類にも統稅を賦課し今日に至つたが、重慶來電によればこれによつても毎年膨脹する戰費は到底賄ひきれないので今同竹木、皮毛、陶器紙類についても新統稅を附課することになつた、これに關し財政部長孔祥熙の十九日の發表によると新統稅施行による増收額は年額三億五千萬元で棉花、小麥と同様政府が必要と

認められた場合は實物徵收の方針であるといはれる

新疆を繞り米ソ關係微妙化

【南京五日發】大東亞戰勃發によつて對外交通の殆ど全部を失つた重慶は只管西北の中央化を計るとともに、邊疆開發によつて自力抗戰を企圖する一方、西北ルートを増強、インドルートの擴充に懸命の努力を拂つてゐるが、當地に達した最近の情報を綜合すると、ソ聯領アルマタから伊犁に到り迪化、蘭州成都を経て重慶に達する蜿蜒五千二百キロの所謂西北ルートを通じてなされる米國の援將物資は、毎月平均二百トンに満たず、またカルカッタから鐵道によりテンスキヤを経て空路昆明、重慶に到るインドルートは毎月五百トン乃至六百トンで共に恐るるに當らない

米調查團新疆へ出發

【廣東八日發】重慶來電によればパツシヤン・ベックを中心とする米人農業調査團はこのほど新疆省調査に出發した、重慶支那人筋では僻遠の新疆調査に米人一行が向つたのは米國の中亞に對する野心を示すものと見て注目してゐる

西北油田開發に躍起

【北京十五日發】抗戰に喘ぐ重慶政權は三月下旬インドのカラチ經由によつて飛行機を空輸重慶空軍及び在支米空軍の増強を圖つたが、之に使用する航空機用ガソリンが甚しく窮乏をつけてゐるので最近西北油田の開發、特に甘肅省敦煌、玉門の石油に望みを囁きこれが油田開發に大

童になつてゐると傳へられる、甘肅省の石油年産額は事變前(昭和六年)の調査では七千ガロンに止まり、支那における全産出量の十三パーセントを占めてゐた。新疆各省の探油量が極度に減少したので甘肅油田の開発が大きく取り上げられた。

重慶政權は西北ルートの強化によるソ聯からの援助及び代用燃料の増産に全力を傾注するとともに西北ルートにトルクシブ鐵道その他陸路によるガソリン補給の計畫を立て、また西北地區開發の方法として昨年末甘肅へ測量隊を派遣耕地面積の調査、公路の修築などともに油田の調査を行ひ、本年三月には葉秀峯を團長に西北大學の教授速を中心とする西北科學觀察團を組織、四月下旬蘭州を振出しに主として新疆省では石油及び輕工業の開發を目指して相當数の技術者及び教育關係者を派遣してゐる、重慶の頼みとする甘肅省の玉門油田は當初北坑のみを開發してゐたが、油質があまり良くないので最近では南坑の開發に力を注ぎ、英、米ソの技術者と六千人の労働者を動員して大量生産に拍車をかけてをり、本年二月には米國製の精油機が据えつけられた。また新疆甘肅の省境星々峽經由で石油及びガソリンが第八戰區司令部所在地の蘭州に相當活潑に輸送されつゝあるといはれる。この他四省には泰嶺山脈の南側赤色盆地に東西五百キロ、南北三百キロの鐵脈があり、陝西省榆林附近にも東西幅千三百キロ、長さ五百キロの鐵脈があるが採油資材の不足や油質の不

良から開發不可能で、深刻な航空用ガソリン難を緩和することは困難と見られてゐる、兎も角重慶が空軍を利用しての反攻を企圖し石油の獲得をめざして狂奔してゐることは見逃せないが支那沿岸の完全封鎖やビルマルートの失陥によつて外部からの援助を仰ぐことに困難をおぼえてゐる。現在國內の生産等のみによつて自給自足を行ひ更に作戦的な効果を擧げようとするのは不可能だと見られる。

西北中共關係調査に張羣派遣

【南京十九日發】重慶政權は最近西北地區の中央化工作に積極的努力を

南方諸國

佛印

青木大東亞相來訪

佛印響つて歓迎【サイゴン廿二日發】青木大東亞相の佛印訪問に關し當地各新聞は一齊にハノイにおける佛印の動靜を寫眞入りで詳細に傳へ、當地最大の佛字紙アンペルシアルも歓迎の辭を掲げた、他方當地一般民衆も大東亞關係の政務を司る現職大臣が親しく佛印を視察した今日佛印

續けてゐるが、當地に達した情報によれば成都行營主任張羣は蔣介石の命により去る三月廿七日重慶に起き將と打合せを遂げた後蘭州に飛び、蘭州において第八戰區司令長官朱紹良を始め胡宗甫、傅作義、馬步芳、谷正倫等軍政首腦と會談協議を遂げたが、同會議における主なる議題は○西北軍事計畫の強化○西北建設計畫促進に關する實施計畫○對中共關係の調整にあつたといはれる、尙ほ張羣は會議終了後新疆省主席盛世才等と陝西問題につき協議、一方毛澤東、朱德等中共代表とも國共調整問題並に今後の合作方針につき協議を遂げたといはれる。

分ちたるべきであるとの日本の最高意思の表示として深い感動を受けた大東亞相難民慰問金贈與【ハノイ廿二日發】青木大東亞相のハノイ訪問に際し敵艦の北部佛印爆撃による難民救恤金として一萬ピアストルを佛印總督府に贈つた。

駐泰佛代理公使ドクレー總督と會談

【ハノイ十日發】共榮圈内に於けるタイ佛印關係は昭和十六年の國境紛争解決後、全く平常化し、その親善關係により東亞共榮圈内の有力な一翼となつてゐるが、ガスターアン駐泰佛國代理公使は去る四日ハノイに來着してドクレー總督と會見、同代理公使は兩國關係緊密化を具體化するべきタイ政府の意向をドクレー總督に傳達同時にタイ側の申出による交渉要綱を手交した、今回の會談により先づ一定品種商品の交流を手はじめに兩國間の經濟交易關係に關する商議が開始されるものと期待される。

佛印華僑の對支送金

【廣東十一日發】佛印華僑の對支送金に關しては在佛印日本大使府と佛印當局と折衝の結果、大使府の監督下に中南公司をして斡旋の勞をとらしめ正金銀行經由送金することとなり一人當り五十ピアストルを限り送金募集の結果第一回分儲備券一萬七千四百元は三月初易廣東に到着した、今同右送金限度を全支向一ヶ月廿萬ピアストルに改め、このほど廣東中南公司宛正金經由軍票二萬三千百廿六圓五十錢の送金があつた、内

青木大東亞相泰國へ寄附

【バンコック廿五日發】青木大東亞相は今回の訪泰に當り空襲罹災者救恤金として二萬ベイツ、タイ赤十字社へ二萬ベイツ、國防省管轄各病院へ三萬ベイツの寄附を行つた。

衣服材料賣買許可制

【バンコック廿二日發】タイ國政府は

日本語教授綱要

【サイゴン五日發】佛印政廳では昨

年三月總督令を以て佛印における學校教育に日本語を正課として採用する旨發表し、既にサイゴン、ハノイの一部中學校では日本語教育を日本人講師の手によつて實施して居るが從來その教授綱要、時間割などの決定は地方長官に一任してあつたのを改めて今總督令を以て「日本語教授綱要」を公布した。

日本文化會館設立日佛印了解成立

【ハノイ廿七日發】左佛印日本文化會館長に決定した横山大使府顧問は廿四日ドクレー總督を訪問、日本文化會館設立に關する正式の申入れが、廿七日ボツサンジェ外交部長は大使府栗山事務總長に同會館の設置に協力すべき旨の回答を寄せてきたので、ここに日本文化會館設立に關し日佛印間の了解は全く成立を見た。

大東亞相に勳章贈與

【バンコック廿二日發】タイ國政府は訪泰中の青木大東亞相に對し日泰協力親善増進の功績に對し廿二日午後二時四十五分首相官邸においてビ

タイ

【バンコック廿二日發】タイ國政府は

佛印華僑の對支送金

【廣東十一日發】佛印華僑の對支送金に關しては在佛印日本大使府と佛印當局と折衝の結果、大使府の監督下に中南公司をして斡旋の勞をとらしめ正金銀行經由送金することとなり一人當り五十ピアストルを限り送金募集の結果第一回分儲備券一萬七千四百元は三月初易廣東に到着した、今同右送金限度を全支向一ヶ月廿萬ピアストルに改め、このほど廣東中南公司宛正金經由軍票二萬三千百廿六圓五十錢の送金があつた、内

青木大東亞相泰國へ寄附

【バンコック廿五日發】青木大東亞相は今回の訪泰に當り空襲罹災者救恤金として二萬ベイツ、タイ赤十字社へ二萬ベイツ、國防省管轄各病院へ三萬ベイツの寄附を行つた。

衣服材料賣買許可制

【バンコック廿二日發】タイ國政府は

衣服材料統制のため、ききに未晒綿布、金巾、ドリルの三種につき最高價格の設定、在荷申告等の手段を講じたが二日さらに物資統制委員の名を以て左の如く賣買許可制を採用する旨發表した

○右三種類の綿布販賣をなす者は四月一日より十五日までに在任縣當局に届出で販賣許可證を受くること
○上述の綿布を購入せんとする者は現在マツチ、砂糖、燈火用石油購買に當てられてゐる割當切符を在任縣當局に提出その許可を受くること

軍法令を發布

【バンコック二日發】タイ國軍最高司令部は三月三十日軍法令の改正を發布、戰時において戒嚴令施行地域に居住するものは全部軍人と見做して軍法令を適用するものとなり、戒嚴令下における軍權の範圍を擴大することとなつたが、一日更に醫療、藥品などの重要物資の買占め、暴利取得及び毀損を嚴禁する軍法令を公布、かゝる行爲をなすものに對してはタイ國軍事行動を妨害するものと見て銃殺に處することとなつた

海軍部長兼職を解く

【バンコック五日發】泰國政府は三月卅日付を以て泰國海軍部長兼軍令部長兼艦隊司令長官バンナワウイチット少將の兼職を免じ海軍部長に専任せしめる旨四日夜のラヂオで發表した

佛印泰國境線大動脈路開通

【サイゴン十日發】佛印の未開發の秘境ラオスと交趾支那平野とを結ぶ佛印、タイ新國境線メコン河に沿ふ

全長千六百キロの植民地第十三號路は近年佛印當局のラオス開發の熱意を反映してその建設は大いに促進されて來たがこの程右道路中工事未完全のタケク、バクサ路の百廿五キロに亘る建設工事が終了したので九日ドクトル總督以下關係者一同現地バクサヌに赴き同地關係者出席、盛大な開通式を行つた、本十三號路は廣西國境からタイ國境に至るマンタリ

昭南回教徒大會

【昭南五日發】マライ、スマトラ三千萬回教徒は大東亞戰爭遂への協力に一段と積極化すべく五、六の兩日に亘り昭南で回教徒代表者大會を舉行、アジアの建設をめざす宣言文を議決した

昭南送金區域擴大

【昭南十二日發】昭南軍政監部では去る三月十五日より占領地相互間の民間交易を促進するためマライ、スマトラよりピルマ、ジャワ、北ボルネオ向けに對する爲替送金を許可しこれに伴ふ爲替管理規則を制定實施して來たが、今回更にこれが送金區域範圍を擴張、比島向け送金をも許可することになりこの旨十二日發表した、なほ右送金許可は四月一日に遡及これを實施することになつてゐる

駐日商務官任命

【バンコック十四日發】タイ國政府は十三日モンチャオ・プラスプスタ・スクサワット氏は駐日大使館の商務官兼財務官に任命された旨發表した

人事異動

【バンコック十五日發】チャム・アトック・テワデ空軍少將は攝政府に無任所大臣の辭表を提出中であつたが、十四日附を以てこれを許可された、本職たる空軍最高指揮官の職に専念するためである



ペラワン港復舊記念式

【メダン二日發】メダン外港として北部スマトラ唯一の良港ペラワン港の復舊工事は昨年四月中旬着工以來鋭意工事を急いだ結果この程全く完了したので、二日盛大な復舊記念式を舉行了した

本年度豫算承認

【昭南十三日發】マライ、スマトラの財政は本年度より年間豫算として本格的體制を整へるに至つたが、右豫算案は曩に中央に報告、これが認めを申請中のところ程大體承認を得るに至つたので愈々本四月より實行されることになつた、右豫算編成の重點は、○軍の現地自活○國防資源の確保並に内地還送の増進○治安の確保(警察力の増強)○軍事上並に軍政上の必要に基く土木、交通通信の復舊○産業の復舊振興、就中食糧の増産自給等の諸點におかれ、その一般會計豫算總額は○億○千萬圓と前年度豫算總計に比し尨大な膨脹を示し建設の進捗ぶりを如實に物語つてゐる、即ちその歳出における主要項目には海軍費、産業費、土木費、軍事費、支部への補給金、同支部異動を行ひ二十日左の如く發令した

【昭南二十日發】昭南軍政監部では

命ベンクルン州長官 川村 直岡
命ベンクルン州長官 猪俣 二郎
命ベンクルン州長官 伊丹 政吉
命ベンナン州長官 片山省太郎
命セランゴール州長官 砂川 泰
命ジョホール州長官 藤澤喜久郎
命ケランタン州長官 久保田 峻
命ペラー州長官

語つてゐる、即ちその歳出における主要項目には海軍費、産業費、土木費、軍事費、支部への補給金、同支部異動を行ひ二十日左の如く發令した

新切手發賣

【昭南廿日發】昭南郵政總局では新關稅收入にも比すべき重要財源をなすものである、尙現地自活完遂の見地から健全財政樹立の要請は愈々強くと、現地財務當局では財源確保のため種々検討中であるが、その一つとしてマライにおける所得稅の徴收が具體的な問題として採り上げられてゐる、即ちこの所得稅はマライにおいて課稅がなくスマトラでは所得稅の免稅點は九百ギルターで、それ以内の所得に對しては小額所得稅、或は給料稅として所得の一部が徴收されてゐるので、マライにおいても大體右に準じ課稅されることになるものとみられる

昭南醫大開校式

【昭南二十七日發】現住民醫療の完壁を期して成立準備中の昭南醫科大學は二十七日昭南市モルメン路博愛病院内の同大學假校舎で開校式を舉行、直に現地人醫療技術者の養成に發足した、新入學生に就ては特に一般から募集せずマライ、スマトラ各州長官の推薦した給費生百十名を

地方長官異動

一年級に、舊エドワード七世醫科大學の二、三年在學生を試験して廿七名を選び二年級に編入したが、新學生の内譯はインドネシア四十三名を筆頭にマライ人三十名、インド人廿九名、支那人廿六名、ユーラシアン四名、ミナカボー三名、アチエ二名の順に至つてゐる

昭南インド人團體皇軍に 獻金

【昭南二十九日發】昭南インド人金融業者を以て組織されてゐる昭南のチエチャ團體では、皇軍傷病兵慰問のため十萬ドルを獻金することに決定、近く正式に獻金式を舉行、大日本赤十字社宛送金することになつた

印度、濠洲向放送開始

【昭南卅日發】五月一日より愈々昭南で對インド、對濠洲向けラジオ放送が開始される、昭南放送管理局發表によれば番組は音楽及びニュースを主とし、對インド向けには英語、ヒンドスタニー語、タミール語、パシヤブ語等を用ひインド獨立聯盟が主として番組編成に當る



青木大東亞相寄附

【ラングーン二十六日發】青木大東亞相は暴虐英軍の首爆によるビルマ人罹災者見舞金として二十六日金一萬圓をビルマ行政府に寄贈した

バー七長官訪日感想

【ラングーン十四日發】訪日の旅から十四日ラングーンに歸還したバーモ行政長官は同日記者團と會見、次の如き一問一答を行つた

問 戦時下の日本の印象如何
答 長期戦下物心両面に亘り國民の總力を結集、戦備を整へてゐる日本の姿は眞に力強い、殊に軍需工業の卓越性、大規模な生産機能には只驚くばかりであつた、また街頭を歩いてゐる青年層の意外に多いのを目撃した、これはこの大戦争を遂行してゐる日本がまだ人的にも餘裕があるのだと非常に心強く感じた

問 日本の田舎を如何に思つたか
答 下志津へ行く途中でも見た岡崎の私立農場も見學した、純朴な日本農民の姿は眞に心強い、
問 特にビルマが日本の如くありたいと思ふのは何か
答 日本各地を歩いて一番強く感じたことは國民の組織が完全であるといふことと、責任觀念の強いといふ點である、これはビルマが今後斯くあるべく進まねばならぬことである

【ラングーン十七日發】四月十七日はビルマの新年に當りこの日を壽ぐためビルマに於ける唯一の政黨なるドバマ・シンエサ聯盟は十七日午前九時半よりラングーン市ローウル＝ハン廣場で新年總會を開催黨員約二千名出席本年度に於ける同黨活動の諸方針を決定した

【ラングーン二十七日發】昨年八月放送開始以來對内外思想宣傳工作に活躍を續けてきた前ビルマXYZ放

送局は、敵國の思想宣傳謀略を完全に粉砕すべく、豫てより強力短波の送信機の設置を準備中のところこの程放送施設の完成を見るに至つたので、愈よ四月二十九日より番組内容及び放送時刻を刷新擴充、強力電波を以てニューデリー其他の敵國放送に斷然挑戦を開始することとなつた

【ラングーン二十七日發】昨年八月放送開始以來對内外思想宣傳工作に活躍を續けてきた前ビルマXYZ放

對外放送擴充

【ラングーン二十七日發】昨年八月放送開始以來對内外思想宣傳工作に活躍を續けてきた前ビルマXYZ放

今日對敵放送は特に對インド放送に重點が置かれてゐるがこのため從來のインド向けニュース、時事解説等二時間を一躍七時間二十分に増加し、朝晝夜一般のほか特に家庭向の時間を選び、原住民の實生活に即應し聴取容易の時間を設定また用語も從來使用してゐた英語、ヒンドスタニー、ベンガリー、タミールの四用語のほかゲジュエラライ、パンジヤビー、アシト、アツサム、ゲルカ、スナガリ、マヤラム、テルクマラテイの九種を加へて十三用語として全インド民衆に向つて放送電波が向けられることとなつた、今回の放送機能擴充によつて電波は遠く中央アジアにも及ぶわけで、わが對外放送陣は更に一大威力を加へるものと見られる

東印度

【ジャカルタ二十日發】新生ジャワの建設の躍進に伴ひ、原住民青少年の日本留學の希望が非常に多いので、軍政當局では其熱望に應へる日本留學制度を實施することになり

【ジャカルタ二十日發】新ジャワ建設の支柱である財政の確立については占領後數ヶ月間の基礎工作時代に對應する月別豫算施行期を経て昨年十月には早くも徵稅機構の整備充實と相俟つて收支の見透しを得るに至つたので直ちに半期豫算を編成施行して來たが、本年四月の新會計年度からは日本の會計年度に對應して年度豫算を組むこととなつた

【ジャカルタ二十日發】新生ジャワの建設の躍進に伴ひ、原住民青少年の日本留學の希望が非常に多いので、軍政當局では其熱望に應へる日本留學制度を實施することになり

【ジャカルタ二十日發】新生ジャワの建設の躍進に伴ひ、原住民青少年の日本留學の希望が非常に多いので、軍政當局では其熱望に應へる日本留學制度を實施することになり

原住民日本留學制 度實施

【ジャカルタ二十日發】新生ジャワの建設の躍進に伴ひ、原住民青少年の日本留學の希望が非常に多いので、軍政當局では其熱望に應へる日本留學制度を實施することになり

【ジャカルタ二十日發】新ジャワ建設の支柱である財政の確立については占領後數ヶ月間の基礎工作時代に對應する月別豫算施行期を経て昨年十月には早くも徵稅機構の整備充實と相俟つて收支の見透しを得るに至つたので直ちに半期豫算を編成施行して來たが、本年四月の新會計年度からは日本の會計年度に對應して年度豫算を組むこととなつた

新年度豫算編成

【ジャカルタ二十日發】新ジャワ建設の支柱である財政の確立については占領後數ヶ月間の基礎工作時代に對應する月別豫算施行期を経て昨年十月には早くも徵稅機構の整備充實と相俟つて收支の見透しを得るに至つたので直ちに半期豫算を編成施行して來たが、本年四月の新會計年度からは日本の會計年度に對應して年度豫算を組むこととなつた

【ジャカルタ二十日發】新ジャワ建設の支柱である財政の確立については占領後數ヶ月間の基礎工作時代に對應する月別豫算施行期を経て昨年十月には早くも徵稅機構の整備充實と相俟つて收支の見透しを得るに至つたので直ちに半期豫算を編成施行して來たが、本年四月の新會計年度からは日本の會計年度に對應して年度豫算を組むこととなつた

【ジャカルタ二十日發】新ジャワ建設の支柱である財政の確立については占領後數ヶ月間の基礎工作時代に對應する月別豫算施行期を経て昨年十月には早くも徵稅機構の整備充實と相俟つて收支の見透しを得るに至つたので直ちに半期豫算を編成施行して來たが、本年四月の新會計年度からは日本の會計年度に對應して年度豫算を組むこととなつた

【ジャカルタ二十日發】新ジャワ建設の支柱である財政の確立については占領後數ヶ月間の基礎工作時代に對應する月別豫算施行期を経て昨年十月には早くも徵稅機構の整備充實と相俟つて收支の見透しを得るに至つたので直ちに半期豫算を編成施行して來たが、本年四月の新會計年度からは日本の會計年度に對應して年度豫算を組むこととなつた

齒刷牙工場操業開始

【バンドン十六日發】ジャワ島の齒刷牙工業は華人經營の極めて小規模なもののみで、島内のストックは漸次減少しつゝあるので軍政監部産業部では島内自給を確保するため日本技術の導入を圖ると共にバンドン西方チマヒに〇〇坪の齒刷牙工場を建設中であつたがこの程附屬機械及び一切の据付を完了、十六日官民多數列席の下に盛大な操業式を行つた

【バンドン二十日發】軍政下新ジャワ建設に積極的協力を示すべく去る二月廿七日結成されたバンドン華僑總會では本年四月廿九日天長の佳節を期して日本軍中に獻金するため四月十五日より獻金運動を展開したところ、廿二日現在早くも五萬二千六百圓の驚くべき應募ぶりを示し廿五日

【バンドン二十日發】軍政下新ジャワ建設に積極的協力を示すべく去る二月廿七日結成されたバンドン華僑總會では本年四月廿九日天長の佳節を期して日本軍中に獻金するため四月十五日より獻金運動を展開したところ、廿二日現在早くも五萬二千六百圓の驚くべき應募ぶりを示し廿五日

バンドン華僑獻金運動

【バンドン二十日發】軍政下新ジャワ建設に積極的協力を示すべく去る二月廿七日結成されたバンドン華僑總會では本年四月廿九日天長の佳節を期して日本軍中に獻金するため四月十五日より獻金運動を展開したところ、廿二日現在早くも五萬二千六百圓の驚くべき應募ぶりを示し廿五日

の締切までには六萬圓を超える事は確實となつた

警防團組織

【ジャカルタ廿二日發】ジャワ島内の治安を確保し、戦争下防諜及び敵側謀略を完封するため、軍政監部では豫てより島内警察の補助機關として警防團を組織すべく準備中であつたが、この程路費の準備成り、

天長節の佳節までには設立を完了する事となつた警防團の組織は村落地域においてフク(内地の村の如きもの)市においては小區(内地の町の如きもの)を單位として作られ、その下のカンボン(内地の字に相當する)に班を設ける團員は二十歳から三十五歳までの区内の男子に限られ、一區内の團員は五十名から百五十名である、警防團の運営については警官の補助といふ建前から一切警察署長又は警察分署長の指揮監督を受けることになつてをり、これにより島内警察力は非常な強味を加へたわけである

ジャワ青年團組織

【ジャカルタ二十一日發】軍政監部では二十一日ジャワの青年團組織につき發表、來る二十九日迄に成立を完了する旨言明した、この青年團の地域的編成單位は縣及び市となつてをり、團員は十四歳から二十五歳迄の原住民男子である、團長には縣長及び市長が就任し、郡及び村落には分團を作り、上部組織としては各州及び侯地に聯合青年團を、更にその最高機構としてはジャワ聯合青年團が組織される、ジャワ聯合青年團長には軍政監、副團長には總務部長並

びに内務部長がそれぞれ就任、各州及び侯地の聯合青年團長には州長官、侯地事務局長官が就任するその他従業員五百名位の工場、事業所にもこの青年團を組織することが許されてをり、全島の縣、市の青年團は約九十九團體、工場、事業所青年團三、四十團體である

新郵便切手發賣

【ジャカルタ廿七日發】天長の佳節を期してジャワに三錢五厘と十錢の新しい郵便切手が發賣される

司法官吏養成所開設

【ジャカルタ二十五日發】軍政監部司令部では原住民司法官吏の養成、登用を促進するため今回天長の佳節教育を実施するとともに現職員の再教育として司法官吏養成所を開設することとなり、廿九日司法部廳舎において第一回所員入所式を舉行した、入所資格は高等中學卒業以上で志望者は五百五十名の多きに達したが、嚴格な入所試験の結果今回は第一部所員として五十名を採用、一ケ年の修業期間中日本人審判官並に檢察官から新しい教育を受けた後司法官として各法院に配属される、なほ同養成所は第一部(審判官並に檢察官の養成)第二部(法院書記の養成)第三部(現職員の再教育)と三部制を採用、來る五月三日に開校式を舉行する

原住民受刑者に恩典

【ジャカルタ廿八日發】軍政監部では天長節の佳節を迎へるに當り、昨年四月廿九日以降引續き有期懲役又は輕懲役の刑に處せられ現に受刑中

の原住民に對し、大日本軍司令官の名に於て減刑又は釋放を実施することとなり、この旨廿九日行軍司令官告示第一號を以て告示した

女子中等學校開設

【ジャカルタ廿八日發】軍政監部では新學期に際して原住民子弟の再教育とこれに伴ふ各種學校の擴充に努力を拂つてゐるが、今度新に女子中等學校を開設することとなり、差當りジャカルタ、スマラバヤ、マランドの六都市に開設を決定、ジャカルタでは既に今月初めより開校してゐるが、その他も近く開校の豫定である

地方制度改正

【ジャカルタ二十八日發】軍政監部では昨年八月地方行政制度の第一回改革を斷行、省制度を廢して全島を十七州二侯地に再編成し、地方行政の整備確立に乘出したが、その後新ジャワ建設の遅しき進展に即應し更に下部組織たる地方自治團體の強化充實を圖ることが刻下の急務となつて來たので今般縣(舊名レヘンカッパ)及び市(舊名スタツ(メイエンテ)の制度を改新しその自治權限を一層強化することとなり、二十九日「縣市暫行令」並びに「縣市條例に關する件」を制定公布即日施行することとなつた、即ち戦前の縣市に關する法令は軍政施行直後布告第一號により軍政の趣旨に反せざる限りその踏襲を認められたのであるがこれら地方自治團體は舊蘭印政廳の政策より自由主義的地方分權思想或は民主主義的議會思想に染まり、行政機構の點でも複雑を極め、しかも事務運営に當つて

は形式に流れてゐた傾向が多分にあつた、このため當局ではこれが根本的是正と、簡素敏速なる行政事務の運営を期し、縣市を指導して來たが、今や縣長市長は軍政の眞義を認識し軍政に對し全幅的協力を捧げるに至つてゐるので、ここに縣市暫行令を施行し、縣市の性格を明瞭にすると共に縣長及び市長の現行事務を法規を以て承認し、地方長官の監督下に縣市の代表者たるべくその地位を定めたるものである、縣市條令については縣市税の賦課徵收方法、縣市財産及び營造物の管理、吏員の俸給等が縣長がこれを定め、州長官の許可を得ることとなり

又條令違反による罰則についても從來の輕罰主義を排し、行政罰たる縣罰、市罰を創設して罰則の合理化を圖つた、その他條令の公布は縣市の實情に即應する制度をとり、中央、地方の行政の圓滑化を圖つたが、全島六十七縣、十八市に對して必要な自治立法權を認め、縣市の自治活動に活潑な原動力を與へたことはジャワ統治の上に極めて大きな意義がある

ジャカルタ醫大開校

【ジャカルタ三十日發】ジャカルタ醫科大學は二十九日意義深い天長の佳節を迎へて開校された

オネルボ

【クシチン七日發】軍政部ではさきに原住民船員の養成に着手し、普通船員は既に海事局クシチン海員養成所に於て短期教育中で

あるが、今回更に高級船員を養成することになつた、マライ人、華僑の中から身體強健にして海上に活躍し得る者を募集し甲板、機關兩部に分ち、四月中旬から六ヶ月間高級船員として講習の上木造船又は沿岸航路の船舶に配屬せしめるものである

西ボルネオ土侯日本完勝祈願

【マカッサル十四日發】西ボルネオ裁定一周年記念日の去る一月二十九日、西ボルネオ地方の全土侯十二名が現地當局を訪ね、原住民が皇軍治下にあつて大東亞共榮圈建設の希望に燃えつゝこの日、この時を感激の裡に過し得る喜びを表明、土侯の名において大日本帝國へ心からの忠誠を誓ふとともに、帝國の完勝を神に祈つた賛辭を當局宛提出したことが約三ヶ月後の四月十四日はじめて明かにされた

バリックパン

【マカッサル一日發】南方各地の電信網は着々整備されつゝあるが、バリックパンに於ては一般公衆電報の取扱ひを開始し一日より同地と南方古領各地域並びに内地、滿洲、支那、香港等との間に通信が開始された

既設工場を整備活用

【マカッサル六日發】現地當局では現地工業化促進のため工場新設と並行する既存工場整備活用を目的として五日既存工場整備活用要綱を發表即日實施した、現地の工業化については戦争遂行に必要な重要資源の

高級船員養成

【クシチン七日發】軍政部ではさきに原住民船員の養成に着手し、普通船員は既に海事局クシチン海員養成所に於て短期教育中で

開設と現地における自給自足態勢確立を主眼として工場の新設を急ぐとともに既存工場の整備復活をはかるともになつてゐるが、既存工場の中には戦火によつて破壊休止または閉鎖したものが少なくこれら工場の整備復舊には相當慎重な考慮と施策を必要とするので現地當局では今回これが整備運用方針を明示し現地工業化に一段と拍車をかけることとなつた、要綱は次の如くである

一、對象の緊急國防資源の獲得及びこれが開設に必要な造船工場及木造船工場及び自動車修理工場並びにこれが原材料生産工場⑩現地特産物の加工並びに生活必需品の生産工場⑪一般住民生活の安定その他の見地より必要な工場
二、基本調査 各工場の名稱、所在地、戦前、現在の經營者、従業員、原料料月間使用量、生産月間実績、その他破壊状況、復舊用資材使用量、復舊資材及び原材料の入手見込、運轉及び復舊資金使用金額並びに入手見込、技術者及び勞務者要員數並びに充足見込等を根本的に調査する
三、整備復舊 右基本調査の結果に基づき即時整備復舊に着手するが、これが出資に當つては「對象の項」の順により重點的に行ふこととし同一順位の工場にあつては破壊程度に應じ以下の順とす④完全工場戦火により破壊されざる工場にして戦前に比し能率の低下せるもの、または増産可能のもの⑤戦火により破壊された工場にして復舊可能なもの⑥整理工場同種工場にして破壊程度等しく而も資材等の關係より同時に復舊困難なるもの、また戦争のため資材入手、

製品輸送等困難にして事業の續行困難なるもの
四、管理經營 敵産工場 敵産工場にしてまだ押收せざるものについて至急所定の手續によるものを押收し既に押收したるものにと軍直營を必要とするものを除き可及的最大限度にこれが移管を受くるやう措置する、敵産工場にして既に移管を受けたるものについては特に民政部に委託し復舊修理を要するものについては早急にこれを實施せしめて全能力の發揮をはかる⑩非敵産工場 敵産工場以外の工場については、經營者の經歷能力、資力並びにこれが実績を検討し業績不振、復舊滯滞のものについては極力能率増進整備復舊の促進を圖る、前項の措置に拘らず、なほ所期の成果を収めず且本要領の趣旨に即應し難いと認められるものについては他の實力あるもの（邦人を含む）に對し移轉委託またはこれが参加を求め

蠟燭工業を振興

【マカツサル六日發】最近原住民の間に照明用燈油の入手困難な實情に鑑み、現地當局では四月六日蠟燭工業振興計畫要綱を發表すると共に同日付でマカツサル蠟燭工場を開き兩地域原住民に豊富な蠟を供給し原住民の生活に光明を與へることとなつた、種類は冠婚葬祭用並びに燈火用の二種で後者に重點を置き値段は戦前より三、四割方安い、なほ製品の配給には蠟燭工業組合を結成し地域別に配給の圓滑をはかる

マカツサル農學校開設

【マカツサル十一日發】現地當局では農業技術向上の根本的對策の一としてマカツサルをはじめセレベス各地に農業學校を開設すべく着々準備中であるが、農産科百六十八名、畜産科三十名計百九十八名の志願者を銜の上、五月上旬末にはマカツサル農學校を開設して原住民に農を尊び土を愛する日本精神を體得せしめ原住民農業指導者の養成に邁進することとなつた

キリスト教徒新活動を發足

【マカツサル十七日發】過去三世紀の間米英間の政策の具に供されて來た東印度のキリスト教徒は今大東亞戰爭を契機に本來の自覺を取り戻しつゝあるがセレベス島のキリスト教會及びその諸團體は今回「セレベスキリスト教團聯合會」を結成去る九月末現地當局の認可を受け新たな理念の下に力強く發足した、聯合會はローマ・カトリック協會、インドネシア、プロテスタント協會、ペンテコスタハメメント協會、トラジャ協會等十數派を統合し二千餘りの教會を傘下におさめ本部をマカツサルに、支部をメナド、ボソ等四ヶ所に設置し教團所属社會事業の指導助成同じく施設の經營、教團従事者の鎮成等を通じ希望に燃える全セレベスのキリスト教徒の指導に當つてゐる、既に社會事業は着々と進行し病院、養老院、失業救済施設の擴充と新設、女子同志會圖書館の設置等が行はれた

地方行政軌道に乗る

【マカツサル廿七日發】現地當局ではさきに地方行政機構整備のため、州、縣、分縣制を設置し民政渗透の基礎を確立、これに伴ふ州知事廳、縣及び分縣理事官事務所の設置を急いでゐるが、三月下旬から四月上旬にかけて既に四州知事廳が開設されまた縣監理事務所もそれぞれ三ヶ所正式に設置され殘餘の地方も目下着々開設準備中である

郵政機構完備

【マカツサル廿八日發】海軍々政地域における通信網の擴充整備は、電報、電話、郵便業務の全般に亘り着々と進められてゐるが、南部セレベス郵便局は、廿六日開設されたマママムジュ、エンレカンの三局を最後に豫定通り二十五局（戦前より一局増加）の設置を終り郵便機構は一應完備するに至つた

多數工場操業開始

【マカツサル廿九日發】セレベスの經濟開發は自給自足體制確立を目指して着々進行してゐるが、廿九日の天長の佳節を記念してセメント、燐寸、冷凍三工場の地鎮祭、榨油、石ケチャ工場の上棟式、代用帆布、ソーサ、人）が佛桑華の髪飾りに弓矢をたづさへて盛装をこらして皇恩に浴したのであつた、ついで佐藤侍從武官は民政府總監同乗の自動車で民政府宿舎、製材所、病院などを巡視、更に

に對し生活必需品たる燈油と石鹼を特配した

鹽田建設具體化

【マカツサル卅日發】現地當局では過般來セレベスで鹽の増産を圖るべく適地の選定を急いでゐるが、この程南部セレベスの〇〇及び〇〇における一大鹽田建設計畫が急速に具體化し天長の佳節を卜して盛大な起工式を舉げた、右のうち〇〇鹽田は戦前極めて小規模の製鹽が行はれてゐたのを今回純日本式の製法に改めるもので他の〇〇鹽田は全然新規に作られるものである

佐藤侍從武官ニギニア視察

【ニギニア〇〇にて廿二日發】ニギニアニギニア民政政府現況視察のために御差遣せられた佐藤侍從武官は、一日午前十一時五十分〇〇に飛來、直ちに現地海軍〇〇隊並にニギニア民政政府を歴訪、次いで國民政府總監ら幹部の先導で現地開發實情を巡視した、佐藤侍從武官はまづ現地海軍〇〇隊を巡視、ついで民政府廳舎前で民政府職員を實視、ニギニア開發に灼熱の蠻地に挺身する人々の感激の瞳を輝かしたのであつたが、民政府職員とともに堵列して侍從武官を歓迎したインドネシア人の純白の背廣服の後方には、この日特に光榮を分たれた原住民アルファック族（パプア人）が佛桑華の髪飾りに弓矢をたづさへて盛装をこらして皇恩に浴したのであつた、ついで佐藤侍從武官は民政府總監同乗の自動車で民政府宿舎、製材所、病院などを巡視、更に

支那向送金再開

【マカツサル廿二日發】南方各占領地在住華僑の本國送金再開の現状（本誌前月所報）に即應して海軍民政區管下の諸地域でもいよいよ五月一

沿道堵列の原住民の敬禮裡に民政府の農場に到着、バブア人の農耕作業を賞賦ついで密林を拓伐する伐木場に赴いてたが折から伐倒された巨木の轟音はトラクターの響きをかき消し作業中の邦人等の感激もひとしほ深かつた

比島

北部ルソン新鐵路線起工式

一般

【マニラ六日發】比島内の鐵道網は去月廿一日のレガスピ線その他二線の開通で、ルソン島は戦前の九十七パーセントの復舊をみるに至つたが、軍政監部では今回更に北部幹線の終點たるサンフェルナン(ラ・ウニオン州)より同州のスピベンに至る新線約四十キロを起工することに、去る三日起工式が盛大に催された、今回の新線は主としてマンカヤン銅山の鐵石輸送に使用される筈である

巡警局長にフランシスコ少將

【マニラ十一日發】十一日バタアン陥落記念日に際し比島警隊の強化を圖るためヴァルガス長官は比島巡警局長に前米比軍フランシスコ少將を任命した

郵便局再開二百卅八

【マニラ十三日發】比島内の郵便局は二月末までに既に二百十七の再開を見てゐたが比島通信局では更に二

月末以降三月廿七日までにルソン島内廿一局が再開した旨今十三日發表した、これで比島内の再開郵便局数は合計二百卅八に達したわけである、これらの郵便局は、いづれも普通郵便、郵便貯金、郵便爲替の取扱を行ふものである

通信網擴充

【マニラ十九日發】比島各地における通信網擴充の進歩振り目覺しほものがあるが、レイテ島でもこのほど整備を終り、二十日から同島タクロパンに通信局を開設、一般電信を取扱ふこととなつた

【マニラ廿三日發】比島派遣軍電政局では廿五日より北部ルソンのイサベラ州のイラガン及びカガヤン州のツゲガラの二通信局を再開、一般電報取扱を開始する旨發表した、この二局の開設により比島の既設通信局数は合計四十八に達する

カリバビ團員既に五十五萬

【マニラ十三日發】昨年十二月八日米英撃滅詔勅換發一周年記念日を期して結成された新比島奉仕團(カリバビ)はアキノ副總裁以下關係者の努力でその後健全な歩みをつづけてゐるが、その第一着手としての團員募集運動の結果、三月末現在では加入團員五十五萬に達し、新比島建設に對する民衆の熱意を如實に反映してゐる、この團員数の最も多いのはアキノ氏出身地のタルラックでその數八萬九千、これに次いでマニラ市が八萬八千にのぼつてゐる

カリバビ結成民衆大會

【セブ二十九日發】パナイ島セブ州市におけるカリバビ結成民衆大會はビサヤ地區地

方長官會議に引續き二十八日午後三時から州廳前廣場にて開催、カリバビ、セブ州市支部長にはデルガド知事サモラ・セブ市長が夫々決定した

行政府に公益局

【マニラ十五日發】比島行政府では從來土木交通部内にあつた交通局、公共事業局の二局を廢し、新に公益局の機能を統合の上更に能率の増進をはかることとなり十五日より開局した

マニラ市隣組結成大會

【マニラ十八日發】新生比島建設に相應しいマニラ市隣組結成大會は十八日ルネタ公園に開催、マニラ市内各隣組長三萬が參集、比島行政府各部長官、軍政監部代表も列席、三萬の隣組長は軍政協力の誓をなし盛會裡に閉會した

「治安の日」を制定

【マニラ廿二日發】來る五月七日はコレヒドール島陥落の記念すべき一周年記念日に當るが、比島行政府ではこの日を以て比島更生の記念日として祝するため「特に五月七日を「治安の日」と定めて比島年中行事の一とするに決定、布告を發した

ビサヤ地方長官會議

【セブ二十七日發】ビサヤ地區地方長官會議は二十六日午前九時より軍政監臨席のもとにセブにおいて開催、牛島ビサヤ軍政支部長、行政府ラウレル内務部長官以下各州知事出席し、新比島建設の現段階に即應する軍政の地方浸透の方策及びカリバビ運動

の強化に關し眞摯な協議を行つた、なほ會議は二十八日まで三日間繼續される、同會議席上軍政監は訓示を行ひ、特に同地方に残存する不逞分子に對しての覺醒を促すと同時に、投降者に對してはその生命を保障し、宣誓せしめたる上、即時歸郷を許すといふ寛大なる措置を探る旨を闡明注目を惹いた

軍罰減免令

【マニラ廿八日發】比島派遣軍では天長の佳節に際し軍律によつて處罰された比島人及び華僑等に對し軍罰減免令を發する旨廿八日發表した、紀元節の第一回減免令に引續き今回のこの恩典に浴するものは百五十五名で、即日釋放される者七十九名、減刑されるもの七十六名であるが、釋放者の中には元ババガ州知事ラサエ・ヤンバオ、米比軍聯隊長マニユエル・グア及び元比島華僑抗敵委員會主席楊景泰などが含まれてゐる

南發比島支金庫發

【マニラ一日發】過般の第八十一議會で決定した如くいよいよ一日より南方開發金庫は發行權を持つに至り、比島支金庫は本日より發券課が設置された、今後發行の新紙幣は從來のペソ軍票と全く同じものであるが、今後は南發金庫券として取扱はれることになつた

不動産投機防止令公布

【マニラ三日發】比島軍政監部では二日午後政令第六號を以つて不動産投機防止令を公布、第三國人に對する不動産賣却を禁止、同時に當局談

を以て比島人及び比島邦人以外の者が土地、建物を買ひ取り然も住宅に使用する目的ではなく、戦時下の異狀事態で儲けた資金を不動産に投資し更に不當利潤を獲得せんとする傾向に對し警告を發した

比島物價對策委員會設置

【マニラ五日發】比島軍政監部では島内物價對策の重要性に鑑み、今回軍政監部各部及び憲兵隊、軍經理部等を網羅した比島物價對策委員會を設置することに決定した、同委員會は軍政監の直屬機關として島内物價對策の綜合的企畫立案を行ふ筈で、從來物價對策は主として産業部が中心となつて實行して來たが、今後はこの委員會により重要方針が決定されるので關係各部の連絡は密となり、綜合的物價對策が効果的に推進されるものと期待されてゐる

臺銀、正金を比島の爲替銀行に指定

【マニラ七日發】比島軍政監部では六日南方占領地爲替管理規則第九條により比島内の爲替取扱銀行として臺灣銀行及び正金銀行の各マニラ支店を指定し爲替事務開始を許可した、南方開拓金庫は既に爲替銀行たることを指定されてゐるため新たな許可を必要としない

金融網着々整備

【マニラ十日發】比島内の金融網擴充工作は最近の軍政支部の活動活性化せる一方ビサヤ地區の特殊通貨工作の必要上着々と整備をみてゐるが四月一日よりパナイ島のイロイロ市に臺灣銀行出張所が設立され、同時

に比島國立銀行でもイロイロ市及び
ネグロス島のバコロド市並にパン
ンガ州サンフェルナンドに支店及び
代理店を再開したので、比島内の金
融網は一段と密度を加へるに至つた
現在の島内金融機關及びその支店網
は次の如くである

一、マニラ所在の金融機關 南方開
發金庫、臺灣銀行、橫濱正金銀行、
比島國立銀行、比島銀行、比島商業
銀行、ヒボテカロ銀行
二、地方金融機關 △臺灣銀行出張
所所在地×ダバオ、セブ、バゴロド、
×パギオ、×レガスピ、イロイロ
(×印は軍政支所所在地)
△比島國立銀行支店及び代理店所在
地 支店タルラック(タルラック州)、
カバナツアン(ヌエバ、エシハ州)、
レガスピ(アルバ州)、パギオ(マ
ウンテン州)、ルセナ(タババス州)、
ダグバン(パンガシナン州)、イロイ
ロ(バナイ島)、バゴロド(ネグロス
島)、代理店マロス(フカカン州)、
サンタクルズ(ラゲナ州)、バタンガ
ス(バタンガス州)、パンゲ(リサー
ル州)、サンフェルナンド(パンバン
ガ州)なほこの外に比島國立銀行の
代理店としてはミンダナオ島のコタ
バト(コタバト州)及びカガヤン(イ
サペラ州)が同地警備隊の許可を得
て再開してゐるといはれるが、通信
連絡が悪いため正確でなく、またセ
ブの支店の再開も目下行員が派遣さ
れて準備中であるが、今月中に再開
の運びになるものとみられてゐる、
因みに臺灣銀行の地方出張所は南方
開發金庫の出張所を兼ねてゐる

戦前郵便爲替支拂延期

【マニラ十二日發】 比島行政府選信

葉煙草收買價格決定

【マニラ十二日發】 本年度收穫の比
島產葉煙草收買價格に關し軍政監部
では今回次の如く決定、近く比島葉
煙草組合をしてその收買を行はせる
ことになつた、決定價格は戦前の相
場比に六割乃至七割の引上で、煙
草耕作農民に出来るだけ多く利益を
與へる考慮が拂はれてゐる、價格は
葉の長さに應じ五階級に分れ更に産
地によつて分類されてゐる、右四級
品の各產地別の收買價格は左の如し
(一)キントル 五〇キロ乃至五五キ
ロ(當り單位ペソ)
△イサペラ 二〇カガヤン 一〇△ラ
ウニオン 一〇△パンガシナン 九△ヌ
エバシハ 九△イロコス 八
なほ葉卷種葉煙草の買上は組合員た
る各社により行はれる

棉花收穫高發表

【マニラ十三日發】 比島棉花増産計
畫第一年度たる昭和十七年度棉花第
一回收穫豫想に關し軍政監部では十
三日次の如く發表した
△昭和十七年度ルソン島棉花第一回
生産豫想高は實棉二百六十四萬七千
六百六十八キログラム(綠棉換算量一
萬四千七百〇六ピクル)にして植付
面積九千三百六十八町歩、一町歩當
り平均生産數量一・五ピクルの見込
みなり

南發貸出預金利率改正

【マニラ十五日發】 南方開發金庫比
島支金庫では比島内の開發復舊の促
進のため四月十五日より貸出利率の
改正を行ふと同時に預金利率につい

より遅れたること、氣象状況におい
て成育の初期降雨量過多、十二月以
降稀雨の干越に見舞はれたること、
これに伴ひ發生せる害蟲の被害甚大
なりしこと及び栽培に従事せる比島
農民が棉作の經驗に乏しきたためこれ
が指導に諸種の困難を伴ひたること
等幾多の惡條件に遭遇せし比島農
民及び各棉作擔當者はよくこの惡條
件を克服し棉花増産に懸命の努力を
傾注せる結果以上の如き生産を豫想
されるに至れり

△本年度棉花生産豫想高は右に述べ
たる如く初年度としては相當の成績
に達する見込みなるが、これを各地
域につきみれば農民の努力にも拘ら
ず成績不良の箇所も豫想せらるるを
以つて特に本年度は棉作第一年度た
るに伴ふ特殊事情を考慮し、棉作擔
當者は棉作に使用せる農用藥劑及び
肥料の代金全部を負担し、且棉作擔
當者は棉作不作者に對しては小作者
自作者又は地主たるを問はずその
不作の程度に應じ棉作に要したる勞
力又はその他の負擔を考慮し相當程
度の金額を交付する等の特別の考慮
を拂へり

肥料配給組合設立

【マニラ廿七日發】 比島軍政監部で
は肥料の圓滑なる配給、適正價格の
維持、生産並に輸入の助長をなすを
目的として比島内の肥料を農業者を
製造業者及びこれに準ずるものを以
て比島肥料配給組合を設立せしめる
こととなり、廿七日マニラにおいて
右組合の設立式が舉行された

東亞纖維工業會

【マニラ廿日發】 比島内最大の紡績
工場たるナシヨナル興發會社は軍管
理のもとに比島人に經營が委託され
昨年五月より操業を再開、この經營
持主たる金華メリヤスが軍政監部の
命令で經營協力の形式で参加、その
指導を行つて來たが、今回軍政監部
では比島の一般經濟状態が平常化し
たのを機會に東亞纖維工業會(舊紡
績聯合會)にその經營協力を行はし
めるに決定した

ては從來南發は市中銀行よりも五厘
安となつてゐたものを五厘高に改め
都合一步の引上げを斷行した、貸出
利率は從來一率に四分と決定されて
ゐたが新貸出利率によると一般開發
擔當者に對する開發復舊關係貸出資
金は年四分五厘で物資收買のための
資金は市中銀行に對して年利三分、
銀行から更に業者に貸出される場合
は年利四分五厘となつてゐる、また
市中銀行の手許資金不足を補ふ意味
で南發が市中銀行に貸出するもの及び
その他一般の貸出の場合は年利四分
に決定された

銀行預金利率上げ斷行
【マニラ廿八日發】 比島銀行協議會
では比島内の浮動購買力吸收のため
廿八日左の如く預金の利率上げを斷行
することを申合せ、軍政監部の認可
を得て來る五月一日より實行するこ
とに決定した、新舊預金利率は次の
如くである

濠洲議會閉會

【リスボン二日發】 キヤン
ペラ來電「濠洲議會は一日
を以て閉會したが、重要議案山積の
ため、政廳當局と上下兩院の足並揃
はず、會期實に九週間といふ記録を
作つた、即ち所得稅法案、福利増進
法案、兵士優遇案等に關する意見は
容易に一致せず、殊に兵士優遇案は
全く暗礁に乗上げた形で、上院は軍
籍にある全濠洲人は戰時勞務計畫に
優先の特權を與へらるべきであると
主張するに對し、政廳は労働組合の
肩を持つて上院の要求に應ぜず結局
首相ジョン・カーチスは遂に「制限
付兵士優遇案」に同意した、但し首
相の妥協案は實際に前線に出勤して
戰闘に参加した將兵だけを對象とし
上院の主張とは遙かに懸隔あり、問
題は今後尙一層の波瀾が豫想されて



Table with 2 columns: 新率 (New Rate) and 舊率 (Old Rate). Rows include 定期預金 (Term Deposit), 特別當座 (Special Current), 通知預金 (Notice Deposit), 當座預金 (Current Deposit), 無利息 (Interest-free).

一般一治政
【リスボン二日發】 キヤン
ペラ來電「濠洲議會は一日
を以て閉會したが、重要議案山積の
ため、政廳當局と上下兩院の足並揃
はず、會期實に九週間といふ記録を
作つた、即ち所得稅法案、福利増進
法案、兵士優遇案等に關する意見は
容易に一致せず、殊に兵士優遇案は
全く暗礁に乗上げた形で、上院は軍
籍にある全濠洲人は戰時勞務計畫に
優先の特權を與へらるべきであると
主張するに對し、政廳は労働組合の
肩を持つて上院の要求に應ぜず結局
首相ジョン・カーチスは遂に「制限
付兵士優遇案」に同意した、但し首
相の妥協案は實際に前線に出勤して
戰闘に参加した將兵だけを對象とし
上院の主張とは遙かに懸隔あり、問
題は今後尙一層の波瀾が豫想されて

國家奉仕團組織

【リスボン二日發】 キャンペラ來電
 瀛洲最大の野黨たる統一瀛洲黨は
 黨首問題を繞つて内訌を續け一應ヒ
 ユーニズ黨首が留任することによつて
 解決したかに見えたが、黨首選擧に
 敗れたロバート・メンジース以下十
 七名の黨員は二日に至り突如「國家
 奉仕團」を組織した旨發表した、但
 し彼等は右行動は決して脫黨行爲で
 はなく依然としてヒューズを統一黨
 首として認めること並に今次行動は
 反對黨陣營に活を入れる爲であると
 稱してゐる

反樞軸作戰指導に不満

【外相談】【ブエノスアイレス八日發】
 サンフランシスコ來電 瀛洲外相ハ
 ーバート・エヴァフツトはワシントン
 への途次七日ヴンフツトはワシントン
 に着したが、再び對瀛援助の強化を要
 請して次の如く語つた

「反樞軸國は依然としてドイツ打倒
 をその第一目標としてゐるやうだが
 この結果瀛洲は非常な軍需資材不足
 に悩んでゐる、瀛洲は歐洲戰域に協
 てもこの國力が許す限り對獨戦に協
 力して來た、然し瀛洲としてはこの
 間に日本軍が着々この占領地域の強
 化を行つてゐることを忘れることは
 出來ない、瀛洲は日本軍に捕はれた
 俘虜が解放されるまでは斷じて戰爭
 をやめないだらう」

【前線指揮官不満】【ブエノスアイレス
 九日發】日本海軍航空隊が西南太平
 洋に於て再び大規模な活動を開始し
 た事は瀛洲の朝野に異常な不安を興
 へてをり、特にバタアン半島失陥一

周年を機會に西南太平洋の防備増強
 の必要が強調されてゐる、既に過去
 三ヶ月間に亘り瀛洲政府は勿論米軍
 の前線指揮官も西南太平洋に於ける
 現有勢力では日本軍の進撃を阻止出
 來ないと言ふことに意見一致し再三、ワ
 シントンの統合同司令部に對し、兵力
 の増強を要求してゐたと傳へられる

就中瀛洲海相ノーマン・メーキン
 アドレドに於ける演説で日本軍が
 瀛洲北邊の各島嶼に續々基地を構築
 してゐると述べ陸相フオード亦一日
 本軍は續々新しい基地を構築し且つ
 兵力を増強してゐる、その結果反樞
 軸軍は一層の犠牲を覺悟しなければ
 なるまい、米國人が瀛洲人と同じ意

見かどうかは知らないが最近西南太
 平洋に於ける日本軍が非常に有力に
 なつてゐることは否定出來ない」と
 述べたと云はれる、スチムソンが
 空軍の増強を約束したのは火のつく
 やうな前線並に瀛洲政廳からの要請
 に應ずる爲めと解されるが、反樞軸
 司令部ではチニジア戰線に於て米

空軍が一日に千回出撃したとか、米
 國の軍用機數百臺が歐洲大陸に對す
 る爆撃に参加したとか云ふ米國の新
 聞電報を基礎に「武器貸與法に基き
 反樞軸各國に割當られる機數ならび
 に各戰線に割當られる機數を別とし
 て米國內にはかなりの期間に亘つて
 建造され、國內に保留されてゐる爆
 撃機並に戰闘機のプールが一萬臺に
 達してゐる筈で、内一部を西南太平
 洋に割くことは容易であらう」と飽

く遠空軍兵力の増強を期待してゐる
 様子だ

【首相聲明】【ブエノスアイレス十五日
 發】瀛洲政廳は西南太平洋に於ける
 日本航空部隊の活動が重大化すると

共に瀛洲の防備に苦慮し既に十三日
 國防協議會を開催したが、更に十五
 日緊急閣議を開催して「特に十四日
 ミルン灣に對する日本軍航空部隊の
 爆撃に鑑み協議した」と傳へられる
 瀛洲放送によれば閣議後首相カーチ
 ンには特に聲明を發表し次の通り述
 べたといはれる

「カサブランカ會談においてドイツ
 軍打倒第一主義が再確認されて以來
 日本軍は太平洋においては「一時」は
 彼等の味方であることを悟り、外部
 から何等の妨害を受ける危険もなし
 に至つた、思ふに日本軍が西南太
 平洋の各水路を支配してゐる限り、
 瀛洲大陸は不斷に且つ致命的な攻撃
 の危険に曝されるであらう、若し
 反樞軸軍が充分空軍力を集結して明
 確な優勢を確立しない限り、陸軍並
 なく海軍部隊は遂に瀛洲防衛の重荷に
 堪へなくならう、マライ作戦並に比
 海作戰に於て日本軍が勝利を収めた
 最大の原因は空軍の優勢である、日
 本軍が西南太平洋に於ける攻勢に失
 敗したといふが如きは全く痴人夢で
 ある、反樞軸軍がまず全力を歐洲に
 集中するに決定した結果瀛洲は少く
 とも長期戦を覺悟せなければならぬ
 い破目に陥つたが同時に目前攻撃を
 受ける危険も増大するに至つた、日
 本軍は必ずやカサブランカ會談の結
 果興へられた時間の余裕を充分に利
 用するであらう」

反樞軸軍首腦歸瀛

【リスボン七日發】 メルボルン來電
 〓ワシントンに於ける反樞軸太平洋
 軍事會議に出席した西南太平洋反樞
 軸空軍司令官中將ジョージ・ケニー、
 同參謀長少將リチャード・スザラ
 ンド及び代將スティーヴン・チェンバ
 レンの三名は七日瀛洲に歸還した

十四歳以上にも登録實施

【リスボン十日發】 キャンペラ來電
 〓瀛洲政府は人的資源不足のため頻
 りに戦時動員の範圍を擴大してゐる
 が、今回更に去る三月十五日に滿十
 四乃至十六歳に達した少年少女に對
 しても登録の實施を開始した、登録
 少年、少女は學校卒業後直ちに適當
 な戦時活動に動員される筈である

徴兵年齢下げ

【リスボン十二日發】 メルボルン來
 電 〓電州陸相フオードはニューギニ
 ア戰線で多數の將兵を喪失した結果
 瀛洲政廳は徴兵年齢を十九歳から十
 八歳に引下げる方針なる旨十二日言
 明した

祝日休業廢止

【リスボン十七日發】 キャンペラ來
 電 〓瀛洲政廳は十七日布告を以て軍
 需工場勤務労働者のみならず全國民
 に對し今後あらゆる種類の祝日休業
 を廢すべき旨發令した

人的資源動員狀況

【リスボン廿八日發】 キャンペラ來
 電 〓カーチン首相は廿八日瀛洲の人

的資源動員狀況につき次のやうに述
 べた

「瀛洲軍の兵力は最近三ヶ月間に五
 萬人増加し七十五萬から八十萬にな
 った、若し米國が瀛洲と同じ割合
 で動員したとしたら米軍兵力は十五
 百萬となつてゐるであらう、現在瀛
 洲の軍隊と軍需工場に動員されてゐ
 る男子數は百五十萬六千人で、これ
 は十四歳から六十五歳の男子の約
 六割に當る、軍需工場其他の臨時部
 署に就いてゐる女子數は十四萬であ
 り、又補助部隊における女子數は數
 ヶ月間に二萬八千名から三萬千名に
 増加した」

シドニー沖仲仕争議

【リスボン九日十日發】 シ
 ドニー來電 〓シドニーの沖
 仲仕は瀛洲政廳の提唱する集團雇傭
 方式に反對して約二週間以前から争
 議を續けてゐるが、カーチン首相は
 九日に到り遂に罷業中止命令を發し
 十一日正午迄に復業せぬ沖仲仕には
 徴兵乃至徵用令を適用する旨通告し
 た、沖仲仕組合書記長ヒューレーは十
 一日に争議繼續乃至打切りを投票で
 決定するから結果判明迄罷業中止令
 の延期を希望する旨回答し、カーチ
 ン首相も應諾し徵用令の適用を一時
 延期した、この罷業で多數の米國輸
 送船は兵器を満載した儘港内に立往
 送船の破目に陥つてゐるといはれ、事
 態に狼狽した瀛洲派遣米軍當局は止
 むなく米軍兵士を奮勵して目下陸揚
 作業を行はしめてゐると傳へられる

軍需生産概況

【リスボン十四日發】 カンペラ來電
 によれば一九四〇年六月聯邦政府に

軍需省が設置されて以來同省は今日にまで陸軍のために七億弗、海軍のために五億弗の武器を生産したといはれる、一方同省は右期間に濠洲駐屯の米軍から受けた武器註文高は二千五百萬弗で海外からも一億四千萬弗の註文を受けたといはれる

物價停止令公布

【リスボン十九日發】四月十三日のロンドン・タイムズ紙メルボルン特電によれば濠洲藏相チーフリーは十三日夜物價停止令を公布した、右はカナダにおいて行なはれてゐる所と同様のもので十四日朝から實施された、これによると總ての商品及びサービス物の價格は四月十三日の水準に釘付けられることとなつてゐる右物價停止實施後生産費が引續き騰貴する場合には生産者及び商人は從來と同様物價統制官にその實狀を申告し得る、物價統制官は從來かかる場合に價格の引上げを許容する權限を有してゐたが、今後は新に設置された物價安定委員會の協力の下に生産費の抑制引下げのための他の手段を探ることとなつた、すなはち同委員會は生産者及び商人にとり合理化及び能率化による生産費切下げの餘地なしと認定した場合政府に對し生産費昇騰をカバーするため補助金を交付するよう要請するのである、なほ一方輸入商品の値上りは國內物價に對しては著しい悪影響を與へてゐるが、今回の措置には右商品を生産が今後騰貴する場合には右商品を生産する際政府は補償金を支拂ふこととなつた



新西蘭豪華船沈没

【リスボン六日發】キャンベラ來電ニユージャーランドのユニオン汽船会社所屬アツティア號(一三、四八二噸)乗組員が六日濠洲の某港に到着したが、彼らによつてはじめて同號の沈没が明らかになつた、アツティア號がどの水域で何時沈没したかは不明だが、同號は一九三六年に竣工し戦前ニユージャーランドの誇といはれた豪華船でウエリントン、シドニー間の航路に就航してゐた

空軍を要求

【リスボン十一日發】ロンドン來電ニユージャーランド國防相フレデリック・ジョーンズは去る七日空路ロンドンに到着、直ちに副首相クレメント・アトリーと會見した太平洋方面一般戦局に關し協議したが會見後ニユーズ・クロニクル紙記者と會見して次の様に語つたと傳へられる「ニユージャーランドが現在最も必要としてゐるものは飛行機である、日本軍に對しては五角の戦機を行ふためににはどうしても多數の飛行機が必要だ、戦前におけるニユージャーランド空軍の兵力は七百五十名、現在では二千名に増加されてゐるがこれでは日本軍に對抗することが出来なかつた

近く割當制實施

【ブエノスアイレス二十九日發】ウ

エリントン來電ニユージャーランド首相フレデリックは廿八日勞働大會席上ニユージャーランドは太平洋戦線における米軍に對する物資供給の必要から近く物資の割當制を實施しなければならぬことになるであらうと次の通り言明した

「太平洋戦線の米軍將兵に對する物資供給の結果ニユージャーランドでも物資の不足を來たし政府もこれが對策上、割當制を採用せざるを得なくなるであらう、現在までニユージャーランドが米軍に供給した物資はバタ一五百萬ポンド、肉三千八百萬ポンド、卵千八百萬ポンドに達し一九四一年には羊毛生産高の五千四百パーセントが國內民需用に向けられたが一九四二年には國內消費は十五パーセントに低下してゐる、更にニユージャーランドの米軍に對する物資供給は船旗國の見地から反樞軍各國が要求したものである」



獄中から市長に當選

【イスタンブール二日發】ボンベイ來電ニボンベイ市長ニスフ・メヘフリ氏は會議派社會黨領袖で非協力運動の開始と共に逮捕監禁されてゐるが、今回市長の任期満了して辭任したと今同様に會議派のボルト博士が監禁のままに二月獄中からボンベイ市長に選舉された、因にギルター博士は過般ガンヂー翁斷食の際看護に當つた六名の醫師の中の一人である

對印武器貸與狀況報告

【イスタンブール四日發】ニユーデー來電ニ印度商會議所聯盟總裁チユニナル・メーターは去る三月末ニユーデーで開催された聯盟年次總會において印度に對する米國の武器貸與狀況につき次の如く報告した

「一九四一年三月以來今日迄に米國の對印武器貸與額は二億九千五百五十萬四千四百九十四ポンドに達し、若し印度が米國と直接協定を締結するならば印度は米國に對し財政上の負擔を負ふことにならう、併し印度の防衛のみならずもつと廣汎な目的に役立つものであることは特に留意すべきである」

以上印度政廳の頑迷な政策に就いては英國政界の一部にも不滿からず殊に印度總督が和協派の申出を拒否したことに就いては勞働黨のデイリィ・ヘラルド紙の如きは重大な失策と断定し印度總督の再考を要望し更にニユーズ・クロニクル紙の如きは印度相アメリの辭職を要求した位だがニユーズ・クロニクル紙のボンベイ電報に依れば印度中央立法會議は勿論總督の側近とも言ふべき行政參議會内に於ても活潑にアメリの進退が論議されてゐると傳へられる英國下院に於ても自由黨のグレラム・ホワイに質問を提出、更に勞働黨議員ソレンセンもベンガル州首相の辭職に關聯しアメリに喰つてかゝつた様子でアメリに對する英國政界の反對機運は逐次表面化するに至つてゐる

ガンヂー和協派會見許可拒絶

【リスボン八日發】ガンヂー翁の斷食を繞る印度政局の危機打開の爲に元マドラス州首相ラヂヤゴ・バラチヤリ氏その他和協派の領袖は過般來ニユーデーに於て印度政廳と頻に交渉を重ねて居たが印度總督が現狀に於てこれら領袖とガンヂー翁との會見を許可することが出来ないと頑強に突つたため交渉は遂に決裂に歸した、和協派との取極めに基き印度政廳に於ては和協派の提出した覺書と印度總督の回答全文を發表したが、要點次の通り

覺書 ガンヂー翁が逮捕されて以來發生した諸々の事件に對し翁の反響を確め和協の道を見出すためガンヂー翁と會見を希望する

回答 ガンヂー翁は逮捕された當時會議派に對し公然たる叛亂を指令し會議派としては退却する餘地もない旨は印度政廳と交渉の餘地もない旨を述べてゐる、而も一九四二年八月ガンヂー翁が逮捕されて以來翁並びに會議派の領袖は新聞その他で情勢の推移は充分承知してゐる筈である、然るに翁が去る八日の運用委員會の決議を固執してゐる以上諸君の要請を容れる餘裕はない、若しガンヂー翁が會議派の決議を否認し且會議派が印度政廳に對し將來の保證を與へるならば事態は新に考慮されるであらう

印度騷擾被書

【イスタンブール十二日發】政廳側の必死鎮壓策にも拘らず印度における騷擾は未だ終熄せず全國各地に間歇的な反英暴動の發生を見てゐるがニユーデー來電に依れば印度政廳は反英運動開始以來昨年十二月末に

亘るまでの騷擾被害を次の如く發表したと言はれる
全壞乃至半壞鐵道線三百十八、顛覆列車五十九本、而して列車、飲食店並に街上における爆彈事件はその後も續發を見てをり被害者には印度派遣英軍兵士多數が含まれてゐる

印度國防會議議催

【リスボン十三日發】 ニューデリー來電 第九回インド國防會議は十二日ニューデリーにおいて總督リンリ・スゴ司會の下に開會された

【イスタンブール十四日發】 ニューデリー來電 第九回インド國防會議は十二日ニューデリーに於て印度總督司會の下に開催、食糧不足並びに輸送難が漸次増大するに鑑み對策を協議したが、決定要項は次の通り
○食糧貯藏、運輸機關その他の諸施設を改變すること
○パンジャブ州の小麥、米、その他の食糧品の搬出禁止令は引續き施行する

以上の如く印度國內の食糧難は依然極めて深刻だ、英軍司令部では印度國外に駐屯してゐる英軍に對して印度から食糧を補給する權限を與へられたと言はれる

土侯領を合併

【イスタンブール十六日發】 印度政廳は十五日ラヂオを通じて印度土侯領の内餘りに小さく且財政的獨立が出来ない諸領土を合併する旨闡明した

印度國防章程廿六條

無效

【リスボン廿二日發】 ニューデリー來電 印度最高法院は廿二日印度國防法に關聯し、次の判決を下した

「印度國防章程廿六條は、印度中央立法議會が印度政廳に賦與するに適當と思つた權限を逸脱し、その理由を以て無効である」
國防法の不備暴露【リスボン廿二日發】 印度政廳はガンヂー翁等が非協力運動を開始するや、印度國防法に基く印度國防章程第二十六條に基き會議派の積極の九千名を投獄するに至つたが、ニューデリー來電によれば、廿二日印度最高法院においてサ・モーリス・ガイヤーを裁判長とし右章程第二十六條に基く會議派領袖の逮捕監禁が合法的なりや否やと試訴につき判決が下つた結果、果然印度政廳の措置は法律上不備を充れないとの驚くべき事實が確認されるに至つた、因に一九二〇年の印度國防法によれば印度政廳は「相當の嫌疑ある場合」印度人を抑留出来ることになつてゐるが、施行細則たる國防章程第二十六條には「相當の(リズナブリー)といふ辭句が抜けてをり當局が一當人の罪狀を認め得た場合」となつてゐるので今回の判決においてガンヂー翁等の逮捕が違法であると斷定されるに至つたわけである、尤も右判決の結果、ガンヂー翁等が釋放されるやうなことはあり得ないが印度における法の擁護や治安の維持とを一手に引き受けたやうな顔をしてゐる英國政府乃至印度政廳の面目は丸潰れとなつたことは事實だ、ロイテル通信社のニューデリー電報は右判決の経緯を報道した後印度政廳の對策に關聯し次の通り述べてゐる

決が不都合の原因となり政廳を困惑させるかも知れない、しかしガンヂー翁等が釋放されて翁等の逮捕監禁には一相當の根據があつたかどうか、審議を受けるやうなことは考へられない
○印度政廳としては數時間内に新たな總會令を公布し、今回の判決に合ふやうに印度國防法乃至國防章程を改訂するまでのことであらう

印度政廳また敗訴

【ストックホルム廿三日發】 カルカッタ來電 印度政廳は廿二日聯邦高等法院において印度國防法に關する試訴に敗れたが更にベンガル州内に特別法廷を設置する緊急令につき審議の結果、廿三日右緊急令は無効と宣告された、同令はベンガル州緊急會第十一號として公布され州内に騷擾が起つて非常事態が存在すると認定すれば州政廳が特別權限を保有する裁判所を設置出来る旨規定してゐるが同令に基き處分された印度人十名はカルカッタ高等法院に控訴、裁判長サー・ホルド・ダーグインヤは右緊急令が州知事の權限を超えてゐるから無効だとの判決を下し被告を十五名の釋放を命令した、但しこれ等被告は再び逮捕され一般法廷において通常法令に基き處分されるものと見られる

南阿印度人土地所有禁止問題

【リスボン廿三日發】 南阿聯邦下院印度人土地所有禁止法案を可決したことは全印度に非常な衝撃を與へ比較的穩健派と目される自由聯盟の領袖等も抗議の意思表示として南阿駐

割高等辨務官サー・シヤフアット・アーメト・カーンの引上を斷行することを要求してゐると傳へられる、印度各紙は連日、同法案の審議経過を詳報し社説を掲げてゐるが、特に「斯くの如き法律を強行する結果、印度人並にアジア人の白人に對する不信は愈々激化し英帝國の將來にとつて破局的結果を及ぼすであらむと述べてゐる」

回教徒聯盟決議

【イスタンブール十五日發】 ニューデリー來電 南阿聯邦がトランスバール並にナタール兩州に於ける印度人土地所有禁止法案を實施しようとしてゐることは印度人の間に非常な不滿を惹起してゐるが回教聯盟は廿五日夜同志一萬五千名出席の下に年次大會を開催、全會一致印度政廳は直に南阿聯邦と交渉を開始すべしとの強硬決議案を採擇した

印度政廳聲明

【イスタンブール廿七日發】 ニューデリー來電 南阿聯邦議會は印度人土地所有禁止法案を可決したの對し印度政廳は廿七日聲明を發表し、次の通り抗議した
○南阿聯邦議會はナタール州並にトランスバール州に於ける印度人土地所有禁止法案を可決したが、斯くの如き制限的法律によつて南阿聯邦に於ける印度人問題は些かも解決されず徒らに世界間とるころの印度人の感情を甚しく傷めるだけであり
○印度の論は一致して南阿聯邦今回の法律に反對を表明し以上の措置は「嫌惡すべく不必要且つ機宜を失つてゐる」と述べてゐるが、印度政廳は以上の見解に全く同意する

フレ族の指導者を銃殺

【イスタンブール廿七日發】 印度西北地區に蟠居して熾烈な反英抗爭を繼續してゐるフレ族に對し印度政廳は武力彈壓をもつて臨んでゐるがカラチ來電に依ればフレ族の首領でさきに死亡したビル・バガロの片腕としてその後直接反英闘争を指導してゐたヴァルヤムを最近逮捕して銃殺の刑に處したと傳へられる

印度行政參議院閣僚後任

【イスタンブール廿八日發】 ニューデリー來電 印度政廳行政參議院の閣僚三名は過般ガンヂー翁の斷食當時印度總督の遺りに憤慨し辭表をたゞきつめたが、總督は爾來二ヶ月に亘り後任補充に躍起の努力を重ねた結果、漸く新閣僚三名を決定し、更に閣僚二名を更迭するに決定した新閣僚の顔觸れは五月一日頃發表される豫定だが次の通り解される
司法長官サー・アック・ロイ、情報長官サー・サルタン・アームッド、軍需長官サー・ラスマワミ・ムダリアル、財務長官サー・アジズ・ムハ、在外印度人省長官カーレ博士

ボンベイ市に食糧割當制

【イスタンブール廿日發】 ボンベイ來電に依れば印度政廳は特に食糧不足の甚だしいボンベイ市に對し二月二日を期して小麥並に米の切符制を實施するに決し既に約五十萬の切符を配布したと傳へられる

世界情勢

歐洲

ヒ總統・樞軸各國首腦之會談

戰爭完遂に意見全く一致

獨伊兩巨頭會談

【ベルリン十一日發】總統大本營は十一日夜次の通り發表した

「ヒットラー總統は四月七日から四月十日までムツッリーニ首相との間に會談を遂げたムツッリーニ首相はイタリア軍參謀總長アマブロージョ大將、バステイアニーニ外務次官その他イタリア外務省の代表並びに

イタリア軍參謀本部の代表を帶同、會談に参加した、ヒットラー總統はドイツ國元帥ヘルマン・ゲーリング氏

外相フオン・リツペンントロツプ氏、大本營幕僚長カイテル元帥、海軍司令長官デーニツツ元帥、ドイツ陸軍參謀總長ウイトラー將軍を帶同し

た、ローマ駐劄ドイツ大使フオン・マツケンゼン氏並びにベルリン駐劄イタリア大使デイノ・アルフエーリ

氏も亦會議に参加した、會談は廣

汎に亘り戰爭の共同遂行に關聯する一切の問題は勿論、全般的政情を審討し一切の分野において採擇されるべき施策に關し完全な意見の一致が達成された、ヒットラー總統並びにムツッリーニ首相は最後の勝利が達成され西方よりすると東方よりするとを問はず歐亞兩大陸を脅威するあらゆる將來の危険が完全に取除かれるまで獨伊兩國の總力を全面的に展開するとの基礎の上に戰爭を遂行する獨伊兩國並びに兩國の首腦自身の不變の決意を更めて表明した、歐洲文明を擁護するために且發展と協力をに關する各國の權利を確保するために樞軸國が實現しようとする共同の目的は重ねて確認された、これ等諸國が勝利を収める場合には歐洲は各國民に對し各國民共同の利益の基礎に立つて各國民の協力を保證する領域となり世界の經濟資源は正當に配分される結果とならう」

會談の意義【ベルリン十一日發】獨伊兩國の首腦は大戦以來七回目の重要會談を遂げたが右會談の意義に關し消息通筋では十一日次の意向を洩してゐる

「今回の會談では樞軸に關聯する全般的政治情勢並に戰爭の協同遂行に關する施策が検討されたが四日間に亘る徹底的討議の結果樞軸は飽く迄戰爭の完遂、歐洲文明の擁護に邁進するに意見一致した、反樞軸陣營は樞軸の戰爭遂行について種々の流言を飛ばしてゐるが要するに彼等は前大戦當時の夢を追ふてゐるにすぎず必ずや痛く失望する結果とならう歐洲戰爭開始より既に三年有半に及ぶが樞軸各國は最近に到つて漸く總力を開始したにすぎない、今回の會

談では樞軸の經濟力並に戦力の余力を擧げて完全且つ全面的に動員することが討議決定された、既に歐洲各國に於ては全面的動員が着々進捗してゐるが、從來の結果に徴しても獨伊兩國代表は歐洲の余力總動員が反樞軸國の妨害を受けず遂行されることを確信してゐると思ふ

一、今回の會談に於ては戰爭の遂行以上歐洲の將來の組織についても意見が交換されたと解される、會談に關する公報にも樞軸の歴史的使命が述べられてゐるが、歐洲の文明を擁護する使命を負ふ樞軸軍は東方に於ては連日ボルシェヴィズムに對し苛烈な戰鬪を繼續し同時に歐阿兩大陸に於ては「共同の利益の基礎の上に自由な發展と協力を確保する」歐洲諸國民の權利のために戰つてゐるのである、要するに樞軸軍の最終目標は全世界に亘り物資資源の分配を公正且つ潤澤とし更に歐洲に於ける生活標準を安泰ならしめることに存する

一、反樞軸陣營は最近頻りに戦後經營案を論議してゐるが米英兩國政府は國際問題は勿論社會問題についても過去二十年間に亘り悉く解決に失敗してゐるではないか、殊に現在の戦後經營案なるものは小國に對し各國民生の自由なる發展を阻害して過らにソヴィエト聯邦に迎合するに過ぎない、反樞軸陣營の戦後經營案を以てすれば歐洲大陸は大陸の利益と背馳するアングロサクソン主義に叩頭するか、さもなければボルシェヴィズムに屈服するの外はない結果とならう、しかるに樞軸は世界政治並に經濟の諸困難を解決するにあつて

も乃至各國の内政社會上の問題解決

についても徹底的な庶政一新案を提示してゐる、今回の會談に於ける社會問題並びに國際問題の討議に於ては「結局歐洲全體主義の建設」が目標とされたといふことが出来よう」

羅馬尼總統と會談

【ベルリン十四日發】總統大本營は十四日次の通り發表した

「ヒットラー總統は十二日ルーマニア總統アントネスコ元帥を引見、二日間亘つて會談を遂げた、全般的政治情勢並にボルシェヴィズム及びアングロサクソン金權主義に對する共同の戦ひに關する討議は獨伊兩國の友好關係並に三國同盟に参加する各國の搖ぎなき團結の精神の内に進められた、ドイツ外相フオン・リツペンントロツプ氏並に總統大本營幕僚長カイテル元帥もまた討議に参加した

右會談においてヒットラー總統並にルーマニア總統は妥協なき勝利が確保されるまで歐洲の敵國に對し凡ゆる可能な手段をあげて不屈の戰爭を繼續する絶対的決意を再び確認したルーマニア國民は樞軸各國と相携へて最後の勝利を確保するまで戰鬪を繼續、以上歐洲の解放に對する歴史的使命によりルーマニア國民の將來を保證するであらう、アントネスコ元帥はルーマニア戰時内閣議長ダヴイデスコ大佐その他ルーマニア參謀本部の幕僚を帶同會談に参加した、ブルカレスト駐劄ドイツ使臣フオン・キリンガー氏と並にルーマニア最高司令部付ハンゼン將軍も同じく會談に参加した」

會談の意義【ベルリン十四日發】ヒットラー總統とアントネスコ元帥との會見は

特に意義重大と解されるが、ドイツ外務省筋では總統大本營の公報を用いた會談の意義について、十四日大體次の意向を洩してゐる

一、今回の公報において獨り、ボルシェヴィズムに對する抗戦だけでなく、アングロサクソン金權主義に對する闘争が明示されてゐるのは注目するに値する、歐洲大陸保全のための戦争は一體不可分であるが、ルーマニア政府がソ聯の隣邦として直接ボルシェヴィズムの脅威に晒されてゐるにも拘らず、同時に米英兩國に對する抗争を繼續する決意を表明したことは「領土的距離」があるからボルシェヴィズムの脅威を受けないとい過信してゐる國々に對する好箇の教訓でもあらう

【ベルリン十八日發】 總統大本營は

「ヒットラー總統は二十二日總統大本營に於てスロヴァキア國大統領領テ

「ハンガリー攝政ニコラス・ホルティ提督は十六日二日間に亘る會談を行ふため總統大本營に到着、ヒットラー總統は一般政治情勢及び共同の敵に對する闘争に關する諸問題につきホルティ攝政と隔意なき意見の交換を遂げた、同會談にはリッペンントロップ外相も參加した外獨軍總監カイトル元帥とハンガリー軍參謀總長グイテズ・フレニス・ツオンパテリイ大將との間にも軍事問題に關し意見の交換が行はれ會談は獨洪兩國の傳統的友好關係と兩軍の協力精神に基いて順調に進められた、ヒットラー總統及びホルティ攝政は共に最後の勝利を贏ち得る迄ボリスエヴィイのズム及びその同盟國英米に對する斷乎たる戦ひを貫送する固き決意を表明した、ハンガリーは會つてボリスエヴィイの恐怖を體驗したのであるが盟邦に對するその脅威を完全に拂拭するまで三國同盟加盟國と肩を並べて戦ひ抜き歐洲の解放とハンガリー自體の自衛のため全努力を傾注するであらう、ハンガリー攝政ホルティ提督の外會談には參謀總長シイテス・ツオンパテリイ大將、コロンボ少將、ツェントミクロン大使及びグイテス、ツオンリミル、ゲルロツ大佐の外、ツトヤイ駐獨大使が參加した同盟軍戦力を過少評價し歐洲大陸の戰闘餘力を總動員した結果を輕視することが如何に間違つてゐるかを端的に示すであらう

洪牙利攝政と會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

スロヴァキア首腦を

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

引見

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

諾首相、總統訪問

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

クローアチア首相と會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

獨佛會談

【ベルリン二十三日發】 總統大本營は二十三日公報を以て次の通り發表

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

【ベルリン二十三日發】 フランス首相は

ドイツ政府からはフオン・シユテン
グラハト博士、フオン・マツケンゼ
ン大使その他が出席、懇談を遂げた
獨伊兩國代表は即夜歸國の途につ
いたが出發に先立ちドイツ記者團に對
したの通り言明した

「ヒトラー總統とは一九四〇年十月
二十二日モントアールで會見したが
今回の會談では樞軸各國のボルシ
エヴィズムに對する戦において獨軍
がらかなる寄與が出来るか特に人的
資源の提供においていかなる役割を
果たすべきかが検討された、樞軸各國
もフランス國民の貢獻を多として居
ると確信するが同時に外交と内政と
を分離する事は出来ず殊に國內にお
いて庶政一新を斷行しながら他方友
邦に對する義務を避ける事は出来な
い」

【ベルリン廿三日發】
總統大本營公表
「ベルリン廿三日發」
總統大本營三十日午後次の通り發表
した

「フランス政府主席ピエール・ラヴ
アル氏は外相フオン・リツペントロ
ツプ氏、イタリア外務次官バステイ
アヌーニ氏出席の下に廿九日總統大
本營においてヒトラー總統に引見さ
れた、右會談において三國代表は獨
伊兩國とフランス國との間に現存
する問題について充分なる理解を示
した樞軸各國がボルシエヴィズムと
結託する米英兩國の企權主義に對す
る抗争を遂行し新歐洲の再建に邁進
するに當り、フランス國がいかなる
割當を分擔して以上の努力と犠牲と
に寄與するかについては絶對的に客
觀的立場から検討が加へられた又
右貢獻の結果フランス國が受くべき
便益も討議された」

ソ波紛争 ゲ・ペ・ウの虐殺事件曝露

【ストツクホルム十六日發】
ドイツ軍當局は十日國際記者團をス
モレンスク前線に招致、附近におけ
るポーランド軍將校一萬人の墓地を
發掘、ゲ・ペ・ウがこれ等將校を虐
殺したと發表した、右報道は歐洲各
國に異常な反響を惹起し特に英國政
府は反樞軸營の足並みが一段と亂れ
たるを懸念し首相チャーチル、外相
イーデンが十五日亡命ポーランド政
權の首相シヨルスキー並に外相ラン
スキーを午餐に招致、懇談を遂げた

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

收容所を空にしたが、ソ波兩國政府
間に條約並に軍事協定が出来、ソ聯
領土内でポーランド軍が組織された
際、下士官兵並に一般市民七千人が
行方不明になつてゐる外に將校約八
千三百名の行方がどうしても判らな
かつた、其所でコツト大屠並にアン
デルス將軍は上述の收容所について
これ等ポーランド軍將校の行方を調
査するやうソヴエト政府に要請した
更に一九四一年十月六日コツト大使
にポーランド人捕虜の名簿をソヴエ
ト政府に要求したのである、一九四
一年十二月三日シヨルスキー將軍
モスクワを訪問してスターリン首相
と會談した際にポーランド軍捕虜
全部を釋放するやう要請し、ソヴイ
エト政府の方で名簿が未だ出来てゐ
ないといふことであつたが、一所に
ゐた捕虜たちが作り上げた將校三千
八百四十三名の名簿を掲げた首相は
不完全ではあるがスターリン首相に
手渡した、當時スターリン首相はポ
ーランド人に大赦の恩典を與へるが
大赦は全般的の性質で軍人並に一般
市民にも適用され、殊にポーランド
軍將校はポーランド政府において全
部釋放した旨言明した、次いで一九
四二年三月十八日アンデルス將軍は
スターリン首相に對し更に八百名の
將校の名簿を掲げた追加名簿を手交
した、しかし乍らこれ等の名簿に掲
げられたポーランド軍將校は唯一
人もポーランド軍にかへされて來な
かつた、ラチンスキー外相もソヴイ
エト大使ボゴモロフ氏に對し再三捕
虜の消息について照會したが以上の
收容所三ヶ所から移されたポーラン
ド軍將校その他の捕虜の行方に關し
てはポーランド政府は全然回答を受
けなかつた、勿論ドイツがこれを
問題にした意圖が奈邊に存するかは
察知するに難くないが、モレンス
ク附近でポーランド將校數千名の死
體を發見したと稱し、且つこれ等將
校が一九四〇年の春ゲ・ペ・ウのた
めに虐殺されたといふドイツ政府今
回の情報が非常に詳細を極めてゐる
ので、例へば萬國赤十字社のやうな
國際團體が今度發見されたといふ共
同墓地を調査し、眞相を闡明する必
要が起つて來た、ポーランド政府に
對しては目下萬國赤十字社に對しポ
ーランド軍捕虜が大量虐殺された地
點に代表を派遣するやう要請してあ
る

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

波赤十字委員會調查要求

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

獨赤十字社に調査要求

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

【リスボン十六日發】
ロンドン來電
「リスボン十六日發」
ロンドン來電
「リスボン十六日發」

を遂げた、會談内容は明かでないが亡命ポーランド政権の問題につき重要協議を遂げたと解される

歐洲西岸の防備 全く成る

【ベルリン三日發】獨伊兩國は第二戰線結成を目指す反樞軸軍の歐洲反攻企圖に對抗して着々「全歐要塞化」の歩を進め既にバルカンに「第二のジューグフリード」要塞線を完成したと傳へられるが、ドーヴァ海峡を挾んで直接英本國と對する北佛からオランダに亘る海岸線の防備も最近略々要塞工事を完了し、殊にオランダはドイツ西部防衛の第一線として完璧の備へを整へるに至つた、文字通り戰線と化し一九四〇年六月の獨軍進撃當時を凌ぐ緊張した空氣が國土の隅々まで漲つてゐる、いはば國全體が一箇の巨大な要塞と化したといつても決して過言でない、過去二年間に亘つて進められてきた大がかりな要塞工事はマゼノ線攻略を始め東部戦線に於ける幾多の貴重な經驗に基き、ドイツ築城技術の全機能も動員し構築されたものだけに海上よりする攻撃は勿論、空陸如何なる種類の攻撃に對しても絶対不敗の鐵壁を形成してゐる、獨軍當局が難攻不落と大鼓版を押す設計の詳細は勿論知るべくもないが「オランダ要塞」の最大の特徴はその火網の周密な構成にあるといはれ、凡ゆる種類の火砲が獨特の設計に基き各戦略要點に集中配備されてゐると同時に情況に應じて自由に火力を移動し得る如く設計されてをり、ドイツとの國境海

岸線に至る全國土が一ヶ所として各種火砲機關銃、對戰車砲乃至は高射砲の火網から洩れるところがないと稱せられる、之等の要塞は大體本年初め頃一應の工事を完了し、目下最後の仕上げを急いでゐるが、今次の要塞築城の大きな規ひは次の三點を眼目としてゐるといはれる、海上よりする上陸作戦を敵兵の上陸前に粉碎するにある、之がため獨軍自慢の長距離砲が沿岸にぞらりと巨大な砲口を並べてゐる勿論小山の様なコンクリート砲座は完全な装備を施されてゐる、更に各砲臺間を繋いで海岸線から背後地深く幾重にも對戰車壕を始め各種の戰車障害物が帶狀に張り廻らされ對戰車砲も全海岸線に亘つて集約的に砲列を布いてゐる

第二は此の要塞が國土の内部からの攻撃の可能性を考慮して充分之に對し得る如く設計されてゐる點で落下傘部隊乃至は空輸部隊に對する措置が完全にとられてゐることは此要塞の最も大きな特色である、之がためマゼノ線の砲塔が百八十度廻轉出来るの對して此の要塞の砲塔は全部三百六十度廻轉出来る様になつてゐるほか國內を數ヶ所の基地に分けて各基地は何れも數メートルの厚いコンクリートで掩蔽された巨大な彈藥及び食料の地下貯藏所を擁して夫々を獨立した要塞の機能を發揮出来る様に仕組まれてゐる、之等の基地は更に小さなトーチカ群に分れ、網の目の様な防禦施設が雜魚一匹逃さぬ嚴重な火網を構成してゐる上に第三は對空防禦の施設に特別の重點が置かれてゐること、オランダ駐屯軍司令官フリードリッヒ・クリスチアンセン空軍大將の言を藉れば何

時敵機が來襲しても差支へないだけの萬全の準備が出來上つてゐる



政治

ゲ元帥慶祝の 布告

【ベルリン十九日發】ヒトラー總統五十四回の誕辰に當り空軍總司令ゲリーング將軍は十日次の布告を發表した

「ドイツ國民はヒトラー總統の誕辰に當り茲に衷心から慶祝の意を表明し戰争下の重大時局に際し神が總統と總統の事業とを祝福し且擁護せんとことを祈念して止まない、來るべき一年間においても神が總統に對して力と健康とを恵まれんことを、總横たはつき掌中にドイツ國の運命が横たはつてゐる、さる冬の數ヶ月前總統は再びこの不屈の力を仕事の上で表はした、極度に猛烈な大量攻撃に依つて赤軍はドイツ戦線を席卷してドイツ國への門戸を開かうとしたのである、然し乍らヒトラー總統の精神と意志とは英雄的な戰鬥を繼續するドイツ軍を鼓舞し果敢な攻撃であり、歴史は簡單に獲得された成功に依つて一個の人間の偉大さを判斷するやうなことはない、最大の危機に際會しても不撓不屈の攻撃力に抗争

しながら飽くまで毅然たる態度を堅持する人こそ最大不死の名譽を博するるのである、驚くべき抵抗に對する巨人の闘争においてヒトラー總統は全力を擧げてドイツ國民の擁護と西洋文化の救済に努力してゐるのである、過去數十年間に亘つてヒトラー總統の生涯はドイツ國民とドイツ國に對する奉仕の生活であつた、而も過去數ヶ年の闘争に際して我々は一層強くこの事實を痛感したのである、ヒトラー總統は一瞬の安きを偷まず殆ど超人的な仕事の重荷を双肩に擔つてゐる、總統の勿體振らぬ軍人的態度、如何なる犠牲をも惜しまぬ假借するところなき責任觀念こそは我々總てに對する絶好の龜鑑である、今やドイツ國民の存亡が此一戦に懸つてゐる時に當り我々は從來にも増して今日ヒトラー總統に倣はねばならぬ、今日の戰爭の結果は勝利か然らざれば全滅であるといふ最大且つ決定的な試練の時が今や到來した、過去數ヶ年成功の時分に我々が戰爭に約束したところを、今や中に忠實に實踐するであらう、これは前線に對して當て嵌まるのみならず國內戦線に對しても同様當て嵌まるのである、今回の戰爭が戰場において並に空からの猛爆に曝されてゐる地帯においてドイツ國民から要求してゐるところが如何に苛烈であり、如何に深刻であるかはヒトラー總統の熟知するところ而も總統はすべてのドイツ人に對し自己を没却した仕事と全力を傾注する努力とを要求してゐる、勿論總統自身のためではない、祖國の自由のためであ

り、ドイツ國ドイツ國民との存立のためである、ヒトラー國民諸君、今日並に將來我々を指示し言葉に依つてではなく行動に依つて彼の大業に協力する斷固たる決意を明にしようでないか、我々の歴史の最も決定的な時期に際會し我々は誇るべき久遠のドイツ國のために勇敢且つ不敗の戰士たることを實證しようではないか、我々の傍目も振らずに我々の義務に注がう一切を捧げ能力の限り盡して、この戰爭に依つて我々に課せられた諸要求を充さうではないか、之こそヒトラー總統第五十四回の誕辰に當り總統に對する我々の贈物である」

誕辰前夜の祝典

【ベルリン十九日發】宣傳相ゲツペル博士は總統の誕辰を明日に控へて當日は國旗を掲揚するやうな國民に布告したが誕辰の前夜N・S・D・A・P黨では十九日午後八時十五分からベルリン、フィルハーモニー音樂堂で慶祝の音樂會を催しラジオを通じて全國に中繼放送した、音樂會は先づヒヒアルト・スタラスの「祝宴序曲」に始まり、次いで宣傳相ゲツペル博士は立つてヒトラー總統の人と業績とを絶賛し「九千萬の同胞とともに我々は茲に再びヒトラー總統に我々の總てを捧げる、アドルフ・ヒトラー總統を信ずる故に我々は偉大なるドイツ國民の勝利を確信して疑はない、我々は心の奥底から總統のために衷心祈念し神が總統の健康と力とを保全せんことを冀ふ、ヒトラー總統が我々を何處に導ふとも我々は傍目もふ

らず總統の導に従ふであらう、斯くの如き偉大なる指導者を自分のものと呼ぶことが出来る國民且斯くの如く傍目もふらずこの指導者に全國民が忠誠を誓つてゐるのだから必ずや偉大な事柄がドイツ國民を待ち受けてゐるであらう」と述べた

ヒ總統伊司令官を引見

【ベルリン一日發】總統大本營は一日公報をもつてヒットラー總統が一日東部戦線伊第八軍司令官ガリボリヂ將軍を引見、會談を遂げた旨發表した

右會見には獨國軍總監カイテル元帥も出席した、會見後ヒットラー總統はガリボリヂ將軍に對し騎士鐵十字章を贈與した

外交陣異動發表

【ベルリン十七日發】總統大本營十七日夜次の外務異動を發表した

外務次官 エルンスト・フォン・ワイゼイカー男

任 ヴサチカン駐劄大使

ハンス・ハインリッヒ・デューコーフ博士

任 マドリッド駐劄大使

外務次官補兼政務局長

任 南京駐劄大使

總統大本營連絡官、公使

任 外務次官

アドロフ・フォン・シュテーンガラハト博士

任 外務次官

アンドロル・ヘンケ

任 外務次官兼補兼政務局長

外務次官補兼條約局長

フリートリツヒ・ガウス博士

任 無任所大使

總統大本營連絡官、公使

任 大使(各通)

公使館參事官

フランツ・フォン・ゾライトナー

任 公使

ヴァチカン駐劄大使

ディエゴ・フォン・ベルグ博士

情報部長BBCのデマ粉碎

【ベルリン廿日發】過般スペイン外相ホルダナ伯がバルセロナ商工會議所における演説で「即時世界平和回復の爲にスペイン政府は交渉を援助する用意ある一旨言明したが、果然BBCは右演説を取りあげ巧妙な謀略宣傳を開始し十九日夜イタリヤ語の放送で次の通り滑稽なデマを飛ばした

「ベルリン新聞の報道によればDNB通信社はドイツ政府がスペイン外相の居中調停示唆を受け容れた旨報道したと云はれる

以上の出鱈目は放送に對し外務省情報部長シュミット博士は廿日正午各國記者團との會見で全面的に否定し「BBCの放送は出鱈目であり全く捏造に過ぎない、最近過去二週間にヒットラー總統が歐洲各國の代表と會見した後に發表された公報にも明瞭な通り獨伊兩國は盟邦各國と相携へて完全な勝利に邁進する決意で

歐洲獨人の本國歸還數

【ベルリン五日發】政府當局は四日開戦以來昨年十二月に至る間に八十八萬六千名のドイツ人が歐洲各地方から本國に歸國した旨發表した

佛叛分子軟禁

【ベルリン四日發】政府當局は四日次の通り言明した

政府は情報に基き米英兩國政府が從來フランス國內に滞在してゐた二三フランス要人を手に入れ彼等を利用してフランス國內に對立政權を樹立し、不安と混亂とを惹起しようとしてゐるとの結論に到達した、従つてドイツ政府は從來と同様な手續に基きフランス元首首相エドワール・ダラディエ・レオンブルム、軍司令官ガムラン將軍等をドイツ國內に移すに決定した

政府は以上の諸理由を、慎重検討した結果此等要人をフランス國內に留めて置きたいとのフランス政府主席ビュール・ラヴアールの要請には應諾出来なかつた、但し此等要人の機管は全く軍事上の必要に基いてゐるので從來要人が受けてゐた取扱ひに比し、取扱を悪くするやうなことはない旨フランス政府に保證を與へ且要人をフランス政府の手に歸す旨通告した

フライブルグで盛大な「日本日」

【ベルリン二日發】ドイツ國民に對し現代日本文化の組織的紹介を行ふべく南部ドイツのフライブルグ市各劇場に於て二日より「フライブルグの日本日」の名の下に各種の催しが展開されることとなつた、初日の二日は日本大使館の佐久間公使の講演「日本の武士道精神」を皮切りに「カメラを通じて見た日本」寫眞展が蓋を開けたが、續いて夜は著名舞踊家邦正美氏の舞踊、三日はアイサー・シュナイダー氏演出の日本劇「武士道」四日は宣傳省切つての日本通マックス・ヒンダー氏の講演「日本日常生活」と云ふ豪華番組を繰り展げ、最終日たる五日には安益泰氏指

揮の大演奏會を以て、日本日の幕を閉ぢる豫定である

【ベルリン七日發】ヒットラー總統は七日海軍總司令兼潜水艦隊司令官カール・ドニッツ元帥を引見、最近の潜水艦隊の目覚ましい活躍と、同元帥の卓越した作戦指揮を嘉賞し同元帥に鐵十字騎士柏葉章を授與した

元帥の功績を讃ふ【ベルリン七日發】ベルリナー・ペルゼン・ツァイツング紙は七日の紙上で同元帥の功績を讃へ「ドニッツ元帥の名は獨潜水艦隊の不滅の戦果とともに永く青史に止められるであらう、ドニッツ攻勢は、敵陣營に恐慌を起してゐる」と述べ、ドイツツェ・アルゲマインエ・ツァイツング紙は通商破壊戦激化の反極軸國に與へた打撃を指摘してゐるやうに論じてゐる

「ドニッツ元帥の名は獨海軍に取つては榮光の合言葉であり、獨國民に取つては確信の象徴であり、敵に取つては脅威を意味する、現在認められてゐるドニッツ攻勢は同元帥の潜水艦隊司令官就任と同時に海戦における最も激烈な部分の活動が開始された事實を内外に明示した、反極軸陣營の苦惱と絶望の言葉は獨潜水艦隊の成功が反極軸軍の補給並に作戦に重大障礙を與へた證左に外ならぬ

反極軸陣營が「ドニッツに對抗し得る人物」或は「對潜水艦戦のドニッツ」を求めて騒ぎ出した事實は獨潜水艦により反極軸國に加へられたつ

ある壓迫を自ら承認した結果となつ

軍事

ドニッツ元帥に鐵十字章

【ベルリン七日發】ヒットラー總統は七日海軍總司令兼潜水艦隊司令官カール・ドニッツ元帥を引見、最近の潜水艦隊の目覚ましい活躍と、同元帥の卓越した作戦指揮を嘉賞し同元帥に鐵十字騎士柏葉章を授與した

元帥の功績を讃ふ【ベルリン七日發】ベルリナー・ペルゼン・ツァイツング紙は七日の紙上で同元帥の功績を讃へ「ドニッツ元帥の名は獨潜水艦隊の不滅の戦果とともに永く青史に止められるであらう、ドニッツ攻勢は、敵陣營に恐慌を起してゐる」と述べ、ドイツツェ・アルゲマインエ・ツァイツング紙は通商破壊戦激化の反極軸國に與へた打撃を指摘してゐるやうに論じてゐる

「ドニッツ元帥の名は獨海軍に取つては榮光の合言葉であり、獨國民に取つては確信の象徴であり、敵に取つては脅威を意味する、現在認められてゐるドニッツ攻勢は同元帥の潜水艦隊司令官就任と同時に海戦における最も激烈な部分の活動が開始された事實を内外に明示した、反極軸陣營の苦惱と絶望の言葉は獨潜水艦隊の成功が反極軸軍の補給並に作戦に重大障礙を與へた證左に外ならぬ

反極軸陣營が「ドニッツに對抗し得る人物」或は「對潜水艦戦のドニッツ」を求めて騒ぎ出した事實は獨潜水艦により反極軸國に加へられたつ

ある壓迫を自ら承認した結果となつ

ある壓迫を自ら承認した結果となつ

ある壓迫を自ら承認した結果となつ

ある壓迫を自ら承認した結果となつ

ある壓迫を自ら承認した結果となつ

ある壓迫を自ら承認した結果となつ

てゐる」

シユネバーガ氏戦死

【ベルリン九日發】著名登山家ハン・ス・シユネバーガ氏は最近前線において名譽の戦死を遂げた旨九日當局から發表された、同氏は嘗て日本に來朝しスキー術の指導に當つた事があ

經濟

重役連も八時間勤務

【ベルリン一日發】勞務動員局は勤勞均等のナチス黨綱領に基き一日新勞働條令を發表、會社及び産業團體の理事、重役等も少くとも一週四十八時間勤務すべきことを規定し、陣頭指揮を要請した、右條令に違反する場合には重役諸君も直ちに軍務乃至重要軍需工場に徵用される規定である

新州會議所活動開始

【ベルリン五日發】經濟省は昨年四月經濟會議所令を公布し地方自治經濟組織の統一強化に乗り出し本年初めには二十九州經濟會議所が設立されたが、續いて殘餘の分の設立も完了し、四月一日から全獨に亘り合計四十一の州經濟會議所が活動を開始した、地方の實情に照らし下部機關として更に十八の經濟會議所が設立されたほか支所の設けられる地域もあるが、従來の經濟會議所二十七、商工會議所百十一、州工業會議所七十一合計二百九の地方自治經濟團體は合計五十九の州經濟會議所及び經濟會議所に統合されるに至つた、これ

により單に從來の地方自治經濟團體の整理ばかりでなく、この種自治統制機關の著しい強化が行はれる、すなはち總ての自治統制機關の地方別組織は今後州經濟會議所により統一略に運営されると同時に統制範圍は黨及び政府の地方經濟行政機關と民間産業界の協力は一層緊密になるものと期待されてゐる

經濟相に株式相場決定權 限附與

【ベルリン十三日發】最高國防關係會議は今回經濟大臣に對し戰時中取引所上場證券の相場決定を行ふ可き權限を附與した

各地領占

東部占領地區綠地化

【ベルリン六日發】政府は親衛隊長ハインリッヒ・ヒムラ氏が山林長官の協力の下に東部戰線占領地區における曠野の綠化計畫を立案してゐる旨六日發表した、右綠化計畫はロシア特有の荒涼たる大曠野を開拓し、樹木を植ゑ、田畑を耕し、灌漑施設を設け道路を敷設しようといふ空前の規模のもので、特に多數の學校を開設線の芝生に蔽れた運動場を設ける等教育と體育に留意されてゐるとい

はれ、政府は同計畫實現の曉にはソ聯占領地域住民のみならず、ドイツ國民の積極的協力を要望してゐる

リトアニア對ソ抗戰を決議

【ストックホルム六日發】カウナス(リトアニア)來電「リトアニア國

民の各階層代表者はカウナスに於て國民大會を開催中であつたが六日次の決議案を採擇して閉會した
リトアニア人は過去數世紀に亘り西歐文化圏内に生活し、東方よりの侵略に反抗し來つた、ソ聯はリトアニア領土を自國領として要求し、リトアニア國民の利益を代表すると稱し、これは單なる口實に過ぎない、リトアニア民衆は西歐社會の一員として今後も生活してゆくことを要求し我々はボルシエヴィズム打倒戰にあらゆる協力を行ふであらう

アントワープの被害者一萬七千

【ブリュッセル八日發】去る五日反極軸空軍のアントワープ盲爆に依る被害は、八日午後までに判明した所で罹災者一萬七千名、内一萬名は死傷乃至家を奪はれて居る、九、十の兩日犠牲者の市葬が執行されることとなつたが、全部の柩を收容する教會がないので、式はアントワープ寺院に於て營まれ、メチェンル大司教ロイ師がミサを營み罹災地區の中心部でも慰靈祭が執行されることになつて居る

白新聞協會長暗殺中

【ベルリン十五日發】ブラッセル來電、ベルギー紙ヌーボー・ジュールナルの編輯長にしてベルギー新聞記者協會長であるポール・コラン氏は十四日午後六時暴漢に狙撃されて重傷を蒙り直ちに病院へ運ばれ手當をうけたが、十五日遂に死去した

クロアチヤ外相更迭

【ベルリン廿三日發】ベルリン駐在

英軍盲爆の犠牲

【ベルリン二日發】ヘーグ來電、オランダ政府は三月中における英空軍の盲爆によるオランダ人の犠牲につき二日次の通り發表した
△死者三百五十三名△重傷者三百六十一名△輕傷者四百名以上



伊洪兩首相會談

【ローマ四日發】ステファニ通信社にハンガリー首相のローマ訪問につき四日次の通り報じてゐる
ハンガリー首相兼外相ニコラス・カレー氏は政府首腦の招請に基き公式ローマを訪問し四月一日より三日間ローマに滞在した、カレー首相はムツソリーニ首相並にバスチャニニ外務次官との會見において獨伊兩國並に極軸各國が追求する共同目的の機構内において特に伊洪兩國間の政治・軍事上の諸問題の全般的情勢につき徹底的檢討を加へた、右會談の結果伊洪兩國政府の意見が完全に一致してゐることが再確認されたが會談は終始兩國の關係を特徴づける友好的雰囲気終始し、兩國國民の一層緊密に協力して共同の利益のために並に眞の正義と衡平との基礎の上に歐洲を再建する決意を固めた

政府の決戰態勢

【ローマ六日發】政府は六日ムツソリーニ首相司令の下に閣議を開催、内治、軍政兩面に亘る次の諸懸案を決定した
一、戰傷將校の待遇改善 前回の閣議では戰傷又は戰病死將兵の遺族に對して戰死後一年間現役通り俸給を支給する旨決定したが同じ精神に基き戰傷將校は新たに設けられる「終身勤務負傷將校」の範疇に入れられ戰傷による恩給を與へられる他、生涯を通じて現役同様の待遇を受け、負傷の程度に應じて軍務を續け、この範疇内でも大將迄昇進することが出来る、世界軍政上獨特の制度で負傷者が生涯の初期に於て經歷を中斷されるのを救済するのみならず軍にとつても經驗ある將校を多數保有すると言ふ便宜があらう
一、不急産業に於ける男子従業の禁止、劇場映畫館の案内人、切符賣り及びバス、電車の車掌を五十歳以上の従業の方針を更に強化し十六歳より五十五歳迄の男子が劇場、バス、電車、浴場、温泉等の切符賣り、料理人各家庭に於ける血洗ひ、列車掃除ホテルの給仕、衣服商、靴商、香水商等に於ける店員等凡ゆる従業を禁止した、五月一日より實施の運びに至つてゐるが右決定はイタリヤ婦人の活躍する部面は愈々擴大されたわけである
一、相續税の賦課に付戰死者遺族を優遇する件、戰死者又は空襲等敵の攻撃により死亡せる者を一生養子とする場合、相續税を嫡出子の場合と同様にすると云ふ戰死者遺族の優遇

方法である

組合相更迭

【ローマ十八日發】 組合相カルロ、チメゴ氏は辭任し、同省次官トウリオ・チアネツテイ氏が後任に任命された、チメゴ氏は去る二月組合相に任命されたが健康勝れず長期休養を必要とするので辭任した

フアシスト黨綱領

【ローマ廿日發】 フアシスト黨新書記長の要職に就任したカルロ・スコルツァ氏は廿日「フアシスト黨新綱領」を全国各地の黨支部宛通達、決戦下フアシスト黨員の奮起を促した一、革命遂行に當つて犠牲を厭ふ者は黨員たる資格を有せず假面を被つて黨員たることを装はんとする者は裏切者である

一、勝利を確信するのみでは黨員として十分ではない、勝利獲得のため凡ゆる努力を捧げることこそ吾々の任務である

一、黨員は常時國家の防衛者であり奉仕者でなければならぬ、確信のない者、柔弱な者利害を事とする者は除名をもつて報ひねばならぬ

一、フアシスト黨は民衆による貴族政治を目指してをり、それは士氣、統制、正義の三要素を原動力とし、これによつて練成されねばならぬ

一、各黨員は何れも先づ各自黨員であることを自覺せねばならぬ、黨員の任務を完全に果すことによつてのみ他の任務を果し得る

一、黨員は強固な責任感を持ち、且つ誇りを持たねばならぬ

一、黨は現政體を代表し従つて黨は黨員に對し信頼、規律、労働の最大限を期待する

一、金錢は勤務の正當な結果である時にのみ神聖である

一、悲觀論者は敗戦主義者である、従つて犯罪者と同一である、これらに對しては黨は最大の峻嚴な處置を以て臨むであらう

一、出征兵士並にその家族に對する援護は單なる同情乃至は一時的感謝ではなく、これ實に國民全體が有する義務である、而してこの義務は戦後まで繼續されねばならない

一、黨員が黨員として主張し得る權利は一つのみ、即ち、信頼―服従―祖國のための戦闘に参加するに際しては全員の前頭立つこと、これである

フアシスト黨書記長更迭

【ローマ十七日發】 ムツソリーニ首相は十七日フアシスト黨首脳部會議を召集協議を遂げた結果、黨書記長アルド・グイドウリーニ氏の辭表を受理し、後任に現副書記長カルロ・スコルツァ氏を任命した

【ローマ廿四日發】 フアシスト國民黨は廿四日新任副書記長四名の氏名を次の如く發表した

△アレツサンドロ・タラビーニ氏 一九一九年十一月入黨、前大戦、今次大戦に従軍、ローマ進軍に参加

△レオナルド・ガナ氏 一九一九年十月入黨、前大戦、今次大戦に従軍、ローマ進軍に参加

△アルフレド・クワコ氏 一九一九年入黨、前大戦に従軍、ローマ進軍に参加、一九二四年フアシスト大評議會評議員となる

△レナート・デラ・ヴァレ氏 一九二七年入黨、スペイン内亂戦争、今次大戦に従軍、本年廿五歳書記任命

【ローマ二十八日發】 フアシスト黨は廿八日書記七名を任命した

△書記 アゲーモ氏、カベラ氏、フエリチーニ氏、ギランツルコ氏、モリニ氏、ナンニニ氏、バグリアニ氏

フランクリン伯逝去

【ローマ三日發】 上院外交委員長アルベルト・フランクリン伯は三日朝ローマで逝去した、享年六十八、同氏はブカレスト、ストックホルム駐劄公使を歴任、サンチャゴ、ブエノスアイレス、ワルシヤ並にブリュッセルに大使として歴任した

經濟科學生の入學制限

【ローマ十七日發】 政府は國內決戰體制整備の一策として本年一月十一日國內各大學の募集人員制限に關する新法律を制定したが同法律は愈々來る新學期から適用實施されることになつたこの結果各大學の法經兩科の學生は法律科六千人國家經濟科七千五百人政治經濟科千人、經濟科百五十人に制限されることになつてゐる

一、一方イタリア國內全工場並に會社事務所では刻下の事態に鑑み例年休業する筈の四月二十一日の労働祭日に平常通り就業することになり當日は労働者に對しては俸給の倍額が支拂はれ一般會社員には特別賞與が給與される豫定である

伊、勃兩國間の國境劃定

【ローマ五日發】 チラナ(アルバニア)來電「ブルガリア並にアルバニア兩國間の國境劃定に關する協定が五日チラナにおいてブルガリア第五軍司令官ボイデフ大將と伊軍司令官ダルマツト大將とによつて調印された、新協定はアルバニアのオクリダ湖に面する村落ベチタニ並にその近接地域とオクリダ湖の一部をブルガリアに割讓せんとするもので右に關しては一九四一年七月ブルガリア首相のローマ訪問の際イタリア政府と接衝が行はれ、既に意見の一致を見てゐたものである

伊、又兩國の通商協定

【ローマ十三日發】 プラチスラヴアにおいてイタリア、スロヴァキア兩國間に新通商協定が正式調印をみた旨十三日政府より發表された

日高大使聲明

【ローマ廿七日發】 廿七日ローマに到着した新任イタリア駐劄日本大使日高信六郎氏はステファニア通信を通じてイタリア國民に對し次の如きメツセージを發表した

「余はイタリア王宮に對する帝國大使として此の永遠のローマに駐在する者であるムツソリーニ首相が熱を持って國家建設に當つて居られるイタリアは屢々美しき國と稱へられるが、余は會てフランス及びスウェーデンに在任中旅行者として屢々訪問し、イタリアを讚美したものである余が今回現に今次戦争を闘ひそしてお互に非常に離れてゐようとも最強くその意思をもつて共同の敵に依つて課せられた今次戦争を戦ひ抜かうとしてゐる日伊兩國の紐帯を一層強化せんとする確乎たる決意をもつてイタリアに來た、我々は凡ゆる國家に正義と繁榮を與へるところの勝利に到達する迄戦はねばならぬ、余は余の任事に全力を傾注するつもりだが共同の戦に對する我々の力を強めるための援助と相互理解に對するイタリア國民の友好且つ確實な協力を期待して止まぬ、日本及びイタリアはドイツその他三國同盟締約諸國と共に經濟的並に軍事的に正義と平和に對して生活する權利を有する青年を壓迫してこれを窒息せしめんとする連中の凡ての野心を破壊する「鐵の塊」を現に構成してをり更に永遠にこれを續けるだらう、勝利と共同の努力に對する我々の不斷の信念は必ずや最後の勝利を齎すであらう」

義勇軍北阿に出動

【ローマ八日發】 トリブーナ紙の報道に依ればチエニニア在任のイタリア人は義勇軍數箇大隊を編成、目下戦線で活躍してゐるといはれる

ニユーヨーク爆撃も可能

【ローマ十一日發】 ビエトロ・モリスナ氏は最近のトリビューナ紙の報に依つてニユーヨーク爆撃を論じ次の如く述べてゐる

「ハインケル一七七の新型は千馬力の發動機四臺を裝備、時速四〇〇軒からフランス西岸から二十時間以内でニユーヨークを爆撃した上悠々基地に歸還出來よう、出發に當り燃料機が搭載すべき貨物の全重量は飛行機である、氣象通報は大西洋上の潜水艦から受取ればよいのだから愈々爆撃を執行することになれば米國人に對し非常な心理的影響を與へ戦意を沮喪させる結果とならう」

地中海諸島を戦闘地域

【ローマ十六日發】ムツソリーニ首相は過般ヒトラー總統との會見結果に基づき、愈々地中海方面に萬全の戦闘態勢を整へるに決定した様子で政府は十六日付官報を以て、次の布告を發表した

各戦線に亘るイタリア戦闘部隊總司令官ムツソリーニ首相は今回シチリア島、サルデニア島並びに附近の諸島嶼を戦闘地區に編入した

海軍首腦更迭

【ローマ二日發】政府は二日海軍の首腦更迭に就き次の通り發表した

アゲロ・ジャキノ提督 任海軍大將補海軍大將會議委員長

エカルド・ソングリ提督 補商船護送艦隊司令長官

カルロ・ベルカミーニ提督 補戰艦艦隊司令長官

ガスバリ提督戦死

【ローマ三日發】海軍中將ロレンツォ・ガスバリ氏は今回名譽の戦死を遂げた、享年四十九、同提督は一九四二年九月水雷戰隊司令に任命され、四一年七月に、海軍少將に、同十二月海軍中將に累進、現在に至つてゐる

革靴販賣禁止

【ローマ一日發】政府は四月一日以降全國に於ける革靴の販賣を禁止して右販賣禁止は冬まで繼續される見込みである

闇行為に嚴罰主義

【ローマ七日發】ブレダラフオ紙は

フアシスト黨指導員の一人として知られるアンコナ市助役の投書を掲げてゐるが、氏は闇行為取締りの爲に特殊裁判所を設立嚴罰に處する事を主張し、惡質違反者に財産沒收は勿論死刑に處すべきだと主張してゐる

言論界方面も亦以上の輿論を全面的に支持してをり、新聞報道に依れば過去數日間に多數の不正商人並に果物商が逮捕され嚴罰に處せられた

新増税を發表

【ローマ二十日發】政府は近く所得税及び法人税の一部増税を斷行する旨二十日發表した、今回の増税は戰爭中はもとより戦後の一定期間も引續き据置かれる筈である

▲直接税を改訂【ローマ廿五日發】政府は今回直接税に關する新規措置を採用することになつたが、その内容は大要左の通りといはれる

- 一、地租一九四四財政年度より五%と定められ、爾後戰爭期間中右率%と繼續される、戰爭終了後は二ヶ年目毎に二%引上げられ、最高稅率一〇%に迄達せしむる
- 二、所得稅一九四四財政年度より投資收入に對して二四%、投資及び勤勞双方による綜合所得に對しては一八%、また自由職業(例へば醫者等)の收入に對しては一六%と定めらる、なほ他の活動による所得稅率は現行のまま据置く
- 三、證券印紙稅戰爭期間中より追つて定められる時期迄證券收入の二五%と定める
- 四、重役收入に對する特別稅一・五%
- 五、賃貸收入に對する稅最高價格

制により統制されてゐない賃貸料に對しては原則として三〇%とし、又最高價格制により減額された賃貸料に對しては免稅する、なほ投資による最高四%の利子に相當するが如き賃貸收入は、三分一を控除した殘額につき免稅される

六、其他株式會社を除く公共事業商社及び他の商業的企業による收入に對しては一定額を控除して一〇%迄の臨時稅を課す

法 王 法 應

【ローマ三日發】法皇ビオ十二世は三日ハンガリ首相ニコラス・カレリー氏を引見、重要會談を遂げた



首相對獨協調を言明

【ヴィンシー三日發】ラザアル首相は三日の國務會議の席上、パリに於ける獨側代表との折衝の結果に基き對獨協調促進の具體案に關し詳細な報告を行つたが、開議散會後次の如く言明した

本年一月一日より三月卅一日に至る三ヶ月間に約二十五萬のフランス人勞働者がドイツに送られた、その中七萬七千は勞務動員によつて徵用された青年である、徵用勞務者は一部ドイツに送られた外現在フランス國內の各工場に服務するか鐵道その他輸送機關の警備に當つてゐる、政府は農業増強が刻下の急務なる事實に

元帥佛國民に訴ふ

【ヴィンシー四日發】政府は三日國務會議において庶政一新案を決定したが、主席ベタン元帥は四日夜ラジオを通じ演説を放送し國民に對し次の通り訴へた

フランス國民は一九四〇年六月國歩艱難の際にあたり余に對し全幅の信頼を置いた、當時余は全國國民に對し唯一致團結を要望し同時に全國國民に對しては祖國にふりかかる災厄を出來るだけ阻止し祖國の復興に協力し佛軍崩壞の惡影響を取り除くため全力を盡す旨公約した、余らの努力はたかば後世史家の批判に俟つて外はないが當時責任の衝にあつてゐた人々は、彼等自身の行動の結果について責任を負ふことを避け外國に逃げ去つた、しかし余は祖國に踏留つたのである、當時フランス人は何れかの道を選ぶべき岐路に立つたので選ば余は、叛逆分子は外國と過去とを遺り余は祖國と將來を採つたのである一九四〇年七月の國民會議は余に對する信任案を可決し新憲法の公布を余に委嘱した、即ちフランス國民を裏切つた舊體制と法律的に絶縁したのである、諸君は祖國をどん底に陥し入れたやり方と人間とが祖國に對し嘗ての偉大さをとり戻すことが出来るかと考へられるか、若しこれら惡質のフランス人が考へてゐるやうに平和が戰爭以前の經濟的社會的慣習に復歸することを意味するならば、祖國は再び絶對に立ち上ることは出來ないであらう、余の手にには祖國に強力體制を復活するやうにとの手續が何千となく舞ひ込んでゐるが、過去の特權を掃蕩し豫定通りの社會機構を實施するには權威が必要なのである、無産階級的生活狀態を安易にすることは新勞働法の目標である農民諸君に對しても獨自の組織を興へるであらう、寔に祖國現在の事態は重大であるが何人も余が國民諸君の重荷を理解してゐないと考へてはならない、希くば諸君自ら深く内省されよ、然らば諸君は祖國が如何なる危機に當面してゐるかを了解し祖國を救済して利己主義と利潤追求とを打倒するために關ふ人々の仲間に入る事が出來よう、今回の戰爭で捕虜となつたフランス人諸君は收容所内において祖國の將來のために黙然と耽つてゐるに違ひない、國民諸君は又、子弟に對し新たな物の考へ方を教へて呉れなければならぬ、青年子弟は單に服従するだけでは足りない、祖國は更に行動と信念とを必要としてゐるのである、青年諸君はその際奮起して祖國の將來を決めねばならぬ、青年諸君は又その行動において、その言葉や動作に於ても優秀な民族に相應しい堂々たる態度を示さねばならない、斯くして初めて國民諸君は指導者任務が如何に困難であるかを了解するであらう

ベタン元帥は反樞軸空軍のバリその他フランス北部に對する盲爆を痛烈に非難した後最後に次の通り結論した

萬一共產主義が勝利を収めるやうなことがあれば歐洲の文明と祖國の獨立とは全く掃蕩されてしまふであらう、しかし乍ら祖國は祖國の據つて立つ精神力なくしては到底復興することが出来ない、祖國の救済は決して外部より來らざつフランス國民即ち諸君の掌中にあるのである

ベタン元帥八十七回誕生日

【ヴィシー二十四日發】 國家主席アランシー・ベタン元帥は廿四日第八十七回の誕辰を迎へた、元帥は全國に亘る誕生祝賀行事を一切禁止し、午前中は政府關係者並に外交團の慶祝訪問を受けたのみで宴會等も催されず靜かな一日を送つたと言はれる

國民哀悼日を制定

【パリ六日發】 去る四日午後反樞軸空軍の行つたバリ盲爆は白晝にも拘らず殊更に軍事目標を避けて市の中心部に爆撃を集中し、日曜で外出してゐた市民に多數の犠牲者を出し全國民を憤激させてゐるが政府はこの人道を全く無視した米英の慘虐行爲を永久に國民の腦裡に刻み込むため七日を「國民哀悼日」と定め、嚴肅な死亡者埋葬式を執行した、劇場その他の娛樂機關、各種運動競技等も七日夜まで全部閉場又は中止されるが、死亡者数は絶望視される重傷者が多いので更に増加の見込で六日朝まで死者は二百九十七名に達し他方遭難者發掘作業は六日も終日續けられた

米英が與へた損害

【パリ廿九日發】 廿八日の「ワーヴル」紙は今次大戦勃發以來米英兩國がフランス人に與へた損害を次の通り報じてゐる 損害合計死者一萬一千卅八名、負傷者二萬二千五百名で内譯はオランダで死者二千二百名、負傷者二千名、シリアで死者四千名、負傷者八千名、又パリ駐在政府代表ド・プリノン大使の言明によれば獨佛休戦以來一九四二年三月までに米英空軍のフランス諸都市に對する空襲は四百九十九回、負傷者四千五百名を出したといはれ更に一九四二年四月以來今日まで空襲による死者は四千五百名、負傷者八千名となつてゐる、而も實際には以上の数字にダカール、マダガスカル島、レユニオン島並に佛領佛領東アフリカにおける死傷者数を追加しなければならぬし又空襲による罹災者数は實に百萬の多きに達してゐる

カンボジア王忠誠を誓ふ

【ヴィシー廿日發】 佛領印度支那總督ジャン・ドクレー總督からの公報によればカンボジア王は今回フランス政府主席ベタン元帥に對し重ねて忠誠を誓ひ次の如く述べたといはれる 余はベタン元帥がカンボジア州のたゞめ間斷なく熱烈な支援を與へてくれることに對し衷心から謝意を表明し今後カンボジア州のよりよき發展のためフランス政府と緊密に協力する方針である

ベタン主席、沼田武官を引見

【ヴィシー十七日發】 首相ビエール・ラヴァル氏は十六日ヴィシー駐在獨代表クルグ・フォン・ニツダ氏と會見、續いて供給相マツクス・ボナ

フォール氏、勞働相ユベール・ドラグアルデル氏と協議を遂げた、又同日ベタン主席はヴィシー駐劄帝國大使館沼田武官を引見した

義勇軍チニジア戦線へ

【ベルリン一日發】 チニス來電ニチニジア戦線では今回ベタン元帥に忠誠を誓ふ樞軸フランス義勇軍が編成され一日早曉前線に出動した、提出に先立ち同軍司令官ヌストロウア督は激勵の辭を述べ樞軸軍と協力して重大使命を擔ひ樞軸軍の壯途を反樞軸軍に邁進する同軍の壯途を祝福した

叛逆分子を國外追放

【ヴィシー四日發】 政府は四日官報を以つて、前アンカラ駐在フランス大使ルネ・マシグリ、前大藏省外國爲替局長ク・ヴ・デ・ムーヴィエ二人が反政府運動に加擔して廉を以つて國外に追放する旨發表した

ソ聯人及び赤系スペイン人逮捕

【ヴィシー十九日發】 政府は十九日ヴィシー市に居住するソ聯人及び赤系スペイン人の一齊檢挙を斷行した政府當局は檢舉理由として「今回逮捕されたソ聯人及び赤系スペイン人はモスクワ、ロンドン、ワシントンの秘命を帯びて間諜行爲を行ふため一九四〇年六月の獨佛休戦協定締結以來ヴィシーに滞在してゐた」と説明してゐる

ミルラン氏逝去

【パリ六日發】 フランス元大統領アレクサンデル・エチエンヌ・ミルラ

氏は六日朝五時遂に逝去した 航空警備司令官任命 【ヴィシー六日發】 政府はバウル・アドリアン代將を航空警備隊司令官に任命した旨六日發表した

食糧割當改正

【ヴィシー一日發】 政府は一日附官報をもつてパン割當配給制を改正即ち實施する旨告示した、また同日の政府發表によれば、五名以上の子供を持つ家族に對しては近く食糧追加割當制が行はれる豫定といはれる

強制労働制整備

【ヴィシー五日發】 政府は非常時下勞務總動員體制の一翼として過般來實施中の國民強制労働制を完遂するため五日三個の條令を公布した、同法令により、商業部門で働く十八歳から五十歳までのフランス男子國民は全て勞務手帳を携帯しなければならなくなつた外、作業位置を變更する場合は常に勞働長官の許可を要することとなつた

共産主義の脅威を強調

【バルセロナ十六日發】 外相ゴメズ・ホルダー伯は十六日コロンプスが米大陸を發見して歸船した四百五十周年記念祝典に臨みスペインの外交政策を闡明して要旨左の如き演説を行つた

政府國防態勢を強化

【マドリッド七日發】 政府は最近數日間フランコ統領司會の下に重大閣議を開催、内外の情勢を検討した結果次の重大決定を行つた



○海軍基地の強化並に新設○一九二四年生れの壯丁徵集○内亂後軍事訓練を受けつた「臨時將校」の

ボルシェヴィキ革命が如何なる戰爭の慘禍よりも一層恐るべきものであることを我々は一刻も忘るべきでなく、スペインは共産主義こそ世界平

和に對する最大の敵として斷乎これに對する戰を續けるだらう、スペイン現政府は決して所謂全體主義に立脚したものでなくスペイン固有の思想をその基礎としてゐる、さればスペインはその獨立と名譽との爲には一戰をも辭せないがあくまでも中立維持政策をもつて進み更に機會さへあれば世界の平和を實現する爲に積極的協力を指しまいだらう」

統領視察旅行

【マドリード十三日發】統領フランコ將軍は十二日夜五日間の豫定を以て同國西北部の視察旅行に出發した同方面の軍、黨代表者と懇談するほか多數の大建築物及び研究所の開所式に臨む豫定といはれる

新徴兵令

【マドリード十六日發】政府は十六日官報を以て新徴兵令を布告、一九四四年徴兵の壯丁を本年召集する旨發表した

人事

▲カナリア島新司令官任命【マドリード九日發】政府はさきにガルシア・エスカメズ大將をスペイン領カナリア島の總督に任命したが更に九日官報をもつて同大將がカナリア島における陸海空三軍の最高指揮官を兼任する旨發表した

▲駐日陸軍武官任命【マドリード九日發】政府は九日公報を以て、ラヴアロー・イヴァニエズ中佐を在東京スペイン大使館附陸軍武官に任命した、イヴァニエズ中佐は陸軍參謀本部員でスペイン内亂の折はフランコ將軍の麾下にあつて帷幄に参加したことがある

▲陸軍異動【イドリード一日發】政府は一日次の陸軍人事異動を發表した

ホセ・ヒメネス代將 補カナリアアス群島司令官

ルイス・ラミレス代將 補第二軍團參謀長

ホセ・マルチン・プラネー大將 補第八軍管區總監

人口増加率

【マドリード十五日發】政府人口統計局の發表によれば、スペインの人口は一九三五年の二千四百六十萬人から、一九四一年には二千六百十萬人に増加したと云はれる

棉花輸入計畫

【リスボン十一日發】マドリード來電リスボン政府發表リスベインは本年上半期に棉花五萬トンを超えて輸入し、また下半期にも少くとも同額の輸入を行ふ豫定であるが、米英兩國政府は既にこれが輸送に關する保證を與へてゐると、尙右輸入棉花は國內紡績業の需要を充し、棉花價格の安定を圖らんとするものと傳へられる

ポルトガル

首相の演說微妙

【リスボン廿八日發】首相アントニ

オ・サラザール博士は國家再建の事業に乗り出して以來十五周年記念日に當る廿七日夜ラジオを通じて全國民に呼び續け、重ねて同國の二大國策たる中立堅持の方針と反共產主義の根本態度を明かにした、演說要旨次の通り

「今次大戰勃發以來ポルトガル政府の中立方針は全國民より尊重されてゐるが、ポルトガル政府は今迄中立を堅持して來たし、今後も飽迄中立を維持して行く方針には何等の變化もない、併しこの中立は無條件ではない、ポルトガル政府は樞軸、反樞軸兩交戰國陣營と友好關係を保つて行くのは勿論だが、英國及びブラジルの如くポルトガルと政治的極めて緊密な關係にある諸國が戰爭當事國であるため事態は極めて微妙である戰後問題に關しては植民地を含めて國家主權の尊重の上に平和克服の基礎を置くべきであり、小國を犠牲に供する問題の解決は斷じて正しくない」

軍使節米國へ

【リスボン九日發】陸、海、空三軍代表から成る軍使節團は米國政府の招聘に應じ九日リスボン出發空路米國に向つた

週刊誌休刊

【リスボン二十三日發】週刊サル・デ・アンゴラ誌は、今回突如休刊を命ぜられたが同誌はかねてから反樞軸の色彩が濃く戦況は反樞軸軍及び赤軍に有利な記事のみを誇大に發表してゐたので政府としては同國の中立維持に面白からずとして以上の措置に出たと解される

スイス

スイス・トルコ間の通商協定延長

【チューリッヒ廿二日發】貿易局機關紙の報道によればスイス、トルコ兩國政府は一九四二年四月十五日以來實施中の兩國間の貿易及び支拂協定を一九四三年七月卅一日迄延長するものとみられる

金輸出入統制令公布

【チューリッヒ廿六日發】財政關稅省は今同金の輸出入及賣買統制に關する命令を公布したがこれによるとスイス國立銀行は工業用金の使用許可に當り關係専門家の意見を徴し得ることとなつた、また、金塊及金貨輸出入の許可はすべて國立銀行が行ひ同行はこれに必要な費用を工業用金の場合と同様申請者より徴收することとなつてゐる

東亞向け郵便物取扱はず

【チューリッヒ三十日發】通信省は三十日トルコ國內における郵便物輸送のため今後トルコ、サウヂ・アラビア、イエーメン、イラン、滿洲國支那、日本、佛印、泰各國宛の郵便物は取扱はず、既に發送済の郵便物もスイス國に回送される旨發表した

ドンランイフ

國立銀行總裁決定
【ベルリン二日發】ヘルシンキ來電ハフィンランド元首相ハイインランデル氏は二日フィンランド國立銀行總裁に就任した

獨藏相訪問

【ヘルシンキ十三日發】獨藏相シユウエリ・フオン・クロージツ博士は大藏省財政局長シユロー博士、外務省東歐局長フオン・グルトヘル公使を帶同十一日ヘルシンキに到着した

強制労働動員

【ストックホルム廿日發】ヘルシンキ來電、政府は十九日廿才から廿五才に至る全男子の強制労働動員を開始した、體格検査は軍人と同様の線に沿つて行れてゐるがヘルシンキに於ては合格者の率は非常に高く各階層を通じて九十パーセントを越へてゐる

米公使館員引揚

【ストックホルム廿三日發】ヘルシンキ來電によれば、過般來米國公使館員は續々スエーデンに引揚げ更に二十三日の引揚げで外交官の有資格者で残つてゐるのは代理公使だけだつたといはれる、尤も代理公使が踏み止つてゐる以上、兩國の關係が未だ斷絶するに至つてゐないことは事實だがストックホルム外交界筋では米國政府の思ひ切つた措置に結局國交斷絶はないかといふ意見が有力で、消息筋の見解を要約すれば國交斷絶への前提ヘルシンキが戰

北政講和

禍の巷と化するやうな場合米國公使館員の警戒手段①ソ芬兩國間の單獨媾和を強要する威嚇手段

政府中立堅持を言明

一エスデ

【ストックホルム四日發】首相ハンソン博士は四日飽迄中立を堅持する決意を表明、次の通り述べた

「獨瑞兩國間の輸送協定について内外に相當議論が出てゐるが、スウェーデン國論の壓倒的多数はこの問題について依然政府を支持してをり、當局として政策を變更する意圖はない、協定自體だけを引きはなして考へれば必ずしも望しくないが、協定の停止に關する要求は拒否する外はない、當局が戦禍の渦中に巻き込まれるのを避けようとしてゐるのに對し全國民は飽迄支持ををしまないだらうことを確信する

丁瑞物々交換補足協定成立

クーマンデ

【バルリン七日發】コペンハーゲン來電ハ政府は同國限半年の物々交換條約に對する補足協定の調印を七日コペンハーゲンで了した旨同日發表した、右補足協定によれば、デンマークのイスニア輸出總額は八百萬クローネから千二百萬クローネに増額され、特に球根種馬鈴薯、醫藥類、機械、糸、布地アルミニウム等の輸用量が増加される

首相、樞軸への協力を説く

ハリガン

【ブダペスト八日發】首相ニコラス・デ・ザカライ氏は最近ロマーを訪問して歸國したが八日政府の會議に出席してイタリア訪問の成果を次の如く報告した

政界の騷擾事件

【ストックホルム廿六日發】スウェーデンのナチス黨と目されるスエーデン統一社會黨は復活祭休暇を機會に自然活動を開始し、東南スエーデンのウプサラ市では廿四日から廿五日にかけて市内各處で示威運動を行ひ氣勢を擧げた、特に廿五日には數千名の群衆を動員して示威大會を開催、反對派と衝突して大亂闘を演じた、更にエンケピング、ヴェステラスの兩市でも統一社會黨と反對派の間に騷擾事件があつた

滿洲國公使信任狀捧呈

コペンハーゲン十六日發

新任デンマーク駐劄滿洲國公使は十六日皇儲フレデリック殿下に謁見、信任狀を捧呈した

共和政體實施

スロヴァキア

【ストックホルム廿五日發】政府はさきくに國內各派の代表を以て憲法起草委員會を組織したが今回憲法草案が出来あがり一九四四年六月十四日から同國には共和制が實施される豫定と傳へられる、憲法案の要旨次

ス・ハ兩國經濟協定調印

ブダペスト十日發

スロヴァキア並にハンガリー兩國代表は過般來兩國國境のアレムブルグ(ブラティスラヴァ)で物資交換および支拂に關する新經濟協定締結交渉を進めてゐるが、九日新協定の成立を見、調印

勃芬新通商協定締結

ソフィア十九日發

ブルガリア、フィンランド兩國經濟代表は過般來ソフィアにおいて交渉を重ねたが、十九日兩國間に新通商協定が締結された旨同日政府から發表された

ソヴェト政府に嚴重抗議

【ストックホルム廿日發】廿八日夜半國籍不明の外國飛行機數臺がスウェーデン南部の重要海軍基地カールスクローナの上空に飛來し同港前部の小島上に爆弾を投下したが、スウェーデン政府當局が爆彈破片等を調査した結果、破片の形狀及び破片に認められるロシア文字等から右爆撃がソ連の行爲であつた事が判明した

バルカン諸國

の通り、大統領は議會により、選舉任期は四年とす

共産黨の大量裁判

【ブダペスト十三日發】司法當局は兼にハンガリー國內に於ける共産黨の大檢舉を行つたが、その結果今回正式に裁判に付される者だけで六百六十四名の多數に上つた、このうち四百八十名、約七十%まではユダヤ人であり、百四十八名がハンガリー人である

ハルビン領事館近く開設

【二月】

ブダペストより東京ハンガリー公使館に達したる公電に依れば攝政ニコラス・ホルテイ氏はハルビン在任の醫師ラヂスラス・シュニールザイツ氏を名譽領事に任命した

イロー文化協定調印

【ブカレスト八日發】

イタリア、ルーマニア兩國文化協定は八日ブカレストに於てルーマニア文相ペトロヴツチ氏とイタリア公使スコツペ氏との間に調印された

アリガルブ

【ソフィア十九日發】

ブルガリア、フィンランド兩國經濟代表は過般來ソフィアにおいて交渉を重ねたが、十九日兩國間に新通商協定が締結された旨同日政府から發表された

日高大使帝國の方針を闡明

【ソフィア廿一日發】

新任ロマー

を了した、新協定は一年間有効で之に依り兩國の物資交換量は更に増大するはづである

「帝國政府は三國同盟に参加してゐる歐洲の各盟邦との政治的、經濟的關係を一層強化することを希望してゐるが殊に豊富な原料資源を以て歐洲を援助する準備をしてゐる、勿論バルカン諸國に對しても出来る限り援助を惜しまない方針だが帝國政府はブルガリア國との關係を特に重視し、この關係を更に廣い基礎の上に置くことを希望してゐる、日獨伊三國は共同の計畫に従つて共同の戦ひを闘つてゐるから従つてその一國の活動は他の二國の活動に依存することが多い、獨伊兩國は歐洲において正義に基く新秩序の建設に努力してゐるが帝國政府も亦自國の行動圈内において同様の新秩序建設を目指してゐる、日ソ兩國の關係は全く正當である、大東亞共榮圏の建設工作について言へば、帝國は殆ど所期の目的を達成したと言つてよく、米英兩國が如何なることを企てやうとも安んじて將來の發展を待つてゐるといふ状態だ、米英兩國は今や太平洋において海上戦闘を行ふだけで大攻勢は企圖出来ぬ状態に置かれてゐるが帝國は最惡の事態に對しても萬全の用意を整へてゐる、要するに帝國は東亞に對する所期の作戦を完了し行動の完全な自由を確保してゐるが殊に西南太平洋においては日本艦隊並に航空部隊が全域を制壓し、ピルマにおいても英軍がビルマ奪回の野望を捨てず反攻を企圖してゐるが強力な日本軍のためその都度撃破さ

駐劄帝國大使日高信六郎氏は廿日夜ソフィアを出發ロマーに向つたが出發に當り記者團に對して次の如く語つた

「帝國政府は三國同盟に参加してゐる歐洲の各盟邦との政治的、經濟的關係を一層強化することを希望してゐるが殊に豊富な原料資源を以て歐洲を援助する準備をしてゐる、勿論バルカン諸國に對しても出来る限り援助を惜しまない方針だが帝國政府はブルガリア國との關係を特に重視し、この關係を更に廣い基礎の上に置くことを希望してゐる、日獨伊三國は共同の計畫に従つて共同の戦ひを闘つてゐるから従つてその一國の活動は他の二國の活動に依存することが多い、獨伊兩國は歐洲において正義に基く新秩序の建設に努力してゐるが帝國政府も亦自國の行動圈内において同様の新秩序建設を目指してゐる、日ソ兩國の關係は全く正當である、大東亞共榮圏の建設工作について言へば、帝國は殆ど所期の目的を達成したと言つてよく、米英兩國が如何なることを企てやうとも安んじて將來の發展を待つてゐるといふ状態だ、米英兩國は今や太平洋において海上戦闘を行ふだけで大攻勢は企圖出来ぬ状態に置かれてゐるが帝國は最惡の事態に對しても萬全の用意を整へてゐる、要するに帝國は東亞に對する所期の作戦を完了し行動の完全な自由を確保してゐるが殊に西南太平洋においては日本艦隊並に航空部隊が全域を制壓し、ピルマにおいても英軍がビルマ奪回の野望を捨てず反攻を企圖してゐるが強力な日本軍のためその都度撃破さ

れ英軍のビルマ奪回などは思ひもよらぬ」

外交委員長死亡

【ソフィア十五日發】十五日午前、前漢に襲はれて重傷を負つた議會外交委員長ンチル・ヤネフ氏は正午遂に死亡した、ヤネフ氏は一八九一年生れドイツで法律學を學び一九二七年當選以來ブルガリア議會の重鎮として政界に活躍殊に法曹界の第一人者とされてゐた



生産増加を強調

一 一般

【モスクワ廿六日發】共產黨中央執行委員會は二十六日本年度メーデーのスローガンは十一月の革命記念スローガンの發表まで半年に亘るソ聯の軍事、政治、經濟、文化等各般の政策動向を指示するもので殆んど各項目を通じ赤軍兵士の訓練と軍需生産の増加を強調してゐるが目立つてゐる本年度のメーデー・スローガンの主なるもの次の通り

一、赤軍指導官諸君、軍事技術を完全に體得し各兵科の共同作業を學びこれを完成し戰場における個人の勇氣と功績を部隊指揮の努力と連絡せしめよ
一、赤軍勇士と冬季戰の成功を強化擴大し戰つた一塊の土も獨軍に渡すな獨軍の決戰軍備へ獨軍を粉

碎せよ
一、ソ聯邦男女國民の軍事教練は我が國防を強化する、愛國者とし軍事教練を受けよ、勇敢なる祖國の防衛者となれ

佛亡命政權樹立か

【パリ九日發】米英ソ聯は戰爭目的に關して事毎に對立をまし反樞軸國の吳越同舟振りを曝露してゐるが九日のワイルド紙はソヴィエト政府が米英の盛り立てるド・ゴール及びジロー傀儡政權に對抗してフランス共産政權の樹立を企圖してゐると左の如く傳へ一般の注目を集めてゐる

一、飛行機工業從業員、諸君戰闘機攻撃機爆撃機を赤軍のために増産せよ、飛行機が多いほど勝利は近いのだ
一、食料品工業從業員諸君前線銃後のため、食料品を増産せよ
一、男女コルホルズ員、機械トラクター配給場員及びソフホルズ員よ農業技術者よ春季播種を行へ、最高收穫を得て前線銃後に大量の食糧を興へ、工業原料を大量に興へよう
一、男女コルホルズ員、ソフホルズ員、農業者諸君畜産を増産せよ、牧畜製品を赤軍及び國家に充分興へよ
一、トラクターコムベイン運轉手よ農業技術者よ増産の第一線に挺身しトラクター配給所、ソフホルズの仕事を完遂せよ

一、飛行機工業從業員、諸君戰闘機攻撃機爆撃機を赤軍のために増産せよ、飛行機が多いほど勝利は近いのだ
一、食料品工業從業員諸君前線銃後のため、食料品を増産せよ
一、男女コルホルズ員、機械トラクター配給場員及びソフホルズ員よ農業技術者よ春季播種を行へ、最高收穫を得て前線銃後に大量の食糧を興へ、工業原料を大量に興へよう
一、男女コルホルズ員、ソフホルズ員、農業者諸君畜産を増産せよ、牧畜製品を赤軍及び國家に充分興へよ
一、トラクターコムベイン運轉手よ農業技術者よ増産の第一線に挺身しトラクター配給所、ソフホルズの仕事を完遂せよ

一、赤軍勇士と冬季戰の成功を強化擴大し戰つた一塊の土も獨軍に渡すな獨軍の決戰軍備へ獨軍を粉

行機へ砲、戰車、軍艦等の建造に當てる筈である

モスクワ・ス市直通路再開

【モスクワ十三日發】交通人民委員部は十一日以來モスクワ、スターリングラード間の旅客直接輸送路が再開された旨十三日發表した但し最初の間はスターリン市の工場及び住宅の復舊工事に従事せしめるため専ら技師と建築労働者の輸送に制限されてゐる

【モスクワ十六日發】政府は十五日布告を公布、國內全鐵道を戰爭期間中戒嚴令下に置き鐵道從業者の規律違反は軍紀を以つて處断する旨發表した布告要旨は次の通り
一、全鐵道に戒嚴令を布く
二、全鐵道從業員は戰爭期間中鐵道運輸のため動員されたと見做し、自由辭職を認めず
三、鐵道從業員の職務上の犯罪は赤軍將兵の犯罪と同様に取扱ふ
四、鐵道從業員の犯罪は同時刑法により軍事裁判所に於て處分する
五、鐵道從業員が職務上犯罪を犯す場合に軍事裁判所の決定に基き、戰線に送つて勞役に従事させ、逃亡者に對

しては更に一層の重罰課する
六、鐵道長官に對し、從業員中の規律違反者に對し、必要ある場合は二十四日間拘留、(行政處分)に處し得るを權限を附與する

【モスクワ十三日發】交通人民委員部は十一日以來モスクワ、スターリングラード間の旅客直接輸送路が再開された旨十三日發表した但し最初の間はスターリン市の工場及び住宅の復舊工事に従事せしめるため専ら技師と建築労働者の輸送に制限されてゐる

【モスクワ十八日發】外務省は十七日ソ聯駐刺ベルギー並にギリシヤ公使館を大使館に昇格すに同意する旨發表した

外交團モスクワ歸還準備

【モスクワ廿日發】駐ソ帝國大使館付陸軍武官室は一九四〇年以來大使館と共にソヴィエトに移轉してゐたが、今回ソヴィエトに歸還することとなり十七日ソヴィエト外人幹旋局との間にその手續を完了した、帝國大使館は未だモスクワ歸還問題についてはソヴィエト政府から公式通牒に接してゐないが、多分その他諸國の外交通と共に今夏モスクワに歸るものと見られる

【モスクワ十三日發】交通人民委員部は十一日以來モスクワ、スターリングラード間の旅客直接輸送路が再開された旨十三日發表した但し最初の間はスターリン市の工場及び住宅の復舊工事に従事せしめるため専ら技師と建築労働者の輸送に制限されてゐる

【モスクワ十三日發】交通人民委員部は十一日以來モスクワ、スターリングラード間の旅客直接輸送路が再開された旨十三日發表した但し最初の間はスターリン市の工場及び住宅の復舊工事に従事せしめるため専ら技師と建築労働者の輸送に制限されてゐる

【モスクワ十三日發】交通人民委員部は十一日以來モスクワ、スターリングラード間の旅客直接輸送路が再開された旨十三日發表した但し最初の間はスターリン市の工場及び住宅の復舊工事に従事せしめるため専ら技師と建築労働者の輸送に制限されてゐる

【モスクワ二十三日發】聯軍情報局は二十三日夜A・Mヴァンレンスキ元帥が赤軍の參謀總長に任命された旨發表した、但し前參謀總長シャボシュニコフ元帥の身分については全然發表がない

參謀總長更迭

【モスクワ二十三日發】聯軍情報局は二十三日夜A・Mヴァンレンスキ元帥が赤軍の參謀總長に任命された旨發表した、但し前參謀總長シャボシュニコフ元帥の身分については全然發表がない

【モスクワ二十三日發】聯軍情報局は二十三日夜A・Mヴァンレンスキ元帥が赤軍の參謀總長に任命された旨發表した、但し前參謀總長シャボシュニコフ元帥の身分については全然發表がない

【モスクワ二十三日發】聯軍情報局は二十三日夜A・Mヴァンレンスキ元帥が赤軍の參謀總長に任命された旨發表した、但し前參謀總長シャボシュニコフ元帥の身分については全然發表がない

【モスクワ二十三日發】聯軍情報局は二十三日夜A・Mヴァンレンスキ元帥が赤軍の參謀總長に任命された旨發表した、但し前參謀總長シャボシュニコフ元帥の身分については全然發表がない

ブジヨンヌイ元帥にレーニ

【モスクワ廿日發】カリーニン議長は廿九日クレムリンにおいてブジヨンヌイ元帥に對しその六十回誕生を祝福してレーニを授與した

女戦闘機乗り出現

【モスクワ五日發】情報局は四日夜の戦況公報で女性戦闘機乗りが戦線に登場してゐることを認め次の如く公表した

ベルゴロド西北部地区に於いて中尉タマラ・パーミヤツトナヤ及びラヤ・スルナチエフツカヤ兩女性操縦士は數機より成る獨軍の爆撃機隊に遭難したマヤ・パーミヤツトナヤ中尉は二機を撃墜した、然し彼女の搭乗機も敵彈を受けたが、自軍上空まで辿り着き落下傘を以つて無事着陸した、一方スルナチエフツカヤ中尉は單機殘留して戦闘を續行、更に二機を撃墜した

赤軍婦人部隊出動

【ストツクホルム十九日發】當地に達した情報に依ればシベリア地方の婦人を以て組織された補助部隊の第一陣が最近東部戦線に配屬されたと傳へられる、この婦人部隊は赤軍兵士の大部分が第一線へ出動してしまつて空隙を埋め、後方補給任務に従事するため動員されたものだが一部は前線近くまで出動、直接赤軍と密接に協力する豫定といはれる、またドイツ軍筋は赤軍部隊の中にならり多數のトルキスタン出身兵士が混つてゐることはソ聯の人的資源枯渇を物語るものであると見てをり、そ

の六十パーセントは東部地方出身兵士であると觀測してゐる、更に赤軍捕虜の言明に依ると十六歳から十五歳までのウズベツク人は全部強制的に軍務に徵用されてゐる様子で、赤軍の兵量不足は相當深刻なやうである

市民の樂觀を戒む

【クイビシエフ五日發】東部戦線全域に亘る「泥將軍」の訪れに伴ひ戦局は漸く膠着状態に陥り獨ソ兩軍共専ら陣地強化作戦にのみ主力を傾注してゐるがソ聯國民の間には冬季戦における赤軍の戦果に酔つて戦局の將來につき過度の樂觀的な見解を抱いてゐる向もあることを否定し得ない、東部戦線における現在の小戦状態を一時的現實とみてゐるが、獨の樂觀的気分を極めて危険視し、四日附のソ聯各紙を通じて切迫する獨軍の本格的攻勢につき重大警告を發し、前線統後の一層の奮起を要望してゐる

新戦時公債發行

【クイビシエフ七日發】人民委員會議は六、七兩日の各紙に廣告を掲げ今後二ヶ月以内に政府は新戦時國債を發行する豫定だから三月七日より實施されてゐる赤軍への獻金は今後中止し國民はこれを國債購入資金に充當するやう要望してゐる

經 濟

本年度家畜増産決定

【クイビシエフ十五日發】人民委員會議並に共産黨中央委員會は昨年度における家畜増産の成果と睨み合せ本年度におけるコルホーズ・ソヴホ

イズの家畜増産率を決定、十四日は新聞紙上で發被したがその要點は(一)昨年度と一昨年度(四一年)との各種家畜の増減比較は△牛五十五%増加△羊、山羊五十五%増加△豚二%減少△肉類四十九%増加(二)家畜減少の主因は家畜の不妊と死産で個人農所屬の家畜減少も同時に指摘された、(一九四三年度)の家畜増産計畫を次の如く決定する、①コルホーズ及びソヴホイズは畜牛十一%、山羊及び羊十三%、豚十六%、四%を増加すべきこと、②個人經營農から百六十三萬六千頭の家畜を買入れ、國家に百十二萬頭の豚の賣買、屠殺を禁止、④家畜飼料の準備量八千六百七十九噸と定む⑤コルホーズは家畜を百二十%増加せしめ二千五百七萬六千羽を人工孵化すること、⑥獨軍の手中から釋放されたレニングラード、カリーニン

農業増産競争優勝地方發表

【クイビシエフ十六日發】人民委員會議は一九四二年度に於るコルホイズの農産物收穫、家畜増産及びM.T.Cの活動に關する全ソ社會主義競争の優勝地方を決定、十五日のソ聯各紙を通じて次の如く發表した

沿海州に硝子工場

【クイビシエフ廿四日發】タス通信のウラジオストツク電報によれば黒龍江岸に去る一月ガラス製造工場建設が着手され、四月十七日操業を開始したといはれる

印度ジュートの栽培

【ストツクホルム八日發】八日のモスクワ放送によれば、ソ聯はタジキスタン地方で初めて引度ジュートの栽培を開始した、まづ手始めにソ聯農業研究所の提供した種子で百二十五エーカーだけ試験的に播種したといはれる

樺太に新牧場を建設

【クイビシエフ七日發】U.P放送によれば樺太のオーハからの報道としてソヴエト政府が同島の北端ミプロヴォに始めての牧場を開設したと述べてゐる

畜増産にチュウヴァー自治共和国△第三位賞金授與 農産物増産にキルギス共和国、家畜増産にヤロスラ

米英兩國の對立

【イスタンブール二十二日發】アンカラ來電に依ればナハス・パシヤは最近ヌリ・サイドに書翰を送りアラブ諸國間の友好促進に種々示唆を與へて、アラブ諸國間の旅行査證を撤廢すること、アラブ諸國の學校における學科目を相互に關聯させ、教授法を一定すること、カイロ、アレキサンドリア兩大學がアラブ人間に及ぼす役割の重要性に鑑み、兩大學への入學志願は、志願者の所屬する各國政府から學位を授與された者に限ること等を提案更にアラブ各國間の運輸並に連絡方法等についても意見を述べたといはれる、他方、カイロ來電に依れば西亞方面における英國の出兵當局は同方面における現下の政治的、經濟的、軍事的的重要性に鑑み、アラブ會議がアラブ各國を自主的に結合させる紐帶となることを極力警戒し、英國勢力の扶植を圖るべく種々工作をめぐらしてゐる様子だが又最近アラブ諸國に對する米國勢力の進出は自覺しくアンカラ來電に依れば去る二十日米國政府がサウディアラビアに對し武器貸與法を適用する旨發表したことは同國における經濟的利権が既に米國の掌中に歸したことを意味し更に米國はアラビア半島の最南端イエメン王國に對しても觸手を伸ばし、目下同國との間に或る種の經濟的交渉が進められてゐると傳へられる、從來英國勢力の最も強かつたエジプト國內においてさへ米國の割込政策は漸次奏功し、エジプト棉の生産、輸出を獨占すべく躍起の工作を續けてゐるといはれ、



スーダン地方にも最近經濟並に輸送問題の「専門家」と稱する米人が多數人込んでゐる實情である、イランイラク兩國に對する米國の帝國主義的野望については今更吹々を要せずアラブ民族の聯盟組織體結成を契機とし米英兩國の對立抗争がこども具體的な形をもつて現れるのは時間の問題と見られる

ニガフア

【イスタンブール八日發】アンカラ來電に依れば食糧飢饉に端を發するイラン東部の騷擾に鑑み政府は有力軍隊をイラン國境に配置警備に就かせてゐると傳へられる

クライ

【イスタンブール十日發】ベグダット來電によれば英貨十五億二千二百萬磅の借款協定が英系イラク石油會社とイラク政府との間に締結されたことが判明した、同協定によればイラク政府は同會社より十五億磅の資金供與を受ける代償として同社の子會社たるバストラ石油會社及びモスール油田會社の享有する油田開發權を戰爭終結後二ヶ年迄延長するを認めてゐる

島スロブキ

【イスタンブール五日發】ニコシア(キプロス島)來電キプロス島駐屯英軍司令部は五日西亞各國からの一般旅行者のキプロス島立入り禁止、同時に寫眞撮影其他に關し嚴重な禁止令を公布し

ライ

【イスタンブール廿日發】テヘラン來電によれば藏相アラヤール・サーレクは廿九日辭任したと傳へられる

政府國境地帯警備

【イスタンブール八日發】アンカラ來電に依れば食糧飢饉に端を發するイラン東部の騷擾に鑑み政府は有力軍隊をイラン國境に配置警備に就かせてゐると傳へられる

英新利權獲得

【イスタンブール十日發】ベグダット來電によれば英貨十五億二千二百萬磅の借款協定が英系イラク石油會社とイラク政府との間に締結されたことが判明した、同協定によればイラク政府は同會社より十五億磅の資金供與を受ける代償として同社の子會社たるバストラ石油會社及びモスール油田會社の享有する油田開發權を戰爭終結後二ヶ年迄延長するを認めてゐる

キプロス島立入禁

【イスタンブール五日發】ニコシア(キプロス島)來電キプロス島駐屯英軍司令部は五日西亞各國からの一般旅行者のキプロス島立入り禁止、同時に寫眞撮影其他に關し嚴重な禁止令を公布し

藏相辭任

【イスタンブール廿日發】テヘラン來電によれば藏相アラヤール・サーレクは廿九日辭任したと傳へられる

騷擾深刻化す

【イスタンブール四日發】三日テヘラン來電によれば西北部地方で又もソヴエト駐屯軍と住民との間に大規模な衝突が起つたためにタブリーズ近郊の數ヶ村落は灰燼に歸したといはれる、一方事態の悪化に狼狽したイラン政府では三日騷擾の根本的原因を調査するため特別委員會を設置し住民と駐屯軍との摩擦除去に努めると共に騷擾地域の住民に對し被害の報告方を要請したといはれる

北部に戒嚴令

【ベルリン四日發】テヘラン放送によれば赤軍は遂にイラン北部アゼルバイジャン地方一帯に戒嚴令を公布したと傳へられる

英要人續々テヘランへ

【イスタンブール八日發】テヘラン來電に據る一切の交通機關を徵用する權限を政府に賦與する法案を可決した

英軍軍事施設を不法占領

【イスタンブール廿二日發】テヘラン來電によればイラン駐屯英國軍司令部は廿一日突如布告をもつて英國軍によるイラン軍事施設の沒收占領を發表した、右布告は廿一日ラヂオを以てイラン全土に放送されたが、その要旨左の通り

米と新條約締結か

【イスタンブール十三日發】十三日テヘラン來電に依れば米國はイラン政府に對し英、ソ、イラン三國同盟よりも強力な條約を兩國間に締結するやう準備工作を進めてゐる様子であり、スヘリ首相は十一日の議會において次の如く言明したといはれる

混合裁判所設置

【イスタンブール廿日發】廿日テヘラン來電によればテヘランに設置されてゐるイラン、英、ソ三國混合委員會は英ソ兩軍の駐屯地域内における一般裁判所を廢止し、今後「三國混合裁判所」を以てこれに代へるとに決定したといはれる

通商協定續いて成立

【イスタンブール十九日發】アンカラ來電に據る三月廿八日以來アンカラにおいて交渉を重ねてゐたが十八日に至り妥結を見、ドイツ代表、トルコ代表、クロアチヤ代表、ブルハン、ジエニナヌス氏との間に正式調印を了した、同協定は舊通商協定を基礎とし物資の交換並に支拂方法を規定してゐるが、新協定には期限なく締約國の一方から廢棄申出がない限り存續することとなつてをり、差當り一九四四年五月末日迄に一億二千萬ライヒスマルクの物資交換が約定されてゐる、ドイツ政府よりはトルコにおいて特に必要とする工業製品、トルコ政府からは生産原料をそれら供給する豫定である

米と新條約締結か

【イスタンブール十三日發】十三日テヘラン來電に依れば米國はイラン政府に對し英、ソ、イラン三國同盟よりも強力な條約を兩國間に締結するやう準備工作を進めてゐる様子であり、スヘリ首相は十一日の議會において次の如く言明したといはれる

混合裁判所設置

【イスタンブール廿日發】廿日テヘラン來電によればテヘランに設置されてゐるイラン、英、ソ三國混合委員會は英ソ兩軍の駐屯地域内における一般裁判所を廢止し、今後「三國混合裁判所」を以てこれに代へるとに決定したといはれる

通商協定續いて成立

【イスタンブール十九日發】アンカラ來電に據る三月廿八日以來アンカラにおいて交渉を重ねてゐたが十八日に至り妥結を見、ドイツ代表、トルコ代表、クロアチヤ代表、ブルハン、ジエニナヌス氏との間に正式調印を了した、同協定は舊通商協定を基礎とし物資の交換並に支拂方法を規定してゐるが、新協定には期限なく締約國の一方から廢棄申出がない限り存續することとなつてをり、差當り一九四四年五月末日迄に一億二千萬ライヒスマルクの物資交換が約定されてゐる、ドイツ政府よりはトルコにおいて特に必要とする工業製品、トルコ政府からは生産原料をそれら供給する豫定である

トルコ

【イスタンブール十九日發】アンカラ來電に據る三月廿八日以來アンカラにおいて交渉を重ねてゐたが十八日に至り妥結を見、ドイツ代表、トルコ代表、クロアチヤ代表、ブルハン、ジエニナヌス氏との間に正式調印を了した、同協定は舊通商協定を基礎とし物資の交換並に支拂方法を規定してゐるが、新協定には期限なく締約國の一方から廢棄申出がない限り存續することとなつてをり、差當り一九四四年五月末日迄に一億二千萬ライヒスマルクの物資交換が約定されてゐる、ドイツ政府よりはトルコにおいて特に必要とする工業製品、トルコ政府からは生産原料をそれら供給する豫定である

英軍使節團アンカラで協議

【イスタンブール四日發】將官三名を首班とする英國軍事使節團一行十三名はこの程ロンドンからアンカラに到着目下トルコ軍當局と協議中である、同使節團の目的は英土兩國軍

事協力の強化並にアダナ會談において決定を見た英國軍需品の對土供給の圓滑化を計るにありと傳へられる

英軍司令官總部と會見

【イスタンブール十七日發】英國中東軍司令官メートランド・ウィルソンは十六日アンカラ到着後直ちに外相ヌーマン、メネメンジョグル氏、國防相アリ・リガ、アルトウシカル氏並に參謀總長チャクマク元帥と會見協力を遂げ夜はチャクマク元帥主催の歡迎晚餐會に臨んだが引續き十七日もトルコ參謀本部首腦と協議を遂げた

【イスタンブール廿日發】ウィルソンは十九日夜半アンカラ驛發歸任した、出發に際し新聞記者團に對し會談の内容につき次の如く語つた
數ヶ月前トルコを訪問したのは最近開によつてトルコ軍首腦と連絡をとる必要が生じた爲である、今回會談はカサブランカ及びアダナ兩會談の續行とも云ふべきもので就中アダナ會談で未解決の儘残されてゐる若干の具體的問題につき協議した

軍事使節イロへ

【リスボン六日發】ハイファ(パレスチナ)來電「ザカイ・オヴエイン將軍を首班とするトルコ軍事使節第二班三十名は六日ハイファ經由エジプトに向つた

伊、英俘虜交換

【イスタンブール十九日發】アンカラ來電「伊、英兩國の俘虜交換は十九日エーゲ海に臨むトルコのイズミール市で行はれ、伊、英、土三國官

憲立ち會ひの下に、双方それぞれ約一千二百名の俘虜交換を了した

重慶使節首腦と會見

【イスタンブール廿二日發】アンカラ來電「トルコ訪問中の重慶軍事使節は廿一日首相サラジョグル氏、外相メネメンジョグル氏、參謀總長チャクマク元帥等と會談した

アリシ シリア地方の物情騒然

【イスタンブール十七日發】ベイルートからの情報によればエル・ユプリ現シリア政權の英國支持政策に對する民衆の不滿が増大し國內は物情騒然たる有様と傳へられる、總選舉を目前に控へ以上民衆の動きに狼狽したユプリ政權はシリア國民黨の協力を求めるとともにカトリックのフランス勢力及びユニオン系分子等とも協調して行かうといふ八方美人的政策で局面を糊塗しようとしてゐるが、ために事態は一層紛糾してゐる模様だ、民衆の英國反對運動は相當熾烈で官憲との間に衝突を惹起してゐるといはれるが、ベイルートでは打倒英國のビラが壁に貼られ、パンフレットが街頭で配布されるとともに三日にはダマスカスの回教寺院でシリアの將來を討議する政治的集會が開かれたが官憲の手で彈壓され出動した英軍隊との間に衝突が起り死傷を出したといはれる、シリア駐屯英軍司令官並に佛軍司令官はダマスカスで首相エル・ユプリと善後策を協議したが、今後政治運動彈壓のため峻厳な方案がとられると見られ四日エル・ユプリ首相は「シリアにつて最も重大な時期に斯る政治運

動が行はれるのは遺憾といはねばならぬ、この種紛糾こそはシリアの將來にとつて最も危険な種を蒔くであらう」と聲明したと傳へられる、一方レバノン地方でも政府は擾亂勃發を未然に防ぐため大政の努力を續けて居り、レバノン政府官吏は新聞記者と面接することは一切禁止された

▲全土に戒嚴令【イスタンブール十六日發】ベイルート來電「政廳は十六日シリア全土に戒嚴令を布告、次の事項を嚴命した
○午後六時三十分より翌朝六時迄外出を禁止○料理店、ホテルは午後四時閉店○私用電話の呼出禁止○二人以上の隊伍禁止○違反者は軍法會議に附する

經濟相更迭

【イスタンブール十六日發】アンカラ來電によれば、經濟相エミール・ムスタファ・シニハは今回辭任しフアイス・オプリが後任に任命されたと云はれる



アフリカ カイロに西亞會議を開く

【リスボン八日發】カイロ來電「英國政府は西亞並に周邊の物資輸送改善のため八日カイロに西亞自動車輸送會議を開催スーダン、パレスチナ、トランス、シヨルダン、レバノン、イラク、イラン、

エリトリア、エチオピア、アデン、キレナイカ、トリポリタニア各國代表が出席して輸送強硬化策を協議した開會に當り英國西亞常駐相ケイシーは西亞に對するゴムの割當が制限されてゐる事實を指摘し、タイヤ、貨物自動車、部分品の節約の必要を強調した

黒書で内閣を非難

【イスタンブール十三日發】カイロ來電によれば前ワフド黨書記長元藏相のマクルム・エベイド・バシヤは最近フアルーム王国に對しナハスは最近フアルームの賣國の内外政策を痛烈に彈劾する「黒書」を提出すると共に國內指導層に秘密に配布して異常な波紋を捲き起したといはれる、その内容は未だ發表されてゐないがカイロ消息筋によればマクルムはナハス内閣が議會に多數を占めて、政

汎アラブ大會を繞る動向

【イスタンブール十八日發】カイロ來電によれば西亞方面における英出先當局は第一次アラブ大會をアラビア人の意思と相反する方向に導かうとして壓力を加へてゐる様子だ、即ち大會發起者は外國に對抗する強力な統一體としてアラブ諸國のみに對する聯盟の結成を企圖してゐるの對し英當局は同大會が此の方向に走ることを極力防止し西亞全體における現下の政治的經濟的軍事的協力の重要性に鑑みアラブ諸國間のみの聯盟ではなく西亞地域各國の間に完全な協定の締結を希望する同大會に代表をも参加せしめることを要求してゐる模様で英當局の意圖が同大會を自國勢力の扶植に利用せんとすることにあらはれることは明らかであり

「黒書」をヒステリックに反駁、マクルムの行動を口汚なく罵つて叛逆の烙印を押しつけて裁判にかけるといふまじやと傳へられる
▲緋彈運動激化【イスタンブール廿五日發】英國政府のエジプト政策は最近益々積極且つ露骨化し食糧、輸送機關、石油その他の燃料、發電所等をどしどし徵用し、爲めにエジプト國民生活は混亂状態を呈してゐるが、ナハス、バシヤを首班とするエジプト内閣は依然徹底的親英政策に終始し、英當局のこの飽くなき要求を無條件的に容認してゐるため、國民の政府糾弾運動は最近一段と激化

ラビア青年國家主義者達は早くも英國の此の意圖を看破し飽くまで既定方針に向つて邁進する決意を固めてゐると傳へられる

鐵道を敷設

【イスタンブール十五日發】カイロ來電 政府は十五日エジプトとスーダン間の幹線鐵道を建設するに決定先づ上部エジプトのアスワンとスーダン國境のハルファアを結ぶ約三百料の起工に着手する豫定である

エジプト聖地復舊に協力

【リスボン七日發】アンカラ來電によればエジプト政府は同國とサウジアラビアとの協力強化の目的の下にイブン・サウド王に對し回教の各聖地復舊並に維持費の半分をエジプトが分擔する様要請したのに對し、イブン・サウド王はこれを承諾したと傳へられる、此の結果エジプト政府は醫師の一群をヘジャス國に派遣して同國の醫師と協力し住民の醫療に當る豫定といはれ既にヘジャス國には病院、野戰病院基地等が建設され住民のための「空の野戰病院」も出上つたといはれる

王族樞軸陣營へ

【リスボン五日發】カイロ來電 王フレアルク一世は五日王室令を以て王族の一員たるマンスール・ダウード公の位階を剝奪した旨發表したダウード公は去る三月中旬トルコにある親戚を訪問するとの理由でカイロを出發したが、トルコからローマに赴き、アラビア語を以て盛に英國打倒の放送に従事してゐるためエジプト國王が今回の措置に出たと解さ

議會反英熱昂る

【リスボン廿七日發】カイロ來電によれば廿六日の議會において同國內に獨占権を有する英國商社が戰爭による不當利益を占め、ためにエジプト國民の生活が脅威されてゐる事實に對し痛烈な攻撃が集中し各派議員は政府に對し徹底的な措置を直ちに講ずべき旨強硬に要求した

國王、イラン、重慶軍事使節を引見

【リスボン六日發】カイロ來電 國王は六日午後王宮においてイラン大使及重慶代理大使待立の下にイラン並に重慶政權軍事使節團を引見した

北 米伯西三國代表會見

【リスボン五日發】アルジエ來電 反樞軸軍司令部は五日夜公報を以て米第五軍首腦部並びにブラジル軍代表がスペイン領モロッコ駐劄高等事務官オルガス將軍と會見した旨次の通り發表した

米第五軍司令官マルク・クラーク中將並びに參謀長アルフレッド・ゲルツンサト少將は五日スペイン領モロッコの某地に赴きスペイン領モロッコ高等事務官ルイス・オルガス將軍と午餐を共にした、その際米第五軍司令部駐在ブラジル軍事使節エドワード・ゴムス代表並びに佛領モロッコ總督代表數名も同行した、中將クラークはスペイン軍を査閲した後非公式にオルガス將軍と數刻を過した

釋放者の大半は赤色スヘイン人

【リスボン六日發】アルジェ來電 北阿反樞軸軍司令官ドワイト・アイゼンハウアーは北阿にあるフランス叛亂軍中に依然存在するヴァイン政府色彩を有する將校を清掃するに決し十五日傀儡政權主席アンリ・ジローに對し申し入れを行つた、ジローはアイゼンハウアーの要求に屈し各部隊司令官に對し五月初めまでにヴァイン政府色彩のある將校の名簿を作成した上アイゼンハウアーに提出せしめることになつたが今回の清掃工作の犠牲になる者は陸海空三軍から相當數出るとの見られる

軍の清掃工作

【リスボン十六日發】アルジェ來電 北阿反樞軸軍司令官ドワイト・アイゼンハウアーは北阿にあるフランス叛亂軍中に依然存在するヴァイン政府色彩を有する將校を清掃するに決し十五日傀儡政權主席アンリ・ジローに對し申し入れを行つた、ジローはアイゼンハウアーの要求に屈し各部隊司令官に對し五月初めまでにヴァイン政府色彩のある將校の名簿を作成した上アイゼンハウアーに提出せしめることになつたが今回の清掃工作の犠牲になる者は陸海空三軍から相當數出るとの見られる

反樞軸首腦會談

【リスボン十七日發】モロッコ放送に依れば英第八軍司令官モントゴメリーは十六日午後空路アルジェに到着、佛叛亂軍司令官ジロー並に米軍司令官パットンとの會談を遂げたといはれる

兩司令協議を遂ぐ

【リスボン廿日發】アルジェ情報によれば十九日英第八軍司令官モントゴメリーは「空の要塞」に搭乘アルジェに赴き反樞軸軍總司令官アイゼンハウアーその他軍首腦と會見協議を遂げたといはれる

北阿反樞軸空軍副司令官

【アエノスアイレス十七日發】アルジェ來電によれば米代將L・Sチユーターは十六日北阿反樞軸空軍司令官アーサー・カニングム(英人)の副司令官に任命されたといはれるチユーターは當年三十八歳、一九二七年のウエスト・ポイント陸軍士官學校の卒業生で一九四二年には參謀總長副官を勤めてゐた

英司令官戰死

【リスボン廿八日發】アルジェ來電 北阿反樞軸軍司令部は英第八軍工兵部隊司令官フリードリッヒ・ハーマン・キツシュが機雷原を掃蕩中戰死した旨廿八日發表した、同人は英國及びパレスチナ兩國々籍を有し第一次大戰では諜報活動に怪腕を揮つた人物である

米英の北阿向け援助

【アエノスアイレス十九日發】ワシントン來電 米國武器貸與局長官ステイニマスは十九日、最近北阿から英國に向け燐鐵石二千四百噸及び肥料が輸出され米國に對しては、マンガニ鐵が輸送された旨發表した、ステイニマスは更に過去四ヶ月間に米國は北阿に十二萬六千噸の食糧を送り、英國は石炭三十六萬噸を供給した旨言明した

葡代表當局と協議

【リスボン五日發】ケーブタウン來電 葡代表當局と協議西アフリカ總督フレイトス・モラーは過般來ケーブタウンを訪問、聯邦當局と南阿及び葡領アンゴラ、モザンビク兩植民地間の物資交換増加に關し協議を重ねてゐるが、豫定を延期し更に數月間滞在することとなつた

土民軍不穩

【リスボン十日發】ケーブタウン來電 人民黨々首D・F・マランは十日下院に於て最近ケーブ州レインズブルグ土民軍の騷擾事件が起つたと發表した原因は政府が南阿土人の間に共產主義宣傳を許可したためであるといはれてゐる

印度人土地禁止法案通過

【リスボン廿一日發】ケーブタウン來電 ナタール、トランスヴァール兩州在留印度人の土地購入禁止法案は廿一日聯邦議會で第三讀會を通過した

ウエルジエ將軍戰死

【リスボン十日發】アルジェ來電 フランス叛軍司令部は十日、ジェル

ジェ將軍が戰死を遂げた旨發表した

▲首相に嚴重抗議【リスボン廿三日 來電】聯邦議會は二十七日を以て閉

議したのではないかと見られる、ロンドン來電によればタイムズ紙はワ

シントン會議の経緯につき這般の消

息を明かにし次の通り報道してゐる

と傳へられる

新船渠の起工式

【リスボン十日發】

ケイプタウン來電 南阿聯邦が南半球で最大を誇る

太平洋反攻を企圖

【ストツクホルム七日發】

西南太平洋反樞軸軍司令部は七日マツカーサー

の情報がないが、カサブランカ會談で反樞軸軍が一九四三年の作戦目

標として歐洲重點主義を決定したの

に對し重慶政權は勿論亡命オランダ政權、濠洲政廳並にニュージラ

ンド政廳等に不満尠からず更に米軍

の前途を阻止するかについて協

濠外相ねぢ込む

【アエンスアイレス十二日發】

十日午前ワシントンに到着した濠洲外相

エヴァアットは十二日ホワイトハウス

にルーズヴェルトを訪問し、西南太

平洋の情勢を説いて至急兵力を増強

するよう要望したが、ワシントン來電によればエヴァアットは十二日新聞

記者團と特に會見し米英兩國政府に

對し歐洲重點主義の誤謬を指摘する

ため今回米英兩國を訪問するに決定

した事實を洩したと言はれる、エヴァアットの言明要旨次の通り

ノツクス、マツカーサー意見對立

【アエンスアイレス十四日發】

濠洲外相ハーバート・エヴァアットは過般

來ワシントンに乗込み、ルーズヴェ

ルト及びハリリー・ホプキンス等と

會見し、西南太平洋に於ける反攻作

戰の急務を強調、特に空軍兵力の増強を要望してゐるが、以上エヴァアットの主張を前線から掩護する意味で

反樞軸 聯合國

太平洋戰局で

米陣不一致

マツカーサー、ノツクス意見對立

思はれるが勿論會議の内容は極秘である

ワシントン會議の内容については三月三十日の米國陸軍省の發表以外何

ら的情報がないが、カサブランカ會談で反樞軸軍が一九四三年の作戦目

標として歐洲重點主義を決定したの

に對し重慶政權は勿論亡命オランダ政權、濠洲政廳並にニュージラ

ンド政廳等に不満尠からず更に米軍

の前途を阻止するかについて協

濠外相ねぢ込む

【アエンスアイレス十二日發】

十日午前ワシントンに到着した濠洲外相

エヴァアットは十二日ホワイトハウス

にルーズヴェルトを訪問し、西南太

平洋の情勢を説いて至急兵力を増強

するよう要望したが、ワシントン來電によればエヴァアットは十二日新聞

記者團と特に會見し米英兩國政府に

對し歐洲重點主義の誤謬を指摘する

ため今回米英兩國を訪問するに決定

した事實を洩したと言はれる、エヴァアットの言明要旨次の通り

ノツクス、マツカーサー意見對立

【アエンスアイレス十四日發】

濠洲外相ハーバート・エヴァアットは過般

來ワシントンに乗込み、ルーズヴェ

ルト及びハリリー・ホプキンス等と

會見し、西南太平洋に於ける反攻作

戰の急務を強調、特に空軍兵力の増強を要望してゐるが、以上エヴァアットの主張を前線から掩護する意味で

チン等が頻りに日本軍攻勢作戦の脅威を説いた結果、はしなくも米國海軍長官ノックスと前線總指揮官マツカーサーとの間に太平洋を隔てて同志討を演ずるといふ珍現象を生ずるに至つた、既にマツカーサーの腹心といはれる參謀長リチャード・サランドウ少將並に航空隊司令ジョージ・ケネディ少將等は三月末ワシントンに於ける反樞軸軍統合同司令部の前の線指揮官會議に出席、四月七日西南太平洋司令部に歸任した會議の結果をマツカーサーに報告したが、同時に陸軍長官スチュムソンが八日新聞記者團との會見で西南太平洋戦線に空軍兵力を増強する用意ある旨言明したため、反樞軸軍司令部は濠洲政廳と呼應し此處ぞとばかりワシントン向けの宣傳戦を開始した、先づ軍司令部は米英兩軍の從軍記者團を集めて多數の運用機が米國內で遊んでゐる筈だと述べたが、當時A・P特派員は次の通り報道してゐる

「スチュムソンが空軍の増強を約束したのは火のつくやうな前線並に濠洲政廳からの要請に應ずるためと解されるが、反樞軸軍司令部ではチユニジャ戦線において米空軍が歐洲大陸に對する爆撃に多數參加したとかいふ米國の電報を基礎に「武器貸與法」に基き反樞軸各國に割當られる機數並に各戦線に割當られる機數を別として、米國內にはかなりの期間に亘つて建造され國內に保留されてゐる爆撃機並に戦闘機のグループがある筈で、内一部を西南太平洋に割くことは容易であらう」と飽く迄空軍の増強を期待してゐる様子だ、以上西南太平洋司令部の意向を端的に表明したのはサ・ト・

「マツカーサーの聲明で、日本航空部隊がオロ灣並にポート・モレスビーを大爆撃するに至つた事實を指摘し、日本軍は西南太平洋の制空權を確保したと流言を並べてゐるが、右報道を接受するや海軍長官ノックスは十三日新聞記者團との會見で西南太平洋水域方面の偵察は米國艦隊が手落ちなくやつてゐるから、出先の指令など受けないといはんばかりの言辭を弄した、右會見談がワシントン電報として濠洲各紙に掲載された結果、氣を悪くしたのは當のマツカーサーで近代海戦に於ては艦隊ばかりが萬能ではない、制空權が大事なのだと素人海軍長官を反駁し、茲に兩者間にとんでもない宣傳戦が展開されるに至つた」

A・P前線特派員マリリン・スベンサーは「濠洲に於ける反樞軸司令部にて」と前置し十四日前線とワシントンとのやり取を詳細報道した後ワシントンにマツカーサーの言明内容に關聯したの通り報道してゐる

「ワレミーの言明に續いてノックスが聲明を出し、ワシントン電報として濠洲各紙に掲載されると、忽ちマツカーサーが聲明を發表した、ブレヴィーは濠洲に對する一番の脅威は艦隊攻撃力の局地的集結ではない、寧ろ陸上を基地とする空軍力の集結なのだ」と述べたが、マツカーサーは以上ブレヴィーの主張を全面的に支持してゐる、マツカーサーの言明によれば日本軍は南太平洋の水路並に濠洲外部の水路を完全に支配してゐるが、この支配權を基礎にして西南太平洋の制空權を確保しようとする死闘を開始したのだといふ、マツカーサーは更に西南太平洋戦線の戦

勢を決定するのは海上權力よりも空軍力であり、西南太平洋の戦では空軍と陸上兵力との組合せをうまくやるかどうかで決定されると述べてゐる、従つて濠洲への水路に對する支配權は海上權力に専ら依存してゐるわけでもないといふのがマツカーサーの意見である

斯くして西南太平洋に於ける戰略論が公然論議されるに至つたわけだが、ワシントンに於ても所謂カサブランカ方式の範圍に於て、どの程度まで西南太平洋に對し空軍を増強するかについては論議紛々として決せず、結局ルーヴルが最後の裁斷を下す外はないだらうといふのが消息筋の一致した意見と傳へられる

更にメルボルン來電によれば濠洲首相カーチンは十四日も濠洲に對する危険を指摘し次の通り言明したといはれる

「最近日本航空部隊は西南太平洋で猛烈な攻撃に出ているが、濠洲週邊の諸島嶼の外廓は、日本軍の太平洋攻勢に絶対に必要なことであり右外廓が反樞軸軍にとつて大切なものと同様である」

▲マツカーサーの聲明内容【リスボン十四日發】メルボルン來電に依れば司令官マツカーサーは十三日日本軍の脅威を率直に認めると共に空軍の重要性を強調して次の如く言明したと傳へられる

「反樞軸軍防衛の第一線は陸上に基地を有する空軍だ、我々が若し制空權を喪失すれば日本軍は我々を救ふことは出来ない、日本航空部隊は容易に濠洲の戦を結局空軍に依つて勝敗が決せられることを考へれば、日本

マツカーサーの進退問題

【リスボン廿二日發】リスボンにおける米國筋の情報によれば、海軍長官ノックスを初め米本國政府部内では(一)米軍の護送船團がフロリダ島沖において日本海軍航空部隊のため手痛む目に遭はされたのに對し米國政府筋ではマツカーサーの措置を非難し以上の慘敗阻止につきマツカーサーが適當な方策を事前に講じたかつたのは手落ちと見做してゐる、(二)マツカーサーが濠洲に駐屯してゐる空軍特に戦闘機隊を充分使用せず、ために濠洲の北邊並にソロモン水域において日本軍航空部隊が完全に制空權を確保するに至つたこと、を指摘してゐると傳へられる、以上の非難に對しマツカーサーも負けてはをらず或ひは濠洲政廳の各閣僚をして「スチュムソンは濠洲の危機を動員し或ひは麾下の司令官を表明しガスマンを使つて色々不満を表明し最後に濠洲司令官自身が濠洲の危機を強調するといふ珍風景を呈するに至つた、リスボン外交界の消息によればマツカーサーが特に次の要求を米國政府に提出したといはれる

一、カサブランカ方式に基き反樞軸陣營が一九四三年内に歐洲重點主義を固執するのを右方式の範圍内、反樞軸軍の勝利は日本軍を構成し、結局日本軍を打ち破るに役立つであ

に増強して貰ひたい、日本航空部隊は現在西南太平洋の制空權を確保してゐるが現在手元にある兵力では以上の狀況を變へることは出来ない、マツカーサーは再三以上の希望を申出たがワシントンの統合同司令部は容易に應諾しないため最後の手段として現在印度洋に駐屯してゐる米國空軍を濠洲に割愛するやう要請し太平洋の各基地から西南太平洋作戦に右空軍を使用することを主張してゐる

らう、蓋し今回の戦争は世界戦争であり如何なる遠い戦線における勝利でも直ちにあらゆる戦線に亘り反樞軸軍の利益とならう

英國政界でも重大視

【リスボン廿二日發】

西南太平洋の作戦に關するマツカーサーと米國政府との論争は英國政界にも重大な反響を呼び起し、英國各紙も夫々論評を加へてゐるが要するに英國界筋はワシントンに統合同司令部を支持して飽く迄歐洲重點主義を反樞軸軍の作戦として主張、濠洲政廳の泣訴は自家撞着として取合はぬ實狀だ、就中デリーメール紙は曰く

「日本軍は執拗且つ逞ましい強敵だし、我々はこの事實を忘れる懸念は先づない、我々は毎週のやうに濠洲の政治家並に濠洲の新聞から日本軍の強いことの注意を受けてゐるが尤も濠洲人が執拗に自國の立場を説くのはわかるが餘り日本軍の危険を強調しすぎる結果「狼が來た」と叫んだ少年のやうな結果になつては大變だ、濠洲軍や米軍が西南太平洋で日本軍の占領地帯擴張企圖を阻止したといふ報道を受けたと思ふと忽ち濠洲に對する危険が増大したといふ報道を受けて英國人は全く去就に迷つてゐるわけだ、三月にはマツカーサーが濠洲北邊に對し日本軍が兵力を集結してゐると強調したかと思つたら數日後には公報に所謂日本軍に對する「一大災厄」が有る危険が取り除かれたといふ警告が出る始末だ、日本軍が濠洲附近の島嶼を占據してゐる限り濠洲の危険は去らないだらうが、色々喰ひ違つた聲明で英國人は迷つてゐる次第だ」

また、タイムズ紙の濠洲特派員も濠洲政廳の泣訴と反樞軸軍司令部公報との喰違ひを指摘、次の通り述べてゐる

「英國の朝野は最近米、濠兩國政府筋から出る聲明に面喰つてゐることと思ふ、濠洲外首エヴアットがワシントンで頻りに増援軍の派遣を要請してゐる最中に、反樞軸軍司令部では空中戦の「戦果」を發表してゐるし、マツカーサーが濠洲に對する脅威が重大化したと述べたかと思ふと米國海軍長官フランク・ノックスは濠洲に對する脅威など何處にもないではないかと言ふ、最近の聲明過多で反樞軸軍が日本軍を過少評價しないことになれば結構だが、同時に眞の事態を判らなくしてしまひ實際濠洲の北邊に存する脅威の正體を濠洲人が正しく見極めるのが困難になる恐れがあると思ふ、最近の聲明には濠洲人も些か食傷氣味で、陸相オードも最近パリスに於ける演説で當局筋の警告を眞面目に受取らず、戦時公債募集宣傳に過ぎないと濠洲人が當局筋の警告を一笑に附してゐるのを非難したくらゐだ」

ステムソン口先の聲援

【アエノスアイレス十五日發】

ワシントン來電によれば陸軍長官ステムソンは十五日の新聞會見で米國首腦は決して太平洋戦線を経視してゐる譯ではないと次のやうに辯明に努めたと傳へられる

「西南太平洋の反樞軸軍主腦が自己の地域に加へられてゐる危険を何人よりも痛切に感じてゐるのは當然だ、米國としても西南太平洋戦線の所要武器資材については絶えず考慮を加

へて居り、今後同地域に對する補給就中飛行機の供給は中断することなからう」

「チエニジア戦線の樞軸軍は三角地帯に追ひ込まれたが、今後同地域が激戦の中心となることは疑ひない、チエニジア戦線における米軍の役割について色々論議をなす者があるが、前線司令官アレキサンダー將軍の決定した戰略では米軍の前進には一定の限度が附されて居りそれ以上進撃してはならぬとの命令が出たのだ、即ちバットン將軍麾下の米軍並に英第一軍は樞軸軍兵力の出來だけ多くの部分を牽制する使命を與へられ、この作戦は豫定通り遂行された、米軍の側面攻撃の結果ロメル軍は一部部隊を割いてこれに對處するの止むなきに至り、モントゴメリー麾下の英第八軍はイタリア軍を主とする部隊と交戦した、米軍の牽制作戦なかりせばモントゴメリーの行動は更に困難であつたらう」

太平洋戦線の現實を見よ

【アエノスアイレス十六日發】

ワシントン民主黨上院議員アルバート・チャンドラーは十六日次の如く言明した

「余は近く議會に對して議會が太平洋に於ける戦況の推移に一層關心を寄せる必要のあることを指摘する方針である、太平洋戦域に於ける米國軍の地位は必ずしも芳しからず我々はこの方面に於ける危険に目を蔽ふ

わけにはゆかない、米國は宜しく支那に増援軍を派遣すべきだ、更に我々には日本がアラスカ本土及び米本土基地としてアラスカ本土及び米本土の太平洋沿岸都市に爆撃を加へる前線にこれを同地域から驅逐し去らねばならぬ、對日戦は決して第二義的戦争ではなく、この戦こそ米國が有史以來経験した最も困難なる戦である重慶政権は飛行機五百臺の増派を要求してゐるが、これだけの飛行機が重慶に送られたならば日本の支那の上空から追拂ふことが出来よう」

ビルマ奪回の夢を棄てず

【アエノスアイレス廿一日發】

ワシントン來電によれば前アジア艦隊司令官ヤネルは未だビルマ奪回の夢から醒めず次のやうに述べたと傳へられる

「太平洋戦線における次の大規模な作戦は恐らくビルマのラングリン奪回を目指すこととならう、日本を最後には敗北せしめるには支那を通じて攻撃する外なく海軍力のみでは日本を打倒し得ぬであらう、日本は現在太平洋において遷延作戦に出でゐる日本が極めて短期間に巨大な地域を占領した事實は史上空前の成功といふべく反樞軸國の新聞は或る場合に日本の勝利を隠蔽して虚偽の捷報を掲載するやうな有様であつた」

の詳細は左の通りである
反樞軸軍地中海地域空軍司令部司令官 空軍大將(サー)アーサー・テツダ官(英)
副司令官 空軍少將H E P ウエツゲル(英)
副司令官 空軍少將J E P ウエツゲル(英)

兩司令部は以下の空軍全體を統轄し北阿における全作戦に關しては北阿反樞軸軍總司令官アイゼンハウアーに直接責任を負ふ
一、中東空軍司令部司令官 空軍大將(サー)シヨルト・ダグラス(英)
副司令官 空軍中將F・J・リンネ(英)

同司令部は東は印度國境から西はチエニジア國境、南にマダガスカルに到る區域の戦線に駐屯する空軍を統轄する
一、北西阿空軍司令部 司令官、少將カール・スパーツ(米) 副司令官空軍少將J・M ロッパ(英)

同司令部は五部隊に分れ、内三部隊は作戦部隊、二部隊は訓練並に補給部隊である、作戦部隊は次の如くである、
一、戰術航空隊 司令官空軍中將(サー)カニンガム(英) 副司令官代將L・S チューター(米) 本航空隊の主

要任務はチエニジアにおける陸軍の掩護に在り、使用機は戦闘爆撃機偵察機である、本航空隊は更に次の三隊に岐れてゐる
A 西部沙漠航空隊 司令官空軍少將ブロード(英) 英第八軍と協力する
B 米第十二航空掩護隊 司令官代將P・L・ウィリアムズ(米)
C 空軍大佐R B クロスを司令官とする英軍航空隊、チエニジアの

地中海地域反樞軸空軍の全貌

【ストツクホルム廿二日發】

ワシントン來電によれば反樞軸軍は最近地中海地域空軍司令部を創設、地中海、北阿、中東方面の空軍を全部傘下に収めたが、これに伴ふ改組

英第一軍と協力する
2 戦略航空隊 司令官、少将ジュー
ムス・ドワリツトル(米)

本隊には米軍重爆並に中爆隊、英軍中
爆隊が配属され、任務はチユニジア
シチリア、サルジニア南部イタリヤ

の樞軸地域並に反樞軸輸送線と船
舶に對し長距離爆撃を行ふに在る
3 沿岸航空隊司令官、空軍少将

(サー) H. P. ロイド(英)

本隊は米英兩軍の偵察機隊並に戦闘
機隊を有し、自軍の基地、港灣、輸
送の要衝を防禦し樞軸商船を攻撃す
る外、潜水艦に對する哨戒偵察を任
務とする

一、マルタ島英空軍 司令官、空軍
少将(サー)キース・パーク本空軍
はマルタ島防衛用として晝間並に
夜間戦闘機を有する外、チユニジ
ア、パンテレリ島、ランパドウ

サ島等を攻撃するため爆撃機を持
つて居り、更に味方護送船團敵船
の攻撃並に一般偵察哨戒任務を
も遂行する

米加兩國北方空路を企圖

【アエニスアイレス一日發】ニユ
ヨーク・タイムズ紙の報道によれば

米加兩國政府は共同で米國からペ
リング海峡迄の空路開通を計畫し
る様子で、既に去る十二月以上の
目的の下にアラスカのセント・ユ
アス山脈地方に探險飛行を行つた

傳へられる、試験飛行の結果同山脈
一帯の高峰上空では風速八十乃至八
十五哩の強風に遭遇することがある
事實が発見されたため、十分な地上

施設が不可欠であるとの結論に達し
た模様で、兩國政府は目下多數のラ
ジオビーコンを設置し、更に百哩お

きに不時着飛行場を建設する準備を
進めてゐるといはれる、空路は大體
米本土からカナダのエドモントン、
ホワイト・ホースを経てアラスカを
横断する計畫である

反樞軸軍ユダヤ人を狩出す

【リスボン一日發】デイリー・テレ
グラフ紙の報道に依れば今回「全ユ
ダヤ軍」結成に關する反樞軸委員會
がロンドンに組織されたといはれる

「全ユダヤ軍」はパレスチナ在住の
市民権を有せぬユダヤ人に依つて結
成され、反樞軸軍の隷下に所屬して
戦闘に参加する豫定と傳へられる

通貨問題を繞る 米英の對立

【アエニスアイレス十日發】
去る七日英國政府より白書

の形式で發表されたケインズ國際通
貨改革案に對抗して、米國政府も亦
國際通貨に關する所謂ホワイト案な
るものを提示した結果、今度は戦後
の通貨問題を繞つて一紛争免れぬ形
勢となつた

「ケインズ案」は白書で發表される
前から既に各方面で色々と論議され
てゐたが、最も米國側の反感を買つ
たのは所謂ケインズ獨特の構想にな
る國際決済の勘定單位「バンコール」
が一應金に連繫しながら嚴密な意味
で金本位制度への復歸を否定してゐ
る點で、戦後建設さるべき國際通貨

聯盟の加盟國が夫々バンコールを基
礎として自國通貨の對外價值を決定
ケインズの所謂「世界銀行」は各加
盟國の出资をバンコールに換算の上
預金として帳簿に記載し、各國間の
爲替決済に當らせる仕組みになつて

あることが世界の金の大部分を獨占
する米國の利害と全く相反するわけ
だ、これに對して「ホワイト案」は
去る五日米上院、外交委員會銀行通
貨委員會及び戦後經濟政策計畫委員
會の合同秘密會議の席上、財務長官

モーゲンソーより提示されたもので、
一、國際通貨安定資金の設定、二、
國際通貨統制局の創設、三、加盟國
の通貨自由減價の禁止を骨子として
ケインズの「バンコール」に對し新
國際通貨單位として「ユニタス」を
提唱す「ユニタス」は米弗十弗と等
價とし金との自由兌換を規定してゐ
ることによつても明なごとく現在巨
額の金を持って餘してゐる米國とし
ては是非で金本位制を復活して反樞
軸各國へ過剰な金を押付けると共に

これを通じて戦後の世界に米國の金
融制覇を確立せんとす魂膽が明瞭に
看取される既にニユヨーク・タイム
ズ紙にケインズ案とモーゲンソー案
との間には對立が醜態しつつある

旨を指摘してゐるが、ニユヨーク・
ヘラルド・トリビュン紙は更に進
んで、通貨問題に關する國際協定が
達成されぬ限り通貨戦の激化は必然
的に各國通貨の自由減價による國際
的通貨混亂を惹起する危険を警告、

ケインズ案をこき下して曰く「ケイ
ンズ教授の提案は實行不可能といつ
て悪ければ全然實狀に即しなない代
ものである何となれば同案は新しは國際
決済機構の創設を提唱してはゐる

が、結局貿易尻の最後の決済手段と
して、債權國に對して債務國の輸出
による物資決済を要請してゐるでは
ないか」一方議會方面でも英國案に

對する反感は相當露骨で、ネヴァダ
州選出民主黨上院議員バッド・マツ

カランが、「英大藏省の國際通貨聯
盟案は英以外の諸國が事實上決定權
を握るやうな國際銀行になる危険が
非常に多いと反對を表明すればミネ
ソタ州選出共和黨下院議員オーガス
ト・アンダーソンも「ケインズの國
際通貨案は明かにポンドに連繫され
たものである今後英國の「バンコー
ル」米國の「ユニタス」の間に

深刻な鬭争が豫想されるが、新國際
通貨として何れが勝利を得るかによ
つて米國が現在保有する二百二十六
億弗の金の運命は決定されやうと聲
を大にして米國民に警告してゐる、
オクラホマ州選出民主黨上院議員エ
ルマー・トーマスは更に米國側の要
望を最も端的に表明して曰く「この

際各國が金本位制度に復歸するこ
とが最も望ましい、同時に各國が自
由に通貨の減價を行ふことを阻止す
るため大統領に有效な措置を講じ
得る權限を與ふべきだ」統計によれ
ば英國の金保有高は十三分の一以下
に減少し在外正貨も百五十億磅から
百億磅に減る一方通商破壊戦による
船腹の激減、對外債務の漸増、就中

印度、カナダ、アルゼンチンの諸
國に對する短期債務の増加は既に潜
在的に國內通貨の安定を脅かしてゐ
る實情にあり何は措いても先づ對外
輸出の促進による貿易尻の改善に主
力を注ぎざるを得ないので、當然事
實世界の金の大部分が米國に集中さ
れてゐる今日以後國際貿易の再建は
金の再分配を俟つてゐるは既に間に
合はないことは明かだからこの點金
本位制への復歸を固執する米國案は

その背後に世界制覇の野望を隠した
帝國主義的な提案だといふのが英國

側的主張である、英國の論議は何れ
も米國が今後不當な輸出の促進策に
出るべきことを警戒し、弗の平價切
下げ乃至は不當な爲替比率を各國に
強要して、國際貿易の阻害など敢へ
て意に介しないだらうと不安がつて
ゐるが、エノニスト誌もかかる見
地を代表して「米國がその巨大な退
藏金の一部を正常な通商決済を通じ
て放出せぬ限り國際銀行の圓滑な運
營を期する望みは殆どないこの點モ
ーゲンソーの提案は帝國主義の臭ひ
がするとなし、ケインズ案は共通の
大目標に向つて米軍の躍進を企圖し
たものである」と米國側のケインズ
總攻撃に一矢を酬いてゐる

反樞軸食糧會議

【アエニスアイレス廿七日發】ワシ
ントン來電リ反樞軸食糧會議は五
月十八日からヴァージニア州ホツト

・スプリングスで開催されるが、國
務省は參加各國と協議の結果同會議
の議題を決定廿七日次の如く發表し
た△需要並に供給 一、食糧 △各
國における消費の程度並に性格 △榮
養不良の原因の結果 △消費水準の改
善方策 △食糧消費改善に關する國內
並に國際的目標の設定 △その他重要
農作物の各國における戰前の消費水
準 △農作物消費改善に關する國內並
に國際的目標の設定

△食糧品の生産増強 ④生産方途の
究明 △過剰生産物の處理 △農産物改
良方策 △農業資源の擴充 △農民の職
業調整

△食糧品分配施設の改善 ④國內並
に國際的經濟方針と農業問題の關係

④國際貿易の擴張の農産物取引きの
改善 ④食糧分配方法の改善 ④薄級階

級の消費改善の生産過剩食糧品の國際的處分④食糧品價格並に供給方法の設定

【招請受諾】「フエノスアイレス三日」ワシントン來電に三日既にソ聯英國及び重慶政權等の始め十ヶ國が米國の招請を受諾した

▲埃及【リスボン十日發】カイロ來電に政府は来る五月十八日米國で開催される反樞軸食糧會議への招請を正式に受諾した旨十日發表した

▲ソ聯代表【モスクワ十六日發】人民委員會では今般米國政府の要請により、米國政府主催の下に開催される反樞軸食糧會議の代表團を十六日次の如く任命した

▲團長 アー・デー・クルー・チコフ
▲團長(副) グエー・エフ・スタルチン、ウエー・エス・ホムチノフ、ゲー・エフ・サクシン、デー・デー・ミニョスチン、ペー・イー・シチエギン

▲英代表【リスボン廿六日發】ロンドン來電に政府は来る五月十八日米國のホップ・スプリングスで開催される反樞軸食糧會議の英國首席代表に外務次官ローを任命した

反樞軸商船増産の真相

【フエノスアイレス四日發】ロンドン來電によれば英國戰時運輸相フレデリック・レザースは最近一九四三年中に反樞軸の建造する商船は一千四百萬トンを突破しようとして發表し、その内譯として米國一千二百萬トン英國五十萬トン、カナダ百萬トンの数字を挙げた、この数字自體が頗る大袈裟であらうレザースは樞軸潜水艦による撃沈船が一九四二年の程度に留まるならば反樞軸諸國の新造

船高は優に喪失高を越えるだらうと樂觀的見解を發表したが、レザースの右發表は、一、戦前に於ては世界一の海運、造船國を誇つた英國の造船事業が意外に凋落してゐること

一、米國が頻りと宣傳してゐる造船の増大が頗る大袈裟なことを端しなくも暴露した、即ち米國政府當局は一九四三年の造船計畫を一千八百萬ト乃至は二千萬トンと稱して宣傳に努めてゐるが、レザースの發表は米國の本年度造船高を一千二百萬トンと特定し、米國の發表が全くの架空的数字に過ぎないことを暴露した、他方ワシントン來電によれば米國海軍委員長エモリー・ランドは皮肉にも最近議會に對して米國の造船能力が既に年二千萬トンに達したと豪語したが、同時に資本の關係によつてこれ以上造船能力の擴大は企圖してゐないこと、並に米國が大量生産を行つてゐるリバリティ型船の使用に堪へる年數は二十ヶ年であると發表した

▲英米共同生産委員會事務總長【リスボン四日發】ロンドン來電に政府は四日米英兩國に共同生産資源委員會事務總長に共同代表ニユー・ホールが任命された旨發表した事務總長は共同委員の運籌に當る他右委員會の下に設立される各種委員會の活動を指揮し米英加三國の資源の開発生産の調整に當る筈である

▲報告書を起草【リスボン廿六日發】反樞軸國避難民會議は十日からバミューダ島のハミルトンに於て開催され、閉會式にあつたのは、米國代表ドット英國代表、ローウが夫々會議の目的を闡明、特に次の通り述べたと傳へられる

一、避難民救済問題は米英兩國だけで處理することは餘りに大きな問題から會議では戰時に際し可能な提案を示唆するに止める

一、避難民を即時救済することは出来ないが、一層廣汎な國際的組織と國際的行動に出る何等かの基礎を今の會議で暫定的に検討したい

一、爾來連日會議を重ねた結果、約八萬人の避難民を中立各國に移住させる方針を決定し以上の事務に當るため避難民事務局を開設するに決定したとハハれる、北アフリカ各地につ

ては作戰的關係上、以上の避難地域から除外するといふことに米英兩國代表の意見が一致したが、パレスチナ地方を除外するかどうかについては米英代表に意見が對立し、かなり論議が紛糾したと云はれる、結局英國代表が頑強に一九三九年白書の趣旨を固執しパレスチナ地方はユダヤ人に限ることを主張し結局同地方も避難候補國から除外された様子である

▲會議終了【フエノスアイレス廿九日發】米英兩國政府は去る四月十日以來バミューダ島のハミルトンに反樞軸避難民會議を開催したが、ユダヤ人の佛領アフリカ地方移住その他の問題を繞つて兩國代表の意見が對立し、結局廿八日に至り何等具體的結論を得ずに閉會ユダヤ人の北アフリカ地方移住案も同地方が作戰地域であるとの理由から遂に米國政府筋の反對に遭ひ、撤回の已むなきに至つたと傳へられる、尤も兩國代表は同會議の失敗を認めながらも廿九日次の共同聲明を發表したと言はれる

一、米英兩國代表は ①、勸告案は反樞軸の戰爭努力を阻害乃至遅延させないか ②、戰爭状態の下において實現出来るか、との見地より米英兩國政府に提出する勸告案に検討を加へたが以上の條件に合致しない一提案は拒否した

亡命政權

亡命政權中央銀行發出

【リスボン七日發】第二次世界大戰の勃發以來歐洲大陸は樞軸の支配下に歸し、少數の不満分子がロンドンに亡命政權を樹立して居るがその結果英京には亡命政權の「中央銀行」が簇生すると言ふ珍現象を呈してゐる、フアイナンシャル・ニュース紙は以上の實情を傳へて曰く
「ロンドンに亡命政權の中央銀行が簇生して未だ嘗て見ない珍現象を呈してゐる、最初に英京に設立されたのはノールウエイ中央銀行でその次にはポーランド銀行が設立された、これは大戦勃發直後フランス國內に設立されたがフランスの崩壊とともにベルギー國立銀行の一理事に依つて代表されるベルギー銀行、第四はギリシヤ銀行であるがその他に今一つ「ド・ゴール派」も一九四二年初頭フランス中央銀行を設立したが、右五銀行の内ポーランド銀行ベルギー銀行並にフランス中央銀行の三者はブリッセル街の英蘭銀行に本據を置き、ノールウエイ銀行並にギリシヤ銀行の兩者はそれぞれ亡命政權本部に設置されてゐる、之等銀行の業務はその性質上相當の制限を受けてゐるが、その主な業務は亡命政權の財政の管理にある、銀行の一部は早くも本國解放の日に備へて兌換券の發行を準備してゐる

【フエノスアイレス十九日發】米國が主唱する三大會議の一つたる避難民救済會議は愈よ十九日からバミューダ島のハミルトンに於て開催されるが十九日ハミルトン來電に依れば今次會議に於ては(一)歐洲から避難した數千のユダヤ人(二)フランスに於て逮捕された赤色スペイン人(三)東アフリカへの移住を希望してゐるスペイン國內のフランス避難民等の問題が解決が主要議題となつてゐると傳へられる

同會議に對し英國は殆ど形式的に代表を派遣したにすぎないものと觀測され、英國代表ローは本國政府より「米國代表と論議を闘はずことなく問題を慎重に検討し諒解に到達する様努むべし」との訓令を接受してゐると傳へられる、一方プリンストンの大學教授ハロルド・ドットズを首班とする米國代表團は既に人種的見地に基き各國避難民救済に直ちに適用すべき具體的提案を用意してゐるといはれる

一、避難民救済問題は米英兩國だけで處理することは餘りに大きな問題から會議では戰時に際し可能な提案を示唆するに止める

一、避難民を即時救済することは出来ないが、一層廣汎な國際的組織と國際的行動に出る何等かの基礎を今の會議で暫定的に検討したい

一、爾來連日會議を重ねた結果、約八萬人の避難民を中立各國に移住させる方針を決定し以上の事務に當るため避難民事務局を開設するに決定したとハハれる、北アフリカ各地につては作戰的關係上、以上の避難地域から除外するといふことに米英兩國代表の意見が一致したが、パレスチナ地方を除外するかどうかについては米英代表に意見が對立し、かなり論議が紛糾したと云はれる、結局英國代表が頑強に一九三九年白書の趣旨を固執しパレスチナ地方はユダヤ人に限ることを主張し結局同地方も避難候補國から除外された様子である

チャーチル首相演説の要旨は次の如きものである

「余はここに會合した人々に對し炭坑業者並に炭坑勞務者が相協力して石炭生産を最大限度に實現するため凡ゆる障害を排除するため献身的努力を行ふことを要請するものである外國の批評家連は英國が進歩的な國民でなく取るに足らぬ國民であると我々英國民は活氣に満ちてゐない、すあらんとする勿論我々は過去において誤りを冒してゐる、又我々は判斷を誤つた、しかしその結果は取り返へしがついてゐる、ヒットラー總統とて失敗は冒してゐるので彼は一九四〇年に英本土に對して上陸作戦を行はなかつたではないか、當時余はヒットラー總統が上陸用の舟艇に百萬に近い兵力を乗せて英佛海峡を横斷して英本土に進撃したなら一體どんなことになるかをよく考へて見た、獨軍の英本土作戦が成功したとすれば一體英國はどんなことになつたかを今考へて見ても戰慄せざるを得ない、今日こそ英國は萬臺乃至一萬二千臺の戦車を持つてゐるが、當時我々の持つてゐた戦車は僅々五十臺であり、野砲は約二百門でその内の若干は博物館から持ち出した來たものであつた、我々は武器の全部をダンケルクとフランスの戦線で喪失してゐたのである、我々のはかかる重大な試練に直面してゐたのである、勿論我々は戦つたであらう近代科學と工業によつて出來た近代武器を持つてゐる者がこれを持たぬ者には絕對有利な立場を確保することは當然といはねばならぬヒットラー總統は勇猛果敢に戦ふ國民をも

てゐる、當時英國の危機は瀕水艦の活躍であつたが現在では危機打開の目鼻はついてゐる、ドイツの軍力は最も恐るべきものであり、我々は決してこれを過少評價してはならぬ、獨軍が英國の心臓部に一撃を加へんか全世界は直ちにドイツのものとなる、而して獨軍の目標は英國であつたのだ、我々は多數の軍隊を海外に派遣しこれら軍隊はエジプトその他で勇戦してゐる、戦争は今じまつたばかりであるが、最終目標を目指して徹底的に戦争を遂行しようとしてゐるのである、本年だけでも英本國からエジプトへ又印度からカスピ海の南方に位する廣汎な地域に送られた兵員は五十萬に達した、然し危険は依然横たはつてゐる、彼らは明かに歐洲の到る處に最大な要塞を構築し數年間に亘つて戦争を持ち耐へ得るのである、我々は現在偉大な聯合國を有してをり、最早孤獨ではない、卅に上る國々が我々とともに進みソ聯も聯合國に參加し、かくして制空權の把握といふ點でもこれら聯合國の協力が行はれてゐるのである、我々は現在エジプトで幾分優勢を持つてゐるが、更に凡ゆる戦線でも將來優勢を保持することとなる、凡ては全國民が分ち持つてゐる確信に基づけられた不動の意志の力に依存し我々は祖國を光榮あらしめねばならぬのである、一九四〇年の危機は我々が人類の自由を救つたといふ嚴肅な眞實以外の何者でもない、我々はソ聯に對しては武装する時間と、又米國には組織化する餘裕を與へたのである、現在最も我々に對つて面白からぬ緊張は見られない、一方の窓が開かれてゐるから北阿に軍を上陸せしめる準備が出來た

なければならぬ、恐らく英國にとつて我々がいかに處置すべきに迷ふやうな事態に直面することになるかも知れない、我々は自己の偉大な救助作業を放棄してはならない、我々は最後の結場に到着するまで自己の任務を遂行しなければならぬ」

イーデン訪米使命を報告

【リスボン八日發】 ロンドン來電「イーデンは八日の下院において過般のワシントン訪問に關し次の如く説

「今回のワシントン訪問は一九四一年十二月のモスクワ訪問に匹敵する重大使命を有するものであつた、余はチャーチル首相の承諾を得てハル國務長官が何時でも好都合の時に英國に來訪するやう約束した、今次ルーズヴェルト大統領との會談における主要な議題は次の三問題に歸着した、第一は作戦事項に關するものであつて、これは戦争遂行上直接の關心事である、しかしかかる問題は明かに余は現在ここで論議し得る性質のものではないが、我々並にチャーチル首相は等しく最近の戦局進展に満足したことだけを述べてをる

第二の議題は作戦と關聯する英米兩國間政治的協力の問題であつて、これは北阿問題がその適例である、米國政府は久しくグイシー政府を承認してゐたが、これは何もグイシーが好きだからではなく、さうすること有利だつたからであり、我々も亦この見解に賛成する、實際、歐洲に一方の窓が開かれてゐるから北阿に軍を上陸せしめる準備が出來たのである、この種の問題については兩國が互によく諒承しなければならぬ、しかしフランスに對する將來の政策に關しては、今や英米兩國は完全な意見の一致を見た、第二の議題は戦後計畫問題であつて戦後計畫の必要は英米兩國の双方により等しく認識されてをり、その概貌について、極めて近似したものがあつた、これらの對策は今漸くその緒に附いたばかりで、今後更に他のすべての反極軸國政府とも協議が行はれやう、英米兩國間の友好關係については從來屢々一緩一弛であつた、兩國の關係はその基礎の祖先とか言語等の感情に置くことには限りでも、と現實的な基礎の上に築かれねばならない、我々は武力によつてドイツ、イタリー及び日本の何國も再び彼らの勃興することが出來ないやうにさせる必要を痛感する」

イーデンの工作全く失敗

【ストックホルム十一日發】 外相イーデンの下院に於ける華府會談の内容が説明があつたが、依然その成果に容疑の種々の見解が流布されてゐる、ロンドン情報に基き英國消息筋の見解が一致する點を拾へば次の通りである

一、戦後歐洲の國境畫定問題についてはルーズヴェルト、イーデン兩者間に若干の歩み寄りがみられたが併し右はルーズヴェルト個人の見解であり、米國議會、特にルーズヴェルトの政策に對する批判の聲が強い上院の強硬な反對が豫想される、從つて戦後問題に關する米國不易の方針を打診し、併せてその方針と英國の方針との間に融點を見出さうとすることを明渡すことを拒絶したため戦争は

たイーデンの使命が完全に失敗したことも充分に豫想される

一、ルーズヴェルトとイーデンはソ聯がその國境を一九四一年六月獨ソ開戦直前の現狀に復することを要求してゐるのに對し、原則的には承諾を與へることに意見の一致をみた模様である、從つてソ聯がベツサラビア、北プロヴエナ、バルト三國を併吞し、一九四一年のソ芬停戰協定に基き兩國間の國境を畫定する件は米英の公認する所となつた譯だが、イーデンは歸國後この點をマイスキー大使に通告したものとみられる、但し一般にクレムリンは戦後問題に關する反極軸陣營の協力よりは寧ろ純軍事上の問題に關する米英の支持を望んでゐる、その理由はソ聯は自國畫定問題は自動的に解決されると考へてゐるからである、從つてソ聯は戦後問題については寧ろ冷淡といふやう

捲き込まれたのであるから舊領土の大半の放棄を求めざるを得ない提案を受けることは考へられない、この際ソ聯の穩當で協力的な態度が望ましい

一、戦後のバルカンについては小國の聯邦組織が論議されただけで獨自の決定には至らなかつた、結局イデンは主として戦後計畫においてソ聯の占める地位につき米國と協議するため華府を訪問したか何等の具體的成果をも得ずに空しく歸國したといふのが英國消意筋の結論であるやうだ

對印度問題

倫敦印度聯盟決議案採擇
【ニュースタンプブル十八日發】

報道によれば在ロンドン印度聯盟は前英國鐵道從業員組合長ボツツの司會の下に十八日大會を開催、次の如き決議案を採擇したと傳へられる一、印度總督リンリスゴの本國召遣並びに印度事務相アメリの辭職を要求する
一、最近英印政廳により發表された白書を排斥する
一、印度政界領袖と直ちに交渉を開始することを要求する

印度の役割を評價せよ

【ストツクホルム十九日發】 ロンドン來電 英國印度事務相顧問サー・アトウィール・チャタージは十九日

イムス紙に書簡を寄せ印度は自國防衛に關し英國に全然「おんぶ」してゐる譯でないといふキングスレー・ウツド蔵相及びアメリ印度事務相の言明に反駁を加へてゐる
一、印度は一九四二年度に自國國防費として一億八千萬磅を支出してゐるこれは印度が戦前の豫算で國防費として僅か百萬磅を支出してゐるのに比べると極めて大きな額だ、印度は戦争に勝つことを他の英帝國諸領に劣らず熱望してゐる、英國は印度が演じてゐる役割をもつと高く評價すべきだ

對米非難

議員公然米國を非難
【リスボン十三日發】 ロンドン來電に依れば十三日の下院において無所屬議員カンニンガム・レイド大尉が「米國民の大部は英國が戦争遂行に對して行つてゐる勢力を輕視してゐる」と米國側を鋭く非難したことからこれを辯明する情報相ブレンドン・ブラッケンとの間に猛烈な應酬があつた、レイド議員の言明内容は次の通り

「米國民の大部は現在の戦争に對する英國側の貢獻を輕視してゐる、米國民が英國の戦果並に戦争目的に關して誤つた見解を持つてゐる事は實に遺憾だ、勿論米國は英國と同様に眞剣な氣持で現在の戦争を遂行してゐるとは信じてゐるが米國民は英國と異り反輻軸側を非難する態度を採つてゐる事は残念千萬だ、また米國に駐在してゐる英國の新聞記者連は全く無能で記者たるの資格を持つてゐない」

政黨

勞働黨内訌

【リスボン十二日發】 ロンドン來電 勞働黨は十二日突如として同黨プリストル支部を除名處分に附しこれを契機として端々も勞働黨の内訌が表面化して至つた、プリストル支部は多年同支部員として活躍した飛行機製作相スタツフォード・クリツプスの息のかかつたものであるが同人は近くガリストル支部の全權を掌握してその活動を恢復し従來の主張たる人民戦線結成を企圖するのではないかと見られ既に共產黨關係者はその成行きを重視してゐる、而してこれを機會として英國共產黨な同支部に働きかけて部員の共產黨合流を慫慂し勞働黨に對して本格的抗争を開始するのではないかと見られる

國民自由聯盟一誕生

【リスボン十七日發】 ロンドン來電 戦時下政府の採るべき方策を全面的に支持する一方戦後における政府の私立諸財政機關に對する統制力を制限せんとする目的から下院議員九名によつて構成される「國民自由聯盟」が十六日ロンドンに設立された

同聯盟は自由黨議員ジョージ・ハンバーを會長とし保守黨員レオ・ラン・ド・ライルが財政部長に就任してゐるが、政治に關係しない専ら私有資本の保障に當ることになつてゐるといはれる

流れ込んだ避難民

【ストツクホルム七日發】 ロンドン來電 首相チャーチルは七日下院における書面回答で、一九四〇年から同四十二年に至る三ヶ年間英國及びアイルランドに避難した外人の数字に關し次の如く説明した
一、輻軸國及びその占領地から英本國へ避難した反輻軸國民六萬三千名以上(海員二萬名を含む)
一、一九三九年十月一日から同四二年十二月三十一日まで大藏省から支出した難民救済金百二十一萬ポンド、一九三三年以降の政府支出並に個人的寄附金を加算すれば九百五十萬ポンド

土に商船五隻讓渡

【リスボン十五日發】 エクスチエンデ・テレグラフ通信社の報ずるところによれば英國は今同トルコに對し商船五隻を讓渡することとなつたといはれる、右はアダナ會談の決定に基いたもので五隻の總噸數は二萬五千噸である

【ストツクホルム八日發】 ロンドン來電 米國戦後救済委員長ハーバー・ト・リーマンは八日ロンドンに到着した

ヒルマ作戦失敗を頻に陳辯

【リスボン十三日發】 アラカン戦に於ける英軍今回の敗退に就いてイムス紙は社説を掲げ次のやうに述べてゐる
「日本軍がマヌ河を渡つてラテドンに進出しマヌ半島突端に近いドンベイクを押へた結果英軍は退却するの止むなきに至つたがその結果漸く日本軍を食ひ止める事が出来るに至つた尤もモンスーンの季節が近付くことに英軍が前進基地を抛棄せねばならぬといふことは余り愉快なことではない、同時に今度の反攻作戦開始に當り此の前進基地を獲得したことが或る方面で誇大に強調されたことも此の際指摘して置かねばならぬ、反攻作戦の目的はヒルマ地方に對する侵入を開始することではなくて日本軍がアキヤブ地方を基地として海上又は空中からベンガル州を攪亂することを阻止するにあつた、一部には又アラカン地方に於ける英軍當初の作戦があまりに慎重に過ぎたといふ議論も出てゐるが森林やクリクや沼澤地帯で一杯の地形だから輸送が非常に困難であり且巧妙不敗な日本軍が同地方の地形を利用して非常に有利な地歩を占めてゐた事實を充分斟酌しなければならぬ、英軍今回の反攻は反攻に依つて如何なる戦果を収めたかといふことではなく、反攻に依つて如何なる日本軍の企圖が阻止されたかといふことで判斷されねばならない、ヒルマ地方を奪還し重慶政權を救ひ出す第一には優勢な海軍と空軍力の結合が第一に必要である、以上の兵力が出来上るまでに

軍 事

國內の財産被害
【ストツクホルム五日發】 ロンドン來電 戦時損害委員會委員長マルコム・トラストラムは五日開戦以來

はアラカン地方の作戦は飽くまで牽制と防禦とを本質とするであらう更にロイテル通信社は十二日夜重慶向放送、所謂チャイナルーターに於て今回の敗戦に關する英國陸軍省當局の言葉を長く放送してゐるが右放送の要旨次の通り

「ロンドンに到達した公報に依ればマニ半島に沿ふ日本軍の進撃は英軍が多大の死傷を出した後に遂に喰ひ止めるに到つた、日本軍が密林地帯を通じ「惡質滲透作戦」を執拗に續け英軍の背後に不意打ちの罠をかかけた結果英軍は遂にドンベイク地帯から撤收し更にインデンの西北三哩の地點で退却を繼續してゐる、日本軍は英軍が陣地を固めるのを阻止するため凡ゆる手段を講じてゐる實狀だ、然しモンスーンの季節も近づいてゐるし出来るだけ損害を少くして適當な地點に宿營するために英軍は更に局地的の退却を餘儀なくされようさうなれば今回のアラカン作戦は當初作戦が開始されたブチドンに逆戻りすることとなり、今回英軍が退却の已むなきに至つた原因として當局筋では次の事實を擧げてゐる

一、日本軍が密林地帯において極めて巧妙且機略縱横であり殊に夜間の密林地帯に非常に習熟してゐること

二、日本軍が迅速な浸透作戦によつて英軍の側面並びに聯絡線を脅威したること、マニ半島中央は密林に蔽はれた尾根が縦走してゐるが英軍は海岸づたひに非常に骨を折つて新しい道路を造つたこの道路によつて補給を企圖したのであるが、右道路は日本軍の占據する所となり英軍は遂に退却するの已むなきに至つた、アラカン作戦の目標は第一にアキヤブ地

方の奪回であるが以上の目的は遂に達成されなかつた、第二に日本軍がアキヤブ地方を空軍基地として使用することを阻止するにあつたが、以上の目的は反樞軸空軍の絶えざる爆撃で或る程度達成したと言へやう、第二に日本軍の印度進入を阻止することだが以上の目的も亦達成された

第四に日本軍に對し出来るだけ甚大な損害を興へることが以上の目標であるかを強調し、次の通りはき言を並べてゐる、アキヤブ地方の奪回には陸海空三軍の協力を必要とし殊に多數の短艇を必要とする

然るに反樞軸軍が佛領北アフリカ植民地に於て作戦を開始した結果、殆ど短艇の餘力なく到底大規模な作戦をアラカン方面で遂行することは出来なかつた、今回のアラカン作戦に於て英軍の學んだところは次の通りである

第一、ビルマ地方の奪回には日本軍陣地に對し尠大な空軍並びに艦隊を集結することが必要である、一方の戦が他の戦線に不斷に補給を移動することが出来ない限りビルマ地方の奪還を云々するのは單なる希望的観測で特に重慶政権に對し根も葉もないでなければならぬ

鑑み本當のビルマ反攻作戦の準備として新しい戦術並びに戦法を工夫すべき必要がある、先づ如何にして今度の経験を英軍將兵に對し活用するか、次に日本軍の巧妙な浸透作戦に對し如何にして交通連絡線を改善するか等々の問題を緊急解決することが必要である

通商破壊戦で國內不安増大

【ストックホルム六日發】獨潜水艦隊の春季攻勢は三月に入つて異常な威力を發揮し反樞軸船九十餘萬噸を撃沈するといふ戦果を収め反樞軸軍の大西派糧道は將に兩斷されようとする危機に當面するに至つたが、英國政府一切煩被り政策で押し通さうとしてゐるのに拘らず、米國海軍長官ノックスが六日率直に潜水艦戦の脅威を認めるに至つたため、英國海軍省筋では少からず狼狽してゐる模様だ、ノックスの言明に關聯し、ロイテル電報は英國海軍省筋の意向を次の通り報道してゐる

「ノックスは三月に入つて商船の喪失噸数が増加し樞軸潜水艦は英本國並にチニシヤ戦線に對する補給線遮断を期して必死の活躍を續けてゐると述べたが、海軍省筋では右言明に別段驚いてゐない、デーニッツが獨海軍司令に就任して以來、春季攻勢は屢々獨軍筋で豫言してゐた所であり、大西派の悪天候も漸く收つてゐるから獨潜水艦の戦果が増大するのは寧ろ當然であると言つ

ても獨軍の撃沈噸數に關する發表が非常に誇張されてゐるのをその儘受取らうといふわけではない、ノックスは大西洋に出撃してゐる獨潜水艦の數が最近増大してゐるといつてゐるが、一月二月におけるドイツ潜水艦の戦果が豫想してゐた所より非常に少なかつたことを見逃してはならない潜水艦基地に對する爆撃の結果についてノックスが述べてゐる所は不十分をまねがれず、且通商破壊戦の結果で國內の不安が増大してゐるから近くチャーチルが事情を説明することゝならぬ

空軍ブラジルに出動

【ウリスボン十二日發】リオデジヤネイロ來電「ブラジル政府の参戰以來ドイツ潜水艦はブラジル東岸において反樞軸船舶に重大脅威を興へてゐるが、ロイテル電報によれば海軍省は英空軍部隊がブラジル沿岸地方に進駐同地點の米國空軍と協力して對潜水艦警戒に當つてゐる旨言明したといはれる

今次大戦の前途は暗い

【ストックホルム六日發】ロンドン來電「タイムズ紙は六日、一九一八年の三月と一九四三年の三月とに於ける反樞軸國の戦争様相を比較検討した結果は一九一八年三月が現在よりもはつきりしてゐたと結論してゐる、要旨次の通り

一、反樞軸國の情勢に現在の方が悪い、一六二八年三月には潜水艦戦争の暗黒時代はもう過去のものとなつてゐたが今日ではまだ暗黒時代にはなれてゐない

一、前大戰に於て反樞軸國は西歐に於て廣汎な地域を占領したが今日反樞軸國が歐洲大陸に於て一片の土地も支配下に收めてゐない一潜水艦は米英に對するドイツの最良の武器である、ドイツは潜水艦に依り非常に多くの好機を興へられるのに反し、反樞軸國はその活動の凡ゆる段階が潜水艦の脅威に依り支配される

一、反樞軸國は獨潜水艦が沈めるよりも多くの船舶噸數を建造することに成功しないならばその前途は暗黒である

飛行機製作悲觀

【ストックホルム十九日發】「飛行機製作相スタブフォード・クリップスは十八日ブリュッセルで一般戦局に關する報告演説を行ひ、次の如き悲觀的見解を述べた

「樞軸の戦力は未だ弱体化せず、その士氣は些かも墜けてはゐない、英米三國は最後の勝利を確保するまでなほ長期に亘り幾多の困難を堪へ忍ばねばならぬであらう、英國海軍は増大する獨潜水艦の脅威を拂拭すべく懸命に戦つてゐるが、それは依然反樞軸陣營の戦争努力に對する最大の危険となつてゐる、ソ聯を側面から援助するため行つてゐる英國空軍の東歐洲空襲は多數の飛行機と人員の損失を齎してゐるチニシヤ戦線でも極めて困難な戦ひが前途に豫想される、また東亞において反樞軸軍は戦力を統一して重慶と爾餘の世界との間の連絡を確立するまでに至つてゐない」

上陸作戦の困難を説く

【リスボン十日發】ロンドン・タイムズ紙の報道に依れば英海軍情報部長ウイリアム・ジェームスは、六日

「ロイアル・エンパイヤー、ソサイエティ」の會合席上、ジェツツ上陸作戦の失敗を引用してその困難なることを指摘、次の如く演説したと傳へられる

「武器の進歩に依り海岸の防備は以前よりも強力となり又新武器の出現は水陸兩用作戦を極めて困難ならしめるに至つた、最も周密な計畫の下に實行されたジェツツ上陸作戦に於て我には海岸の絶好の場所に位置してゐた僅かばかりの砲兵隊が水陸兩用作戦を粉碎した事實に當面したのではないか、勿論ジェツツ上陸作戦に依り貴重に經驗を體得したが今次戦争は歐洲大陸に軍隊を上陸せしめ、時に於てのみ我々の勝利となることを考へればジェツツ上陸作戦の失敗は確かに重要問題である」

海岸地帯の立入制限

【リスボン五日發】ドイツの歐洲要塞化に對應して去る三月三十日英國内相ハーバート・モリソンは下院において極軸軍の進入に備へると同時に英本國を歐洲侵寇の基地たらしめる見地から沿岸地帯に立入制限地區を設定する意向であると思はせざる言明を行つたが、三月三十一日附タイムズ紙はモリソンの言明内容として左の通り報道してゐる

「英國政府は戦争の現段階において必要な海岸諸域への近接制限を考慮してゐる外國人の監視地帯に對する特別制限並に海岸線及び沿岸地區の兵營への近接制限は別として從來極軸の侵入に對處する措置の一部として、ロンドン北東岸のウォツシュネ灣（ロンドン北約八十五哩）から南岸のリツルハン（ロンドン南約五十哩）及びポーツマス南方のワイト島に至る地域においては一般遊覽者の沿岸旅行禁止措置を次々に實施して來たが、東南岸のセント及びサセツクス地方の一部を除き今冬四月一日までは同禁止令は一時解除の危險から、みでなく歐洲侵寇の基地として英本國を利用する上からも海岸地區接近の問題を考慮すべき時期は來る、新情勢の下に於ては從來と違つた諸種の措置を必要とする、従つて四月一日以降次の決定の實施する、

一、テムズ河口からヘースチング並にワイト島に至る地域に對しては依然一般遊覽者の立入りを禁止する、一、右區域を含めハンバー河口からイングリッド西南端のベンザンに至る東部並に南部全域に亘り海岸から十哩の深さで制限地帯を設定する、右地域内への接近は軍當局により何ら豫告なくして制限或は禁止されよう、一、ウニールス西南岸のミルス・フオード・ヘヴンから海岸沿ひにスコットランドを迂回し東海岸のフアーストブレイ並にクライド河口に至る地域も同様制限をうける、一、四月一日以降右地域内において軍事目的のため必要の場合には隨時隨所に制限地區が指定されるはずで然も制限有否は當該地區に對してのほかは公表されない、一、今夏右地區内の如何なる地點に對しても從來以上の輸送の便をとらず又不必要な旅行に對しては特に嚴重な制限を加へる、一、ヨークシャー地方立退命令【リスボン十日發】ロンドン來電「内相ハーバート・モリソンは過般四月一日以降英本土沿岸地帯に深さ十哩の居住制限區域を設定する旨發表したが更に十日陸軍省はイングリッド北部ヨークシャー地方における廣汎な地域から一般住民は退去すべしと發表した

バルト海に機雷を敷設

【ストックホルム廿九日發】ロンドン來電によれば空軍省は廿八日夜バルト海の廣汎な區域に亘つて機雷を敷設した旨廿九日公表したと言はれるが、此の外にスウェーデン・デンマーク兩國間の狹隘な水道にも外國機雷を敷設した事が判明したのでスウェーデン海軍は急遽掃海を開始した、ヘルシンゴール、ヘルシングボルク間の航路は未だに不通である。

米英軍需補給狀況

【リスボン廿三日發】ロンドン來電「藏相キングスレー・ウッドは去る廿一日の下院に於て議員の質問に答へ開戦以來英國が米國から受けた軍需補給の狀態につき次の如く言明した

「武器貸與により英國が米國から補給された物資の額及び逆貸與により英國が米國に供給した物資の額に就いてはその價格の算定は行はれてゐない、一方武器貸與以外に英國が米國に於て軍需品購入の爲支拂つた金額は十五億磅である」

人事

▲空軍參謀長任命
【ストックホルム六日發】ロンドン來電「空軍省は中將ダグラス・C・S・エヴレストを少將C・E・J・メドハーストの後任として空軍參謀長兼空軍會議委員に任命した旨六日發表した

▲空軍人事異動【リスボン十二日發】ロンドン來電「空軍省は十二日の人事異動を發表した

中東英空軍副司令官
中將 R・ドラモンド
任航空訓練會議員
航空訓練會議員
中將 A・カロツド
任印度派遣英空軍副司令官
印度派遣英空軍副司令官
中將 ジョン・ポールドウイン
某要職に轉出
中將 ウイリアム・ウォルシュ
任ワシントン駐劄英空軍代表團長

▲ハーウッド辭任【リスボン廿八日發】ロンドン來電「英國海軍省は紅海艦隊司令官少將ヘンリー・ハイウッドが辭任した旨廿八日發表した

新兵器登場

▲電波方向探知機【ストックホルム一日發】ロンドン來電「英誌「スフィア」は英國の電波方向探知機性能につき次のやうに述べてゐる

「電波方向探知機は侵入して來る飛行機の高さ、速度、方向等を短時間で探知出來、これによつて高射砲の照準を定めて發射すれば極めて正確であるが、英本土の各地にはこの小型のものも多數備へられてゐるが飛行機のみならず、海岸に近接せんとすよつて察知されて了ふのである、但し右探知機にも缺點はあり、一定の高さ以下では探知不能なので、超低空で突如敵機が奇襲する場合は如何ともしがたい」

▲ポール砲塔【ブエノアイレス四日發】ロンドン來電「英國ポールのポール砲塔は英國ポールのポール砲塔を考案した、同砲塔の旋回機構は多角的水力電氣により三次元的旋回も頗る急速に運轉出來ると言はれ、三〇・三三吋口径の砲塔は次の如く軍用機に裝備されることとなつた

一、リベレーター 機體上部中央四尾翼部四

新艦艇就役

▲新型巡洋艦【ストックホルム十三日發】ロンドン來電「海軍省は新型巡洋艦「イジ」級の最新巡洋艦「ユニファウンドランド」が就役せる旨十三日發表したが、同艦は排水量八千噸、艦載機三臺、六吋及四吋高射砲其他砲數門を裝備すると言はれる

▲海軍曳行船【ストックホルム廿四日發】ロンドン來電「海軍は多數の大型曳行船を海軍造船所で建造中である内若干は既に就役したと傳へられるこれら曳行船は世界最大とい

一、ハリファツクス 機體前頭部二
上部中央二、尾翼部四
一、ロツクヒード・ハドソン 上部
中央二

一、ヴェンチユラ 上部中央四
一、デファイアント 上部中央四
▲超高速射砲【リスボン八日發】ロ
ンドンからのUP通信の報道に依れ
ば英國艦隊は目下地中海方面に於
て口徑四百六耗の超高速射砲を使用
中であると云はれ、同高射砲から發射
する砲弾は三箇は高度を保つて飛翔
する大編隊の敵機を悉く撃墜する
だけの效力を有してゐると傳へらる

▲新海水爐過器【ストツクホルム廿
一日發】ニユース・クロニクル紙の
報道によれば最近英國で救命艇用の
新飲料水濾過器が發明され、試験の
結果百パーセントの能率を發揮した
といはれる、新濾過器は重量約二十
八磅度で一時に十二パイソントの海水
を濾過し得るといはれる

▲新型戦闘機【ブエノスアイレス廿
四日發】ロイター通信アルジェニ
電によれば、英空軍は最近チユニ
ジア戦線に新型スピットファイア戦
機を使用し始めたといはれる、新戦
闘機はスピットファイア九型と呼ば
れるが機體の構造は胴體の先端が稍
長いのみで他の發動機はロールス
ロイス・マーリン六を用ひそのプロ
ペラも四葉となつてゐる、又砲二門
を有する他翼部に四門の機關銃が裝
備されてゐる

經濟

財政

一九四三—四四年
度豫算

【ベルリン十三日發】英政
府は去る十二日、一九四三
—四四年度豫算を議會に提
出したが、これが内閣次の通り(單
位百萬磅)

▲歳入 五、七五六
▲歳出 六〇〇
▲歳入 五、一五六
▲歳出 二、八〇〇
▲歳入 一〇七
▲歳出 二、二四九

▲國內借入 二、二四九
▲増税實施に伴ふ主要間接稅收入内譯
次の通り
ビール稅三三、酒精飲料稅九、葡萄
酒稅一、煙草稅五八(軍隊用は引上
げぬ由實收はこれより少い見込み)
娛樂稅九、物品購入稅六、合計一一
六

財政愈よ逼迫

【ストツクホルム十二日發】ロンド
ン來電によれば、英國蔵相ウツドは
十二日下院において昨年度豫算實績
並に一九四三—四四年度豫算につ
き詳細な説明を行つたといはれる、ウ
ツド蔵相報告要旨次の通り

▲昨年度の歳出總額は五十二億八千
六百萬磅であつたが、今年度豫算案
では五十七億五千六百萬磅、即ち昨
年度に比し四億七千萬磅の増加と規
定されてゐる、併し實際の歳出額は
右豫算額を上廻はるものと期待され
る、昨會計年度の歳出實績は五十六
億三千七百萬磅で歳入實績は二十八

億一千九百萬磅であつた
▲開戦以來今日迄英國が支出した戦
費は百五十六億磅の巨額に達する一
九四〇—四一年度豫算では一日當り
の戦費は五百萬磅であつたが、昨年
度は千二百五十萬磅、今日では千五
百萬磅即ち三倍に増加してゐる、開
戦以來英國は戦費總額の四十四パー
セント、即ち二分の一弱を歳入で賄
つて来た、今年度豫算ではその五十
六パーセントを賄ふべく定めてある

▲昨年度の國民貯蓄増加額は十一億
七千萬磅に上つたが、今年度には十
三億磅に達する豫定である
▲英國はソ聯に對し總額一億七千萬
磅の軍需品を輸送した、武器貸與法
に基き米國から輸送された軍需品の
額は、英國が反樞軸諸國に與へた援
助額を凌駕してゐない、また英國は
英本土駐屯米國軍のため、飛行場、
兵舍病院等の建築費として約一億五
千萬磅を支出した更に英國は米國よ
り兵器その他の軍需品を購入するた
めに一億五千萬磅を支出して草の
▲英國は今會議年度で甚大な戦費を
賄ふため更に増税を行はねばならぬ
こととなつた、そのため従來十本一
の煙草は一志二片となり、麥酒は
一パイに付一片ウイスキーは一樽に
つき更に二志四片の値上が行はれよ
外、消費稅は更に十割の増税が行
はれる新増稅制は明十三日より實施
される

▲英國の輸出額は戦前の四分の一に
激減したのみならず海外よりの對英
クレヂット帳尻も非常な増加をみた
また昨年度は豫算規定額以上に公債
發行額は豫算見積額を遙かに突破す
てであらう

債務國に轉落

【リスボン十六日發】ロンドン來電
に據るに、英國は依然としてチユニ
ジアから
一、一般家庭用に對する消費は割當
制その他各種の制限によつて減退し
たが衣類に對する消費は一九四二年
に入つては稍増加に轉じた傾向が認
められた

▲印度は中東への兵器廠として大
きな役割を果すやうになつたが、イ
英國の双肩に懸つてゐるため英國の
財政状態は今後愈よ窮屈となるであ
らう

生産

【リスボン十日發】ロンドン
來電に據るに、技術家組合聯合會は十日國
内各地の地方生産委員會が労働者百
二十五萬を擁する一千の工場に達し
最近行つた調査の結果に基き十日次
の如き報告書を發表し英國軍需生産
の滞滯を指摘してゐる、前の調査に
おいては調査工場の内六十四%は生
産増加を示してゐたが、今回は四十
九%であつた、今日多數の工場がな
ほ研究對當を繞る紛争を繰返してゐる

國民の戦時消費

【リスボン二十四日發】ロンドン來
電に據るに、最近戦時財政に關する廣
範な報告を發表したが、この報告は
飛行機製作相スタツプフォード・クリ

飛行機増産を呼號

【リスボン廿日發】ロンドン來電に
據るに、飛行機製作相スタツプフォード・クリ

ツプスは廿日ロンドンにおいて英國の飛行機生産力を揚言して次の様に述べた

本年三月までの飛行機生産は昨年同期間より五十五%方の増加を見たが特に爆撃機の生産は約三倍半に上つてゐる飛行機工業は現在英國の最大の工業であつて部分品を製作する工場は全國で一萬五千の多きに達してゐる、一臺の飛行機の製作には約七萬の大部分品が必要であるがこれ等の品が規則正しく生産されなければ飛行機の増産は困難だ、英國は英國自治領並に米國と緊密に協力し設計の交流を行つてゐる、カナダは英國に對し多數の飛行機を供給してをり米國から送られて來る發動機やプロペラーは英國の飛行機に取り付けられてゐる

石炭増産に躍起

【リスボン廿二日發】タイムズ紙所報によれば燃料相ロイト・ジョージは去る十六日プリストルで開かれた西南地區燃料節約委員會の席上で燃料供給の前途が暗澹たることを警告して次の如く述べたといはれる

昨年春英國の出炭高は非常な減退を示して燃料の需給關係は由々しい危機に直面したが、幸ひその後の出炭高の増加によつてこの危機は一應解消された、然しながら本年に入つてからの燃料需給状態も必ずしも満足すべきものでない、殊に最近數週間の出炭成績は寒心に堪へぬものがある、即ち石炭業には昨年比し五千人以上も多くの坑夫が従業してゐるにも拘らず、一週間の出炭高は前年に比し約十萬噸の減退となつてゐるこの原因としては勞働者の缺勤が非

常に多いことなども擧げられる石炭の需要は益々増加してゐるのであり石炭の増産こそ燃料不足解決の唯一の途である

▲九ヶ月間に四十萬噸減少【リスボン廿八日發】最近の英紙フアイナンシャル・ニュースの報道によれば燃料相ロイド・ジョージは下院において英國の石炭生産額に關し次の通り言明したといはれる

本年三月末に終る過去九ヶ月における石炭の生産額は一億五千五百七十九萬三千噸でこれを一九四一年から四二年に至る同期間の一億五千五百二十三萬三千噸に比すれば約四十萬噸の減少である一般國內消費並に海外輸出高は同期間に一億五千二百四十一萬三千噸で昨年度は一億五千六百五十四萬三千噸であつた

鋼鐵生産増加

【チューリッツ廿六日發】ロンドン情報によれば今次開戦以來今日までに英國の合金鋼並びに軍需用鋼生産はそれぞれ三倍及び六倍半に増大してゐるといはれる、これは製鐵能力の三分の一増加と強力な屑鐵回収の結果によるものとされるが特に屑鐵回収には必死の努力が傾注され昨年の回収高は五百二十八萬噸に達したと傳へられる、現在屑鐵回収は一週十一萬噸の割合で行はれてゐる

紡績工場を閉鎖

【リスボン一日發】英國政府は人的資源の不足に備へ所謂「産業集約」により各種産業部門の遊休工場の閉鎖を斷行してゐるがロンドン來電によれば今回百五十の紡績工場を閉鎖

百萬の紡績工を軍需工業に轉用する方針と傳へられる

配給 食糧に重大不安

【ストツクホルム二日發】食糧相ウールムは二日公開の演説に於て食糧の危機を指摘次の通り述べた

過去三ヶ月間英國内の食糧貯蔵は逐次減退し重大な不安を禁じ得なかつた、最近事態は幾分改善されるに至つたが戦争が新段階に入ると同時に英國國民は手持の食糧で生活する覺悟を固めねばならない

肉の割當削減

【ストツクホルム十三日發】ロンドン來電に據るに十三日戰時食糧生活展開會の演説に於て食糧の危機を指摘、國內の肉類割當は約四分の三ポンドに削減せざるを得ないと述べた

バター割當更に削減

【ストツクホルム十六日發】メルボルン來電によれば濠洲政廳筋では濠洲から英國に向け七萬噸のバターが輸送されぬ限り英國食糧省は一週間二オンスのバター割當量を維持出來ぬ旨を洩らしたと傳へられる

大豆配給統制強化

【ストツクホルム三十日發】ロンドン來電に據るに食糧省は食糧配給を強化、爾後食糧用としてのみ配給するに決定其他凡ゆる目的の配給を全面的に禁止した

劇場を占領、復活祭示威大會を開催して氣勢を擧げ、鎮壓に駆けつけた警官隊と大亂闘を演じた、同大會は最近メルファスト刑務所から脱獄した愛蘭革命軍の闘士ジェームス、スチールとマツカティアが姿を現し、各々熱辯を振つたが、就中マツカティアは米軍の撤退を要求し次の如く述べ群衆の喝采を博した

北アイルランドがアイルランド本國から分離されてゐる結果、現在の如く多數の米軍が北アイルランドに駐屯するやうな事態となつた、これはアイルランドの國家的権利の侵害であり、全アイルランド人は擧つて

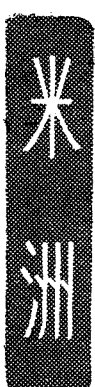
【アムステルダム廿九日發】ベルフアースト來電に首相ジョン・ミラーアンドリューズは廿九日辭表を提出したが副首相サー・ペイジブルツクが新内閣を組織する豫定である

首相桂冠

この事は今次大戦が我々の勝利に終つた事を意味するものでなく前途は未だ遠大なものがある、しかし目的はただ一つしかない、反樞軸國はこの目的に向つて一路邁進してをり、東亞地域、歐洲、北阿の三方面において反樞軸軍は熾烈な戰闘を續行してゐる、重慶軍は支那本土で戦ひ、米軍は太平洋において日本軍陣地に對し間斷なき攻撃を續け英、米、佛軍はチュニジア方面において海上陸上の差別なく獨軍の戰線に攻撃を加へてゐる、汎米諸國が完全な結束を實現し得るか否かは主權の尊重、平等條約の設定、友情と協力の如何に懸つてゐる我々はこの原則を力説して來た、而して世界の數地域の強國がこの原則を蹂躪した時我々は斷乎

ハル・米洲の結束を説く

【フエノスアイレス十四日發】ワシントン來電に「汎米デー」に當る十日四日ルーズヴェルトはワシントンに據を置き汎米聯盟にメツヤーチを送りハル諸國の結果を促したが國務長官ハルは同聯盟で行はれた記念會合に出席、此段階における反樞軸國の戰爭遂行努力を自畫目とした後米洲諸國の採るべき原則的政策を繰り返し力説した、内容詳報次の通り



としてこれを死守せんと決意したのである

米墨兩大統領會見

【ブエノスアイレス廿日發】ルーズヴェルト大統領は四月十三日ワシントンを出發、ウァージニア州、ノースカロライナ州、サウス・ジョージア州アラバマ州並にアーカンソー州の空軍基地その他の軍事施設視察の途に上つたが更に旅程を續けてメキシコ國內に入り廿日メキシコ北部のモンテレーに到着した國務次官ウエルズを始め軍事秘書ワトソン少將、秘書アーリー等が大統領に隨行したが、メキシコ大統領カマチョは外相バリディア、内相アレマン、農相ゴメス等を従へて同地に赴き親しく會談を遂げた

コ・ヴェ兩國々境劃定協定

【ブエノスアイレス一日發】ボゴタ來電ハコロンビア、ヴェネズエラ兩國混合委員會はかねて兩國々境劃定交渉を行つてゐたが一日に至り妥結を見、兩國政府は新國境劃定に關する協定に調印を了した

米ジャマイカ労働移入協定

【ブエノスアイレス五日發】ワシントン來電ハ國務省並びに農務省は五日共同で米國ジャマイカ兩國間にジャマイカ農業労働者の米國移入に關する協定が調印された旨發表した、同協定は米國政府がメキシコ並にパハ馬島當局と締結した協定と同様で十八歳以上のジャマイカ農業労働者を一萬人迄徵用し米國內で最も勞力不足を來してゐる農業地帯に移住させ契約満期後は歸國させることになつてゐる

米汎米各國經濟協定

【ブエノスアイレス五日發】ハヴァアナ(キューバ)來電ハ米國政府は今回キューバ政府と砂糖協定を締結、五日ハヴァアナにおいて兩國代表に依つて右協定の調印を了した、同協定に依り米國は二萬五千噸の砂糖を輸入するがボンド當りの買上額は米貨二・六五仙である

中南米スラヴ會議

【ブエノスアイレス廿五日發】モンテブイデオ來電ハ廿四日午後モンテブイデオに於て第一回ラテン・アメリカ居住のスラヴ人會議が開催されアルゼンチン、チリ、ウルグアイ、ブラジル、ボリビア居住のスラヴ人を代表する三百八十九名の代表者が參集したが會議の目的は對獨戰遂行を支持するためラテン・アメリカ在住の二百萬の全スラヴ人を結束させるためといはれる

米汎米各國經濟協定

【ブエノスアイレス一日發】ボゴタ來電ハコロンビア、ヴェネズエラ兩國混合委員會はかねて兩國々境劃定交渉を行つてゐたが一日に至り妥結を見、兩國政府は新國境劃定に關する協定に調印を了した

▲亞智兩國間に新協定【ブエノスアイレス十六日發】アルゼンチン、チリ兩國政府は今回硫黃供出に關する協定を締結、右協定によりアルゼンチン政府は今後十年間合産窒素工場を新設しない旨確約し、チリ政府はアルゼンチンの硫黃必要量を保障した

カナダ

【ブエノスアイレス二十六日發】アルゼンチン外相ルイス・ギニアス氏は二十六日、アルゼンチン、チリ兩國間の通商協定が近く調印される運びとなり、チリ外相フェルナンデスガリオス大統領が米國訪問旅行の歸途ブエノスアイレスに立寄るとの時と同じくアルゼンチンを訪問することになつた旨發表した

政治會談

【リスボン一日發】オッタワ來電ハオッタワ訪問中の英外相イーデンは一日首相マッケンジー・キングと會見對樞軸潜水艦戦につき意見の交換を行つた

イーデン首相と會談

【リスボン一日發】オッタワ來電ハオッタワ訪問中の英外相イーデンは一日首相マッケンジー・キングと會見對樞軸潜水艦戦につき意見の交換を行つた

イーデン議會で演説

【リスボン一日發】オッタワ來電ハ英國外相イーデンは一日夜カナダ議會に於て上下兩院議員を前に演説を行つた演説要旨左の通り

紐育に總領事館開設

【ブエノスアイレス九日發】オッタワ來電ハ首相マッケンジー・キングは九日議會においてカナダ政府はニューヨークに總領事館を開設、初代總領事に元燃料管理官D・スカノリーを任命した旨七日公表した

カナダ中心の空路を企圖

【ブエノスアイレス五日發】オッタワ來電によれば英國外相イーデンの同地訪問に際し、英國高等辨務官マールコム・マクドナルドはカナダを中心とする空路建設に關し、詳細を打合せを遂げたと傳へられる、最近トランス・カナダ航空會社の發表した年次報告によれば英國の抱懷する空路建設案は次の通りと見られる

ればならぬ、この提携は將來への準備として特に重要で、日獨伊三國の武装解除は絶対に必要である、樞軸諸國の武装解除は徹底的にやる必要があり更に反樞軸諸國は將來この武装解除の實施を保障し監視しなければならぬ、反樞軸諸國間に意見の相違が起ることは避け難い、然しこれが我々の目的は同一なのであるこの意見の相違は克服されねばならぬ、又克服し得るであらう、我々は反樞軸諸國に關係あるあらゆる問題を共同で検討してゆくべきだが然し之が爲に一刻と雖も我々の戦争目的が何んであるかを忘れてはならぬ、國際聯盟はたしかに數々の弱點を持つてゐるがその最大の缺陷は何等の權力を持たなかつたことだつた

カナダ

イーデンは續いて樞軸潜水艦の脅威に觸れ次の如く述べた

「樞軸潜水艦の脅威は依然として深刻であり、我々は此問題について徒らなる幻想に耽ることは許されない潜水艦こそ我々の直面する最大の脅威である、對潜水艦戦は依然繼續強化しなければならぬ、この努力を一刻たりとも怠れば直ちに由々しき危険を招來しやう敵の力を輕視すべきではない」

紐育に總領事館開設

【ブエノスアイレス九日發】オッタワ來電ハ首相マッケンジー・キングは九日議會においてカナダ政府はニューヨークに總領事館を開設、初代總領事に元燃料管理官D・スカノリーを任命した旨七日公表した

紐育に總領事館開設

【ブエノスアイレス九日發】オッタワ來電ハ首相マッケンジー・キングは九日議會においてカナダ政府はニューヨークに總領事館を開設、初代總領事に元燃料管理官D・スカノリーを任命した旨七日公表した

紐育に總領事館開設

【ブエノスアイレス九日發】オッタワ來電ハ首相マッケンジー・キングは九日議會においてカナダ政府はニューヨークに總領事館を開設、初代總領事に元燃料管理官D・スカノリーを任命した旨七日公表した

紐育に總領事館開設

【ブエノスアイレス九日發】オッタワ來電ハ首相マッケンジー・キングは九日議會においてカナダ政府はニューヨークに總領事館を開設、初代總領事に元燃料管理官D・スカノリーを任命した旨七日公表した

紐育に總領事館開設

【ブエノスアイレス九日發】オッタワ來電ハ首相マッケンジー・キングは九日議會においてカナダ政府はニューヨークに總領事館を開設、初代總領事に元燃料管理官D・スカノリーを任命した旨七日公表した

宋子文オツタワへ

【ウエノスアイレス廿二日發】 オツタワ來電ニ重慶外交部長宋子文は首相マツケンジ・キングと打合せのためオツタワに到着した

コンノート公逝去

【フエノスアイレス二十六日發】 オツタワ來電ニアーサー・コンノート公は二十六日オツタワで逝去した、享年二十九、同公はウイクトリア女王の王子アルバート・コンノート公の孫で、一九四二年コンノート公の後を嗣いだばかりである

軍 空軍の養成状況

【フエノスアイレス六日發】 カナダは反樞軸陣の一翼として米英兩國の作戦遂行に協力してゐるがその主なる仕事に空軍兵員の養成と飛行機の生産がある、これに關しオツタワ電は次のやうに述べてゐる

「カナダは國內において多數の空軍兵員の養成並に訓練を行つてをりカナダ空軍或は英國空軍に加はつてあらゆる戦線で活躍してゐる、兵士は相當の數に上つて居る戦前のカナダ空軍兵力は將校を入れて五千人であったが今日ではこの數も十二萬の多きに達してをり國內の飛行學校は百を算へこれ等學校を卒業する人員も一年に數千名に上つてゐる、卒業者の大部分はカナダ人であるがその外に米國人、英國人、濠洲人、ニュージランド人も含まれてゐる、又飛行機の生産に就いて言へばカナダは來るべき一年半の間に金額に見積つて十億弗の飛行機を生産し、これを國

内並に海外の使用に當ることとなつてつゝある、練習機の生産は既に數千臺に上つてをり今日までに製作されたハリケーン戦闘機約千機は沿岸哨戒に或は前線において戦闘に參加してゐる、カナダ飛行艇も數週間に完成を見てゐるが、この他に目下製作中のものにはボーリングプロトタイプ及びランカスター爆撃機がある、一方木造のモスキート型飛行機の製作も急速に進められてゐるが、同機はこの種の飛行機中で最も速力であるもので且つ性能も極めて優秀である、飛行機生産關係労働者の數は約五萬五千名である」

加空軍維持協定調印

【リスボン廿三日】 ロンドン來電ニ空相アーチボルド・シンクレアおよびロンドン駐カナダ高等辦務官ヴインセント・マツシーは去る二十日海外派遣カナダ空軍の獨立に伴ふその維持費支辨に關する英加協定に調印した、從來カナダ政府はカナダ國內に於ける空軍の維持のみに當り、一旦海外に派遣された場合は英空軍の所屬に編入されてその維持費も英國政府が負擔してゐたが、今回の協定により今後は海外にあるカナダ空軍に要する一切の経費はカナダ政府が支辨することとなつた、これによつてカナダ政府の負擔額は一年約三億五千萬弗によると推定される

軍の現有兵力

【フエノスアイレス十九日發】 オツタワ來電ニ首相マツケンジ・キングはカナダ軍の現有兵力につき十九日次の如く述べた

「カナダ軍の現有兵力は七十萬を越えてゐるが、年内に海軍擴充計畫が完遂されれば海軍兵員數は開戦直前の英海軍に略々比肩することとなる、現有兵力の内譯は次の通りである

- △海軍 五萬五千名△空軍 二十萬名
- △陸軍 四十三萬五千名△婦人補助部隊 二萬一千名

このほか豫備軍で短期服務中のものは數萬名に達する、陸軍四十三萬五千名中十九萬以上は英本國に駐屯してをり、二十四萬以上がカナダ本國の防衛に従事してゐる外十八萬以上が海外勤務のため志願した兵である

經 戦時公債増發

【ウエノスアイレス十八日發】 オツタワ來電ニ首相マツケンジ・キングは一千萬萬弗に上る第四次戦時公債の發行に當り十九日トロントからラジオ放送をもつて國民の協力を求め「第二戦線の結成目途にあり」と豪語して士氣昂揚に努めた

一萬五千名大罷業を開始

【フエノスアイレス二十四日發】 ウインザー(オンタリオ州)來電ニカナダ最大の軍事工場といはれるフォード自動車の車工のウイザー飛行機工場労働者約一萬五千名は二十四日から罷業を開始、同工場は操業停止のやむなきに至つた、罷業労働者は米國産別組織會議系の自動車労働組合員だが、罷業の原因は會社當局の生産促進計畫に對する労働者側の反對である

政府十二鑛山を接收

【リスボン十九日發】 近着の四月十日付英紙アフィナンシャル・ニュースの報道によればカナダ政府は下院において銅、鉛、モリブデン、タングステン及びクロム等各種金屬の鑛山十二を接收せる旨發表したといはれる

カナダの飛行機増産

【フエノスアイレス十日發】 ニューヨーク來電ニニューヨークタイムス紙は六日の紙上に、カナダの飛行機生産が戦前に比し増加した旨を強調したの如く述べてゐる

「從來、カナダでは練習機は殆んど全部米國から輸入して居り、戦争後も生産設備が整ふ迄は専ら米國に頼つてゐたが、同國の努力と米國の協力の結果飛行機生産は戦前の月産四十機から今や四百機へと増加した、現在カナダで製作されてゐる飛行機は米國製のジャコブス發動機二基を備へたアンソンス練習機のほか同じく米國製のロンソイス發動機四基を裝備したランカスター重爆撃機やハリケーン戦闘機、モスキート爆撃機などがある、飛行機製作従業員

の數は七萬五千人で、本年は更に三萬人増加する豫定である、またカナダは米國から發動機の供給を受けてゐるばかりではなく、米國にも輸出するやうになり、目下米國から六千三百萬ポンドの注文を引受けてゐる

食糧割當制

【フエノスアイレス二日發】 オツタワ來電ニ藏相ジエームス・イェルスタは下院に於て次の通り述べた

肉なしデーを施行することとならう九百グラムの割當量は一九四一年における一人平均消費量に較べて百七十五グラムの切下げである、砂糖、バター、茶、コーヒーにも同様割當制が實施するであらう。



政治 制覇企圖

ルーズヴェルト世界

【フエノスアイレス八日發】 元駐ソ大使ジョセフ・デーヴィスは週刊大衆誌サタデー・イーヴニング・ポストの最近號に一文を寄稿し、ルーズヴェルトの戦後經營案なるものを説明して圖らずも米國大統領の帝國主義的意圖を曝露してゐる、デーヴィスの記事要旨次の通り

ルーズヴェルトは所謂「隔離制度」一案の妥當な所以を愈々確信してゐる様子だ、ルーズヴェルト側近の説によると、彼は平和政治よりは権力政治に味方しウィルキーズの考へよりは寧ろウエルズ、スマッツ、フーヴァー、ウオーレス流の考へ方をしてをり、國際聯盟よりは汎米聯盟のやうな米國自身の支配力に富んだ國際組織を理想としてゐるといふ話だ、ルーズヴェルトは隔離制度を始めて主張したのが一九三七年シカゴでの演説ですが、彼が狙つてゐる「隔離制度」

がどういふ機能のものかといふと、たとへば樞軸の武装解除状態を監督する反樞軸保安委員はその國のあらゆる港を封鎖し、海陸空の交通を完全に遮断して同國を徹底的に隔離してしまふのである、ルーズヴェルトはこうした封鎖手段はその國の經濟を麻痺させるばかりでなく、國民を畏怖させて政府を冷靜に復させる考へてゐるが萬一それだけで充分でない場合は「戰闘中心を徹座に爆破されたいの」と最後通牒を發して直ちに兵力を糾合するといふのである、ルーズヴェルトの案といふのは次の通りだ

一、國際間の經濟上の諒解を促進する、併しルーズヴェルトは必ずしも言論の自由とか他國に對する「崇拜」といつたものを持ち出さうといふのではない

一、反樞軸諸國を一丸として汎米組織のやうな國民の聯盟を創設する、但しその聯盟は國際聯盟のやうなものでなく特定の問題を處理する飽く迄も從屬的機關でなければならぬ

一、如何なる國際空陸路基地も必要とせずまた海外に大軍を駐屯させて置く必要もない、ルーズヴェルトは安寧保全の問題は大軍勢力を有する米國の双肩に懸るものだから小國は軍備を撤撤してもよからうと考へてゐる

またルーズヴェルトはヴェルサイユ型の媾和會談を開き國際組織を組つてゐる様だ、余の見解では戦後の世界はルーズヴェルトや英國の首腦者よりもほかに依存するやうと思はれる、要するにルーズヴェルトの希求は「四期出馬」と大いに關係がある

ルーズヴェルト放送演説

【エノスアイレス十三日發】ワシントン來電 獨立宣言の起草者たる三代目大統領トーマス・ジェファソンの誕辰記念日の十三日ルーズヴェルトはワシントンに新たに建立されたジェファソン記念碑の除幕式に出席式場から全國民に向つて一場の放送演説を試み空虚な「自由」論を蒸し返へして米國は自由の擁護者であると自畫自讚したが演説は極めて低調であつた

太平洋經營を夢想

【エノスアイレス七日發】ワシントン來電によれば太平洋問題調査會は七日「太平洋の戦争と平和」と題する報告書を以て烏濱がましくも太平洋地域の經營方策につき研究の結果を發表したと傳へられる、同案作製に際しニューヨーク州、ワシントン、ペンシルベニアで開かれた討論會では各代表が夫々勝手な發言を行ひ、却つて反樞軸側に太平洋の將來に對し何等の成案が無い事實を暴露したやうである、同討論會出席者について報告書は米國代表ラフラン・カリー、オーエン・ラチモア、英國代表ヘイレー、重慶代表施肇基等の名前を擧げるに止まり他の代表の類觸れを明かにしてゐないが、政府官吏も個人

あるか 英國代表 各種民地が自治の能力を有するに到れば英國政府は勿論全植民地に自治を許容する

カナダ代表 米國政府は大西洋憲章の諸原則實行について未だ決心がつきかねてゐるやうだ、併し余は英國では大西洋憲章に盛り込まれた約束を實行せぬやうな政府は國民が承知せず直ちに打倒されると確信する

米國代表 大西洋憲章は米國の傳統と合致するものであり、米國政府並に國民は勿論英國に劣らず憲章の原則の急進な實現に努力するであらう併し米國々民は今回のやうな會議が開かれ各國代表が集つて米國にあつしるかうしると言はれる爲めに自分の國を經營して居るのではない

英國代表 我々は極めて現實的であることが必要だ、萬一米國が孤立主義に復歸するやうなことにいふ言葉「恐怖からの自由」などといふ言葉は世界各國民に取つて何の意味もなくなつて了ふ、米國が責任を負はぬ限りかゝる言葉は文字の遊戲に過ぎない

英帝國分割論

【リスボン廿五日發】シガゴ・トリビュン紙の社主ロバート・マコーミックは過般P・M紙の記者ウイリアム・ウイリーナと會見英帝國分割論を提唱したが更にシガゴ・トリビュン紙の廿五日の日曜版紙上にマコーミックは署名入りの論文を發表し次の意見を述べたと傳へられる

「英國、カナダ、濠洲その他の諸國が外交政策、國防、貿易並びに通貨等に關聯し米國との一層緊密な聯絡を希望するならば之等各國は新しい州として合衆國に加入すべきである、併し南阿聯邦だけは人類の自由に關する米國人の考へ方を受け容れて居ると考へられないから南阿聯邦を合衆國の中に入れる事は困難だ」

「マル紙のニューヨーク特派員が去る廿一日詳細報道し英國内に非常な物議を醸したが今回の論文では更に英國本國をも合併しようとして居る點で更に一步を進めて居る、因みにデリー・メル特派員の報道は次の通り

英國人達が心配するなら心配させて置いたがい、何も英帝國を保全するのが自分の仕事では無い、濠洲とかニュージールランドとかが合衆國の一州となり、カナダ、スコットランド並びにウエールズが丁度ノース・ダコタ州とかサウス・ダコタ州とかになるのを希望して居るだけだ、四十八州あるのだからもう少し増やせば良い」

「シガゴ・トリビュン紙の社主ロバート・マコーミックは廿日夜P・M紙のウイリーナと會見し合衆國がカナダ、濠洲、ニュージールランド、スコットランド並びにウエールズを合併すべしとの宣傳工作を開始する意向を洩らした、ウイリーナは決して眞相を尋ねた所、ウイリーナは決して冗談と思つては不可ない、マコーミックはどんな風にして英帝國內の各國を合併するかと質問した處、ノース・ダコタ州などと同様な州にして共和政體を保障してやる迄だ、

大統領四選問題

【エノスアイレス十二日發】大統領選舉戰を一年有餘半の後に控へ政界は今やルーズヴェルトの四期出馬問題を繞つて極めて微妙な動きを示してゐる、民主黨は去る十一月中間選舉の結果可成り過半数を占めてゐるが中西部諸州の民主黨議員殊に所謂農村議員團は明白にルーズヴェルト反對の立場を固執して居り更に此等各州の議會に於ては大統領任期制限案が可決される實情と傳へられる、結局米國政界は民主黨對共和黨の傳統的對立からニューディーラー派と反ニューディーラー派との對立に轉化するに至つたが、民主黨全國委員長フランク・ウォーカーが戰時に鑑み、大統領職の選舉運動を短縮しようとして申し出たところ共和黨全國委員會委員長ハリソン・スベンゲラーは民主黨内の内面的對立を巧に利用する見地から次の通り對案を提出したといはれる

「若しルーズヴェルトが四期大統領に選出される野心を持つてゐないといふ満足且明確な保證を貴下が米國

「若しルーズヴェルトが四期大統領に選出される野心を持つてゐないといふ満足且明確な保證を貴下が米國

ウイルキーの新著

【エノスアイレス九日發】ニューヨーク來電 共和黨領袖ウイルキーが昨年ルーズヴェルトの特使として反樞軸諸國を歴訪した感想を纏めた新著「一つの世界」が九日ニューヨークで出版された

論の中心は大西洋憲章を太平洋にも適用するか否かの點に在つた様子だが報告書の傳へる討議内容次の通り 某國代表 米國は大西洋憲章中戦後の關係協力に關する項を實行する意思があるのか又英國は植民地に對する自治許容の約束を履行する誠意が

民に與へることが出来るならば共和
黨としては貴下の提案を歓迎し余は
貴下と共に大統領選挙戦簡素化の方
式を工夫するであらう、然しながら
貴下が以上の保證を與へることが出
来ないとすれば民主黨はルーズヴェ
ルトを來るべき大統領選挙戦の候補
に任命したと解釋するほがはなく論
議の餘地はないわけである」
フランク・ウォーカーが如何なる回
答を與へたかは判明しないが最近の
ギヤラツプ輿論調査に依ればルーズ
ヴェルトの四選に對しては米國政界
にも反對の意見が相當有力なことが
明瞭である

共和黨候補はオハイオ州 知事か

【アエノスアイレス十八日發】 ニュ
ーヨーク來電によれば元共和黨大統
領候補アルフレット・ランドンは十
七日ニューヨーク州知事ジョン・デ
ューイー並にオハイオ州知事ジョン・ブ
リツカーなどと選挙問題に付協議し
た後新聞記者團と會見して「共和黨
の一九四四年の大統領選挙に對する
方策は今や完成してゐる、多分オハ
イオ州知事ブリツカーが共和黨から立
候補することにならう」と述べたと
傳へられる

有力知事を現役に召集

【アエノスアイレス廿三日發】 ワシ
ントン來電「海軍省は廿三日ミネソ
タ州知事ハロルド・スタツセン（海
軍豫備少佐）を現役に召集した旨發
表した、スタツセンは今年廿六歳米
國州知事中最若年者で一九三九年
以來ミネソタ州知事の職にあり、ウ
ェンデル・ウィルキリーの支持者とし

て共和黨に重きをなし、一九四四年
の大統領選挙には共和黨の最有力候
補と目されてゐる人物だが、今回突
如現役に召集されたのは大統領ルー
ズヴェルトが來る大統領選挙戦にお
いてスタツセンが有力な敵となるの
を恐れ、一時彼を政界から葬り去ら
んとする苦肉の策とも見られる

議 會 農村物價吊上法案 をル大統領拒否

農村派議員と衝突

【アエノスアイレス二日發】 ルーズ
ヴェルト大統領は二日農村物價の吊
上げを目的とするジョン・ペンクヘ
ット提出の法案を拒否したが、之を
契機としてルーズヴェルトを中心と
するニューデイル派と農村議員團
とは正面衝突を演ずるに至つた、ル
ーズヴェルト政府は所謂「ウィツカ
イドの一九四三年食糧生産目標」を
旗印に食糧増産に大奮となつて居り、
最近食糧生産配給局（A・F・P・
D）を設置し更に三百五十萬の農民
軍を組織して食糧増産に躍起となつ
て農村物價の釘付政策と門の收益増加
と農村物價の卸付政策とを絶對に兩
立せず、中間選挙を契機として進出
した農村議員團は上下兩院相呼應し
て農村物價の是正を企圖するに至つ
た、農村議員團の主張は農産物價の
決定に當つては、(一)農産物價構成の
諸要素が開帳以來著しく變動してゐ
ることを考慮に入れ、(二)農家自
體の勞值を含めた労働原價を加算す
れば農産物平衡價格を割引上げる
ことが當然である(三)労働原價の算定
に當つては不況時代の賃銀を基礎と
しないこと、といふにあるが、以上
の趣旨に基き上院ではジョン・パン

クヘット、下院ではステファン・ペ
ース兩人が農産物平衡價格修正案
を提出、法案は夫々上院並に下院を
通過したが、ルーズヴェルトは二日
次の書翰を上院に送つて法案を突き
返した
「今回の法案は農産物の平衡價格決
定に當つて現行の助成金交附額、平
衡資金支拂高、獎勵金その他の交附
額を一切除外する趣旨に基いてゐる
然しながら以上の措置は性格に於て
インフレーション的であると深く確
信するが故に法案に署名せずに上院
に返却する、同法案は我々が樹立し
且つインフレーションに基き一切の
災厄を避けるためには、是非維持し
なければならぬ防壁をつき破る
結果とならう、同法案は物價安定網
領と全く相容れず、從つて建設的な
農村政策と一切の戦争努力に對して
危険である、農民も労働者も支配人
も投資家も、即ち我々の凡てが總力
戰の時期には生活標準を改善するこ
とは出来ず、却つて戦時中生活標準
を切下げねばならぬことを覺悟す
べき時が到來した、農民は前大戦當
時に較べて決して生活状態が悪いわ
けでなく却つて相當良くなつてゐる
と言へよう、インフレーションの旋
風が捲き起るならば農民の生活は却
つて悪化するであらう、今回の法案
に依れば砂糖の値段は一ポンドにつ
き一セント半上るかも知れず、パン
の値段は約一割だけ上るだらう、
小麦の値段も同じだけ上るだらう、
唐黍の値段は約一割上るだらうが、
その場合には家畜、鶏卵、乳製品等
の値上要求が持ち上るであらう、政
府も亦これらの値上りを阻止する力
を喪ひ米國民の生活費は五分方吊上

げられ消費者の食糧に關する經費は
十億弗増加し、軍隊並に反極軸各國
に對する食糧補給の費用が數億弗増
加するに至るであらう、同法案は戰
争の遂行を一層困難にするだらうか
ら特に議會の深甚なる考慮を要請す
る」

農村法案下院委員會に附託

【アエノスアイレス七日發】 ルーズ
ヴェルト大統領が農村物價吊上法案
を拒否した結果所謂「農村派」議員
は大統領の拒否乗切りに策し米國政
界は異常な緊張を呈するに至つたが
農村派は六日に至り、大統領の拒否
權乗切りに必要な三分の二の票數を
掻き集める事が出来ると見て、上院
農業委員會に附託し、尠くとも同法案
の命脈を保たうとする戦術に出で、
一方、ニューデイル派は一氣に同
法案を葬り去る爲め、委員會附託案
に反對し即時上院本會議に上程を主
張して、苛烈な政争を展開したが七
日上院本會議で委員會附託案を棄議
した結果、六十二票對二十三票で委
員會附託案が可決された、右票數の
結果を聴取するルーズヴェルトは
直ちにホワイトハウスに食糧配給委
員長チエスタデービス、農務長官
クロウドグイツカド其他農業關係
の首腦を招致善後策につき協議した
▲下院委員會通過【リスボン十四日
發】ワシントン來電「下院農業委員
會は新農業法案を採擇した

國際通貨米國案提出

【アエノスアイレス七日發】 財務長
官モーゲンソーは五日上院に國際通
貨に關する所謂米國案を提出し(一)
國際通貨資金の設定(二)國際資金統
制局の設置(三)加盟國の通貨自由減
價の禁止(四)國際貿易金融を促進す
べき新機構の樹立等を主な項目とす
る提案内容の説明を行つたと傳へら
れるが、英紙ファイナンシャル・ニ
ューズのワシントン特電によれば同
案はモーゲンソーの通貨問題顧問た
る財務省通貨問題調査部長ハリ・
ホワイトの立案によるもので、モー
ゲンソーが覺書に形式の上院に提出
した通貨案は(一)資金の構成(二)權
限及び活動(三)通貨單位(四)運管
(五)加盟國の政策の五章に分れてゐ
ると云はれる、モーゲンソーの言明
に依れば、米國政府は五十億弗を融
金することになつてをり右資金は通
商上の目的に利用され、貿易決済に
必要な外國爲替の獲得を援助するこ

軍機保護法案を可決

【アエノスアイレス二日發】 ワシ
ントン來電「下院は二日夜軍機保護法
案を可決下院に廻附した、同法案は
必要外國爲替の獲得を援助するこ

並に間諜行為に對しては死刑を以て
處斷することを規定してゐるが、特
に合衆國と戦争状態に在る國を援
助する目的の下に合衆國の戦争努
力につき敵國に通報するため資料を
入手、編纂、獲得乃至傳達する場
合には極刑に處することになつてゐ
る下院議員ハリス・ソーンズが新聞
社も當局の戦争施策を非難する場合
に同條項の適用を受ける惧あるとい
ふので右條項削除の動議を提出した
が、修正案は百十二票對八十二票で
否決された、但し「同法案は戦争終
了後六ヶ月で失効する」との修正案
は可決された

とになつてゐる、通貨委員會は反極軸並にこれと關係ある諸國三十八ヶ國に依つて構成され又弗の平價切下げは、米國が現在二百億を超える金を保有して世界の金を殆ど獨占してゐる實狀から必要とされる譯である

國務省の豫算削減される

【ブエノスアイレス七日發】ワシントン來電 下院歳入委員會は七日一九四三—四年度の國務、司法、商務三省關係豫算案一億九千萬弗を可決したが、豫算案可決に當り委員會は國務省の要求した米洲各國に對する宣傳費を約二十五%削減した、國務省が右經費として要求した額は前年度の百六十八萬五千弗に對し、六百萬弗だが、委員會は非軍事豫算は出来るだけ節約するとの建前から以上の様に大斧裁を加へたと言はれる

敗將記念日決定

【ブエノスアイレス七日發】ニューヨーク來電によればコネチカット州上下兩院は七日の會談において來る十九日を陸軍少將「ジョンナゼン・ウエンライト・デー」として比島の敗將の敗戦振りを記念するに決定し記念式典の經費として三千ドルを支出するに決定したと傳へられる

支那人船員強制移送法案 上院通過

【ブエノスアイレス十一日發】ワシントン來電 在留支那人船員の英國向強制移送法案はこの程上院を通過したが、同案は單に支那人だけでなく、同案は單に支那人だけでなく、オランダ、ユーゴスラヴィア、ギリシア、ベルギー、ノル

ウェーその他フランスを除く獨占領治下の諸外國民にも適用され、英國又はオランダ船舶に乘組み、物資輸送の任にあたりしめる旨規定してゐる、右に關し米國政府當局は十日次の如く言明した

ランドの不正行為を暴露

【ブエノスアイレス十二日發】戦時海運局長官兼海事委員長エモリー・ランドの六年間任期延長案は目下上院において審議中であるがワシントン來電に依ればヴァーモント州選出共和黨議員ジョージ・エイケン

ランドは政府から補助金を受けてゐる造船工場側に加擔して工場側に不當利得の獲得を行はしめてゐるほか、これ等工場主の脱税行為を默許してゐると言はれる、上院はよろしく特別委員會を設置して實相を究明すべきだ

農村軍豫算米議會通過

【ブエノスアイレス十七日發】ワシントン來電 農村の勞働力不足の爲今回組織されることとなつた「農村軍」關係豫算二千六百萬弗は、十

商船建造追加豫算案提出

【ブエノスアイレス十九日發】ワシントン來電、ルーズヴェルトは總額二十五億一千四百五十三萬八千弗に上る一九四三—四年度追加豫算案を十九日議會に提出した、同案は戦時海運局の商船建造費である

弗安定資金延長案成立

【ブエノスアイレス廿一日發】ワシントン來電 下院は廿一日弗安定資金二十億弗二ヶ年延長案を可決、上院に廻附した下院は更に一九四四會計年度の農業關係權限案七億千五百九十九萬九千六百六十二弗をも可決して上院に廻附したが、右の金額は農業増産獎勵のために使用してはならぬとの條件を附した

【ブエノスアイレス廿二日發】ワシントン來電 上院は廿二日下院から廻附された弗安定資金廿億弗二ヶ年延長案を下院案通り可決直ちにルーズヴェルトの手許に送付した、下院案には同資金を戦後世界通貨安定のために設置を提唱されてゐる五十億弗の國際資金に流用を禁止する旨の條件が附されてゐる

互惠通商法更新案委員會を通過

【ブエノスアイレス廿八日發】ルーズヴェルト政権貿易政策の基調たる互惠通商法は愈々五月十二日を以て滿期失効するの既に三月中旬米國下院歳入委員會は同法三ヶ年延長案を上程審議を重ねてゐるが、一ヶ年半に互る論争の後同案は十四票對十

一票を以て委員會を通過した、同案の審議に先立ち國務次官ウエルズはニューヨーク州商工會議所の年次午餐會に出席、互惠通商法を現行の儘更新するか否かが米國政府今後の外交政策に對する試金石として反極軸陣營に於て重視されるだらうと述べて國務長官ハルも亦同案に關する公聽會に出席、現行法の更新を要請した然し乍ら委員會内部の反ルーズヴェルト派は次から次に留保條項を提出審議は微妙な米國政界の空氣を反映して屢々白熱的場面を呈したが結局ニューディール派が依然優勢で此等の留保條項は悉く否決され「最後に大統領に對しその裁量に基き國際カルテルに依つて支配される商品に互惠通商法が適用されるのを停止出来る權限を賦與する」との案だけが可決された

對外國關係に付き陳辯

【ブエノスアイレス五日發】ワシントン來電によれば國務次官補アドルフ・ボラーは五日米國がソ聯の野望を警戒してゐるとの報道を極力否定して次のやうに述べたと傳へられる「最近英兩國内にソ聯恐怖の感情を醸成しようとする宣傳が盛んでソ聯が尨大な帝國主義的野心を抱いてゐるとの風説が頻りに流布されてゐるやうだ、一方英國乃至米國がソ聯の周囲に緩衝地帯の設定を企圖してゐるといふ報道も傳へられてゐる、勿論戦後ソ聯は當然自國の安全を求めらるだらうが國內再建に忙殺される結果新しい領土を加へる餘裕はないであらう、緩衝地帯なる方法は一世紀

米日通商協定

【ブエノスアイレス八日發】八日ワシントン來電に依れば國務長官ハルはイラン公使モハメッド・シャヤステ氏との間にイラン米國間求償互惠通商協定に調印を了したと傳へられる

ジロー擁立策積極化

【リスボン十四日發】ワシントン來電によれば政府は同國內におけるフランス凍結資金の一部を北阿佛佛備政權主席ジローの自由使用に委ねることにならうと傳へられる、この方法により米國に佛領北阿佛の通貨、財政政策の決定的發言權を確保せんとしてゐる模様だが從來この問題に關するドゴールの對米折衝が米國側の強硬な態度で徒勞に歸してゐただに米國のジロー護立政策が愈々積極化しつつあることを物語るものとされる一方米國政府は財務長官モーゲンソーよりジローに對して反極軸通貨會議にその代表派遣方を要請してゐるが、ド・ゴールにはこの要請がなかつたといはれる

對芬恫喝に失敗

【ストックホルム廿六日發】フィンランド駐在米國公使館員の引揚事件

前の秘密外交の時代には通用したかも知れぬが空軍の極度に發達した現代に於ては既に死語である、ソ聯の周圍に緩衝地帯を造つても空軍は數分間で飛び越えて了ふであらう、英國が戦後世界貿易の獨占を企圖してゐるとの宣傳もあるが、英國に對しても米國に對しても世界市場から他國を驅逐することは出来ぬであらう

に關しては依然原因不明の儘種々の臆説が流布されてゐるが、ニューヨーク・タイムズ紙ストックホルム特派員は廿五日次の如く報じてゐる「確聞するに約三週間前、米國政府はフィンランド政府に對しこれを最後にソ芬兩國間の單獨媾和締結につき仲介の勞を採る用意ある旨非公式に示唆したが、フィンランド政府に一蹴されたため今回の舉に出たものといはれる、また一情報によれば米國の對芬態度は最近急激に硬化した様子で、萬一來るべき夏季攻勢でフィンランドがソ聯に對し積極的攻勢に出たならば米國はフィンランドとの外交關係を斷絶するのみか、宣戰を布告する旨申入れたと傳へられる」

重慶技術團着米

【アエノスアイレス廿九日發】ワシントン來電「經濟戰爭局は重慶技術團一行廿二名がワシントンに到着した旨廿九日發した、一行は全國各地の主要軍需工場に配屬され約二ヶ年間に亘り米國工業の研究に當るが其範圍は電氣、化學、石油、金屬工業等の多岐に亘るものであり、指導には經濟戰爭局が當ることになつてゐる」

智利に武器貸與

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電によれば米國政府は二日チリ政府との間に武器貸與協定を調印したと傳へられる

瀛洲及び新西蘭よりの代償

【アエノスアイレス七日發】ワシントン來電「武器貸與局は一九四二年内に西南太平洋の米軍が瀛洲及びニュージーランドに對する武器貸與に援助の代償として兩國から果實並に野菜八千萬封度、肉類三千三百六十萬封度の供給を受けた旨發表した

米船二隻トルコへ

【イスタンブール八日發】米國政府はトルコ政府との取極めに基き武器貸與法をトルコ國に適用するに決定先づ汽船五隻をトルコ政府に譲渡することとなつたが内、五千噸級二隻は八日小麥を積載してスエズ灣に入港した

アラビアに運用

【アエノスアイレス十九日發】ワシントン來電「大統領ルーズヴェルトは十九日武器貸與法をサウヂアラビアにも適用することとなつたと發表した

對北阿武器貸與情況

【リスボン廿三日發】ワシントン來電「武器貸與長官エドワード・ステチニアスは去る十九日佛領北阿に對する最近の武器貸與情況を次の如く發表した
一、反樞軸軍北阿進駐以來四ヶ月間に米國が北阿に供給した食糧、衣類、醫藥その他必需品は十二萬六千噸に上つた
一、この間英國は北阿の鐵道、工業その他に對して三十五萬噸以上の石炭を供給した
一、米國が武器貸與により北阿に供給する物資の額は本年六月三十日までには五千萬弗に達しよう
一、これ等物資を輸送した反樞軸商船その歸航には北阿産の重要軍需資材を米英兩國に輸送してをり、例へば英國に送られた燐礦のみでも三萬四千噸に上つてゐる

伯に驅潜艇を讓渡

【アエノスアイレス廿四日發】マイアミ(フロリダ州)來電によれば海軍は廿六日ブラジルに對し更に一隻の驅潜艇を讓渡することとなつたといはれる、米國が武器貸與法によりブラジルに讓渡した驅潜艇はこれ七隻である

英に銀塊讓渡

【アエノスアイレス廿三日發】ワシントン來電「武器貸與局長官エドワード・ステチニアスは廿日政府は二百萬オンスの銀塊を英國に讓渡することとなつたと發表した、右は英國に於ける軍需産業及び鑛貨方面に對する銀の不足を援助せんが爲で、英國の銀塊不足はインドからの銀の輸入が杜絶した結果である

ノルマンデー號の引揚斷念

【アエノスアイレス八日發】ニューヨーク來電によればニューヨーク港内で火災のため沈没した佛豪華船ノルマンデー號は、米國政府の手により引揚げ作業を行つてゐたが、最近引揚げ不能と斷定され作業を中止したと傳へられる

將來の航空問題を氣に病む

【アエノスアイレス七日發】最近のウォールストリート・ジャーナル紙は米國議會に現はれた從來の航空問題に關する討議を要約して次の如く報道してゐる
米國の議員達が企圖してゐるのは來るべき平和會議に於て將來の世界航空に對する米國の指導權を認めさせることだ、却ち彼等は次の諸項の實現を期してゐる
一、米國が航空機の製造を一手に引受ける
一、ペルシヤ灣その他に於ける油田を米國の掌中に收め米國が世界石油業の統制權を握る
一、武器貸與法の代償として米國は全世界に亘り商業航空基地を獲得する

廿種の航空教科書

【アエノスアイレス十一日發】ワシントン來電に依れば米國著名教育家は最近市民航空局の協力を得て廿種に上る航空關係教科書を編纂し全國五千の中等學校に對し四十萬部の配本を行つたと言はれる、一方中等學校も最近に至つて一部授業課目の變更を行ひ航空に關する新しい課目を設けてゐる有様である

人 事

【ワシントン來電によれば】
一、**訪問**「マンネン近くロンドンを訪問」ワシントン來電によれば米政府は米國戰後救済委員長ハーバート・リーマンは近くロンドンを訪問する旨四日發表した
一、**グルー大學總長に就任**「アエノスアイレス六日發」シネクタダー(ニューヨーク州)來電「元東京駐シネクタダー・ユニオン大學の名譽總長に推擧された
一、**ソ聯に使節團派遣**「リスボン七日發」米國政府は愈よ近く特派使節團をクレムリンに派遣する模様だが、

七日のデイリー・エクスプレス紙ワシントン特派員は使節團の類觸れを次の如く報道してゐる

副大統領ヘンリー・ウォレス、大統領顧問ハリイ・ホボキンス、國務次官サムナー・ウエルズ、大統領特使スペルマン師
▲**戰時生産局部長更迭**「アエノスアイレス十五日發」ワシントン來電「戰時生産局長官ドナルド・ネルソンは十五日生産局民需部長の更迭を發表、現部長ジョゼフ・ワイナーの後任にダン・アンド・ブラッドストリート社長アーサー・ホワイトサイドを任命した
【アエノスアイレス廿三日發】ワシントン來電「大統領ルーズヴェルトは廿三日戰時生産局委員に人的資源委員長ボイル・マクナット、國防運輸局長官ジョゼフ・フィーストマン、内務局長官國防石油調整局長官ハロルド・イツキーズの三名を任命した戰時生産局は從來その最高指導機關として長官ドナルド・ネルソンの下に副大統領及び陸海軍長官以下八名から成る委員會を置いたが、今回の改組により委員は十一名となつたわけである
▲**元緬育州知事司令官に任命**「アエノスアイレス廿三日發」ワシントン來電によれば元ニューヨーク州知事で現在陸軍長官ステュムソンの特別補佐官として活躍中のチャールズ・ボレットイを今回中佐の資格で占領地軍政監部司令官に任命したといはれる
▲**副大統領領歸任**「アエノスアイレス廿五日發」副大統領ヘンリー・ウォレスは五週間に亘りバナマ、コスタリカ、チリ、ボリヴィア、ペルー

軍 事

エクスアドル、コロンビア各國を歴訪
廿四日空路マイアミに歸着した

歐洲重點主義に異議

【アエノスアイレス五日發】 ニュー
ヨーク來電 米國のハースト系各紙
は最近一齊に米國政府は歐洲重點主
義の無意味な公式を放棄して、米國
にとり眞に利害關係ある太平洋の戰
に全力を傾注せねばならぬ」と主張
してゐると云はれる、ハースト系各
紙の主張を要約すれば次の通り

「米國が歐洲戰域第一主義の戰術を
固執してゐることは單に外國の手に
乗つてその利己的利益を満足させて
居る以外のなものでもない、よろ
しく米國は米國自身の戰爭たる日本
軍との戰に専念すべきだ、論より證
據、ソ聯は自國の利益のみ追求して
日本政府と漁業條約を更新し英國も
またチャーチルがカサブランカ會談
で「獨伊兩國を倒した後英國の全兵
力を擧げて東亞戰に當る」と宣言し
たにも拘らず、今度は歐洲戰爭が一
段落したら英國軍の一部を復員する
と云つてゐるではないか」

軍の誤謬を暴露

【ヴェノスアイレス十七日發】 ワシ
ントン來電 民主黨上院議員アルバ
ート・チャンドラーは十六日西南太
平洋に於ける反樞軸軍増強の必要を
強調したが、昨年日本軍のアリニー
シャン作戦に對して現在の米軍當局
が重大なる誤謬を犯してゐた事實を
暴露して次の如く述べた
「昨年日本軍がアリニーシャン群島

に對して進攻作戦を行ふ直前、アラ
スカ防衛司令官サイモン・バックナ
ーはワシントンの參謀本部に日本軍
がキスカ(鳴神島)に上陸する如き
ことは不可能だと報告を寄せた、
この報告は上院の陸軍委員會にも披
露されたが、皮肉にもその二日後に
日本軍がキスカに進攻してこれを占
領してしまつた、政府がかかる失敗
を再び繰返さない爲に直ちにマツカ
ーに對して増援部隊や軍需資材
を送るべきである

日本空襲を呼號

【リスボン十七日發】 政府の東京空
襲詳報發表は陸軍當局の反對で無期
延期となつたが十七日アルジー來
電によれば東京空襲に自ら米爆撃部
隊を指揮したといはれる少將ジェ
ームス・ドリーツルは現在反樞軸空
軍前線指揮官としてチュニジア戰線
にあり、十七日當時の回顧談を一席
辯じた後次の如く語つたといはれる
「日本を撃破するには日本工業の心
臓部に攻撃を加へなければならぬ、
勿論日本の占領下にある西南太平洋
の基地を奪還することも必要だが、
敵の崩壊を招來する爲にはどうして
も日本の中心に對する直接の爆撃が
必要だ、而して日本に對する空襲に
は如何にしてこれを行ひ得る空軍基
地を獲得するかといふ點である」

北方の戰略開通

【ストックホルム四日發】 米國が北
方防衛強化の爲建設を急いだアラス
カ公路は昨年十二月完成したが、こ
れと殆んど同時に軍事的價值に於て
アラスカ公路の重要性と匹敵するカ
ナダ横斷の軍用道路の開通したこと

が判明した、最近ロンドンから着い
たスフィア誌によれば右軍用道路は
大西洋岸ノブラスコチアのハリファ
ツクスを起點とし北に延びて、セン
ト・ジョン經由、更にケベック、モ
ントリオール、オッタワ、ハースト、
ウィニペック、サスカトーン、カル
ガリー等の重要都市を繋ぎパンフに
於てロツキー山脈を横斷、續いてラ
ヴェルストーク、カムループス、リ
ツトンを徑て終點ヴァンクーヴァアに
至る蜿蜒四千二百哩の幹線道路であ
る、この道路はカルガリーに於ては
アラスカ公路と連絡する他ロツキー
山脈西麓でビッグベン公路とも連繋
更にヴァンクーヴァアではシアトルか
ら北に延びる汎米公路とも接続して
その重要性を益々高めてゐる、右道
路は早く一九一九年に起工されたが
最終工事區たるハースト附近二百
五哩が昨年十一月に完成して全線が
開通するに至つた、全線の半ば以上
はコンクリート乃至アスファルトに
よつて舗装され、ロツキー山脈の横
斷箇所では四千呎の高さに達してゐ
る

大學の特殊訓練

【アエノスアイレス十日發】 政府は
人的資源の不足を他所に陸海軍兵力
の大擴張を企圖し、全米各地の大學
生に對して特殊軍事訓練を施して
ゐるが今回これに全面的調整を加へ
る意向と傳へられる、ワシントンか
らの報道によれば新學生訓練計畫の
全貌は次の通りといはれる
一、陸海軍當局は各地の單科並綜合
大學四百を指定し、右大學在學中の
學生に特殊訓練を施す豫定で、既に
陸軍では三月一日以來實行に着手、

海軍では七月一日から訓練を開始す
ることになつてゐる、陸軍では學生
十五萬人に對し特殊訓練を施す豫定
で、訓練は凡て當該學校の教授に依
て行はれる、海軍は未だ訓練人員數
を公表してゐないが大體陸軍と同様
の計畫といはれる
一、軍事訓練は多種多様の特技を包
合する、例へば陸軍航空部隊練習生
の養成をはじめ日本語、自動車、機
械その他各種の高級技術を教へるこ
とになつてをり、陸軍省と學校當局
との間に既に施設利用に關する話
合ひも成立してゐる
一、特に氣象觀測訓練は廿ヶ月の過
程を要することになつてをり、之を
卒業すれば陸軍航空部隊技術少尉に
任ぜられるはづである

無謀な兵力増強を非難

【アエノスアイレス十六日發】 ワシ
ントン來電 陸軍當局は陸軍兵力を
一九四三年末までに八百二十萬に増
加し、海軍派遣軍兵力は同年末まで
に二百七十萬、一九四四年末までに
四百七十五萬とする旨過般發表した
が「アメリカン・マガジン」誌は最
近號に實情を無視した兵力増加計畫
を非難して次の如く述べた
「陸軍の大兵力完成のため召集年齢
引上げが決定される五月一日から
三十八歳乃至四十五歳の男子で不急
産業に従事してゐる労働者三百二十
萬を軍需工業、若しくは軍隊に徵集
することとなつたが、戰時生産局民
需部では、かかる大量の労働者轉用
は平和産業の根柢を脅やかほすこと
は軍需生産にも悪影響を及ぼすこと
ゝなる」と見てゐる、一九四三年の總

兵力八百二十萬から以上の海外派遣
兵力と、國土防衛、補給、新兵訓練
等に要する兵力百五十萬乃至二百萬
を差引けば國內には百五十萬乃至二
百萬の兵力が残る、右兵力は一九四
四年末までには海外に派遣されな
だらうが、損害の補充を見込んで取
つて置かねばならぬ、陸軍の説明で
は兵隊の訓練には少くとも一年はか
かるといふから、もし一九四五五年の
兵力を準備するためには一九四四年
中に更に三百萬乃至四百萬を民間か
ら引抜かねばなるまい、これでは國
内生産を増加するどころか維持する
ことも困難であらう」

米國戰費激増

【アエノスアイレス廿五日發】 ワシ
ントン來電 一九四二年七月から一
九四三年四月迄の戰費總支出は六百
二億八千九百三十三萬四千四百
達したといはれる、前年同期は二百
三十一億五千五百九十八萬三千三百
三十二弗であつたのに比し約三倍近
くにも激増してをり、そのうち五百
五十五億弗は軍事費である

徴兵検査やり直し

【リスボン一日發】 ワシントン來電
 人的資源委員長マクナットは今回
徴集猶豫を認められてゐない十五指
定職業のほかに製造業九部門、卸賣及
び小賣人部門並びにサービス業九部
門に屬する徴兵適齢者に對し「四月
一日より地方徴募局は扶養家族の有
無に拘らず徴兵すべく右に屬する徴
兵適齢者の判定をやり直し再編成を
開始する」旨言明した

科學新兵器出現

科學新兵器出現

【フェノスアイレス五日發】米國は科學兵器の發明並に改良等に大童の努力を續けてゐるが、最近の情報に依り米國の兵器改善の一端を窺へば次の通り

一、米國陸軍省化學兵器局長少將ウィリアム・ポーターは最近從來の四二時口徑曲射砲の改良型を發表したが、これは從來の曲射砲に比較して著しく高率な運動性を有し着弾距離も増大し命中率も極めて良好であると言はれる、この兵器はメリーランド州エツデウツドの陸軍兵器廠で製作されてゐる

一、陸軍省はエツデウツド以外にアラバマ州ハンソウビル、アルカンソー州バインブラフ及びコロラド州デンヴァーに新工場を建設しこれ等工場で各種の化學兵器を製作してゐる携帶用の煙幕發生器も製作されてゐるがその性能は非常に良好であると傳へられる

▲對潜水艦戰の新兵器【フェノスアイレス五日發】リツチモンド(ヴァージニア州)來電に對潜水艦新兵器が五日ヴァージニア州某所の海軍試驗所で實驗された、新兵器は爆雷とは別個のもので爆雷より効果があり今後驅逐艦及び驅護護送艦に續々取り付けられると傳へられる、この他艦船の装甲を貫通して内部で爆發する裝甲貫通用爆弾もあつた

▲新製對戰車砲【ストツクホルム十四日發】米國軍はチユニジア戰線において新製對戰車砲「バズカー」を使用してゐると傳へられるが「バズカー」は重量僅か八キロ瓦で長さは一メートル、發射される弾丸も二キロであるが五センチメートルの裝甲板を貫く程の威力を持つてゐる、着

弾距離は約四百メートル彈丸の爆發力が極めて強烈で中型戰車を擱坐させることが出来る、構造も非常に簡單で兵一名で操縱することが出来る

▲海軍の新爆彈【フェノスアイレス十五日發】デトロイト來電に米國では目下戰艦の裝甲板をも突抜け内部で爆發するといふ高性能の爆彈を製造中といはれるが十三日海軍兵器局長H・P・ブランドイは新爆彈の性能につき次の通り言明した

新爆彈は特に半呎(十六種)の裝甲を有する戰艦の甲板を貫通せしめるやうに設計されてゐる、此爆彈の特徴は遲發性信管と外壁の厚いこと先端の重いこと及び爆藥の充填量が少いことである、またこれを使用する爲には非常に高い所から投下するか乃至は猛烈な速度を以て急降下して投下する場合のみ生じ得る衝突力を必要とする

▲上陸用舟艇【フェノスアイレス廿一日發】ワシントン來電によれば米軍が現在使用してゐる上陸用舟艇には次の種類があるといはれる

一、將兵上陸用舟艇 長さ三十六呎約四十名の武裝した兵を輸送し得る發動機一個と機銃二挺の裝備を有し艇首は開扉式と然らざるものとがある

一、輕機械化裝備上陸用舟艇 長さ三十六呎發動機一個を有し、艇首は開扉になつてゐるクロコダイル(鱷)といはれる

一、重機械化裝備上陸用舟艇 長さ四十五呎で船體は全部熔接によつて作られディーゼル機關の推進機二個を有して居り、十三トンの戰車を輸送し得る

一、上陸投護用裝甲艇 長さ約五十呎で高速を有する(以上は全部ヒツギンスの設計)

一、外洋船行裝 甲艇長さ百呎ディーゼル機關を有し艇首は開扉式、小型戰車數臺を輸送し得る

▲新製對戰車砲【フェノスアイレス廿一日發】ワシントン來電に陸軍省當局は去る三月中旬新製對戰車砲M6の性能實驗をフォート・ツクスで行つたが、陸軍省は次の如く發表した

「戰車の鐵板結合には熔接を行つてゐる之れを以て鉄打の缺點を除き負傷も減少してゐる更に戰車の外形は極めて流線型化したため直撃彈を受ける率が少くなつた、輕戰車M5、M6の裝備は三十七ミリ砲一門と三十三ミリ機關砲數門、中戰車M4「シヤミ」及び三十三ミリ機關砲一門と五十ミリ及び三十三ミリ機關砲數門、重戰車M6は重量六十噸以上及び三十三ミリ機關砲一門と五十ミリ及び三十三ミリ機關砲數門を備へてゐる、またM4M5戰車には底部に昇降口が設けられた、これは負傷者を搬出するのみならず、顛覆した際乗員はボストルの彈藥帯で出來た際乗員は着ける、これは英國陸軍で使用してゐる負革を改良し腋下と脊中に二つの帯を締めてゐる、この彈藥帯は負傷者を掩蓋から引上げる際にも用ひられる、戰車内には負傷の際の救急藥として消毒したチユニブ入りモルヒネも備へつけてある

▲敗將が昇進【フェノスアイレス十四日發】ワシントン來電に二月刊誌「アメリカン・マガジン」の報道に依れば去る二月チユニジア戰線カッセ

リヌ特の激戰で樞軸軍の猛攻に會ひ敗北を喫した米軍の指揮官少將ロイド・フレステンダールは今回少將になりアの後任としてメンフィス市にある米第二軍司令官に就任、近く中將に進級することになつたと傳へられる

▲空軍代將三名戰死【フェノスアイレス十五日發】西南太平洋にある米空軍兵員の喪失は莫大な數に上つてゐる模様で將官だけでも現在迄の犠牲者三名に上つてゐる、即ち米國誌「アメリカン・マガジン」四月十二日號所報によれば米陸空軍代將ハロルド・ジョージは昨年ポート・ダーウィンで飛行事故により死亡、續いて第五航空部隊長代將ケニス・ウォーカーは去る一月ラバウルに對する空爆に参加して戰死した、反樞軸軍空軍司令官ジョージ・ケニーは後任として代將ハワード・レイミーを呼び寄せたが、彼も亦第五航空部隊の指揮をとること僅か數週間で戰死してしまつた

▲地上部隊司令官代理任命【フェノスアイレス廿五日發】米國陸軍省はスエーデンに在る中將レズリー・マクネアがチユニジア戰線で二十三ヶ地上部隊司令官中將レズリー・マクネアがチユニジア戰線で二十三ヶ地上部隊司令官に就任した旨公表した

▲海軍將官停年【フェノスアイレス廿八日發】ワシントン來電に依れば海軍省は最近海軍將官五名、陸戰隊將官二名及び將校約三十名が停年の五十八歳に達し豫備役に編入されたと發表した、但しその大半は豫備備役編入後も現職に留つてゐる、これは將官の氏名の通り

▲海軍中將ウィルソン(前合衆國艦隊副司令官、現統合參謀本部共同戰略調査委員) ▲海軍少將チャールズ(アナポリス技術試験所長) ▲海軍少將ホルムス(前サンチアゴ海軍基地司令官、現カリフォルニア技術研究所國防委員會連絡將校) ▲海軍少將ビケンズ(海軍省賞勳局員) ▲海軍少將フーパー(ニューヨーク海軍器材局通信、無電首席顧問) ▲代將オスターマン(海兵隊參謀副官兼監督官) ▲代將ハリントン(クアンチコ海兵隊學校長)

▲パーミユダ司令官更迭【フェノスアイレス廿九日發】ワシントン來電は海軍省は二十八日夜パーミユダ島海軍司令官の更迭を發表、現司令官ジョー・ジェイムズの後任としてアイダホ州アラグット海軍訓練所司令官少將イングラム・セシル・ソールが任命された旨公表した

▲海軍輸送司令官就任【フェノスアイレス十四日發】ワシントン來電に海軍省は少將ウィリアム・スミスが海軍輸送司令官に就任した旨公表した

▲トリニダッド基地新司令官【フェノスアイレス廿六日發】ワシントン來電に海軍省は大西洋トリニダッド島の米海軍基地司令官少將オルデン・ドルフを罷免し後任として新たに少將ロビンソンを任命した旨廿六日發表した

陸軍

▲八十萬は絶対必要【リスボン六日發】タイムズ紙ニューヨーク特派員は陸軍參謀副官少將ジエムス・ユウリオの言明を引用して次のやうに傳へてゐる

米國陸軍參謀副官ジエームス、ユウ
リオは三月三十一日ニューヨークに
おいて「米國陸軍は一九四三年末ま
でに兵力を八百二十萬に増強する計
畫を樹てゐるが、以上の兵力は現
在の戦局から見て最少限度の必要數
である」と述べた

アラスカ鐵道の保線に當る

【エノスアイレス七日發】ワシ
ントン來電「陸軍當局は七日バツクナ
ー少將を司令官とするアラスカ駐屯
米軍輸送隊が近く非戦闘員に代
りアラスカ鐵道の運轉並に保線に當
る旨發表した、但し同鐵道支配人オ
ットー・オルソン大佐は依然本國內
務省に直屬し陸軍は輸送力増加に必
要な人的資源と資材を提供するに止
まる

首都防衛に新基地建設

【エノスアイレス十四日發】首都
ワシントンを始めバルチモア、チエ
ンサビック灣並にポートマツク河地區
に對する反樞軸空軍の爆撃を未然に
防止するためメリリーランド州の基
地に新たに戦闘機隊専用の空軍基地
を設けたが、ワシントン來電に依れ
ば同飛行場は来る五月十五日をもつ
て正式に陸軍省の管理下に入るこ
となつてゐると傳へられる、同飛行
場の全面積は四千七百エーカーで五
十呎乃至五十呎の幅をもつコンク
リの滑走路多數を有し戦闘機多
數を收容し得る能力をもつてをり、
建設費は二千萬弗に上つたと

重慶飛行士空軍に配屬

【エノスアイレス十一日發】ワシ
ントン來電によれば米政府當局は米

重慶派遣軍司令華府へ

【エノスアイレス廿八日發】ワシ
ントン來電「陸軍省は廿八日次ぎの
通り發表した

重慶派遣米軍司令官ジョーセフ・ス
チルウェル少將並に同方面米空軍司
令官クレア・シエンノット少將は同
空軍付オールド代將並に高級參謀フ
ランク・メリル大佐を帶同廿八日重
慶からワシントンに到着した、陸軍
參謀總長ジョージ・メイシヤル大將
等の米軍首腦と太平洋戰況につき協
議する豫定である、スチルウェル、
シエンノット兩司令官の留守には重
慶、ビルマ、印度方面米空軍付レイ
モンド・A・ホイラー少將並に重
慶派遣米空軍付エドガー・F・グレ
ン代將が代理を務める

陸空軍新訓練計畫

【エノスアイレス十四日發】ワシ
ントン來電によれば陸軍省は最近陸
軍航空部員の新訓練計畫を次の如く
發表したといはれる

「陸軍航空隊員は今後爆撃士と航空
士双方の訓練を受けることとならう
これによつて戦闘参加の際爆撃士乃
至航空士のいづれかが負傷乃至戦死
した場合或ひは非常に疲労乃至戦死
相互に交代する新訓練計畫によつて
新たに學校は設立されず從來の施設
によつて新訓練が實施される、更に
爆撃士航空士ともに五週間の射擊訓
練を受けるが輸送に従事する少數の

氣象觀測員養成計劃

【エノスアイレス廿八日發】ワシ
ントン來電「陸軍省は航空氣象觀測
員の増員計畫に關し最近次の如く發
表した

「陸軍航空隊は氣象專門家一萬名以
上を訓練するための新計畫に着手し
た、高等氣象訓練用の既存の施設に
加ふるに新計畫の實施に依り氣象觀
測將校の數は今後二年間に現在の三
倍とならう、學生五千の收容能力を
有するグラント・ラビツ(ミンガン
州)の技術者幹部養成所に加ふるに
各大學、專門學校二十七が此の増員
計畫に参加する豫定である」

海軍 ノックス豪語

【エノスアイレス九日發】
海軍長官フランク、ノツク
スは八日インディアナポリスに於け
る演説で米國海軍力の増強につき次
の通り述べた

「一九四三年内に米國海軍省は着々新
艦を建造し、新艦の數は一九四二年
末よりも増加するであらう、一年
間に米國艦隊の隻數は二倍以上に
達するであらうが、一九四三年内
に出来る新艦の總數は一九四二
年に於ける米國艦隊戰艦總數の總噸
數の三分の二に達するであらう
數の三分の二に達するであらう
要するに今後海戦に於ける損害を
勘定に入れるならば一九四三年内
に米國艦隊の戰艦噸數は六割六分増
加する見込みだ、但し戦争の前途は
尙幾多の困難を覺悟せねばならない
▲七艦隊を編成【エノスアイレス
十六日發】ワシントン來電「海軍長

官ノックスは十六日新聞記者團との
會見で今回復活した海軍代將四名を
各艦隊に配屬させる旨を述べた際、
「米國海軍には現在七艦隊が存在し
各戰略領域で作戦してゐる」と言明
した

海軍勢力【エノスアイレス廿四日發】

【エノスアイレス廿四日發】
海軍當局は一九四四年六月まで
に海軍の兵員數は二百八十萬に達し
又艦艇勢力は一九四三年一月に就役
中の三千二百五隻から本年末には四
千百隻に増加しようとして發表したとい
はれる

海軍士官の粗製濫造

【エノスアイレス廿七日發】ニ
ューヨーク來電によればニューヨーク
タイムズ紙の軍事記者ハンソン・ポ
ールドウキンはアナポリスの海軍兵
學校に於ける海軍士官を短期養成す
る粗製濫造振りに對して次のやうに
報道したと傳へられる

「アナポリスの海軍兵學校では既に
米國海軍史上空前の大規模な人員擴
張計畫が實施されてゐる、從來四年
であつた正規課程が三年に短縮され
た外、豫備士官候補生のため四ヶ月
の特別短期修業課程が創設された結
果一九四一年及び四二年の二年間に
三千名の新士官が海軍兵學校から送
り出された、戦時規定による正規課
程短縮後最初の學級は昨年六月卒業
し、次の學級約七百七十四名は本年
六月卒業の豫定である、現在の三年
課程を過去の四年課程と比較すると
學課の時間は約四割しか減少してゐ
ない、勿論或る種の課目は除外され
ないが、船舶操縱術、航海術、造兵學
砲術、海兵學電氣工學等の純粹に技

獨潛艦の擊沈困難を告白【エノスアイレス十八日發】

【エノスアイレス十八日發】ヒュースト
ン來電によれば海軍公事協會會長ロ
ウエット大佐は最近獨潛水艦の擊沈困
難を確認して次の如く悲鳴を擧げた
といはれる「ドイツ潛水艦は非常に
堅牢に建造されてゐる爲艦體から十
五呎乃至十六呎以内のところ爆雷
が炸裂せぬ限り、擊沈は不可能だ」
▲百萬噸「欠損」を確認【エノス
アイレス二十七日發】上院トルーマ

海軍「代將」を復活

【エノスアイレス五日發】ワシ
ントン來電「上院は海軍省提出に依
る海軍代將(コマド)の位階復活に
關する法案を可決、直ちに大統領に
送附した、右位階は一八九九年以來
廢止されてゐたが陸軍の代將(プリ
グデイヤ)に相當し少將と大佐の中
間の官名である

潛水艦戦に悲鳴

【エノスアイレス六日發】ワシ
ントン來電「海軍長官ノックスは六日
新聞記者團との會見において樞軸潛
水艦の活動が極めて重大なことを認
め次の通り述べた

「大西洋における樞軸潛水艦の活動
は増大してゐる證據歴然たるものあ
り、反樞軸船の擊沈される噸數も増
大した、出撃してゐる獨潛水艦の數
も一層多くなつたと思ふ、事態は重
大でもう澤山だといひたい位だ、誰
も潛水艦戦の現状を見て、呑氣に構
へてゐる者はをらず、亦、呑氣に構
へてをるべきでもない」

獨潛艦の擊沈困難を告白【エノスアイレス十八日發】

【エノスアイレス十八日發】ヒュースト
ン來電によれば海軍公事協會會長ロ
ウエット大佐は最近獨潛水艦の擊沈困
難を確認して次の如く悲鳴を擧げた
といはれる「ドイツ潛水艦は非常に
堅牢に建造されてゐる爲艦體から十
五呎乃至十六呎以内のところ爆雷
が炸裂せぬ限り、擊沈は不可能だ」
▲百萬噸「欠損」を確認【エノス
アイレス二十七日發】上院トルーマ

ン委員会がさる二十一日一九四二年内の反艦船舶喪失量を千二百萬ト

「現在入手出来る限りの統計に基づき一九四二年に艦隊により撃沈された反艦船舶の合計と同期間に反艦

「從來護送船團中の各船舶は船尾と船艙とを接して航行してゐるが、今

「護送船が配置され潜水艦の活動を封殺してゐる、最近この方法で七十隻

「十三ヶ月前に起工されたフリートランド州パチクセントの海軍航

海軍の新航空基地建設

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電

地は一日開設された、同基地は總面積六千五百エーカー、東部における最大の海軍航空施設で從來東部の各

【アエノスアイレス十五日發】ワシントン來電

【アエノスアイレス十五日發】ワシントン來電

【アエノスアイレス十四日發】ワシントン來電

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電

海軍、海軍委員會對立

【アエノスアイレス十五日發】ワシントン來電

新型移動乾船渠を建造

【アエノスアイレス四日發】ワシントン來電

「海軍省當局は今後補助艦艇の建造行ふ時などは容易かつ迅速に組立

「海軍省では目下新型の移動性乾船渠を建造してゐる、これは數個の小

「海軍省は二月十八日四萬五千噸の戰艦アイオワ號が豫定

艦艇續々建造

△設計所要日數、四十二萬九千九百九十九日△建造延日數、四百十萬日

【アエノスアイレス六日發】ヴァンクーヴァア來電

【アエノスアイレス廿七日發】ワシントン來電

【アエノスアイレス廿九日發】ワシントン來電

【アエノスアイレス五日發】ワシントン來電

週末進水した旨五日發表した
三日日驅逐艦バツチャー、護送驅逐
艦スコット、パーク、驅逐艦二隻、
快速艇二隻
四日日空母カボット、驅逐艦ヘイル
潜水艦セーロ

【フエノスアイレス十一日發】ワシ
ントン來電日海軍委員會は西海岸の
某造船所に於て大型油槽船、貨物船
驅逐艦各一隻並びに驅逐艇三隻が進
水した旨十日發表した

【フエノスアイレス十八日發】ワシ
ントン來電日海軍委員會は太平洋岸
で更に七隻の艦船が進水した旨十八
日發表した、内譯は次の通り
△驅逐艦一隻△新型驅逐護衛艦二隻
△潜水艦二隻△水上工作船二隻

【フエノスアイレス廿三日發】ワシ
ントン來電日海軍委員會は廿三日五
大湖にある造船所に於て五隻の新造
船が進水する旨發表した、この五隻
はカナダのデオンヌ五姉妹によつて
命名されるが、更に同型船舶二隻が
同時に太平洋岸の造船所でも進水す
る

▲戦車陸揚げ用舟艇建造【フエノス
アイレス四日發】ケンブリッヂ(マ
サチューセツツ州)來電ニアメリカ
ン・プリツチ會社はケンブリッヂ市
とボストン市を隔てるチャース河岸
に六十四エーカーの土地を買収同所
に海軍造船所を新設した、同會社は
海軍省の依頼をうけて最新型戦車陸
揚げ用の舟艇並びに上陸舟艇を建造
中でその第一艇は近日進水を見るこ
とになつてゐるが、近く建造中の舟
艇は八隻であるといはれる

【リスボン二十日發】ワシントン來
電日商務省發表によれば一九四二年
(歴年)中の米國々民所得總額は一
千七百七十億弗前年に比し二百二十三
億弗の増加を示したが、その内譯及
び前年比較は左の通りである(單位
一億弗)

經濟

融金・政財

【フエノスアイレス八日發】
ワシントン來電日ルーズ
ベルトは七日二百四十五億
五千百萬弗に上る一九四四
年度海軍豫算案を議會に提出した
同豫算案の主要項目次の通り(單位
百萬弗)

△兵器關係費三四七六・八△補給並
陸上施設四二八六・二△艦艇建造費
一八八七△航空關係費一六四〇△艦
艇維持並に修理費九〇二四

第二次戰時公債發行
【フエノスアイレス十二日發】ワシ
ントン來電日政府は十二日百三十億
億弗に上る第二次戰時公債を發行財
務長官ヘンリー・モーゲンソーはラ
ジオを通じて全國民に呼びかけ右公
債の四月末までの安全消化に協力す
るような要望すると共に反樞軸國を
誹謗、更に「第二戰運近きにあり」
と空虚な見得を切り國民の反樞軸感
情の驅り立てに狂奔してゐる

昨年の國民所得内譯
【リスボン二十日發】ワシントン來
電日商務省發表によれば一九四二年
(歴年)中の米國々民所得總額は一
千七百七十億弗前年に比し二百二十三
億弗の増加を示したが、その内譯及
び前年比較は左の通りである(單位
一億弗)

【リスボン二十日發】ワシントン來
電日商務省發表によれば一九四二年
(歴年)中の米國々民所得總額は一
千七百七十億弗前年に比し二百二十三
億弗の増加を示したが、その内譯及
び前年比較は左の通りである(單位
一億弗)

内賃金俸給所得 八〇〇
其他勤勞所得 三〇〇
企業不動産所得 三〇〇
利息配當所得 一〇〇
會社留保金 三〇〇

軍需生産の規格
統制
【フエノスアイレス七日發】
ワシントン來電日戰時生産
局資源維持部長ハウワード
クルーネルは最近軍需生産の規格
統制並びに生産簡易化工作の進歩情
況につき次の如く發表した

一軍需生産の簡易化及び規格の統一
は着々進行してゐるが一例を挙げれ
ば現在も尙政府各機關から全國百五
十の生産業者に發註されてゐる約百
萬に達する小型ガソリン發動機の型
は二十五に達してゐる、本年度の生
産簡易化工作によつて五十萬の熟練
工を含む約五十萬の労働者が最も
緊急な軍需生産に解放されよう、更
にこれは軍需資材の節約にも多大の
貢獻をなし一九四二年中には行はれた
七十五の生産簡易化命令によつて鐵
鋼六十萬噸、銅一萬七千噸、木材パ
ルブ二十二萬七千噸、綿一千八百萬
碼、木材四億五千萬立方呎が節約さ
れたが、一九四三年度の簡易化工作
が實現すれば鐵鋼だけでも五百萬噸
が節約されよう

軍需生産誇示
【リスボン七日發】フアイナンシヤ
ル・ニュース紙所報によれば米國戰
時生産局長官ドナルド・ネルソンは
最近米國の軍需品生産費につき次の
如く發表したといはれる
米國が武器彈藥其他軍需品製造のた

【リスボン七日發】フアイナンシヤ
ル・ニュース紙所報によれば米國戰
時生産局長官ドナルド・ネルソンは
最近米國の軍需品生産費につき次の
如く發表したといはれる
米國が武器彈藥其他軍需品製造のた

めに費消した金額は一九四〇年四十
億弗、一九四一年百七十億弗、一九
四二年四百八十億弗と増加したが、
本年は八百億弗以上とならうかゝる
膨大な支出に對し生産原價の切下げ
も着々行はれつつあり、例へば政府
はリベリタ爆撃機を一九四二年に
比し現在では二十七%方安い値段で
購入してゐるのをはじめ、トムソン
半自動銃の生産原價は一九四二年に
比し僅か三分の一、五〇耗日徑プラ
ウニング機關銃は四十六・五%方安
く生産されてゐる

▲飛行機船増強【フエノスアイ
レス廿二日發】ワシントン來電日政府
の言明に依れば昨年中に空輸の方
法を除き米國が航空母艦並に輸送船
によつて世界各戰線に輸送した飛行
機は二千五百機以上に上ると言はれ
る、而して昨年中に米國各地の船渠
で進水した商船は合計七百四十六隻
で、その内五百六十六隻はリバーテ
ィ型商船であると言はれる

飛行機船増強
▲飛行機船増強【フエノスアイ
レス廿二日發】ワシントン來電日政府
の言明に依れば昨年中に空輸の方
法を除き米國が航空母艦並に輸送船
によつて世界各戰線に輸送した飛行
機は二千五百機以上に上ると言はれ
る、而して昨年中に米國各地の船渠
で進水した商船は合計七百四十六隻
で、その内五百六十六隻はリバーテ
ィ型商船であると言はれる

フオード重爆工場
の生産澁滞
【リスボン一日發】米國政
府が世界最大の軍需工場と自讃する
ウイロランのフオード航空機製作工
場は工場撰定の失敗から當初の膨大
なる生産計畫にすつかり齟齬を來し
陸軍當局と契約したリベリター型
四發重爆撃機月産二千八百臺の一部
すら生産し得ない窮狀に陥つて米國
の空軍擴充計畫遂行に重大な暗影を
折じてゐると考へられる、デリーリ
・テレグラフ紙のワシントン特電に
よれば、ルーズヴェルトも問題の成
行を重視して「ウイロー・ランのフ
オード工場が生産の澁滞の來してゐ

【リスボン一日發】米國政
府が世界最大の軍需工場と自讃する
ウイロランのフオード航空機製作工
場は工場撰定の失敗から當初の膨大
なる生産計畫にすつかり齟齬を來し
陸軍當局と契約したリベリター型
四發重爆撃機月産二千八百臺の一部
すら生産し得ない窮狀に陥つて米國
の空軍擴充計畫遂行に重大な暗影を
折じてゐると考へられる、デリーリ
・テレグラフ紙のワシントン特電に
よれば、ルーズヴェルトも問題の成
行を重視して「ウイロー・ランのフ
オード工場が生産の澁滞の來してゐ

る主な原因の一つは住宅難である一
部の労働者は工場に出勤するのに一
時間以上もかゝる現狀で政府は目下
労働者の住宅問題及び交通機關の改
善策を鋭意研究中である」と言明し
たが、ニューヨーク・ポスト紙は更
にこの間の消息を次の如く報じてゐ
る

フオードは蜿蜒一哩に亘る巨大なウ
イロラン重爆工場に所要の労働者
を募集することに失敗した結果人的
資源委員會に泣きついて、差し當り
絶対に必要な労働者五萬八千名をニュ
ーヨークで雇傭する許可を得た、フ
オードがかゝる窮狀に陥つた原因は
デトロイトから廿五哩も離れた交通
不便なウイロー・ランに工場を建設
したことにあり、同地は交通不便な
上に労働者を收容すべき住宅施設が
全然なつてゐないので労働者からす
つかり敬遠されてしまつた

爆撃機の大工場を開設
【フエノスアイレス四日發】アトラ
ンタ(ジョージア州)來電日ベル飛
行機製作會社はジョージア州キネッ
ウ山麓のマリエツタ市に最近三千エ
ーカーの土地を買収同地に爆撃機製
作工場を建設することになつた、同
工場は「マリエツタ飛行機組立工場」
の名の下に二萬五千乃至三萬の従業
員を使用する豫定と言はれる

飛行機生産増大を誇示
【フエノスアイレス六日發】六日ニ
ューヨーク來電によれば、米國西部
の飛行機製作業者からなる戰時飛行
機生産評議會は所屬會社八社の生産
狀況に關し次の數字を發表したと傳
へられる

【フエノスアイレス六日發】六日ニ
ューヨーク來電によれば、米國西部
の飛行機製作業者からなる戰時飛行
機生産評議會は所屬會社八社の生産
狀況に關し次の數字を發表したと傳
へられる

總額 一九四二年 一九四一年
一、二七〇 一、一七〇

一、一九四一年十一月三十日から一九四三年二月廿八日まで八社の飛行機引渡高は二百九十五万増加した一、これを引渡飛行機の重量と比較すれば真珠灣空襲以前に比し四倍の増加である

▲飛行機生産に百十億弗【アエノスアイレス二十四日發】二十四日ワシントン來電によれば米國の航空専門家は米國における本年の飛行機製造高は金額にして約百十億弗に達するだらうと推定してゐるといはれる

▲飛行機生産に百十億弗【アエノスアイレス二十四日發】二十四日ワシントン來電によれば米國の航空専門家は米國における本年の飛行機製造高は金額にして約百十億弗に達するだらうと推定してゐるといはれる

▲飛行機生産に百十億弗【アエノスアイレス二十四日發】二十四日ワシントン來電によれば米國の航空専門家は米國における本年の飛行機製造高は金額にして約百十億弗に達するだらうと推定してゐるといはれる

▲飛行機生産に百十億弗【アエノスアイレス二十四日發】二十四日ワシントン來電によれば米國の航空専門家は米國における本年の飛行機製造高は金額にして約百十億弗に達するだらうと推定してゐるといはれる

▲飛行機生産に百十億弗【アエノスアイレス二十四日發】二十四日ワシントン來電によれば米國の航空専門家は米國における本年の飛行機製造高は金額にして約百十億弗に達するだらうと推定してゐるといはれる

爆撃照準器

【アエノスアイレス十五日發】ニューヨーク來電に空軍が精密を誇るノードン式爆撃照準器の性能並に操作法の一部が最近テキサス州基地の空

軍將校によつて明かにされた、同照準器は爆撃機の機首に在る厚い硝子張りの爆撃手室に取付けられ、飛行開始前爆撃手は同照準器を一定の高さと速度において使用するやう大體調節した後、ジャイロスコープによつてこれを地面と垂直に同轉せしめる目標物の上空に到り爆撃手は二つの螺旋物を用ひて照準眼鏡内の十字の交叉點が丁度目標物の上に來るやう調節するとともに他の二個の螺旋物を以て飛行機の進行方向を目標物に合せしめる、照準器は更に横風による誤差をも修正し得る仕組みとなつてゐる、飛行機の高さが高い場合には操作は複雑となるが、千五百米乃至六千五百米迄の間ならば一旦高度に對する調節を終れば殆ど同程度

▲サンダーポールト【アエノスアイレス十六日發】十六日のUPニューヨーク電は戦闘機サンダーポールト(P四十七)最新型の性能を次の如く報じてゐる

▲サンダーポールト【アエノスアイレス十六日發】十六日のUPニューヨーク電は戦闘機サンダーポールト(P四十七)最新型の性能を次の如く報じてゐる

▲サンダーポールト【アエノスアイレス十六日發】十六日のUPニューヨーク電は戦闘機サンダーポールト(P四十七)最新型の性能を次の如く報じてゐる

▲サンダーポールト【アエノスアイレス十六日發】十六日のUPニューヨーク電は戦闘機サンダーポールト(P四十七)最新型の性能を次の如く報じてゐる

▲サンダーポールト【アエノスアイレス十六日發】十六日のUPニューヨーク電は戦闘機サンダーポールト(P四十七)最新型の性能を次の如く報じてゐる

新型機の性能

▲サンダーポールト【アエノスアイレス十六日發】十六日のUPニューヨーク電は戦闘機サンダーポールト(P四十七)最新型の性能を次の如く報じてゐる

▲空の要塞【アエノスアイレス十九日發】近着のアメリカーン・マガジン誌は米軍大型爆撃機ボーイングB七二の空の要塞の性能について次の様に述べてゐる

▲空の要塞【アエノスアイレス十九日發】近着のアメリカーン・マガジン誌は米軍大型爆撃機ボーイングB七二の空の要塞の性能について次の様に述べてゐる

▲空の要塞【アエノスアイレス十九日發】近着のアメリカーン・マガジン誌は米軍大型爆撃機ボーイングB七二の空の要塞の性能について次の様に述べてゐる

▲空の要塞【アエノスアイレス十九日發】近着のアメリカーン・マガジン誌は米軍大型爆撃機ボーイングB七二の空の要塞の性能について次の様に述べてゐる

▲空の要塞【アエノスアイレス十九日發】近着のアメリカーン・マガジン誌は米軍大型爆撃機ボーイングB七二の空の要塞の性能について次の様に述べてゐる

▲空の要塞【アエノスアイレス十九日發】近着のアメリカーン・マガジン誌は米軍大型爆撃機ボーイングB七二の空の要塞の性能について次の様に述べてゐる

造船力を誇示

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電に海軍委員會は一九四四年造船計畫を次の通り發表した

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電に海軍委員會は一九四四年造船計畫を次の通り發表した

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電に海軍委員會は一九四四年造船計畫を次の通り發表した

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電に海軍委員會は一九四四年造船計畫を次の通り發表した

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電に海軍委員會は一九四四年造船計畫を次の通り發表した

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電に海軍委員會は一九四四年造船計畫を次の通り發表した

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電に海軍委員會は一九四四年造船計畫を次の通り發表した

粗製濫造船續出

【リスボン二十日發】二十日ニューヨーク來電によれば開戦以來相次新記録を擧げて米國戰時造船王と言はれてゐるヘンリー・カイザーの造船所

【リスボン二十日發】二十日ニューヨーク來電によれば開戦以來相次新記録を擧げて米國戰時造船王と言はれてゐるヘンリー・カイザーの造船所

【リスボン二十日發】二十日ニューヨーク來電によれば開戦以來相次新記録を擧げて米國戰時造船王と言はれてゐるヘンリー・カイザーの造船所

【リスボン二十日發】二十日ニューヨーク來電によれば開戦以來相次新記録を擧げて米國戰時造船王と言はれてゐるヘンリー・カイザーの造船所

【リスボン二十日發】二十日ニューヨーク來電によれば開戦以來相次新記録を擧げて米國戰時造船王と言はれてゐるヘンリー・カイザーの造船所

【リスボン二十日發】二十日ニューヨーク來電によれば開戦以來相次新記録を擧げて米國戰時造船王と言はれてゐるヘンリー・カイザーの造船所

【リスボン二十日發】二十日ニューヨーク來電によれば開戦以來相次新記録を擧げて米國戰時造船王と言はれてゐるヘンリー・カイザーの造船所

新造船進水

【リスボン二十日發】二十日ニューヨーク來電によれば開戦以來相次新記録を擧げて米國戰時造船王と言はれてゐるヘンリー・カイザーの造船所

萬五百噸級リバティ型船六隻、三萬四千噸の大型油槽船一隻、六百噸長航海用船二隻が進水した旨發表した【アエノスアイレス十七日發】ワシントン來電「戦時情報局は十七日次の通り發表した
海軍委員會は更に五隻の商船が進水した旨を發表した
【アエノスアイレス二十日發】ワシントン來電「海軍委員會は更に十三隻の船舶が進水した旨發表した、右進水船舶の内譯は自由型船八隻、長距離船五隻である
【アエノスアイレス廿一日發】ワシントン來電「海軍委員會は廿一日前線補給用として特別に設計された高速度油槽船二百六隻の建造計畫を發表した
【アエノスアイレス廿四日發】ワシントン來電「海軍委員會は廿三日新艦七隻が進水した旨發表した、内六隻は自由型船、一隻は長距離貨物船である
【アエノスアイレス二十六日發】ワシントン來電によれば戦時海運局長官エモリー・ランドは六日米國各地造船所で進水した船舶は合計八隻に上つたと述べたと傳へられる

生産

天然ゴム生産
【アエノスアイレス十三日發】ワシントン來電、農務省は十二日米國の本年度天然ゴム生産に關し次の通り發表した
本年度における米國の天然ゴム生産高は約六百噸でこれは戦争目的に使用のためゴム保存會社に引渡されよう、この天然ゴムは主としてカリフォルニア州サリナス溪谷に昔からあるグアニールの栽培場から來たもの

油送管による石油輸送近況開始

【リスボン廿九日發】ニューヨーク來電「石油調整官イツキーズは五月中の米國各石油生産地における各種石油の生産高は確實に一日當り二十三萬七千四百バレルに達する見込なる旨發表したが、これは四月中の豫定一日平均石油生産高に比し五萬一千三百バレルの増加である、これととも、商務省は新油送管による石油輸送が近く開始される旨發表した
▲ガソリン・スタンド續々閉鎖【リスボン十五日發】ニューヨーク來電「米國におけるガソリン不足激化を反映するものとして同國燃料協會は最近「既に一萬七千に上るガソリン・スタンドが閉鎖され、さらに本年中には二萬のガソリン・スタンドが閉鎖されることにならう」と發表した

昨年の鉄鐵生産高

【アエノスアイレス廿五日發】米國鐵鋼協會發表によれば昨年十二月中の鉄鐵、マンガン鐵等の生産高は總計五百二十萬一千四百二十三噸で能力の一〇一・一パーセントであつた

農 業 食糧計畫破綻

【アエノスアイレス十三日發】ワシントン來電「上院歳出委員會は過般來米國の食糧需給調査の爲念米の地方關係機關に一九四三年の食糧生産の豫想を照會中だが、最近この報告が略出揃ひ委員會から發表された、右によると報告を寄せた地方機關二千七百八十のうち本年に比し本年の増産を豫想したものは僅か五十四に過ぎず、三百七十二が平年並み、残りの二千三百五十四はいづれも十%から三十一%に及ぶ減産豫想を報告し來つた、政府當局が本年の食糧生産計畫として企圖してゐる所は最近の豊年を記録した一九四二年に比し八%の増産平年に比し三十%の増産だが、調査の結果は政府の増産目標はおろか平年作をも達成困難なことが判明した
▲今冬の生産成績【アエノスアイレス十五日發】ワシントン來電「米週刊タイムズ誌は今冬の農産物生産成績に關し次の如く傳へてゐる
今冬の小麦生産豫想高は五億五千八百五十五萬一千ブツシエル(一エーカー當り一四・九ブツシエル)ライ麦の豫想は平年作の八十二%とされてゐる、而して四月一日現在の穀類生産高は次の通り
△小麦三億二千七百六十六萬七千ブツシエル△玉蜀黍十三億九千五百一十一萬二千ブツシエル△燕麥五億八千八百廿萬八千ブツシエル

「收穫部隊」編成

【アエノスアイレス廿九日發】ワシントン來電「ルーズヴェルトは九日の新聞會見において農業増産のため「收穫部隊」を編成する旨發表した、同部隊は主として徴兵乃至徵用を受ける可能性の多い男子青年並に女子によつて構成され差當り數百萬名を徵集する方針であるといはれる
▲農業女子軍【アエノスアイレス十日發】ワシントン來電「政府は農村人手不足対策として農村壯丁の徴兵延期その他の措置を講じてゐるが農務省は十日約卅六萬の農業女子軍の動員計畫を發表した、右はいづれも都會地在住の女子で約三十萬は週末を利用して農村に動員され、又五千人は農總期に一、二ヶ月間農業に従事することとなつてゐる

物 價 インフレ阻止令

【アエノスアイレス八日發】米國政府が尅大な數字を掲げて軍需生産に躍起となつてゐる結果果実需物資は極度に削減され嚴重なるインフレーションの傾向は到底阻止することが出来ない情勢にあり米國內到處の所に闇相場が横行してゐる實狀だがルーズヴェルトが過般農村の物價吊上法案をインフレーション的性質を帯びると稱して拒否したのに引き續き更に八日夜に至り大統領令を公布全國民に對しインフレーション阻止に協力するやう要請した、右大統領令の要旨は戦時労働局、戦時人的資源委員會、戦時物價調整局並びに食糧配給生産局の権限を統合調整すると共に、人的資源委員長ポール・マクナットに對しては一般市民の轉廢業禁止の権限を賦與し、更に賃銀、地方稅並びに俸給を「小鐵鋼模式」以上に引上げることが禁止するに在り、ルーズヴェルトは一面今回の大統領令に依つてインフレーションを阻止すると同時に戦時機構相互の調整を計り、更にマクナットに對する軍當局並びに政界筋の非難を押し切つて飽くまでニューディール派現在の陣容を以て戦争遂行する決意を表明したと解される、大統領令の全文次の通り
本日私が署名した大統領令は「現在の戦費を支へよ」との命令である、この爲には生活費に影響を及ぼすやうな物價の騰貴、賃銀、俸給乃至地方稅の現在以上の増加は標準生活諸條件を是正するに必要なきことが明瞭な場合以外は許容することが出来ない、戦線を支へるには其他他地でも早戦線を支へることが出来ないとの理由を見出さうとするのを差し止める以外に方法がない、一本の黨が駐略の背を破ることは出来ないが之が最後だといふ黨が到る所に存在してゐることを忘れてはならない、我々は既にあまりに多くの危険を犯してゐるのでこれ以上戦線を弛めることは出来ない
△物價戦線 物價戦線に於ては命令の方向は明瞭且直截である、生活費に影響のある一切の綱目は統制下に置き法律に依つて絶対に必要とされない限り現在以上國家の吊上げを延ばしてはならない、尤も相異なる商品相互間の値段の關係は全般的な生活費を増加せざるに調整出来る場合には調整することが許されるだらう、然し生産を維持し乃至増加する爲の刺戟を理由に現在の物價水準を攪亂することは許さるべきでない、即ち助成金の形式をとらうが獎勵金の形式に依らうとも、増産刺戟策の結果消

費者に對し物價吊上の結果になるやうなことは許されぬ、勿論生活費を引下げて置く爲に、どの程度まで助成金その他を政府が支出するかは議會の協賛に依つて決定されよう、生活費に影響を及ぼす物價の一部は既に一九四二年九月十五日の水準を越えるに至つた、これらの物價を悉く元に戻すことは出来ない、且つ元に戻さねばならない、今回の大統領令は不當に高いか、乃至は公正を缺くか、或は不均衡な一切の物價の引下げを命令する、物價釘付法は、一九四二年九月十五日現在に於て過度に高かつた物價を保護する爲の補として使用される目的に出たのではない、△賃銀銀線 賃銀銀線に於ける命令も同様に、明瞭且つ直截である、賃銀、地方税乃至俸給率は生活標準を是正するに必要なことが明瞭な場合以外現在以上に増加することを許さない、編成替へ乃至昇進の結果生産費の一般水準に影響を及ぼすことを許さず、乃至はその故に物價の増加を正當づけ、或ひは物價の引下げを阻害することがあつてはならぬ、更に今回の大統領令に依り、戦時人的資源委員委員長の指令に準據する場

い限り地方税の増加には同意せず、地方税の引下げを命令するやう要望す。従來ベンクヘッド法案の支持者達は、一九四二年十月二日の法律の下に於ては、大統領は一定の商品につき現存水準で最高値段を決定する権限がないと主張するから、自分は今まで行動することを差控へてゐたので、右問題に關する余の見解は去る四月二日ベンクヘッド法案拒否に際して余のメッセジに明示された通りである、上院は拒否後更に同法案を表決に附さず、上院議員ジャン・ペンクヘッドは大統領の拒否を乘越えて同法案を更に上院農業委員會に廻附することを動議した、今後數週間乃至數ヶ月の後に同法案が再び委員會から上院に上程されるかも知れない、更に米國議會の歴史に徴すれば一旦大統領に拒否され、再び委員會に附託された法案が法律になつた例はないといふ、併しならば自分は委員會が今後何時か同法案を上院に提出するのを在再待つてゐる譯には行かない、乃至物價の螺旋上昇の繼續を容認することは出来ない、或ひは賃銀生活者が不當に利益を收めてゐるからとの理由で農産物物價の引上げを要求し、或ひはまた農民が不當に利益を收めてゐるからとの理由で賃銀の増加を要求する議論が出てゐる、以上の紛争が繼續されるならば、單にインフレーションが惹起されるばかりでなく、一致協力が肝要に際して却つて不一致を醸成することゝなる。

併給並に物價を同年九月十五日の水準に釘付けすべきであるといふことを指令してゐるが、右指令に依つてインフレーションの進行は遅くなつた、併しながら我々は今インフレーションを阻止させねばならぬ、尤も賃銀並に物價の最高値段を決定させることは出来ぬ、配給制當制だけではインフレーションを阻止することも出来ない、完璧を期するためには議會が過剩購買力を切下げ、且つ噴止めるやうな措置を講じなければならぬ、我々は現在以上に税金を拂ひ、消費を節約して貯蓄を増加せねばならぬ、余は余の保有する一切の力を擧げて物價安定計畫を改善する決心であるが、議會も余に協力することを確信する。

物價安定令

【アエノスアイレス九日發】ワシントン來電、大統領ルーズヴェルトは長官ブレント・ハウスで物價調整局八日夜公布された「物價安定令」の實施方法を中心にインフレ防止策につき協議し更に經濟安定局長官ジェームス・パーンスをも招致して意見を聴取した、次でルーズヴェルトは、政府のインフレ對策を説明し、出府、政府のインフレ對策を説明したがルーズヴェルトの經濟統制強化方針は大體次の通り

- 一、物價調整局をして國民の生活費と關係ある全商品に對し個別的に最高價格を設定する、或る商品が生計に關係があるか否かに物價調整局長官が決定する。
- 一、「物價安定令」の實施には經濟安定局長官が當るが、同長官の権限は各局権限の限界に發生する問題或は物價調整局乃至戦時生産局が解決を困難とする問題に限られ、全權を賦與される譯ではない。
- 一、物價安定令は賃銀統制、食料價格統制當制並に課税と貯蓄による購買力吸収の四點に立脚してゐるが課税と強制貯蓄は議會の承認を要するため今次の物價安定には取上げられてゐない、但し明年度に於ける政府収入増加の目標は百六十億弗である。
- 一、食料統制は局地的な物資缺乏乃至過剩を回避するため地域別に實施される。
- 一、衣類については例外として今のところ最高價格を設けない。

生活費昂騰

【リスボン十八日發】ロンドン・タイムス紙ニューヨーク特派員は米國における生活費の昂騰を次の如く報じてゐる

燃料不足に鑑み近く石炭の割當配給を實施するに決定、ルーズヴェルトは石炭割當配給に關する諸般の事務を擔當する新局を設置して長官に石油調整官ハロルド・イーキスを任命した旨三日夜發表された

勞務

大童

【アエノスアイレス四日發】ワシントン來電、徴兵局長官ルイス・ハインズは四日來る五月一日以降三十八歳乃至四十五歳の男子にして目下不急、不要事業に従事してゐる者は總べて戦争努力と關係ある職務に轉業すること然らざる者は軍隊に徴收される旨發表した

人的資源の實狀

【アエノスアイレス七日發】最近の米國情報に基づき米國における人的資源動員情況を綜合すれば次の通り

- 一、女子軍需労働者數、一九四二年末において一般事務、輸送機關、政府機關に従事するものを含め直接戦時活動に關係する仕事に従つてゐる女子は四百萬に達した、本年末に至ればこの數は内輪に見積つても六百萬に達しやう
- 一、男子労働者比率、一九三〇年の國勢調査によれば當時就業乃至就職希望の女子の數は百七十五萬だったが然るに一九四〇年においては男子労働者四千萬に對し女子労働者は一千二百七十五萬に上り、更に一九四二年末に至つては男子労働者四千二百

割當別實施

- △衣服類三・三%
 - △雜貨類三・二%
 - △電燈料並に燃料二・四%
 - △住宅費一%
- ▲石炭【アエノスアイレス二十三日發】ワシントン來電、政府は刻下の

今同の物價釘付計畫につき注意を喚起し、聯邦並に州の法令と矛盾した

一九四二年十月二日の法律に依れば米國議會は實行の出来る限り賃銀、

萬に對し女子勞働者は一千五百六十萬に達した一九四三年末にはこの比率は男子二千五百萬、女子一千八百四十萬とならう、即ちこの三年間に男子勞働者に對する女子勞働者の比率は二六・六%から二九・九%に増加するか、一九四四年に入れば更に三十四%とならう

一、軍需勞働者新規必要數、米國戰時生産局長ドナルド・ネルソンは最近米國軍需産業は一般民需經濟に企圖する一千万の軍隊を充分裝備し得やうと言明した、更に戰時生産局は一九四三年中に米國の軍需生産を二十%方増大させることを目標としてゐるが、これがためには更に二百二十五萬の軍需勞働者が必要であり人的資源の活用に就いては最大の能率發揮が要される」と語つた

一、女子産業勞働員人的資源委員長長ポール・マツナルドは一九四三年末には約八百萬の家庭主婦、女學生及び學校卒業生が産業に従事してゐることゝならうと言明した

勞働員計畫の矛盾指摘

【ストックホルム八日發】ワシントン來電 上院は米國刻下の最大問題たる人的資源情況調査の爲過般特別委員會を任命したが、右委員會は最近報告を發表、次の如く政府の勞働力動員計畫の矛盾を指摘した

一、委員會の公聽會に出席した政府關係者の説明によれば、政府は一九四三年末までに六千二百五十萬の人間を動員せんとしてゐるやうだ、然しこれは殆ど實施不可能な計畫であり委員會としては米國の「人的資源銀行」は數百萬以上も引出超過となつてゐるとの結論に到達せざるを得なかつた

一方民主黨反政府派の巨頭たる上院議員ジョン・パツカヘットは八日戰時生産局長官ドナルド・ネルソン及び人的資源委員長ポール・マツナルドと長時間に亘り會談した後次の如く語つた

「一九四三年の政府の人的資源動員計畫は新規に動員し得る勞働力が幾許であるかといふ肝心な點を考慮に入れてゐない、政府の計畫によれば本年の新規動員豫定は約八百萬だがこの人的資源を何處から獲得するかに就いては何等の説明が與へられてない」

轉職禁止令公布

【アエノスアイレス八日發】ワシントン來電 人的資源委員長長ポール・マツナルドは八日大統領令に基づき、勞働者が高賃銀を求めて職場を變更することを禁じた轉職禁止令を公布した

失業者數百萬

【アエノスアイレス廿八日發】ワシントン來電 國務調査局は米國の失業者數が三月中に四十萬人減少し現在百萬人となつた旨發表した

軍需工業の怠業問題

【アエノスアイレス七日發】軍需勞働者の缺勤問題は人的資源不足に悩む米國で重大な政治問題と化し、下院海軍委員會は民主黨議員リンドン・ジョンソンの提出した缺勤防止法案を中心に審議を進めてゐるがニューヨーク・タイムズ紙は右委員會公

聽會に於ける名議員並に政府關係者の言明を基礎に米國に於ける勞働者の缺勤情況を次の如く傳へてゐる

一、海軍委員長長モリス・ランドの證言によれば米國造船所に於ける缺勤による損害は年百隻のリバティ型船舶を建造し得る額に匹敵する、一九四二年十一月から本年一月に至る調査によれば缺勤による一週間の喪失勞働時間數は十一月二十七萬三千七百三十八萬二千二百七十七時、一月二十二日八萬九千時となる

一、海軍長官ノックスの發表した統計によれば民間造船所並に十六海軍工廠に於ける缺勤率は一九四二年四月の七・二%から同年十二月には八・三%に増加した、海軍工廠のみの統計によればこの率は一九四二年四月の八・九%から本年一月の九・四%に増加した

一、陸軍次官バタソンの證言によればノース・アメリカン航空機製作會社のみでも缺勤によつて昨年中に中型爆撃機九十七機を製作し得る時間を失つた

一、缺勤は男子勞働者より女子勞働者に多く約二倍の率に達し、又女子のうちでは若年者が老年者より多い

レーム造船所銲接工七名をサボタージュの罪で逮捕した旨發表した、米國の戰時型船舶がその竣工を急ぐの餘り粗製濫造に陥り、これが爲海難事故その他の不祥事件が續發、聯邦檢察當局はその原因究明の爲調査の手を進めてゐたもので、檢察局長エドガー・フーリアーの言明によれば逮捕された職工はいづれも造船の記録を出す爲に船體の主要部分に手を抜いたことを自白したといはれる

争 業 フォード會社の罷

【アエノスアイレス九日發】デトロイト來電 リヴァー・ルージュに在るフォード會社の二軍需工場勞働者三千二百名は九日同時に罷業に入つた、現在までのところ争議の原因は何等發表されてゐない

クライスラー戰車工場閉鎖

【アエノスアイレス二十五日發】デトロイト來電 クライスラー戰車製造工場では過般來一勞働者の懲罰問題に端を發し約五百名の従業員が罷業中であつたが、會社側では強硬手段を執るに決し二十五日遂に同工場閉鎖の舉に出でた、争議の原因は會社が一勞働者を「煙草を喫んで遊んでばかり居る」との理由で三十六時間の出勤停止處分に附したことにあるが、工場閉鎖の結果約二千八百名の従業員が閉出を喰ひ戰車の生産は全く中止された

【アエノスアイレス七日發】ワシントン來電 鑛山勞働組合を代表する戰時勞働局委員トーマス・ケネディは七日突如辭職した、組合長ジョン・ルイスはケネディの辭職を機に勞働局に對する協調態度を一擲し、政府の賃銀抑制政策に敢然反抗運動を興すのではないかと見らるる

賃金引上要求續行

【リスボン十二日發】ニューヨーク來電 炭坑勞働者組合會長ジョーン・ルイスは今回公布されたインフレ抑制行政令に關聯し、本日次の如く所信を披瀝注目を惹いた

「今回の大統領令に拘らず、米炭坑勞働者組合は今後も一日二弗方の賃金引上要求を續ける積りである、炭坑勞働者の賃金は現在のままで未だ一般生活水準を下廻つてをり、従つて炭坑勞働者の賃金引上要求は當然のことだ」

罷業開始

【アエノスアイレス廿七日發】ワシントン來電 アパラチア山脈地帯の無煙炭坑争議は休戰協定期間刺すところ三日となつても依然解決の曙光だに見えず、米國鑛山勞働組合會長ジョン・ルイスは同地方の坑夫四十五萬に對し卅日夜半迄に妥協が成立せぬ場合には總罷業を執行するやうに指示した、既にペンシルヴァニア州西部では四萬の坑夫が組合の命令を待たずに罷業を開始し、これによる石炭の損害は百萬トロンに達してゐる、一方ジョン・ルイスは廿七日に至つて炭坑争議を戰時勞働局の調停に委嘱することを正式に拒否した

炭坑争議

ケネディ突如辭職

【アエノスアイレス七日發】ワシントン來電 聯邦檢察局は十六日メリランドのミ

罷業人員既に六萬

【アエノスアイレス廿八日發】ワシントン來電... 決定に先立ち一部労働者は早くも罷業を開始したが...

ルイスヴェルト強硬決定を 通達

【アエノスアイレス二十九日發】ワシントン來電... ルイス並に同會計書記長トーマス・ケネディーに宛てて...

米國鐵山労働組合... 争の解決が米國戰時労働局に委任された結果...

本調査委員会の煩觸れは委員会が實情を公平に調査して...

時労働局が開陳せよとの要請を拒否したのみならず...

を要求した同局の勧告をも無視した本問題に關し...

既に發生し又發生せんとしつゝある炭坑争議と罷業は...

この紛争に對する凡ゆる前例を忠實に踏襲したことを...

働局に提出して最終的解決を委嘱するやう要請する...

【アエノスアイレス廿九日發】廿九日オハイオ州...

【アエノスアイレス廿九日發】ビツバグの鐵山ニテ...

の波は今や米國全土に擴大、ニューヨーク來電...

【アエノスアイレス三十日發】ワシントン來電...

【アエノスアイレス廿九日發】米國東部地方炭田...

有煙炭礦労働者八萬も既にルイス一派と合流し...

【アエノスアイレス十五日發】メキシコ・シテイ...

【アエノスアイレス十七日發】メキシコ市來電...



赤色スペイン人收 容同意

物資不足激化

トロツキー暗殺犯人に懲役二十年

キニ

内閣一部改造

【フエノスアイレス一日發】

ベヴアナ來電ハ大統領バチスタは文相マルケス・スターリダの辭任に伴ふ關係の更迭を一日發表新聞相には現商相アルセルモ・アルビエゴが又新商相にはリカルド・ブツタリがそれぞれ任命された、文相マルケス・スターリダは自由黨から大統領に立候補するため辭任したものである

友好條約批准案可決

【フエノスアイレス二日發】

ハヴアナ來電ハ上院は昨年十一月重慶政權との間に條約に關する批准案を一日可決した、同法案は將來キューバ、重慶兩者間に通商並びに海運に關する正式條約の締結の基礎となるものである

リトヴィノフ大使ハヴアナ着任

【フエノスアイレス八日發】

ハヴアナ來電ハワシントン駐劄ソ聯大使リトヴィノフ氏は八日キューバ、ソ聯兩國交開始最初の大使としてハヴアナに着任、バチスタ大統領に信任状を捧呈した、同大使は近くワシントンに歸りハヴアナには代理大使が置かれて職務を代行する筈である

西印度諸島

【フエノスアイレス十七日發】

キュービニョーク來電によれば佛領西印度總督ジョルジュローベル提督は過般ニアンチル諸島に關し米國の要求に應

ずる爲には左の三條件の認められることが必要であると述べたといはれる

一、ローベル提督はバタン元帥に對し敵對態度を執らざ
一、反樞軸諸國は最高の權利を附與せられた單一主權の下に全フランス人が結合することを認容すべし
一、ローベル提督を現在及び將來マルチニツクに於けるフランス國の表者と認めること

佛領マ島と斷交

【フエノスアイレス廿日發】

米國政府は屢次の脅迫にも拘らずローベル提督が容易に屈服しないのに業を煮やし遂に廿六日に至り斷交の措置に出たと云はれる、ワシントン來電によれば國務長官ハルは三十日の新聞記者會見に於て以上の事實を發表、ローベル提督に對し一切の取極めを廢棄する旨通告するとともに同島駐在の米國總領事に對し引上げを命令したと述べた

米クラカオ島に基地建設

【フエノスアイレス八日發】

カラカオ島(ベネズエラ)來電に依れば米政府は新に關領西インド諸島中のクラカオ島に軍用基地を建設中と傳へられる、要塞建設を擔當した米國商社は建設工事促進のため現在ベネズエラ各地で労働者の大募集を行つてゐると云はれる

米國パナマに權益の一部を移讓

【フエノスアイレス廿七日發】

ワシントン來電ハ米國上院は廿六日パナマにおける米國權益の一部

をパナマ政府に移讓する法案を三十三票對十九票で可決した、この結果米國はパナマに對し水上施設並に陸上權益の一部を移讓することになつた米國はパナマに於て八十ヶ所以上の軍事基地及び飛行場を有してゐる

パナマ領土の使用を要求

【フエノスアイレス廿日發】

パナマ來電によれば米國政府はパナマ領内の防備を強化するため一萬五千エーカーに及ぶパナマ領地の一時的の使用を承認することをパナマ政府に要求してゐると傳へられ、パナマ議會は右協定を審議するため五月三日から十一日迄特別議會を開催するといはれる

反樞軸同盟加入

【フエノスアイレス十日發】

ワシントン來電ハワシントン駐劄ブラジル大使がワシントンにおいて今回正式にブラジルの反樞軸同盟加入調印を了した旨十日發表した

軍事使節團北阿へ

【フエノスアイレス十五日發】

リオデジャネイロ來電ハ政府は將校八名から成るブラジル軍事使節團が近日中に北阿へ向ふ豫定である旨十四日發表した、既にアルジェエの米軍司令部にはブラジル軍事使節としてエドワード・ゴムスが駐在してゐるが今回の使節團派遣により米伯兩軍の連絡は一層緊密化されるものと見られる

重慶公使館を昇格

【フエノスアイレス廿七日發】

リオデジャネイロ來電ハ大統領ヴァルガスは廿七日重慶駐劄ブラジル公使館を大使館に昇格せしめる旨發表した

食糧不足増大

【フエノスアイレス廿九日發】

リオデジャネイロ來電ハ經濟總動員調整官パロスは今後、ブラジル沿岸航路の船舶運輸を一切同調整官の管轄下に置く旨廿九日發表した、右は最近輸送力の缺如に基く同國の食糧不足特に砂糖の缺乏が激化した爲めの措置である

大統領伯國訪問

【フエノスアイレス廿九日發】

アシオン來電ハバラグアイ大統領モリソンは廿八日外相、内相、ブラジル大使を帶同してブラジル訪問の途に就いた、同大統領はリオ・デ・ジャネイロにおいてブラジル政府との間に經濟協定締結交渉を行つた後、ワシントンを訪問する豫定である

リチ

【フエノスアイレス廿日發】

サンチャゴ來電ハ政府は五日同政府在ロンドンでの亡命チエツコスロヴァキア政權を承認し、これと外交關係を開くこととなつたと發表した

内相對ノ復交の用意を表明

【フエノスアイレス十二日發】

サンチャゴ來電ハ内相モラレスは十一日民主、社會兩黨其他左翼各派の會合に出席して對ソ復交の意向を次のやうに表明した

チリはソ聯と外交關係を再開するや米洲における唯一の中立國として残り、米國政府の強壓下に殺然たる

激震の被害甚大

【フエノスアイレス七日發】

サンチャゴ來電ハ六日チリを見舞つた激震は一九三九年以來の大地震で初震は同日十二時八分から二分間續き、七分後更に第二の震動が三分間續き、地震を感じた地帯は北部のイキケから南部のリナレスに亘る一千二百キロの廣範圍に亘りサンチャゴ北方二百キロの地域が最も激烈を極めた、七日正午迄に判明したところによればサンチャゴ北方のサラマンカ市は全市の半分が破壊され、イラペル、コムバルペラ兩市も甚大な被害がある、一九三九年の地震で全滅した後復興したラ・セレーナ市も再び破壊されたといはれる

大西洋空路参加

【フエノスアイレス十日發】

サンチャゴ來電ハ政府は今回リスボン及びアイルランド向け大西洋航空路に加盟することとなり十日汎アグラ航空會社とメイール・テレグラフ社との間に新契約が調印された、チリ國より歐洲向けの郵便物は毎日キュービニョークに運ばれ更に同地からアトランティック・クリップパー機に積替へ歐洲へ託送されることになつてゐる

大統領選挙を前に政局活潑

【フエノスアイレス廿一日發】

次期大統領選挙は今年九月に行はれるが同國は今

中立政策を堅持してゐる現大統領ラモン・カステイロ博士の重任は憲法により認められないだけに来るべき改選選挙はアルゼンチンの將來の動向に相當重大な影響を及すものとして重視されてゐる、各黨派は早くもそれぞれ選挙対策の準備を開始し政府黨たる國民民主黨の候補には既に上院議長バートン・ゴスタ氏が舉げられた、反對黨たる急進黨の候補者は未だ決定してゐないが、下馬評では元外相オノリオ・プエイレドン氏の立候補が最も有力視されてゐる今一つの反對黨たる社會黨は非合法の共產黨とともに最も旗色鮮明な中立反對派でかねて左翼諸派の聯合による人民戦線の結成を企圖してゐるが、黨勢微弱のためこの企圖は全く失敗に歸してゐる

ブ州總督辭職の真相

【ブエノスアイレス十四日發】 元東京駐劄大使現ブエノスアイレス州總督ルドロフ・モレノ氏は十三日突然辭職したが、氏の辭職の理由に關しアルゼンチン各紙の報道する所に依れば今年執行される次期大統領選挙の候補者につきカスチヨ大統領との間に意見不一致を生じ、政府はブエノスアイレス州廳に對し選挙干渉に出る形勢となつた爲めモレノ氏が断然辭職したと傳へられる、因にカスチヨ大統領は次期大統領候補としてバートン・ゴスタ氏をまた副大統領候補には元法相マヌエル・イリオン

の何れかを推挙したい意向と傳へられる

智利大統領亞國訪問に決定

【ブエノスアイレス七日發】 アルゼンチン外務省はアルゼンチン政府がサンチャゴ駐在大使を通じてチリ大統領領リオスにアルゼンチン訪問の招請を發し同大統領はこれを受諾した旨七日公表した

亞、瑞典兩國間の航路再開

【ブエノスアイレス八日發】 アルゼンチン駐在スウェーデン公使館は八日アルゼンチン、スウェーデン兩國間の通商航路が近く再開される見込であると發表した、再開後は現在同航路に使用可能な船舶以外に冷凍設備を有する二隻の新船が配船される豫定である

南大西洋防衛司令を新設

【ブエノスアイレス九日發】 アルゼンチン政府は今般南大西洋防衛司令官の地位を新設しホセ・ツルオガを司令官に任命した

物資徵用令公布

【ブエノスアイレス十日發】 公共事業省は十日國內の非常體制強化の爲廣汎な物資徵用令を發布した、右に於て政府は今後電氣、煖房設備、電話、車輛、家具、工作機械、船舶等の製作材料を政府の公定する價格において強制的に接收し得ることとなつた

米の借款供與受理を拒否

【リスボン廿日發】 米國は資源開發を名目に最近新たに總額五千萬ドルに上る借款供與方を交渉中であつたがワシントン來電によれば米財務長官モーゲンソーはこの程下院財政委員會に對しアルゼンチン政府が右借

款受理に難色を示して來たため遂にこれを撤回した旨言明したと傳へられる

駐ソ公使任命

【ブエノスアイレス三十日發】 ボゴダ(コロンビア)來電〓今回初代駐ソ公使として元駐日公使アルフレド

アピンロコ

ミツチエルを起用するに決し三十日その旨政府から發表された

内閣の一部改造

【ブエノスアイレス二十日、廿八日發】 リマ來電〓文相ベドロ・オリヴェイラ並に農相ベジヤミン・ロカは廿日辭職し農相後任にはゴドフレド・ラブルテが任命された、法相リノ・コルネホは文相に轉じ前リマ辯護士協會會長マヌエル・ガラヘルが法相に任命された

ペール

【ブエノスアイレス二十日、廿八日發】 リマ來電〓文相ベドロ・オリヴェイラ並に農相ベジヤミン・ロカは廿日辭職し農相後任にはゴドフレド・ラブルテが任命された、法相リノ・コルネホは文相に轉じ前リマ辯護士協會會長マヌエル・ガラヘルが法相に任命された

イアグルウ

【ブエノスアイレス二十七日發】 モンテヴィデオ來電〓大統領アメサガは二十七日米國輸出入銀行の同國に對する二千萬弗に上るクレヂット協定の署名を拒否した、右協定は前外相アルベルト・ゲアニ(現副大統領)が二ヶ月前ワシントンで調印したもので協定の數項目が大統領の承認を得ず、署名拒否となつた

壯丁召集

【ブエノスアイレス十九日發】 モンテヴィデオ來電〓政府は今同一九二一年より一九二四年に至る間に生れたる壯丁を召集することとなり國防省

は十八日その旨公布した

アイヴリボ

【ブエノスアイレス九日發】 政府は去る六日の閣議で對樞軸宣戰を決定した結果、第卅三番目の反樞軸參戰國となつたが、その宣戰布告文は左の通り

「ボリヴィア國は反樞軸國との連帶性を確認し樞軸諸國と戰爭状態に入

ることを茲に宣言す」

但し右布告文は議會の批准を要するが未だその召集期日は決定してゐない、ボリヴィア政府は近く全國に産業總動員令を發し、最高國防委員會が中心となつて反樞軸國の戰爭遂行に對し主として軍需資源方面から協力することとならう

米國資本で農事試驗場

【ブエノスアイレス七日發】 ラパス來電〓米國副大統領ウォーレスは五日ラパスに到着六日全閣僚出席の下に大統領エンケ・ペニヤランダと會見したが協議の結果米國資本によつてボリヴィア國內に農事試驗場を設立する旨の取極めが成立した

新人造石油發明

【ブエノスアイレス廿六日發】 ラパス來電〓一發明家フランシスコ・パチエコは最近新人造燃料の發明を完成、同國大統領ベニヤランダ及び米國大使ジェンキンズ等の面前でこれを披露したがその際彼は從來の石油を披露したがるの際彼は從來の石油及び燈油を充分代用し得るものだと述べてゐる、なほ右に立會つた者の中話ではランプ及び自動車發動機について實驗した結果いづれも良好な成

績を収めたといはれる、新人造石油は水鹽及び秘密の材料を使用して作られ價格は天然石油の四分の一であると稱されてゐる、なほボリヴィア政府はパチエコに對し研究繼續上國立研究所の使用を許可する方針である

ボリビア錫鑛山へ米調査團派遣

【リスボン二十七日發】 錫不足に悩む米政府はボリビアの錫増産によつて困難を切抜けるべく種々工作中であつたが、ボリビヤ錫鑛山は鑛夫の待遇問題を繞つて爭議絶えず増産の實を擧げ得なかつた、この結果米國は表面ボリビアの要請に基くかの如く見せかけ自國の調査團をボリビアへ派遣調査中であつたがラ・パス來電によればこの程調査を完了、錫鑛山における貨銀は事實低廉であり、衛生設備及び醫療状態も全く不完全であると發表した

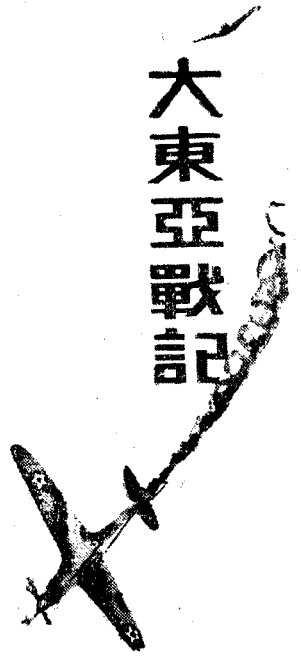
農相更迭

【ブエノスアイレス五日發】 キトー來電〓大統領アツロ・デル・リオは五日前農相クレスボ・オルドネツツの後任としてカルロス・ロコを任命した、更迭の原因は經濟情勢の不安に基くと解される

ルドアクエ

【ブエノスアイレス五日發】 キトー來電〓大統領アツロ・デル・リオは五日前農相クレスボ・オルドネツツの後任としてカルロス・ロコを任命した、更迭の原因は經濟情勢の不安に基くと解される

大東亞戰記



空母ヨークタウンを屠る

〇〇潜水艦長手記

昨年六月七日わが〇〇潜水艦は遠くミッドウェー北方洋上に米航空母艦ヨークタウン型撃沈の偉勳を樹て、開戦以來初の潜水艦感状を拜したが、以下は同潜水艦長が綴る苦心の空母襲撃手記である

(平手海軍報道班員)

我が艦はミッドウェー作戦の開始から同方面に索敵を續けてゐるが、六月六日わが荒鷲の奇襲に傷つた航空母艦が、ミッドウェー北方〇〇附近に傾斜しつゝ漂流してゐるから撃沈せよとの命令を受け、翌未明頃現場に到着すべく高速で途中充分に充電補氣を行ひながら指示された地点へ向つた、翌七日午前〇〇時〇〇分、豫定地点につくと見張員が「黒いものが見えます」と届けた、これが最初の發見で、更にまた別に黒いもの一つ發

見した。このとき空母は〇〇度方向に向つてをり、本艦は其後方〇〇米で潜航した。次第に視界も明るくなり、空母は左に傾いてゐるのを認め、たので左よりの襲撃を決定し、襲撃距離を適當にとりつつ進んだ。飛行甲板には爆撃の穴らしいものを認めず、火災の模様もなく、恐らく魚雷による傾斜と思はれた。

私は間もなく爆雷に對する防禦を命令し、深度計や電燈の處置など、艦内の準備を完了した。敵驅逐艦は周圍に五隻、前方に二隻あり、警戒は至に停止漂泊してゐるやうに思はれたが、その後露頭して観測する毎に、航海長の作圖になる豫想と違ふので、潜航してより〇時間半頃より、或は動いてゐるのではないかと疑問を抱き始めた。潜望鏡觀測の都度、正横距離が豫想外に近くなり、

また方位角もかへつて大となつて、一向に前程に進出せず、一時は海流に流されてゐるのではないかと考へた。遂に左から襲撃困難を感じ、敵は動力が何かわからないが、確かに動いてゐるものと判断して右からの襲撃を決意、思ひ切つて右に出た。敵警戒幕を横切つて二時間、全く潜望鏡をあげず、たゞ作圖によつて敵前進路を扼さんものと突進したのであつた。敵を見ぬ程心配な事は無い。運を天に任せて、私は無言の潜航を續けた。敵驅逐艦は幾度も眞上を往復した。〇〇時〇〇分、神に念じつつあげた潜望鏡に、あゝ、二隻の驅逐艦に曳航された敵空母が、〇〇米の近くに映つたのであつた。私はこの警戒嚴重な敵を仕止めるには一發で成功しなければならぬと覺悟し、最初から方位角は〇〇度、距離は〇〇米附近の射點を望んでゐたから、敵を待つべく進出を企てた。既に本艦は敵驅逐艦の警戒網を突破して至近の距離にある。〇〇時〇〇分、空母は私の注文通りのところへぐつと回頭してきた。

「射て」〇分〇〇秒、轟しや、四度を發見したと見えて回頭を始めた。浮上前「塞力なし、空氣〇〇キロ」の報告があつたので、急速充電補氣を命じ艦尾を敵に向け全力で走つた。敵驅逐艦は遠距離に居る。「シメタ」と思つた時敵もまた本艦を發見したと見えて回頭を始めた。遂に私達は勝つた。電動機は運轉を始めたのだつた。敵の砲弾が、後方で炸裂し始めた。煙幕の中で潜航したので、敵弾は見當違ひだ。日は暮れかゝる。こんど「わが雷撃に怯氣つた敵艦は威嚇的に最後の爆雷數發を投下して頭上を去り、〇〇時、本艦は勝利に輝く艦影を闊の海上に現したのであつた。

必死の應急處置が續けられた。〇〇時遂に電池の電力がなくなり電動機が停止した。空氣も濁つてきた。艦内は暗くなり、僅かに懐中電燈の點滅が私たちの運命を暗示するかのやうに心を打つた。艦は遂に〇〇度の仰角で浮上しはじめた。機械長も發令所に來て先任將校の指示を仰ぎ、機關員を前後に移動して平衡を保たうとしたがもはや浮上するより方法はなくなつた。浮上すれば敵の最中、差違へて肉弾攻撃よりする外はない。たゞ最後の爆雷攻撃より〇〇分を経過し、幾分散は遠ざかつたのではないかといふ一縷の希望を抱いて不安裡に艦橋ハッチを開いた。艦橋にあがつて見ると近くに敵なく又飛行機も見えず、遙か彼方〇〇米附近に三隻の驅逐艦が歸途に就てゐるのが發見され、既に空母の姿なく撃沈は確實となつた。

空母撃沈！
既に使命を果した以上、いつ死んでもいい。人事を盡して天命を待つのだ。敵驅逐艦は遠距離に居る。「シメタ」と思つた時敵もまた本艦を發見したと見えて回頭を始めた。遂に私達は勝つた。電動機は運轉を始めたのだつた。敵の砲弾が、後方で炸裂し始めた。煙幕の中で潜航したので、敵弾は見當違ひだ。日は暮れかゝる。こんど「わが雷撃に怯氣つた敵艦は威嚇的に最後の爆雷數發を投下して頭上を去り、〇〇時、本艦は勝利に輝く艦影を闊の海上に現したのであつた。

〇〇分敵は増速して次第に距離は縮まつた。見張員は「近づきます、近づきます」と届けてくるが艦内の状況は少しでも長く走らねばならぬので、航海長から状況を聞いたが、なか／＼思ふやうに抄らない。こんど潜航すれば運命きはまるものと覺悟した私は、任務達成の報告をすべく通信長に空母撃沈の任務を果した報告をするよう口頭で命じた。暗號の作製も電報通達も素早く迅速に行はれ、潜航〇〇分前には通信を終つた。驅逐艦は遂に〇〇米に迫つた。とにかく潜らなければやられると決意したものの、

「電機長電氣はどうだ」と聞いたが「自信はありませぬ」と云ふ返事、最後の努力だ。モウ一度頑張れば、其の内に電力も何とかなるだらうと見當をつけて潜航した。深度〇〇

「推進機が微かに廻ります」と云ふ傳聲管の響き、私は夢ではなかつた。聞へる、聞へる！遂に私達は勝つた。電動機は運轉を始めたのだつた。敵の砲弾が、後方で炸裂し始めた。煙幕の中で潜航したので、敵弾は見當違ひだ。日は暮れかゝる。こんど「わが雷撃に怯氣つた敵艦は威嚇的に最後の爆雷數發を投下して頭上を去り、〇〇時、本艦は勝利に輝く艦影を闊の海上に現したのであつた。

「近づきます、近づきます」と届けてくるが艦内の状況は少しでも長く走らねばならぬので、航海長から状況を聞いたが、なか／＼思ふやうに抄らない。こんど潜航すれば運命きはまるものと覺悟した私は、任務達成の報告をすべく通信長に空母撃沈の任務を果した報告をするよう口頭で命じた。暗號の作製も電報通達も素早く迅速に行はれ、潜航〇〇分前には通信を終つた。驅逐艦は遂に〇〇米に迫つた。とにかく潜らなければやられると決意したものの、



ガダルカナル島戦記

- ☆ 血戦の實相 (〇〇中佐談)
- ☆ 寺澤挺進隊の決死行
- ☆ 稲垣部隊と決死の傳令
- ☆ ガ島食物戦記

血戦の實相

ガ島第一線兵團に在つて直接作戦に當り内地に歸還した〇〇中佐は、廿八日陸軍省記者會でその實相をつぎのやうに語つた。

私が體驗したこと、ならびに見聞して來たことに、私個人の所見を附けてお話ししたいと思ふ、たゞ私の所見といふのは、第一線で前の方はかり見てつたから全局的にみて當らない點も多々あると思ふが、その點豫め御諒承を願ふ、第一に作戦間最も感激を覺へたことを御話したい

御親拜に將士感泣

それは既に皆さんも御承知のとほり去年の冬、天皇陛下が戰勝御祈願のため、伊勢神宮に御親拜あらせられたといふ報道を聞いたときである。このことはガ島で敵と相對峙中上司から傳達せられた。そのときの状況をありのままに申し上げると吾々が、いままで經驗した會報とか、命令下

達とかは通常大きな講堂とかあるいは纏りのいい廣場だとかであつたとこが、ガ島ではさういふことは出来なかつた。といふのは、到るところ間斷なく敵の砲彈が凄じい唸りを立てて落ちて來る。朝から晩まで敵の飛行機が飛んでゐる、したがつて皆を集めて會報を実施することは出来ない。それが會報を実施するとき、命令する者も受ける者も壕の中へ入つて頭だけ出して行ふ。飛行機が飛んで來ると頭を引込める。受け方もジャンゲルの樹の根元など、少しの蔭でも利用して身を伏せて聞かす。それで危いので、壕を掘つて壕の中に入れてゐる。會報を受領するときは、ちやんと鉛筆で紙に書くのが飛行機から見ると白く見えるといふので、木の蔭で書く。といふやうな状況のもとに、會報を行つて居つたが、その御親拜の報は、さう状況下において、副官が砲彈と爆彈いふの相交错する中で、大きな聲で「天皇陛下におかれられては今般」といふ風に傳へられたのであるが大

も、思はず鉛筆も紙も落してしまつてジャンゲルの樹の根元にひれ伏して、感激の涙にみてるといふ状況は私は眼の前で、頭のテツペンから足の先までジーンとする感動を覺えたのである。恐らく之が敵と三、四十米の距離で相對峙してゐる將兵の間に傳へられたとき、いかにこれらの將兵の士氣を鼓舞昂揚したかといふことは、會報の一場面でも想像がつくと思ふ。これに關聯してわれわれは有難い國に生れたといふことがどんなに困難な作戦の間でも常に將兵の心の中に生きてつて、それが非常に力になつたのである。あれだけの激戦の中

にありながら將兵は時には歌などを作つて心の餘裕のあるところをみせてゐるが、そのときの感激を「大君のみ光あればこのいささ必ず勝たんと勝たておくれよ」と詠んでゐる。ま

彼我目眉に對峙

ガ島の戦況は實際に體驗した人でなければ到底その凄慘さは分らぬと思ふ。我々の部隊はどういふやうな状況で上陸したかといふと敵が調子に乗つて飛行場の守備線から出て來たところへわれわれの部隊は上陸して行く。敵が調子に乗つて伸び切つたところを、ジャンゲルの中で徹底的に叩いた。叩かれた敵は潮の引くやうに退いたそれを追いつてしまつた。そのまゝ後方基地が出来るまでの持久態勢を取つた。持久態勢といつても簡単な防禦ではない。防禦といふものは立派な陣地が出来る。資材を集める。いろいろな物を持つて來てやる。といふ風に考へられるが、ガ島の持久戦は初めから敵との距離は二百メートル、或はそれ以内といふやうなかつた状態ではじゆめられた。したがつてそこへ行つて材料を集めて堅固な陣地を構築するといふいろいろな障壁物を構築するといふことは到底出来ない。いはゆる對峙のまゝ持久態勢になつたのである。陣地の構築も出来るだけのことはしたが、完全にベトン陣地を作るとかトーチカを作るといふやうなことはもちろん出来ない。敵にくつつかつてこれを追つかけて行つたので、一番最初は二百メートル位離れてをたが、二三日もするとすぐ敵は迫つて來た。爾後近いところでは彼我の距離は三十メートル乃至五十メートル位、言葉ではピンと來ないが、すぐ目の前、鼻の先へ敵が來てゐる。しかも絕對優勢な敵である。それと常に相對峙してゐるのである。その上、敵の火力が優勢である關係上、我々の部隊としては一番よい稜線の頂上を占領するわけにはゆかない。稜線上では敵に暴露し、飛行機砲彈にやられる。したがつて稜線から少し下

つた。ジャンゲルの高い見下されるところに敵がある。しかし將兵は頭として頭張つてをた。たゞジャンゲルの中では展望がきかない。實際は敵の方がよく見える所に出たい。しかしさうすればのべつ飛行機にやられる砲彈でやられる。仕方がないからジャンゲルを利用する。敵は三、四十メートル前方の稜線上で、わが軍を見下してゐる。わが軍はこれに對し、上を向いて頭張つてをるといふやうな状況をつゞけてゐた

執拗な敵機空襲

指揮を取つてゐる高等司令部の位置はその第一線陣地から大體四、五十メートルのところであるが、敵の銃砲火が盛んに来る。飛行機などしょちゆう頭の上来る。そこに最高指揮官以下が生活してをつた。これに對し、敵は優勢な兵力、優秀な裝備をもつて前述の様に有利な陣地を占領し、しかも敵飛行機は朝から晩まで飛んで来る。飛行機の飛んで来るのは友軍の飛行機が来る三十分以前からピシヤツとまる。友軍機が歸ると三十分位用心して飛ばない。即ち友軍機の来る前後一時間、それと敵には晝休みの時間があるらしく晝休みの時間に二十分程休みがあるとは瞬時休みなく無茶苦茶に飛んでゐる。天候の如何を問はない。雨、風、一切の悪天候を排し、晝夜の明暗を度外視して朝から晩まで敵の飛行機が来る。そしてその飛行機の來てゐる間、夜ならば螢火程度の光でも見付けたらすぐ爆撃する晝間ならば兵一人でもみつけたら爆撃する。ジャングルのなかから陽の當るところに一才出てをると追かけ廻す一本の木の蔭にかくれてゐる兵をも追ひかけるので兵は木の周圍をグルグル廻るといふ事もある。それでも執拗に追ひ廻すので仕方がないから死んだふりをする。それでも念のため撃つ、それほど執拗な敵の飛行機である。

港その他あつちこち相當激しい戦さをやつて来たが砲弾はドーン、ドーンといふのが今まで聞いた音であるが、ガダルカナル島ではそんな音ではない。ドドドドドドとなる。兵隊はこれを稱してドンドロ射撃といふてをつた。彼らが無暗矢鱈に物資を費ふといふことは全くわれわれの豫想外である。また軍艦は友軍の海軍がゐない時はよつちゆう遊んでつちの補給を妨害してゐた。海岸の補給道路を兵一人通つても軍艦が射撃する。人間一人に對してもでかい砲弾を食すといふことは、我々の常識では到底考へられない。それが晝間ならまだわかる。夜でもやる非常な大きな眼鏡で見ると見え、煙草の火一つ見つけても軍艦からドカンと撃つて來るといふ調子である。それほど惜しみなく弾丸を射つ。惜しみなく物を費す。日本軍がいかに精銳であるかを納得するためにそういふ状況を頭に描いてをつていただきたい。

あらゆるものを喰ふ

さういふ状況において日本軍はどうであつたかといふと、さういふ状況下にさらに補給の問題がある。これははすくに充分新聞には書かれてゐるが、全く想像のほかにある。實際いまま考へても涙が出るが、大體あの間で、一番兵隊が餘計食つた日が一日僅か合で、それが三日とつづいてゐない。三勺、四勺といふ日が何日も續いた。それはまだいい方で、何日も食はずにやつてゐるといふ部隊が澤山ある。そして本當に草を食つてゐる。はくから南海の孤島であつて

柳子があるぢやないか、何か食ふものはあるに違ひないかと考へるかも知れぬが、海岸近くにはなるほど椰子がある。しかし今いうたやうな状況で高い椰子に登つて椰子の實を取ることが出来ない。したがつて木の實、草の根、蟻、蟻の糞食へるものあらゆるものを食つた。さらに鹽が何もない。何とかして鹽氣が欲しい。海岸附近の部隊の者は海水で何とかなるが、山の中の部隊の者は三、四日もかかつて海岸に出て來て飯盒一杯に潮水を汲む。大體ものを炊くのが大變なのだが、一晩中かかつてどうにか蒸溜させて、飯盒の底に指でさして見てはじめて鹽があつたといふことが判る程度の鹽を、さらに三日も四日も歩いてそれだけを部隊に持ち歸り、何千人といふものが少しづつなめるといふ状況であつた。

還らぬ斥候

なほこんどは、陽の光、日光といふものにほとんど當る譯にはゆかない。いくら南海の孤島でも陽の恵みはあるが、何しろ一度太陽の光りを仰ぐと敵飛行機に狙はれるといふのでみんな朝から晩までジメジメしたジャングルの木蔭に住んでゐる。そこへ毎日スコールが必ず一、二回あり、したがつて下はグチャグチャの隙を没するといふ日が毎日つづいてをる。さういふところで後方づも第一線のものも壕をほり、あるひは山の中腹に横穴をあけたりして入つてゐる。この壕の中は水浸しである。これは人間の住むところではない。爬虫類、蛇か蛙の棲むやうなところに住んでをる。中には泳いで上つた者もあるから濡れたまま着たり雀で長い間過した。マラリヤ、デングとい

れわれが今いうたやうなジメジメしたやうなところで、一晩中まんぢりともせずに夜明けを待つ。その中に、夜明けの冷たい風の中から、兵の奉誦する「一ツ軍人は……」といふ聲を聞くと「よし、これなら大丈夫だ。」といふ氣がしみじみと湧いて來た。この一つでも日本軍が如何に精銳であるかといふことがおわかりになる思ふ。今のやうな状況において日本軍は一日として攻勢を怠つた事はない。常に積極的敵を攻撃してゐる。例の中澤、寺澤の挺身隊、開く人はあの中であらういふ事が一體出来るかと思ふかも知れぬがそれをすべて見事にやりつてゐる。新聞に出たあの通りやつてゐる。少しもそはしない。とんでもないことを思ひついたものだ、けれども實際それは出來るといふ信念を持つて進發した寺澤も中澤も幾重となく圍まれた障り地帯を突破して見事やり遂げた。寺澤、中澤挺身隊はあれほど有名になつたが、ここにもう一組、還らぬ斥候がある。それは寺澤、中澤と一緒にやるつもりであつたが、いろいろ都合で正月にやらうといふことになつた。その斥候長は十二月廿五日兵二人連れて敵の中にもぐり込んで行つた。そのころ敵の司令部の位置が大體見當がついてゐたので敵の司令部に單身躍り込んで直に敵指揮官に迫つて斬つて來るといふ計畫である。これは必ず出來るといふので出掛けに行つた。一月六日にやるから十一月まで還らなければ歸りませんと言殘して行つた。それで一月六日をいまか、いまかと待つてゐると、敵司令部とおぼしきところから一月六日の朝から夜まで黒煙が二條

あがつてゐた、でこれは成功したの
ではないかと思つたが、ついにこの
斥候は歸つて來なかつた、かういふ
計畫は到底日本軍でなければ出來な
い。なほその斥候が出て行く時に死
ぬといふことを覺悟してゐるとも
に、成功するといふことも確信して
出て行つたので、我々は遺書なんか
あるといふことを知らなかつた。後
で本人の所持品の中から
「閣下始め各位、〇〇中尉は良き死
場所を與へられ喜んで居ります、必
死必成誓つて聖慮を安んじ奉ります
長期間にわたる御指導御鞭撻を厚く
感謝致します」
と言ふ遺書が出て來た、〇〇中尉は
まだ二十四、五歳の若い豫備將校で
あつた

敵陣に斬込む、土産は機銃

若林中隊長、彼は士官學校の五十二
期を一番で出た人で、その勇敢なこ
とは香港攻略戦において、例の二五
〇高地に對する西山隊の攻撃に參加
して眞先に敵陣に飛込んで行つた、
西山隊の攻撃の成果はこの若林の奮
闘に俟つてゐることが多い、士官學校を一
番で出てゐるから頭は非常によく、
勇敢だといふことは全軍が認めてゐ
た、それがガ島戦線でもやはり立派
な働きをやつてゐる、すなはちち
らは兵力は少ししやもすれば敵が
攻勢に出ようとする氣配が見える、
その機先を制して兵僅か三名を連れ
てマタニカウ河の一本橋を襲撃した
こは非常に大事なこと、ここ
を取られると敵は非常に痛いので、
有力な哨所を出してゐた、それに僅
かに三人を連れに斬込んで行つた、
敵も何名か斬殺して輕機銃をぶら

さげてお土産に持つて歸つて來た、
さうしたら部下の中野といふ中尉が
翌日また今度は兵を二、三名連れて
哨所の先の分哨に斬込み、また機銃
を持つて歸つて來た、とにかく敵
の中に僅かの兵を連れに斬込んで行
くのを何とも思つてゐない、自分の
生命がどうなるとか、自分の將來と
いふやうなことは夢にも考へてゐな
い、遂次兵力が消耗し、最後には僅
か数名となり遂に全員壯烈な戦死を
遂げた中隊長はまず腕か一本やられ
た、それをくりり付けて大隊長のこ
ろに連絡に來て未だやりませんとい
つて陣地に歸り、足をとられてもま
だやりませんといつて後方に下るをき
かず、最後は身體にズタズタになる
まで頑張つて壯烈な戦死を遂げてゐ
なほまたかういふこともあつた、第
二據點といふ一つの重要據點があつ
たこの據點に士官學校五十三期の、
中隊長か、死ぬまでやるといふ覺悟
で十一月の初め頃守備に就いた、こ
の據點はさつきいふやうなジャングル中
の陣地で、距離三十メートル位の
ところに約百日頑張つた、敵は晝間は
絶對優勢な火力を擁し、飛行機戰車
を繰り出す、夜に込むと、こちらが
毎晩敵陣地に斬り込む、そこで敵は
夜になると恐いのでずつと二百メー
トル位後に逃げる晝間になるとまた
もと位置に歸つて來る、これを毎日
繰り返して居つたが、ついにこちら
が防禦陣地をとつてゐるにも拘らず
敵の方が恐くなつた、自分の陣地の
前方に障礙物を作つた、さうさう敵
は毎日一時間飛行機の上から手榴
弾を落す様になつた、その中でよく
頑張つて今日十名、明日十名、その

つぎ何名といふやうに遂次死傷がふ
どつても稲垣部隊の位置に歸して
え最後は僅か四名になつてしまつた
中隊長もまた最初頭を怪我した、大
隊本部まで連絡に來た時、大隊長が
「下に養生しろ」といふやうに傷なん
ないや何とあつてくれといつて半日泣
かされた、なるべくなら樂なことをし
たい、命を長らへたいといふ一般の
人の氣持に反して、とにかく戦友、
上官とともに死にたいといふのであ
る、見えたためでも何でも、將
兵は皆そんな氣持であつた

糧秣補給の苦心

つぎに糧秣補給のことを御話すると
糧秣は四十キロかもつと遠くの方で
毎日雨が降るので泥濘膝を没し、人
一人が通つても飛行機が襲ひかかる
飛行機が遊覧パスにでも乗つた恰好
で椰子よりも低く飛んで横から襲ひ
て行く、あるひは上から窺ひで行く
砲彈は絶えずやつて來る、その一本
の道を傳はつて一日として缺かさず
物を運んでゐる、その運ぶ兵隊は、
さつき申したやうな榮養状態で、ほ
んど全部が發熱で骨と皮の幽霊み
たいな兵隊ですそれが、危険な中を
任務だといふので一日として缺かさ
ず通つてゐる自分が擔ひてゐるの
あるからそれを食へば何んとかなる
のに、それを食はずに前線の者にや
りたといふ一念だけで、米俵を擔
いだまま飢死してゐる者も所々に見
受けられた

つぎに糧秣補給のことを御話すると
糧秣は四十キロかもつと遠くの方で
毎日雨が降るので泥濘膝を没し、人
一人が通つても飛行機が襲ひかかる
飛行機が遊覧パスにでも乗つた恰好
で椰子よりも低く飛んで横から襲ひ
て行く、あるひは上から窺ひで行く
砲彈は絶えずやつて來る、その一本
の道を傳はつて一日として缺かさず
物を運んでゐる、その運ぶ兵隊は、
さつき申したやうな榮養状態で、ほ
んど全部が發熱で骨と皮の幽霊み
たいな兵隊ですそれが、危険な中を
任務だといふので一日として缺かさ
ず通つてゐる自分が擔ひてゐるの
あるからそれを食へば何んとかなる
のに、それを食はずに前線の者にや
りたといふ一念だけで、米俵を擔
いだまま飢死してゐる者も所々に見
受けられた

目玉のある彈丸

なほ各種についていへば先づ歩兵
にはかく日本軍の歩兵が四人か五人
つといふことを、第一線の兵隊は眼
の邊り見せられておる、日本の彈丸
には目玉がついてゐるといふやうに

の兵力を持ちながらどうして出て來
ないかと思ふ位出て來ない、白刃が
恐いのである、四人か五人さへあれ
ば敵は近付けない、これも歩兵の強
さを證明するものである。つぎは砲
兵であるが、敵は豊かな彈丸を射ち
つづけてゐるが、こちらは乏しい一
日十發射つのに大變である、今日は
十發にしようか十五發にしようかと
心配しながら、僅かな彈丸を射つて
しょうかと心配してゐる、これは有
名な話であるが、右翼の丸山といふ
ところの戦況が日に日に工合が悪く
なつた時、是非撃つて貰ひたいとい
つて來た、これは砲兵の最大の射程
のところ、射撃の困難なところであ
る、砲兵といへどもほとんどうたれ
てしまつて、拉繩を將校が引いて射
撃する、一發撃つとダーツと瀧のや
うな敵の砲彈が來る、そのためにこ
ちらが撃てばすぐやられる
本當に唯一發撃つのが命賭けである
さういふ状況下にあつて、丸山はど
うしても撃たなければならぬ、第一
線の兵隊が皆見てをつた、丸山を圍
んでゐる敵は外に出て壕を掘つてゐ
た一杯蟻集してゐる、その真中に第
一發がドカンと當つた、何十人の人
間が吹飛んで残りの者は後の幕舎に
逃込んだ、二發目は逃込んだ幕舎の
真中にボカリと當つた、たつた二發
で何十人かを撃ち殺すやうな効果を
擧げてゐる、そこで第一線の兵隊は
曰く、日本の彈丸には目玉が付いて
ゐる、敵はのべつ撃つが日本の砲兵
となるとビシヤリビシヤリ要點を撃
つといふことを、第一線の兵隊は眼

砲兵は優秀である、工兵は海岸、中澤で御承知の通り

海軍の神技、海軍魂

つぎは海軍について、私は直接海軍の戦きを見たが、實に見事なものである、ルンガ岬の夜戦を見たのである、真暗の中にドン、ドン、ドンとやると、何時の間にか六箇所ばかり火が上つてゐる、後で聞くと、それが皆敵の快速艦だつたらしい、本當の瞬間の出来事である、全く大したものだと感心しが、また十一の末の話であるが、私が第一線の左翼に行つた時の状況である、毎日輸送船がルンガ岬に、多い時は十何隻、少い時でも三隻位來てゐる、それを巡洋艦、驅逐艦が取巻いてゐる、そこへ日本の飛行機例の〇〇機が來た轟沈した後に我々は行つたが、その〇〇機は巡洋艦を狙つたらしい、一機巡洋艦を爆撃して巡洋艦が降り間に轟沈した、その〇〇機もその前後岸近くに自爆して海中にまさに没せんとしてをたらしいが、その〇〇機に乗つてをたらしい海軍の人が、翼の上に出て轟沈して行く巡洋艦を見てをつた、そしてもう大丈夫だと見た時に火の中に飛込んだ、それを見て皆感心した、自分の身體を捨てて巡洋艦一隻をやつて、最後に飛行機の外に出て確認して、もう大丈夫だと見たら身を躍らして火中に飛び込む、これはなかなか出来るものでない、また一月末の、エスベラス附近に敵の驅逐艦が二隻をつた、そこへ海軍の爆撃機がやつて來て爆撃すると、二隻の驅逐艦がジャーツ、ジャーツと沈んでしまつた、空中戦闘も幾度か見たが下から見てると實に勇壯な

第三に感じたことは敬上惠下である

ものである、我々は空中戦となると安心してをつた、落ちるは皆敵機である、さういふ事も日本軍が精銳である一例である、なほこれも海軍の話であるが、我々は驅逐艦に便乗してゐる時、澤山の敵の飛行機に追掛けたれた、急降下でブンブンかかつて來る、驅逐艦の艦長自ら舵を操縦してゐるらしいが、艦長は我々より一寸上の年配の方であつた、爆弾が落ちて來るその中を巧い工合に爆弾を避けてながら艦を運動させてゐる、見ながらやつてゐるのですかと訊くとさうではありませんとすつてゐたが實に神技で、我々はほとほと感心した、それらの點を全部とにかく見た結果よく教育し訓練された日本軍は世界最精銳である、どれだけ強いか測り知ることが出來ない、これは絶対間違ひない、それが第二に感じたことである

見よ米鬼の殘虐さ

めだ死に氣持になつてゐる、それであれだけの作戦が出來た、上官と部下との間でさういふ美しい場面がくらもあつた、これが第三番目に申上げたいことである

敬上惠下の情

これも日本軍の特色であらうが上を敬ひ下を惠むといふことが困難になれはなるほど現はれてゐる、あの皆が食へなかつた時は、上は最高指揮官から下は一兵までもほとんど同じ状況で飢を忍ぶのである、岩淵部隊長と直接の隊長である岸、齋藤兩中隊長等、上官の何ともいへない細かい心配り綿密な指導があつたのである、何しろ五名の部下を死地に投ずる、約一箇月に亘つて部隊長等が夜も眠らずに凡ゆる情報を蒐めて來て教育指導した、あゝいふところに行

ら成功したのである、なほある砲兵中隊では病人が出、疲労患者が出て後には十人位の兵隊しか残つてゐない、糧秣を取りに行く時に高崎といふはゆる現在の敵國の軍隊のほとんど大部と戦闘して來たのであるがそれを申上げる、結局アメリカ兵は決して恐るには足りない、しかし侮つてはいけぬ、といふ結論になると思ふ、我ががぶつつかつて感じたアメリカ陸軍といふものに對して特別な用心せねばならぬ、警戒せねばならぬと感じたこと、アメリカは一番日本が強いといふことを知つてお

アメリカのみならずイギリスもさうであるが彼等の動物性、野獸性はわ

われわれの想像外である、彼等は全く、司司令部に連れて来いといった、下
 眼色が違ひ、皮膚の色の違つた日本
 人を人間と見ていない、今まで人間
 として扱はれてつたと思つたらお
 日出度い話である、全く残虐である
 これは香港作戦の時であつたがスタ
 ンレー半島といふところに私共の部
 隊が敵中深く突込んだ、この時にこ
 ちらの小隊長が戦死し、一部隊が全
 滅したその部隊の兵は全部頭を滅茶
 滅茶に割られ、實に殘虐を極め、誰
 の死體か識別がつかかぬ、今度も
 さうだ、ある斥候が見て来た話によ
 り腕は切り、鼻はそぎ、擧丸はと
 つてしまふ、今まで重慶軍は殘虐だ
 といはれて居つたが、それどころで
 はない、初めから人間と見てゐない
 無茶苦茶だ、彼等こそ見付け次第咽
 喉笛に食ひついて仇を取りたい、骨
 ままでしやぶつてやらねばならぬと實
 に癪にさはつて仕方ない、敵中深く
 入つて負傷して歸つて来た者の話に
 よると、敵の中で負傷したり、病氣
 で動けないでゐる者を全部並べて戦
 車で轢殺してしまつた、それを彼等
 は煙草をくはへ、手を叩きながら見
 てをつた、われわれは涙を掘るにさ
 へ骨の折れるやうな時でも、敵の死
 體を大きな穴を掘つて埋めようとし
 てゐる、また負傷した者には細帯を
 してやらうとしてゐる、香港攻略戦
 のとき、香港島と九龍半島との敵前
 渡海をやつた直後のことであつたが
 その中に敵の快速艇が飛込んで来た
 サーツと掻き廻して船に乗つてつ
 た者は廿名程撃ち殺された、流石は
 英國の海軍は違ふといふ感じを我々
 は持つてをつた、この敵の快速艇が
 二隻こちらの山砲で撃ち沈められ乗
 員は泳いで岸に上つた、私はそいつ

を司令部に連れて来いといった、下
 士官と兵隊が四五名それを連れて来
 るのに日本軍は日本軍として立派な
 態度で連れて来てゐる、細帯で負傷
 したところを巻いてやる、疲勞した
 者は葡萄酒を飲ます、歩けない者
 には肩を貸してやる、私はそいつ等
 にお前等は非常に勇敢に見えたが
 どうだ日本軍は最後まで死ぬまで敵
 と闘ふのだが」と訊くと「冗談ぢや
 ない、私は死ぬとは夢にも思つてを
 りません、日本兵を二十名程やつた
 のだから後はどうぞ捕虜にして下さ
 い」日本兵を二十名程殺したから
 う任務は済んだ、後は捕虜として扱
 つてくれと蟲のいふことをいふ、私
 は怒り心頭に發し、何をいひやがる
 といふと軍刀の鞘で叩き付けて這は
 したのだが、彼等は絶對死ねつり
 はない、私は吃驚した、彼等はやる
 だけのことはやるんだ相手の手に
 損傷を與へ、目的を達した後は手を
 上げて捕虜にならばいふといふ蟲の
 いふ考へ、恐らく今までもさういふ
 のではないかと考へるのだが、かう
 いふ野獸性、動物性をもつてゐる、
 骨までしやぶつてやらねばならぬ、
 肝まで抜いてやらねばならぬと第一
 線では敵愾心を沸かしてゐるにも拘
 らず、内地ではそんな氣持が少いや
 うに感ぜられる、私はスマトラに行
 つて邦人が虐待された後を見て心が
 煮えかへる思ひをしてゐる時、新聞
 に大和乙女の美談として善通寺にお
 り捕虜に氣の毒だといふので慰問袋
 とか慰問の手紙を上げて慰めたとい
 ふ記事を見た、さういふのを第一線
 で讀まされた者の氣持はどうだと思
 ひますか、我々も子供の時から敵に

を教へられたものだ、しかしあれは
 同じ同胞の戦さだからさうでせう、
 民族と民族の戦さは話が違ふといふ
 ことを、今度の戦でしみじみ味はつ
 た、第一線の將兵は此を決してア
 リカの咽喉笛に喰ひつてやらねば
 ならぬ、敵は女子供が可哀相だとい
 ふ氣なんか毛頭ない、病院を爆撃し
 たり、小學校の子供を銃撃したりと
 いふがもつとつと以上のことをや
 る、彼等の戦さの仕振り、彼等の日
 本軍に加へてゐる惡虐な態度を眞に
 私は目で見えて来て、そのまゝ話して
 頭を發してゐる、しみじみこの氣持
 だけは何とかして皆さんにわか
 だけは何と申して皆さんにわか
 貰ひたい、女子供の末に至るまでア
 メリカ人、イギリス人と見付けたら
 目玉までくり抜いて申上つたといふ
 である、第五番目に申上つたといふ
 は、我がが戰闘して實際にぶつかつ
 た英米人に對する感想である、彼等
 は決して恐れるべき必要はないとい
 ふこと、その殘虐性は動物以上だ
 といふ點を、よくよく肝に銘じて貰
 ひたいと思ふ

統後に心遣ふ兵運

最後に申上つたことは、第一線の
 將兵は如何なる生活をし、如何なる
 心理状態にあるかといふ點である、
 ガダルカナルの激戦で、非常な慘
 烈な戦さを續けてつたその最中に
 したがつて新聞なんか夢にも見ない
 ラヂオなんか全然聽かない我々が
 第一線に行つて各部隊の狀況を見る
 時、兵隊が異同音に訊くことは、
 「内地は四月十八日以来空襲は受け
 てるないだらうか、東京あたりもう
 十過くらゐやられてをりせぬだら
 うか」といふことである「我々がこ
 ゝで頑張つてゐるから東京邊り空襲
 は大丈夫だ」と答へてをつたが、實
 際は我々ももう五、六過やられてを
 りはせんかと心配してをつた、しか
 しここでこれだけの大戰さをやつて
 いるから大丈夫だといふと、兵は非
 常に安心する、また段々食ふ物がな
 くなつて、小學校の子供が腹を減ら
 して校庭でバター倒れてをるとい
 ふやうな「デマ」が何處から傳は
 つて来る、さうすると内地の人は氣
 の毒ですと自分が一日に三つか四つ
 しかめしの食へぬ兵隊が心配してを
 る、大丈夫だ、そんなことはないか
 らといふと「さうですか、國民がう
 えませず、爆撃も受けずに安泰なら
 ば、我々は死んでもいふ」といつて
 る、第一線の將兵は實際さういふ
 氣持でをりますぞ、ガ島の作戦に參
 加した將兵は、全部が全部、今までの
 やうに偶には慰問袋を貰つたり、慰
 問團が來たり白衣の勇士になれるの
 だといふことは夢にも考へてゐない
 全部が全部死ぬ、後は後方の人に立
 派にやつて貰はうといふ氣持を持つ
 てゐる、さうやらねばこの戦さは勝
 てぬといふことをよく知つてゐる、
 十年でも廿年でも、一生懸命にやら
 ねばならぬといふことを知つてゐる
 私は東京に來てさう言ふ事を皆様御
 存じかと痛切に感ずる、東京は靴な
 んかなか下駄を履いてゐると思つ
 てをつたが、來て見ると靴も履いて
 ゐるし、芝居などは一杯だそれを見
 て私は安心するとも妙な氣持が
 する、とて食ふ物が足らぬ、甘け
 物が足らぬ、それこそ何にもない、
 風呂にも入れぬといふものだから

悠々たり敵前の風情

ガ島から轉進して十日目位には、各
 部隊長はもうジヤングルの中の戰闘
 法を研究してゐた、師團では若い將
 校を集めて戰闘法を研究する、下士
 官は、例へば兵隊の敬禮の仕方が惡
 ければ敬禮法を直してゐる、とにか
 け第一線の將兵は士氣旺盛である、
 戰闘が本當に慘烈の極にあつても、
 上下相和して和やかに、何の樂しみ

もないが、お互に和樂してゐる、我々の間では歌を作つたり、詩を作つたりしてゐた、歌を作るだけ暢氣だつたのではない、どうな困難な場合でも、日本武士は餘裕紳士として最後の決戦をやつたといふことを御わかりになつていただきたい、いはゆるが島吟を御紹介しよう、前にも申しました。

大君のみ光あればこのいくさ必ず勝たん勝たであるべきわが國は神國なればこのいくさ必ず勝つたと勵ましてあへり大分腹の減つたと歌になつてをるかどうかわからぬが

草を食みて既に十日餘兵ならぬ勝ちいくさ信じて健氣にも戦ふと歌つた若い中隊長もあつた、ある部隊で、それこそ本當に十日間草を食つてつたが、偶に兵隊が海岸から手に入れた椰子を、兵隊は決して自分では食はぬすぐ上のところへ持つて行く、小隊長中隊長のところへ持つて行く、それを貰つた將校の歌であるが、

痩せほそる兵のもたらす椰子一つ おしいたゞき共に味はふといふ歌もあつた、晝の間は壕に入つてゐるので、夜になると外に出て天を仰ぐ、さうすると星が光つてをる、海岸に椰子が黒々としてをる

星月夜たゞ椰子の葉の黒々とといふやうな句もあつた、ある幕僚策つきし闇にほたるの二つ三つ去年の年末、東から今に曙光が射すのだといふ氣分になつた時

夜明け待つ空のくらすや年の暮さういふ詩歌を作つたりよんだりしてをる、飯は食はぬでも敵彈雨飛の

中に、さういふ餘裕がある、さういふ意味合ひで見ていたゞきたい、最後に榴垣部隊長の奥夢から来た御手紙の一節に

南海の孤島にて内地の様子も分らず、米英撃滅を信じつゝ後に續く者を信じて散りましたこと、思ひますと、私どもに負はされました責任の重大なことをひしひしと感じます

寺澤挺進隊の決死行

南太平洋に挺進する我が精兵の鬼神をもなかしめる活躍についてはしばしば銃後に傳へられ一億國民を感奮せしめてゐるが、寺澤挺進隊はさきに報ぜられた中澤挺進隊と呼應して壯途につき相前後して任務を完了したので隊長、以下五隊員は次の通りである

- 隊長 陸軍少尉 寺澤 孔一 (愛知縣一宮市大字燒野宇山王)
- 陸軍伍長 加藤 京一 (静岡縣志太郡豊田村保藤三郎)
- 陸軍上等兵 高橋 三郎 (岐阜縣土貫野村早野)
- 陸軍上等兵 古田 正也 (岐阜縣加茂郡八百津町)
- 陸軍上等兵 木下 正光 (愛知縣八郡那石卷村大字三輪)

寺澤挺進隊征途

「貴守等の行動によつて延いては暮りやれつ、と雨の中、第一展望點

太平洋全米軍の心膽を寒からしむるので、中澤挺進隊は、少尉を先頭にジャングル地帯へ飛び込んだ、眞暗で激ある、雨は雷のやうに轟いて、横たふたにたきつける、茨の道は一步も進めない、今夜は雨の中で野宿だ、少尉は大木の根本を見つけて其處に陣取つた「ダアン」銃聲が一發、ジャングル内にこだまし、青白い懐中電燈の光が遙か彼方でパツと照つた

「敵の斥候だツ」加藤伍長が叫ぶと、一同は拳銃を握り占めた、一射つてはならぬ、注意深く目を光らせた

「ダアン」又射つた、近い、懐中電燈の光は雨を銀色に光らせてゐる電聲さへ聞えて来た、「敵の斥候か！」少尉はいはぶかしげに思はれたら発砲をしたり、懐中電燈をつけたり話し合つたりすれば斥候の位置も人もハツキリ分れば斥候ではないか、これが米國流斥候か「ダアン」少尉達の横で射ち、電燈で前方を照して進んでゐる、將校一人と兵隊三人らしい、彼等はひつきりなしに話し合ひ笑ひ合つてゐた、横の木の根元にゐる挺身隊を見付ける事が出来ない、何の爲めの斥候か、少尉はおかしなやつだ、そしてジャングル内には彼等専用の道路があり彼等は其の道路だけを歩いてゐるのだ、といふことが分つた、「ダアン」又發砲した「馬鹿野郎ツ」高橋兵長はクスクス笑へば「あれはルーズヴェルト式斥候さ」と加藤伍長は五人を笑はせた、夜が明けるに従つて雨は止んだ、敵の道路を避け、砲石を頼りに道なき道を切り開きながら、目的を解いた

「十五日までに決行だぞ」一確つかぬやれつ、と雨の中、第一展望點

「十五日までに決行だぞ」一確つかぬやれつ、と雨の中、第一展望點

「十五日までに決行だぞ」一確つかぬやれつ、と雨の中、第一展望點

やうに、陣地と其の附近の状況を偵察して来い」

敵の砲兵陣地爆破

少尉は部下を交互に敵陣地偵察に派遣した、今日は朝からシヨボシヨボと雨が降つてゐる、敵の歩哨も見えない、部下は完全に敵情を頭の中へ叩き込んでゐる、然もみんな張切つてゐる、今の中だ、少尉は決心した「明十二日夜半、いよいよ決行する各自、慎重に、大膽に、行動せねばならぬ」と言ひ渡した

「命令を達する」少尉は低いが力強い聲で叫んだ、四人の顔にサツと緊張の色が流れる「加藤伍長は向つて右の砲を、高橋兵長は中央の砲を、古田上等兵は左の砲を、木下上等兵は左端の砲を爆破すべし、自分も中央幕舎を爆破する、行動は總べて綿密にそして大膽にやれ、点火の合圖は口笛を以てする集、合場所は此の大木の下、完全点火し終らば速かに此地點に集合すべし、終り」復唱が終ると一同は宮城を遙拜し、水筒の水を飲み合つた、五人は不必要な装束を一切大木の出発した、十七時三十分「隠密作業開始、成るべき廣く道を開け」と、少尉はかねて偵察して置いた地點を指示した、四人は草の中に匍匐して鐵條網に近づいた、仰向きに寝轉んでは鐵條網を切斷し匍匐しては砲薬や手榴弾を取つて、五十米位の障礙地帯に稍廣い道をつけた、四邊は暗く星の瞬きが激しい、利録のやうな下弦の月が、陣地の西の空低く懸つてゐる

「齊に火を吐いた」少尉の命に依り、四人は直ちに次の鐵條網破壊に取かかつた、此の鐵條網は空罐を吊した苦手の鐵條網であつたけれども、爆音と高射砲の音響に消されて敵に發見される事もなく完全に切斷し終つた、敵の歩哨の姿が見えない「今の中だつ」五人は雜草の中を夫々目的物に向つて進んだ天佑か、敵兵の姿もなく陣地は眠つたやうに靜かだ

「幕舎をやるに砲薬は勿體ない、黄色薬と手榴弾で澤山だ」少尉殿は途中まで一所に來た木下上等兵にさしやいた、五つの黒い影が敵陣地へ現はれた、砲の掩蓋に幕舎の近くに、やがて、口笛が高らかに響くと、五つの黒い影は脱兎の如く草原へもぐり込んだ、ダアン、ダアン、大音響と共に、濛々たる土煙が、敵の陣地を包み、幕舎のあたりからはメラメラと赤い炎が地上をた打つてゐる、鐵條網の個所は打伏して、爆破を確認してゐた少尉は、満足さうな笑みを洩らした、

稲垣部隊と決死の傳令

たやうに猛烈な銃砲火を浴びせて來た、だが、それは暗夜の鐵砲で、見當違ひの方向に射つてゐた、「先づよかつた」とホツト安堵に似た吐息を洩らした時遙か西飛行場方面で大音響が續げざまに響いて來た

「アツ、中澤もやつたらしいぞ」中澤挺進隊萬歳つた五人は我事のやうに喜んで、萬歳を叫んだので「隊長殿」加藤伍長は鼻をつまらせてゐる「何だ」「挺進隊は、挺進隊は、萬歳、萬歳ですなア」と目を横なぐりにぬぐつた、少尉の胸にグツと來た、痛いやうな、熱いやうな塊りである(日本の兵隊は強い、強い、世界一強い兵隊だ)歸りのジャングルは往きに遅々として進んだせいか、目標其他に間違ひなく、敵の斥候とも遭遇せず、十四日五時第一展望點へ到着した、そして稲垣部隊(着いたのは其日の九時であつた)

た時なので稲垣部隊がアウステン山の險阻を越えて、後側方に陣を構築し、機軸の熟するのを待つてゐるなどといふことは彼は夢にも知らなかつたらしい。

部隊の前方に在る第一展望點から見下せば、ルンガ河は南から北へ帯のやうに流れ、其の河を挟んで東飛行場西飛行場があり、其の周囲の小丘には堅固なる砲臺を築き、彈藥等は四方方に通じて兵員、糧食、彈藥等を満載した自動車は水の流れるやうに走つてゐた、飛行機は毎日十機、二十機と着陸し又味方を爆撃に行く飛行機の數さへハツキリと讀みとられた兵隊達は毎日刻々と増加されて行く敵の兵員を見詰め、無念の齒がみをしてゐた、部隊長は全員を集めて

「我が部隊は、最右翼にあつて、敵の背後を衝く最も重要な位置にある。下命次第、我が部隊は敵の背後に突入すること勿論であるが、或は情況によつて敵の全兵力を引きつけ本隊の攻撃前進を容易ならしめなければならぬ時もあるだらう、米兵は弱いが我々には大和魂があると言つて素裸のまゝで彼等の精銳なる兵器に打つつかる事は不可能事である、我々は此の機會を利用して堅固な陣地を構築しなければならぬ、部隊長は命令する、全員で陣地を作れ」と命令した、兵隊達は其日から全力を擧げて陣地の構築に努力したのである。

(三)

突撃の命令も、敵を牽制する命令も未だ來ない、正面部隊の戦闘は毎日猛烈に展開し、轟々たる銃砲聲は天

地も引つくり返るやうだ、部隊の難事は糧秣、彈藥の補給であつた、輸送機關も、輸送道路も完備しない此の最前線は總べて兵隊達の肩を借りて補給しなければならなかつた、彈藥糧秣の交付所は數里離れたタサワロングに在る、數里と言へば簡單であるが其間、丸山道の峻険あり、密林地帯あり、又敵の空爆、艦砲射撃圈内を通過しなければならぬといふ命懸けの仕事であつた、兵隊達は此の危険な仕事を進んで志願して糧秣補給に努めたのである。

兵隊達は又密林地帯を駆け廻つて食物を探したが、此の島にはバナナ、パイナップルといふやうな果物は一つもなく、ただ海岸地帯に僅かな椰子林があるに過ぎなかつた、此の食糧不足と相俟つて濕氣が多く、氣候不順瘴癘の土地なので、マラリヤ、榮養失調、脚氣、下痢等の患者が續出した、兵隊達は四十度以上の高熱を冒し、脚氣や下痢をひた隠しに隠して、糧秣受領の使役を志願し、多くの戦友達の爲と、フラフラしながら出かけたのである。

十二月に入つてから敵の將校斥候が附近密林地帯に出没し始めたので、彼等に此の陣地を發見されては、此後の味方作戦に支障を來たすと考へ「敵の斥候を見つて次第撃滅せよ」と命じて、味方からも將校斥候を派遣した、敵の斥候が密林地帯を進む時は、先づ前方へ發砲し、何等の手應へなしと見届ける、二三百米を進し、更に其處で發砲して進んで行く、從つて我が斥候は彼等の位置を知り尙進む方向さへ知る事が出來たので、來る斥候も總べて全滅するこゝが出来たのである。

斯うした積極的な最善の方法を採つてゐたので、稲垣部隊の陣地は敵に發見されなかつた、其の頃から敵の飛行場には刻々と飛行機が増加し、自動車道路には重砲、迫撃砲が濺々たる砂煙をあげて西へ運ばれてゐる、マタニカウ河を挟んで彼我猛烈なる戦闘状態に入つたらしく、砲聲は間斷なく轟々飛行機の爆音は大空一杯に擴がつた。

(三)

敵は稲垣部隊の陣地をどうして嗅ぎつけたのか、昭和十八年一月二日の拂曉から多數の兵力と迫撃砲とを持つて包圍隊形に進んで來た、敵の飛行機は地上部隊と協力し、無数の爆彈と迫撃砲で稲垣部隊の陣を叩きつけた、砲聲は物凄く咆哮し、砲撃は陣地の前後左右で炸裂した、濺々たる土煙りの中で大木は横倒し、地響打つて次々と倒れた、敵の砲聲は瞬時の休みもない「稲垣部隊は丸となつて此の陣地を死守せよ、九となく退くなつた」部隊長の悲痛な命令は傳令の口から各陣地へ傳へられた。

病に倒れてゐた兵隊もはひながら銃をとリ、土煙りを頭から浴びて勇敢に戦つた、敵は盲滅法に砲彈を浴びつゝ、一方我が陣地を中心に鐵條網を張りめぐらし、遠巻きの包圍陣地を布いてしまつた、其の中彼等はトーチカを築き始め、我を袋の鼠として持久作戦をとなつたのである、敵は鐵條網をガン／＼とせよと、トーチカを中へ中へと築いて來る、兵力は刻々と増加して、其の數、千數百、稲垣部隊は完全包圍されたので友軍との連絡も出來なければ、情況報告することも出來ない。

敵の包圍陣は益々接近し、時には迫撃砲とミルク罐などを我が陣地へ朝投げ、我が軍の疲勞困憊振りだつた、ふざけやがるな、ヤンキー奴ツ、頑張り通すこと約二週間、一月十四日になつて、砲聲は一時止んだ。「親愛なる日本軍の將校、兵隊の皆さん、皆さんは彈藥や糧秣の不足な中、最も勇敢に戦ひ續け、日本兵として立派な働きをなしました、皆さんはこれ以上戦ふ必要はありません、國家に對し立派に義務を果して居ります、此のまま戦ひ續けるならば、皆さんを待つものはただ餓死のみです、速かに米軍の許へ御出でなさい、私達は勇敢な皆さんを両手を差し伸べて歓迎致します」

流暢な日本語の放送が散兵壕の隅々まで流れ來た、それと同時に降伏勸告文が陣地附近一面にバラ撒かれた。「ヤンキー奴、何の賤言を吐かしやがるんだい、俺達日本兵はな、畜生ツ、降参する前に死んでるワイ」

兵隊達は次々と壕から首を出して、大聲でがなり立てた、だが、大聲をあげると、腹の皮が背中へひつつきビンビンと響いて痛かつた、一月二十二日、戦ふ彈藥は殆ど缺乏した、敵は益々増加する一方だが、味方は日一日と減つて今では二百足らずになつてしまつた、稲垣少佐は佐藤中尉、鶴田中尉、堀中尉、村瀬中尉の各隊長と機關銃隊長の岡田大尉とを集めて、最後の處置を相談した、各隊長の意見は斬死と一致した、然し部隊長としては、我子同様な部下をみす／＼斬死させたくはなかつたが、それも出來ない今の情況である。

「今宵夜半を期して部隊は全滅しやう」悲壯な決心を固めた稲垣少佐は重要書類を全部焚き捨て一同を集めた。

「我が稲垣部隊は昭和十八年一月十二日夜半全滅を堪へて敵の本陣へ空襲を敢行する」兵隊達が待ちに待つた突撃の命令が、今發せられた、緊張の色が一同の顔に、全身に、サツと流れる、既に覺悟の色である。

(四)

「貝沼軍曹以下十二名は傳令として敵陣地を突破し、本部に至り敵情並に部隊の行動情況をつぶさに報告すべし」

部隊長に呼び出された貝沼喜代治郎軍曹以下十二名は、部隊長の意外な命令に、驚くと共に互に顔見合せて呆れたやうな表情をした、

「部隊長殿、貝沼を是非今宵の突撃に参加させて下さい、傳令は他の誰かに命じて頂きます」

少佐の温顔には微笑が浮び、目は眞剣な此の頼もしい部下の顔に注がれた、

「よく考へてくれ、部隊は今宵敵中へ突込み全滅する覺悟である、此の二百名の勇敢な行動を誰が報告する」懇々と傳令任務の重大性を説明した。

「部隊長殿、よく分りました、貝沼以下十二名、どんな事があつても、必ず必ず貝沼は右手の甲で、目を横なぐりに拭つた」引請けてくれるか、感謝する、戦塵の中で、お前達に何も與へる物が無い、部隊長最後の言葉を與へやう、死あつて生あるを知れ」といふ一言である、部隊長は一人／＼の手を固く握つて激勵した。

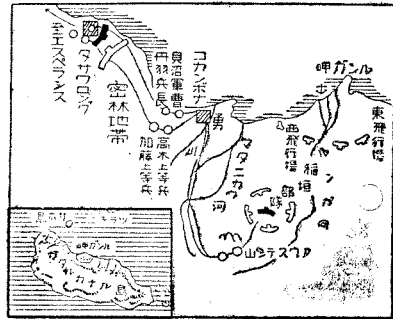
其夜は月もなく、金砂をばらまいたやうな星夜である、敵は相變らず猛烈な迫撃砲、手榴弾を浴せかけて来た、暫く射ち續けた敵は、今度は降伏勧告の放送を行ひ、更に朗らかな合唱や歌などを放送して来た、機は熟し、時は来た

「突撃に……突込め」

部隊長の命令一下、部隊全員火の玉となつて喉も張り裂けるばかりの喊聲と共に、真正面の敵へ突ツ込んだ疲勞も空腹も何のその、此處が命の捨てどころと、將兵が劍身一如、捨身の肉弾で突入したのである

「集合場所は勇川河谷の壕の中、各個躍進だ」此の喊聲と砲煙彈雨の眞只中、一方の血路を開いた貝沼軍曹以下十二名は、各個にかねて案内知つてゐる丸山道へ密林地帯をツツ走つた。或時は轉ひ、或時はつまづき、血みどろになつて夜の密林と戦ひ、

アウステン山の背後を廻はり、勇川の河谷、壕の中へ飛び込んだ。誰も未だ来てゐない。其の中、一人飛び込み、又一人飛び込み、三人目が飛び込むと、後はバツタリと途絶えてしまつた、夜が明け、晝になつても四人以外の姿は見えなかつた、部下の三人とは高木弘上等兵、加藤良雄上等兵と丹羽幼三衛生兵長である、夜が来た、四人は暗の中を海岸道路へ向つて歩いた、敵が新設したらしい自動車道路が右に左に十本以上も廻々々と暗の中へ消えてゐる。「はてな」貝沼達には全然記憶のない新しい道路である、傍らの凹地に身を伏せて、暗をすかし四邊を見廻すに幾十となく重砲、列をなしてゐた（これやいかに、此處が敵の重砲陣地だ、砲列を布いてゐるぞ）引返し



た貝沼は、四人を二手に分け、高木上等兵と加藤兵を一組とし、貝沼軍曹と丹羽兵長を一組とし、一は左側密林地帯を、一は海岸に沿ふて、タワロンクに向ひ、敵陣を突破することにした、

「では充分注意して行け、任務は重いぞ、お互に命があつたら、タサワロンクか、エスペランスで會はず、四人は互に手を握り合ひ、暗闇の中を左右へ別れた、闇をすかせば海岸の白砂と波打ち際がハツキリと見え、歩哨らしい敵兵の姿が幽かに浮び上つてゐる「丹羽、陸地はどこも危険だ、海の中を行かう」貝沼は丹羽の耳へささやくと、丹羽を其場へ伏せ、右手に短剣を抜き、腹ばひになつて歩哨へ近づいて行つた、彼に短剣を握らせれば、百撃百中、小銃以上の自信を持つてゐた、

「水が欲しい」「水か、よし」貝沼は罐詰の空罐を持つて気軽に立上り、小川の方へ雑草を掻き分け水汲みに出かけた、其の後姿に手を合せて丹羽は肌身離さず短刀を引抜き、再び敵の陣へ入り込んだ、彼は

一つの幕舎へ入つた、八人の米兵達は呑気さうに口を開け軒を叩いて泥のやうに眠りこけてゐた彼は先づ端の兵隊の腹をグサツと突刺した、グと奇妙な音を上げて唸つたが、誰一人気がつかない（音を上げさせず、一人気がつかない）彼は咄嗟に口から突刺してみた、これはウンとも喰らなかつたので、七人共口から突刺して皆殺しにし、彼等の背囊の中味を全部奪ひとり、それを背負ふて再び友軍陣地へ悠々と引上げて来た

「馬鹿野郎ツ、ぶざけるな」二日過ぎ三日経ても密林の陣地へもぐり込み、パンやミルク、罐詰などを取つて来て二人の食料にあててゐた「一分隊長殿「丹羽の傷口は化膿し出し、身体もメツキリと弱つて来た」「何だい」「水が欲しい」「水か、よし」

「水が欲しい」「水か、よし」貝沼は罐詰の空罐を持つて気軽に立上り、小川の方へ雑草を掻き分け水汲みに出かけた、其の後姿に手を合せて丹羽は肌身離さず短刀を引抜き、再び敵の陣へ入り込んだ、彼は

「水が欲しい」「水か、よし」貝沼は罐詰の空罐を持つて気軽に立上り、小川の方へ雑草を掻き分け水汲みに出かけた、其の後姿に手を合せて丹羽は肌身離さず短刀を引抜き、再び敵の陣へ入り込んだ、彼は

此の決死的な傳令によつて稻垣部隊の勇敢なる行動が本部へ報告された「死あつて生あるを知れ」稻垣部隊長の此の哲學的な教訓が羅針盤となつたこと勿論である

(森川實司陸軍報道班員)

方島食物戰記

これは一隻でも多くの輸送船に積めるだけ多くの弾丸を兵器をと食糧は能ふ限り現地補給として堅忍不拔な敢闘精神を以て奮戦、敵の心膽を寒からしめたガ島上陸將兵の涙ぐましい食生活である

草木の給與

ガカルカナル島上陸の皇軍將兵の唯一の苦勞は飯を食ふことであつた、敵機の跳梁下にあつて一兵でも天空に暴露する時は忽ち敵機の攻撃を受け、又ジャングル内で炊事のため煙り作戦上必要と認めて行つた、○月を上げんか、直ちに敵の好目標となり猛烈な爆撃砲撃を受けなければならぬ。従つて食事のために總ゆる苦心が拂はれた、主食のある間は壕の中で炊き又携帯燃料を使用したガ島で兵隊が食を攝ることは生きるためよりも精一杯に戦ふためでありエネルギーを蓄へるためだつた。そのためには限られた主食の外に努めて現地補給をするよう平生の訓練をこゝで生かしたのである、現地補給として簡単に入手は出来なかつた、食を得るためには萬難を排して歩き廻る必要があつた、跋涉すれば食を得ることが出来るといふ信念を抱き、しまひには後方からの補給のことは一切忘れてしまふ程であつた、草根木皮の中喰べらるるようなものを發見したら手當り次第に一度は必ず試食する、また試食しないまでも鳥がとまるか蟻が群がつてゐる木の實は多くの場合間違ひなく食料に供せられた、又草木の新芽も概して食べらざ

た草根木皮の王座は何んといつても椰子で南方作戦では天與の寶とされる、この實があれば餓えることはまづなく、現地物資の九割はこの主體になつた椰子は海岸から二キロ以内の密生してをり、ソロモン作戦當初ガ島に上陸の海軍部隊は約一ヶ月椰子を主食とした

主食(米)の給與

作戦當初の部隊は約十日位は米、副食物の皆無なることが續いた、勿論無くなる前には定量を減じ、例へば夕食だけ一合乃至八勺として次第に無くするといふ方法をとつた、これは補給が出来ない出来ないとはいふことより作戦上必要と認めて行つた、○月頃になると後方部隊は一日六勺として第一線に少しも多く給與することにした、しかし第一線の狀況は三日に一度飯盒の蓋に一杯づつ渡る程度でこれも戦闘できる兵だけにといひてゐた、粥を吸り、木實、草根を喰べてしかも旺盛な攻撃力を持続した皇軍將兵の強靱性には實に驚嘆のほたはない、米の有難さについては次のやうな話がある、海岸の汀に落ちてこぼれた米を砂と一緒にかき集めてより分けそれだ粥やおじやにして喰べ士氣を鼓舞したこともあつた

糖分、鹽、酒、煙草

糖分の缺乏は最も困難な問題で上戸よりも下戸が先に參る、壓搾口糧のなかには角砂糖が入つてゐるが、まづこの角砂糖に手をつけるやうになる、また砂糖は必需品のなかでも最も貴重なものだが、日本人に缺くことの出来ぬ味噌や醤油などは粉末すら手に入れることが出来ない、そこで海

水を汲み携帶燃料で煮沸して鹽を採るこれは飯盒三杯分の海水から小さい罐詰の空罐に一杯分は採れる、但し煮すぎると黄や黒の鹽が出来、鹽分を攝らないで行軍すると出る汗が水と同じで少しも鹽辛い、このやうな行軍のあとで兵隊達は思ひ切り海水を飲む、煙草は全くなかつたので止むなく禁煙した者が多かつたがそれでも笹竹や木の枝で煙管を造り、パイパイの葉を乾して喫煙した者もあつた。代用のタバコのうち紙の部に屬したものは新聞や雑誌の紙で、パイパイの葉を巻いた兩切りである

椰子の實

ガ島作戦の命の親といはれた椰子の實は全く刺すところなく利用された最も珍重されたのは椰子筍といはれた椰子の芽であつた南洋でも酋長が年に一度位しか喰べないといふ贅澤品で煮て喰べると内地の筍以上の風味がある、コブラの厚い白い肉の部分は生のまゝで喰べ若い部分は縦に切つて醤油をつけて喰ふ、これは生鳥賊の刺身と稱せられる、また糞のやうな香ばしい味がする、これは「南洋のつきだし」といはれてゐる但し澤山喰べると下痢をするしかし燒き焦して粉末にすると下痢止めめ珍薬になるから不思議だ、椰子の實のなかの水は一合半位はたつぷりあり生臭いが甘味があつて水のない所ではこれが毎日適量を飲むと效目がある、椰子林摘は果實の水が固つたもので之は實から約一尺ほど芽の出たのを見つけて割ると白くふかふか

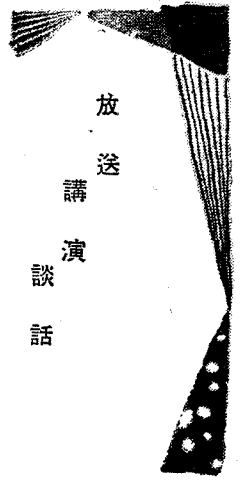
固つた林檎の肉のやうなが出ることを名付けて「去年の林檎の味」といふ、このほかマツツ節約法として實の皮の纖維から火繩を作り堅い所からは飯盛茶碗などの食器を作る、葉は屋根をふき、木の幹は防空壕床板などになる

芋類その他

芋類はごく稀で原住民の部落附近に多くあるが内地の山芋、薩摩芋のほかに現住民の常食となつてゐる大きな野性の芋「キヤツサバ」タビオカなどには澱粉多く腹にもたれるため頗る好評であつたが、何分にも少量に過ぎた、そのほかパイパイ、バナナ唐辛子の葉なども数が少い、あれば實は勿論木の莖まで食べた、またジャングル内の僅かな草原にゼンマイを稀に見つけたこともある、兵隊たちは何か新しい食用植物を發見すると直ぐに内地のそれに似た名前をつけた蒞穡草は川の水ぎにはある蔓草の一種で蔓が一尺か二尺ほど延びてその上に葉がある、草の形は蒞穡草に似てゐる所からその名を付けたのだが、大きさは芋の二倍は裕にあつた、これは莖も喰べられた、雜草の一つであらう、土着民の喰んで吐き捨てる積椰樹の實も喰べたほかジャングルの木に生へる藁も喰べた、ソロモンの原住民部落は一軒、二軒あつたが、ジャングル内は十五時頃か暗くなるので朝食後は晝食を抜き十四時に食事し終る、結論としてガダルカナル島における給與は最後の場面で何でも手當り次第に喰べたから内地のおいしい草は何でも喰べられるやうな氣がするとは將兵一同の口を揃へていふ所である

炊事

普通の炊事は米は海水でといで川水で炊くといふ飯が出来、菜は鹽の節約のために海水で煮る、或隊では大きな釜で五十人位の飯を炊くがそれに罐詰一個を入れ薄味にして副食物なしで食ふ、或隊に十五人の三分として梅干一個が給されるときこれを圍んで眺めては飯ばかりを喰べたこともある、薪は晝は煙、夜は火の明りのために使用出来ず携帶燃料またはコブラを細かく切り乾したのを使用した、ガ島では通常二食にしてゐた、ジャングル内は十五時頃か暗くなるので朝食後は晝食を抜き十四時に食事し終る、結論としてガダルカナル島における給與は最後の場面で何でも手當り次第に喰べたから内地のおいしい草は何でも喰べられるやうな氣がするとは將兵一同の口を揃へていふ所である (小野田、佐藤本社特派員)



放送 講演 談話

壯烈、提督の最後

平出海軍報道部課長放送

今回の海軍論功行賞において大東亜戦緒戦の大勝利ハワイ攻撃の司令官が果敢山口多聞中将、加來止男少將兩提督であつたことが明らか

にされた、兩提督はハワイ急襲から息つく間もなく更に轉戦幾數度、數々の偉勳を樹立、東太平洋方面の作戦において、優勢なる敵陣の眞只中に突入、敵の反撃を一手に引受け遂に矢折れ彈盡きて鬼神も哭かしむる壯烈なる最後を送

近代戦は科學戰と云はれます、從ひまして各種艦船、兵器、機關、裝備等が戰鬪の勝敗を決する重大な要素であることは申すまでもありません

力を凌駕するもの、大東亞戦におきましては、中將は開戦劈頭のハワイ海戦に参加さず、かの赫々たる大戦果の一半は、兵は大御機威を戴き、卓越せる指揮官の下、全軍一體となつて物的優勢を恃みとする敵戦力を徹底的に撃碎して居ります。物的要素はもとよりせんが、精神的無

戰機正に熟す

打撃を與へるといふ大戦果をあげられたのであります。また加來少將は多年航空關係の要職を歴任され支那事變におきましても、航空隊司令として各地に轉戦、赫々たる武勳を樹

艦破るも軍紀破れず

沈着に、機敏に、處置が講ぜられま

昭和十七年六月のことであり、東太平洋方面に作戦が實施されます、山口中將指揮のわが航空部隊は整々とした行動に移り、洋上の基地奥深く潜む敵艦隊の誘き出しを計りながら、次々と艦載機を飛ば

相次いで驚るとの報が頻々として傳
聲管をもつて艦橋に傳へられるので
死隊の手は猛火と猛烈を冒して、機銃
室との連絡を計つてゐたのでありま
すが、萬策なく又救出しの手も多
くに及ばず、艦は次第々々に轟々た
る鳴動の裡に左に傾斜して約十九度
に瀕してゐたのであります。

誘爆は尙も續き、剩へ全艦の火は潮
風を合せて波濤を舐めんばかりであ
ります。この中であつて艦の左舷側
には大膽にも驅逐艦○○がその舷側
をビツタリと横付けにしてゐました
共に消火に當り、死傷の戦友を抱へ
移すなど必死となつて協力致したの
であります。それは丁度猛火の中
に母子相擁し、相呼ぶが如き有様で
あり、艦の將士をして熱涙をふるは
したのであります。この間にあつて
尙躁がす奈れず、数名の勇士の歩み
謹厳にして、一舉一動、禮儀正しき
は何事かと思へました。それは防禦
甲板下部の奉安室に鐵壁鐵心をもつ
て奉安し參らせてある御眞影を奉選
しまゐらせる姿だつたのであります
一員は恭しく奉選箱に選し奉り身を
もつて確と背に負ひ一先づ前甲板に
奉安し上げ、さばりに命によつて
驅逐艦に選し參らせたのであります

陛下の御艦たり、御艦今ここに御
眞影の御移乗を了し奉る。
「巨等全員の努力もなほ忠誠に足ら
ざるなきか」と忠勇の士みな畏れ思
ふて悲憤の涙は抑へんとするも抑へ
得ません。
加來艦長は今や總員退去の已むなし
と判断致しまして、その決意を山口
司令官に報告致します。山口司令官
もこれに同意され、この旨を艦隊司

令部に報告せよと命ぜられました。
この報告は一旦附近に在つた驅逐艦
に懐中電燈の微かな光によつて傳へ
られ、更に艦隊司令部に傳へられま
した。時に夜は既に深くつたのであ
ります。この時なほも機銃室、汽罐
室にある戦友に對する決死の救出作
業は依然として續けられておりまし
たが、熱い煙に阻まれて、今は
萬策、全く盡き果ててしまひました
戦友達が交々聲を限り、熱涙を籠
めて叫びますが轟々と渦巻きのぼる
憤煙がその面を拂つて來るのみであ
りました。

「總員、飛行甲板に集れ、飛行甲板
に集合」遂に最後の傳令は發せられ
ました。裂ける様な號笛の傳令と咽
喉も破れて出ぬ聲を振り絞る聲がそ
の命令を忽ち全部署に、傳へました
總員の集りました飛行甲板は恰も坂
の様に傾き、龜裂、凹凸、彈痕で慘
澹目もあてられぬ有様です。又集合
した總員の顔は終日の奮戦を物語る
油と汗で黒くまみれておりましたが
どの眼も爛々と不屈の戦意に燃輝い
て、一人として失望落膽の氣配すら
うかがはれません。全員の眸は期せ
ずして艦橋に注がれました。艦橋の
一方に屹立ちましたは山口司令官及びそ
の幕僚、左の方に加來艦長、副長、
その他の影濃く、燃え盛る焰と月の
光にその一つ一つの横顔が染め分け
られてゐました「噫、わが司令官、
わが艦長も亦健在なりしか」と全員
の眸に一瞬歡喜の色輝くを見ます
のは尙この期に於て自己もなく生死
なく、身命唯一艦と共にありの姿で
なく、何でありませぬ。各分隊長は
直に人員點呼を行ひまして上官に傳
へ、上官は艦長に報告致します。こ

の報告が終りますと加來艦長は山口
司令官に敬禮し共に艦橋から飛行甲
板に降り立ちました。
降り立つたその足許に數個のビスケ
ツト箱がありました。これは消火に協
力した驅逐艦から應急食糧として運
び上げて呉れたものであります。全
員誰一人としてビスケツトの一片
だにも口にしましたものはありません。
のみならず、その日の曉からこの時
まで司令官以下總員戰鬪配食の握飯
一個を片手に掴むものはなかつた
のであります。加來艦長はそのビス
ケツト箱の上に立ちました。そして
肅然、次の如く訓示されました。
「諸子、諸子は乗艦以來、布哇空襲
其他に於ても勿論今日の攻撃に當つ
ても、最後まで、實によくその職を
盡したくれた。皇國海軍軍人たるの
本分を遺憾なからしめてくれた。艦
長として最大の満足を感じると共に
實に感謝に堪へない。改めて禮を云
ふ、唯、共に今日の戦ひに臨み乍ら
共にただ今ここで相見ることのでき
ない幾多の戦友の英靈には、多感云
ひ盡せないものを覺える。同時にそ
の尊い赤子を多く失つたことを

陛下を始め奉り一般國民に對し深
くお詫びする。今次出撃の際にも各
員に申し述べた通り、戦は正にこれ
からだ。諸子の同僚はこの海底に
神鎮まるもこの海上はアメリカへ
の擊滅路として無数の英魂は萬世か
けて我が太平洋を護るであらう。諸
子もどうか一層奮勵して更にわが海
軍に光輝を加へてくれ。敵を擊滅し
盡さずんば止まじの魂をいよゝ鍛
え合つてくれ。切に、諸子の奮闘を
祈る。では只今より總員の退去を命
ずる」
力強い語尾でありました。艦長に代
つてすぐに山口司令官が臺上に立た
れました。
「只今の艦長の訓示に總べて盡され
たと思ふ。私からはもう何も述べる
ことはない。お互に皇國に生れてこ
の會心の一戦にあひいささか本分
盡し得た歡びあるのみだ。皆と共に
宮城を遙拜して、天皇陛下萬歳を唱
へ奉りたい」
司令官の聲にも態度にも平常と少し
も異なる處は見られませんでした。唯
無言不動の裡にも全將兵の列を貫く
強い感激のうねりは目にも見える程
でありました。誘爆の物すごい音響
の中に、縦横にひらめく猛炎の中に
その轟音も熱風も裂けよとばかり萬
歳を奉唱し終りますや、加來艦長
はさらに大聲で下すつた。
「今から軍艦旗を下すつた」
全員不動の姿勢に燃える艦上も森嚴
秋霜たる軍紀の前に烈火も熱風もあ
りません。やがて君ケ代のラツパの
吹奏裡にわが軍艦旗も亦なほ戰場の
空に止らんと希ふか、靈あるもの
如く赤き月の夜空を曉々の音に曳か
れて降り参りました。將旗も共に
降されました。仰ぎ見る全員の面は
涙に濡れざるはありませぬ。この時
既に總員は、山口司令官、加來艦長
の決意が那邊にあるかを推察してゐ
ましたので、副長は各科長を集めて
共に艦に止りたいと申出たのであり
ます。艦長は言下に

「いけない。それはいかん。自分は
艦の責任者として艦と運命を共にす
るの名譽を擔ふ者であるが、他の者
は許さん。重ねて言ふ。戦争は正に
これからだ。諸子の忠誠に俟つ百難
の戰場は果しくあらう。諸子は今
日の戦訓をよく將來に活かし、一層
強い海軍を作つて呉れ。敵米英を完
膚なきまで叩き潰せ。いよいよ奮戦
努力して貰ひたい」
この申出を嚴然と退け、さらに、
司令官を顧みて申されました。
「司令官、御退艦下さい。ここに止
まるはひとり不肖艦長の任にありま
すから」
これに對しまして山口司令官は否と
も云はず然りと答へず、唯につこ
りうなづいたのみでありました。眉
の色、態度、既に固く自ら信する
處を持して他より動かすに曰なきを
無言に示しておられたのであります
この日終日艦橋に在つて、悠々常
に迫るなく、一笑すれば春風を生じ
令すれば、秋霜の嚴たるを思はずの
懐は、實に山口司令官の英姿その
ものであります。外は溫和快活であ
り乍ら内は剛毅不屈、「武人の死は
尙呱呱の聲をあげて世に生るる日に
等し」と常に語つておられた人であ
ります。司令官の日常をよく知つて
おりました加來艦長は、司令官の微
笑を仰ぎましては敢えて一度は退艦
をすすめましたが、二度とすすめ
る気にはなれなかつたのであります。
唯默然とその側に侍して立つのみで
ありました。尙また先任參謀以下幕
僚も皆共にその周圍にありまして一
歩も動かないのであるのを見ますと
山口司令官は
「一同に嚴かに退去を命ずる」
と命令されました。この時艦の傾斜
は愈々加はりました。もう手か何か
に支へなければ立つてゐることさへ
難かしくなつておりました。依然誘
爆は止まず危機は既に秒間にあるか

八一・四 體正の襲空

三 話談長部道報谷三

経過および結末を餘すところなく述べた。しかもこれは眞實をのみ發表するわが大本營の光輝ある責任において、確實なる資料に基き報道部長の形式で發表されたものである。敵アメリカ國民はいまこそ四・一八空襲の正體を知り、餘りのことに啞然たらざるを得ないであらう。

しかも谷萩報道部長はその結論において、今後日本本土空襲の指揮官は「ドウリツトル」(殆ど何もしないの意)「ドウナツシツンゲ」(全く何もなきぬ意)大佐たるべきことルーズヴェルトは期待して然るべしと餘裕綽々たる諷刺を投げつけ、再空襲の敵機は一機も歸さず、來れば來れと叫んでわが方の決意を表明した。

△谷萩大本營陸軍報道部長談

米國民が多々の期待をかけてゐた昨年四月十八日の東京爆撃の詳報を一年後に發表することは米陸軍省の反對のため「昨年四月十八日東京空襲を行つた米國飛行機は航空母艦より飛び立つたものである」とのみ米情報局が發表してゐるが、米當局に於て茲に當時の詳報を發表する。

一、先づその空襲計畫の概要は

米陸軍航空大佐「ドウリツトル」指揮の下に「ノースアメリカン」B二五型(中型爆撃機)十六機よりなる陸軍機の臨時編隊を以て航空母艦に乗り日本々々に接近し東京、横濱、名古屋、大阪、神戸を爆撃したの後、先づ支那浙江省衢州飛行場に着陸し全機集結更に重慶に向ひ同地に在る米人義勇軍「ステイルウェル」少將の指揮を受ける是が計畫の骨子である。谷萩報道部長はここに敵アメリカ政府當局に代つて四、一八空襲の眞相を發表、右空襲の計畫、準備

十九日の日没前に第一番機を離艦せしめ日没直前日本々々に到着し芝浦所定の工場を焼夷爆撃する。第二番機以下は之より後に離艦して日没後に本土に到着、第一番機の爆撃による火災を目標として東京近郊に近郊所定の目標を標定爆撃する。爆撃後は各個に進路を決定して翌廿日拂曉支那本土に到着する。

第二軍は第一軍が實行不可能の場合には適時晝間爆撃を實行すると云ふにあつた。而してこの十六機の臨時集成群を五つの編隊に分けドウリツトル大佐の直接指揮する第一、二、三、四編隊の十三機を以て東京附近を爆撃したヒルガー少佐を長とする第五編隊の三機を以て名古屋、大阪神戸に進攻爆撃することに定められてあつた。

次に空襲参加者募集の状況であるが昨年三月前第十七航空兵團の三個の爆撃隊及び第八十九偵察隊に於て空襲参加者の募集が行はれたが各中隊毎に全將校を集め

秘密且危険な重要任務に就き度い希望者はないか

某所に對する爆撃飛行があるが希望はないか

外國勤務の希望者はないか
などの名目に依り志願者を募り又下士官の方は各中隊長より適任者を指名して志願を勤められたが志願者は四隊合して二百十名ほどであつた。そしてドウリツトル大佐、ヒルガー少佐、ヨーク大尉の三名の銜衛委員により百二十名の中より技術優秀なるもの約八十名が選ばれたのであつたがこれ等の者は國內の人氣取つて共に自己の冒險心を満足せしめ且短期間に進級して高い俸給

を取ることが出来ると言ふ様な動機から志願したものが殆ど全部であつた。

三、又出發前の訓練並に防諜の状況を視るに、選ばれた者は三月一日から捕虜を優遇する國である」と聞かされた彼等は大きい氣をよくして假令不時着の場合にも又は落下傘によつて跳下の際にも手さへ擧げれば生命は助かるものと樂觀して更に空襲の準備訓練を受けたのであつた特に日本々土進入、退去の経路、迎撃機に對する逃避法、目標選定爆撃法等の圖上の研究は格別熱心に行つたのである。

航空母艦よりの單距離滑走離陸
低空固定目標爆撃
海上低空飛行

夜間無信號飛行
對岸の「サクラメント」飛行場に空輪移動し専ら機體の點檢と整備をなし四月一日出發となつたのであつたがこの間防諜には細心の注意を拂ひ日本空襲の目的を示さず、志願者には「アフリカ」又は南米に對する飛行機の空輸なる如く信ぜしめ且訓練は悉く東洋人の住まない東部海岸地方で行はれ、又「エグリッ」飛行場到着以後は全員兵營内に起居して外出を禁ぜられ三月二十日より郵便通信の一切を禁ぜられたのであつた

一方日本空襲の企圖を全然知らない志願者は肉親や知人に對し他部隊に轉屬になつた

二ヶ月位の豫定で旅行するから暫く逢はれない
恐らく米國の土地を出發するから當分の間は通信が出来ない
などの通信を送つてゐたのであつた

四、桑港出發後の状況を述べると、四月一日航空母艦「ホーネット」號等に搭乗して桑港を出發した。

四月二日になつてはじめて「ドウリツトル」大佐より「日本々土空襲」の目的を明にせられた一同は今更の

如く驚き
「生還は不可能だ」と興奮し或は失望し或る者は不参加を申出たのであつたが「日本人は戦には非常に強いが道徳の高い人々の結束した國で昔から捕虜を優遇する國である」と聞かされた彼等は大きい氣をよくして假令不時着の場合にも又は落下傘によつて跳下の際にも手さへ擧げれば生命は助かるものと樂觀して更に空襲の準備訓練を受けたのであつた特に日本々土進入、退去の経路、迎撃機に對する逃避法、目標選定爆撃法等の圖上の研究は格別熱心に行つたのである。

又元日本駐在武官輔佐官で昭和十六年八月に歸國した「ジュリカ」中尉が同艦に乗込んで居たので、同中尉からは

日本國內の事情就中都會の状況を主とする雑誌資料國民性などに就き綿密なる教育を受けた。
尙四月十日には「捕虜」となりたる場合の心得」と題する小冊子を回覽させた。

併し艦内の待遇給養は豫想外に悪く彼等の空氣は悪化したが本土空襲に對する好奇心と冒險の興味と物心兩方面の恩賞とか之を抑制したのであつた。

二、愈々空襲の實施であるが
最初は第一案により四月十九日夜日本本土を空襲する豫定で航行して居たところが四月十八日八時頃都合により遽かに豫定を第二案に變更し東京を去る七百哩の洋上から離艦したのであつた。

即ち八時三十分「ドウリツトル」大佐の一番機に始まり九時二十分最終十六番機を以て終り編隊を組むこと

なく洋上概ね百呎の低空を以て各々目的地に向つて進入を圖つた。東京方面空襲機は正午頃概ね大吹御海岸一帯より進入利根川を横断して東京横濱等の上空に到り高度概して千五百呎以下より各機五百「ボンド」爆彈四ヶ或は右爆彈三ヶと焼夷彈二百本入一箱とを投下して洋上に去り大阪、名古屋方面の空襲機は最初大吹御を目標として西進し房總半島を望見するや上昇し南方に進路を取り高度五千呎乃至七千呎を以て伊豆半島より本土に進入し富士山を右側に望見し得る頃我が戦闘機の追撃により「デクザクコース」をとり雲中に逃避したる後各々目的地に到り高度五百呎内外より爆撃機焼夷彈の全部を投下したが大阪空襲機は我が戦闘機の追撃を恐れ決心を變更し、名古屋附近に爆撃機焼夷彈全部を投下して乗機の重量を軽くして洋上に去つたこの間我方に數機撃墜された又は相當の損害を與へられたのであるが僚機と分離して洋上に去つた殘餘の敵機は戦々兢々として九州南端種ヶ島沖合附近を通過、支那浙江省衢州飛行場に向つたが大部分は洋上、陸上に墜落し僅かにドウリツトル外數名が辛うじて命拾ひをした模様である。又不時着により機體が大破炎上して搭乗者は殆んど死んで了つたのもある。かくて本土空襲の米機は我に對し、云ふに足る程の損害を與へる事も成し得ず殆んど全滅し去つたのであるがその中ドウリツトル大佐機は日本本土上空には來らざる部下のみを向はしめ自らは日本南方海上高空を逸早く支那へ逃走したので最も安全であつた。又一機はソ聯領に着陸してゐる。

尙我に捕はれた敵兵中我本土空襲に際し意識的に軍事施設にあらざる病院、國民學校等を攻撃し入院中の病人、頑是なき小學生童を殺傷してゐるが、かゝる暴虐非道の行爲を爲せし者は捕虜として取扱ふことなく嚴重に處断した次第でこの方針は將來も同様である。以上は米機來襲の経過であるがその後大東亞戰爭に連敗の憂目を見た「ルーズヴェルト」はその頹勢挽回に懸命の努力をなしてゐる様子だ、しかし最近の戦況の南「ビルマ」方面の航空戦果は米英機の撃墜破約五〇〇機に對し我が損害も四〇機といふ比率である。他の方面でも大きな懸隔がある飛行機は資材があればいくらでも作れようが、これを操縦する人間は仲々以て簡単に作り上げ得るものではない。

粗末な訓練では實戦に間に合はないのである。敵飛行機の大打撃に正比例してその優秀な飛行士が次々に死傷した後の交代者の素質は今や急激なる低下を來してゐる、その結果はまた循環的に敵飛行機の恐るべき損害率となつて現はれて來た。なほソロモン、ニューギニア方面では米軍航空隊は頻りに交代してゐる「日本航空隊は弱い」と騙されて米本國からやつて來た未熟な戦闘員達は一度わが猛撃を受けて日本航空隊の實力を知るや忽ち戦意を喪つて新たなる「騙され組」と交代してゐるこれはマラヤに罹るものが多いいだといふ口實だけで幾ら眞實から目隠しされてゐるアメリカ人でもう騙されなくなる時期が來さう、眞珠灣の眞相に就ても一年後に於て僅にその一部分を發表した米政府は遂に日本本土空襲の詳報を一年經過して發表し得ない。

戦争と科學技術

現段階とわが決意
佐藤軍務局長

本國民はビクともするものではない況んや我が防備は鐵壁であり就中敵の大形爆撃機の來襲を見ることあれば、わが單座戦闘機は敢然身を挺し、これに激突し肉弾的衝突戦法を取る覺悟である。世界に比類なき殉國精神の發揮せらるゝところ來襲する敵機は一機たりとも生還を許さないであらう。

一年前の指揮官ドウリツトルは爲すところなかりし故を以て茲に改めてデイッド・カトリツルの稱號を奉るが今後任命せるべき指揮官はドウ・ナツシング大佐たるべきことをルーズヴェルトは期待して然るべきである。

成すると共に本格的對米英決戦の足場を固めたのである。帝國は廣嶺幾千軒に亘る廣大なる大陸海洋に亘り神速比類無き攻勢の連環を以てせるに招はらず未だ攻防逆轉に至らず或は守勢に陥ることなく依然として攻勢を保持しあるは寔に戰略上世界の驚異である。然し乍ら敵も最近漸く我追撃の手を免れて立ち直りたる以上今後飽くまで我が攻勢を繼續し戦勢の主動權を堅持する爲には精神力用兵等の問題を別とすれば其鐵は全元より彼我生産力の絕對量は尙ほ當分敵側が著しく大であるが東條總理大臣の施政演說中にある如く帝國が開戦以來攻略確保せる戰略據點の偉大なる價值を我生産力に力ふると共に敵の生産力に對應すべき程度に急速に敵の生産力を昂上することが今後の戦勢を左右する絕對的命題となるのである。

今日飛行機の戰闘上に於ける威力は絶大なるものがある、特に洋上に於ては飛行機は全く戰闘の王座に位置するのである。之を今日迄の作戦經過に徴するに特に南太平洋に於ては從來我々が觀念して來た陸上の戰闘は陸軍が、海上の戰闘は海軍が陸海別々の戰闘をすと云ふ様なわけには必ずしも參らぬ大陸に於ては飛行機の威力が未だ絕對的とは云へぬから從來と戰闘の様相が大した變化はないが洋上に於ては彼我共に點在する諸島嶼に飛行基地を設定しこの飛行基地網を作戦組織の骨幹とし之を樞軸として陸海空三位一體の綜合戦力の發揮に依つて戦はれて居るのである。是れ飛行機の戰闘威力が絶大なる爲飛行基地網が作戦組織の骨幹となり制空權の無き所制海權も制地權も無いと云つても過言ではないからである。斯くして戰闘は先づ陸海協同して洋上の島嶼を攻略し飛行基地を設定し之に築城をして確保し之に補給しつつ航空の戦が主役を爲し之に併行して艦艇の戦、陸兵の戦が展開する

に新占領地域の開發建設が極めて重要なこととは言を俟たぬ。即ち日滿支は南方諸域を加へた現在の生産力確保強化が帝國今後の生産の生命である而して此の生産優勢は亦大東亞戰爭の本格的決戦の爲めの基礎的戰略戰勢と一致するのである換言すれば現在の戰略戰勢を損ずれば生産優勢をもち生産優勢を破れば戰略戰勢も破るのである。

のである。そこで航空に著しき優劣が生ずれば航空の優者は其の力の餘裕を相手の後方洋上の交通破壊に指向する。従つて其處には戦闘上の王者である飛行機と戦闘上殆ど無力なる運送船とが相闘ふこととなる、其結果は第一線部隊の補給を困難ならしむると云ふことの外船腹の損耗は生産態勢を害することとなる。

潜水艦も亦運送船の敵であることは申す迄もなく米英特に英國が樞軸の潜水艦に悲鳴を擧げて居るのは衆知の通りである。大陸の戦闘に於ては飛行機の威力が未だ絶対の王座に位置すると云ふ程にはあらずとも、支那が我本土及海上交通破壊の敵飛行機の基地たらんとし我は常に先んじて之が撃滅を行ひ又本土の直接防空は共に我生産態勢確保上重要な問題である。

以上戰略生産兩態勢の確立の爲に飛行機の増産が絶対的の命題である。造船問題は飛行機に次ぐ生産擴充の重要問題である、造船は大量生産と共に飛行機潜水艦特に敵飛行機の跳梁下に於ける補給の爲には單に船腹量を増すだけでなく特段の工夫を要するのである。

斯くて我國の増産は第一に飛行機(其の外陸海軍の主要兵器は勿論)第二に船舶次之が爲及其他の軍需生産の増強の爲に「アルミニウム」鐵、石灰の増産が基本の問題であるので、先般制定せられたる戦時特例法にも此の五大産業を取り上げられた次第である。

軍に努力せられ其の効果は早くも豫期以上に成果を現はして來たのであり。又十八年度に於ては造船の大量生産も漸く本格化し、木造船の建造沈船引揚げ、荷役の一層の努力等と相俟つて船舶の損害が前年度より激化するとともに船腹は増加することを得るに至るに到るに力強く次第である。同様飛行機、アルミニウム、鐵、石灰等何れも十七年度第四半期の増産目覺しいものがあ

り此の勢を是非とも十八年度に於ても維持し更に強化せられんことが望ましい。茲に注意を要するは我國生産態勢の特質が南方諸地域及滿支と本土との結合即ち生産の隘路が海上輸送力に存する關係上米等の食糧品及其他軍需關係品と國民の生活必需品なら何でも之を増産してそれだけ船腹の節約になればそれだけ五大産業其他重要産業の増産に船腹が振り向けられるのであるから戦力の増強となり戰略態勢と生産態勢が共に強化せられることとなるのである。そこで生産に従事する人々は苟くもそれが軍需關係品、生活必需品である限り其の人々は總て此の生産陣營の戦士でありまた生産陣營に無い人でも家庭に於て瓦斯、電氣、石灰等は勿論何物でも之を節約し節約して生産資源の節約と船腹の節約に資すること

が出來れば之亦生産増強となるのである。斯くて昨春秋以來の官、民の一大努力が着々効果を現はして來たことは定に同慶に堪へざる所である。之に依つて本戦争の一の特徴である所の最期消耗戦に堪へ得ることは確定したのである、然し乍ら前述せる今後

の戦争指導の方針に依れば現在占め得たる大東亞共榮圏の外壁を益々固め敵の反攻を隨時隨所に撃碎すると共に更に攻勢を取らねばならぬのであるから單に消耗戦に堪へて長期戦の繼續力を確保するだけでは所謂長期不敗の態勢を確保するに止まり決して満足し得べきで無く宜しく自強必勝の態勢を確立しなければならぬ

は是は單なる我々の要望に非らずして戦争が要求する絶対命令である之れいやしくも守勢に陥らんか絶対に勝者たるを得ないからである。之が爲には生産の努力だけでは不可能で茲に科學技術の分野の特別の創意と工夫が必要である今後の飛躍的生产擴充の能否は殆んど其大部分は科學技術の分野に課せらるるものと考へられる。

兵器の改良 今次戦争前に於ては前の歐洲大戰を基準として兵器を大別して大戰前型大戦型及大戰後型と云ふ風に類別したが今次戦争に於ては一戦役を劃して兵器が變つて行く様な生進歩あり方無く變つて文字通り日進月歩である今次戦争に於て東西に兵器の進歩が如何に作戦を左右して居るかの一端を述べて見よう。

昨年夏北阿の戦線に於て獨伊軍が一矢にしてトブルク要塞を攻略して長驅エジプトに侵入し、アレキサンドリアを指呼の内に望むに至つたあの作戦の偉大なる成功は獨軍が對戰車

兵器の發明と戰車冷房装置の新工夫に依ると稱せられて居る。又今冬に於けるソ軍の冬季攻勢が意外の力を見せたのはソ軍が戰車及對戰車兵器の整備と此等機械部隊の運用訓練に徹底的重點を指向したことが有力な一因であると稱せられて居る。超短波によつて敵の潜水艦や飛行機の接近を豫知する警戒器が考案されて潜水艦の活動範圍を制限し又飛行機の接近を數百軒前方にて豫知し其の奇襲を避くる方法が進歩して來た。更に之が進歩して飛行機の方角距離も算定せられ高射砲と連繫して、霧雲、夜間を問はず見ざるに之を射撃し得るに至つた。此の方法は各國共に之が研究改善に努力して來たが敵側に於ては英國先づ之を實用に供し、米國が其のペテントを譲り受け

て昨年來整備して來た、我國に於ては最近英米のものより遙に進歩せるものを完成するに至つた。そして着々要點に配置して居るのである。之は確に飛行機及潜水艦戦に大きな影響を與ふるものである。又米國が空の要塞と誇つた「ボウイング」一七

は最初我飛行機が襲撃して多くの命中弾を與へたにも拘はらず容易に墜ちなかつた、即ち装甲が堅固であることが分つたから直ちに新式の強力な兵器を使用して見るとん、撃墜し難いに至つた。暫くして又撃墜困難に陥つた即ち更に装甲が厚くなつたのであらう、そこで我亦工夫して其弱點を發見して對應の措置を講じて現在盛に之を撃墜して居る斯くして槍と楯との角逐は日々夜々實に激烈を極めて居る而して之が對應措置せるまでの間に若干の時間を要する場合には此の間敵をして優越觀を

持たすこととなる此の優越感は瞬時たりとも敵に與へ度くないので我が荒鷲は體當りをかけるのである。其の外獨り兵器のみならず食糧とし

ては被包圍部隊や經海且粉未化した絶えたる部隊の爲經海且粉未化した特殊食糧、味噌、澤庵の簡單なる現地自活法の研究の成功又醫學としてマラリア特效薬の完成又其の免疫豫防の研究、銃創破片創に依る顔面醜形を殆ど完全に元の顔貌に回復せしむることに成功せる手術の進歩等

觀じ來れば今次戦争は眞に日々夜々科學と科學、技術と技術の戦ひである。

米英の死命を制すべき方策の研究整備

以上生産を飛躍的に増進して戦力を擴充し既に固めつつある大東亞共榮圏の外壁を足場とし又作戦資材の改良進歩に依り常に戰時隨所の撃碎を把持して敵の反抗を隨時隨所に撃碎すると共に愈々攻勢を採るのであるが併て總理大臣の施政演説に述べられた如く「遂に米英の戦争意志を破摧する」爲には如何にすべきや之が今日私の叫ばんとする本論である。

凡そ戦争は開始より繼續より最大切な事は終末である。戦争を如何にして終末に導くかは戦争指導に任ずる人々は勿論全國國民の夢寢にも忘れてはならぬ所である。而して戦争終末の爲には獨り作戦のみならず外交も政略も總て必要ではあるが一度戦争に這入つた以上斷じて近道は考へてはならぬ。眞に武力を以て敵に城下の誓を爲さしむるの實力手段が戦争終末の唯一無二の大道たることを忘れてはならないのである。此の見込と段取を確立せずして近道の

持たすこととなる此の優越感は瞬時たりとも敵に與へ度くないので我が荒鷲は體當りをかけるのである。其の外獨り兵器のみならず食糧とし

和平論など或は口にし或は考ふるが如きは戦線生産の庭に立てる我が戦士の背後から鐵砲を撃つに等しきものである。現下における總ての國民的勢力は敵をして如何にして城下の誓を爲さしむるかの實力の正道以外に何物もあり得ないのである。特に今次戦争開戦の経緯を尋ねれば全く米英人特に米人の日本人に對する輕侮の念に起因するのである。而して今日英國は全く米國に從屬し敵側の戦争意志は全然米國の指導者が把持するのである、そこで此の米國の戦争意志を破擯すること之が戦争終末の唯一の手段である。而して米人の世界に優越してあるといふ自信に懸を驚歎せしめた神速なる成功を以て攻略獲得せる戰略據點と、重要資源地域とを確保して其上に我日本民族の科學技術上における全智全能を傾けて無限の資源を着々戦力化して年月の進むと共に戦力を擴充し、日本民族獨特の國體觀念に基く精神力と世界に卓越せる統帥運用の妙味に加ふるに此の物的戦力を織り込んで太平洋、大陸を土俵場として形而上下の眞價を發揮して米人をして日本人を畏敬せしむるに至らなければ今次戦争の目的は達し得ないと信ずるものである。相互尊敬の念の缺如する處に國際間の正義と平和は斷じてあり得ないのである、我等は我國自存自衛の爲には勿論世界の正義と平和の爲に敵をして正當なる尊敬の念を生ぜしむるまで戦はねばならぬ。而も其の戦は生産と作戦資材との両面に於て科學技術の優秀性の發揮が基礎を爲すのである。斯くて太平洋や

大陸を土俵場としての戦に如何に科學技術の優秀性を發揮して米國民亦好戦の且頑強なる國民なるを以て最後は米國本土に鐵槌を加へなければ其の戦争意志を破擯することは困難であらう、米國本土に鐵槌を加ふることの困難は只太平洋の幅と云ふ距離の問題も今や偉大なる飛行機の進歩の前には最早問題ではなくなつた。我國に於ては既に此の問題は技術的に解決し獨伊亦米本土空襲の準備を整へつゝあり日獨伊相呼應して米本土空襲の日はずしもそう遠くはないのである。然し乍ら現在歐洲に於ては相互に報復的に本土空襲を多少の生産妨害と統後の若干の民心攪亂の効果を覘つて行はれて居る様であるが、斯る不徹底な方法は空襲の痛手が慢性となり遂には免疫性となり其效果の大半を失ふ様になる之が歐洲の空襲の現狀である。米國は今盛に日本を空襲すると云つて居る彼等は日本の木造建築が空襲に甚だ脆弱であるの故を以て空襲に依り日本を參らし得ると考へて居るが、日本の木造建築中小なる個々の家屋こそは空襲に對する被害が小であり又再建も極めて容易なのである。誰かが蜂の巣と皮肉つたあの米國の多數家族を包擁せる「アパート」に對する被害が甚大なのである。特に米國の高層建築物は概して對震性の願慮が少いから或種の爆彈の集中的使用に對しては極めて危いものなるのである。それは兎に角私の謂ふ米

力な他の手段を以てし一度之を開始せば一舉に敵國の戦意を破擯し得る如く時日は多少かゝつても十分なる研究と準備とを整ふる必要がある。

結 言

東大亞戦争開戦以來政戰兩略の巧妙且緊密なる協調の下に至難なる緒戦に遂げられ強襲との偉大なる成功を遂げることが出来たのである。今次の戦争指導は此の偉大なる緒戦の成果を基礎とし生産増強と作戦資材の改良進歩に科學技術の全能を發揮して常に戦勢の主働權を把持しつゝ敵の反抗を隨時隨所に擊碎し攻勢を繼續し且最後に米本土に鐵槌を加ふるの大半は科學技術分野に負はせられて居ることを自覺して此の分野の人々は第一線の將兵が日々敵陣に斃ると同様或は研究室に於て或は工場に於て或は第一線に出でて斃れて後尙止まざる決意を以て其責を果されんことを切望して止まぬ次第である。各位の御努力は種々の研究の成果着想等發見または思ひ付かれし事項にして苟くも戦争に役立つと思はるものは事大小となく速に軍の關係箇所に連絡せられ度く軍は亦進んで解決を欲する或は惱める問題を關係箇所に連絡し以て我全國民の科學技術の全智全能を戦争に動員せんことを期するものである。其の具體的方法に關しては逐次進めつつあるところであるが宜しく各位の御協力を切望してやまぬ次第である。

佛印に於ける
言語と民族勢力

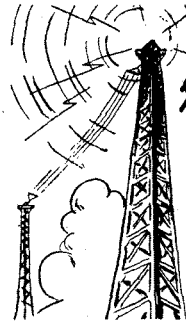
泉井京大教授談

言語學的に處女地である佛印に學術振興會から派遣され舊臘來同地にあつたわが國南方言語學の權威京大文學部泉井久之助助教はハノイを基地に遠東學院の文獻を漁りホワビン州では人跡未踏のソッコイ河の上流リビエール溪谷に入つてマラリヤの危険と闘ひつゝ未開モン族の言語を二週間に亘つて調査、安南との國境都市ラオカイでは白泰ニャン族の泰諸語を、シャツパ高地では苗族の言語、ユエでは安南方言、ブノンペンではカンボチャ語、安南州カムラン灣沿岸地方ではチャム族の言語をそれぞれ調査幾多貴重なる成果を收めて歸國したが、興味深い佛印土産話を語つた

佛印の佛語勢力は都會に局限され、一步町を出ると安南語が流通してゐる。文化的には都市は開けてゐるが地方は極めて低い。安南語が土人間公用語となつてゐるのは佛印政府が政策的に土着民との間に安南人を置いたところから來てをり、土着民は生活難のため萎縮し言語においても語彙が安南語に侵略されてゐる。例へば交趾支那から發掘された碑文にはカンボチャ語が記されてゐるのに今ではあの地方は安南語の流通圏となつてゐる始末だ。このやうに今特に民族の發展と語域の擴張とは密接な關係にあるともいへる。北部安南語に漢字の影響が強く文字の系統も漢字の影響がはつきりと見られるのは曾つての強大支那に隣接して絶えず文化的にその影響を受けた現はれであり、これに反して南部カンボチャ語が佛敎パロンの影響を受け文字も印度系統で字引でも單語の三分の一が印度の起源であるのと對照して非常に興味深く思つた。私は内地で安南語でもカンボチャ語でもフランス人の作つた文法書で勉強してなかなか難しい言語と思つたが實際は容易なもので、また言語は特に研究の進んでゐない言語にあつては實際に當つて見なければ痛感した。安南語、カンボチャ語の次にはラオス語が勢力があるが私はシャツパ高地に未開苗族を尋ねて研究した結果、少くとも今まで泰諸語のグループと思はれてゐた支那語の亞流であるといつた氣がした。その他チャム王国を建設してその威を誇つたチャム族も今はカムラン灣沿岸に安南人に逐はれて逼塞してゐるが、この言語等も非常に興味深い。

要するに語域を擴大しつゝある言語また喪ひつゝある言語のいづれも民族の力を表徴するものである。日本は八進一退の大精神による日本語の南方進出こそ決して忽ち出來ぬ問題である。私は佛印各地を旅行する體験では土着民が日本語に非常な關心を持つてゐるのに一驚を喫した。中には片言ながら日本語で話しかけるものもあつた程であつた。原住民間のこの芽生へを育てることこそ日本語普及に絶対に必要なことである。

外對電信同報



四・一八空襲後 始末其他

四月の「同盟」 電波報告

四月は米機日本本土初空襲から全一年で、又もや「空襲季節」と許り日本本土では真剣な訓練、覺悟に完璧な防空準備態勢が確立されたが、此の時太平洋上では日米の電波が四つに組んで、昨年の空襲經過發表を契機に華々しい宣傳戰を演じた。事の起りは四月初旬米國戰時情報局長官エルマー・デービスが「來るべき四月十八日東京空襲一周年を期して一年前の空襲の實相並に結果の全貌を發表同時に東京空襲の寫眞を全米の新聞に掲載させる」と豫告的言明を爲したことに端を發する。日本側ではあれ程完全な失敗に終つた空襲に就て米當局は一體どんな發表をやる積りか、ある筈のない空中

撮影寫眞をどんなインチキなものを作り上げて出すか、大いに期待して待つてゐたのであるが、意外にも當日になると戰時情報局の發表は從來「シヤングリラ(小説)失はれた地平線」の中に出て來る假空の地名)とのみ云はれて來た日本本土空襲米機の出發點は實は空母エンタープライズである」とのみ、爾餘の詳報並に寫眞は「軍事上の秘密として陸軍省から發表禁止の申入れがあつた」と一切取り止めた。恐らく相も變らぬ自國民偽瞞の虚構捏造發表をやる魂膽であつたらうと思はれるが、戰時情報局よりも米陸軍省の方が流石に「空襲」の直接の責任者である丈に若干良心的であつた譯だ、然し敵である日本の陸軍報道部長から細大洩らさず教へられる「軍事上の秘密」が理由なのだから米國民でも呆れて物が云へないであらう。

東條内閣の電撃的改造其他重大ニュースが輻輳したにも拘らず、可成りの長文であつた全文を即時英佛西等各國語に翻譯して二十日夜半迄には各國向けの無電同報電信に全部組入れた。谷萩少將の談は「米國政府に代つて東京空襲の實相を教へてやる」と云ふ冒頭からして誠に小氣味良く、米機の來襲計畫、來襲後の行動、盲爆振り、其の損害狀況等を一貫したもので正に適時本壘打を放つた觀があつたが、果せる哉、翌日になると内閣改造の反響に魁けて此の方の反響が現はれて來、米國政府、軍部では周章狼狽、爾後數日間敵側の混亂振りは其の宣傳の文字の上からも推斷される程であつた。

翌日、米陸軍省でも「軍事上の秘密だから發表出来ない」と云ふ前言は全く知らぬ顔で空襲經過なるものを發表したが、これが谷萩報道部長談に刺戟されて行はれたことは勿論で、その一節一節悉く報知部長談と符號、損害がなかつたのは僅かに一機のみと明白してゐるのは我方の發表なるものが如何に眞實、的確なるかを敵側が裏書きしたものとして誠に痛快だ。時間的にこれを見れば、我方の報道部長談發表は二十日夜で、其の内容が全部電波に乗つて米國に渡り終つたのは二十日夜半であつたから米國時間にすれば十九日の早朝であつた。そして米陸軍省の發表は同じく米國時間で十九日午後九時半となつてゐる。其の間午前十時を過ぎての十二、三時間米陸軍省首腦部の狼狽振りが思ひ遣られる。

いづれにせよ、我方が「米政府に代つて米國民に實相を告げよう」と言つて明かにした内容を敵陸軍省が「誠に其の通りでございます」と蒸し返して發表したのだから、敵味方宣傳戰のこの勝負誰が見ても明かた處だ。而も昨年空襲後には喪失機は一機もないと全く出鱈目の發表を爲し、日本空襲を以て當時東亞各戰線の敗戦に次ぐ敗戦に意氣沮喪した自國民の士氣振興策に使用、指揮官ドリトルを英雄に祭り上げて全米各地を巡行せしめるなどお祭り騒ぎを演じたのが此の結果と判つては、度々の戦果發表のインチキと追つかけての損害追加訂正に慣れた米國民でも承知は出来ない筈で、早速米國各新聞が此の問題を執り上げて「秘密主義も止むを得ない場合もあらうか」とかなんとか言論統制止むを得ざる遠廻した表現を用ひ乍らも我も我もと不満と嫌味を並べ出した。

此の輿論の動搖に折柄メキシコ訪問中の大統領ルーヴエルトも相當狼狽したらしく、輿論の憤懣の轉換を策し、陸軍省發表のあつた翌二十日(米國時間)メキシコからの歸途テキサス州の片田舎で慌て聲明を發表、日本政府が捕虜となつた日本本土空襲參加の米人飛行士を處罰したのは國際法違反だと今更自分達の不法は糊に上げて見當違ひな主張を爲し、同時にワシントンの國務省をして既に古證文となつた右に關する對日抗議文内容を發表させた。その抗議内容が全く見當外れで一顧にも値しないことは言ふまでもない。大體米空軍や潜水艦などの次々に行はれた我が病院船爆撃、在米同胞の虐待事件等鬼畜にも劣る悪辣な不法行為には恬然として、ジュネーブ條約の國際慣習だと持ち出すと自體が矛盾も甚だしいが、處罰された米人飛行士がいづれも病院を狙つて病人を殺し、學校を狙つて學童を犠牲にした非人道極まる行爲の瀝然たる證據ある者たることを頭から忘れての反駁なのだから全く問題にならない。所でこの飛行士處罰問題についての米國側

從來の報道發表程支離滅裂醜態極まるものはない、即ち、先づ第一に帝國政府が發表を以てこの來襲米機搭乗員中自爆を爲せる者に對する處罰を明かにしたのは昨年十月十九日であつたのに、當時米國政府は正式には何等の抗議を爲さず、それより半年を経過した今、事新しく大統領が聲明を行つたり抗議文を公にしたりして居ることが甚だ奇怪で、我が谷萩聲明で騒然となつた國內輿論轉換策であることは疑を容れぬ。次にこの飛行士處罰問題に關する米國通信報道に見る米政府當局の發表乃至言論指導のインテキ性と云はふか前後矛盾撞着の甚だしさが指摘される昨年の四・一八空襲直後損害は一機もないと發表した手前、昨年十月の處罰發表直後にAP、UP等の米系通信は最初「日本空襲機は一機を除き全機某基地に歸還したその一機もシベリアに不時着搭乗員は無事で、捕虜は一名もない筈だ」と言ひ切り、處罰發表を以て日本の再空襲除けの謀略だなどと勝手な發言を並べてゐたが、自國政府が全然損害を認めず、空襲を指揮して歸つて來た筈の代將ド・リトルすら「日本で一機も喪失してゐない」と言明してゐるのであるからこの推理も無理からぬ處かも知れない。その中に勳章を貰つた飛行士の名前が東京で云つてゐる名前に類似してゐると米國の新聞通信が云ひ出す様になつて、陸軍長官スチュムソンは記者團會見席上遂に「幾人かが嵐の爲め飛行不明になつた。捕虜もあり得ることだ」と全く前言に違反する聲明をしてセンセーションを捲き起し數日して米陸軍省は行方不明飛行士の姓名を數人だけ發表するの余儀なきに至り、やがて次々に暴露する宣傳報道方策の國民に對する偽善性を隱蔽糊塗すべく對日抗議の發出となり、驚くべし空襲實施後一年而も日本側から實相を暴露されて初めて經過及び損害の發表となつたのである。

但し米系通信、放送等はこの二十日のルーズヴェルト聲明及び國務省の抗議文發表の尻馬に乗つて日本の處置を不法呼ばはりして積極的な宣傳戰に出て來、我方の反駁宣傳と太平洋上に華々しい電波戰を演じたが、所詮内容の空虚な方が取れで米側宣傳は長続きせず掘情報局長の聲明を止めとして敵側は沈黙して了つた。これは第三者から見ても日本宣傳戰の完勝で、その事實は去る四月二十三日

のベルリン各紙が筆を揃へて認められてゐる處だ。

この他、この月は、東條内閣の改造強化、印緬國境方面作戦の發表、南太平洋方面我が航空部隊の連續的捷報、東條首相の滿洲國訪問、青木大東亞相の南方巡訪等々軍事政治上の重要ニュースあり、對外無電同報に好個の材料を提供して呉れた。(企畫部伊藤忠雄)

地方事情



芽生えつゝある

新しい力

新體制がいはれだしてからも三年が過ぎてゐる。この間、この言葉は文字通り氾濫し、近年になり流行性をすら示したのであつた。しかしいまはどうか。もう今日では新體制をいふことが舊體制のやうに感じられてゐる時勢だ。かくしてそれは、果して單なる一時の流行に過ぎないものであつたのであらうか。

新體制といふ言葉が餘りにも粗雑に使はれ過ぎたといふ弊は指摘出来る。流行的な性格を示した一半の原因はこのことにあるのであらう。その點明治の初期における「文明開化」といふ言葉と甚だ似通つてゐるのである。「文明開化」といふ言葉は新しい國民的統一國家を建設せんとする維新政府のスローガンであつた。それは封建的なものから國民的なものへと云はゞ世界觀の轉換を要請するものであり、かくて轉換せられた新しい世界觀に基づく新體制の建設を推進するにあつた。それはまさしく時代の合言葉であつた。故にこそ華々しく流行したものであらう。もちろん流行したそのこと自體が誤りといふわけではないが、言葉がその内容から分離して獨り歩きを始めたところに實は流行の弊があつたのである。新體制といふ言葉も同様であらう。我々の日常生活における挨拶的用語としてまで愛好はせられたが、しかし愛好されたものはその言葉であつて、その内容ではなかつたやうだ。だから内容は未だに解決を求めて厳として存在してゐる。文明開化といふ言葉の意味する眞實の内容が幾多の血生臭い過程を経て日清、日露の戰爭を通じてはじめて根を下ろしたやうに、新

體制といふ言葉はもう古臭い過去の流行と化さうとも、その意味する眞の内容は歴史の要諦として尙解決を求めて前進しつゝある。我々はこれを今日の地方の實情にみる事が出来る。

新しい體制を建設するためには矢張りこれを可能ならしめる新しい人間と新しい力が存在しなければならぬ。歴史は單に經濟的必然によつてのみ動くのではないからである。今日の地方の實情を象徴的に示すものは、この新しい人間と力が成長しつゝあることである。

では新しい力、人間とは何か。端的にいへば、それは過去に化して未來を作るといふ精神を喪失してしまつた力や人間でなく、また現實に化せずして一足飛びに未來を築くといふ觀念的なものでもなく、現實に化して未來を作るといふ力と人間の型である。

例へばこれを過般の供米運動についてみよう。

供米運動が農村にとつて如何に大きい課題であつたかは「涙ぐましいまでの美談」の多いさによつても推測し得る。それは或る意味

において皇國農村が嘗て受けたこ

とのない一つの試煉であつたといへるのである。かく課題が大きかつただけに、これを遂行する農村はあらゆる力を集中してかゝらねばならなかつた。否、既存の力を集中するばかりでなく更に新しい力を作りつゝこれを果さねばならなかつた。したがつて従来はバラバラな力がバラバラのまま、存在してゐたのであるが、この課題の遂行を契機として一點に集約することが要求された。しかもそれは果斷に迅速に一切の障礙を顧慮せずして遂行されることが必要であつた。このバラバラな力が一點に、強引に集約された結果、そこに従來の安定せる基盤は安定の重心を失つて大きな龜裂を生ぜざるを得なかつたのである。その龜裂のなかからはいろいろなものが飛び出した。個人的なもの、私利的なもの、事大的なもの、總じて所謂、舊體制的なものはいづれも安定せる地盤を失つて根無し草の哀れさを現出したのである。かうして一點に集約された力によつて農民を動員し遂に惡條件を克服して供米を完遂したのである。それはまさしく革新であつた。

供米運動を通じて變革された新しい基盤の上には、その運動を通

じて鍊成された新しい力が確立された。この新しい力は具體的な過程において舊い力と闘争しそして勝利を得た力である。すでに現實具體にものごとを解決し得る能力と方法をもつ力なのである。觀念的に言葉や文字によつて作られた革新の力でなく、日常實踐によつて作られた革新の力である。そこには華々しい文字の羅列や、調子のよい革新の言葉はないが、それらの文字や言葉の意味する眞實の内容はある。

かうした新しい力が解決し得た課題は單に供米だけに止まるものではない。物資の適正配給に、金屬類の回収に、或は生産力の増強にそれぞれの課題の解決はみなこの新しい力の發動にまつものである。これはもはや黨派的でなく功利的でなく、云はゞ國民的、民族的な性格をもつ力の出現である。更にその具體性を明らかにしよう。

供米にしろ金屬類の回収にしろそれを促す力は端的にいへば行政の權力であつた。生産増強を推進するものはその權力に裏付けられた所謂「統制」であつた。物資の適正配給を行はんとするものも矢

張りその統制であつた。

したがつて國民の自發性はたゞそれらの統制や行政權力の施行の枠からはみ出さんとする事態に對しいはゞ自戒の態度として取り上げられ且つ要求されてゐた。根源的な力點はすでに作られてある行政權力に置かれてゐたのである。しかるにいま形成されつゝある力はどうか。もとより行政權力と對立的な力ではない。例へば供米運動において個々の農民の胸臆を開拓し「供米と國家」との關係を

その生活の場において把握した説得力。或は供米を容易ならしむるための具體的な節米の指導力。意識的無意識的に生ぜんとする供出弛緩を未然に防止する鋭い洞察と壓服力。これらは明らかに行政權力ではない、別個な力である。これらの力が綜合され一つのものとして確立されたことによつてはじめて供米は優秀な成績を示して達成されたのであつた。

四月六日農林省發表によれば米供出目標はほぼ達成されたのであるが尙最後の努力を要するとしてゐる、また各府縣別の成績順位をも示してゐる。このことは何を意味するのであらうか。

供米の過程における固有な諸事情は無論全國劃一ではない。場合によつては供米割當が甲の縣では合理的であつたが乙の縣では不合理であつたといふ事態も必ずしも無いとは云へないであらう。それは今日の事情においては或る程度不可避なこともある。したがつてかゝる事情が或る程度供米の難易を支配したことは確實に豫測出来ることであるが、だがそれは飽くまで「或る程度」であつて斷じて決定的なものでないことは、他の難條件の存在をみると直ちに肯づけるのである。では所謂縣民性の相違に歸するのであらうか。

或は當の關係當局の熱情の差異がかくの如き等差を生んだのであらうか。

縣民性の相違に、供米の國家的重要性に對する認識の深淺を求めるとは甚だしく危険である。またこれが重大性を説く關係官公吏の熱情が府縣によつて差異があるなどとは考へられないことである。とすれば問題は、供米を推進して行く力の有無であらう。その力が行政權力であれば、府縣によつて區別がある筈はない。とすれば行政權力にあらざる力でなければならぬ。ではその力とは何か。それ

が我々のいふ新しい力とそれを擔ふ人間である。我々のところに集まつた各地方の供米事情の報告はいづれもこうした新しい力や人間によつて促進されたことを明らかにしてゐる。國民の國を思ふ自發的な力が結集され、それが供米を推進して行つたことを物語つてゐるのである。もちろんそれは未だ局部的ではある。だが、さうした力や人間が出来つゝあるといふことは何にもまして意味のあることであらう。これはまさしく新しい歴史の夜明けを告げるものといへるのではないか。この力と人間が我々の日本に限らず充實したとき一切の惡條件を克服して生産増強は眞に強靱な形ちで進行するであらう。私利的な策動や無方向な權力欲の介在を尙少くなしとしないいまの政治に對しても、確固たる主柱を打ちたて、はつきりした方向と潑刺たる生命を與へるであらう。いまさうした可能性は地方に芽生えつゝある。供米運動などの實踐を経ることによつて成長しつゝある國民運動の力がそれである

(調査部高橋)

新聞論調總覽

☆新聞社々説☆

月 日	朝 日 新 聞	毎 日 新 聞	讀 賣 報 知
4. 1	蘭銅の生産價格引上げ・チュニジアの戦局	滿生糸の値上・情報局の改組	防空の強化
2	東亞經綸の壯圖に資す・指導の人材養成の途	滿洲國の決戦體制確立す・爆發寸前の印度	東條首相の滿洲國訪問・生鮮食料品の價格調整
3	檢察と戦意の作興・生鮮食料品の價格對策	大いに樹木を植ゑよ	決戦皇國民の眞姿顯現
4	獨海軍と倒英の道	「戦後問題」は敵側の詐術	教育と自發性の涵養
5	(休刊)	(休刊)	(休刊)
6	生活簡素化と住宅問題・佛國の對獨協調	刷新せられる高校教育	住宅政策を前進せしめよ
7	米穀實收高の好成绩・米國民の動搖頗る深刻	米の實收發表・町内會の官僚化を戒む	米穀實收高の發表に際して・町會の改組
8	戦後問題と米ソの對立	標準農村の設定要綱	學生と空に戦へ・フランス更生の途
9	國本を培ふ新農村計畫・米英空軍の盲爆	英印軍への新たな痛撃	英印軍二個師團を撃滅・標準農村と自作農設立
10	陸海に戦果益々擧る・映畫教育の促進	フロリダ島沖の大勝・國府の責務加はる	フロリダ海戦に凱歌・決戦生活と健民運動
11	金鐵休廢止と金の地位	敵の絶望的戦術	翼壯の改組に當つて
12	國內整備と翼政の改組	翼政の政治力が議會の政治力か	鐵工業整備の進捗
13	一家の親和嚴たる規律・獨伊の盟誼固し	訓戒に慣れるな・獨伊兩巨頭會議の意議	戦争遂行と地方官の責務・樞軸必勝の陣
14	貯蓄戦への奮起・文相の訓示	貯蓄運動展開に際して	縮印作戦とその影響
15	壯年團のゆくべき途	科學戦における必勝の態勢	科學戰勝利への道
16	補給路破壊戦の強化・科學戦と材料の研究	デイロンの大陰謀	地中海の守り
17	緊急物價對策を論ず	増産物價政策の決定・時局と少年保護	決戰物價政策の出發
18	更生少年工に感謝す・北阿の戦局	敵の反撃企圖を摧く	青木大東亞相の南方視察
19	山火事の絶滅を期せよ	英國の痛としての人口問題	教育界の根本問題
20	爲替新制度を越えて・米大統領の四選問題	資金輕視に對する警告・虐殺事件と米英	米英の國際通貨論争
21	果然内閣の改造成る・米價の大幅引上げ	米價改訂決す	新米價對策の效果
22	犠牲への經濟政策	内閣改造と官民團結・來襲米機の醜態	鮮やかな内閣の改造
23	情報局總裁への期待・嘖ぶべき和平提唱説	戦時外交と宣傳戦の強化・翼賛會と翼壯の關係について	國を擧げての感謝と敬意・戦時外交の重點
24	御親拜を仰ぎ奉る・戦ふ大學の使命	靖國神社臨時大祭・新文相への期待	新文相に望む・宣傳戦の再出發
25	不滅の大精神を讃ふ・ソ波事件の齎すもの	俘虜と鬼畜との相違	提督の最期を凝視して
26	政府と翼政の接近	徐良大使を送る・濠洲の悲鳴	獨ソ戦局展望
27	沈没し行く米國の士氣	米英の酷薄な重慶利用	戦時下の革新運動
28	破局せるソ波關係・結核の絶滅を期せよ	北支の蔣系軍を撃滅す・ソ波斷交と反樞軸陣營	御仁慈のほど長し・反樞軸陣營崩壞の兆
29	聖壽の無窮を祝し奉る・各省委員の集約と翼政	聖壽萬歳・新駐華大使に望む	天長の佳節を壽ぐ・英國の行衛
30	特赦の恩命を仰ぐ・歐洲小國への啓示	文化勳章を賜ふ・米英關係の眞相	行政査察使への期待

時事文獻彙報

凡 一、太字は單行本
 一、配列は論題・筆者名・雜誌(發行所)名・發行日の順・單に三とあるは三月號
 一、昭和十八年三月廿六日より十八年四月二十五日迄
 刊行のもの

略語

科學主義(科學主義工業)
 海外經濟(海外經濟事情)
 國際經濟(國際經濟研究)
 國際週報(國際研究會週報)
 國際通信(國際パンフレット通信)
 國際法外(國際法外交雜誌)

世界一般

七つの大會戰
 —ナポレオン以後— C.P.ベーカー 西條敏雄譯 金星堂
 世界農產統計(一九三—四) 東亞研究所 同上
 國際投資の諸問題 王立國際問題調查會編、松本慎一譯 日本評論社
 戰ふ宣傳 日本宣傳協會編 東京講演會
 世界産業發達史研究 藤田 敬三 伊藤書店
 世界の猶太勢力と秘密 國際政經學會譯 政經書房
 東西文化の融合 北 吟吉 東亞論叢
 國際放送聯盟の現状と將來 宇井 英俊 放送研究
 ラジオ戰とラジオ宣傳 企 畫 院 企畫五六號
 總力戰と國際法 横田喜三郎 外交時報
 廣域圏の要件 川原次吉郎 國際法外
 總力戰と戰時占領 立 作太郎 國際法外
 戰爭と世界經濟 荒木光太郎 經濟學論集
 第二次歐洲戰爭後の貿易情勢 松井 榮一 國際經濟

總力戰の經濟機構……………イ・エフ・ベネローズ 企畫(五十
 六號) 四
 關ふ各國の國民生活…………… 同盟週報 四
 交戰各國の産業轉換…………… 同盟週報 四
 決戦下の鍊成教育…………… 佐藤 得二 太平洋 四

歐米一般
 大西洋憲章の具體化を繞る對立と矛盾…………… 高野善一郎 外交評論 四
 戰爭財政の支柱…………… 永田 清 日本評論 五
 米英の弱點を衝く通商破壞戰…………… 每日新聞 四
 米英の謀略と思想決戦…………… 讀賣報知 三
 米英ノ三國關係の展望…………… 長谷川 了 外交評論 四

歐洲大戰

戰軍に見る獨ソ戰線…………… P.アルグス 岡倉書房
 獨ソ戰の本質再檢討…………… 木村 鏡市 外交評論 四
 空襲史斷想…………… 原 文哉 改 造 五

歐洲一般

新ヨーロッパ建設の構想(三)…………… ヨゼフ・ヴインシュウ 科學主義 四
 獨逸だより…………… 宮内鎮代子 敬文堂
 ナチス獨逸の建築…………… 岸田日出刀 相模書房
 カリー・デー・エフの話…………… 成瀬 政男 第一公論社
 獨逸大戰經濟論…………… レオ・グレンブラー 多摩書房
 獨逸の決戰態度—ヒットラー—…………… 工藤 長祝 鐵十字社
 總統最近の宣言…………… 安部 光榎 建設社
 ドイツの偉人たち…………… 永川 秀男 葛城書店
 ナチス農民政策…………… フリード・リッツ 富山房
 獨逸國民國家發生の研究…………… ヒ・マイネツケ 矢田俊隆譯 東洋書館
 |世界主義と國民國家…………… 磯邊 秀徳 東洋書館
 ナチス農業の建設過程…………… 野上 巖譯 栗田書店
 全體主義教育原理…………… 瓦・クリク 電 通
 浦鹽と沿海州…………… 山内 封介 櫻木書房
 シベリヤ資源研究…………… ヴエー・アー・オブ 櫻木書房
 ルチエフ、竹尾式譯

歐洲諸國

物語シベリヤ征服史…………… デ・サード・フニョ 白林書房
 ポーツマス講和會議…………… フ、金正道正譯 石書房
 日誌…………… イ・ヤ・コロストウ エツツ、島野三郎譯 東亞協會
 亞細亞邊境異聞…………… キー、大塚輝生 日本評論社
 英國自由貿易運動史…………… 北野 大吉 同文館
 イギリス政治經濟史…………… 矢口孝次郎 同上
 崩れ行く英帝國二十年史…………… 毎日新聞社
 わがイタリヤ…………… ジョヴァンニ・パビ 菊池 春雄 高山書院
 ドイツ經濟二十年…………… ラテンアメリカ 經濟每日 四
 戰前獨逸の對拉米…………… カ中央會編 四
 經濟的進出の檢討…………… 下條 雄三 宣 傳 四
 フラシヨ組合經濟の成立過程…………… 貞人 宣 傳 四
 イタリヤ人口論の指導性と政策…………… 増田 抱村 人口問題 二
 伊太利人口論の指導性と政策…………… A.カプアリ 抱村 宣 傳 四
 化(上)…………… 武藏達生譯 宣 傳 四
 イタリアの音樂及び音樂家…………… 竹尾 智彦 宣 傳 四
 ローマ都制概観…………… 安藤 英雄 宣 傳 四
 戰時下ソ聯の根本問題…………… エヌ・コロソフスキー 國士計畫 三
 ソ聯の兒童宣傳…………… ユナ・コロソフスキー 國士計畫 三
 ソ聯邦經濟立地…………… 國士計畫研究所編 國士計畫 三
 外國研究の日本的方法…………… 淺野晃外五名 月刊ロシヤ 四
 (座談會)…………… 關塚 庄三 同上 四
 赤色空軍の現状…………… 東 亞 會 同上 四
 ソ聯邦對支政策の史的展望(下)…………… 根岸 國孝 經濟每日 四
 フランス經濟二十年…………… 野村榮太郎 同上 四
 イギリス經濟再建問題討議…………… 外務省 海外經濟 四
 英國の戰後經濟再建問題…………… 山脇 重雄 知 性 五
 イギリス海軍と地中海…………… 大野 信三 外交時報 四
 英國の世界政策と今次の世界大戰…………… エリ・フレイ 同盟週報 四
 イギリス戰時財政の分析…………… 高田 實 世界週刊 四
 米英の懷柔政策と西班牙…………… 高田 實 世界週刊 四

北米一般
 アメリカ人の本質に…………… ブルノ・デイト 企畫(五十
 六號) 六
 就いて…………… リツヒ、企畫院 日本評論社 五
 米國人の對日觀察力…………… 前田 多門 日本評論社 五

米國の世界政策.....加藤萬壽男 同盟週報 四・〇
 アメリカ戦時情報局を衝く.....最上 立夫 世界知識 四
 米國軍備を暴露せるトルーマン報告書.....最上 立夫 右 同 四
 抗戦アメリカの政治動向.....吉村 正 日本評論 五
 米海軍の史的檢討.....一二三 淑夫 右 同 五
 米の對ソ挑戰と重慶援助の限界.....原 勝 世界週刊 四
 現大戰と米財閥の陰謀.....坂口 三郎 改 造 四・九
 金を繞る米國の野望.....坂口 三郎 改 造 四・六
 最近に於ける米國々防産業の進捗状況.....末松 清 海外經濟 四
 アメリカ經濟二十年.....鹽野谷九十九 經濟毎日 四・八
 敵國アメリカの兒童宣傳.....中野 五郎 宣 傳 四

中南米諸國

米伯兩國間に於ける文化關係の檢討(下).....會田 慶佐 ラテン研究 四
 中南米工業化の基本的考察.....經濟毎日 同 上 四・五
 南米ABC三國動向の推移.....野田 良治 外交時報 四・二
 アフリカ洲一般.....景山 哲夫 同 右 四・五
 西北阿とダカール.....同 右 四・五

中西亞一般

イランものがたり.....德澤 龍潭 目黒書店 四
 西南亞細亞の歴史と文化.....瀧 鐵 大和書店 四
 トルコ中立の由來.....内藤 智秀 外交時報 四・一

東亞一般

大東亞地下資源論.....笹倉 正夫 中央公論社 四
 回教民族運動史.....ハンス・コリン 赤木春之譯 國民出版社 四
 大東亞建設經濟原理.....西村 榮一 湯川弘文堂 四
 東亞學(第七輯).....陳 孚 月光書院 四
 東亞聯盟運動の現在と將來.....陳 孚 東亞聯盟 四
 民族労働政策の基調.....三好豊太郎 人口問題 二
 民族問題の發展.....中島 健藏 東亞論叢 四
 大東亞建設と民族問題解決の課題.....金井 章次 國策週報 三・三
 東亞民族の興隆.....東亞民族の興隆 每日新聞 三・三
 共榮圈經濟における爲替比率.....鬼頭仁三郎 東洋經濟 三・六

大東亞共榮圈に於ける鐵鋼需給の構想(一).....戸田 哲三 共榮經濟 四
 大東亞交易の數字的檢討.....井上 卓藏 經濟毎日 四・二
 大東亞産業建設の技術要件.....相川 春喜 統制經濟 三
 大東亞共榮圈建設方策案に就いて.....大東亞共榮圈建設方策案に就いて 國策週報 三・三
 共榮圈建設と財閥の役割.....經濟毎日 四・四

大東亞戰

大東亞戰日誌(續).....六藝社編 六藝社 四
 ガダルカナル島傳令血戰記.....松正 正壽 各新聞 四・三
 米國の文明に對する鬭争.....松正 正壽 改 造 五

滿蒙

北滿のロンヤ人部落.....福田 新生 多摩書房 四
 北支蒙疆の住居.....伊東 恒治 弘文堂 四
 滿洲建國後に於ける土地政策.....杉本 雄次 開 拓 四
 滿洲炭山の勞務問題.....暉峻 義等 滿洲經濟 四
 滿洲に於ける農業經營の畜産に就いて(上).....山崎 武雄 滿鐵月報 二
 大陸經濟増強と滿洲北支の連環.....日笠芳太郎 支 那 四
 内蒙に於ける經濟建設と民族問題(中).....竹村 和夫 國際評論 四
 蒙古情報.....善隣協會 蒙 古 四
 蒙古風俗の研究と解説.....蒙古研究所 同 右 四

支那

古代支那研究.....小島 祐馬 弘文堂 四
 支那の文化と現代.....諸橋 徹次 皇國青年 四
 支那經濟開發の現状.....西谷 松藏 創造社 四
 福建華僑の送金.....鄭林 寬 滿 鐵 四
 孫文思想の研究.....石井 壽夫 目黒書店 四
 西北支那紀行.....陳 庚 博文館 四
 池田 孝譯 九 善 四
 新修支那省別全誌(貴州省).....東亞同文會 小島書店 四
 西藏英帝國の侵略過程.....ヤング・ハンズバン 村山公三譯 四
 支那に於ける外國行政地域の慣行調査報告書.....植田 捷雄 東亞研究所 四
 孫文革命戰史.....大石文化會編 聯合出版社 四
 大陸氣象雜感.....石丸 雄吉 ささき書房 四
 支那の演劇.....アーリングトン 畝傍書房 四
 印馬高一・平岡白光譯

新中國の建設方向.....川村 宗嗣 支 那 四
 支那事變處理の現段階.....齊藤 萬幹 同 右 四
 支那事變處理の新動向.....川崎 萬博 世界知識 四
 支那中國の現實(座談會).....陳公博外四名 改 造 五
 支那の思想運動.....前田 稔靖 外交時報 四
 現事變戰爭と中華民國の地位.....小谷 鶴次 同 右 四
 重慶日記.....吳 繼 先 時局雜誌 四
 重慶體制下華北の戰時食糧政策(下).....三木 國松 國際評論 四
 新疆の諸種族について.....吳 紹 璣 蒙 古 四
 支那經濟の二十年(上).....小林幾太郎 經濟毎日 四
 支那經濟の二十年(下).....同 右 四
 國府參戰經濟の展開.....瀧口 義敏 共榮經濟 四
 重慶の抗戰強化方策.....三木 國松 東亞論叢 四
 支那の地方財政(三).....同 右 四
 參戰下支那經濟の分析.....同 右 四
 圓元等價政策論.....同 右 四
 重慶抗戰勢力の解剖.....同 右 四
 重慶工業合作社運動の動向.....大井 專三 地 政 學 四
 窮迫せる重慶の現状.....小口 五郎 外交評論 四

南方一般

印度古代史.....佐保田鶴治 弘文堂 四
 瀾洲及印度探檢誌.....末廣 一雄 日本講演協會 四
 印度農業經濟論.....R・ムケルジイ・綜合インド研究室譯 同 上 四
 チークの話.....高山慶太郎 木材經濟研究所 四
 南方新建設講座.....南方園研究會 大阪屋號書店 四
 南方經濟資源總攬(オーストリアヤ、ニュージーランドの經濟資源).....金子鷹之助 東亞政經社 四
 西南太平洋.....清川 正二 四
 日泰關係と山田長政.....中田 干敏 日本外政協會 四
 佛印の新經濟政策.....ポール・ベルナール、奧 好農 岡倉書房 四
 印度支那の原始文明.....彌津 正志 河出書房 四
 アン・コール遺址群.....パールマンデー 育生社弘道閣 四
 印度支那民族誌(經濟資料通卷第二百三).....エ、永田逸郎譯 滿 鐵 同 上 四

作家部隊隨筆集

井伏鱒二編

新紀元社

比島史

和田 義隆

創造社

比律賓の農業(上)

福原 友吉

三省堂

フィリピン讀本

奥間 徳一

改造社

東印度

ウアンデンボツ

改造社

スマトラ重要統計

筒井 千尋

大東亞出版社

ジャワ村落論

J・H・ブーケ

中央公論社

スマトラ

筒井 千尋

三省堂

現代臺灣論

伊東 敬

三省堂

太平洋諸島統計書(大東亞)

國際日本協會

同上

統計叢書第一部九

フゴ・アドルフ・ベル

同上

メラネシア探検

ナチク、小池新二譯

海洋文化社

ソロモン群島滞在記

エリック・マスブラ

世界堂

臺灣の自然と社會

太平洋協會編

中央公論社

南方華僑の指導對策

守安新二郎

支那

南方醫談 規那の話(一)

志村 芳雄

南洋

南方建設一周年誌(二)

南洋協會

南洋

決戦下の南方開發

山田 文雄

太平洋

南方諸地域の財政をみる

森澤元三郎

同盟週報

南方工業化への一考察

多田 禮吉

統制經濟

印度經濟二十年

伊東 敬

中央公論

米英の兵器廠としての印度

タイムス社

國際通信

カンデー斷食の民族運動における意義

宮原 武雄

經濟毎日

東印度畜産統計

貴志 康人

東亞論叢

東印度の金屬加工業

舊蘭印中央統計局編

南洋

安南王室に就いて

クレツメルド・ウイ

同

臺灣經濟の二十年

阮 進 瀾

新亞細亞

兩極地方

小島 繁次

經濟毎日

グリーンランド横斷記

Mダグラス

同

北洋の重要性

平山信子譯

同

米領北方圏の軍備

深澤 幹藏

同

雜記

日本農家の特性と民族力の強

林 惠海

開拓

國體と經濟

大串兎代夫

日本評論

國家科學の問題

大熊 信行

理想

志士と海國經綸

小牧 實繁

大

近代の超克と科學精神

船山 信一

科學思潮

歴史と國力(座談會)

岩井主藏外四名

科學主義

進め戦争科學陣

朝日新聞

四・三五

皇室

聖德太子の憲法

朝日新聞社編

同上

聖德太子に於ける大和心

土井虎賀壽

中央公論社

政治・外交

明治南進史稿

入江 寅次

井田書店

海商法研究(第六卷)

小町谷操三

有斐閣

日本政治(日本思想戰大系)

花見 達二

旺文社

地政動態論

井口 一郎

帝國書院

經濟法入門

菊池 春雄

東洋書館

海軍國際私法論

山戸 嘉一

有斐閣

敵産管理の理論と實際

森 敦三

實文館

尊皇攘夷の血戰

奥村喜和男

旺文社

翼賛壯年團論

清水 伸

改造

昭和政記

御手洗辰雄

現代

政治と法・法學

大西 芳雄

法學論叢

國家學とは何ぞや(座談會)

大串兎代夫

日本評論

世界戰局の現段階と對外思想

松本 重治

同盟週報

我國に於ける戰時國際法の發

信夫 淳平

國際法外

ロバーツ委員會報告と日米開

立 作太郎

國際法外

戰に關する法律上及び道義上

立川 文彦

法學論叢

ノ聯外交の諸問題

法華津孝太

國際經濟

日獨・日伊經濟協定の内容と

宇賀田順三

都市問題

其の交渉経緯

新なる自治構成としての責任

同

主義の確立

同

財政・經濟

大都市人口は再生し得るか

青盛 和雄

國土計畫

東京都市の沿革

弓家 七郎

都市問題

舉國的國民政治組織の法理

鈴木 安藏

政界往來

對華新政策に就いて

松本 龍吉

外交時報

實金と勞務者指導

富澤 喜一

講談社

日本林産食物類

伊藤敬二郎

叢文閣

石鹼の歴史

小林 良正

河出書房

昭和工業構成員

森 喜一

伊藤書店

昭和金融政策史

矢尾板正雄

皇國青年

カルテルと經濟諸團體

靜田 均

日本評論社

共榮團交易の實證的研究

東洋經濟研

新報社

食糧政策と糧詰科學

田所 光三

水産社

營團のねらひと實際

企業院研究會

同盟通信社

生 産 戰

日本産業經濟

伊藤書店

國家總力戰と財政

迫水 久常

東洋經濟

國家經濟學の生活理論

宮田喜代藏

中央公論

機動經濟の前進

土屋 清

東洋經濟

日本經濟學の論理

柴田 敬

東洋經濟

企業整備生産増強策研究會

大河内正敏

東洋經濟

國民經濟學の課題と方法

豊崎 稔

同

現代經濟學の基本的性格

酒井正三郎

同

國土計畫の存在論的基礎

日下 藤吾

國土計畫

勞務管理の方向座談會

鈴木舜一外三名

現地報告

食糧配給制の現況

決戦食生活を語る

經濟毎日

我國農業の技術的經濟的構造

岩片 磯雄

朝日新聞

農村計畫に就いて

齋藤 榮一

社會政策

鐵鋼價格統制の推移

安松 康司

社會政策

技術と生産座談會

岩井祐文外七名

科學月報

大都市工業立地の様相變化

平 實

經濟學雜誌

日本經濟に於ける重工業市場

加藤 精一

社會政策

社長徵用と企業の國家性

岩崎 英恭

社會政策

(座談會)

外三名

同

木船建造の諸問題

雨宮 勇

共榮經濟

軍事

- 戰爭法(國防科學叢書九).....前原 光雄 ダイヤモンド社四・二
- 將帥論(國防科學叢書二十二).....中井良太郎 同
- 都市住宅の防空防火戰術.....桐生 政夫 日本電建
- 關ヶ船團.....澄田 繁實 大地社
- 海軍力と世界戰爭.....A.C.ベル 文松堂
- 防空讀本.....淺野 秋平 時代社
- 列國新銳機の趨勢.....坂田 康一 科學主義
- 防空と海上防衛.....山本 峰雄 潮
- 岩田 岩二 潮

文化・社會

- 都市の生態.....石川 榮耀 春秋社
- 學生生活調査.....海後 宗臣、吉田 昇 日本評論社
- 日本精神文化論.....鈴木 重雄 第一公論社
- 日本社會事業の發達.....富田愛次郎 巖松堂
- 人口政策.....北岡 壽逸 日本評論社
- 原始民族の心性と習俗.....山崎 末彦 東晃社
- 對策.....松本潤一郎 日本評論社
- 對策.....松本潤一郎 日本評論社
- 文化感覺の檢討(座談會).....長谷川如是閑 現 代
- 外六名
- 農村文化の開展.....松本 治彦 國土計畫
- 大都市人口の特殊性と母子問題.....荻宿 俊風 人口問題
- 講演放送と聽取率.....土井友次郎 放送研究
- 國民生活時間調査報告.....尾藤 幸次 同
- 教育と國語國策(一).....柳田 國男 同
- 教育に於ける典型的性格と創造的個性.....長谷川如是閑 教 育
- 最低生活の理論.....大河内一男 知 性
- 勤勞者厚生の緊急問題.....中込 友美 厚生問題
- 職時市民生活指導の應急對策.....磯村 英一 同

歴史(傳記)地理

- 修驗道の發達.....村上 俊雄 叢書房
- 船舶史考.....新村 出 教育圖書
- 海と船—三つの航海の話.....井關 貢 協會
- 國史と世界史.....中村 一良 聖紀書房

- 平田篤胤とその時代.....沖野岩三郎 厚生閣
- 近世日本に活動せる伊太利人.....金指 正三 森北書店
- 男爵大角夢生傳(大角大將傳記刊行會編).....
- 渡邊華山の人と思想.....田村榮太郎 今日の問題社
- 本居宣長.....蓮田 善明 新潮社
- 報道の先驅者福地櫻痴.....川邊 眞藏 三省堂
- 福澤謙吉.....同 右
- 加藤寛治先生言行錄.....丸山義二編 春陽堂
- 日本の技術者.....田村榮太郎 興亞書房
- 光國と齊昭.....高須芳次郎 潮文閣
- 歐洲古版日本地圖集.....松本 賢一 十一組
- 歷史的國家の理念.....鈴木 成高 弘文堂
- 歷史哲學序說.....權 俊雄 理想社
- 明治文明論.....菊池 俊雄 同
- 吉野時代の研究.....平田 俊春 山一書房
- 室町時代の社會と思想.....松浦 靖 伊藤文信堂
- 日本地名の研究.....阿瀬 利吉 東亞出版社
- 吉田松陰.....藤井 貞文 地人書館
- 武教に生きた山鹿業行.....寺島 莊二 三省堂
- トルコの經濟地理(一).....G.イェシユケ 金生喜造譯 地理學
- カムチャツカ的全貌(一).....稻田 定雄 地政學
- 資源開發の經濟地理學的論據.....横田 弘之 同
- 千島列島.....佐々 保雄 地理學
- 印度の經濟地理.....金生 喜造 同

學藝

- 雅 樂.....多 忠龍 六興商會
- 國家と大學.....富野 敬邦 鶴山書房
- 海と人.....和辻 春樹 朝日新聞社
- 造船學(上卷).....南波 辰夫 育生社
- 綜合科學、技術論.....南波 辰夫 育生社
- 飛行機の歴史.....南波 辰夫 育生社
- 南亞細亞學報(第一號).....南亞細亞文 地人書館
- 水の生活科學.....村上 秀二 稻葉書院
- 愛國百人一首解説.....日本文學報國會 毎日新聞社
- 世界の天文彙を探る.....阿部 三雄 世界知識

特 輯

日本思想文獻 (二)

【政治・經濟】

△國防政治論 石原完爾 聖紀書房

昭和維新に對する石原將軍の方針なり見解が、比較的纏まつた形において發表されたのが本書である。だがそれは所謂維新のための戰略戰術としてではなく、國防國家の政治の在り方といふ點に求められてゐる。したがつて課題は頗る廣汎に亘つてゐるが、なかなづく政治組織のうち、昭和維新の大事業に一定の方向を與へて、これを促進するために黨部の結成を第一の仕事とせねばならないといふ點は、それが東亞聯盟協會といふ一箇の運動組織に支持されてゐる將軍の見解だけに頗る注目すべきものがあるといへよう。

△日本政治年報 津久井龍雄編輯 昭和書房

十七年前期版と後期版とすでに二輯を出してゐる。本年報の特色はただ政治年報といふ從來に無かつたものが出されたといふ點だけでなく、それが一つの主張の下に編輯されてゐるといふところにあるやうだ。その意味において京都學派の哲學理論と現實政治との聯關を探ぐり、日本勤勞觀の理論的建設の課題の下に、難波田春夫氏の「日本的勤勞觀」を衝いてゐるのは甚だ興味深い。總じて日本政治の理論的形成が本年報の追及してゐる課題のやうだ。

△日本國家主義運動史論 津久井龍雄著 中央公論社

滿洲事變以來の時潮に應じて日本國家主義運動を紹介し、批判する文獻は文字通り汗牛充棟の狀を呈してゐるが、しかも具にその源流を究め、詳しくその真相を觸れえたものは殆ど絶無に近いといつてよい。津久井氏は本書によつてこの缺漏を補つて日本國家主義運動の眞面目を探求紹介した。

△日本政治學の根柢 池田 榮 有斐閣

健全な國家主義又はすこやかな日本精神を實踐的に把握する日本政治學を打ち樹てることは、現在の新體制と聖戰下において特に必要であるが、これがためには先づ日本政治理念の本質とその史的起源を究め、日本政治學の根柢を明かにすることが要請される。本書はかかる史的研究を試みたものとして注目すべき著作である。

△日本地政治學 小牧實繁 講談社

最近日本の地理學者は地政治學に關心をもち出してきた。特に京大小牧教授のこの方面への努力は「日本地政治學宣言」以來目覚ましいものがある。本書はヨーロッパを中心として著しく歪曲されたこれまでの地政學と對比しつつ、日本の主體的立場に立つて「日本地政治學」を具體的に展開してゐる。

△日本法理の自覺的展開 小野清一郎 有斐閣
近來東亞における政治的事態の推移に伴つて文化のあらゆる方面において日本的なるもの反省が重要視されてきた。法理學も從來の殻から抜け出して現實具體的日本法に内在する實體的把握に進まねばならぬ段階に當面してゐる。本書はこの法理學當面の課題に答へたものとして注目すべきものである。主要目次は(一)日本法理の自覺的展開(二)日本刑法學序説(三)刑法における道義と政策(四)東洋は存在しないか(五)西洋の學と東洋の學(六)憲法十七條における和の精神について(七)書評二件の六篇より成つてゐる。日本文協推薦書である。

△清水芳太郎全集 中村賢次郎編 錦城出版社
天才清水芳太郎氏の行くとして可ならざるなき政治的經濟的思想的創意的論策を集録したもので全八卷の豫定。日本をして眞に新しい世界の指導者となすべき、氏の所謂新しい物尺を獨自の天才のひらめきと愛國の熱情をもつて把握し解明せんとして居り、今後の日本を考へるものにとつて、多大の感銘と示唆が與へられる。

△國家と經濟 難波田春夫 日本評論社

最近第四卷の「日本經濟の基礎構造」につづいて第五卷「わが國戰爭經濟の本質」が出た。その精力的な努力と一貫せる體系化はわが國經濟學界において相當高く評價されてゐるやうだ。第四卷においては、日本資本制經濟の發展は外國資本主義の防衛といふ條件によるものであり、それを可能ならしめたものはわが國本來の民族構造であつたといつてゐる。第五卷では右の見解を更に今日の戰爭經濟に發展せしめてその本質の究明を行つてゐる。即ち現下戰時統制經濟は外國資本主義との對抗關係が存續し、國防經濟の自主性確保の必要が存する限りは存續する。而してこれが強化は經濟の根柢たる民族構造そのものを強化しなければならないといふのが著者の提示する結論である。

△國家學研究 大串鬼代夫 朝倉書店

△國家論 作田 壯一 弘文堂

△帝國憲法概論 里見 岸雄 立命館出版部

△日本政治の國體的構造 鶴澤 總明 日本評論社

△政治哲學 佐藤 清勝 大東書館

△西洋政治學批判 猪股 英夫 豐國社

△皇國政治要義 河野 密 目黒書店

△國防政治學 昭 和 書 房

△現代日本政治講座 全六册 昭 和 書 房

(1) 現代政治の展開過程

(2) 現代政治の革新論

(3) 現代政治機構の分析

(4) 現代政治勢力の分析

(5) 現代政治體制の再組織論

(6) 現代政治の課題

△日本政治の規準 鈴木 安藏 東洋經濟新報社

△日本政治の構想 清水 伸 中央公論社

△昭和風雲錄 滿田 巖 新紀元社

△戰爭政治論 平 凡 社

△國防國家の理論 黑田 覺 弘文堂

△國防國家體制論 吉富 重夫 立命館出版部

△日本政治 花見 達二 旺文社

△文化政治の諸問題 大串鬼代夫 大同印書店

△政治・文化の新理念 鈴木 安藏 利根書房

△日本政治の再編成 古田德次郎 高田書院

△大東亞政治の構想 日本評論家協會 日本出版社

△變革期日本の政治經濟 奧村喜和男 さいさき書房

△日本の政治(皇國新書) 木下 廣居 皇國青年教育協會

△日本皇法學概論 金平 幹夫 有斐閣

△日本國家科學大系 第一卷(鑿國及日本精神)

△日本精神論 山田 孝雄 山田孝雄

△日本文化史 村岡 典嗣 村岡典嗣

△古文學に現れたる日本精神 高山 岩男 高山岩男

△近代史に現れたる日本精神 久松 潜一 久松潜一

第四卷(國家學及政治學二) 中村 孝也 中村孝也

△日本政治學 藤澤 親雄 藤澤親雄

△國家總力秩序の原理 大熊 信行 大熊信行

△新政治體制の原理 内田 繁隆 内田繁隆

△全體主義政治學 矢部 貞治 矢部貞治

第六卷(法律學二) 山崎 又次郎 山崎又次郎

△大日本帝國憲法の神髓 大谷 美隆 大谷美隆

△ナチス憲法の特質 依 靜夫 依靜夫

△フアスタ憲法の特質 杉村 章三郎 杉村章三郎

△現行行政法の基礎理論 小野 清一郎 小野清一郎

△日本刑法學說 安 平 政 吉 安平政吉

△現代刑事法の基礎理論 齋藤 常三郎 齋藤常三郎

△現代訴訟法の基礎理論 宮崎 澄夫 宮崎澄夫

△全體主義民法訴訟法理論 第七卷(法律學三)

- △現代物權法の基礎理論
- △現代債權法の基礎理論
- △現代身分法の基礎理論
- △現代商法の基礎理論
- △會社法の新動向
- △現代勞働法の基礎理論
- △勤勞新體制の基本原理
- △現代經濟法の基礎理論

第八卷(經濟學一)

- △現代の經濟哲學
- △國家科學としての日本經濟學
- △日本戰爭經濟の理論
- △統制經濟原理
- △法と統制經濟
- △物的經濟論
- △人的資源論

第十四卷(國防論及世界新秩序論一)

- △世界新秩序論
- △東亞民族史論
- △東亞外交史論
- △東亞新秩序論
- △東亞經濟圈論
- △東亞法秩序考
- △戰力戰強の理論
- △日本の勤勞觀
- △高度國防經濟學
- △戰ふ經濟
- △日本の經濟戰略
- △日本戰時經濟の進む途
- △皇道經濟論
- △經濟維新の理論
- △經濟の道

石田文次郎 △日本經濟學の話 立仙 淳三 福村書店 第八講 新文化と藝術 青野 季吉・津村 秀夫
 我妻 榮 【歴史・文化】 文部省 内閣印刷局 特別講座 (一)文化政策論(二)國民的性格の鍊成 土方 定一・上泉 秀信
 中川善之助 △國史概説 上 文部省 内閣印刷局 三木 清

鈴木竹雄 文部省が一般國民に對する國史の正確な基準として編纂したもので、目下戰國時代までを取扱つた上巻だけに公にされて菊池勇夫 みる。單なる歴史的事實の敘述でなく、それらを一貫する孫田秀春 舉國の精神、國體を核心とする國家發展の威を明かにしよう常盤敏太 としてゐるところに編纂の意圖がうかがはれる。

△日本の歴史 秋山謙藏 岩波書店

杉村廣藏 / 本書は秋山氏が國際文化振興會の委嘱により、在留邦人の谷口吉彦 ため講じた「日本歴史」の修訂したものである。本書は、日難波田春夫 本の歴史を、ただ過去の史實として傳へるのではなく、國家杉本榮一 原理の一貫した二千六百年の歴史を現實との聯關において究峰村光郎 明してをり、必讀の好書である。

△日本文化の構想と現實(大東亞基礎問題研究第三卷) 三枝博音編 中央公論社

北岡壽逸 大東亞建設をば現實の土臺として世界に新しい文化を創造しようとするわれわれ日本國民は、新しい文化について思索

神川彦松 し構想し、實際に體認し、鍊成すべき多くの問題をもつてゐ江上波夫 鹿島守之助 する。本書は含蓄無比の日本文化の歴史的反省から、文化の哲高木友三郎 小島精一 學的理解から、國民文化の實際、國民倫理、それらの經濟的增田福太郎 政治的背景の考察と文化政策の問題、國民鍊成の組織、現實有斐 開針までを、詳細に論述してゐる。内容を示せば左のごとくで産業報國會 がある。

高陽書院 第一講 新文化の理念 三枝 博音
 新興亞社 第二講 新しい文化と新しい秩序 船山 信一
 講談社 第三講 新しい國民文化 清水幾多郎
 研進社 第四講 新文化の基礎と文化政策 室戸 健造
 奉天大阪屋號書店 第五講 新文化と倫理 杉村 廣藏
 ダイヤモンド社 第六講 國民鍊成の新組織 志村 義雄
 弘文堂 第七講 地方文化の問題 酒井 三郎

△日本歴史の内省 秋山 謙藏 岩波書店
 △歴史の前進 三笠 書房
 △日本の歴史理念 歴史文化研究會編 四海 書房
 △歴史理論の構成 歴史教育研究會編
 △國史と世界史 中村 一良 聖紀 書房
 △日本二千六百年史 大川 周明 第一書房
 △近代日本自己形成史(第一部明治維新前史) 日本政治文化研究所

(1)明治維新における尊皇雄藩

— 歷史的主體性成熟過程の研究 —

杉原 正己

(2)徳川幕府の成立・動搖・崩壞

— 明治維新によつて否定された歷史的主體 —

△日本文化史論 松本彦次郎 河出 書房
 △日本文化史要 中村 孝也 大日本圖書株式會社
 △日本文化の構成 久松 潜一 目黒 書店
 △日本文化の特質 鈴木 大拙 岩波 新書
 △禪と日本文化 西田幾多郎 大島 正徳 春和 社
 △日本文化と國民性 肥後 和男 弘文 堂
 △日本文化 柳田謙十郎 齋藤 响 朝倉 書店
 △日本精神と世界精神 齋藤 响 朝倉 書店
 △日本文化の諸問題 阿部 次郎 岩波 書店
 △世界文化と日本文化 三枝 博音 第一書房
 △日本の思想文化



海外同胞中央會の

發展と近況

(一)

赫々たる皇軍の戦果は萬里の異邦で營々として築きあげた地盤を引揚げて来た邦人たち、また不幸未だ捕はれぬ身となつてゐる海外同胞を如何ばかり感激させてゐることだらう。われわれはこの感激の瞬間に、彼等を激勵し、慰め且つ再起のため凡ゆる手段を講ずることを忘れてはならない。

皇紀二千六百年記念に誕生した財團法人海外同胞中央會では、この敵國に抑留され不當の壓迫を受けてゐる海外同胞に激勵の言葉を贈つたり、引揚同胞の身の振り方や就職の世話から再渡航者の轉旋、南の大地で活躍する指導者へ贈る花嫁の育成等々、日夜系統的な努力を拂つてゐる。

(二)

この海外同胞中央會創設の議が起きたのは紀元二千六百年十一月四日！。この日は世界二十七ヶ國

に在住し、眞白き富士を夢にみながら立ち働く二百五十萬同胞の中から母國に歸つて来た千四百餘名の人々が一堂に會する愉快な記憶すべき日であつた。

この大會に参加した同胞から期せずして起つた案件は、海外にある同胞の諸團體と母國との適切な連絡協調であり、これによつて大いに國威の宣揚と日本民族の海外發展を期する一大中央機關を創設すること、またわが國外發展の礎となつた物故者を祀る海外神社創建、教育、職業の斡旋その他廣範圍に互る海外同胞の一致協力を圖るといふことであつた。話合は急速にまとまり、會長に白鳥敏夫氏、初代理事長に鈴木木美通中將がそれ／＼推され、こゝに始めて同胞中央會が誕生するに至つたのである。

(三)

海外で働く人々は先づ身心共に健全な持主であることが第一條件である。我が民族の海外發展は從來主として自由主義的觀念による個人本位の立場からなされたものが少くなかつた、そこで大東亞戰爭を契機にこの弊を斷然一掃し、眞に大東亞建設を理念とする國家本位のものにする必要があつた。この趣旨の下に同中央會では杉並

區天沼に「中央訓練所」を設立、海外のよき指導者となるべき有爲なる人材の養成に着目したのである。

入所資格は二十二、三歳の男子で將來海外で活躍せんとする實質剛健な者の中から銓衡してゐる。開所以來既に二百三十餘名がこゝで鍛鍊され現在支那大陸をはじめマライ、スマトラ、ボルネオ、セレベスの各地で働いてゐる。去る四月二十二日修了の第四期生五十名も野村合名、三井物産などの各會社から引張り傭で現地に赴いた。

この指導者たちは、「海外同胞の誓」にふさわしい教育を受けてゐる。以下それを摘記してみる。毎朝五時に床を蹴るや、直ちに裸體となつて戸外に出る、強く張つた艶のある皮膚を寒風にさらしながらどんな嚴寒の朝でも霜柱をザク、ザクと踏んで鍛鍊所にかけてつける。そこでエッサ／＼の掛聲も勇ましく、天の鳥舟を行ひ、襖をなし、更に正座四十分嚴肅なる勸語捧讀と拜神、續いて一時間に亘る烈しい武道鍛鍊のち民族政策、大東亞建設方策、海外事情、語學等について各方面の權威者から講義を受ける。

集團勤勞作業特に農耕作業は訓練所の最も重視してゐる課目であ

る。こゝでは、農耕は單に無方式に土を培ふといふことではなく、飽迄も科學に立脚し理論をすぐ實地に活用するといふ方針の下で行はれてゐる。將來海外に雄飛して原住民に眞の日本の姿を知らしむるには、農耕法も科學的に前進した方法がとられねばならないからである。

春の優しい陽光を身體一ぱいに浴びた訓練生の三々伍々が畠の中で楽しく、黙々と立ち働いてゐる。この尊い經驗は彼等の胸にシツカと植ゑつけられ、やがて彼等は或は大連の原野、南國の密林に向つて隠せし進み次の時代を背負ふ若き開拓者となるのである。

女子の方は昨年六月、海外婦人協會が發展的解消して同中央會に合流した際、女子鍊成寮が設けられた。

民族の海外發展は無論男子のみでは、その目的は達せられない。こゝでは全國から選ばれた多くの娘さんたちが、南の花嫁として近い將來に大東亞海を渡る日に備へ日夜日本婦道を鍊磨し全東亞女性の範となるべく、鍛鍊と勉學にいそしんでゐる。

午前六時五十分朝食、午前九時から一時間乃至三時間、午後は一

時かへ四時ごろまで、それ／＼専門の講師を招いて現地事情、茶道、華道、書道、技術、家事衛生法、タイプ等を修業、或はまたマライ語の稽古から自轉車乗りの練習にいたるまで彼女たちは思ひ思ひの道を勵んでゐる。

毎日の炊事は四名の當番が一週間交代で行ひ、榮養料理の調理苦心で大奮だ。去る四月廿八日第二期生が巢立ち憧れの現地へ出發した。元國民學校の先生をしてゐたといふ變り種の村岡延子さんもこの南の花嫁寮を修了したのであり、つい最近のこと近く文化拓士として現地で勇躍する慶大出の青年に結婚の話がまとまり、いま南國の天地で夫君と共に働く幸福な日を指折り數へて待つてゐるといふことである。

(四)

最近海外同胞から寄せられた各地の資料を蒐集した博物館が杉並の天沼に設立される計畫や海外同胞のための無料宿泊所の設立その他の種々の立案が進められてゐる。同中央會は設立以來僅か四年の歲月ではあるがその成長は目覚ましいものがある。今後一層の發展が切望される。

(調査部、田中)



價格報獎制度

問 價格報獎制度とはどんなものか

答 價格報獎制度は、凄烈な決戦連続の大東亞戦下、生産擴充が絶対要件とされる現段階に即應し、四月十六日の閣議で緊急物價對策として生れたもので低物價對策を堅持し乍國家計畫生産を確保しようといふのがその狙ひである。即ち現行價格制はブル平準價格制等により企業の優劣に基く利潤差を縮小する傾向あり眞劍に國家要請に應へたる生産者に對し適當なる報獎の途を講ずること必要であるといふのが報獎制度の生れた所以である。

【適用範圍及對象】價格報獎制度は生産數量を對象とする「特別價格報獎」と生産原價に對する「一般價格報獎」とに分れ、前者は極めて限定された特定緊要物資の増産を實現した場合、後者は統一原

價計算に基き個別價格を形成する場合に夫々適用するもので、例へば軍人の金鷄勳章及び旭日章に相當するものである。

【特別報獎】は(一)基準生産量を超えて増産を遂行した場合、(二)生産期間を短縮した場合に行はれる。即ちまづ工場、事業場毎に最近の實績、能力、資材、勞務の配當を勘案し一定期間の基準生産量を決定し、各生産單位が、その創意と工夫により基準生産量を超過増産した場合、その増産部分に對し、増産の度に應じ、割増價格を認めるが、その算定は増産の實現が生産關係者の創意、工夫による點を考慮し、人件費に對する一定割合を限度として増産遂行率に應じて遞増的に定める。例へば假りに特定物資一噸當り生産原價二百圓、適正利潤を含めて生産者價格二百三十圓、基準生産量十萬噸、人件費の原價に占める割合が五割の場合、假りにその一割を限度、從つて噸當り換算十圓を限度として割増價格を遞増的に算定する。だから假りに超過生産量一萬噸までは二圓、二萬噸までは三圓といふ割増金を附加して生産者價格を決定するのである

また物資によつては量を單位により難いものもあるから、かうし

た物に對しては生産期間の短縮に對し、同様特別報獎を行ふことになつてゐる。次に

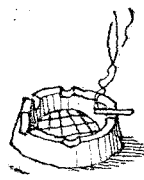
【一般報獎】は生産單位の(一)能率向上に依り生産品原價を低減し若は其の増嵩を抑制したる場合と(二)生産品原價が當該業種の基準原價に比し低位なる場合に行はれる。即ち工場、事業場の生産品の價格形成に當り原價に附加すべき利潤の算定に際し、原價を低減し若くは増嵩を抑制したる部分又は生産品原價が基準原價に比し低位なる部分の一定割合を遞増的に特別利潤として賦與する形をとる。

この一定割合は右の(一)(二)の場合につき業種の特質又は工場事業の實情を斟酌して決定するもので斯かる方式は現在陸軍調辦價格に於いて用ゐられてゐる。統一原價計算制度の下に於いて原價を下げれば下げる程、生産者價格が下げられるといふ從來の弊は、これによつて一掃されたわけである。

【企業取得金額の處分】特別報獎により企業の取得した金額は生産増強に寄與することを目的として企業の自由處分に任かし、會社經理統制令、賃金統制令の運用を調整する。

【弊害の防止措置】報獎制度の實施に伴ひ特定期間の増産達成の

ために他の工場事業場、または次期に於ける減産を顧みない等の弊害を防止するため、企業全般に亘り充分生産の實績を把握すると共



架書

地政學について

近時、學の花形として登場する地政學の系譜はドイツ著名の地理學者フリードリッヒ・ラツツェルの政治地理學を母胎としスウェーデンの國家學者ルドルフ・チェレンに援用せらるるに及んで其の著「生活形態としての國家學」邦文一金生喜浩譯「領土・民族・國家」において初めて概念が明確にせられ、更に第一次世界大戰後のドイツに移入せられて、ジャアルテルフオーゲル、ジーゲル、ズーバ、ヘットナー、マウル、ヘンニツヒ、オプスト等々によりて思想的の大展開を遂げたとされる。特に一九二四年以來「地政學雜誌」を主宰して斯學の統領と目されたハウスホーファーの名は其の著「太平洋地政學」(邦文、太平洋協會編譯、岩波書店刊)と共に地政學と表裏をなす觀がある。其故

に統制會等をして、責任を持ち能率監査を實施せしめる等萬全の措置を講じ、之が運用に遺憾なきを期することとなつてゐる。

に地政學が「ナチスの國家學」と命名される事も故なしとしない。獄中のヒットラーはハウスホーファーの地政學に熱心に耳傾けたといはれ政權獲得後のナチスが其の對外政策の遂行に當つて最も尖鋭なる武器としたのもまた地政學であつた事も想像に難くない。

學としての地政學は其の歴史も僅々二十年に過ぎず方法論乃至體系に至つてもドイツ本國においてすら必ずしも定見ありとはせられない。特に母胎たる政治地理學との異同について地政學は或はその應用科學とせられた同一視せられる等未だ論議を残す状態にある我國に於ては飯本信之教授が大正十四年「人種闘争の事實と地政學的考察」を、昭和四年「所謂地政學の概念」を以て地政學を紹介せられたるを濫觴として近時は理論的展開も活潑となり小冊乍ら國松久彌著「地政學とは何か」また江澤謙著「地政學研究」があり殊に江澤氏の近著「地政學概論」はその哲學的深さと共に理論的の好著とすべきであらう。理論的完成は尙ほ未來に屬するとしても吾々に

取つて特に斯學の生彩を放つ所由

は其が國家政策の實踐の武器たる事でありチェレンによつて援用せられたるも其の國家學において在來の觀念論を超越するにあつた事を顧れば地政學の有する大凡の性格は理解し得る。政治地理學との區別について金生喜造氏の「これを截然と區別するには一方は地理學に屬し、一方は政治學（國家學）に屬する」といふ其の出發點に立歸らなければならぬ一方は説明の科學であり、他は經綸を目的とす規範の學とするならばそこに明確なる一線を劃する事が出来る」（地政學昭和十八年三月號）「地政學の要諦」なる一文は明瞭である。

地政學の性格は其の發生的考察を以てする事も理解の一途であるが衆知の如く第一次大戦に於て一敗血にまみれたドイツは英米佛に屈せられ苛酷なるヴェルサイユ平和條約の鐵環によつて七千萬の民族が五十萬方年の狹地域に凡ゆる再起不可能の束縛を以て押込めらるる運命を強要せられ、滅亡に甘んぜざる限り、生存維持の爲には對外發展は絶對に必要であり國家政策は死活問題であつた。地政學が生存鬭争の、また政治行動の福音として登場した事また餘りにも

當然とすべきである。

運命の相似によつて東西共に新世界秩序建設に邁進する我國に地政學が隆盛を來した事は當然であり、取り分け大東亞戦以後は強力なる武器としてその特性を發揮すべき好機とならなければならぬ。民族的發展の拘策乃至其の必然性の歪曲を正當に指摘するものは地政學であり、今日の吾々は東亞亞民族の名において英米に對し堂々の地政學的主張を宣してゐるのだ「太平洋地政學」は世界の現勢を示唆する上において甚だ興味深いものであるがハウスホーファーは此の中で東亞に於ける民族自主を指摘すると共に其の指導者として日本の立場を是認する。同時にドイツがこの地域を退かざるを得なかつた所由を、ドイツの指導者達がかかる東亞の情勢に明確な理解を有せず、爲に東亞の盟主たる日本との協力を缺いた事に歸してゐる更にドイツ以外の歐米の諸勢力が今尙東亞の新しい状態に無知である事はやがて彼等が退却を餘儀なくせられたドイツと同様の運命を辿るべき事を豫斷してゐる。第一次大戦以後、ドイツは歐米勢力と立場を異にし謂はば縛られたる民族としての共通の運命から東亞民族に對して比較的公平なる判斷を

下し得たのであつて「太平洋地政學」がドイツに示唆する所大なると共に東亞民族たる吾々にとつても亦興味ある所由がある。我國に於ても「東亞地政學の構想」（川西正鑑）、「東亞地政學序説」（米倉二郎）、「大東亞政治學論」（松川二郎）などの諸著の外「南方地政論」（江澤讓爾）、「地政動態論」（井口一郎）などの新書が出版せられて大東亞戰の戦果と共に地政學の領域も活況を呈しつつある事は喜ばしい。

（調査部 足立）

同盟出版部便り

○近刊

- 必勝の大道―東條總理大臣議會演說答辯集―（同盟政經部編、B6判約三〇〇頁、定價一圓二十錢）
- 緊張するドイツの銃後（戰時特輯16、高瀬太郎著、定價二十五錢）
- 緊迫せる獨逸軍需工業（戰時特輯17、池上幹徳、定價二十五錢）
- 木造船（戰時特輯18、岡田良一、定價二十五錢）



編輯後記

○月刊第三號が出るか出ないかに彦坂君を送ることとなつた。ニュースはあくまでニュースとして素材のまま活かさねばならぬ本誌の如き、或る意味で同君にとつては役不足の感があつたであらうが、地味でそれらで手のかかる旬報の編輯から月報化に一年何ヶ月かの間並々ならぬ力が注がれた月刊となつたばかりでなほ同君に俟つところ少くない折から、同君を失ふことは月報として洵に惜しまれてならない。

○その彦坂君の後を承けて非才月報の編輯擔當を命ぜられたが、編輯方針にもとより變り

ある筈はない。ただ努力を以て及ばざるを補ひ、もろもろの困難を克服し、月報をしていよいよ權威あらしむるやう頑張る覺悟である。その爲には讀者の聲も大いに聞かせて頂きたいし、足らぬところはどしどし叱正して貰ひたい。それが自報をよりよくする道の一つでもある。

昭和十八年五月廿日印刷納本
昭和十八年五月廿日發行
（定價）圓五錢 送料別
内地 半年分前金九圓（送共）
外地 一年分同 六圓（同）
半年分前金十圓（送共）
一年分同 三圓（同）

編輯發行 兼印刷人 杉田才一
東京市芝區富田町一丁目五
印刷所 東京印刷株式會社
（東京一〇八）
東京市豊町區目比谷公園
發行所 法團 同盟通信社
（會員番 號三〇〇〇〇）
（會員番 號三〇〇〇〇）
東京市東區橋本西七丁目
營業所法團 同盟通信出版部
電話（銀座）（57）321 番
東京市神田區淡路町一丁目
振替東京共〇番
元配給 日本出版配給株式會社

同盟旬報索引

昭和十七年十一月二十二日
自第六卷第二十八號至第六卷第三十六號

部門目次

宮廷	一
大東亞戰爭	二
支那方面	三
歐米戰	五
政事	七
軍治	八
外交	八
帝國會議	八
財政經濟	八
社會文化	八
體育	二〇
亞米	三
米	七

宮廷

畏し天皇陛下下神宮御遊拜……………六〇四
 兩陛下英靈に御拜……………六〇三
 學制頒布七十年に優渥なる……………六〇三
 御沙汰を賜ふ……………六〇三
 兩陛下明治神宮を御拜……………六〇三
 畏し泰國の水害を御珍念……………六〇三
 兩陛下大戦記録畫御巡覽……………六〇三
 陸軍大學校行幸……………六〇三
 長し天皇陛下の御精勵……………六〇三
 天皇陛下下神宮御參拜……………六〇三
 天皇陛下陸上行幸……………六〇三
 兩陛下大宮御所行幸……………六〇三
 關東州に侍從御差遣……………六〇三
 臺灣、南洋に侍從御差遣……………六〇三
 外地民草の精勵を御嘉尚……………六〇三

新年歌會始御題「農村新年」……………六〇三
 宮中明治節祭の御儀……………六〇三
 曉かけて新嘗祭御親祭……………六〇三
 宮中實所御神樂の御儀……………六〇三
 御宇多天皇山陵に勅使參向……………六〇三
 殿かに大正天皇祭……………六〇三
 節折大祓の御儀……………六〇三
 ▲御下賜
 青島學院に御獎勵金下賜……………六〇三
 高山彦九郎百五十年祭に祭……………六〇三
 稗料御下賜……………六〇三
 歲末救済に畏し御仁愛……………六〇三
 歲末御下賜金傳達……………六〇三
 優良社會事業團體に御下……………六〇三
 賜金……………六〇三
 ▲皇后陛下
 皇后陛下下綳帶下賜……………六〇三
 皇后宮學智院初等科に行啓……………六〇三
 陸海軍病院に菊花下賜……………六〇三
 御名代宮日婦總會に御差遣……………六〇三
 御仁慈の菊花傳達式……………六〇三
 皇后陛下陸海軍病院行啓……………六〇三
 皇后陛下大宮御所に行啓……………六〇三
 皇后、皇太后兩陛下御遊拜……………六〇三
 皇后陛下王大使に賜謁……………六〇三
 皇后陛下下摩陵に御參拜……………六〇三
 ▲皇太后陛下
 皇太后宮癩癩養に御下賜……………六〇三
 皇太后陛下下御參内……………六〇三
 皇太后陛下失明勇士に……………六〇三
 御仁慈……………六〇三
 皇太后陛下下御參内……………六〇三
 汪主席大宮御所に伺候……………六〇三
 ▲皇太子陛下
 東宮殿下陸軍兩學校御見學……………六〇三
 東宮殿下新宿御苑御成り……………六〇三
 皇太子殿下明治節に御參内……………六〇三
 皇太子様林業試驗所行啓……………六〇三
 皇太子さま月山學校に行啓……………六〇三
 皇太子殿下御誕辰……………六〇三

▲皇公族
 三内親王様大宮御所御成……………六〇三
 高松宮殿下國民鍊成所開設……………六〇三
 式台臨……………六〇三
 高松宮殿下兵學校卒業式に……………六〇三
 御差遣……………六〇三
 高松宮同妃日伊協會台臨……………六〇三
 三笠宮兩殿下神宮御參拜……………六〇三
 閑院總裁宮日赤支部台臨……………六〇三
 伏見宮海軍協會創立記念式……………六〇三
 台臨……………六〇三
 伏見元帥官海軍經理學校卒……………六〇三
 業式に台臨……………六〇三
 故久通宮多嘉王御五年祭……………六〇三
 家彦王殿下臣籍御降下……………六〇三
 久通宮殿下御歸還……………六〇三
 久通宮德彦王兵學校御卒業……………六〇三
 業式に台臨……………六〇三
 久通宮海軍機關學校卒業……………六〇三
 業式に台臨……………六〇三
 御差遣……………六〇三
 東久通宮妃統後婦人大會……………六〇三
 台臨……………六〇三
 東久通宮盛厚王御歸還……………六〇三
 東久通宮濱港に御成り……………六〇三
 梨本宮妃綳帶卷の御作業……………六〇三
 竹田宮陸軍航士卒業式台臨……………六〇三
 故賀陽宮邦憲王妃御一周……………六〇三
 年祭……………六〇三
 賀陽宮邦壽王殿下御成年式……………六〇三
 李王殿下臺灣から御歸還……………六〇三

【一ヶ年綜合戰果】
 「陸軍」遺棄死體三十三萬
 俘虜四十二萬六千……………六〇三
 「海軍」擊沈敵、拿捕艦艇
 四二七、船舶四一六……………六〇三

海上戰況
 米潜水艦喪失發表……………六〇三
 敵潛艦廿一、船舶廿四擊沈……………六〇三

米洲西海岸
 米油槽船太平洋岸で擊沈……………六〇三

北東太平洋
 敵機廿二機擊墜發表……………六〇三
 米海軍偵珠灣の損害發表……………六〇三
 アラスカ防衛司令戰死……………六〇三

西南太平洋
 百日間の綜合戰果……………六〇三
 キヤラハン少將戰死を發表……………六〇三
 米側の戰果誇大發表……………六〇三
 第一次ソロモン海戰以來の……………六〇三
 綜合戰果……………六〇三
 ソロモン海戰の米艦隊司令……………六〇三
 ニュージーニアに前線司令……………六〇三
 第一次以來の綜合戰果……………六〇三
 ソロモン海戰擊沈敵綜合百……………六〇三
 二十五隻……………六〇三
 サンフランシスコ號大破……………六〇三
 アチーラ號擊沈……………六〇三
 ターリッヅ號觸雷沈没……………六〇三

【南太平洋海戰】
 敵航母五戰艦一を擊沈……………六〇三
 反攻新編成艦隊を壊滅……………六〇三
 貴重なる我方の犠牲……………六〇三
 ソロモン附近海戰綜合戰果……………六〇三
 ワズプ擊沈敵制發表……………六〇三

世界戰況

大東亞戰爭

☆戰況

綜合戰況……………六〇三
大陸、大洋の陸軍戰況……………六〇三

二隻更に撃沈を發表……………六三六
 敵側デマを拂拭す……………六三六
 米、更に空母沈没發表……………六三六
 南太平洋海戦詳報……………六三六
 カダルカナル島附近大海戦四六八
 米側敗戦を認む……………六三六
 【第三次ソロモン海戦】
 第三次ソロモン海戦……………六四八
 日米主力艦初めて交戦……………六四八
 米更に驅逐艦一隻沈没追加
 發表……………六四八
 ソロンガ沖海戦……………六四八
 海鷲ソロモンに激闘……………六四八

西太平洋・支那海
 米潜艦りすぼん丸撃沈……………六三三
 大島島に來襲……………六三三
 印度洋
 日本潜水艦の殊勳……………六三五

比島方面
 比島敗殘兵掃蕩なる……………六三三
 ビサヤ地方の掃蕩戰……………六三三
 東印度諸島
 ロナワンの殘敵掃蕩……………六三三
 モレスビー夜間大爆撃……………六三三
 海鷲ニューギニア爆撃……………六三三
 モレスビー連爆……………六三三

濠洲戰線
 シドニー特別攻撃隊勇士の
 聲無き凱旋……………六三三
 ポートダーウィン爆撃四……………六三三
 九四……………六三三
 泰・佛印方面

米空軍安南部落を盲爆……………六三三
 敵機バンコック盲爆……………六三三
 米英機バンコック來襲……………六三三
 ビルマ戰線
 アキヤブの空中戰……………六三三
 敵機ラングーン盲爆……………六三三

印度方面
 敗殘蔣軍印度で改編……………六三三
 陸軍印度東部を急襲……………六三三
 デイブルガラーをも強襲……………六三三
 印度東北部爆撃……………六三三
 陸軍チッタゴン猛爆……………六三三
 陸軍チッタゴン、フエンニ
 イ連爆……………六三三
 カルカタ初空襲……………六三三
 インド民衆に傳單撒布……………六三三
 東部印度連爆……………六三三
 軍事施設猛爆……………六三三
 二十八日も連續爆撃……………六三三

支那方面
 故酒井中將らの慰靈祭……………六三三
 上海方面陸軍部隊合同慰
 靈祭……………六三三
 烟總司令官武漢、九江視察……………六三三
 吉田司令官着任……………六三三
 烟總司令官廬州、蚌埠視察……………六三三
 華國の理想顯現に邁進……………六三三
 河邊總參謀長の「將兵に告
 ぐる書」……………六三三
 吉田司令官南京方面巡視……………六三三
 岡總司令官上海方面視察……………六三三
 同村最高指揮官軍狀視察……………六三三
 【歸順・投降】
 山東の敵部隊一萬五千歸順……………六三三
 蔣系雜軍五百歸順……………六三三

子學忠軍一部歸順……………六三三
 和平陣へ歸順者續出……………六三三
 綜合戰況
 支那派遣軍週間戰況……………六三三
 支那方面海軍部隊綜合戰果……………六三三

北支戰況
 北支軍九月中戰果發表……………六三三
 北支軍九月中綜合戰果……………六三三
 北支軍十月中主要作戰概況……………六三三
 北支軍十月中綜合戰果……………六三三
 華北綏靖軍の戰果……………六三三
 北支〇〇部隊一ヶ年の戰果……………六三三
 治強運動大成果を收めて
 終了……………六三三
 蔣系軍一年の潰退振り……………六三三
 華北綏靖治安軍綜合戰果……………六三三

【山東・蘇北地區】
 魯蘇准九月中綜合戰果……………六三三
 魯西の共產軍袋の鼠……………六三三
 山東省東部の戰果……………六三三
 山東省東部の戰果……………六三三
 臨朐東北地區討匪戰果……………六三三
 山東縱隊二千を捕捉殲滅……………六三三
 共匪四百殲滅……………六三三
 博山西南に中共殲滅戰……………六三三
 山東省東部の戰果……………六三三
 山東省東部の戰果……………六三三
 沂山々脈に新作戰……………六三三
 漣水、阜寧の共匪肅清……………六三三
 山東省東部討伐戰果……………六三三
 山東省水西南方の敵掃滅……………六三三
 黃河南北地區十月中綜合
 戰果……………六三三
 蔣系共匪を各所で討伐……………六三三
 山東省東部剿共戰進捗……………六三三
 江蘇省北部掃匪戰……………六三三

陸海協力山東共匪掃蕩……………六三三
 山東省治強二ヶ月の戰果……………六三三
 第三次魯東作戰……………六三三
 山東東部の綜合戰果……………六三三
 山東、安徽、河南十一月綜
 合戰果……………六三三
 山東縱隊第五旅を擊滅……………六三三
 徽山湖西方で剿匪作戰……………六三三

【河北・豫北地區】
 河北省〇〇部隊九月戰果……………六三三
 河南省〇〇部隊討伐戰果……………六三三
 河南省北部討伐戰……………六三三
 米機冀東方面盲爆……………六三三
 隴海線鐵橋を擊碎……………六三三
 北京周邊十月中綜合戰果……………六三三
 河北省北部的肅清戰……………六三三
 揚非榮匪團を擊滅……………六三三
 冀東、津海兩地區綜合戰果……………六三三
 河北省十月戰果……………六三三
 河南省北部で皇軍活躍……………六三三
 沁河南岸肅清戰果……………六三三
 北京周邊討伐戰……………六三三
 河北省中、西部の治強運動
 成果……………六三三
 河南省十一月綜合戰果……………六三三
 河北省中部剿共戰果……………六三三
 柵田部隊の戰果……………六三三
 敵據點左庄占領……………六三三
 中南部の共匪別決作戰……………六三三
 小莊で遊撃隊を殲滅……………六三三
 共匪別決戰果……………六三三
 安國東南方で敵匪潰滅……………六三三

【山西地區】
 敗走匪軍を捕捉擊碎……………六三三
 中條山脈に新作戰……………六三三
 山西省南部地區の戰果……………六三三
 中條、太行山脈掃蕩戰々果……………六三三
 山西中南部に新剿共作戰……………六三三
 山西剿共綜合戰果……………六三三
 山西南部作戰……………六三三

【揚子江下流域】
 蘇淮地區九月中綜合戰果……………六三三
 閩海軍海州附近で活躍……………六三三
 李仙州軍を完全包圍……………六三三
 渦河北岸で敵北上軍猛攻……………六三三
 新四軍掃蕩戰……………六三三
 廣西軍を掃蕩……………六三三
 洪澤湖畔の綜合戰果……………六三三
 洪澤湖掃蕩戰果……………六三三
 安徽省中部の剿共戰進捗……………六三三
 安徽省南部肅清戰果……………六三三
 揚子江下流の綜合戰果……………六三三

【浙贛地區】
 金蘭地區前部の戰果……………六三三
 黃紹雄、我戰果を確認……………六三三

【武漢周邊】
 武漢周邊の討伐戰……………六三三
 武漢周邊掃蕩の戰果……………六三三
 岳州東方で敵挺身隊を擊滅……………六三三
 中支軍武漢周邊狀況發表……………六三三
 武昌に敵機……………六三三
 武漢周邊の肅清作戰……………六三三
 何柱軍に徹底的打撃……………六三三
 武漢周邊の肅清戰……………六三三

山西省の剿共戰進捗……………六三三
 山西剿共戰果……………六三三
 新編第十旅潰滅……………六三三
 山西地區の綜合戰果……………六三三
 太行山系の敵掃滅……………六三三
 山西省各地剿共戰果……………六三三

【蒙疆地區】
 蒙疆地區九月中の綜合戰果……………六三三
 晋北警察隊活躍……………六三三
 蒙疆地區肅清戰果……………六三三
 蕭順義匪を掃蕩……………六三三
 〇〇部隊一年の剿共戰果……………六三三
 第三次施政躍進運動成功……………六三三
 蒙疆中部地區綜合戰果……………六三三

中支戰況

【武漢周邊】
 武漢周邊の討伐戰……………六三三
 武漢周邊掃蕩の戰果……………六三三
 岳州東方で敵挺身隊を擊滅……………六三三
 中支軍武漢周邊狀況發表……………六三三
 武昌に敵機……………六三三
 武漢周邊の肅清作戰……………六三三
 何柱軍に徹底的打撃……………六三三
 武漢周邊の肅清戰……………六三三

オルジョニキが市の争奪戦開始か……………六四九四
 獨軍オ市方面で進撃……………六四九四
 グルジア軍用公路の遮断近し……………六五七一
 テリョク戦線の赤軍反抗挫折……………六七三〇
 アラギール争奪戦……………六七八五
 西コーカサス
 ツアプセ廿八軒の地點に迫る……………六七九七
 ツアプセ東方高地確保……………六八四四
 獨軍ゲレンジクに突入……………六八四四
 獨軍ツアプセ地區で戦果擴大……………六八九三
 コーカサス方面の獨軍勇戦六八九四

西部戦線
 英獨砲撃戦……………六八二一
 獨英熾烈な砲撃戦……………六八五五
 ドーヴァー海峡の砲撃戦……………六八二二

【空中戦・空爆】
 獨英爆撃戦を應酬……………六八六八
 ▲樞軸空軍
 獨空軍英襲撃の死傷十萬……………六八三三
 新型獨機倫敦に出現……………六八三三
 獨空軍英本土大舉爆撃……………六八四四
 英國南岸爆撃……………六八四四
 英本土大舉空襲……………六八四四
 獨機英本土空襲……………六八四一
 英本土一年間爆撃被害……………六八七三
 イングランド東南を爆撃……………六八七三
 獨空軍英本土を爆撃……………六八四三
 獨空軍英本土空襲……………六八七二
 獨機英本土連爆……………六八七三
 ジブラルタル空襲……………六八八二
 ジブラルタルを爆撃……………六八四三
 マルタ島に猛爆……………六八六二
 マルタ空爆千六百餘回……………六八四三

▲英空軍

英機損失數發表……………六八三三
 英空軍また盲爆……………六八四三
 英空軍ゼノア連爆……………六八四三
 英空軍國際法を無視……………六八四二
 英サルチニア島爆撃……………六八四七
 ゼノア連爆……………六八四三
 英空軍各地を爆撃……………六八七三
 反樞軸軍ナポリ爆撃……………六八四三
 英空軍トリノを盲爆……………六八四二
 西歐洲の空中戦……………六八四二
 ナポリ來襲の英機撃墜……………六八四二
 英機獨西北部爆撃……………六八四二
 英機ミュンヘン爆撃……………六八四二
 英機獨西部連爆……………六八四二

【佛非占領地帯進駐】
 獨軍進駐命令……………六八四二
 獨軍堂々非占領地帯に入る六八四二
 三機甲師團地中海岸に達す六八四二
 伊軍も進駐……………六八四二
 獨伊兩軍の進駐區域分擔……………六八四二
 樞軸軍進駐完了……………六八四二

▲ツローン進駐
 獨軍ツローン進駐を命令……………六八四二
 艦隊の一部自沈……………六八四二
 艦隊の武裝撤去……………六八四二

【ギリシヤ作戦】
 ギリシヤ作戦の損害發表……………六八四三

アフリカ戦線
 アフリカ戦線の重要性……………六八四三
 米軍北西阿の佛領侵略開始……………六八四三
 英軍も數箇師を派遣せん……………六八四三
 數飛行場占領を發表……………六八四三
 佛軍隨所に反撃……………六八四三
 佛軍頻りに進撃を傳ふ……………六八四三
 佛軍各地で反撃……………六八四三
 オラン、カサブランカで激戦……………六八四三
 米軍の企圖悉く當て外れ……………六八四三
 佛軍の抵抗強硬……………六八四三

伊軍發表戦況……………六八四三
 英空軍の損害……………六八四三
 伊空軍戦果……………六八四三
 アフリカ戦線小康状態……………六八四三

【北阿方面】
 獨空軍の至寶散華……………六八四三
 ロメル將軍と一問一答……………六八四三
 樞軸空軍出動……………六八四三
 英軍司令官任命……………六八四三
 停戦説を否定……………六八四三
 佛軍發表戦況……………六八四三
 佛領北阿戦況米軍發表……………六八四三
 獨空軍港灣を爆撃……………六八四三
 米軍侵入部隊の損害……………六八四三
 樞軸軍全戦線に反撃……………六八四三
 北阿空中戦……………六八四三
 樞軸軍敵の後方を威嚇……………六八四三
 樞軸軍マツールで男戦……………六八四三
 樞軸軍チュニス西方で進撃……………六八四三
 樞軸空軍北阿で活躍……………六八四三

▲オラン地區
 侵入軍損害を認む……………六八四三
 オラン軍港激戦……………六八四三
 オラン休戦交渉決裂……………六八四三
 オラン形勢重大化……………六八四三
 オランに米司令部設置か……………六八四三

▲アルジェリ
 アルジェリ東方に上陸か……………六八四三
 アルジェリ戦闘停止……………六八四三
 樞軸機アルジェリ爆撃……………六八四三
 アルジェリ總督府移轉……………六八四三
 獨戦局一轉を示唆……………六八四三
 アルジェリ各地を爆撃……………六八四三
 聯合軍司令部移動……………六八四三
 各地でゲリラ戦……………六八四三
 チュニジア

▲チュニジア
 伊軍遂に出動か……………六八四三
 チュニシ市は平穩……………六八四三
 チュニジア萬全の防備……………六八四三
 米軍進撃發表……………六八四三

樞軸軍チュニス上陸……………六八四三
 國境地帯で聯合軍苦戦……………六八四三
 樞軸軍ビゼルトを占據……………六八四三
 三地點で交戦……………六八四三
 獨軍ガバ港に上陸……………六八四三
 タベルカ周邊で戦闘開始……………六八四三
 愈よ決戦段階に入る……………六八四三
 タベルカ方面の英軍を撃退……………六八四三
 樞軸軍西進を續く……………六八四三
 佛叛軍降伏……………六八四三
 佛領チュニス港の附近に戦局チュニス港の附近に移る……………六八四三
 惡天候に戦況の進展遅る……………六八四三
 チュニジア攻防の決戦……………六八四三
 樞軸軍攻勢……………六八四三
 マツール方面で樞軸軍活躍……………六八四三
 獨軍タブルバ奪取……………六八四三
 英落下傘部隊を捕虜……………六八四三
 反樞軸軍の打撃甚大……………六八四三
 チュニス西方で大戦車戦……………六八四三
 樞軸軍空陸に猛攻繼續……………六八四三
 アイノルドの悲鳴……………六八四三
 タブルバ地區の猛砲爆撃……………六八四三
 樞軸軍タブルカを占據……………六八四三
 チュニジア地方戦況……………六八四三
 タブルバ奪回同の殊勳……………六八四三
 ダブルバ地區で英軍大損害……………六八四三
 反樞軸軍更に後退……………六八四三
 樞軸軍戦車をもつて猛攻撃……………六八四三
 樞軸軍チュニジア戦線で進出……………六八四三
 兩軍決戦準備を急ぐ……………六八四三
 兩地區で激戦……………六八四三
 樞軸山嶽地帯を堅持……………六八四三
 米軍苦戦に陥る……………六八四三
 英落下傘部隊を逮捕……………六八四三
 樞軸空軍戦果……………六八四三
 樞軸空軍活躍……………六八四三
 ▲埃及戦線
 北阿で大空中戦……………六八四三

エジプト戦線俄然活性化す……………六八四三
 英第八軍の攻勢頓挫……………六八四三
 アレキサンダー奇禍か……………六八四三
 獨軍早くも奪回……………六八四三
 再び激戦を展開……………六八四三
 英軍の反攻挫折……………六八四三
 ア港の英艦隊も参加……………六八四三
 樞軸軍第二陣地に集結……………六八四三
 北阿で大激戦……………六八四三
 獨空軍猛爆を加ふ……………六八四三
 英軍マルトに到達か……………六八四三
 リビヤ國境で激戦……………六八四三
 佛艦隊を接收……………六八四三
 カイロ爆撃被害甚大……………六八四三

▲リビア戦線
 獨スチンメ大將戦死……………六八四三
 獨軍デルブルク撤退……………六八四三
 獨軍デルブルク撤退……………六八四三
 リビアの獨伊軍合流に成功……………六八四三
 樞軸軍ベンガジ撤退……………六八四三
 樞軸軍反撃の機迫る……………六八四三
 英軍ベンガジ占領……………六八四三
 アゲダビア地區で激戦……………六八四三
 英軍兵站線の延長に苦しむ……………六八四三
 樞軸空軍英軍集團を猛攻……………六八四三
 リビア戦線決戦迫る……………六八四三

▲キレナイカ地區
 エル・アゲイラの戦闘本格化……………六八四三
 英軍の攻勢失敗……………六八四三
 英軍の側面作戦失敗……………六八四三
 キレナイカ戦線の戦況……………六八四三
 見事な撤収作戦……………六八四三
 北阿で樞軸軍攻勢へ……………六八四三

▲モロッコ地區
 米英聯合軍數ヶ所に侵入……………六八四三
 ノチス將軍を總司令部に任命……………六八四三
 モロッコ佛軍優勢……………六八四三

カサブランカで激戦展開か六四五
米軍メデアに後退……………六四五
モロッコ休戦提議を一蹴……………六四六
樞軸軍モロッコへ上陸……………六四六
佛軍忠壯の抗戦……………六四六
佛軍モロッコ各地で抵抗……………六四六
米軍回教聖地を占領……………六四六
カサブランカを奇襲……………六四七
▲ダカール
佛海軍ダカール急行……………六四四
佛空軍大佐戦死……………六四〇
ダカールの「戦鬪的活動」を否定……………六三六
聯合軍ダカールを狙ふ……………六三六
佛、ダカールの防備強化……………六三六
米軍ダカール上陸……………六三七
【リベリア】
米軍リベリアに進駐……………六三六
聯合軍象牙海岸に侵入……………六三三
【南阿方面】
英軍レユニオン島に不法上陸……………六三六
【東阿方面】
英軍ソマリ侵入……………六三七
英軍ジブチ侵入……………六三七
【マダガスカル島】
英軍アントシラポ占領……………六三四
マ島佛軍勇戦……………六三四
フランス軍依然抵抗……………六三八
英軍アンボシトラ占領……………六三八
佛軍マ島の陣地を死守……………六三八
英、臨時首都を占據……………六四〇
マ島遂に降伏か……………六四一
フランス政府休戦を發表……………六四一

西 亞 方 面

米軍波斯灣に進駐……………六八〇
米軍の陸上部隊到着……………六八〇
米兵七千西貢へ……………六八六
英軍テヘランに入る……………六七二

海 上 戦 況

伊空軍ベイルート強襲……………六八六
百一萬一千七百噸撃沈……………六三四
英巡コヴェントリー撃沈……………六三四
聯合國油槽船喪失四百六十萬噸……………六三四
撃沈英船舶名追加發表……………六三四
英艦艇喪失百三十九隻……………六八一
撃沈二千四百六十萬噸……………六八三
參戰以來伊海軍の綜合戦果六四〇
英艦逐艦撃沈……………六四六
獨潜水艦インド洋へ……………六四六
商船撃沈七十二萬噸……………六四六
活潑な通商破壊戦……………六四六
北氷洋、印度洋で戦果……………六四七
樞軸潜水艦戦果……………六四九
英新型潜水艦撃沈……………六五〇
獨潜水艦の新戦果……………六五七
獨逸商船破壊戦果……………六五三
敵側船舶喪失は建造の二倍六三二
撃沈船舶名追加發表……………六三三
通商破壊戦の新戦果……………六三三
獨海軍戦果……………六三七
英國の對潜水艦戦……………六三七

地 中 海

英潜水艦捕虜輸送船を撃沈六八一
戦局の中心地中海へ……………六四五
有力部隊ジブチ到着……………六五七
ジブチアルタル水域で活躍……………六五七
大艦隊をジブチに集結……………六五七
▲北阿水域
樞軸軍西地中海に活躍……………六四九
空母一隻を雷撃……………六四九
敵艦船相次いで撃沈……………六四九
伊空軍の戦果……………六四九
樞軸海空軍の大戦果……………六四九
獨機英艦隊の爆撃……………六四九
西地中海に機雷敷設……………六五七
伊爆機編隊ア港を爆撃……………六五七

獨 空 軍 新 戦 果

獨空軍新戦果……………六五七
米英艦隊の損害……………六五七
護送船廿萬噸減少……………六五七
二萬噸の商船を撃沈……………六五七
英巡洋艦撃沈……………六五七
英艦逐艦喪失……………六五七
護送船團襲撃……………六五七
【大西洋】
英豪華船撃沈……………六八一
二月以來の撃沈五百十六隻六八二
米商船撃沈……………六四〇
十月中獨潜水艦戦果……………六四六
獨潜水艦の新戦果……………六四六
インハカ島沖合で撃沈……………六四七
特別發表相次ぐ……………六四七
英艦隊を大損傷……………六四七
獨快速艇隊の戦果……………六五三
商船十八隻撃沈……………六五三
大西洋に赫々たる戦果……………六五七
▲南西阿水域
米戦艦ミシシッピ型撃沈六四四
南、西阿沖で米英艦廿二隻撃沈……………六三三
獨潜水艦活躍……………六三三
カナリー群島沖で十萬噸撃沈……………六三三
聯合軍艦隊司令長官發表……………六三三
佛政府海戦を發表……………六三三
米艦隊を撃破……………六三三
獨潜水艦英米艦艇猛攻……………六四七
樞軸水艦戦果……………六四七
英空母アーガス沈没か……………六四九
英艦隊に損害を與ふ……………六四九
「ベレーンガム」型巡洋艦を撃沈……………六四九
米大型輸送船撃沈……………六五七
米商船撃沈……………六五七
英掃海艇沈没……………六五八
▲米洲近海
聖ローレンス河で商船撃沈六八二

聯 合 國 船 三 隻 撃 沈

聯合國船三隻撃沈……………六八二
獨潜水艦商船十六隻撃沈……………六四六
獨潜水艦の殊勲……………六四六
商船三隻撃沈公表……………六四六
ニューファウンドランド沖に出現……………六四六
西印度洋で四十隻撃沈……………六五三
【北方水域】
芬潜水艦の殊勲……………六五〇
ソ聯砲艦を撃沈……………六五〇
北方水域で海戦か……………六五八
大 東 亞 戦 記
ロナワンの殘敵掃蕩戦……………六八三
米空母ワスプ撃沈詳報……………六四七
サボ島沖で敵巡二、驅逐一撃沈……………六四七
比島タヨ群島掃蕩戦……………六四八
ワスプ號撃沈状況……………六四八
パインバル敗戦回顧録……………六四八
ルンガ沖夜戦の全貌……………六五八
潜水艦奮戦記……………六五七

政 治

大 東 亞 戦 一 周 年 記 念
一周年記念國民大會……………六四八
首相、戦力増強を強調……………六四八
物資に對する精神の勝利……………六四八
日泰兩首相メッセーヂ……………六四八
▲記念放送
谷外相「米英撃伐の決意」……………六四八
を放送……………六四八
青木大東亞相放送……………六四八
谷萩部長「決戦」を説く……………六四八
決戦の連續が近代戦の特色六四八

樞 密 院

行政簡素化審査委員會……………六三五
陸軍省官制改正案可決……………六三五
大東亞省官制案審査開始……………六三五
官廳連絡事務簡捷化……………六三五
大東亞省官制審査委員會……………六八四
續行……………六八四
大東亞省設置本會議可決……………六八四
海軍戰況聴取……………六四九
樞密顧問官招待晚餐會……………六四九
日泰文化協定御批准……………六四八
ビルマ軍政状況を聴取……………六四八
義教費國庫負擔法改正案等可決……………六四九
【拜謁・奏上】……………六四九
産業經濟代表に異例の賜謁六三三
▲内 閣
時局下議會の急速協賛を期す……………六八四
行政事務の劃期的整理統合六八四
東條内閣組閣一周年……………六八四
南方地域新聞政策決定……………六八四
重要國策二十九件決定……………六八四
大東亞戦一周年記念行事實施要領決定……………六四九
官廳執務時間一時間延長……………六四九
行政組織の戦時編成手續完了……………六四九
家族手當増額、戦時勤勉手当當給與……………六四九
野榮類の買収取締措置……………六四九
興亞院對滿事務局解散式……………六四九
興南鍊成院官制決定……………六四九

軍政顧問らより現地事情
聴取……………六四六

政府重臣懇談會開催……………六四三

政府翼政會の進言を採用……………六四三

議會提出法案五十七件決定……………六四三

選舉法改正提出せず……………六四三

戰時海河荷役力の緊急増強
方策決定……………六四三

第六回大東亜建設審議會……………六四〇

官廳職域貯蓄實踐方策決定……………六四〇

官民情報機能の一元化……………六四〇

提出法律案十八件要綱發表……………六四〇

能率官、能率技師新設……………六三七

首相臨時内務大臣事務管理……………六三七

臨時生産増強委員會設置……………六三七

産業經濟代表者懇談會開催……………六三七

重要事項の報道發表を情報
局に集中……………六三七

法律案要綱三十二件決定……………六三七

所管別法律要綱……………六三七

行政事務簡素化具體策二百
八件の處理決定……………六四〇

商工組合法案議會提出……………六四五

十地方事務所設立……………六四五

文教刷新七勅令案閣議決定……………六四五

放送協會の監督を明確化……………六四五

南方地名の呼稱決定……………六四五

調査研究聯盟發表……………六五三

石油專賣法案提出……………六五三

重要三勅令案要綱決定……………六五三

明年度新規定員二千三百八
十八名……………六五九

大東亜要員錬成委員會……………六五九

首相各省幹部に訓話……………六五九

科學技術審議會設立……………六五九

敵産取扱令公布施行……………六五九

許可認可等臨時措置法案
決定……………六四四

朝鮮電力國家管理決定……………六四四

▲放 送
松木海務院長官放送……………六四六

鈴木企畫院總裁放送……………六四六

【大東亜省誕生】
大東亜省誕生……………六四九

大東亜省關係勅令……………六四〇

朝鮮、臺灣兩總督關係勅令
官制……………六四三

青木新大東亜大臣親任式
舉行……………六四〇

大東亜省開職式……………六四〇

大東亜省人事……………六四三

現役武官も大東亜省職員に
專任……………六四三

大東亜連絡委員會設置……………六四三

大東亜建設審議會の運用……………六四三

要員錬成施策發足……………六四三

大東亜省委員の編成……………六四三

三省經費決定……………六四三

【地方長官會議】
▲第一日
會議開始……………六四三

東條内閣總理大臣訓示……………六四三

▲第二日
首相重ねて重大決意表明……………六四三

藏相説示要旨……………六四三

井野相説示要旨……………六四三

逓相説示要旨……………六四三

鐵相口演要旨……………六四三

【行政簡素化】
内閣關係の勅令及び閣令……………六四三

内閣各部局の改正……………六四三

企畫院の新官制……………六四三

獨立、特殊官廳の行政簡
素化……………六四三

各省行政簡素化……………六四三

新設、廢止機構表……………六四六

各 省

【内 務】
臨時地方長官會議開催……………六四〇

内務省連絡委員會設置……………六四〇

全國經濟部長會議……………六四〇

【外 務】
二機關を新設……………六四〇

【大 藏】
罹災民租稅減免猶豫令公布……………六四五

港灣荷役増強に大藏委員
特派……………六四五

【司 法】
司法保護事業法臺灣に施行……………六四五

【文 部】
學制頒布七十周年に當り
訓令……………六四五

國民學校兼任校長訓導員會議
文部省委員地方視察意見書
提出……………六四三

【逓 信】
逓相横濱船渠から放送……………六四五

逓信委員現地報告會……………六四五

小型船舶乘組員手帳法施行交差
五海員養成所年内に開所……………六四五

逓信委員現地視察報告……………六四五

【鐵 道】
旅客制限に協力せよ……………六二六

鐵道省委員現地報告……………六二六

「小運送作業能率昂上期間」
實施……………六五八

地方鐵道の國鐵編入諮問案
可決……………六五九

貨物自動車運送事業統合方
式決定……………六五九

買收私鐵總延長五四〇軒……………六五九

【厚 生】
醫藥制度調査會答申決定……………六四六

勤勞顯功章資格を擴大……………六四六

厚生省委員視察報告……………六四六

【農 林】
農林省食糧管理局機構改革……………六四六

木材統制法施行規則改正……………六四六

【商 工】
分課規程改正……………六四六

拓務省解散式……………六四六

【海 軍】
海軍武官官階、兵職階級改
正實施……………六四六

宇都宮に海軍人事部新設……………六四六

【大 東 亜】
大東亜省委員運警方針決……………六四六

外地・地方

全國道府縣會議長會議……………六四六

全國都市問題會議……………六四六

大阪市二十二區に増大……………六四六

全國市會議長會議……………六四六

▲市長決定
靜岡、松山、水戸……………六四六

郡山、大津……………六四六

濱松……………六四六

▲久留米、船橋……………六四六

▲市制施行
木更津市……………六四六

▲鈴鹿市……………六四六

▲高槻市……………六四六

▲東京府・市
中岡東京市會議長辭表提出……………六四六

第三回東京府協力會議……………六四六

東京府豫算集計成……………六四六

第三回帝都協力會議……………六四六

▲東京市會議長決定……………六四六

▲朝鮮國民總力聯盟改組……………六四六

朝鮮にも農地開發營團設置……………六四五

朝鮮に義務教育實施……………六四五

貴衆兩院

議會召集詔書……………六四九

貴衆兩院南方視察團歸京……………六四九

【貴族院】
貴院の製鐵視察員決定……………六三七

貴院の中小商工調査班決……………六三〇

同友俱樂部常任理事決定……………六三〇

貴院同友クラブ初總會……………六四六

▲戸田友貴族院議員辭職……………六四六

【衆議院】
衆議院南方視察團報告會……………六四六

對議會運營人的布陣整備……………六四六

翼賛政治會

翼政會の臨時災害對策方針……………六四六

翼政の「窓口」開始……………六四六

災害對策決定……………六四六

▲農業對策小委員會設置……………六四六

議會對策協議……………六四六

▲陳情に即應代議士實地調査……………六四六

經濟團體統合成……………六四六

▲産業團體統合成……………六四六

三十日會合……………六四六

▲經濟議員聯盟青果配給改善
進言……………六四六

▲大東亜委員會設置……………六四六

▲都制實施に協力……………六四六

▲行政事務の簡素化具體案
進言……………六四六

▲新政治運動の協議會設置……………六四六

▲政府、翼政首腦懇談會……………六四六

▲戰力増強臨時協議會總會開
かる……………六四六

▲戰力増強方策要綱決定……………六四六

農業團體統合案決定……六五〇七
 翼贊會、翼政會の一體不可分の八
 應急輸送對策進言……六五〇八
 有志議員聯合、機構改革を
 進言……六五〇九
 生擴對策要綱進言……六五〇九
 造船、海運對策進言……六五〇九
 翼贊翼政下部人事交流實施案の
 經議、議員聯盟決戰物資増
 産對策進言……六五〇九
 政府進言の對策を検討……六五〇九
 代議士總會に於て總裁對議
 會態度開明……六五〇九
 木材増産對策進言……六五〇九
 戦力増強議員奉公隊結成……六五〇九
 ▲人事
 貴院三氏翼政へ入會……六五〇九
 議案審査會部長幹事決定……六五〇九

大政翼贊會

町内會部落會の運營檢討……六五〇七
 内外地翼贊運動連絡協議……六五〇七
 六大都市翼壯團長、本部長
 會議……六五〇七
 情報局、翼贊會第一回會合……六五〇七
 木炭節約と食料鹽増配……六五〇七
 國民翼贊運動展開の基本要
 綱決る……六五〇七
 六大都市部長會議……六五〇七
 大東亞省と連絡……六五〇七
 翼壯本部全面的に改組……六五〇七
 事務局長會議……六五〇七
 翼壯團旗授與式……六五〇七
 第二回全國翼壯團長會議……六五〇七
 増産部設計畫樹立徹底運動
 要綱……六五〇七
 國民運動實施要綱決定……六五〇七
 大戦一周年全國大講演會
 開催……六五〇七

諸團體動向

生産増強懇談會開催……六五〇七
 經濟秩序維持法の制定要請……六五〇七
 「翼贊國民の聲」整理……六五〇七
 國民總力戰思想の方策決定……六五〇七
 官廳年末年始休暇取消……六五〇七
 六大都市翼贊會支部會議……六五〇七
 轉廢業問題政府へ申達……六五〇七
 戦時厚生事業對策成る……六五〇七
 調査會第十委員會報告……六五〇七
 ▲人事
 思想部長に田代氏……六五〇七
 是松翼壯本部長辭意表明……六五〇七
 東京支部協力會議員決定……六五〇七
 翼壯中央本部長は團長兼任……六五〇七

法令

勅令公布六三三六〇・六三三六一・六三三三
 六三三二・六三三〇・六三二九・六三二八・六三二七
 ▲人事
 廈門連絡部長官更迭……六三三〇
 茨城、徳島、宮城、三重四
 知事發令……六三三〇
 大藏省異動……六三三〇
 湯瀨剛一大佐進級……六三三〇
 岡部直三郎中將軍事參議
 官へ……六三三〇
 東部軍參謀長に辰巳榮一
 少將……六三三〇
 海軍人事部長補任……六三三〇
 食品局長に田中氏……六三三〇
 新管理局長に相馬敏夫氏……六三三〇
 陸軍兵器行政本部人事發令……六三三〇
 企劃院辭令……六三三〇
 情報局第一部第一課長に高
 瀬中佐……六三三〇
 石渡氏外務省外交顧問就任……六三三〇
 新駐伊大使に日高氏親任……六三三〇
 一參事官二勳任總領事新任……六三三〇
 ボルネオ方面陸軍最高指揮
 官に山脇正隆中將……六三三〇
 前田中將軍狀視察中陣歿……六三三〇
 三浦新七氏學士院會員に……六三三〇
 楠本英大總長辭表提出……六三三〇
 商工省異動……六三三〇
 工務官事務所擴充人事……六三三〇
 農林異動……六三三〇
 朝鮮總督府異動……六三三〇
 興南鍊成院長發令……六三三〇
 那須少將、難波大佐進級……六三三〇
 高松宮、久爾宮兩殿下
 御進級……六三三〇

海軍人事異動發表……六三三〇
 吉田善吾大將第一線へ……六三三〇
 司法省異動……六三三〇
 遞信人事……六三三〇
 朝鮮總督府……六三三〇
 臺灣總督府……六三三〇
 樺太廳……六三三〇
 岡本總領事を瑞典公使に……六三三〇
 谷本佐領長官薨去……六三三〇
 艦政本部第六部長に田代
 少將……六三三〇
 海軍省教育局長に矢野志加
 三少將……六三三〇
 羽田京大總長重任……六三三〇
 谷弘、田中正兩大佐進級……六三三〇
 小川少將總力戰研究所入り……六三三〇
 陸軍定期異動……六三三〇
 佐世保鎮守府參謀長更迭……六三三〇
 海軍人事局長に中澤佑少將交關
 野村大使免官……六三三〇
 小林少將舞鎮海兵團長に
 決定……六三三〇
 施設本部長に金澤正夫中將……六三三〇
 航空士官學校長に遠藤中將……六三三〇
 ▲親補
 上海方面陸軍最高指揮官に
 下村定中將親補……六三三〇
 佐鎮司令長官に南雲忠一中
 將親補……六三三〇
 雄中將親補司令長官に高木武
 雄中將親補……六三三〇
 片桐中將軍事參議官親補……六三三〇
 ▲陸軍司政長官、司政官發令
 六三三〇・六三三〇・六三三〇・六三三〇
 ▲海軍司政長官、司政官發令
 六三三〇・六三三〇・六三三〇・六三三〇
 ▲官廳辭令
 宮内辭令……六三三〇

軍事

朝鮮青年特別練成令……六三三〇
 惡虐非道な敵機乗員は死刑……六三三〇
 俘虜を護岸工事等に動員……六三三〇
 徵兵準備に朝鮮同胞の戸籍
 調査……六三三〇
 ▲放送・講演

最後の勝利は經濟、思想戰三六八
 軍人援後強化に平出海軍大
 佐講演…………… 六三六
 奥村情報局長講演…………… 六三八
 陸相兵制七十周年記念日
 放送…………… 六三六

陸軍

航空兵器政務を航空本部に
 一元的集約…………… 六三七
 陸軍防衛召集者服装規定…………… 六三八
 陸軍諸學校に侍從武官
 御差遣…………… 六三九
 陸軍南方軍政會議開催…………… 六三九
 憲兵制度刷新…………… 六四一
 臺灣陸軍志願兵の訓練終る…………… 六四〇

海軍

海軍航空本部令改正…………… 六三九
 短期現役海軍下士官の歸休
 改正…………… 六四〇

外交

三特派大使歸國…………… 六三九
 ローマ進軍廿周年慶祝々電六三三
 三國聯盟二周年祝賀會…………… 六三九
 對外交傳機能強化…………… 六三九
 芬大統領に勳章御贈與…………… 六三九
 三國軍事同盟締結一周年…………… 六三九
 三國軍事協定締結一周年…………… 六三九
 ▲放送・談話
 堀情報局第三部長談…………… 六三三
 首相交驩放送…………… 六三三
 防共協定締結記念日に堀部
 長談…………… 六三三
 來栖大使戰爭製造者米國を
 暴く…………… 六三三
 汪主席訪日の感銘放送…………… 六三三

【對滿關係】
 李前大使等に勳章御贈與…………… 六三九
 李滿洲國外交部大臣歡迎午
 餐會…………… 六四一
 王滿洲國大使着任…………… 六三三
 王駐日大使信任狀捧呈…………… 六三三

對國民政府

汪國民政府主席以下入京…………… 六三三
 汪主席、首相會見…………… 六三三
 天皇陛下汪首席と御會見…………… 六三三
 汪主席に大勳位菊花大綬章
 を御贈進…………… 六三三

對泰關係

歷史の日泰文化協定…………… 六三三
 泰國水害に五百萬圓贈出…………… 六三三
 日泰文化協定實施…………… 六三三
 首相、泰首相、日タイ協會
 長に祝電…………… 六三三

對佛關係

ウインシーの對米措置全面的
 支持…………… 六三三
 佛國武官に敬勳…………… 六三三

對敵國關係

米・加兩國の邦人待遇に
 抗議…………… 六三三
 英の俘虜虐待抗議にドイツ
 と共同歩調…………… 六三三
 印度抑留邦人取扱に嚴重抗
 議…………… 六三三

帝國議會

第八十一回帝國議會

兩院成立…………… 六三九
 兩院親臨、開院式舉行…………… 六三九
 聖上親臨…………… 六三九
 兩院本會議…………… 六三九
 貴院勸語奉答文…………… 六三九

衆院勸語奉答文…………… 六三九
 兩院重ねて優渥なる勸語を
 拜す…………… 六三九
 陸相の戰況報告…………… 六三九
 海相戰況報告…………… 六三九

財政經濟

一般

官民特許等技術の交流活用…………… 六三三
 奢侈品等一部制限解除…………… 六三三
 第三回敵産特許處分…………… 六三三
 商報再編成促進要綱…………… 六三三
 纖維工業設備の省令一部
 改正…………… 六三三
 食糧管理委員會新設…………… 六三三
 商工行政考査を全面的に
 強化…………… 六三三
 工務官事務所を擴充…………… 六三三
 第二回技術者會議決議…………… 六三三
 七工業に原價計算準則決定…………… 六三三
 商相戦力増強の必要を強調…………… 六三三
 敵性特許權第四次處分…………… 六三三
 製鐵業原價計算準備成…………… 六三三

東亞經濟懇談會

▲第一日
 東亞經濟懇談會開かる…………… 六三三
 青木大東亞相口述…………… 六三三
 賀屋藏相口述…………… 六三三
 各代表口述…………… 六三三

各部會開かる

▲第一日
 各部會開かる…………… 六三三
 ▲第三日
 各關係局長發言要旨…………… 六三三
 各本部長口述要旨…………… 六三三
 懇談會終了…………… 六三三
 重要物資
 重要物資買上を強化…………… 六三三

重要物資の調査強化…………… 六三三
 重要物資強制買上愈々斷行…………… 六三三
 重要物資買上期間一ヶ月
 延長…………… 六三三
 商工業…………… 六三三
 轉廢業者の收容體制整備…………… 六三三
 小賣業整理對策進む…………… 六三三
 裁縫業者の資産評價基準
 決定…………… 六三三

經濟團體

全購聯機構改革…………… 六三三
 日本鐵詰檢査協會創立…………… 六三三
 綿ス・フ工聯解散正式決定…………… 六三三
 工組中央會六部會設置…………… 六三三
 經濟會議所設立要綱案…………… 六三三
 東亞纖維工業會創立…………… 六三三
 人絹關係四團體當分存續…………… 六三三
 ス・フ工組解散決定…………… 六三三
 特殊鋼製品協議會創立…………… 六三三
 全國タンク船海運組合創立…………… 六三三
 海軍車輛工業會創立…………… 六三三
 陸軍航空工業會發足…………… 六三三
 產組戰時活動方針決定…………… 六三三
 日商第十五回總會…………… 六三三
 和裝製品工組を結成…………… 六三三
 中央食糧協力會設立總會…………… 六三三
 乾繭組合協會解散…………… 六三三
 全絹工聯、人工聯解散…………… 六三三
 產組明年度活動方針決定…………… 六三三
 日本砂糖元賣商組創立…………… 六三三
 日本砂糖元賣商組創立…………… 六三三
 纖維製品協議會機構、人事
 決定…………… 六三三

統制會

▲統制會
 人絹、絹統制會創立總會…………… 六三三
 綿ス・フ統制會創立總會…………… 六三三
 油脂統制會創立…………… 六三三
 輕金統制會機構一部改正…………… 六三三
 東亞中間物染料統制組合
 創立…………… 六三三
 西部中間物染料統制組合
 創立…………… 六三三

認可…………… 六三三
 酸素統制組合創立…………… 六三三
 化學工業統制會創立…………… 六三三
 化學工業統制會運營機構
 決定…………… 六三三
 十二統制會に權限委讓…………… 六三三
 纖維統制協議會の性格決定…………… 六三三
 セメント共販改組案決定…………… 六三三
 油脂統制會朝鮮支部設置…………… 六三三
 纖維製品統制協議會創立…………… 六三三
 第一回水産事業評價審査委
 員會…………… 六三三
 鐵鋼非常對策調查委員會を
 設置…………… 六三三
 人絹・絹統制會第一回評議
 員會…………… 六三三
 造船統制會賦課金徵收…………… 六三三
 綿ス・フ統制會委員會設置…………… 六三三

營團

▲營團
 東京府食糧營團新發足…………… 六三三
 梳毛・紡毛兩紡機買受評價…………… 六三三
 農地開發營團事業區域決定…………… 六三三

創社

▲創社
 船舶無線電信電話創立…………… 六三三
 絹、人絹織物製造會社創立…………… 六三三
 日本郵便送達會社創立…………… 六三三
 東洋、大和紡遊休設備の大
 陸移駐…………… 六三三
 吳羽紡、朝鮮に進入…………… 六三三
 日本海獸會社創立總會…………… 六三三
 大阪機帆船創立…………… 六三三
 帝國水産統制創立總會…………… 六三三

合同、合併

▲合同、合併
 會社合併狀況…………… 六三三
 日産化學、日鐵に合併…………… 六三三
 石油礦業六社合併決定…………… 六三三
 日鐵、日産化學合併可決…………… 六三三
 明治生命、有隣生命を吸收
 合併…………… 六三三

株式

三井物産百五十萬株を公開三三三
日本發達電六分据置... 六三三
トヨタ倍額増資... 六三八
日鐵鐵業一億圓増資... 六三八
取引所増配を自薦... 六三三
日鐵總會... 六八五
滿洲重工業總會... 六八六
其の他

財界叢報

▲大日本電力解散と決定... 六四四
帝國滿佈改稱... 六五九
帝國鐵機機構改革... 六五九
理研工業の機構改革運動... 六五七
▲財界人事
銀行... 六三三、六三九、六三九、六三九
會社... 六三九、六三九、六三九、六三九
統制會... 六三九、六三九、六三九、六三九
經濟團體... 六三九、六三九、六三九、六三九

運輸・通信

▲港灣・陸上運送業統合要綱
決定... 六三六
商船、佛印鐵道と連絡運輸
開始... 六八八
▲船舶・海運
船員互助救濟會結成... 六三三
國際汽船、玉井、中川兩社
と提携... 六四三
日本船舶貨物檢數協會設立... 六四三
船員家族手當一律五圓宛
決定... 六三七
若松港を關門港に統合... 六三五
伏木、北鮮間に貨物航路
新設... 六八八
新備船料公定明春元旦實施... 六八八
▲陸運・鐵道
戰時陸運非常體制確立方策... 六三三

財政

貨物自動車を地方別に統合六四三
貨物自動車運送統合要領... 六三三
外地豫算節約額九千八百
萬圓... 六三六
國庫現計... 六三六、六三六、六三六
第二豫備金支出... 六三六
明年度總豫算決定... 六三六
臨軍費繰入二十七億圓... 六三六
萬贊會補助金は二千四百
萬圓... 六三六
預金部資金運用決定... 六三六
▲租稅
災害地租稅減免・徵收猶豫六三三
酒類輸出指定業者も免稅... 六三三
明年度稅收六十九億六千
萬圓... 六三六
明年度地方分與稅增額... 六三六

金融

▲一般事項
上半期貯蓄實績百九億圓... 六四四
高利金融業平均三割方利
下げ... 六四四
官廳の職域貯蓄強化實踐要
綱決定... 六三八
▲金融機關
▲金庫
庶民金庫、小口貸付開始... 六三八
更生金庫損失審査委員任命... 六三八
▲銀行
鮮銀行務簡素化斷行... 六三三
普銀行數百五十を割る... 六三三
第一と三井、三菱と第百
合併... 六八八
安田、晝夜を合併... 六八七
勸、農、拓銀の新規貸付歩
合引下... 六八七
▲信託・無盡

保險

無盡會社の合同進捗... 六三三
安田信託上海支店開設... 六三三
全國無盡會社契約狀況等調査... 六三八
▲保險
戰爭保險引受地域擴大... 六三三
損保統制會創立... 六三三
生保の大陸進出決定... 六三三
生死不明者の保險料に特別
取扱... 六三三

金融指標

▲金形
全國手形交換高... 六三六、六三六
十七年中東京手形交換高... 六三八
▲銀行
九月末貯銀勘定... 六三九
日銀發券高新高記録... 六三八
其の他
全國信用組合等主要勘定調書
株價指數最高記録... 六三九、六三九
東株長期時價總額... 六三九
▲公社債
公社債發行總額三六四億... 六三六
第四・四半期起債計畫決定... 六三八
十八年中償還公社債額... 六三八
▲國債
九月末國債額四百七十六
億圓... 六三九
十月末國債現在額... 六三八
▲社債
社債引受團の擴大方針決る... 六四四

生産

▲産業
生産力増強總進軍運動要綱
決定... 六三九
生産増強四對策要綱... 六四三
生産増強官民懇談會開催... 六三三
聖慮に感謝、生産増強を
宣誓... 六三三
▲農林・水産

配給

炭礦勞務者の待遇改善... 六三三
滿洲開拓民二萬戸を送出... 六四三
工場鑛山日備勞務者賃金
決定... 六三六
十月の勞働統計... 六三六
▲配給
▲物資・需給
東京市家庭用蔬菜配給要綱... 六三三
明年度蘭配給機構改正... 六三三
▲鐵物類
非鐵地金の配給方法改正... 六三六
輕金屬屬配給統制規則公布... 六三六
鐵礦、鐵屑、北支炭にプ
ル制實施... 六三六
螢石配給統制規則公布... 六三六
石炭配給調整規則改正... 六三六
鐵礦石配給統制規則公布... 六三六
石綿配給統制規則實施... 六三六
▲工業品
ラジオ受信機配給會社創立... 六三六
コールド配給統制實施... 六三六
▲物價
共榮團の綜合物價對策案... 六三三
中央地方に臨時物價相談所
設置... 六三六
▲中央物價協力會議
地方物價統制協力會議強化
方針... 六三三
第七回全國會議開かる... 六三三
關機減に専門委員會設置... 六三三
▲重要商品卸賣物價指數... 六三三
東京勞働賃金指數... 六三三
▲東京卸賣物價指數... 六三三
東京小賣物價指數... 六三三
▲公定價格
動植物油洋に新最高販賣

礦業

本年度下期石炭對策要綱... 六三三
掘進増強坑内整備期間實施... 六三三
鐵鋼生産應急對策決定... 六三三
下期送炭增加獎勵金交付額
決定... 六三三
特殊鋼寸法の單純化決定... 六三三
日鐵、トーマス製鋼法を
採用... 六三三
▲纖維工業
▲織物工業
▲絹織工業
▲綿織工業
▲絲織工業
▲麻織工業
▲紙織工業
▲織物工業
▲絹織工業
▲綿織工業
▲絲織工業
▲麻織工業
▲紙織工業

機械工業

▲航空工業
▲船舶工業
▲汽車工業
▲電機工業
▲化學工業
▲日本麥酒工業
▲電力工業
▲電力料金を根本的に改正... 六三三
▲勞務・開拓

價格……………六九六
 軸受の最高價格引下げ……………六三六
 石鹼價格引下げ決定……………六三〇
 醬麥最高販賣價格指定……………六四四
 牛、豚最高販賣價格改訂……………六七八
 糯米小賣最高價格告示……………六八〇元

外地 經濟

【朝鮮】
 朝鮮戰時海運管理令公布……………六三九
 十八年度朝鮮食糧對策要綱公布……………六三六
 朝鮮電力管理令申要綱決定……………六三二
 八月申要綱申要綱決定……………六三二
 朝鮮商工會議所會頭に穂積氏……………六三〇
 鮮銀券七億五千萬圓突破……………六八八
 【臺灣】
 第一期作米減收……………六三六
 米穀生産制當實施……………六三六
 灣米一期作買入價格引上……………六八八
 【關東州】
 關東州の油房統合成る……………六三九

社會・文化

文 化
 ▲一 般
 少國民文化大會……………六三〇
 日本國語會發會式……………六三〇
 南の兒童(「エホン」ニツボ)……………六三〇
 國民精神文化研究所開所十周年記念式典……………六三〇
 少國民文化功勞者表彰式……………六三〇

子供は黃色が一番好き……………六三三
 戰場精神昂揚運動に宣傳文協活躍……………六三三
 併聖殿竣工式……………六三二
 わが海外放送陣強化……………六三二
 標準漢字表制定……………六三二
 思想戰研究所開所式……………六三〇
 大日本言論報國會發足……………六三〇
 千餘件の敵性特許解放……………六三〇
 大日本ゴム研究所發會……………六三〇

新 聞

東京、大阪に産業新聞創刊……………六三〇
 【日本産業經濟】誕生……………六三〇
 新聞配給會誕生……………六三〇
 日本新聞協會創立廿年記念大會……………六三二
 東日、大毎「毎日新聞」に出版・圖書……………六三〇
 南方植物の大辭典編纂……………六三〇
 推薦圖書……………六三〇
 【日本婦人】創刊……………六三〇
 出版文化協會專務理事に久富氏……………六三〇
 豪華本や外面廢止……………六三〇
 敵國語の雜誌名を一掃……………六三〇
 日本文化大觀歷史篇(上)完成……………六三〇
 出版體制的轉換成る……………六三〇
 活字使用統制……………六三〇
 新春から用紙の適正配給實施……………六三〇

文 學

▲東亞文學者大會開かる……………六三〇
 北原白秋氏の餘榮……………六三二
 ▲愛國百人一首……………六三二
 應募七萬首……………六三二
 決定發表……………六三二
 文報で定本刊行……………六三二
 普及徹底を決定……………六三二
 ▲音 樂

大日本音樂振興會誕生……………六三〇
 南方音樂文化研究所設立……………六三〇
 ▲映 畫
 「空の神兵」外六作品授賞決定……………六三〇
 ▲美術・工藝
 第五回文展入選發表……………六三〇
 文展審査終る……………六三〇
 興亞造形文化聯盟披露會……………六三〇
 生産美術協會成る……………六三〇

宗 教

▲一 般
 三浦博士を學士院會員に……………六三〇
 總力戰學會の發會式……………六三〇
 隱れた科學技術者顯彰……………六三〇
 日本生活科學會大會……………六三〇
 村上博士を學士院會員に……………六三〇
 ▲研究・發明
 鼠癩接種に成功……………六三〇
 眼病ヒツベル氏病治療成功……………六三〇
 硝酸を空氣中から抽出成功……………六三〇
 南の空に新星發見……………六三〇
 桃山式の古庭園を發見……………六三〇
 包装用防濕紙完成……………六三〇
 【學位授與】……………六三〇

教 育

▲一 般
 訪滿學生機出發……………六三〇
 學徒實戰武技訓練開始……………六三〇
 學制頒布七十周年式典……………六三〇
 慶應義塾外語學校開校……………六三〇
 來年度もくり上げ卒業實施……………六三〇
 在外邦人子弟教育協會設立……………六三〇
 ▲國民學校關係

女子教員興亞問題研究會發會……………六三三
 體操科實施細目決る……………六三三
 職業指導を強化……………六三三
 美術教育に巨匠の名作……………六三三
 ▲青年學校關係
 全國青年學校會議……………六三〇
 修身公民書成る……………六三〇
 ▲中等學校關係
 中等學校聯合演習……………六三〇
 中等校野外演習……………六三〇
 新實業公民書決定……………六三〇
 ▲高專大學關係
 東大に石油工學科新設……………六三〇
 大學高專學徒連合演習……………六三〇
 高等海員養成所新設……………六三〇
 阪大總長に眞島利行博士……………六三〇
 名古屋に女子醫專設立……………六三〇
 學徒の體位向上……………六三〇
 明年度官立高專校募集人員……………六三〇
 東大第二工學部開學式……………六三〇
 長野高工四月開校……………六三〇
 東京、富山兩高專校組織變更……………六三〇
 官立專門實專入試科目決る……………六三〇

勞 務

▲勞 務
 荷上げ勞務者の賃銀是正……………六三三
 金屬増產表彰式……………六三三
 生産戰士に廉い金融開始……………六三三
 素晴らしい出勤成績……………六三三
 遞相輸送力強化週間視察……………六三三
 ▲生 産
 結構特效ワクチン實用化……………六三三
 厚生省の乳兒審査成績……………六三三
 醫學徒報國隊の報告會……………六三三
 優良多子家庭表彰式……………六三三
 妊産婦手帳制實施……………六三三
 健民と國民健康保險……………六三三
 勤勞、會社員を統合健保を

勞 務・厚生

▲勞 務・厚生
 東郷寺落成式……………六三三
 國鐵七十周年記念式典……………六三三
 養育院七十周年記念式典……………六三三
 公團七十周年記念表彰式……………六三三
 自治防空十周年記念式……………六三三
 全國「軍馬祭」中央式典……………六三三
 關門隧道開通式……………六三三
 兵制發布七十周年……………六三三
 大詔奉戴一周年……………六三三
 フインランド獨立廿五周年記念式……………六三三
 明野で軍神堂除幕式……………六三三
 日タイ攻守同盟記念祝賀會……………六三三
 ▲葬 儀
 酒井中將の葬儀……………六三三
 故前田大將の葬儀……………六三三
 ▲交通・運輸・通信
 敵國にある非抑留者との郵便取次開始……………六三三

一 本 建 に……………六三三
 全國各府縣に「健民地區」……………六三三
 ▲社 會 一 般
 軍人援護強化運動……………六三三
 大日本青少年團運動を強化……………六三三
 全國百貨店の賣場縮少……………六三三
 空襲時興業中止入場料處置……………六三三
 梵鐘供出と告別の鳴鐘……………六三三
 國民決意の標語當選決定……………六三三
 岡山縣下に豐富黒鉛鐵發見……………六三三
 高丘親王奉讀の夕……………六三三
 空襲時興業中止入場料處置……………六三三

社 會

▲社 會
 皇大神宮御本殿還御……………六三三
 忠魂神鎮る招魂式……………六三三
 靖國神社秋の例大祭……………六三三
 聖戰完遂祈願祭全國の神社で執行……………六三三
 東京府下一齊に祈願祭……………六三三
 ▲式 典
 東郷寺落成式……………六三三
 國鐵七十周年記念式典……………六三三
 養育院七十周年記念式典……………六三三
 公團七十周年記念表彰式……………六三三
 自治防空十周年記念式……………六三三
 全國「軍馬祭」中央式典……………六三三
 關門隧道開通式……………六三三
 兵制發布七十周年……………六三三
 大詔奉戴一周年……………六三三
 フインランド獨立廿五周年記念式……………六三三
 明野で軍神堂除幕式……………六三三
 日タイ攻守同盟記念祝賀會……………六三三
 ▲葬 儀
 酒井中將の葬儀……………六三三
 故前田大將の葬儀……………六三三
 ▲交通・運輸・通信
 敵國にある非抑留者との郵便取次開始……………六三三

社 會 一 般

▲社 會 一 般
 皇大神宮御本殿還御……………六三三
 忠魂神鎮る招魂式……………六三三
 靖國神社秋の例大祭……………六三三
 聖戰完遂祈願祭全國の神社で執行……………六三三
 東京府下一齊に祈願祭……………六三三
 ▲式 典
 東郷寺落成式……………六三三
 國鐵七十周年記念式典……………六三三
 養育院七十周年記念式典……………六三三
 公團七十周年記念表彰式……………六三三
 自治防空十周年記念式……………六三三
 全國「軍馬祭」中央式典……………六三三
 關門隧道開通式……………六三三
 兵制發布七十周年……………六三三
 大詔奉戴一周年……………六三三
 フインランド獨立廿五周年記念式……………六三三
 明野で軍神堂除幕式……………六三三
 日タイ攻守同盟記念祝賀會……………六三三
 ▲葬 儀
 酒井中將の葬儀……………六三三
 故前田大將の葬儀……………六三三
 ▲交通・運輸・通信
 敵國にある非抑留者との郵便取次開始……………六三三

ビルマとの電報取扱開始... 六四四
南方向郵便物地域擴大... 六六六
電報事務面電化... 六七九
亞留兩國向郵便物取扱再開... 六八〇

△有線放送
有線放送設備受付開始... 六五三
有線放送帝都にまづ實現... 六六五
△海洋筏
東京市の海洋筏も大成功... 六五三
海軍でも海洋筏に成功... 六六五

▲敬國仰留者關係
交換船鎌倉丸横濱に入港... 六三三
在米在留邦人の抑留及釋放
者名追加... 六三九
抑留邦人、釋放者、死亡者
氏名發表... 六八〇

▲東京府・市
東京市自和記念式舉行... 六三三
帝都の防空綜合訓練... 六三三
第二回親切感謝運動... 六四七
東京市の海洋筏も大成功... 六五三
大東京の親切週間終る... 六五三
東京市の青物登録制... 六五三

【檢 察】
十府縣に亘る鋼材の大闇... 六三三
「實とらず稲」の初違反... 六三三
隣組長、統制團體職員の越
權行為を處斷... 六三九
仲村貴族院議員起訴... 六六五
靜岡縣下の十七人殺傷事件... 六七〇
八萬五千圓強奪犯人逮捕... 六七〇
在滿邦人犯罪は本籍名簿に
登録... 六八二

【裁 判】
惡徳隣組長に判決... 六三三
三井相手に二十五年の撃争
和解... 六四八
平沼國務相暗殺圍有罪決定... 六五五

閣助長の警官に求刑よりも
嚴しい判決... 六五五
坂舟事件十年振りに解決... 六五九
仲村貴族院議員罰金の判決... 六六五
尾崎氏不敬事件結審... 六六六
黒部銅山事件判決... 六七〇
森田(福)代議士に當選無效
の言渡... 六八〇

笠井代議士選舉違反判決... 六八〇
尾崎行雄氏判決... 六八二
樺太疑獄判決... 六八二
當選無效の判決... 六八二

◇新判例
選舉違反に新判例... 六八三
公務員の金品受授に新判例... 六八三

災害
評論家清水氏遭難... 六六六
風水害
岐阜縣に突風... 六三三
△交通事故
箱根登山ケーブルカー激突... 六五九
東京急行、自動車に衝突... 六五三
山陽線で追突事故... 六六六

△船舶遭難
神戸丸と天山丸衝突沈没... 六五三
△火 災
熱海の大火... 六四八
山形の大火... 六五三
横濱に商船の火災... 六五九

【計】
古賀廉造氏... 六九六
北原白秋氏... 六九六
清浦奎吾伯... 六九六
野津鎮之助侯... 六五三
陸奥廣吉伯... 六五三
木村武山畫伯... 六九六
永地秀太畫伯... 六九六
宇佐美勝夫氏... 六八二

【一 般】
神宮競技場擴張工事成る... 六三三
學振地域支部發足... 六三三
體育會部會長、本部々長
決る... 六九六
學振六專門部會組織... 六九六
日本體育俱樂部發會... 六九六
早大體育會解散... 六九六
體育會幹部修練會... 六三三
體育人の體育行進... 六三三
女子體力章檢定實施... 六四〇
運動競技に依る偏狹を矯正... 六八一

【明治神宮國民練成大會】
總裁三笠宮殿下台階の下神
宮大會閉會... 六六四
神宮大會決勝成績... 六六一
神宮國民練成大會閉會式... 六四八
神宮大會優勝者... 六四八
第十二回神宮大會優勝額... 六八一

【球 技】
△野 球
六大學野球リーグ... 六三三・六三九
關西六大學野球... 六三三・六三九
東都大學野球... 六三三・六三九
法政山縣主將病歿... 六四九
日本野球巨人四連覇... 六三三
全國歐式野球決勝戦... 六三三
立教對關西野球... 六三三
三球團對抗戦五人制勝... 六六六
慶大歐式野球に制覇... 六六六

△庭 球
早慶對抗庭球定期戦... 六九六
學生庭球本年度順位... 六六一
東大、東商大定期庭球... 六三三

▲全日本庭球順位... 六八六
▲ラグビー
關東大學ラグビー... 六三三・六三九
早大對京大ラグビー... 六三三
立同ラグビー引分... 六三三
關西ラグビー京大を破る... 六四〇
東大ラグビー決勝... 六八二

▲鏝 球
關東學生鏝球リーグ... 六三三・六三九
關西學生鏝球最終日... 六五九
▲排 球
關東大學排球秋季戦... 六四九
排球東西對抗... 六八一

▲送 球
全國送球選手権... 六四六
日獨國際送球... 六四六
▲蹴 球
關東學生蹴球選手権... 六五九
關西學生蹴球選手権... 六五九
▲卓 球
全關東卓球早大優勝... 六五九
▲撞 球
全日本撞球三豫選手権... 六六六

▲陸上競技
陸上競技が陸上戦技に飛躍... 六三三
陸上競技一般陸上戦技... 六三三
山下君の遺骨歸る... 六三三
四社對抗陸上... 六三三
東京學生陸上... 六三三
陸上戦技から英語抹消... 六三三
京大對同大地上戦... 六六一
慶應陸上京大を破る... 六四九

▲馬 術
奧多摩驛傳... 六五三
東西對抗學生馬術... 六三三
東京馬術大會... 六三三
四大學馬術法政勝つ... 六三三
關西學生馬術に關學優勝... 六六六

【重 技】
▲拳 闘
青木、勝田を制す... 六三三
笹崎判定勝ち... 六三三
勝田判定勝ち... 六三三
堀口、海童に勝つ... 六三三
左右田判定で勝つ... 六三三
立教闘拳勝つ... 六三三
關東學生拳闘... 六三三
ゴステロ判定勝... 六八一
▲レスリング
早慶レスリング... 六三三
關東學生レスリング... 六三三

【武 道・相 撲】
武徳會役員決る... 六四九
▲相 撲
全國大學高專對抗相撲... 六三三
神宮奉納相撲双葉優勝... 六四九
安藝、照國に横綱免狀... 六四九
大相撲春場所は十日から... 六三三
▲弓 道
東日本學生弓道... 六三三
▲銃 劍 道
全國大學銃劍道... 六三三

▲劍 道
慶應劍道連覇... 六三三
關東學生聯合劍道... 六三三
官廳劍道に東鐵制覇... 六三三
【海洋競技】
中等學校教諭に海洋訓練... 六三三
▲水上競技
東西學生對抗水球... 六三三
▲漕 艇

- 全日本小艇選手権……………六三〇
- 學生櫓漕大會……………六六一
- 【冬季競技】
- ▲水上競技
- 高山型滑に優勝……………六五三
- 關東學生水球リーグ……………六六六
- 【その他】
- ▲自轉車
- 關東、關西對抗自轉車……………六三〇
- ▲山岳
- 學生山岳專門委員決る……………六四九

東 亞

- 大東亞戰爭一周年各地各記
- 念行事……………六六七

國民政府

- 【武漢更生四周年】
- 揚湖北省主席施政方針を闡明……………六六六
- 四周年祝賀式……………六六六
- 人口いまや百十六萬……………六六六
- 【日華基本條約締結一周年】
- 興亞宣傳週間開催……………六九七
- 南京の記念日……………六九七
- 中國在留邦人に告ぐ(重光大使)……………六九七
- 放送・談話……………六九七

政治・外交

- 米英の治法撤廢意味なし……………六三三
- 廣東華民代表宣言……………六三六
- 舊鐵道部廳舎を返還……………六四〇
- 任用資格審査委員會……………六四〇
- 春秋二期に孔子祭復活……………六四〇
- 新民會答禮使汪主席訪問……………六四四

- 防共協定參加一周年……………六五七
- 華中興亞資料調查所設置……………六六八
- 【大東亞省開設】
- 重光大使汪主席と懇談……………六六六
- 在華大使館の強力新陣容……………六六六
- 在上海諸機構も一元統合……………六六六
- 施策の強力推進に期待……………六六六
- 現地機構再編成を急ぐ……………六六六
- 上海大使館事務所の機構人事發表……………六六六
- ▲全支公館長會議開催……………六七四
- ▲人事・往來
- 青木國務相渡支……………六三三
- 行政院法制局長に胡蘭成氏……………六三三
- 汪主席南京歸還……………六三三
- 石渡氏國務院顧問就任……………六三三
- 林伯生氏歸任……………六三三
- 廣東市長に周應湘氏……………六三三
- 石渡氏の顧問發令……………六三三
- 汪主席武漢視察……………六三三
- 松井大將南京訪問……………六三三
- 重光大使歸任……………六三三
- ▲汪主席一行日本訪問……………六三三
- 汪主席南京歸着……………六三三
- ▲要人言説
- 汪主席新國民運動を説く……………六三三
- 好富情報部長放送、談話……………六三三
- 眞の解決は青少年教育に俟つ……………六三三
- 【再び國民に告ぐるの書】(汪主席稿)……………六三三
- 志生野中佐西北を曝く……………六三三

軍事・治安

- 武器讓渡式……………六三三
- 軍事委員會擴充近し……………六三三
- 汪主席中國空軍檢閲……………六三三
- 陸軍編練總監公署參謀長……………六三三
- 軍事機構改革關係法規近く……………六三三

- 公布……………六三三
- 軍機構陣容を一新……………六三三
- 國府軍獨立營廣州整備に……………六三三
- つく……………六三三
- 清郷地區の封鎖規定を統一……………六三三
- 南支方面海軍最高指揮官中……………六三三
- 國海軍視察……………六三三
- 首都周邊の警備軍創設……………六三三
- ▲【財政・經濟】
- 國債消化良好……………六三三
- 敵性不動産處理に關する軍……………六三三
- 布告……………六三三
- 綿糸布統稅率改正……………六三三
- 統稅行政機構を一元化……………六三三
- ▲【金融】
- 漢口周邊五十ヶ所で特別……………六三三
- 交換……………六三三
- 蘇浙皖三省に全面的舊法幣……………六三三
- 禁止……………六三三
- 未登記の銀錢業營業を停止……………六三三
- 武漢周邊五十一城市で全面……………六三三
- 交換……………六三三
- 鐵道運賃の儲備券建實施……………六三三
- 漢口周邊五十ヶ所で全面……………六三三
- 交換……………六三三
- 蘇浙皖三省で舊幣の所持……………六三三
- 禁止……………六三三
- 最後の交換辦法要綱決定……………六三三
- 武漢周邊地區通貨統一成る……………六三三
- 海南島に三火災保險進出……………六三三
- 廈門で新舊法幣特別交換……………六三三
- 邦人の舊法幣行使禁止……………六三三
- 中支振興投融資二億二千……………六三三
- 萬圓……………六三三
- 糧食庫券を發行……………六三三
- 廣東省、一月より儲備券……………六三三
- 本建……………六三三

- 軍管理七工場を返還……………六三三
- 第十回軍管理工場返還式……………六三三
- 浙贛線一部開通……………六三三
- 南京周邊の鑄物業資源調査……………六三三
- 清郷地區大豐作……………六三三
- ▲【配給】
- 中央物價對策委員會設立……………六三三
- 中央物價對策要綱成る……………六三三
- 武漢地區で重要物資登錄……………六三三
- 中支で米穀平價制を實施……………六三三
- 中華中煙草配給組合創立……………六三三
- ▲【社會・文化】
- 双十節行事に湧く南京……………六三三
- 中國大學教授協會大會……………六三三
- 南京中央大學に日本講座……………六三三
- 中日文化協會二周年記念……………六三三
- 大會……………六三三
- インド獨立聯盟上海支部結……………六三三
- 成式……………六三三
- 孫文銅像除幕式……………六三三
- 東洋一の木橋「豫東橋」完成……………六三三
- 金華放送局開設……………六三三
- ▲【上海】
- 大上海都市計畫案……………六三三
- 敵國人の短波ラジオ等押収……………六三三
- 上海興亞會創立總會……………六三三
- 非敵國人の眞正權利者財產……………六三三
- を保護……………六三三
- 工部局公文書に日本語採用……………六三三
- ▲【經濟】
- 全國保險管理局を上海に……………六三三
- 設置……………六三三
- 通惠保險有限公司創立……………六三三
- 衆業公所近く再開……………六三三
- 舊法幣表示債券の處理決定……………六三三
- 上海商議新役員決定……………六三三

- ▲【香港】
- 磯谷總督視察……………六三三
- ガ翁生誕記念祈禱式……………六三三
- 香港神社御造營近く竣工……………六三三
- 香港澳門間電信業務開始……………六三三
- 中繼地として香港を活用……………六三三
- 退去華僑八十八萬に上る……………六三三
- 磯谷總督視察……………六三三
- 初の區長會議……………六三三
- 比島間電報取扱所追加……………六三三
- 華民の獻金……………六三三
- 遭難華民に救恤金……………六三三
- 眞の東洋精神に還れ……………六三三
- 人口微減……………六三三
- ▲【財政・經濟】
- 香港復興の三方策……………六三三
- 機帆船建造に着手……………六三三
- 工業の復興進捗……………六三三
- 帆船貿易公司開業……………六三三
- 總督府納入金は軍票一本建……………六三三
- 敵性銀行の預金拂戻し打切……………六三三
- 一―三香港貿易協定……………六三三
- 華僑送金の一部許可……………六三三

華北政務委員會

- ▲【政治・一般】
- 大政翼贊機構近く確立……………六三三
- 青少年再編成……………六三三
- 王委員長歸任……………六三三
- 華北、省市長今議招集……………六三三
- 華北、省市長座談會開催……………六三三
- 林柏生氏來燕……………六三三
- 大東亞省設置反響……………六三三
- 北京外交街行政を樞軸側で……………六三三
- 掌握……………六三三
- 北京に新青年團結成……………六三三
- 學術文化審議會設置……………六三三

邢答禮使節一行北京入り 六五九
岡村指揮官冀東視察 六五九
華北の二周年記念行事 六五九
第一回華北建設青年會議 六六〇
華北初の公館長會議 六六〇
日本語教科書改訂 六六〇
治安の確立、物資の増産 六六〇
赤化防止に啓新院設立 六六〇
華北邦人翼賛體制運動展開 六六〇
厚生施設實現を促進 六六〇
北京市職制改革斷行 六六〇
建設總署督辦殷同氏逝去 六六〇
新太原建設第一期計畫 六六〇
汪主席華北訪問 六六〇
汪主席北京蒞 六六〇
岡村最高指揮官を訪問 六六〇
◆新 民 會
新民會全體聯合協議會開會 六六〇
新綱領制定 六六〇
汪主席特別講演 六六〇
全聯協議會終る 六六〇
新民會史編纂 六六〇
華北新民青少年團結進歩會 六六〇
新民會「民衆に告ぐるの書」發表 六六〇
新民會五周年 六六〇
勤勞服務運動を展開 六六〇
【軍事・治安】
華北第五次治安強化運動 六六〇
岡村最高指揮官前線視察 六六〇
治安軍人事異動 六六〇
海軍見習士官青島着 六六〇
中共、雁北工委覆滅 六六〇
共產黨安國貿易局覆滅 六六〇
北京地方治強協力委員會成立 六六〇
岡村北支軍最指揮官視察 六六〇
馬少佐歸順願出 六六〇
大同共產黨員に死刑 六六〇
山東の治安愈々強化 六六〇

◆社 會
華北治安軍に宣導局開設 六六〇
退しし華北の建設 六六〇
北支開發の事業 六六〇
第二回大陸聯絡會議開催 六六〇
山西省に大々的治水灌漑 六六〇
華北合作事業總會の躍進 六六〇
連雲港擴張工事始る 六六〇
華北合作事業組合の業績 六六〇
▲財 政・金 融
中國聯銀の本年上半期決算発表 六六〇
中國、交通兩行の現銀差押へ解除 六六〇
華北の中國、交通兩行再出發 六六〇
聯銀普通銀行業務を整理 六六〇
華北銀行整理完了 六六〇
生 産
英米トラス系四社新發足 六六〇
華北食糧増産對策を協議 六六〇
本年度華北出炭順調 六六〇
▲配 給
對中南支交易連絡會議 六六〇
森岡中將華北貿易總聯合會長 六六〇
華北中央物價協力會議官民懇談會 六六〇
主要食糧搬出入制限解除 六六〇
天津敵性店舖使用許可 六六〇
協力會議現狀調査に乗出す 六六〇
【社會・文化】
キリスト教團結成式 六六〇
前漢時代の古墳發掘に成功 六六〇
華北在住邦人四十萬突破 六六〇
全華北在住邦人擧げて獻血運動 六六〇
太原陷落五周年 六六〇
太行山脈中に一大佛蹟發見 六六〇
北京圖書館藏書復還 六六〇

▲一 般
故永久王御寫眞傳達式 六六〇
「蒙古城」獻納命名式 六六〇
生活科學調查隊歸る 六六〇
歸順匪團偽縣政府を覆滅 六六〇
蒙古會館建設 六六〇
宣化、大同兩省新設 六六〇
日首首腦部異動 六六〇
興亞文化同盟結成 六六〇
【財政・經濟】
輕工業振興統制要綱策定 六六〇
大樹灣の蒙古移民成功 六六〇
農產物増産實行計畫成る 六六〇
蒙古政府來年度豫算 六六〇
巴盟當局對敵經濟封鎖を緩和 六六〇
上半期對外貿易 六六〇
蒙古政府の稅收増大 六六〇
農產物増産網要を制定 六六〇
蒙疆興業宣化各爐出統 六六〇
龍烟鐵礦増産 六六〇
政府明年豫算 六六〇
政府營業所得稅創設 六六〇
▲官 廷
建國神廟嘗新祭の御儀 六六〇
警察官に叙勳 六六〇
建國神廟御造營地域決定 六六〇
▲政 治
國民勤勞奉公制度の組織 六六〇

▲全滿各省次長會議 六六〇
勤勞奉公法公布 六六〇
官界新體制 六六〇
張總理訓示 六六〇
滿洲國國民訓制定 六六〇
滿洲國基本國策大綱發表 六六〇
學生勤勞奉公令近く公布 六六〇
醫師法一部改正 六六〇
學生勤勞奉公令公布 六六〇
▲協和會成立十周年
十周年記念式典 六六〇
協和會會員大會 六六〇
協和會全體聯協議會 六六〇
▲人 事・往 來
華北王揖唐委員長訪滿 六六〇
李新外交部大臣着任 六六〇
武部長官歸任 六六〇
刑治安部大臣華北へ答禮 六六〇
滿洲國辭令 六六〇
▲防 日 國 軍 機 率 天 歸 着 六六〇
國境取締法を制定 六六〇
治安部に警察制度新設 六六〇
▲【社會・文化】
七萬一千恩赦に浴す 六六〇
訪滿學生機新着 六六〇
青少年團を擴充強化 六六〇
學生機奉天出發 六六〇
西安炭礦爆發 六六〇
漢代前の土城址發見 六六〇
滿洲國國寶大藏經の複製 六六〇
國通創立十周年式典 六六〇
日電電話連絡改善 六六〇
▲【一 般】
新産業統制法公布 六六〇
事業統制組合法公布 六六〇
▲【財政・金融】

▲增稅斷行 六六〇
▲新滿洲中央銀行法公布 六六〇
▲明年豫算 六六〇
▲本溪湖煤鐵新熔爐火入れ 六六〇
▲東遼道開發超特殊鋼の製造に成功 六六〇
▲十四礦物に探礦獎勵金 六六〇
▲第二松花江豐滿發電所貯水開始 六六〇
▲興農合作社明年度事業運營要項 六六〇
▲日本農民開拓團増産實行報國運動協議 六六〇
▲機械工業組合設立 六六〇
▲鏡泊湖水電全面的送電開始 六六〇
▲農產物大増産計畫 六六〇
▲華工の入滿數 六六〇
▲内國開拓第二期計畫要 六六〇
▲明年度開拓主要事業決定 六六〇
▲【配 給】
▲滿鐵輸送物資の増積實施 六六〇
▲第二回滿蒙貿易協定會議開催 六六〇
▲物價停止令一年延長 六六〇
▲【政 治】
▲【一 般】
▲「全國民に告ぐるの書」發表 六六〇
▲蔣、異黨派の會見を拒む 六六〇
▲總動員法實績上らず 六六〇
▲蔣、社會行政會議で泣くと六六〇
▲非國民黨諸派に強壓加重 六六〇
▲第三勢力結成運慶濃厚 六六〇
▲第三政治力結成運動再燃 六六〇
▲戰後問題の反響 六六〇

地方黨勢の強化 六六五
清黨運動を企圖 六六五
國家總動員會議を改組 六六五
抗戰首都重慶の現情 六六六
【治法撤廢問題】
法權撤廢を宣傳の用具に 六六六
使用 六六六
一切の不平等條約を廢棄 六六六
せよ 六六六
英、和も治外法權撤廢の空 六六六
手形 六六六
治外法權撤廢交渉開始 六六六

【國民參政會】
國民參政會大會無期延期か 六六五
國民參政會開會 六六五
經濟問題で激論 六六五
參政會の主要議題 六六五
物價問題に討議集中 六六五
蔣協力を推演 六六五
物資物價統制案發表 六六五
經濟動員參進會設置 六六五
國民參政會閉幕 六六五

【十中全會】
十中全會開催 六六五
會議紛糾 六六五
戰時財政健全化案 六六五
宣言文發表 六六五
總決算 六六五
決議事項 六六五
十中全會の四問題 六六五

▲人事・往來
顧維鈞歸國 六六五
宋子文重慶着 六六五
邵力子重慶へ 六六五
宋近く英ノを訪問 六六五
邵力子重慶に歸着 六六五
宋美齡入院 六六五
董宣傳副部長紐育着 六六五
重慶人事異動 六六五
劉建緒を重慶で留置 六六五

宋美齡近く英國訪問 六六六
宋美齡訪米目的 六六六
雲南省主席に關麟徵へ 六六六
龍雲軍事參議院副院長へ 六六六
駐日公使蔣作賓死去 六六六
何應欽を駐印重慶軍總司令 六六六
任命 六六六
商震印度より重慶歸還 六六六
胡世澤重慶着任 六六六
馬步青ツアイダム入り 六六六
【國共關係】
反蔣共匪農軍隊勢力増大 六六六
余、李衝突の危機 六六六
武漢周邊の國共衝突 六六六
廣東省内で國共衝突 六六六
蔣在新疆中共幹部の撤退 六六六
通告 六六六
中共派閥の實相 六六六

外 交
輸血路開拓要求に英糊塗策 六六六
最高聯合國委員會主唱 六六六
ラチモア重慶着 六六六
ガデーアン紙元特派員重 六六六
慶顧問に 六六六
ソ聯重慶大使歸國 六六六
ソ聯大使モスクワへ 六六六
ラチモア歸米戰時情報局香 六六六
港支局長へ 六六六
伯、重慶通商交渉 六六六
米大統領親書討議 六六六
キニバ友好條約妥協か 六六六
英使節團蔣と會見 六六六
外人の行動取締 六六六
英の桐喝に釋明 六六六
諸新公使重慶着 六六六
英使節團我が猛砲火に驚愕 六六六
米國間に無線電話、寫眞 六六六
電送 六六六
西南地區に新關心 六六六

【ウイスキー暗躍】
會談、視察に多忙 六六六
蔣と長時間相談 六六六
米軍首腦と協議 六六六
重慶の缺陷を指摘 六六六
太平洋攻勢を説く 六六六
重慶、米政府の言明に狼狽 六六六
ル大統領の態度に不満 六六六
孔、要求書手交 六六六
西安で蔣軍視察 六六六
成都出發歸國 六六六

軍 事
第一戰區内將領對立激化 六六六
西安で將領會議 六六六
國防最高委員會擴大會議 六六六
開催 六六六
米、古飛行機を重慶へ 六六六
英印特使重慶訪問 六六六
米無電士昆明着 六六六
兵員補充の窮餘策に民衆 六六六
恐慌 六六六
兵役政策に躍起 六六六
蔣、社會行政會議で泣ごと 六六六
印度政廳連絡將校重慶着 六六六
米人造兵技師を重慶派遣 六六六

重慶英軍事代表團長更迭 六六六
空軍再建に狂奔 六六六
窮餘の佛印率制作戰企圖 六六六
駐印重慶軍六ヶ師増強を 六六六
計畫 六六六
各戰區に軍需獨立案を實施 六六六
冬季總反抗を指令 六六六
桂林に飛行製作廠 六六六
兵員補充に學生を強制驅 六六六
立下傘部隊編成 六六六
空軍増強に躍起 六六六
桂林で米空軍飛行士襲撃 六六六

事件 六六六
福建の對日軍事基地強化を 六六六
計畫 六六六
在米華僑徵兵に重慶反動 六六六
米に對空襲を泣訴 六六六
ビルマ奪回を煽る 六六六
空軍基地整備協議 六六六
西康省軍事建設を協議 六六六
米、英、蔣、ビルマ奪還を 六六六
策謀 六六六
第七戰區の改編企圖 六六六

財 政・經 濟
【西北開發】
國民黨秘書長長廣告 六六六
雲南ビルマ鐵道建設計畫 六六六
中共の籠絡を計る 六六六
西北開發の難點 六六六
三省の罹災民を移送 六六六
蔣、共軍懷柔に躍起 六六六
西北工業視察團大軍 六六六
西北建設工作の概況 六六六
工作妨害に中共暗躍 六六六
輿地工場を分散 六六六
西北開發に躍起 六六六
西北開發十ヶ年計畫 六六六
西北開發に痛論 六六六
西北地區黨政軍連席會議 六六六
西北灌漑局設置案可決 六六六
新疆省に關金券 六六六
西北工業化を宣傳 六六六
綏遠省の合作事業 六六六
西北鑿井計畫を樹立 六六六
棉花の強制買上げに乗出す 六六六
通信強化に狂奔 六六六
開發に特殊機關設置 六六六
合作事業は縮小の一途 六六六
流民も開發に利用 六六六
西北工業考察團新疆へ 六六六

【生 産】
食糧増産に躍起 六六六
本年度米穀收穫高 六六六
石炭液化を策す 六六六
産業十年計畫で抗戰を夢む 六六六
冬耕の擴大に大軍 六六六
輿地工業合作事業不振 六六六
桐油からガソリン製出 六六六
昨年度四川省の生糸生産 六六六

【金 融】
錢莊、銀錢業者が貸付停止 六六六
銀行研究院も創設 六六六
避難華僑の外國爲替多額 六六六
法幣發行高過少に宣傳 六六六
蒙疆、山西にも關金券使用 六六六
新紙幣五千萬圓發行 六六六
來年度の戰時儲蓄目標三十 六六六
億元 六六六
合作社協會へ六千萬圓融資 六六六
宋子文中國銀行董事長辭任 六六六
滙豐、麥加利兩行重慶支店 六六六
設置 六六六

【財 政】
戰時公債消化週間 六六六
公債を強制割當 六六六
自治捐廢止 六六六
搬入物資に消費稅免除 六六六
全國直接稅會議開く 六六六
明年度豫算 六六六
全公債實行不振 六六六
土地公債一億元發行 六六六

不振……………六八六
冬耕擴大辦法公布……………六八六
浙江、江西の復舊工場を
徵用……………六八六
製鋼設備完成を宣傳……………六八六
食糧増産を誘示……………六八六
四川に富鐵鑛發見……………六八六

【配給】
偽名政府權政の深刻化に
惱む……………六八六
偽廣東省政府砂糖に惱む……………六八六
物價事變前の五十倍……………六八六
燃料統制委員會を設置……………六八六
延安の物資窮乏深刻化……………六八六
本年上期の輸出六百萬弗……………六八六
湖北省に物々交換と配給
制度……………六八六
わが占領地への流出防止に
躍起……………六八六

大公報物價對策を非難……………六八六
國民黨物價統制に躍起……………六八六
物價統制強化方策實施……………六八六
米記者の見た重慶の物價
暴騰……………六八六
經濟動員策進會成立……………六八六
物價統制強化……………六八六
公定貨銀制實施……………六八六

大公報の擲論……………六八六
歸國華僑重慶を怨嗟……………六八六
華僑吸引に躍起……………六八六
陝西の狀況……………六八六
陝西北部に大水……………六八六
民衆暴動各所に勃發……………六八六
大疑獄事件發生……………六八六
四川、西康省の飢饉……………六八六
河南省の水害狀況……………六八六

社會・文化

南方諸國

佛 印

商業者に登記制……………六八六
タングステン鑛特別稅廢止……………六八六
北部佛印に肉類制限……………六八六
佛印、マダガスカル間聯絡
杜絶……………六八六
安南人の綜合雜誌創立……………六八六
小賣業に登記制……………六八六
國民義勇隊大會……………六八六
經濟財政會議開催……………六八六
印度支那經濟會議發會式……………六八六
カンボヂヤ國王降誕祭……………六八六
米機、ハイフォンを盲爆……………六八六
總督府の人事異動……………六八六
ブノンペン見本市終了……………六八六
ドクイ總督サイゴン滞在……………六八六
公債の發行限度引上げ……………六八六
經濟財政會議開催……………六八六
見本市博覽會開く……………六八六
法定時間を一時間早める……………六八六

【本國異動】
獨軍進駐に平靜……………六八六
ドクイ佛印總督布告發す……………六八六
「率直なる對日協力を實踐」……………六八六
ドクイ再聲明……………六八六
芳澤、ドクイ正式會談……………六八六
佛主席及び植民相ドクイ布
告を稱揚……………六八六
ド・ゴール、ダルラン派を
檢舉……………六八六
交趾支那長官本國支持聲明……………六八六
ドクイ總督、佛印艦隊に
應ふ……………六八六
佛東洋艦隊旗幟半旗を掲ぐ……………六八六
飽までベタン支持……………六八六
海軍の忠誠に信賴……………六八六

ダルラン暗殺に冷靜……………六八六
【對日關係】
大使府審議會開催……………六八六
南洋學院十一月初旬開校……………六八六
義田總領事佛印經濟局長と
會談……………六八六
橫山氏大使府顧問に就任……………六八六
對佛印政策における第一歩……………六八六
對日輸出機構整備……………六八六
佛印親善の新しい茶の會……………六八六
對日佛印關係更に緊密化せん……………六八六
曉神社鎮座祭……………六八六
日佛印關係更に緊密化せん……………六八六
芳澤大使歸朝延期……………六八六
日本側の好意に感謝……………六八六
内山公使離任……………六八六
義田總領事經濟部長就任……………六八六
内山側使に安南最高勳章……………六八六
南洋學院長らサイゴン到着……………六八六
栗山事務總長ハノイ歸任……………六八六
文化協定締結の用意あり……………六八六
芳澤大使に對する非禮事件
圓滿解決……………六八六
▲日佛印經濟交渉
日佛印協定の第一回會談……………六八六
栗山事務總長折衝開始……………六八六
芳澤、ドクイ第二次會談……………六八六
芳澤大使東上……………六八六

新無任所大臣任命……………六八六
明年年度豫算……………六八六
泰駐華大使館設置か……………六八六
鄭滿洲國公使バンコック着……………六八六
憲法發布十周年……………六八六
職員任期延長公布……………六八六
中央銀行開行……………六八六
家畜類を増産……………六八六
タイ、佛印親善關係深まる……………六八六
新中央銀行に通貨局……………六八六
滿洲國公使館開館……………六八六

女子士官學校開校……………六八六
【對日關係】
軍事郵便、鐵道運賃協定
成立……………六八六
日泰文化協定へ期待……………六八六
坪上大使聖旨を傳達……………六八六
寺内大將の水害救恤品手交……………六八六
東京、上海へ商務官……………六八六
首相、坪上大使訪問……………六八六
守屋武官ビーン首相を訪問……………六八六
日泰關係ゆるぎなし……………六八六
日泰同盟成立一周年式典……………六八六
日泰文化協定批准書交換
完了……………六八六
泰文相抱負を語る……………六八六

【軍政・建設】
行政機關派遣團各地で活躍……………六八六
宣傳部長放送……………六八六
ハ・モ長官初放送……………六八六
幹部候補生を初査閲……………六八六
電信業務整備近し……………六八六
政府代表敵側デマ粉碎……………六八六
オンサン大佐防衛軍に訓示……………六八六
交通通信機關回復著し……………六八六
ラングーンに大學講座開設……………六八六
ビルマの建設風景……………六八六
物資配給組合本格的に活動……………六八六
三大政黨解消……………六八六
當面の復興事業計畫……………六八六
ハ・モ長官候補生を激勵……………六八六
新時代記念塔建立……………六八六
教育、保健、市政躍進……………六八六
新聯盟會員申込殺到……………六八六
青年の躍起要望……………六八六
「われ等前進あるのみ」……………六八六
ハ・モ長官インド向け放送……………六八六
ビルマ防衛軍の會……………六八六
内務長官にタキン・ミヤ氏……………六八六

【對日關係】
シャーン州土侯全面協力を
表明……………六八六
樞軸記者團ハ・モ長官と
會見……………六八六
【財政・經濟】
商工會議所設立……………六八六
貨幣調整完了……………六八六
棉産二倍に増産……………六八六
工業振興計畫促進……………六八六
ビルマの財政政策……………六八六
庶民銀行業績好調……………六八六
【一般】
「秋の火祭」で大賑ひ……………六八六
ラングーンで華僑大會……………六八六
華僑重慶へ反省通電……………六八六
南太平洋海戰反響……………六八六
ビルマ奪回宣傳を擲論……………六八六
ビルマ版「日本小史」近く
發刊……………六八六
ラングーン日本人會創立……………六八六
復歸邦人に對する融愛要綱……………六八六
對日滿支電報取扱擴張……………六八六
寺内大將ビルマ戰經驗談……………六八六
ラングーンで日緬戰歿者慰
靈祭……………六八六

【一般】
インド代表を米に派遣……………六八六
シンド州首相辭任……………六八六
英側各派合同會議に提唱……………六八六
カルカッタの大火死傷者
多數……………六八六
印度旋風の被害……………六八六
タタ工場總罷業の實狀……………六八六
印度に大旋風……………六八六
印度總督留任に失望……………六八六
ボンベイ州知事の後任……………六八六
内政の危機を認む……………六八六

印度

遣印特使ニユーデリー着 六三三
パンジャブ首相急逝 六三三

▲食糧暴動
食糧暴動激化 六三六
深刻な印度の食糧難 六三六
食糧不足悪化 六三七
政廳食糧對策 六三八
食糧問題の危機を警告 六三九
政廳食糧會議 六四〇
印度經濟會議開く 六四一

▲軍 事
國防力の現状報告 六四二
重、英軍事會談 六四三
スチルウェル印度で活躍 六四四
ウエーヴェル、罷卓英會見 六四五
印度防衛に汲々 六四六
ベンゴール州十萬人徵募案 六四七
可決 六四八
敵軍戦々 六四九
セイロン島の空軍司令官 六五〇
スチルウェル印度へ 六五一
ウエーヴェル、セイロンを 六五二
視察 六五三
ビルマ國境警戒を布告 六五四
チッタゴンに視察團派遣 六五五
ボンベイに水雷學校 六五五
カルカッタ爆撃に當局大 六五五
狼狽 六五五
印緬國境に封鎖線設定 六五五

▲財政・經濟
英の公債募集を痛撃 六五七
援將物資輸送不如意 六五八
銀貨改鑄決定 六五九
インフレーション進行で銀 六六〇
塊昂騰 六六〇
銀塊退蔵顯著 六六〇
▲獨立問題
印度獨立聯盟員放逐 六六〇
ヒンズー、マハサバ黨の決 六六〇
議招請 六六〇

ジナナー、パキスタン計畫 六三三
固執 六三三
反ガンジー派の兩巨頭會見 六三六
回印提攜運動一頓挫 六三六
全印各派會議を提唱 六三七
反英感情更に激化 六三八
インド總督の権限縮少を 六三九
要求 六三九
印度自由聯盟討英決議 六四〇
回教徒、總督の宣傳に不満 六四〇
ヒンズー、マハサバ年次 六四一
大會 六四二
セイロン島獨立要求 六四三
▲各地騷擾
暴動民衆の死者七百廿一名 六四八
アメリカ、インド騷擾死傷 六四八
者數發表 六四八
▲各地の騷擾
インド官吏の死傷者 六五〇
各地の騷擾 六五〇
ガンヂー秘書の死亡で暴動 六五〇
▲彈 壓
ナイツ夫人の娘も逮捕 六五二
ブリーナで夜間外出禁止 六五二
ボンベイで一斉檢舉 六五二
ガンヂー夫人死亡説公式 六五二
否定 六五二
▲「國境のガンヂー」逮捕 六五二
フレ族の逮捕三千名に達す 六五二
インド青少年に重刑 六五二
パテルの令息逮捕 六五二

▲一 般
マレーの交通行政本格化 六四四
復歸邦人に更生資金 六四九
マレー司法組織確立に着手 六五〇
昭南、マレーの衛生陣完備 六五〇
敵産處理状況 六五三
鐵道總局設置 六五三

▲マライ・スマトラ
マレーの交通行政本格化 六四四
復歸邦人に更生資金 六四九
マレー司法組織確立に着手 六五〇
昭南、マレーの衛生陣完備 六五〇
敵産處理状況 六五三
鐵道總局設置 六五三

ベラワン港復舊工事竣工 六六〇
廿四橋梁修築成る 六六〇
昭南軍政盟部八外局の現状 六六〇
▲財政・經濟
内地の農業技術導入 六六二
マレーで取引税を創設 六六二
沈船引揚協會設立 六六二
マレー軍政豫算編成大綱 六六二
成る 六六二
通貨交換規定實施 六六二
南方特産のデリス根を増産 六六二
南方特殊資源第一回調査 六六二
マレー正金支店網完成 六六二

▲昭南島
▲軍 政
現地智識人續々就職 六六二
昭南に工業學校開設 六六二
昭南醫師衛生協會設立 六六二
昭南郵便取扱擴大 六六二
知識階級失業問題解決 六六二
昭南島に日本人會社結成 六六二
▲經濟・建設
昭南配給組合結成 六六二
昭南港灣會社創立 六六二
昭南華商銀行預金支拂限度 六六二
引上 六六二
爆沈敵船見事に引揚ぐ 六六二
昭南で金貨業に許可制實施 六六二
昭南物資配給組合設立 六六二
昭南で企業取締令公布 六六二
▲社會・文化
昭南歐亞人厚生協會活躍 六六二
二葉亭四迷の墓碑改裝 六六二
原地人教師の待遇改善 六六二
▲スマトラ
スマトラ棉花増産五ヶ年 六六二
計畫 六六二
北部スマトラ長官會議 六六二
スマトラ瑞穂學園學生集 六六二

▲政 治
ルセナ、アリクボイ間鐵道 六六二
一般營業 六六二
大マニラ市に新區制 六六二
ヴアルガス長官、共榮圈を 六六二
論ず 六六二
「勤勞犧牲の精神を振起せ 六六二
よ」 六六二
政黨實質的に解消 六六二
比島行政機關長官級異動 六六二
マニラ市農事金融局を設立 六六二
比島の新組織注目 六六二
銀行存續期限一ヶ年延長 六六二
▲社會・文化
インド獨立達成大會 六六二
公立小學校續々開校 六六二
萬歲橋の橋樑完成 六六二
比島の米文化は表面だけ 六六二
ルソン島中南部の颯風 六六二
志士の日 六六二
敗殘米兵スベイン人を虐殺 六六二
「深夜彌撒」許可 六六二
國祭リサール記念式典 六六二

▲對日關係
第一回離陸將兵宣誓式 六六二
バギオ地區の宣教師釋放 六六二
軍律違反者を死刑 六六二
マニラに官民連絡所設置 六六二
ダバオの俘虜第二次假解決 六六二
派閥を解消再建に邁進せよ 六六二
官吏訓練所第一期生入所式 六六二
田中最高指揮官ルソン南部 六六二
巡視 六六二
反日放送犯人を死刑 六六二
二無電局再開 六六二

▲比 島
立つ 六六二
田中最高指揮官中部ルソン 六六二
島視察 六六二
本年度軍政の運用方針 六六二
日本人會長會議 六六二
▲經濟・建設
ダバオ郵便局再開 六六二
各都市間の公衆電報取扱 六六二
海運組合を設立 六六二
海運組合業務開始 六六二
新聞雜誌島外郵送を許可 六六二
交通通信殆んど復舊 六六二
列車運轉回数を増加 六六二
セブ市に通信局新設 六六二
浮船渠デーヴィーの誕生 六六二
ルソン島南部鐵道營業開始 六六二
▲財政・金融
八保險會社に營業許可 六六二
未再開四銀行の内容調査 六六二
輸出品歩合稅賦課 六六二
全土に貯蓄を擴大 六六二
敵性銀行第一回預金拂戻 六六二
産業資金は開發金庫で賄ふ 六六二
國立銀の代理店再開 六六二
▲生 産
苧麻、黃麻の増産五ヶ年 六六二
計畫 六六二
米自給の見透し付く 六六二
田町博士等比島水利狀況 六六二
調査 六六二
米穀生産者組合組織を計畫 六六二
棉花増産計畫試作成功 六六二
麻袋製造會社設立を計畫 六六二
苛性曹達増産 六六二
南、中、北部に棉花試作圃 六六二
ルソン島の棉花植付一萬四 六六二
千町歩 六六二
コパル増産策成る 六六二
△配 給
棉收買價格發表 六六二
香港、比島間物資交流取極 六六二

獨軍新型爆彈使用…………… 六三三
 長期戦は獨に有利…………… 六三三
 軍司令部公報…………… 六三〇
 陸軍徵戒法改正…………… 六三〇
 ラムケ將軍に鐵十字章…………… 六二二
 陸軍參謀總長更迭…………… 六二二
 新型輸送機…………… 六二四
 樞軸軍飽くまで攻勢…………… 六二四
 捕虜取扱につき回答…………… 六二五
 △佛非占領地進駐…………… 六二五
 ヒ總統聲明書全文…………… 六二五
 ヒトラー總統書翰全文…………… 六二五
 外務省事情を説明…………… 六二五
 反樞軸軍の希望の判斷…………… 六二五

【經濟】

獨芬物資供給協定…………… 六二九
 戰時貯蓄狀況…………… 六二九
 生活必需品生産統制實施…………… 六二九
 起債額…………… 六二九
 夏季時間を廢止…………… 六二九
 勞働給付賃銀制度確立…………… 六二九
 産業合理化進む…………… 六二九
 公債消化良好…………… 六二九
 瑞典と貿易會談…………… 六二九
 第四回衣料切符配付…………… 六二九
 ソ聯勞働者を導入…………… 六二九
 經濟相、企業家の責任自覺…………… 六二九
 を強調…………… 六二九
 新農業計畫…………… 六二九
 東方占領地に專賣權法令を…………… 六二九
 公布…………… 六二九
 フイツ東亞銀行を設立…………… 六二九
 通商政策の新動向…………… 六二九
 ウクライナに織維統制機關六二九

【對外關係】

△通商協定…………… 六二九
 勃と通商協定調印…………… 六二九
 獨、伊通商協定調印…………… 六二九
 獨、瑞通商協定調印…………… 六二九
 ▲對日…………… 六二九

新戰果發表を期待…………… 六二九
 完全に諒解…………… 六二九
 快報に獨國民湧く…………… 六二九
 帝國の態度を全幅的に支持…………… 六二九
 ▲對佛…………… 六二九
 ヲヴァル聲明に好感…………… 六二九
 ラヴン主席に對する書翰…………… 六二九
 對佛方針を闡明…………… 六二九
 ダルラン暗殺事件反響…………… 六二九
 ▲對敵國…………… 六二九
 重要問題に言及を回避…………… 六二九
 リベリヤ進駐を攻撃…………… 六二九
 聯合國は同床異夢(ケツペ…………… 六二九
 ルス論ず)…………… 六二九
 英國のデマを粉砕…………… 六二九
 米政府の強辯は笑止…………… 六二九
 英國の後續を狙ふ米國…………… 六二九
 ▲其 他…………… 六二九
 領土侵犯黙認を非難…………… 六二九
 駐西大使更迭か…………… 六二九

イタリヤ

國民意氣軒昂…………… 六二九
 特赦令公布…………… 六二九
 皇帝ゼノア御訪問…………… 六二九
 首相國民を激勵…………… 六二九
 政府緊急開議…………… 六二九
 戰爭前途決議を採擇…………… 六二九
 婦女子の退避勸告…………… 六二九
 産業總動員…………… 六二九
 無任所相を任命…………… 六二九
 フアシスト黨執行委員會…………… 六二九
 改組…………… 六二九
 ナポリから兒童引揚げ…………… 六二九
 ナアノ伯ら歸國…………… 六二九
 ▲ローマ進軍二十周年…………… 六二九
 社會政策を強化…………… 六二九
 勞働者待遇改善新政策…………… 六二九
 黨全國評議會開催…………… 六二九

ローマ進軍記念日…………… 六二九
 記念日に絶好の贈物…………… 六二九
 ▲軍 事…………… 六二九
 グロツシ大佐に殊勳章…………… 六二九
 伊國海軍の全容…………… 六二九
 軍首腦昇進…………… 六二九
 ム首相軍首腦引見…………… 六二九
 ム首相職局概觀の獅子吼…………… 六二九
 チュニジア在住イタリヤ人…………… 六二九
 を軍隊に編入…………… 六二九

【經濟】

政府食糧の割當を増加…………… 六二九
 休閑地を開墾…………… 六二九
 衣料切符第二年度…………… 六二九
 生糸統制令公布…………… 六二九
 株價抑制策…………… 六二九

【對外關係】

▲對日…………… 六二九
 南太平洋戰々果反響…………… 六二九
 堀切大使謁見…………… 六二九
 皇帝陛下より御親電…………… 六二九
 ▲對獨…………… 六二九
 ヒムラー氏ローマへ…………… 六二九
 獨文相と會見…………… 六二九
 ライ博士ム首相と會談…………… 六二九
 樞軸小麥協定…………… 六二九
 樞軸兩國の通商關係…………… 六二九
 ▲對敵國…………… 六二九
 リベリア進駐を論難…………… 六二九
 伊軍英佛の宣傳を嗤笑…………… 六二九
 米の行動は國際法否認…………… 六二九
 無防備都市爆撃の暴舉…………… 六二九
 敵國デマ宣傳調べ…………… 六二九
 英ソ密約を曝露…………… 六二九
 ▲其 他…………… 六二九
 スイスと僞替協定…………… 六二九
 伊、土兩國の通商交渉…………… 六二九
 ダルラン事件反響…………… 六二九

法 王 廳

重慶も使節…………… 六二九
 空襲對策に苦慮…………… 六二九
 スベイン大使法王と會談…………… 六二九
 法王國際放送…………… 六二九

フ ラ ン ス

政府、樞軸艦隊援助説否定…………… 六二九
 空爆犠牲者葬儀…………… 六二九
 ド・プリノン、ヴィシーへ…………… 六二九
 プラトン提督歸還…………… 六二九
 政府連日協議…………… 六二九
 宣傳機構改組…………… 六二九
 義勇軍を組織…………… 六二九
 アフリアル提督を艦隊司令官に…………… 六二九
 閣取引に嚴罰主義…………… 六二九
 國內革新斷行を要望…………… 六二九
 軍隊解體を準備…………… 六二九
 各縣に司政會議を設置…………… 六二九
 パリで協議…………… 六二九
 政府の方針決定…………… 六二九
 政府惡質宣傳に一矢…………… 六二九
 總督の權限の接收…………… 六二九
 租稅收入増加…………… 六二九
 ▲叛逆者・不逞分子…………… 六二九
 元首相エリオ軟禁さる…………… 六二九
 パリー映畫館で爆彈事件…………… 六二九
 各地で爆彈騒ぎ…………… 六二九
 タニシエ免軍軍法會議…………… 六二九
 外交官罷免…………… 六二九
 國籍を褫奪…………… 六二九
 更に叛逆者の國籍を剝奪…………… 六二九
 特別裁判所を開設…………… 六二九
 叛逆分子を逮捕…………… 六二九
 裏切り分子の國籍剝奪…………… 六二九
 不逞分子一齊檢舉…………… 六二九
 老元帥嚴重布告…………… 六二九

不逞分子を一齊檢舉…………… 六二九
 ▲ユダヤ人關係…………… 六二九
 ユダヤ人取締令を公布…………… 六二九
 ユダヤ人取締強化…………… 六二九
 ▲ダカール關係…………… 六二九
 陸相國民に警告…………… 六二九
 政府防衛につき聲明か…………… 六二九
 ダカール防衛の決意表明…………… 六二九
 當局聲明を避く…………… 六二九
 ▲米軍佛領侵略…………… 六二九
 對米國交斷絶…………… 六二九
 米英利益代表にスイス…………… 六二九
 ウエーガン將軍ヴィシー着…………… 六二九
 佛瑞國境閉鎖…………… 六二九
 米人記者抑留…………… 六二九
 ベタン元帥三軍を指揮…………… 六二九
 首腦議…………… 六二九
 佛領アフリカとの海上連絡…………… 六二九
 杜絶…………… 六二九
 ベタン主席國民を激勵…………… 六二九
 ドリオ、宣戰を要求…………… 六二九
 海軍の現勢…………… 六二九
 ▲フランス艦隊…………… 六二九
 艦隊最後の日…………… 六二九
 自沈艦艇の引揚げを考慮…………… 六二九
 艦隊一部健在…………… 六二九
 ▲ラヴアル首相…………… 六二九
 歸任報告…………… 六二九
 協議を開始…………… 六二九
 對獨協調を力説…………… 六二九
 ヴィシーへ…………… 六二九
 聲明…………… 六二九
 ▲ベタン首席…………… 六二九
 教會代表と協議…………… 六二九
 西阿に呼びかか…………… 六二九
 總統に答ふ…………… 六二九
 國民を激勵…………… 六二九
 ▲ダルラン提督…………… 六二九
 北阿司令官と協議…………… 六二九

【獨・伊軍進駐】

- 歸還……………六三六二
- ▲政 府……………六三六二
- 四巨頭會談……………六三六二
- 政府連日擬議……………六三六二
- 政府の決定發表……………六三六二
- 内閣強化……………六三六二
- 對樞軸提擧を強調……………六三六二
- パリに遷都か……………六三六二
- 飽迄抗戦を指令……………六三六二
- 米政府に抗議か……………六三六二
- ▲樞軸軍進駐……………六三六二
- 空から總統の聲明を撒布……………六三六二
- 政府警察當局に指令……………六三六二
- 朝野獨軍に協力……………六三六二
- 佛商船に待避命令……………六三六二
- 休戦協定に變りなし……………六三六二
- ツィロン軍港「特別區域」に……………六三六二
- なる……………六三六二
- フランス艦隊健在……………六三六二
- 亞港佛艦隊協力を拒否……………六三六二
- ▲ダラン・ジロー叛逆……………六三六二
- ジローの叛逆を攻撃……………六三六二
- ペタン主席ダランを難詰……………六三六二
- ▲國內情勢……………六三六二
- 民衆獨軍を歓迎……………六三六二
- パリ紙獨軍進駐を歓迎……………六三六二
- 團結の必要を説く……………六三六二
- ツィロン不進駐に好感……………六三六二
- ドリオ氏復活の機運……………六三六二
- ペタン元帥を支持せよ……………六三六二
- 二股政策を論難……………六三六二

▲對 獨

- ▲對 獨……………六三六二
- 掘切大使パリへ……………六三六二
- 千葉參事官ウイシーへ……………六三六二
- 千葉參事官着任……………六三六二
- 大東亞省佛紙反響……………六三六二
- 三谷大使、首相を訪問……………六三六二

▲對外關係

- ▲對外關係……………六三六二
- 對獨協力を要望……………六三六二
- ウイシー對獨協調策を強化……………六三六二
- 獨佛代表協議……………六三六二
- 勞働者續々ドイツへ……………六三六二
- ▲對英米……………六三六二
- 英機の非占領地爆撃を非難……………六三六二
- 國民、英空軍暴狀に憤激……………六三六二
- 米英兩國人を抑留……………六三六二
- 米武官の策動暴露……………六三六二
- 對英米宣戰を要求……………六三六二
- 英軍ニ島總督を逮捕護送……………六三六二
- 英軍の佛領ソマリランド侵……………六三六二
- 入に憤激……………六三六二
- ▲其 他……………六三六二
- スペイン大使ウイシーへ……………六三六二

ソ 聯 邦

- 赤軍政治委員廢止……………六三六二
- ス市赤軍に悲壯なメッセ……………六三六二
- 石炭飢饉激化……………六三六二
- 極東漁業成績良好……………六三六二
- 國防人民委員部強化の意義……………六三六二
- 軍事委員大學廢止……………六三六二
- 海軍政治委員廢止……………六三六二
- 國防人員委員部首腦増員……………六三六二
- 航空物理學者死去……………六三六二
- カリニン食糧危機を説く……………六三六二
- 革命記念日スローガン……………六三六二
- 學校教練……………六三六二
- シベリヤ開發に集團移民……………六三六二
- 礦物増産に必死……………六三六二
- 南ウラル地方の經濟建設……………六三六二
- スタリリン革命記念日演説……………六三六二
- 新「チエカ」を創設……………六三六二
- 「休戦申込云々」をソ聯側……………六三六二
- 否定……………六三六二
- 嚴肅な革命記念日……………六三六二
- 統後肅清……………六三六二

▲對外關係

- ▲對外關係……………六三六二
- 對聯合國……………六三六二
- 赤軍機關紙聯合國で一矢……………六三六二
- ブラウダ聯合國の責務履行……………六三六二
- を要望……………六三六二
- ソ紙漫畫、米英を皮肉る……………六三六二
- 米特使モスクワへ……………六三六二
- ▲其 他……………六三六二
- 重慶大使モロトフと會見……………六三六二
- メキシコと大使を交換……………六三六二
- 濠公使モスクワへ……………六三六二

ス ペ イ ン

- ▲其 他……………六三六二
- 駐西英大使歸任……………六三六二
- 政府反駁……………六三六二
- 政府協議……………六三六二
- 政情緊張……………六三六二
- 政府中立決意……………六三六二
- フランへ黨改組……………六三六二
- 國軍動員……………六三六二
- 共産黨員逮捕……………六三六二
- 軍需工業動員令公布……………六三六二
- 佛潜水艦を抑留……………六三六二
- 自由主義世界去る……………六三六二
- 軍司令官更迭……………六三六二

ジ ブ ラ ル タ ル

- ジブラルタル緊張……………六三六二
- 戦死傷者五萬入港……………六三六二
- 大破艦艇入港……………六三六二
- 米軍司令官要塞を指揮……………六三六二

ポ ル ト ガ ル

- 米財務長官歸國の途へ……………六三六二
- 日本外交官リスボン到着……………六三六二
- 事態を靜觀……………六三六二
- 米國政府に嚴重抗議……………六三六二
- 海軍整備命令……………六三六二
- 公使館を増設……………六三六二
- 政府閣議……………六三六二
- 西葡會議……………六三六二
- 西葡會談終る……………六三六二
- 首相、英大使と會見……………六三六二

ス イ ス

- 在米邦人の家族宛通信受領……………六三六二
- 邦人指導……………六三六二
- 英機中立侵犯スイス抗議……………六三六二
- 英國政府に抗議……………六三六二
- 英機スイス上空侵犯……………六三六二

バルカン諸國

- 萬國赤十字から捕虜に食糧……………六三六二
- 大統領改選……………六三六二
- 對英抗議……………六三六二
- 政府重要協議……………六三六二
- 對英嚴重抗議……………六三六二
- 右翼政黨を解散……………六三六二
- スロヴァキアと經濟協定……………六三六二
- ブルガリア……………六三六二
- ソフィア市の戒嚴令……………六三六二
- ルーマニア……………六三六二
- 獨文相首相と會見……………六三六二
- 石油輸送改善……………六三六二
- セルビア……………六三六二
- 内閣改造……………六三六二
- スロヴァキア……………六三六二
- 大島大使ブラティスラヴ……………六三六二
- ア……………六三六二
- ギリシヤ……………六三六二
- 樞軸特使アテネへ……………六三六二
- 内閣更迭……………六三六二

北 歐 諸 國

- ノルウェー……………六三六二
- 西岸の反獨陰謀發覺……………六三六二
- 米國人を檢挙か……………六三六二
- 諾伊バーター協定成立……………六三六二
- スエーデン……………六三六二
- スエーデン汽船融雷沈没……………六三六二

飽くまで中立堅持……………六四六
公定價格制度……………六四六
ダルラン派公使館を乗取る六四八
英のデマを否定……………六四八
國防強化……………六四八
經濟使節團歸還……………六四八

フィンランド

大統領決意を表明……………六四八
大統領決意を披瀝……………六四八
米公使歸國……………六四八
米芬關係悪化……………六四八

アイスランド

政府總辭職……………六四八
英軍新戰場に移動……………六四八
國王御負傷……………六四八
新内閣成立……………六四八

西亞諸國

聯合國占領下の西亞、東阿の食糧情勢悪化……………六五二
米英近東諸鐵道建設に大童六五二
西亞地方の戒嚴令……………六五二
英に代り米、西亞に侵潤……………六五二
西亞經濟安定の要……………六五二
米英、アラビヤ民族利用の野望……………六五二
西亞民衆激昂……………六五二
西亞に伸びる米英の魔手……………六五二
西亞の食糧危機……………六五二
物資不足で危機増大……………六五二
西亞の戰略鐵道開通……………六五二

トルコ

ア國土政府の協力を要請か六五三

米、土、瑞三國穀物協定調印六五三
土、羅通商協定成立……………六五三
大統領國民に警告……………六五三
軍に待機令……………六五三
政界俄然緊張……………六五三
政府情勢を注視……………六五三
議會解散を聲明……………六五三
軍事使節訪英……………六五三
首相經濟對策を呈示……………六五三
聯合國對土工作活潑化……………六五三
大統領記者團を引見……………六五三
米大使外相と會見……………六五三
ドイツと物資交換……………六五三
議會解散……………六五三
土土友好條約説を否定……………六五三
駐獨大使本國へ……………六五三
獨大使暗殺未遂事件公判終了……………六五三
遣外大使を召喚……………六五三
アナトリア地方に強震……………六五三

イラン

米英、懐柔に汲々……………六五三
ケーシー、テヘランへ……………六五三
米英に盲従……………六五三
對ソ物資補給基地化……………六五三
米經濟顧問を招聘……………六五三
藏相辭任か……………六五三
米英イ食糧補給協定……………六五三
テヘランに戒嚴令……………六五三
首都に食糧暴動……………六五三
英ソ不穩分子取締を要求……………六五三
臨時議會召集……………六五三
共産黨結成……………六五三
國境防備強化……………六五三
全國に戒嚴令……………六五三

イラク

内閣總辭職……………六五三
新内閣成立……………六五三

イラク政變に英の策謀……………六五三
政變の原因……………六五三
民衆の反英行動再燃……………六五三
國民新内閣の弱腰に不満……………六五三
攝政埃及訪問……………六五三
攝政聯合國を支持……………六五三
兩相辭職……………六五三
原住民の武器を沒收……………六五三

シリア

ド・ゴール軍と衝突……………六五三
ダマスカスに米公使館……………六五三

レバノン

政府の危機……………六五三

フランス・ジヨルダン

アラブ族、英の陰謀に反對六五三

キプロス

防備強化を豪語……………六五三

パレスチナ

情勢不安……………六五三

アフリカ

英、回教國懐柔に躍起……………六五三
【ダルラン暗殺事件】
ダルラン暗殺さる……………六五三
皮肉なダルラン聲明……………六五三
米司令官大狼狽……………六五三
暗殺犯人銃殺……………六五三
ジロー傀儡政權主席に……………六五三
新傀儡政權の動靜……………六五三
ジロー暗殺計畫發表……………六五三
【米軍リベリア進駐】
米軍進駐の意圖……………六五三
リベリア近く對極軸宣戰布……………六五三

告か……………六五三
新輸送路の重要性……………六五三
對極軸斷絶か……………六五三
對米關係強化か……………六五三
七月から米軍駐屯……………六五三
對佛斷交……………六五三

エチオプト

反英運動悪化……………六五三
スタンドレト、カイロ出發六五三
ハレー北阿戰線視察……………六五三
ガウス米大使カイロ發……………六五三
英議員團カイロ着……………六五三
回教大學騒ぐ……………六五三
英海軍ゴート佛提督を監察六五三
議會開會……………六五三
騷擾續く……………六五三
イラン攝政カイロへ……………六五三
國王、イラク攝政と會談……………六五三
佛艦隊引渡を拒絶……………六五三

南阿

船渠建造……………六五三
マ島總督を軟禁……………六五三
ヘルツォーク將軍死去……………六五三
物資難深刻……………六五三
スマツツ歸任……………六五三

西阿

佛海軍強化……………六五三
佛領の婦女子引揚開始……………六五三

ダカール

ダルランダカールへ赴く……………六五三
佛ダカールの戦備を急ぐ……………六五三
ジロー代表ダカールへ……………六五三
ダカールの防備全し……………六五三
ダカールの準備完了……………六五三
英米の宣傳頻り……………六五三
ダカールを傀儡政權傘下に六五三

米軍事使節團ダカール到着六五三
佛領ソマリランド
總督に最後通牒……………六五三
英、抱込みを策す……………六五三
英、ド・ゴール聯合軍侵入六五三

モロッコ

斷乎交戦を誓ふ……………六五三
モロッコに傀儡政權を樹立六五三
回教宗主佛に忠誠……………六五三
米軍モロッコに戒嚴令……………六五三
總督、布告……………六五三
防備強化……………六五三

タンジエール

重大衝突……………六五三

佛領北阿

兩總督アルジェーへ……………六五三
回教主嚴重抗議……………六五三
佛人官吏を逮捕……………六五三
北阿の經濟的意義……………六五三
カサブランカに留邦人健在六五三
武器沒收令……………六五三
ユダヤ人を動員……………六五三
聯合國連絡會議……………六五三
佛潜水艦ア港に……………六五三
佛船カサブランカで自沈か六五三
ジロー狙撃さる……………六五三
侵入米兵の非道……………六五三
聯合軍占領地域の治安混亂六五三
佛艦オラン港に逃る……………六五三
裏切り政權と協議……………六五三
新空軍司令官北阿着……………六五三
海空軍基地使用協定内容……………六五三
アルジェーリーで極軸派を檢舉……………六五三
ダルラン辯明に努む……………六五三
北阿の治安悪化……………六五三

スペイン赤色分子策動……六六〇
英第八軍司令官はアイゼン
ハウアー麾下に……六六三

米軍佛士官を銃殺……六六三
回教徒六名を銃殺……六六三
ソ聯の代表を拒絶……六六三
モルガン銀行鐵道經營……六六三
食糧問題重大化……六六三

佛領象牙海岸

傀儡政權と合意の進駐か……六六〇

チユニニジア

チユニニジアに消燈令……六六〇
聯合軍驅逐に準力を要望……六六〇

スダ

食糧難……六六五

エチオピア

情勢不穩……六六五
佛軍裏切り分子到着……六六五
宣戰布告……六六〇

レユニオン島

總督降伏勸告拒否……六六五
オーベル總督遂に降伏……六六五

聯合國

米英援ソ議定書調印……六五五
米英、支那に於ける治外法
權撤廢……六五五
聯合國の船舶喪失……六五四
大西洋憲章適用の糊塗策……六五七
米英最高統帥權の設置を
要望……六五七
共同戦線の統一要望……六五七

米英更に錫消費制限……六五七
米英軍需生産統制計畫……六五五
米英宣傳統一會議……六五五
南太平洋聯合軍に重大衝擊……六五五
聯合國鋼鐵會議開催……六五五
聯合軍統合同司令部設置……六五五
聯合國の占領地工作行儀……六五五
米英敵愾心昂揚に躍起……六五五
亡命政權モスクワへ大使を
派遣……六五五

マ島ド・ゴールの治下に……六五五
ニダヤ人に關するデマ宣傳
を開始……六五五
米英加三國鋼鐵委員會……六五五
米加新聞用紙生産に共同管
理制實施……六五五
西半球で麻栽培……六五五
亡命ニ内閣辭職……六五五
米、英、加軍需生産の聯合
管理……六五五

イギリス

非戦闘員死者……六五七
中東、印度へ航空便實施……六五七
クレギー歸國第一聲……六五七
宗教政策に悩む……六五七
第二戦線は時期遅れ……六五七
英帝國補給委員會……六五七
モリソン英國の役割を説く……六五七
内閣改造發表……六五七
外務省陳辯に努む……六五七
各自治領の戦争協力……六五七
犯罪激増……六五七
皇帝國民を激勵……六五七
平和團體の書記長を逮捕……六五七
共産黨が合流申込……六五七
鐵道罷業の危機……六五七

政治

【政治】
非戦闘員死者……六五七
中東、印度へ航空便實施……六五七
クレギー歸國第一聲……六五七
宗教政策に悩む……六五七
第二戦線は時期遅れ……六五七
英帝國補給委員會……六五七
モリソン英國の役割を説く……六五七
内閣改造發表……六五七
外務省陳辯に努む……六五七
各自治領の戦争協力……六五七
犯罪激増……六五七
皇帝國民を激勵……六五七
平和團體の書記長を逮捕……六五七
共産黨が合流申込……六五七
鐵道罷業の危機……六五七

反響

對ソ援助を再議せん……六五五
米英、冷淡……六五五
英下院白熱的論戰……六五五
米英共に苦慮……六五五
米、對策に困惑……六五五
米、國內戰時體制強化
準備なき攻勢は罪惡……六五五
英紙聲明を非難……六五五
米紙第二戦線に反對……六五五
第二戦線を繞る對立激化……六五五
▲佛領北阿問題

對外關係

▲對外關係
抑留所の状態申分なし……六五五
對日
對ス夫人の要請……六五五
ヘス氏の取扱英外相言明……六五五
獨人捕虜を枷から解放……六五五
▲對佛
佛英兩國の微妙な關係……六五五
傀儡政權をめぐり紛争……六五五

軍事

北阿常駐相を任命……六五三
空軍異動……六五三
兩主力艦就役を發表……六五三
海軍省驚く……六五三
海上連絡への脅威増大……六五三
徵兵年齡引下げ……六五三
ハムデンを雷撃機に……六五三
チャーチル、ジブラルタル
視察……六五三
アレキサンダー負傷説否定……六五三
空軍ソ聯を基地に船團掩護……六五三
イーデン外相強がる……六五三
カナダ空軍部隊英本土着……六五三
空軍首腦更迭……六五三
グロススター退役……六五三
徵兵年齡引下げ實施……六五三
滑空部隊落下傘部隊司令
官新任……六五三
新銳兵器……六五三
對潜水艦委員會設置……六五三
少年航空兵増強……六五三
「輸送戰艦」……六五三
▲北阿戰況
戰況に失望……六五三
タイムズ、悲觀論……六五三
第二戦線遷延の辯……六五三
ダルラン起用で政府攻撃……六五三
第二戦線と見做し得ず……六五三
北阿戰局反響……六五三

傀儡政權とド・ゴール……六五五
佛領に軍政を企圖か……六五五
▲米英反目
米英反目……六五五
米英檢閱泥仕合……六五五
傀儡政權をめぐる内輪揉め……六五五
米英兩國間の言論戰……六五五
米英船舶界の反目……六五五

下院討議……六五五
インド法案英下院通過……六五五
印度との和協を考慮せず……六五五
インド政策を論難……六五五
アメリカ、對印方針闡明……六五五
アメリカ言明を避く……六五五
インド總督後任問題……六五五
▲石炭問題
石炭不足問題紛糾……六五五
兵士を炭坑へ復歸……六五五
石炭不足に英誌政府攻撃……六五五
チャーチル
首相、國民志氣昂揚に狂奔……六五五
演説反響……六五五
チャーチル米大統領の副官……六五五
チャーチル下院に敗る……六五五
チャーチルの空手形……六五五
チャーチル米國行か……六五五
スマッツ訪英……六五五
スマッツ、ロンドン着……六五五
スマッツ暗躍……六五五
スマッツ訪英の意義……六五五
スマッツ攻勢を説く……六五五
▲論調
ドイツの食糧備蓄望み得ず……六五五
英誌米の不信をこぼす……六五五
英誌米國を非難……六五五
▲人事・往來
アトリー歸英……六五五
テラー訪英……六五五
米財務長官ロンドンへ……六五五
中東軍司令官シリア視察……六五五
華府駐在政府委員任命……六五五
クレギー歸着……六五五
大統領夫人ロンドン着……六五五
ハリファアツクスの次男戦死……六五五
叛逆將軍ロンドン乗込み……六五五
駐ソ、駐土兩大使歸國……六五五
リットルトン歸還……六五五
ケーシー倫敦着……六五五

對日

▲對日
抑留所の状態申分なし……六五五
對日
對ス夫人の要請……六五五
ヘス氏の取扱英外相言明……六五五
獨人捕虜を枷から解放……六五五
▲對佛
佛英兩國の微妙な關係……六五五
傀儡政權をめぐり紛争……六五五

對佛

▲對佛
佛英兩國の微妙な關係……六五五
傀儡政權をめぐり紛争……六五五

對佛

▲對佛
佛英兩國の微妙な關係……六五五
傀儡政權をめぐり紛争……六五五

對佛

▲對佛
佛英兩國の微妙な關係……六五五
傀儡政權をめぐり紛争……六五五

對佛

▲對佛
佛英兩國の微妙な關係……六五五
傀儡政權をめぐり紛争……六五五

傀儡政權を繞り紛争激化 六三九
 北阿傀儡政權問題 六三九
 ダルラン事件反響 六三九
 ド・ゴール派動靜 六三九
 對ソ 六三九

米の危機に不安 六三九
 マイスミ申入れ 六三九
 米の大陸軍案に英不安 六三九
 米國中間選挙の反響 六三九
 其他 六三九
 西葡兩國に諒解を求む 六三九
 治外法權の撤廢は暫定取極 六三九
 フインランド人を釋放 六三九

【財政・經濟】
 軍需生産を誇示 六三九
 印度、英本國に貸付 六三九
 十億ポンドの新規要求 六三九
 新貯蓄債券發行 六三九
 キング藏相國民の寄與稱揚 六三九
 ロンドンの日本公債昂騰 六三九
 工業の再編成計畫 六三九
 インフレ昂進 六三九
 新貯蓄債券發行の意義 六三九
 インフレ對策 六三九
 對米支拂額 六三九
 軍需生産行詰り 六三九
 空襲に備へ商店相互扶助 六三九
 要請 六三九
 英帝國電信會議 六三九
 對外債務激増 六三九
 戰時財政情報 六三九
 北阿の通貨工作重視 六三九
 北阿通貨工作で手を焼く 六三九
 英誌戰後の金問題を論ず 六三九
 物價管理情報 六三九
 昨年中の工場事故 六三九
 戰費二十萬ポンド 六三九
 黒表商社一萬突破 六三九

社會保險改革案 六三九
 超過利得税引下げず 六三九
 新社會保險案反響 六三九
 英・スイス通商協定締結 六三九
 在外資産續々喪失 六三九
 金 融 六三九
 英蘭銀行券發行限度擴張 六三九
 海外投資中十億ポンドを喪失 六三九
 國民所有の南阿債償還 六三九
 英蘭銀行券流通高更に激増 六三九
 物 資 六三九
 金屬回收運動 六三九
 織物不足激化 六三九
 紙類不足 六三九
 炭 六三九
 石炭不足益々深刻 六三九
 石炭不足對策 六三九
 石炭増産問題樂觀を許さず 六三九
 食 糧 六三九
 食糧消費を更に制限か 六三九
 食糧使節濠洲へ 六三九
 パンの品質低下 六三九
 野菜配給統制擴大 六三九
 食糧難深刻 六三九
 勞 働 六三九
 勞働者一部に怠業氣分 六三九
 ベーヴィン勞賃停止に反對 六三九
 炭坑夫の怠業増加 六三九
 勞資對立激化 六三九
 軍需工場怠業防止にカード制 六三九
 婦人勞働を強化 六三九
 船舶・海運 六三九
 海運界近況 六三九
 船舶の不足に喘ぐ 六三九
 政府發註船一部拂下げ 六三九
 護送船團の組織 六三九
 「船舶建造會社設立」 六三九
 運 輸 六三九

水路の凍結に悩む 六三九
 自動車輸送更に制限 六三九
 北 愛 蘭 六三九
 又も騷擾 六三九
 米軍基地を増設 六三九
 依然不穩 六三九
 大量檢舉 六三九

カナダ 六三九
 内閣改組 六三九
 勞働力統制に乗出す 六三九
 捕虜虐待素つ破抜かる 六三九
 カナダ政黨も對印容喙 六三九
 ヘプバーン辭職 六三九
 勞力不足 六三九
 銀輸出禁止 六三九
 聯合國生産資源委員會加入 六三九
 營業凍結令 六三九
 日用品生産統制開始 六三九
 「事業凍結令」布告 六三九
 農産物増産 六三九
 キング歸國 六三九
 徵募局長辭職 六三九
 ナツシュ、オツタワへ 六三九
 民需生産激減 六三九
 バターに配給制實施 六三九
 政争表面化 六三九
 石油不足激化 六三九

軍 六三九
 軍需工不足 六三九
 空軍近く獨立 六三九
 カナダ軍北阿戰へ參加 六三九
 新設飛行場二百有餘 六三九
 全面的召集を實施 六三九
 軍需品増産に邁進 六三九
 對外關係 六三九
 對重慶治外法權撤廢か 六三九

カ ナ ダ 六三九
 初代ソ聯公使着任 六三九
 ウィルキー、カナダ着 六三九
 ソ支兩國に公使 六三九
 對佛斷交 六三九
 アメリカ 六三九
 ウエルズ、聯合國の結束を要望 六三九
 樞軸の資源怖るべし 六三九
 國內ひき緊めに大童 六三九
 防諜に必死 六三九
 戰時生産局職員續々辭職 六三九
 監督官收賄 六三九
 モーゲンソの訪英種々の流説 六三九
 民主黨に肉薄 六三九
 出入國者の統制停止案 六三九
 政府、放送局接收 六三九
 戰時態勢確立に大童 六三九
 感謝祭を取止め 六三九
 アラスカ公路開通 六三九
 商船乗員の損失 六三九
 情報局總裁陳辯 六三九
 石油調整局を設置 六三九
 國務省に外國領土局新設 六三九
 食糧調整長官を任命 六三九
 大東亞戰爭一週年 六三九
 人口増加率 六三九
 北阿司政長官を任命 六三九
 フーヴァアの平和論 六三九
 第三黨結成の機軸 六三九
 官場戰時態勢の確立へ 六三九
 物價管理策をめぐつて紛糾 六三九
 インディアン協力を誇示 六三九
 人口の異動狀況 六三九
 米大使の内政干渉 六三九
 軍需會社の不正事件 六三九
 大陸横斷地下電話線敷設 六三九

重大化する黒人問題 六三九
 人的資源 六三九
 南部諸州に大洪水 六三九
 議 會 六三九
 憲法改正案 六三九
 戰爭機關改組を要求 六三九
 議會に憲法修正案 六三九
 七十七議會閉つ 六三九

大 統 領 六三九
 二週間に亘り全國を視察 六三九
 ルーズヴェルト時局談 六三九
 大統領「自由」聲明 六三九
 ルーズヴェルト沈黙 六三九
 スタンドレと會談 六三九
 大統領重要協議 六三九
 十二月七日は「沈黙日」 六三九
 戰況は發表出來ぬ 六三九
 大統領に新權限 六三九
 大統領の要請を拒否 六三九
 △爐邊談話 六三九
 大統領演説 六三九
 反響 六三九
 ▲大統領夫人訪英 六三九
 夫人歸る 六三九
 夫人に非難集中 六三九
 ▲中間選挙 六三九
 中間選挙 六三九
 國論の一致を強調 六三九
 大統領まづ投票 六三九
 投票狀況 六三九
 知事選挙の開票結果 六三九
 民主黨兩院に過半数確保 六三九
 デューイ・フイツシュ 六三九
 當選 六三九
 史上空前の野黨進出 六三九
 戰爭努力に變りなし 六三九
 ファーレー失脚か 六三九
 民主共和兩黨の合流を提言 六三九
 ▲インフレ問題 六三九

大 統 領 六三九
 二週間に亘り全國を視察 六三九
 ルーズヴェルト時局談 六三九
 大統領「自由」聲明 六三九
 ルーズヴェルト沈黙 六三九
 スタンドレと會談 六三九
 大統領重要協議 六三九
 十二月七日は「沈黙日」 六三九
 戰況は發表出來ぬ 六三九
 大統領に新權限 六三九
 大統領の要請を拒否 六三九
 △爐邊談話 六三九
 大統領演説 六三九
 反響 六三九
 ▲大統領夫人訪英 六三九
 夫人歸る 六三九
 夫人に非難集中 六三九
 ▲中間選挙 六三九
 中間選挙 六三九
 國論の一致を強調 六三九
 大統領まづ投票 六三九
 投票狀況 六三九
 知事選挙の開票結果 六三九
 民主黨兩院に過半数確保 六三九
 デューイ・フイツシュ 六三九
 當選 六三九
 史上空前の野黨進出 六三九
 戰爭努力に變りなし 六三九
 ファーレー失脚か 六三九
 民主共和兩黨の合流を提言 六三九
 ▲インフレ問題 六三九

大 統 領 六三九
 二週間に亘り全國を視察 六三九
 ルーズヴェルト時局談 六三九
 大統領「自由」聲明 六三九
 ルーズヴェルト沈黙 六三九
 スタンドレと會談 六三九
 大統領重要協議 六三九
 十二月七日は「沈黙日」 六三九
 戰況は發表出來ぬ 六三九
 大統領に新權限 六三九
 大統領の要請を拒否 六三九
 △爐邊談話 六三九
 大統領演説 六三九
 反響 六三九
 ▲大統領夫人訪英 六三九
 夫人歸る 六三九
 夫人に非難集中 六三九
 ▲中間選挙 六三九
 中間選挙 六三九
 國論の一致を強調 六三九
 大統領まづ投票 六三九
 投票狀況 六三九
 知事選挙の開票結果 六三九
 民主黨兩院に過半数確保 六三九
 デューイ・フイツシュ 六三九
 當選 六三九
 史上空前の野黨進出 六三九
 戰爭努力に變りなし 六三九
 ファーレー失脚か 六三九
 民主共和兩黨の合流を提言 六三九
 ▲インフレ問題 六三九

インフレ防止案米議會通過五六八
 經濟安定局設置……………五六八
 インフレ抑制法發動……………五六八
 大統領権限に農村代表議員
 再び不満……………五六八
 利潤統制問題……………五六八
 ウイルキー……………五六八
 ウイルキーの言説に政府
 固惑……………五六八
 固惑……………五六八
 充分の成果を確信(聲明)……………五六八
 演説反響……………五六八
 ウイルキー、チャール泥
 仕合……………五六八
 グルー警告……………五六八
 太平洋の重要性強調……………五六八
 「強敵日本」と警告……………五六八
 再び警告……………五六八
 北阿侵入……………五六八
 ホワイト・ハウス頻に強辯五六八
 西葡に釋明……………五六八
 對佛斷交……………五六八
 マルチニクについては交
 涉繼續……………五六八
 佛本國を敵國扱ひ……………五六八
 小規模の第二戰線……………五六八
 政府對西保障……………五六八
 西大使、中立を強調……………五六八
 フランス、大使を拘留……………五六八
 佛特許權沒收……………五六八
 ▲論 調……………五六八
 不穩の言動を戒む……………五六八
 米紙、國民の反省を促す……………五六八
 如何にして日本を破るか……………五六八
 英國に對する公開狀……………五六八
 偽購的宣傳政策を非難……………五六八
 ▲人事・往來……………五六八
 テーラー歸米……………五六八
 ラチモア重慶へ……………五六八

宋子文近く歸國……………五六八
 スタンドレー大使歸る……………五六八
 財務長官歸國……………五六八
 リットルトン華府へ……………五六八
 スタンドレー近く歸任……………五六八
 物價調整局長官辭職……………五六八
 フイツシュ委員を辭任……………五六八
 駐英大使歸國……………五六八
 ラチモア戰時情報局入り……………五六八
 セーヤー海外救濟長官……………五六八
 ドーマン參事官モスクワへ五六八
 【軍 事】……………五六八
 大統領協談……………五六八
 ラテン・アメリカに軍事的
 援助……………五六八
 鐵材割當をめぐり陸海軍間
 に論議……………五六八
 在米英國系鐵道陸軍へ讓渡五六八
 日本軍恐るべし……………五六八
 滑空士の養成と女子動員……………五六八
 陸海軍兩者同一廳舎に合流五六八
 米軍の總兵力豫定……………五六八
 「損害はもとより覺悟」……………五六八
 軍幹部進級……………五六八
 當局敗戦を匂はす……………五六八
 北阿への補給は困難……………五六八
 戰爭機構……………五六八
 米智軍事協定を發表……………五六八
 南米諸國を軍事基地に利用五六八
 沿岸警備に娘子軍……………五六八
 米兵の損害六萬……………五六八
 米軍駐屯地……………五六八
 米墨軍事會議……………五六八
 海員死傷發表……………五六八
 空の怪物マーチン飛行艇……………五六八
 米軍の内訌を暴露……………五六八
 ルーズヴェルト緊急軍事會議
 議を召集……………五六八
 新型機製作……………五六八
 木造の輸送機近く完成……………五六八

教育機關を徵用……………五六八
 汎米公路軍用化協定……………五六八
 クーリツジ號はソロモン水
 域で觸雷……………五六八
 ▲陸 軍……………五六八
 軍の強化を誇示……………五六八
 長期戦は米に有利……………五六八
 米陸軍の配備狀況……………五六八
 遠征軍の行動發表……………五六八
 技術隊を正規軍に編入……………五六八
 オーストリア部隊を編成……………五六八
 米軍の兵力増加を吹聴……………五六八
 ダンカン行方不明……………五六八
 前陸軍次官負傷……………五六八
 陸軍の兵力増強を誇稱……………五六八
 尨大な陸軍案に反對論……………五六八
 滿十八歳壯丁の登録……………五六八
 學生の訓練を延長……………五六八
 東岸に立入禁止地區……………五六八
 紐育の避難演習……………五六八
 マーシャル辨明に努む……………五六八
 コーリーの戰略論……………五六八
 ▲海 軍……………五六八
 新空母をヨーク・タウンと
 命名……………五六八
 新空母進水……………五六八
 ノツクス長官の空手形……………五六八
 キング提督の泣言……………五六八
 新巡洋艦進水……………五六八
 空母十三隻建造中……………五六八
 空母四隻進水……………五六八
 海軍總兵力百三十萬……………五六八
 海外派遣軍兵力……………五六八
 海兵團英國へ……………五六八
 ワブス號報復隊……………五六八
 船員の死傷……………五六八
 軍司令官任命……………五六八
 破損米巡洋艦歸る……………五六八
 新空母二隻命名……………五六八

潜水艦就役……………五六八
 海軍空母増強に大童……………五六八
 頻りに新艦の進水を發表……………五六八
 海軍苦しい發表……………五六八
 眞珠灣の損害公表反響……………五六八
 頻りに建艦……………五六八
 艦艇建造に躍起……………五六八
 新西爾米軍司令官歸國……………五六八
 驅潛艇を伯國へ讓渡……………五六八
 慘敗後の海軍……………五六八
 ▲空 軍……………五六八
 空軍司令官、西南太平洋
 視察……………五六八
 超大型發動機の研究進捗……………五六八
 空軍萬能を強調……………五六八
 空軍の敗因を檢討……………五六八
 空軍二百五十萬を豫想……………五六八
 空軍の性能……………五六八
 航空隊司令の揚言……………五六八
 新型機の性能……………五六八
 ▲徴兵法修正……………五六八
 徴兵法修正案……………五六八
 上院徴兵法に修正……………五六八
 ▲アラスカ……………五六八
 アラスカ公路……………五六八
 北方戰略路の強化に狂奔……………五六八
 アラスカ鐵道を企圖……………五六八
 ▲太平洋軍事會議……………五六八
 軍事會議開催……………五六八
 イタリア爆撃を協議……………五六八
 ▲對日戰第一主義……………五六八
 對日戰第一主義の有力化……………五六八
 日本打倒が急務……………五六八
 ノツクス「眞珠灣報復」を
 叫ぶ……………五六八
 ノツクス對日攻勢を煽る……………五六八
 議員アラスカの重要性強調五六八
 空母集團攻撃計畫樹立……………五六八
 ▲南太平洋戰況反響……………五六八
 大統領以下鳩首擬議……………五六八

海軍記念日に痛棒……………五六八
 優秀艦隊整備が急務……………五六八
 敗軍のノツクス、兵を語る五六八
 虚偽の發表に憤慨……………五六八
 蔽ひ難い輿論の動搖……………五六八
 ソロモン海戦は慘敗……………五六八
 ▲北阿侵入……………五六八
 遠征米軍の幹部……………五六八
 大統領軍首腦と準議……………五六八
 チュニジア通過を要求……………五六八
 ▲「ハワイ」……………五六八
 空襲警報……………五六八
 ハワイ駐屯軍司令華府へ……………五六八
 軍政緩和……………五六八
 ▲人 事……………五六八
 在濠米空軍司令官更迭……………五六八
 西北建設司令官任命……………五六八
 南太平洋聯合國海軍司令官
 更迭……………五六八
 南太平洋機動艦隊司令官
 更迭……………五六八
 在英憲兵司令官任命……………五六八
 派遣軍の幹部……………五六八
 マツカールサ華府へ……………五六八
 ▲勞 働……………五六八
 大統領に勞働力徵用權……………五六八
 八時間勞働を延長……………五六八
 金生産中止令……………五六八
 軍需産業罷業逐月増加……………五六八
 農業勞力不足……………五六八
 O.I.O分裂……………五六八
 人的資源活用未だし……………五六八
 黒人の勞力動員を促進……………五六八
 ルイス第三組合成か……………五六八
 AFL、政府勞働統制反對五六八
 勞働力不足深刻……………五六八
 墨勞働力輸入……………五六八
 鑛山の婦人勞働開始……………五六八
 女子登録制……………五六八
 勞働爭議増加……………五六八

▲勞働徵用法案……………六五九

▲政府首腦勞働者に協力要請案…六五七

▲強制勞務法案……………六五七

▲農業勞働不足深刻……………六五七

▲少女を軍需工場に採用……………六五七

▲勞働總動員機關の設置勸告案…六五七

▲失業者數尙六百萬人に達す…六五七

▲CIO大會開催……………六五九

▲勞力補給參謀本部案……………六五九

▲勞働者の足止めに大童……………六五九

▲婦人勞働者を増入……………六五九

▲外國人勞働者を移入……………六五九

▲農業勞働賃金釘付統制から…六五九

▲除外……………六五九

▲人的資源委員會の權限擴大…六五九

▲公共救濟事業一切を廢止…六五九

▲勞働狀況……………六五九

▲兩勞働組合和解……………六五九

▲勞働團體も増産に協力……………六五九

▲勞力動員問題の困難……………六五九

▲農村動員日を設定……………六五九

▲在米邦人の復農か……………六五九

▲四百萬の新規徵用……………六五九

▲失業者二百二十萬……………六五九

▲軍需生産業勞働者の動員を…六五九

▲提案……………六五九

▲勞働機構の改組案……………六五九

▲婦人勞力動員の必要……………六五九

▲對外關係……………六五九

▲對日……………六五九

▲テキサスで邦人檢舉……………六五九

▲邦人移住近く完了……………六五九

▲ハルあくまで言明を避く……………六五九

▲米國を纏る外交狀勢……………六五九

▲ハルの外交問答……………六五九

▲對英……………六五九

▲林格英、英國をこきおろす…六五九

▲米誌英の讓歩を強調……………六五九

▲チャーチルの來訪説を否定…六五九

▲對印度……………六五九

▲印度抑壓に反對……………六三三

▲印度に代表を任命……………六三三

▲武器貸與法インドに適用か…六三三

▲對加……………六三三

▲米加經濟基本協定成立……………六三三

▲カナダ首相華府に到着……………六三三

▲カナダの鐵道租借……………六三三

▲對中南米諸國……………六三三

▲亞智兩國對米抗議……………六三三

▲智利大使ウエルズ會談……………六三三

▲智利大使ウエルズ會談……………六三三

▲外國相華府着……………六三三

▲エ大統領華府着……………六三三

▲チリ内相華府着……………六三三

▲亞智兩國に赴を投ぐ……………六三三

▲智内閣總辭職反響……………六三三

▲キニーベ大統領華府へ……………六三三

▲ラガーディアの暴言を咎む…六三三

▲對佛……………六三三

▲ウイシー政府を恫喝……………六三三

▲佛領諸國間の交渉……………六三三

▲西印度諸島に關する協定…六三三

▲北阿傀儡政權問題……………六三三

▲佛領に武器貸與法……………六三三

▲ダルラン暗殺事件反響……………六三三

▲傀儡政權使節團訪米……………六三三

▲D・ゴールの訪米を發表……………六三三

▲對ソ……………六三三

▲ソ聯大使國務次官と會談…六三三

▲ハル、モスクワ行きか……………六三三

▲對重慶……………六三三

▲宋子文訪英……………六三三

▲新重慶大使信任狀捧呈……………六三三

▲條約案文を手交……………六三三

▲宋美齡ニューヨーク着……………六三三

▲重慶、米國間に電送寫眞……………六三三

▲其他……………六三三

▲財政顧問をイランに派遣…六三三

▲シリア共和國を承認……………六三三

▲駐土米大使歸國……………六三三

▲イラン鐵道買收説……………六三三

▲スペインの斷交を要求……………六三三

▲リベリアと協定……………六三三

▲エチオピアに武器貸與法…六三三

▲適用……………六三三

▲【財政・經濟】……………六三三

▲歳出近く一十億ドルに……………六三三

▲米戰時支出増大……………六三三

▲金政策不變……………六三三

▲俸給統制、三千ドル以上は…六三三

▲改正……………六三三

▲消費者負債減少……………六三三

▲軍費膨脹で非軍事費支出大…六三三

▲削減……………六三三

▲本年の國民消費七百八十億…六三三

▲一般……………六三三

▲中小企業の苦境……………六三三

▲政府、米人所有在外資産の…六三三

▲申告を命令か……………六三三

▲不急建築事業禁止……………六三三

▲物資配給機構の改組……………六三三

▲軍需註文引受に統制……………六三三

▲バーンズ經濟安定局長官方…六三三

▲針閣明……………六三三

▲技術改良局を設置……………六三三

▲ヘンダーソン、經濟中間…六三三

▲報告……………六三三

▲經濟の現勢……………六三三

▲租稅……………六三三

▲戰勝稅內容……………六三三

▲モーゲンソー、六十億ドル…六三三

▲新増稅を要請……………六三三

▲明年度稅收三百六十五億…六三三

▲空前的な増稅案……………六三三

▲上院、四割會社稅案可決…六三三

▲増稅計畫內容……………六三三

▲新増稅案上院通過……………六三三

▲兩院協議會新増稅案を即決…六三三

▲大増稅法に署名……………六三三

▲大増稅による稅收……………六三三

▲國外派遣の軍隊にも戰勝稅…六三三

▲戰費……………六三三

▲戰費早くも前大戰の四倍餘…六三三

▲戰費費上り……………六三三

▲戰費二百億ドルを突破……………六三三

▲十月中の戰費五十七億ドル…六三三

▲戰費六百萬ドル……………六三三

▲一年間の戰費四百六十億…六三三

▲十一月の戰費六十一億ドル…六三三

▲十一月中の戰費六十億ドル…六三三

▲公債……………六三三

▲四十億ドル新起債……………六三三

▲公債賣出し計畫に達せず…六三三

▲財務省證券應募超過額急…六三三

▲低下……………六三三

▲九月中公債賣上増加……………六三三

▲新起債……………六三三

▲戰時公債賣出成績……………六三三

▲九十億ドル新起債開始……………六三三

▲新起債方針を採用……………六三三

▲國債一千億ドルを突破……………六三三

▲戰時公債一般賣出成績……………六三三

▲九十億ドル新公債、六十六…六三三

▲億ドル應募……………六三三

▲通貨流通高……………六三三

▲通貨流通高新高記録を示す…六三三

▲通貨流通高再び新高記録…六三三

▲通貨流通高激増……………六三三

▲豫算……………六三三

▲海軍豫算下院委員會通過…六三三

▲海軍新豫算に署名……………六三三

▲金融……………六三三

▲紐銀聯銀利下げ……………六三三

▲準銀利下と最近の金融情勢…六三三

▲天引貯金普及狀況……………六三三

▲ドル貸持込制限強化……………六三三

▲英濠へ銀塊供與……………六三三

▲對外經濟……………六三三

▲米伯協定成立……………六三三

▲米々兩國間に新經濟協定…六三三

▲對南米經濟工作進む……………六三三

▲米葡兩國の通商協定……………六三三

▲工場施設を中南米へ……………六三三

▲ウルグワイ羊毛を購入……………六三三

▲商務官派遣進捗効果か…六三三

▲アルゼンチン肉類禁輸……………六三三

▲ブラザールの原料基地化進捗…六三三

▲米墨新通商協定……………六三三

▲ボリヴエアに借款……………六三三

▲樞軸制特許關係……………六三三

▲樞軸制特許沒收……………六三三

▲沒收特許權全面的利用……………六三三

▲沒收特許權一萬、永久財產…六三三

▲と發表……………六三三

▲貿易……………六三三

▲政府新輸入優先表發表……………六三三

▲九月中の對外貿易……………六三三

▲十月中の對外貿易……………六三三

▲輸入品目五百種に限定……………六三三

▲對外貿易狀況……………六三三

▲生産……………六三三

▲民需品の生産制限……………六三三

▲増産計畫の變更……………六三三

▲生産進捗せず……………六三三

▲工業生産指數……………六三三

▲工作機械生産躍増……………六三三

▲増産を發表……………六三三

▲生産増加を蒙語……………六三三

▲アルミ、羊毛貯藏狀況……………六三三

▲昨年中の電力生産高……………六三三

▲鐵鋼生産を誇稱……………六三三

▲人絹生産増加……………六三三

▲本年度農産物生産高……………六三三

▲△軍需生産……………六三三

▲ル大統領、生産擴充進捗を…六三三

▲言明……………六三三

▲八月中の軍需生産……………六三三

軍需生産二割五分擴充を
計る.....六三〇

大統領軍需生産費削減要請六三〇
軍需生産狀況.....六三〇

練習機の製作進む.....六三〇
重要軍需金屬の不足顯著.....六三〇

過去一ヶ年の軍需増産.....六三〇
軍需生産狀況.....六三〇

軍需資材配給に改革.....六三〇
軍需の増産を宣傳.....六三〇

▲運輸・海運
物資空輸に大進.....六三〇

米亞海運協定成立か.....六三〇
沿岸航行に許可制.....六三〇

米・亞海運協定續報.....六三〇
東北空路復活.....六三〇

▲造船
造船狀況.....六三〇
造船の躍進を誇る.....六三〇

ノルマンディー號浮揚作業
近く了る.....六三〇

再び新型貨物船發表.....六三〇
自由型船舶の性能.....六三〇

造船計畫の進捗を誇示.....六三〇
十月の新造船八十一隻.....六三〇

十一月迄に六百萬トン
セメント船建造計畫.....六三〇

造船日數新記録.....六三〇
▲聯合國援助

武器貸與狀況.....六三〇
フオード・タイヤ工場を
聯へ.....六三〇

對ソ援助狀況.....六三〇
對英援助を誇示.....六三〇

聯合國向食糧輸出激増.....六三〇
對聯合國補給物資.....六三〇

工場のソ聯引渡に非難昂る六三〇
▲物價

家賃統制實施.....六三〇

▲米洲物價管理、割當制計畫
農産物平衝價格發表.....六三〇

タバコ、酒類値上げ六三〇
卸賣物價指數.....六三〇

農産物平衝價格法修正案下
院を通過.....六三〇

▲飛行機生産
大型輸送機大量建造.....六三〇

航空機生産力飛躍.....六三〇
新飛行機月産五千機.....六三〇

米輸送艇を製作.....六三〇
木造船送機製作.....六三〇

膨大な數字を弄ぶ.....六三〇
▲消費制限

消費生活の變化.....六三〇
民需向肉類二割削減.....六三〇

手持品を統制.....六三〇
紐肉の肉無日、週二回.....六三〇

珈琲の消費制限.....六三〇
紙類の消費制限.....六三〇

ゴム割當制愈々實施.....六三〇
更に民需制限擴大.....六三〇

燃料油不足.....六三〇
バターその他に割當制.....六三〇

食料品の割當制を擴張.....六三〇
民需制限狀況.....六三〇

▲ゴム
中南米ゴム對米賣却協定.....六三〇

タイヤを買上ぐ.....六三〇
ゴム獲得に躍起.....六三〇

人造ゴム生産.....六三〇
人造ゴム生産擴大を主張.....六三〇

人造ゴム問題論議熄まず.....六三〇
人達に報告提出さる.....六三〇

對ゴム使節團任命.....六三〇
大統領使節團任命.....六三〇

を警告.....六三〇
▲金屬

舊鑛山の採掘再開.....六三〇
オレゴン猛を解體.....六三〇

金鐵閉鎖に猛烈な反對.....六三〇
遊休機械を屠戮化か.....六三〇

金屬増産に努む.....六三〇
金屬生産を誇示.....六三〇

非鐵金屬回收運動實績.....六三〇
金屬節約令.....六三〇

▲鐵鋼
製鋼作業率一〇〇%を超過六三〇

製鋼高年記録.....六三〇
製鋼界近狀.....六三〇

大湖内の鐵原鑛輸送新記録.....六三〇
▲銅

銅收用令發布.....六三〇
銅生産減退.....六三〇

銅貨回收.....六三〇
▲其他

アルミニウム不足.....六三〇
政府手持銀の工業用賣出案
可決.....六三〇

▲燃料
ガソリン割當切符五萬枚發
まる.....六三〇

新油田開發が急務.....六三〇
送油管を大西洋岸に延長.....六三〇

燃料油配給更に大巾削減.....六三〇
石油問題前途多難.....六三〇

ガソリン割當制全國に擴大六三〇
全國にガソリン節約實施.....六三〇

廢棄自動車四百萬餘.....六三〇
東部にガソリン販賣停止.....六三〇

▲農業
農業界近況.....六三〇

農家収入増大.....六三〇
農務長官、豚の増産を懇ふ六三〇

農產食糧品生産高年記録か六三〇
民需向肉類割當を更に削減六三〇

▲食糧
米、中南米經濟工作に躍起六三〇
コ、夕兩國佛政府と斷交.....六三〇

食糧問題案外深刻.....六三〇
食糧價格停止令延長.....六三〇

明年早々より割當開始.....六三〇
軍需と武器貸與用需要増大六三〇

貸與援助用に乾燥豚肉生産六三〇
織詰生産新記録.....六三〇

▲中南米諸國
亞、智米に反對.....六三〇

智亞通商交渉.....六三〇
米洲各國ソ聯と復交.....六三〇

南米の戰後經濟問題で汎米
審議會新工作.....六三〇

米洲各國佛と斷行.....六三〇
智、亞兩國參加せず.....六三〇

米の對智暗躍積極化.....六三〇
米、中南米經濟工作に躍起六三〇

コ、夕兩國佛政府と斷交.....六三〇
▲メキシコ

キューバと共同防衛條約.....六三〇
再び米に借款申込み.....六三〇

政府英米系鐵道買收.....六三〇
徵兵制實施.....六三〇

墨軍海外派遣か.....六三〇
男子登録令.....六三〇

佛と斷交.....六三〇
對ソ國交復活か.....六三〇

駐米大使打合せ歸國.....六三〇
ド・ゴール政權承認.....六三〇

初代駐ソ公使任命.....六三〇
義勇隊を編成.....六三〇

初の徵兵式舉行.....六三〇
シコルスキー訪問.....六三〇

労働者、賃銀引上を要求.....六三〇
▲キューバ

ソ聯を承認.....六三〇
公使館を昇格.....六三〇

西領事を追放.....六三〇
對佛斷交.....六三〇

大統領訪米.....六三〇
徵兵法可決.....六三〇

▲コスタ・リカ
獨逸系精糖工場收用か.....六三〇

米、墨軍事使節團訪問.....六三〇
▲グアテマラ

外相近く訪米.....六三〇
▲ホンチユラス

議會徵兵案可決.....六三〇
▲佛領西印度

諸島靜穩.....六三〇
マ島佛當局發表.....六三〇

▲アルゼンチン
中立堅持.....六三〇

有線無線電信を統制.....六三〇
輸出激増.....六三〇

船腹不足で米亞通商困難.....六三〇
ウエルズに抗議.....六三〇

中立政策を堅持.....六三〇
左派暗躍.....六三〇

左翼集會禁止.....六三〇
米亞船協定正式發表.....六三〇

陸相辭任.....六三〇
防備地域設定.....六三〇

對外通信に大制限.....六三〇
左派彈壓か.....六三〇

最近の動向.....六三〇
農業の苦境對策.....六三〇

對米回答.....六三〇
米亞石油交渉再開.....六三〇

戒嚴令延長を布告.....六三〇
英大使歸國.....六三〇

英・亞肉類買付交渉.....六三〇
本年十一月間の貿易.....六三〇

チ リ

外相辭職說	六三六	參謀長辭職	六四〇
大統領訪米中止	六三六	重慶と通商交渉	六四〇
米の回答に不満	六三三	經濟困難激化	六四〇
内閣總辭職	六三三	外交官フランス引揚	六四〇
政府外交策の動向	六三三	佛領ギアナ派入説を否定	六四〇
獨人抑留	六三九	F・ゴール派聲明	六四〇
新内閣成立	六三九	ゴム増産に努む	六四一
新外交政策の基調	六三九	ホリヴァイア	
對米協調主義を表明	六三九	ゴム輸出高	六四七
臨時議會召集	六三九	内閣總辭職	六五〇
反米デモ	六三九	聯立内閣成立	六五〇
罷業勃發	六三九	新内閣首相	六五〇
樞軸斷交に反對のデモ	六三九	大統領華府訪問	六五〇
左派頻りに策動	六三九	米洲協力法案を修正可決	六五〇
大統領渡米か	六三九	戒嚴令布告	六七一
掘聲明を重視	六三九	左翼領袖を逮捕	六七一
外相斷交説を否定	六三九	錫鑛山罷業終熄	六四一
最近の動向	六三九	ウルグワイ	
中立堅持法案を提出	六三三	「異分子を彈壓」	六四〇
大統領外交政策を闡明	六三三	米國政府の覺書發表	六四〇
政府非常事態對策を布告	六三三	大統領選舉	六四三
外相聲明	六三三	米、石油、石炭を供給	六四三
主權保全法案可決	六三三	外相留任	六四三
内相亞國へ	六三三	外相華府へ	六四四
國情依然複雑	六三三	大統領華府訪問	六四四
外交政策を検討	六三三	コロンビア	
大統領に全權委任	六三三	コロンビア向郵便物陸上	六四〇
外交政策變らず	六三三	輸送	六四〇
獨公使に歸國命令か	六三三	内閣總辭職	六四一
ブラヂル		ペル	
ノックス、伯基地視察	六三七	重要物資の輸出禁止	六四〇
モラトリアムの原因	六三七	エクアドル	
標準貨名稱變更	六三七	大統領華府へ	六四五
經濟の戦時體制化	六三七	米に基地供與	六四〇
強制戦時公債發行	六三七	對佛斷交	六四〇
石油不足深刻	六三七	バラグアイ	
伯の海、空軍米の指揮下に	六三七	樞軸資へ金移動禁止令	六四〇
クルセイロ貨實施	六三七		

必勝の大道

同盟通信社政經部編

價一圓二〇錢
送料一二錢

東條總理議會 演説答辯集

今第八十一戰時議會における東條總理大臣の一貫した毅然たる演説は、これすべて日本のむかふべき『必勝の大道』を教へ示すものであつた。本書はこの觀點から、總理の一般施政演説をはじめ貴衆兩院ならびに各種委員會における演説、答辯、言明等をとことく蒐録編纂したもので、その一讀はかならずや國民の士氣を振起し、戦力増強に一段と拍車をかけずにはおかないであらう。

——發賣中、店頭に品切の節は直接本社へ——

獨り戦の新段階

獨り戦を解く鍵は片々たる希望的觀測や一面的な狀況判斷にもとづく早速な結論からあたへられるものではなく、その由來・經過・性格等、獨り戦の本質點の正確な理解のうちに在る。本書はかかる觀點から獨り戦に解明をあたへたもので、開戦以來三年目を迎へんとする今日、戦局の總決算をなし、かつはその將來を卜するうへに不可欠のものである。

- 16 緊張する獨逸の銃後……………高瀬 太郎
- 17 緊迫せる獨逸軍需工業……………池 上 幹 徳

同盟世界週報

題改「報週濟經際國」

號日一月五

號日八月五

△時評 指導者精神の要求 (大森吉五郎)

≡ 國防としての經濟 (酒枝義旗)
≡ 科學者の反省 (佐藤喜一郎)

米英戦後通貨案を衝く (根津知好)

モーゲンソー案の骨子
ケーンズ案の要領 米英は何故この問題を探上げたか
わが積極案の基本構想

— 解説と翻譯 —

世界戦局の動き
ソ波断交の渦紋
アメリカ戦争經濟批判 (寺西五郎)
ソ聯經濟の二十五年 (ヴァルガ)

△時評 ニュギニアの開発 (殿木圭一)

≡ 空襲と保險 (相馬敏夫)
≡ 政治における理想と現實 (長島又男)

決戦價格政策の展開 (特輯)

— 解説と翻譯 —

世界戦局の動き
ドイツの公債増發限界論 (スイス紙)
一九四二年の米國造船實相 (ストツクホルム)
アメリカ戦争經濟批判 (寺西五郎) 正 躬
アイランド經濟 (ドイツ紙)
いかにしてフランスは更生するか (ベタン)
最近の獨佛關係をみる

號日七十月四

號日四廿月四

△時評 歐洲憲章の確立 (下條雄三)

≡ 生産隘路の克服と國民組織 (西村二郎)
≡ 東京都制實施の意義 (藤田武夫)
≡ 中國戰時經濟の方向 (瀧口義敏)

交戦各國の産業轉換 (特輯)

— 解説と翻譯 —

世界戦局の動き
米英の戦後通貨對策をみる
アメリカ戦争經濟批判 (寺西五郎)
米國におけるインフレの現状 (フアイナンシ)
イギリス戰時財政の分析 (エリ・フレイ)
イギリス藏相の豫算演說
戦争と化學

△時評 彼我の戦争目的 (大屋久壽雄)

≡ 現下の食糧問題 (片柳眞吉)
≡ 列國航空界の現勢 (木下春二郎)
≡ 全體主義經濟體制の具體的提題 (根津知好)

南方諸地域の財政をみる (特輯)

— 解説と翻譯 —

世界戦局の動き
イギリスは何を考へてゐるか
獨ソ戦を繞る三つの問題
アメリカ戦争經濟批判 (寺西五郎)
ドイツの歐大陸物價政策 (スイス紙)
深刻化する通商破壊戰
戦争と化學

頁〇八約判5B行發日曜土週毎
(共送)錢十五圓四十年一 (錢一送) 錢〇三部一

番〇〇八五三京東替振 社信通盟同 團社法 館會政市・谷比日・町麴・京東

岩波書店新刊

東京・神田・一ツ橋 振替東京二六四〇

文學博士 波多野精一 著
時と永遠
 A5判 二四四頁
 價約二・八〇 送三〇

時と永遠の問題は東西古今を通じて西學及宗教の最も重大關心事に屬し、それは亦最も困難な問題であるが、本書は博士が、前著「宗教哲學」に於て到達せられた西學的立場に立ち、この重要問題を論究せるものである。博士の嚴肅なる學問の結晶であり、高邁な思索と精緻な研究に依る所産に他ならぬものである。

文學博士 宇井伯壽 著
第三禪宗史研究
 A5判 五一八頁
 價六・六九 送三〇

前著に引續き、本書は唐宋、五代、北宋、南宋の間に發展せる禪宗を研究せるもの。收めるところ全九篇。靈山、廬山、曹山、の地諸禪師の人物經歷を主とし、その導へられる語句を蒐集解明し、以て我國曹洞禪の支那に於ける淵源を探索して居る。前著に併せ禪宗史の學問的研究に指導的寄與をなす業績である。

近刊 (六月二十日頃出来)

臺灣經濟年報 第三輯 第十八年版
 A5判 七五〇頁
 價六・〇〇 送三〇

既刊第一輯(十六年) 第二輯(十七年) 在庫アリ

渡邊源一郎著 **南方圏の交通**
 A5判 五五〇頁
 價五・〇〇 送三〇

商工省化學局長 山本茂著 **大東亞化學工業論**
 A5判 三〇〇頁
 價二・五〇 送三〇

松丸志摩三著 **南方圏の棉花資源**
 價二・二五 送三〇

渡邊源一郎著 **佛印の鑛産資源**
 價三・八〇 送三〇

神野彌治譯 **ナチ・ヨーロッパの資源と貿易**
 價二・二五 送三〇

東京總ビル 東京池田ビル 國際日本協會 振替東京二六四〇 (目録呈)

藤原銀次郎閣下 推薦
 互著 眞實圖版二二三挿入
 地名別所産地圖二〇枚入
 B5判 上
 買價一九・三七

比律賓群島燃料鑛物の地質
 五月十二日(來出) 定 價 一〇・〇〇
 財團法人日本貿易研究會編
 貿易振興協會 日本貿易研究會
 五月十二日(來出) 定 價 一〇・〇〇

大東亞交易基本統計表(全)
 五月十二日(來出) 定 價 一〇・〇〇
 財團法人日本貿易研究會編
 貿易振興協會 日本貿易研究會

進目呈錄
 一、統計數字の簡明にして繁雜ならざること
 二、統計基礎資料の正確なること
 三、統計基礎資料の統一なること
 東京市神田區神保町一
 振替東京一三三四番 株式會社 栗田

藤田敬三編 **世界産業發達史研究**
 A5判 四裝
 價四・五〇 送三〇

【內容】 フロレンスの毛織物工業に於ける商業資本
 米國棉作農業と傳統
 獨逸化學工業集中心史
 英國工業會計畫史
 佛蘭西社會政策成立史
 附篇 世界産業發達史資料
 支那棉業調查委員會
 上林貞治郎
 宮本一男
 岡本博之

【內容】 **日本産業機械研究**
 A5判 五裝
 價五・三〇 送三〇

【內容】 日本軍事工業發達史
 日本工業電化發達史
 日本貿易構成及政策
 附 日本産業發達史年表
 小林弘健
 上林貞治郎
 北原道貫

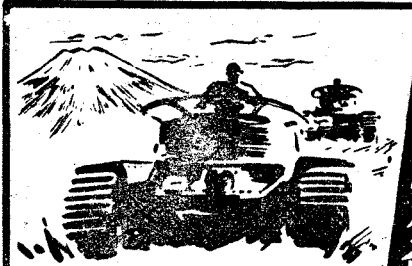
【內容】 **日本工業構成史**
 A5判 四裝
 價四・五〇 送三〇



伊藤書店

東京市神田區小川町二番
 振替東京七八一七番

富士に誓ふ



少年戦車兵訓練の記録

歴戦遠き鉄騎上井出村往昔より「井出館」として、編朝の富士の登好と曾我兄弟の仇討に名高き兵隊の地に、進軍突進、挺身赴難、敢闘奮れて己まざる不屈不撓の戦車兵魂を磨く日夜の猛訓練！
米英撃滅を期す陸戦の華、若き鐵獅子の面目こゝに躍動す！

近日公開！！

製作 社団法人 日本映画社

監修 陸軍機中本部 演出 小畑長蔵 撮影 林田重雄



資本金 参億圓

會長 井上憲一
社長 足立正

王子製紙株式会社

本社 東京市王子區王子町
營業所 東京市麴町區有樂町



滿洲炭礦株式会社

本社 滿洲國・新京・興仁大路

理事長 松村茂

レミントン 複寫紙

あらゆる職場にレミントンは愛用される



筆記用
タイプ用

株式会社 井商店 大阪・東京・大連

昭和十二年七月廿三日第三種郵便物認可

發行所 東京市麴町區日比谷公園

武田製藥品

消耗性
疾患に

V₂B₁含有量
一錠中〇・五ミリ
一〇〇錠
三〇〇錠

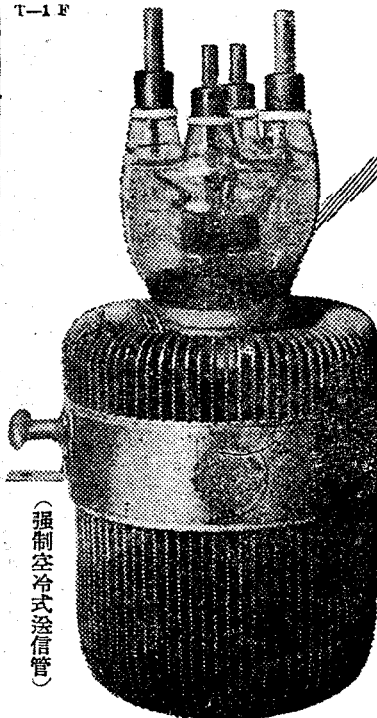
高單位ビタミンB₁の給與は個
体組織の酸化不全を調整し、促
進せる赤血球沈降速度を遅延せ
しめ發熱・盜汗・分泌等に與る
植物神經の興奮を鎮靜す……
胃腸筋壁の緊張を恢復し、食
慾を振起し、脂肪吸収を改善し
含水炭素の消化を助けて榮養を
たかめ抗病力を増強せしむ。
〔適應症〕 消耗性・熱性疾患時、胃
腸アトニー、食慾不振、妊産・授
乳時の榮養補給、各型脚氣

強力ビタミンB₁錠

製法特許

85

T-1 F



(強制空冷式送信管)

主要製品

強制空冷式送信管・空冷式送信管
水冷式送信管・熱陰極格子制御放電管
熱陰極水銀整流管・送信用真空整流管
磁電管・受信管・金屬真空管・超小型管

東京電氣 真空管

製造真空管機通信無線



東京電氣株式會社

川崎市

社同人盟通信社 電話代價部電話(7)二二二番(6) 東京市日比谷公園三〇〇番 定價一圓五十錢